大山崎町
介護予防・日常生活圏域ニーズ調査及び
在宅介護実態調査

報　告　書

令和8年(2026 年)3月

大 山 崎 町

目 次

第1章 調査の概要 1
1. 調査の目的 1
2. 調査の設計 1
3. 回収状況 1
4. 報告書を見る際の注意点 2

第2章 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査(一般高齢者対象)の結果 3
1. 回答者の属性 3
2. からだを動かすことについて 10
3. 食べることについて 21
4. 毎日の生活について 29
5. 地域での活動について 46
6. 就労について 56
7. たすけあいについて 58
8. 健康について 67
9. 認知症にかかる相談窓口の把握について 76
10. 高齢者に関するサービス・制度等について 82
11. 今後の生活や高齢者施策全般について 95
12. リスク判定 100

第3章 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査(要支援認定者対象)の結果 124
1. 回答者の属性 124
2. からだを動かすことについて 132
3. 食べることについて 143
4. 毎日の生活について 151
5. 地域での活動について 168
6. 就労について 178
7. たすけあいについて 180
8. 健康について 189
9. 認知症にかかる相談窓口の把握について 198
10. 高齢者に関するサービス・制度等について 204
11. 今後の生活や高齢者施策全般について 217
12. リスク判定 222

第4章　在宅介護実態調査 245
Ⅰ　単純集計結果 245
1.　回答者の属性 245
2.　介護保険サービスについて 248
3.　介護保険サービス以外の支援・サービスについて 251
4.　訪問診療・居宅療養管理指導について 255
5.　毎日の生活について 258
6.　高齢者に関する制度について 265
7.　主な介護者の属性 270
8.　主な介護者が行っている介護等の状況 273
9.　主な介護者の就労について 279
10.　要介護認定データ 283
Ⅱ　クロス集計結果 291
1.　在宅限界点の向上のための支援・サービスの提供体制の検討 291
2.　仕事と介護の両立に向けた支援・サービスの提供体制の検討 303
3.　保険外の支援・サービスを中心とした地域資源の整備の検討 321
4.　将来の世帯類型の変化に応じた支援・サービスの提供体制の検討 331
5.　医療ニーズの高い在宅療養者を支える支援・サービスの提供体制の検討 341
6.　サービス未利用の理由など 349

第1章　調査の概要

1.　調査の目的

本調査は、大山崎町第 11 次高齢者福祉計画（大山崎町第10期介護保険事業計画）を策定するにあたり、既存データでは把握困難な高齢者の実態や意識・意向を調査・分析し、計画策定の基礎資料とすることを目的としています。

2.　調査の設計

【図表１－２－１　調査の設計】

調査名	対象	調査方法	調査期間
① 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査（一般高齢者対象）	町内在住の 65 歳以上で要支援・要介護認定を受けていない人：1,000 人（無作為抽出）	郵送配布 郵送回収	令和7年（2025 年） 11 月 19 日（水） ～ 令和7年（2025 年） 12 月 19 日（金）
② 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査（要支援認定者対象）	町内在住の要支援認定を受けている人：269 人（対象者全数）		
③ 在宅介護実態調査	要介護認定を受けて在宅で生活している人： 453 人（対象者全数）		

3.　回収状況

【図表１－３－１　調査の設計】

調査名	配布数	回収数	有効回答数	有効回答率
① 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査（一般高齢者対象）	1,000 件	700 件	698 件	69.8%
② 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査（要支援認定者対象）	269 件	195 件	195 件	72.5%
③ 在宅介護実態調査	453 件	249 件	249 件	55.0%
合計	1,722 件	1,144 件	1,142 件	66.3%

4. 報告書を見る際の注意点

○回答は各設問の回答者数(n)を分母とした百分率(%)で示しています。
○回答結果の割合「%」は、有効回答数に対してそれぞれの回答数の割合を小数点以下第2位で四捨五入したものです。そのため、単数回答(複数の選択肢から1つの選択肢を選ぶ方式)であっても合計値が「100.0%」にならない場合があります。
○複数回答(複数の選択肢から2つ以上の選択肢を選ぶ方式)の設問の場合、回答は選択肢ごとの有効回答数に対して、それぞれの割合を示しています。そのため、合計が「100.0%」を超える場合があります。
○図表上の「MA%」という表記は複数回答(Multiple Answer の略)の意味です。
○本文中の設問の選択肢について、長い文は簡略化している場合があります。
○表中において、「無回答」とあるものは、回答が示されていない、または回答の判別が困難なものです。
○図表中の前回調査は令和4年度(2022 年度)、前々回調査は令和元年度(2019年度)に実施した「介護予防・日常生活圏域ニーズ調査」及び「在宅介護実態調査」を指します。
○前回調査では、複数回答の設問において、無回答が集計されていないため数値を記載しておりません。
○回答者数(n)が少数となる場合は参考までに数値を見るにとどめ、結果の利用には注意が必要です。
○第4章の「Ⅱクロス集計結果」は、要介護認定データと紐付け可能な回答のみを対象としているため、調査票の記入不備等により紐付けできなかった一部の回答が除外されることにより、「Ⅰ単純集計結果」とは母数が異なることから、算出割合に差が生じています。

第2章　介護予防・日常生活圏域ニーズ調査(一般高齢者対象)の結果

1.　回答者の属性

(1) 回答者

	調査票を記入されたのはどなたですか。○をつけてください。

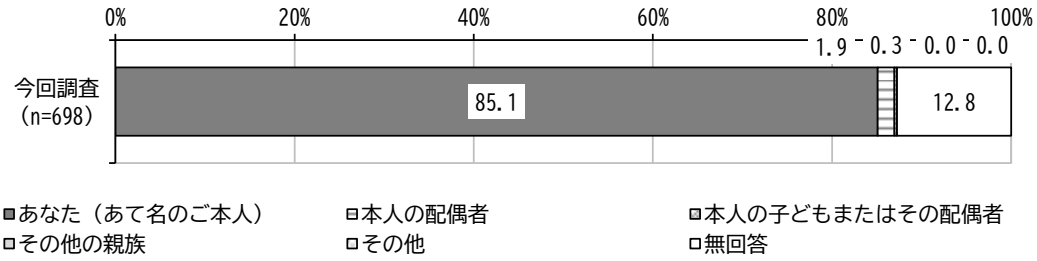
回答者について、「あなた(あて名のご本人)」が 85.1%で最も高く、次いで「本人の配偶者」が 1.9%、「本人の子どもまたはその配偶者」が 0.3%となっています。

性別について、「男性」が 44.8%、「女性」が 55.0%となっています。

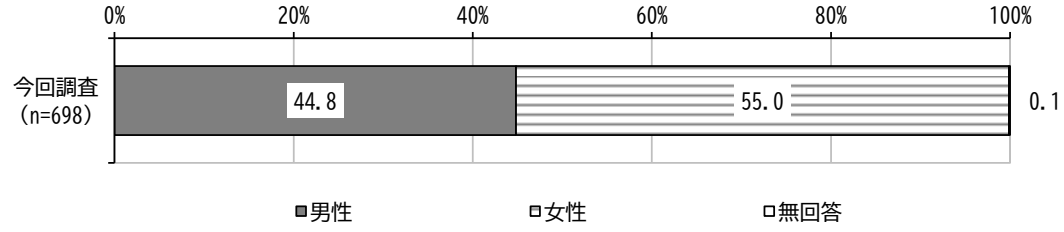
年齢について、「75～79 歳」が 29.1%で最も高く、次いで「70～74 歳」が 23.5%、「65～69 歳」が 19.8%となっています。

居住地区について、「字円明寺」が 49.1%で最も高く、次いで「字大山崎」が 41.8%、「字下植野」が 8.9%となっています。

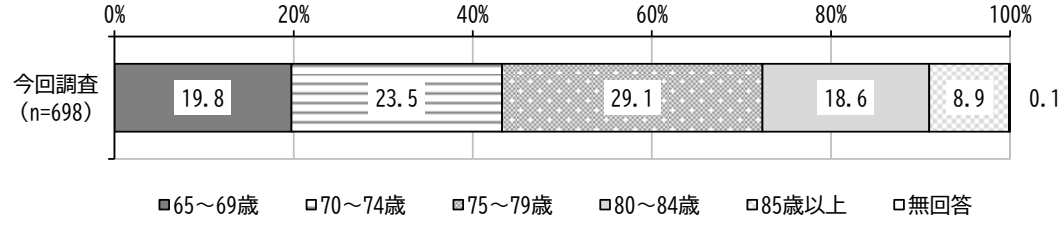
【図表2－1－1　回答者】



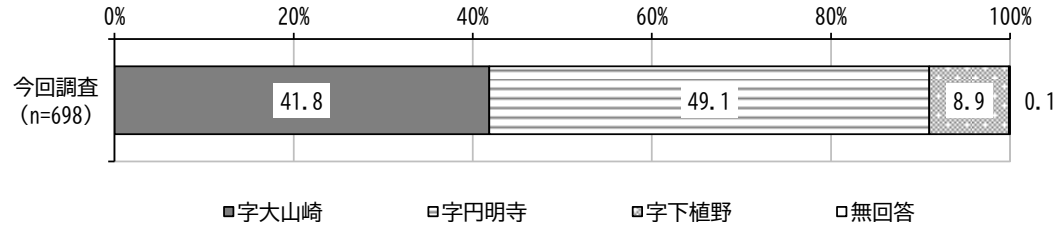
【図表2－1－2　性別】



【図表2－1－3　年齢】



【図表2－1－4　居住地区】

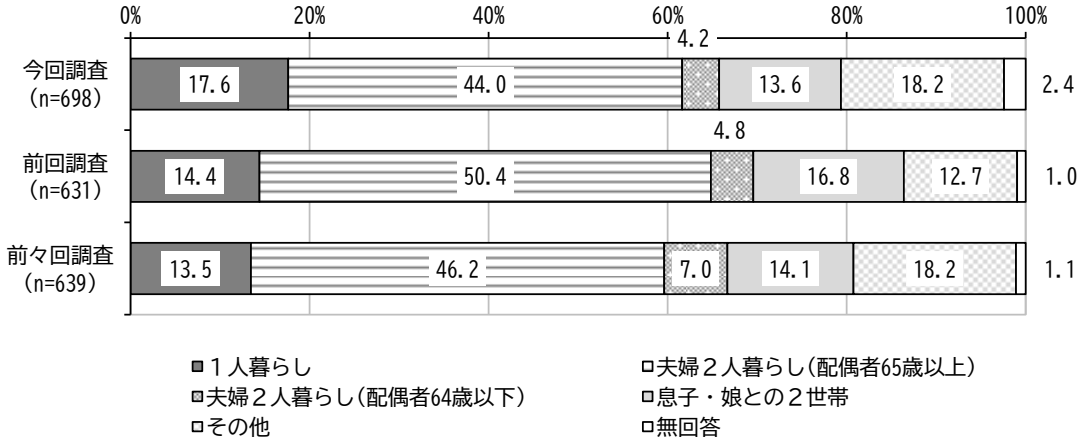


（2） 世帯構成

問1	家族構成をお教えください。（○は1つ）

世帯構成について、「夫婦2人暮らし（配偶者 65 歳以上）」が 44.0％で最も高く、次いで「その他」が18.2％、「1人暮らし」が17.6％となっています。また、前回調査と比較して「1人暮らし」が3.2ポイント増加し、「夫婦2人暮らし（配偶者 65 歳以上）」が 6.4 ポイント、「息子・娘との2世帯」が 3.2 ポイント減少しています。

【図表2－1－5 世帯構成】

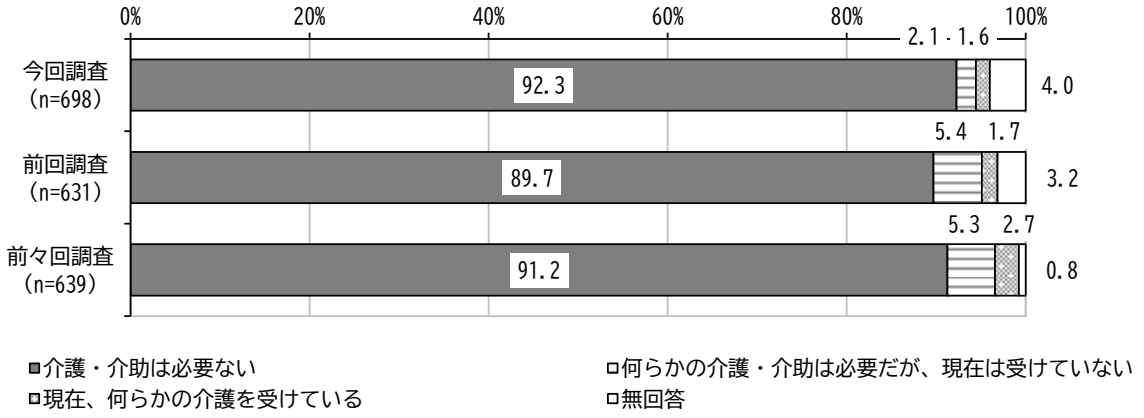


（3） 介護・介助の状況

問2	あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか。（○は1つ）

介護・介助の状況について、「介護・介助は必要ない」が 92.3%で最も高く、次いで「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」が 2.1%、「現在、何らかの介護を受けている」が 1.6%となっています。また、前回調査と比較して「介護・介助は必要ない」が 2.6 ポイント増加しています。

【図表2－1－6 介護・介助の状況】



性別にみると、「介護・介助は必要ない」について、男性では 90.1%、女性では 94.0%となっており、女性のほうが 3.9 ポイント高くなっています。

【図表2－1－7 介護・介助の状況（クロス集計）】

※網掛けは最も割合が高いもの　単位：（%）

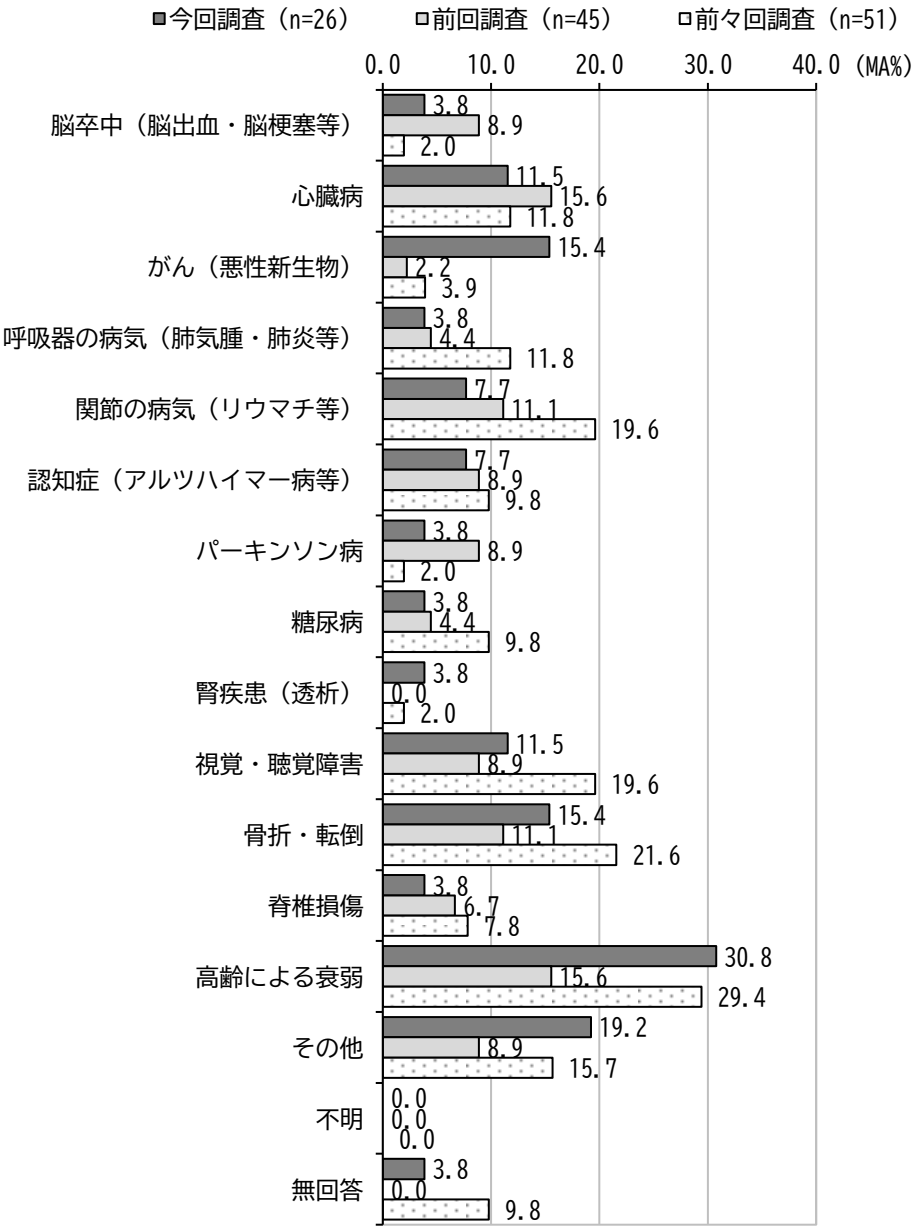
		合計（人）	介護・介助は必要ない	何らかの介助は必要だが、現在は受けていない	現在、何らかの介護を受けている	無回答
性別	男性	313	90.1	3.2	1.9	4.8
	女性	384	94.0	1.3	1.3	3.4
年齢別	65～69歳	138	89.1	2.2	1.4	7.2
	70～74歳	164	93.9	1.2	1.8	3.0
	75～79歳	203	96.1	2.0	1.0	1.0
	80～84歳	130	90.0	2.3	2.3	5.4
	85歳以上	62	87.1	4.8	1.6	6.5
世帯構成別	１人暮らし	123	93.5	3.3	1.6	1.6
	夫婦２人暮らし（配偶者65歳以上）	307	93.8	2.0	2.0	2.3
	夫婦２人暮らし（配偶者64歳以下）	29	96.6	0.0	0.0	3.4
	息子・娘との２世帯	95	92.6	3.2	2.1	2.1
	その他	127	92.9	1.6	0.8	4.7
居住地区別	字大山崎	292	91.1	3.1	1.7	4.1
	字円明寺	343	93.0	1.7	0.9	4.4
	字下植野	62	93.5	0.0	4.8	1.6

（4） 介護・介助が必要になった原因

問2-1	**【問2で「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」または「現在、何らかの介護を受けている」を回答された方のみ】** 介護・介助が必要になった主な原因はなんですか。（○はいくつでも）

介護・介助が必要になった原因について、について、「高齢による衰弱」が 30.8%で最も高く、次いで「その他」が 19.2%、「がん（悪性新生物）」「骨折・転倒」が 15.4%となっています。また、前回調査と比較して「高齢による衰弱」が 15.2 ポイント増加しています。

【図表2－1－8 介護・介助が必要になった原因】

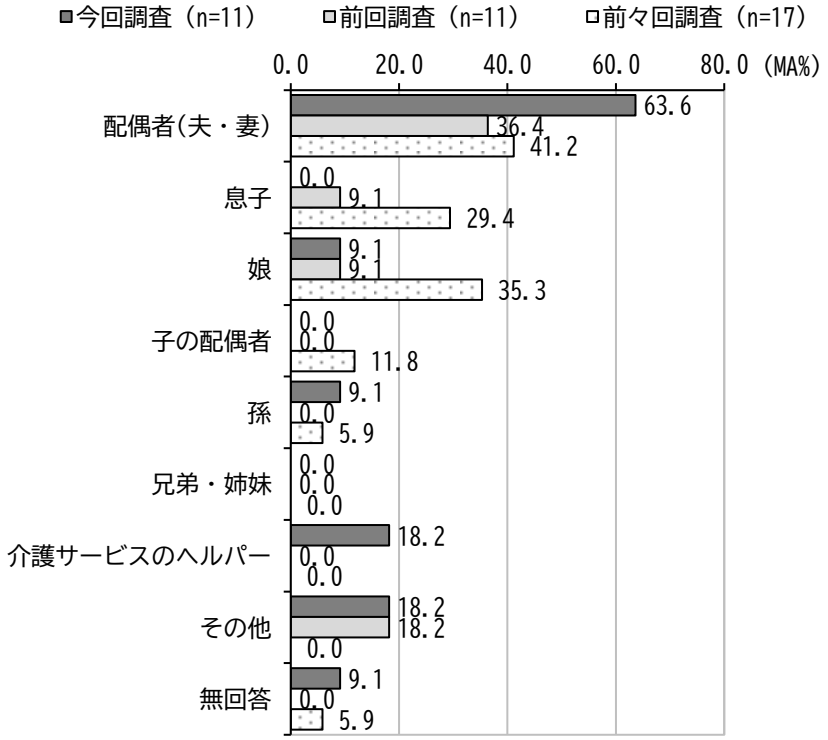


（5） 介護者・介助者

問2-2	**【問2で「現在、何らかの介護を受けている」を回答された方のみ】** 主にどなたの介護、介助を受けていますか。（○はいくつでも）

介護者・介助者について、「配偶者（夫・妻）」が 63.6%で最も高く、次いで「介護サービスのヘルパー」「その他」が 18.2%となっています。また、前回調査と比較して「配偶者（夫・妻）」が 27.2 ポイント増加しています。

【図表2－1－9 介護者・介助者】

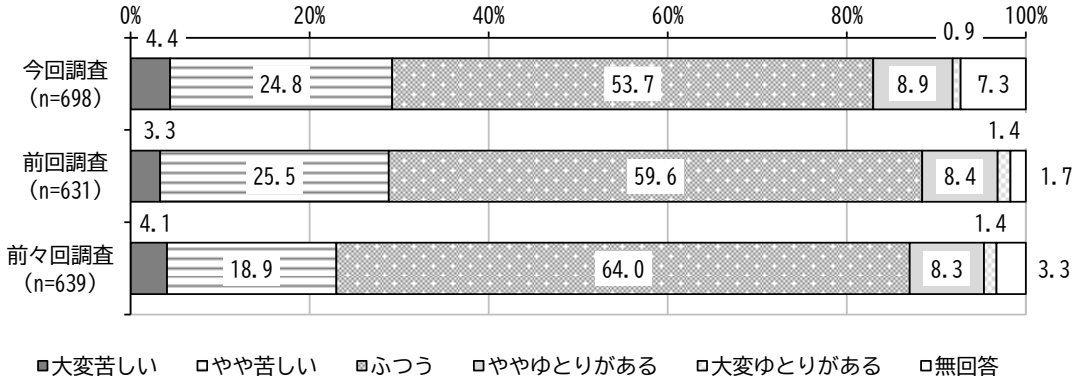


（6） 現在の暮らしの状況

問3	現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか。（○は1つ）

現在の暮らしの状況を経済的にみると、「ふつう」が 53.7%で最も高く、次いで「やや苦しい」が 24.8%、「ややゆとりがある」が 8.9%となっています。また、前回調査と比較して「ふつう」が 5.9 ポイント減少しています。

【図表2－1－10 現在の暮らしの状況】



性別にみると、男性・女性ともに「ふつう」が最も高くなっています。

年齢別にみると、「大変苦しい」では、70～74 歳が 7.3%で最も高くなっています。

【図表2－1－11 現在の暮らしの状況（クロス集計）】

※網掛けは最も割合が高いもの　単位：（%）

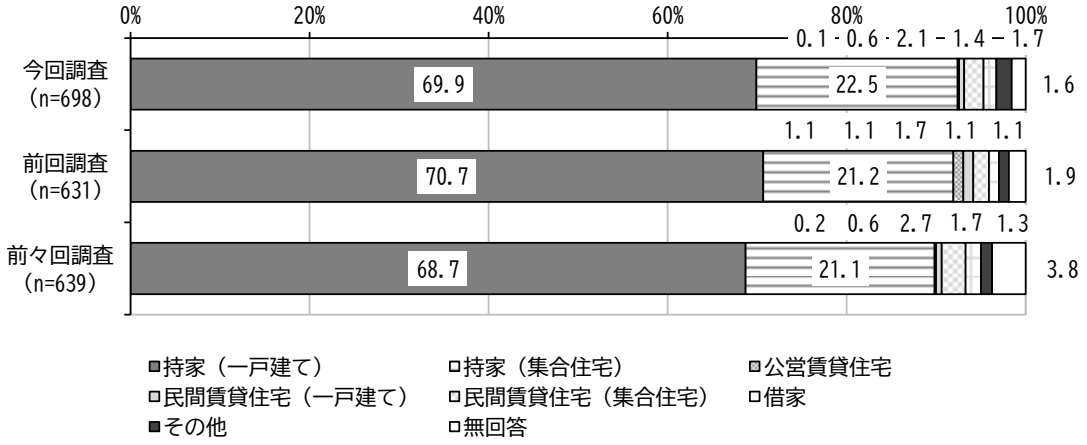
		合計（人）	大変苦しい	やや苦しい	ふつう	ややゆとりがある	大変ゆとりがある	無回答
性別	男性	313	6.1	25.6	49.2	10.9	1.3	7.0
	女性	384	2.9	24.2	57.6	7.3	0.5	7.6
年齢別	65～69歳	138	2.9	29.7	50.7	6.5	1.4	8.7
	70～74歳	164	7.3	26.8	47.0	12.8	0.0	6.1
	75～79歳	203	4.4	23.6	57.6	7.4	1.5	5.4
	80～84歳	130	2.3	20.0	57.7	10.0	0.8	9.2
	85歳以上	62	3.2	22.6	58.1	6.5	0.0	9.7
世帯構成別	１人暮らし	123	7.3	18.7	57.7	8.1	0.8	7.3
	夫婦２人暮らし（配偶者65歳以上）	307	2.9	25.4	51.1	12.1	1.3	7.2
	夫婦２人暮らし（配偶者64歳以下）	29	6.9	20.7	58.6	3.4	0.0	10.3
	息子・娘との２世帯	95	2.1	26.3	63.2	4.2	0.0	4.2
	その他	127	7.1	30.7	49.6	7.9	0.8	3.9
居住地区別	字大山崎	292	4.8	22.9	51.7	12.3	1.0	7.2
	字円明寺	343	3.8	25.9	55.7	6.4	0.9	7.3
	字下植野	62	4.8	27.4	53.2	6.5	0.0	8.1

（7） 居住形態

問4	お住まいは一戸建て、または集合住宅のどちらですか。（○は1つ）

居住形態について、「持家（一戸建て）」が 69.9%で最も高く、次いで「持家（集合住宅）」が 22.5%、「民間賃貸住宅（集合住宅）」が 2.1%となっています。また、前回調査と比較して「持家（一戸建て）」が 0.8 ポイント減少しています。

【図表2－1－12 居住形態】



性別にみると、男性・女性ともに「持家（一戸建て）」が最も高くなっています。

年齢別にみると、「持家（一戸建て）」では、80～84 歳が 77.7%で最も高くなっています。

居住地区別にみると、「持家（一戸建て）」では、字大山崎が 84.9%で最も高くなっています。

【図表2－1－13 居住形態（クロス集計）】

※網掛けは最も割合が高いもの　単位：（%）

		合計（人）	持家（一戸建て）	持家（集合住宅）	公営賃貸住宅	民間賃貸住宅（一戸建て）	民間賃貸住宅（集合住宅）	借家	その他	無回答
性別	男性	313	67.7	24.0	0.3	1.0	1.6	1.6	1.9	1.9
	女性	384	71.9	21.4	0.0	0.3	2.6	1.3	1.6	1.0
年齢別	65～69歳	138	65.2	25.4	0.0	1.4	3.6	0.7	1.4	2.2
	70～74歳	164	66.5	23.8	0.0	0.6	3.7	2.4	1.8	1.2
	75～79歳	203	70.4	23.6	0.0	0.0	0.5	2.0	2.0	1.5
	80～84歳	130	77.7	16.9	0.0	0.0	1.5	0.8	1.5	1.5
	85歳以上	62	72.6	21.0	1.6	1.6	1.6	0.0	1.6	0.0
世帯構成別	１人暮らし	123	52.8	34.1	0.8	0.0	4.9	2.4	1.6	3.3
	夫婦２人暮らし（配偶者65歳以上）	307	73.6	20.2	0.0	0.7	2.3	1.0	1.3	1.0
	夫婦２人暮らし（配偶者64歳以下）	29	55.2	41.4	0.0	0.0	0.0	3.4	0.0	0.0
	息子・娘との２世帯	95	75.8	18.9	0.0	0.0	1.1	1.1	0.0	3.2
	その他	127	77.2	15.0	0.0	0.8	0.8	1.6	3.9	0.8
居住地区別	字大山崎	292	84.9	7.9	0.0	1.4	1.7	1.0	0.7	2.4
	字円明寺	343	54.8	38.5	0.3	0.0	2.0	0.9	2.6	0.9
	字下植野	62	83.9	3.2	0.0	0.0	4.8	6.5	1.6	0.0

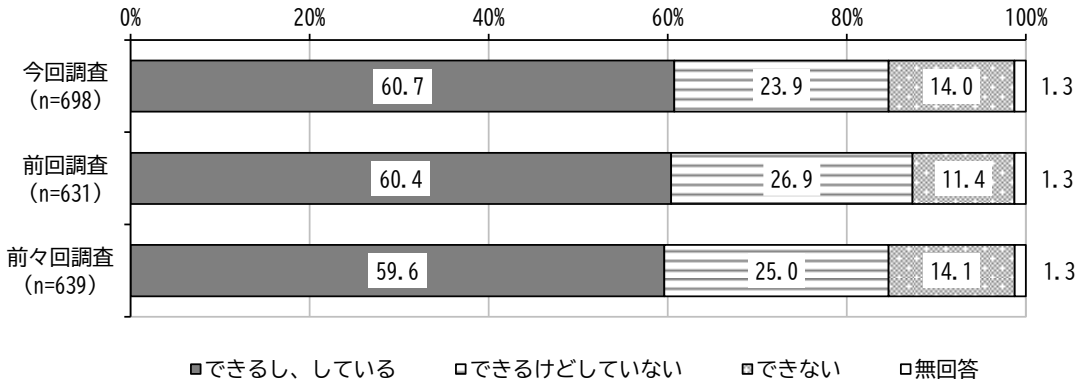
2. からだを動かすことについて

(1) 階段を手すりや壁をつたわらずに昇れるか

問5	階段を手すりや壁をつたわらずに昇っていますか。(○は1つ)

階段を手すりや壁をつたわらずに昇れるかについて、「できるし、している」が 60.7%で最も高く、次いで「できるけどしていない」が 23.9%、「できない」が 14.0%となっています。また、前回調査と比較して「できるし、している」が 0.3 ポイント増加しています。

【図表2－2－1 階段を手すりや壁をつたわらずに昇れるか】

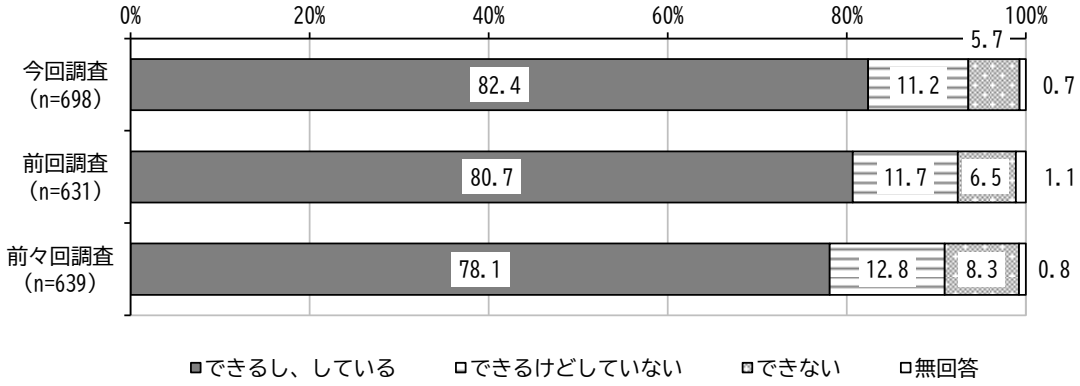


(2) 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がれるか

問6	椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか。(○は1つ)

椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がれるかについて、「できるし、している」が 82.4%で最も高く、次いで「できるけどしていない」が 11.2%、「できない」が 5.7%となっています。また、前回調査と比較して「できるし、している」が 1.7 ポイント増加しています。

【図表2－2－2 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がれるか】

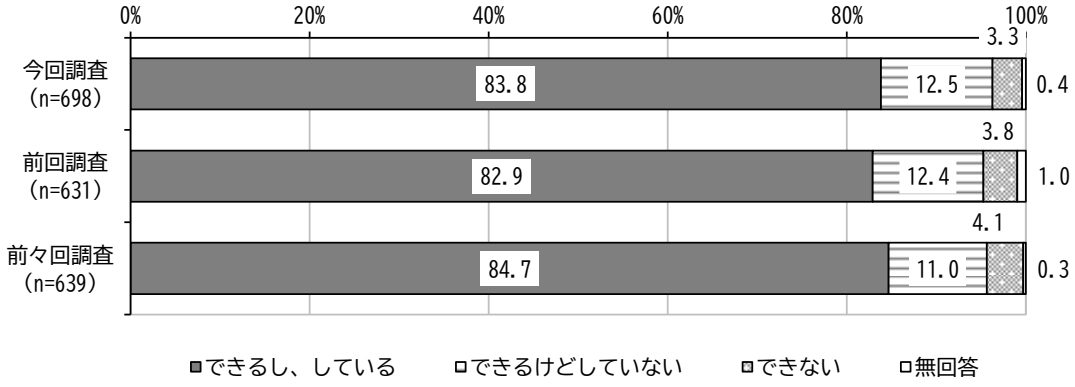


（3） 15 分位続けて歩けるか

問7	15 分位続けて歩いていますか。（○は1つ）

15 分位続けて歩けるかについて、「できるし、している」が 83.8%で最も高く、次いで「できるけどしていない」が 12.5%、「できない」が 3.3%となっています。また、前回調査と比較して「できるし、している」が 0.9 ポイント増加しています。

【図表2－2－3 15 分位続けて歩けるか】

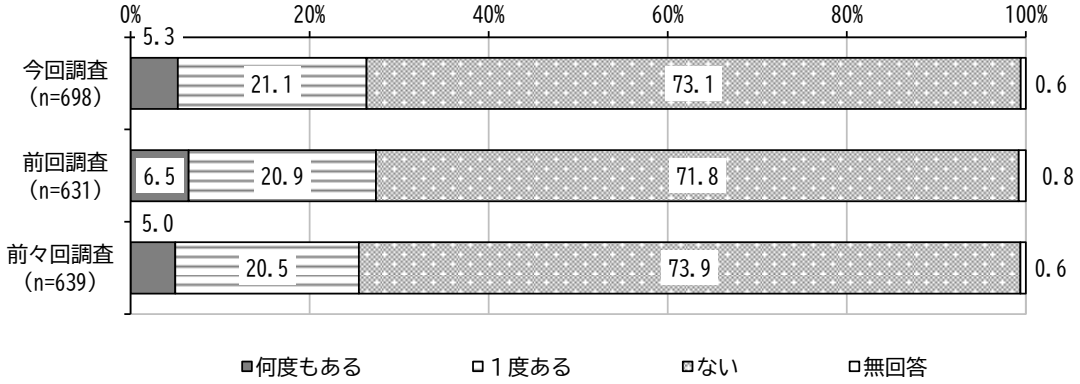


（4） 過去1年間に転んだ経験があるか

問8	過去1年間に転んだ経験がありますか。（○は1つ）

過去1年間に転んだ経験があるかについて、「ない」が 73.1%で最も高く、次いで「1度ある」が 21.1%、「何度もある」が 5.3%となっています。また、前回調査と比較して「ない」が 1.3 ポイント増加しています。

【図表2－2－4 過去1年間に転んだ経験があるか】

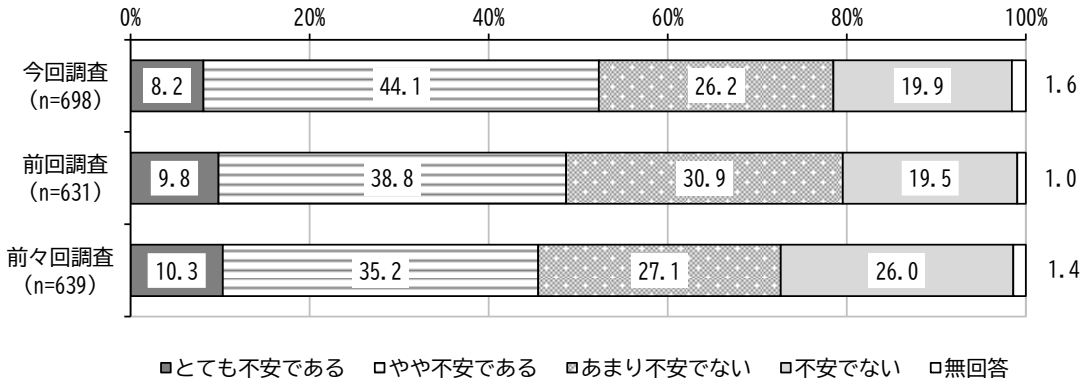


（5） 転倒に対する不安は大きいか

問9	転倒に対する不安は大きいですか。（○は1つ）

転倒に対する不安は大きいかについて、「やや不安である」が 44.1%で最も高く、次いで「あまり不安でない」が 26.2%、「不安でない」が 19.9%となっています。また、前回調査と比較して「やや不安である」が 5.3 ポイント増加しています。

【図表2－2－5 転倒に対する不安は大きいか】

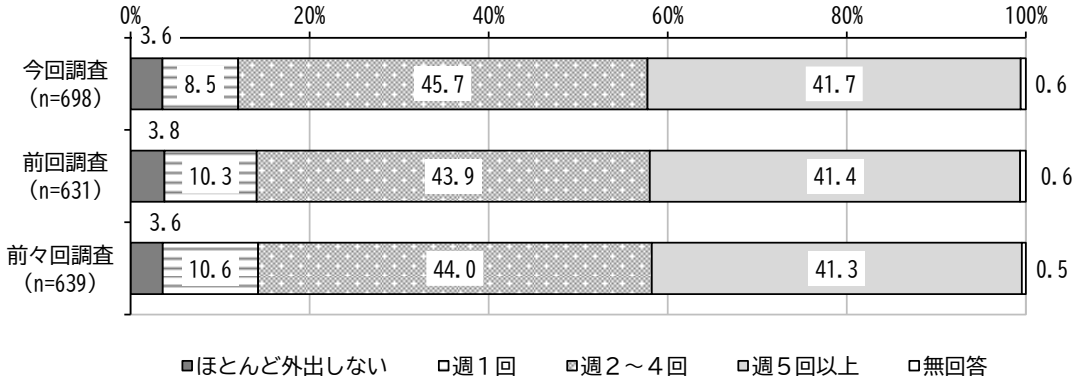


（6）週に1回以上は外出しているか

問 10	週に1回以上は外出していますか。(○は1つ)

週に1回以上は外出しているかについて、「週2～4回」が 45.7％で最も高く、次いで「週5回以上」が41.7％、「週1回」が 8.5％となっています。また、前回調査と比較して「週2～4回」が 1.8 ポイント増加しています。

【図表2－2－6 週に1回以上は外出しているか】



性別にみると、「ほとんど外出しない」について、男性では 4.5％、女性では 2.9％となっており、男性のほうが 1.6 ポイント高くなっています。

年齢別にみると、「ほとんど外出しない」では、75～79 歳が 4.9％で最も高くなっています。

【図表2－2－7 週に1回以上は外出しているか(クロス集計)】

※網掛けは最も割合が高いもの　単位：(%)

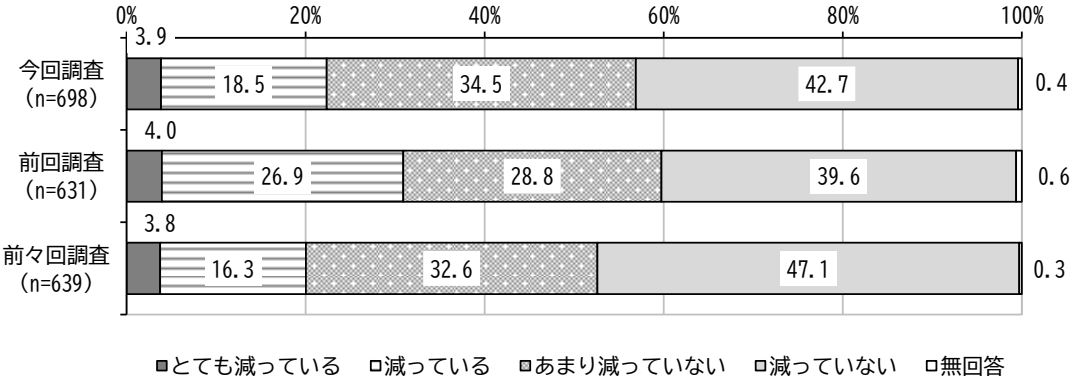
		合計（人）	ほとんど外出しない	週1回	週2～4回	週5回以上	無回答
性別	男性	313	4.5	9.3	44.4	41.5	0.3
	女性	384	2.9	7.6	46.9	41.9	0.8
年齢別	65～69歳	138	3.6	7.2	42.8	44.9	1.4
	70～74歳	164	3.0	7.9	42.7	46.3	0.0
	75～79歳	203	4.9	6.9	47.8	39.9	0.5
	80～84歳	130	2.3	10.0	48.5	39.2	0.0
	85歳以上	62	3.2	12.9	48.4	33.9	1.6
世帯構成別	１人暮らし	123	2.4	9.8	48.0	39.0	0.8
	夫婦２人暮らし(配偶者65歳以上)	307	2.0	9.1	50.8	37.8	0.3
	夫婦２人暮らし(配偶者64歳以下)	29	0.0	6.9	34.5	58.6	0.0
	息子・娘との２世帯	95	6.3	8.4	50.5	32.6	2.1
	その他	127	7.9	6.3	32.3	53.5	0.0
居住地区別	字大山崎	292	4.1	9.6	45.9	40.1	0.3
	字円明寺	343	2.9	6.4	46.1	43.7	0.9
	字下植野	62	4.8	12.9	43.5	38.7	0.0

（7） 昨年と比べて外出の回数が減っているか

問 11	昨年と比べて外出の回数が減っていますか。（○は1つ）

昨年と比べて外出の回数が減っているかについて、「減っていない」が 42.7%で最も高く、次いで「あまり減っていない」が 34.5%、「減っている」が 18.5%となっています。また、前回調査と比較して「減っていない」が 3.1 ポイント増加しています。

【図表2－2－8 昨年と比べて外出の回数が減っているか】



性別にみると、男性・女性ともに「減っていない」が最も高くなっています。

年齢別にみると、「とても減っている」では、85 歳以上が 6.5%で最も高く、「減っている」でも、85 歳以上が 25.8%で最も高くなっています。

居住地区別にみると、「とても減っている」では、字大山崎が 5.1%で最も高く、「減っている」では、字円明寺が 19.8%で最も高くなっています。

【図表2－2－9 昨年と比べて外出の回数が減っているか（クロス集計）】

※網掛けは最も割合が高いもの　単位：（%）

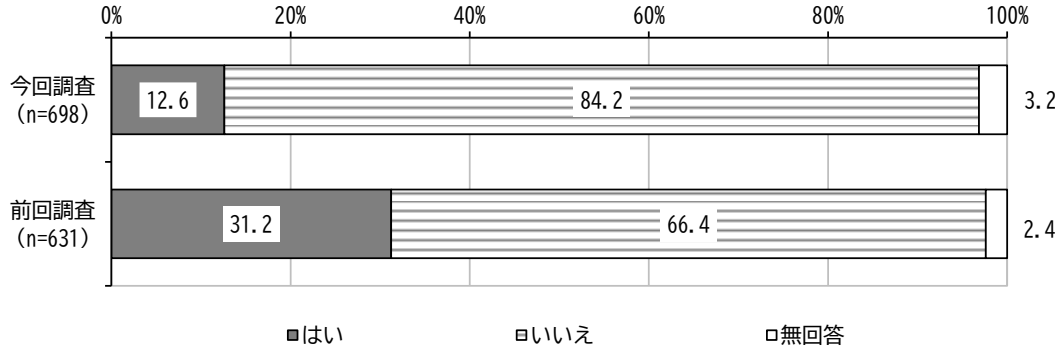
		合計（人）	とても減っている	減っている	あまり減っていない	減っていない	無回答
性別	男性	313	3.5	21.4	32.9	41.9	0.3
	女性	384	4.2	15.9	35.9	43.5	0.5
年齢別	65～69歳	138	5.1	20.3	32.6	40.6	1.4
	70～74歳	164	2.4	15.9	39.0	42.7	0.0
	75～79歳	203	3.4	16.3	33.0	46.8	0.5
	80～84歳	130	3.8	19.2	35.4	41.5	0.0
	85歳以上	62	6.5	25.8	30.6	37.1	0.0
世帯構成別	１人暮らし	123	3.3	23.6	36.6	35.8	0.8
	夫婦２人暮らし（配偶者65歳以上）	307	3.6	18.6	34.5	43.0	0.3
	夫婦２人暮らし（配偶者64歳以下）	29	6.9	10.3	34.5	48.3	0.0
	息子・娘との２世帯	95	6.3	13.7	35.8	43.2	1.1
	その他	127	2.4	18.1	31.5	48.0	0.0
居住地区別	字大山崎	292	5.1	16.4	35.3	42.8	0.3
	字円明寺	343	2.6	19.8	33.8	43.1	0.6
	字下植野	62	4.8	19.4	35.5	40.3	0.0

（8） 外出を控えているか

問 12	外出を控えていますか。(○は1つ)

外出を控えているかについて、「はい」が 12.6%、「いいえ」が 84.2%となっています。また、前回調査と比較して「はい」が 18.6 ポイント減少しています。

【図表2－2－10 外出を控えているか】



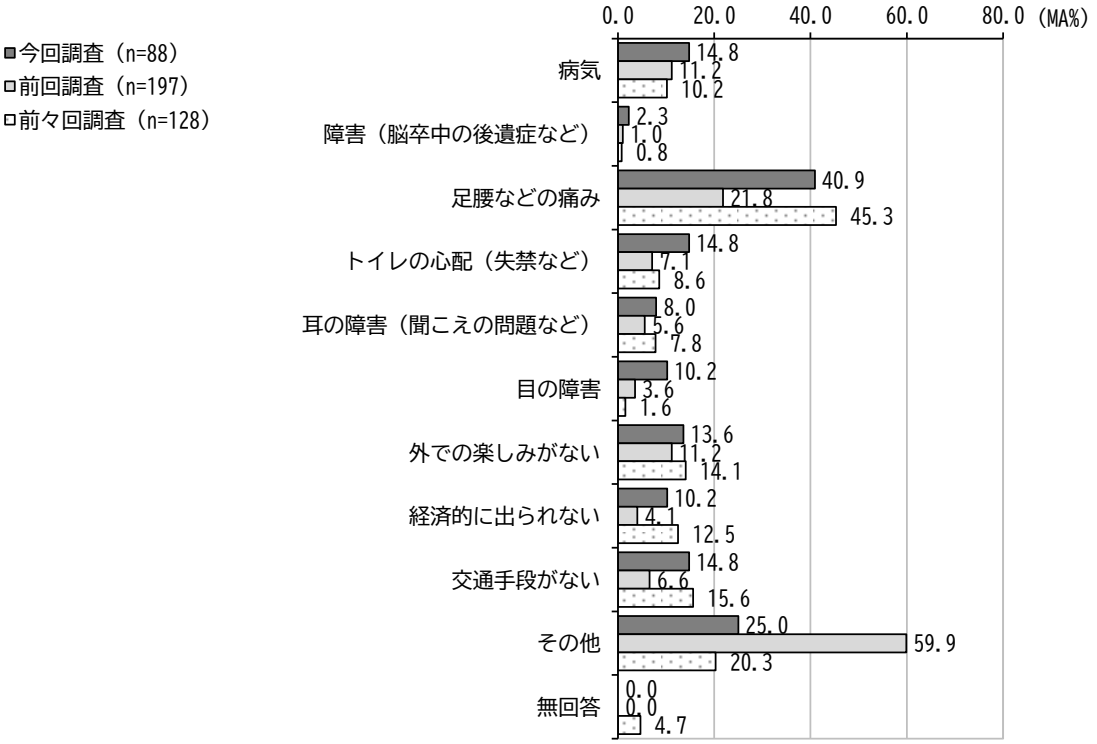
（9） 外出を控えている理由

問 12-1	**【問 12 で「はい」（外出を控えている）を回答された方のみ】** 外出を控えている理由は、次のどれですか。（○はいくつでも）

外出を控えている理由について、「足腰などの痛み」が 40.9%で最も高く、次いで「その他」が 25.0%、「病気」「トイレの心配（失禁など）」「交通手段がない」が 14.8%となっています。

また、その他の内容について、『身体の不調・疾患』（11 件）、『感染症への不安』（4件）などがあります。

【図表2－2－11 外出を控えている理由】



【図表2－2－12 外出を控えている理由（クロス集計）】

※網掛けは最も割合が高いもの　単位：（MA%）

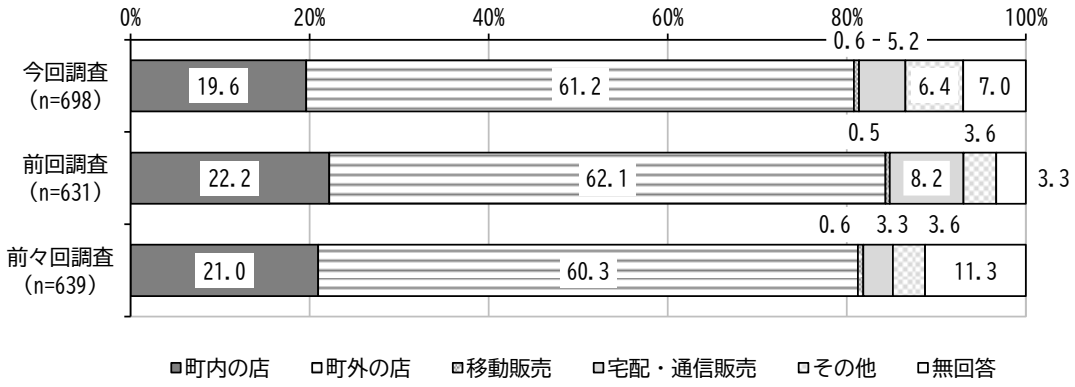
		合計（人）	病気	障害（脳卒中の後遺症など）	足腰などの痛み	トイレの心配（失禁など）	耳の障害（聞こえの問題など）	目の障害	外での楽しみがない	経済的に出られない	交通手段がない	その他	無回答
性別	男性	44	15.9	4.5	45.5	20.5	13.6	6.8	9.1	13.6	11.4	22.7	0.0
	女性	43	14.0	0.0	37.2	9.3	2.3	14.0	18.6	4.7	18.6	27.9	0.0
年齢別	65～69歳	17	35.3	5.9	41.2	0.0	11.8	5.9	11.8	11.8	5.9	29.4	0.0
	70～74歳	17	17.6	0.0	41.2	23.5	5.9	17.6	23.5	0.0	29.4	17.6	0.0
	75～79歳	24	4.2	4.2	50.0	16.7	8.3	8.3	12.5	16.7	8.3	20.8	0.0
	80～84歳	17	17.6	0.0	35.3	5.9	5.9	11.8	5.9	0.0	23.5	29.4	0.0
	85歳以上	12	0.0	0.0	33.3	33.3	8.3	8.3	16.7	16.7	8.3	33.3	0.0
世帯構成別	１人暮らし	12	0.0	0.0	41.7	25.0	8.3	16.7	16.7	0.0	16.7	25.0	0.0
	夫婦２人暮らし（配偶者65歳以上）	32	12.5	6.3	40.6	15.6	12.5	15.6	9.4	3.1	12.5	25.0	0.0
	夫婦２人暮らし（配偶者64歳以下）	1	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0
	息子・娘との２世帯	16	18.8	0.0	31.3	6.3	6.3	6.3	31.3	12.5	31.3	12.5	0.0
	その他	22	22.7	0.0	45.5	13.6	4.5	4.5	4.5	18.2	4.5	36.4	0.0
居住地区別	字大山崎	38	13.2	2.6	39.5	10.5	13.2	10.5	10.5	7.9	13.2	31.6	0.0
	字円明寺	40	15.0	2.5	40.0	17.5	5.0	10.0	15.0	10.0	17.5	25.0	0.0
	字下植野	9	22.2	0.0	55.6	22.2	0.0	11.1	22.2	11.1	11.1	0.0	0.0

（10）主に日常生活の買い物をする場所

問 13	あなたは、日常生活の買物を、主にどこでしますか。（○は1つ）

主に日常生活の買い物をする場所について、「町外の店」が 61.2％で最も高く、次いで「町内の店」が 19.6％、「その他」が 6.4％となっています。また、前回調査と比較して「町内の店」が 2.6 ポイント減少しています。

【図表2－2－13 主に日常生活の買い物をする場所】



性別にみると、男性・女性ともに「町外の店」が最も高くなっています。

年齢別、居住区別でも町外の店が最も高い割合ですが、年齢が高くなるにつれ「町内の店」の割合も増えています。

【図表2－2－14 主に日常生活の買い物をする場所（クロス集計）】

※網掛けは最も割合が高いもの　単位：（%）

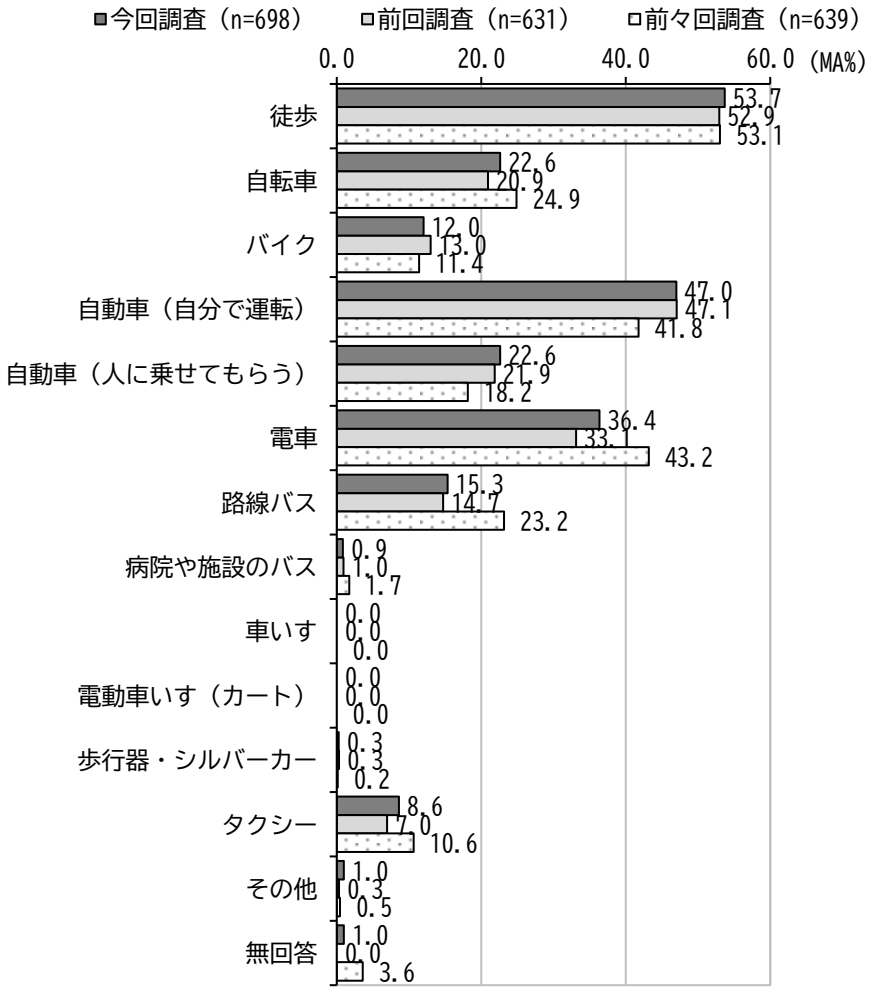
		合計（人）	町内の店	町外の店	移動販売	宅配・通信販売	その他	無回答
性別	男性	313	20.1	61.3	0.6	4.5	6.4	7.0
	女性	384	19.3	60.9	0.5	5.7	6.5	7.0
年齢別	65～69歳	138	18.8	55.8	0.0	6.5	8.0	10.9
	70～74歳	164	15.2	68.3	0.6	4.3	4.9	6.7
	75～79歳	203	17.7	66.5	1.0	3.4	6.4	4.9
	80～84歳	130	25.4	52.3	0.8	9.2	5.4	6.9
	85歳以上	62	27.4	54.8	0.0	1.6	9.7	6.5
世帯構成別	１人暮らし	123	24.4	55.3	1.6	4.9	5.7	8.1
	夫婦２人暮らし（配偶者65歳以上）	307	16.3	64.5	0.3	4.9	5.9	8.1
	夫婦２人暮らし（配偶者64歳以下）	29	34.5	58.6	0.0	0.0	0.0	6.9
	息子・娘との２世帯	95	22.1	57.9	0.0	9.5	8.4	2.1
	その他	127	18.9	61.4	0.8	3.9	9.4	5.5
居住地区別	字大山崎	292	20.2	59.6	1.4	6.2	7.2	5.5
	字円明寺	343	21.3	58.0	0.0	5.2	6.4	9.0
	字下植野	62	8.1	85.5	0.0	0.0	3.2	3.2

（11） 外出する際の移動手段

問 14	外出する際の移動手段は何ですか。（○はいくつでも）

外出する際の移動手段について、「徒歩」が 53.7%で最も高く、次いで「自動車（自分で運転）」が 47.0%、「電車」が 36.4%となっています。また、前回調査と比較して「徒歩」が 0.8 ポイント増加しています。

【図表2－2－15 外出する際の移動手段】



性別にみると、男性では、「自動車（自分で運転）」が 52.1%で最も高く、女性では、「徒歩」が 56.0%で最も高くなっています。

年齢別にみると、「徒歩」では、80～84 歳が 57.7%で最も高く、「自動車（自分で運転）」では、75～79 歳が 53.2%で最も高くなっています。

また、居住地区別にみると、「徒歩」では、字円明寺が 56.9%で最も高く、「自動車（自分で運転）」では、字下植野が 51.6%で最も高くなっています。

【図表2－2－16 外出する際の移動手段（クロス集計）】

※網掛けは最も割合が高いもの　単位：（MA%）

		合計（人）	徒歩	自転車	バイク	自動車（自分で運転）	自動車（人に乗せてもらう）	電車	路線バス	病院や施設のバス	車いす	電動車いす（カート）	歩行器・シルバーカー
性別	男性	313	51.1	21.7	13.4	52.1	16.9	35.5	14.4	1.0	0.0	0.0	0.0
	女性	384	56.0	23.2	10.9	43.0	27.1	37.0	16.1	0.8	0.0	0.0	0.5
年齢別	65～69歳	138	52.9	20.3	13.8	50.0	20.3	32.6	9.4	0.0	0.0	0.0	0.0
	70～74歳	164	50.0	23.2	12.8	47.0	23.2	36.0	17.1	1.2	0.0	0.0	0.0
	75～79歳	203	54.7	22.2	13.3	53.2	21.2	36.5	14.3	0.5	0.0	0.0	0.5
	80～84歳	130	57.7	26.9	11.5	36.9	28.5	36.9	16.9	1.5	0.0	0.0	0.8
	85歳以上	62	54.8	17.7	3.2	41.9	17.7	43.5	24.2	1.6	0.0	0.0	0.0
世帯構成別	１人暮らし	123	59.3	17.1	6.5	39.8	9.8	50.4	22.0	1.6	0.0	0.0	0.0
	夫婦２人暮らし（配偶者65歳以上）	307	53.1	23.1	15.3	50.5	26.4	33.9	15.6	0.0	0.0	0.0	0.0
	夫婦２人暮らし（配偶者64歳以下）	29	55.2	20.7	17.2	65.5	10.3	41.4	3.4	3.4	0.0	0.0	0.0
	息子・娘との２世帯	95	53.7	24.2	9.5	43.2	31.6	32.6	12.6	1.1	0.0	0.0	2.1
	その他	127	50.4	26.8	11.0	44.9	22.0	29.9	12.6	0.8	0.0	0.0	0.0
居住地区別	字大山崎	292	53.4	24.0	9.6	41.4	21.2	39.0	7.5	0.7	0.0	0.0	0.7
	字円明寺	343	56.9	19.2	14.3	51.0	21.6	36.7	22.2	1.2	0.0	0.0	0.0
	字下植野	62	38.7	33.9	11.3	51.6	33.9	21.0	14.5	0.0	0.0	0.0	0.0

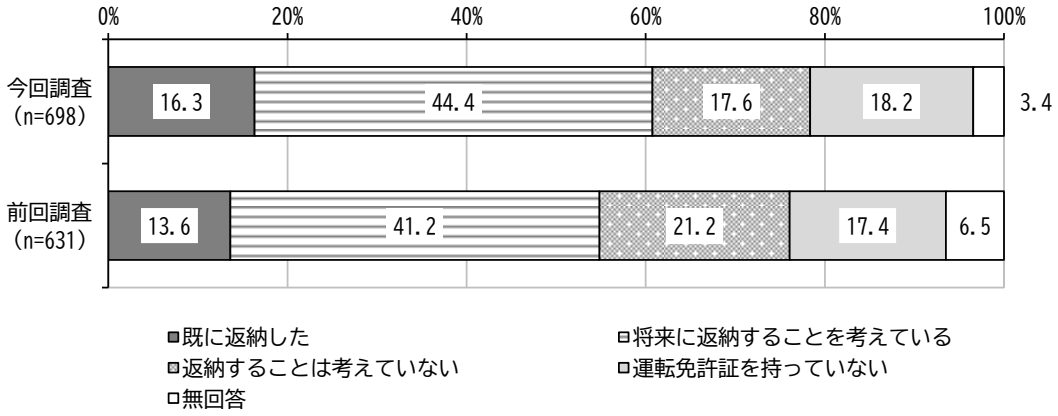
		合計（人）	タクシー	その他	無回答
性別	男性	313	7.0	1.6	0.6
	女性	384	9.6	0.5	1.3
年齢別	65～69歳	138	8.7	2.2	1.4
	70～74歳	164	9.8	0.6	0.6
	75～79歳	203	4.9	0.0	1.0
	80～84歳	130	10.8	0.8	1.5
	85歳以上	62	11.3	3.2	0.0
世帯構成別	１人暮らし	123	16.3	3.3	0.8
	夫婦２人暮らし（配偶者65歳以上）	307	6.8	1.0	1.3
	夫婦２人暮らし（配偶者64歳以下）	29	3.4	0.0	0.0
	息子・娘との２世帯	95	9.5	0.0	1.1
	その他	127	7.1	0.0	0.8
居住地区別	字大山崎	292	9.6	1.0	1.4
	字円明寺	343	6.7	1.2	0.9
	字下植野	62	12.9	0.0	0.0

（12）運転免許の返納意向

問 15	運転免許証を返納する意向はありますか。（○は1つ）

運転免許の返納意向について、「将来に返納することを考えている」が 44.4％で最も高く、次いで「運転免許証を持っていない」が 18.2％、「返納することは考えていない」が 17.6％となっています。また、前回調査と比較して「将来に返納することを考えている」が 3.2 ポイント増加しています。

【図表2－2－17 運転免許の返納意向】



性別にみると、男性・女性ともに「将来に返納することを考えている」が最も高くなっています。

年齢別にみると、「将来に返納することを考えている」では、70～74 歳が 51.8％で最も高くなっています。

居住地区別にみると、「将来に返納することを考えている」では、字下植野が 46.8％で最も高くなっています。

【図表2－2－18 運転免許の返納意向（クロス集計）】

※網掛けは最も割合が高いもの　単位：（%）

		合計（人）	既に返納した	将来に返納することを考えている	返納することは考えていない	運転免許証を持っていない	無回答
性別	男性	313	16.3	45.0	20.8	13.7	4.2
	女性	384	16.4	44.0	14.8	21.9	2.9
年齢別	65～69歳	138	15.2	47.1	21.0	14.5	2.2
	70～74歳	164	11.6	51.8	15.2	18.3	3.0
	75～79歳	203	14.8	41.9	24.1	16.3	3.0
	80～84歳	130	20.8	40.8	10.8	22.3	5.4
	85歳以上	62	27.4	35.5	8.1	24.2	4.8
世帯構成別	１人暮らし	123	18.7	35.0	14.6	26.8	4.9
	夫婦２人暮らし（配偶者65歳以上）	307	16.6	48.9	18.9	12.1	3.6
	夫婦２人暮らし（配偶者64歳以下）	29	3.4	55.2	37.9	3.4	0.0
	息子・娘との２世帯	95	15.8	44.2	10.5	25.3	4.2
	その他	127	15.0	40.9	19.7	22.0	2.4
居住地区別	字大山崎	292	17.1	42.8	14.7	20.2	5.1
	字円明寺	343	16.6	45.5	19.0	16.6	2.3
	字下植野	62	11.3	46.8	22.6	17.7	1.6

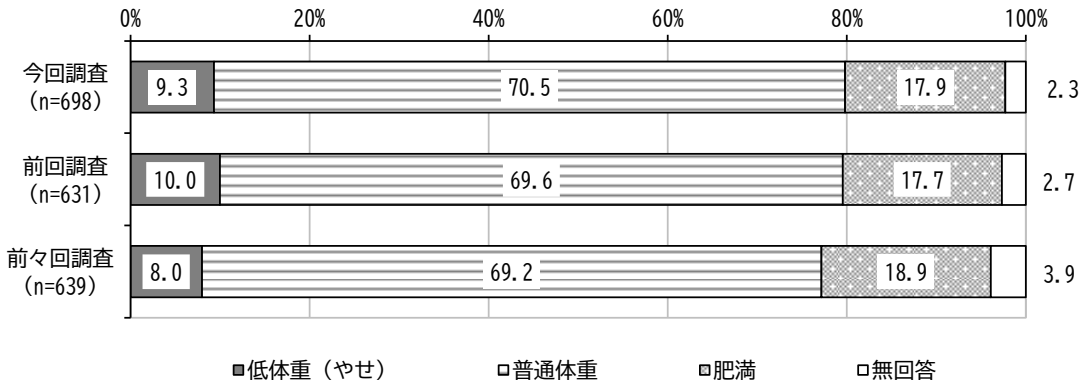
3. 食べることについて

(1) BMI

問 16	身長と体重を教えてください。(数字を記入)

BMI について、「普通体重」が 70.5%で最も高く、次いで「肥満」が 17.9%、「低体重(やせ)」が 9.3%となっています。また、前回調査と比較して「低体重(やせ)」が 0.7 ポイント減少しています。

【図表2－3－1 BMI】



※ BMI18.5 未満:低体重(やせ)、BMI18.5～25 未満:普通体重、BMI25 以上:肥満で算出

性別にみると、「低体重(やせ)」について、男性では 8.0%、女性では 10.4%となっており、女性のほうが 2.4 ポイント高くなっています。

年齢別にみると、「低体重(やせ)」では、65～69 歳が 13.0%で最も高くなっています。

【図表2－3－2 BMI(クロス集計)】

※網掛けは最も割合が高いもの　単位：(%)

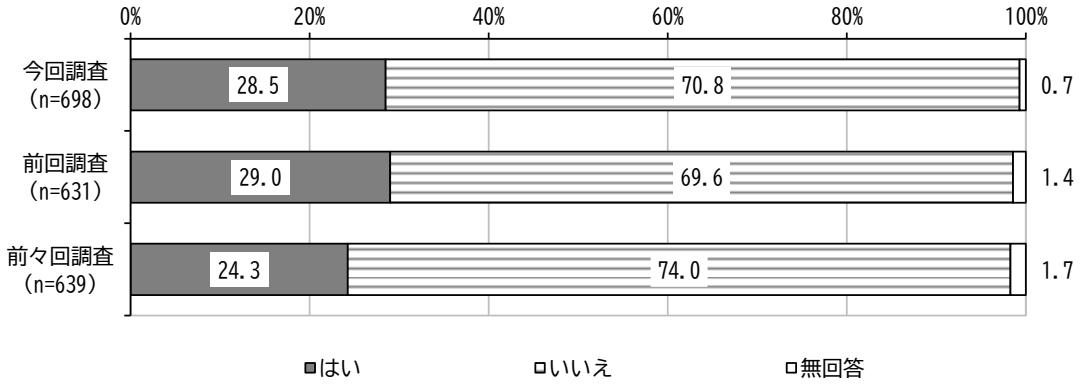
		合計(人)	低体重(やせ)	普通体重	肥満	無回答
性別	男性	313	8.0	69.6	19.8	2.6
	女性	384	10.4	71.1	16.4	2.1
年齢別	65～69歳	138	13.0	68.8	15.9	2.2
	70～74歳	164	6.7	73.2	18.9	1.2
	75～79歳	203	7.9	73.9	15.8	2.5
	80～84歳	130	10.8	64.6	21.5	3.1
	85歳以上	62	9.7	67.7	19.4	3.2
世帯構成別	１人暮らし	123	4.9	74.0	18.7	2.4
	夫婦２人暮らし(配偶者65歳以上)	307	10.4	70.4	17.3	2.0
	夫婦２人暮らし(配偶者64歳以下)	29	3.4	72.4	24.1	0.0
	息子・娘との２世帯	95	10.5	72.6	14.7	2.1
	その他	127	12.6	66.1	18.1	3.1
居住地区別	字大山崎	292	9.2	73.3	14.4	3.1
	字円明寺	343	10.2	67.1	20.7	2.0
	字下植野	62	4.8	75.8	19.4	0.0

（2） 半年前に比べて固いものが食べにくいか

問 17	半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか。（○は1つ）

半年前に比べて固いものが食べにくいかについて、「はい」が 28.5%、「いいえ」が 70.8%となっています。また、前回調査と比較して「はい」が 0.5 ポイント減少しています。

【図表2－3－3 半年前に比べて固いものが食べにくいか】

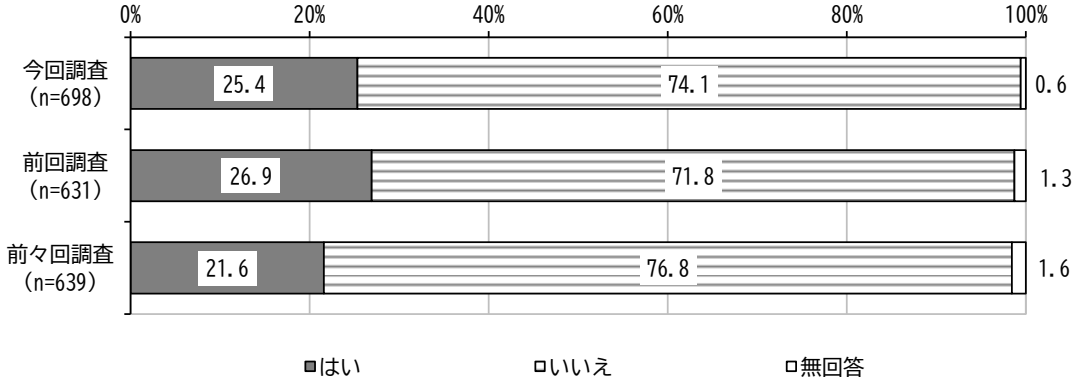


（3） お茶や汁物等でむせることがあるか

問 18	お茶や汁物等でむせることがありますか。（○は1つ）

お茶や汁物等でむせることがあるかについて、「はい」が 25.4%、「いいえ」が 74.1%となっています。また、前回調査と比較して「はい」が 1.5 ポイント減少しています。

【図表2－3－4 お茶や汁物等でむせることがあるか】

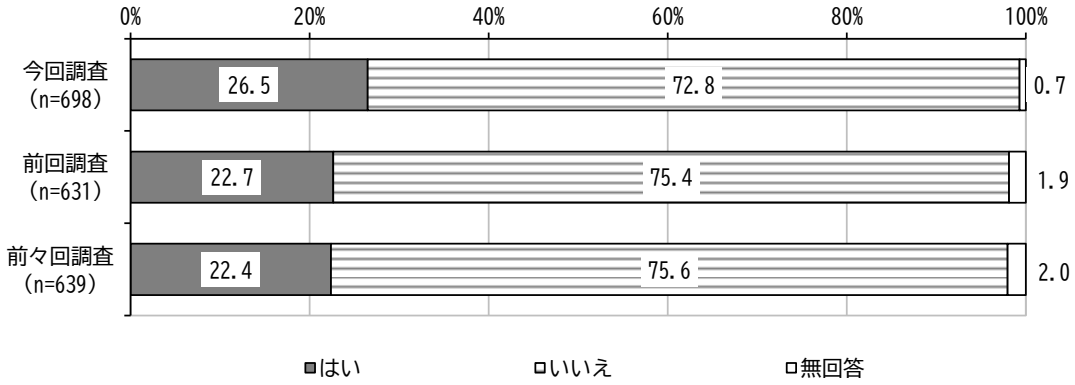


（4） 口の渇きが気になるか

問 19	口の渇きが気になりますか。（○は1つ）

口の渇きが気になるかについて、「はい」が 26.5%、「いいえ」が 72.8%となっています。また、前回調査と比較して「はい」が 3.8 ポイント増加しています。

【図表2－3－5 口の渇きが気になるか】

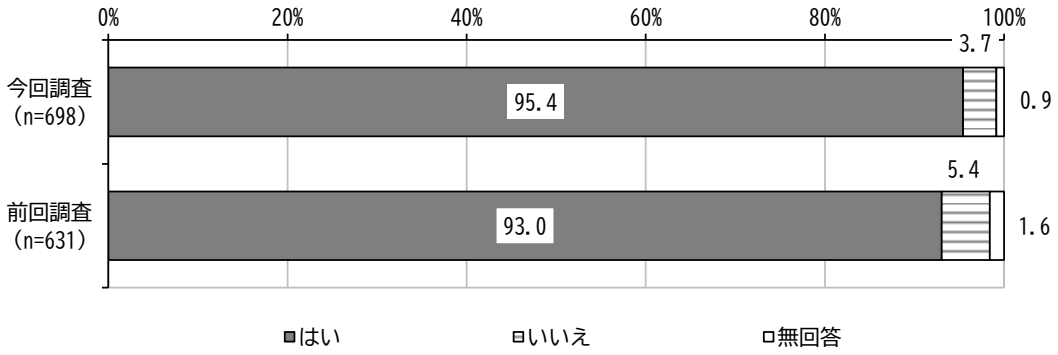


（5） 歯磨きを毎日しているか

問 20	歯磨き（人にやってもらう場合も含む）を毎日していますか。（○は1つ）

歯磨きを毎日しているかについて、「はい」が 95.4%、「いいえ」が 3.7%となっています。また、前回調査と比較して「はい」が 2.4 ポイント増加しています。

【図表2－3－6 歯磨きを毎日しているか】



性別にみると、「はい」について、男性では 95.2%、女性では 95.6%となっており、女性のほうが 0.4 ポイント高くなっています。

年齢別にみると、「はい」では、70～74 歳が 97.0%で最も高くなっています。

【図表2－3－7 歯磨きを毎日しているか（クロス集計）】

※網掛けは最も割合が高いもの　単位：（%）

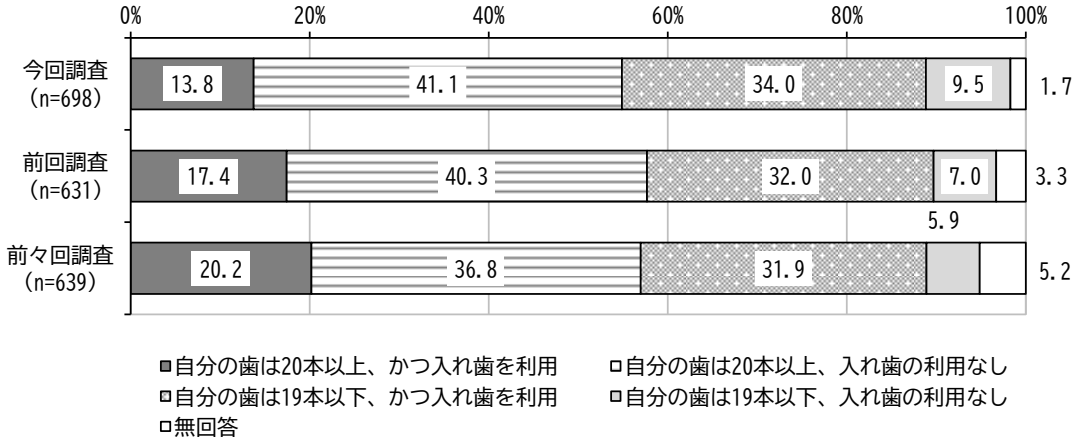
		合計（人）	はい	いいえ	無回答
性別	男性	313	95.2	3.8	1.0
	女性	384	95.6	3.6	0.8
年齢別	65～69歳	138	93.5	4.3	2.2
	70～74歳	164	97.0	3.0	0.0
	75～79歳	203	96.1	3.0	1.0
	80～84歳	130	95.4	4.6	0.0
	85歳以上	62	93.5	4.8	1.6
世帯構成別	１人暮らし	123	95.1	4.1	0.8
	夫婦２人暮らし（配偶者65歳以上）	307	95.4	4.6	0.0
	夫婦２人暮らし（配偶者64歳以下）	29	96.6	3.4	0.0
	息子・娘との２世帯	95	96.8	1.1	2.1
	その他	127	94.5	3.1	2.4
居住地区別	字大山崎	292	95.5	3.4	1.0
	字円明寺	343	96.2	3.2	0.6
	字下植野	62	90.3	8.1	1.6

（6） 歯の数と入れ歯の状況

問 21	歯の数と入れ歯の利用状況をお教えください。 成人の歯の総本数は、親知らずを含めて 32 本です。（○は1つ）

歯の数と入れ歯の状況について、「自分の歯は 20 本以上、入れ歯の利用なし」が 41.1%で最も高く、次いで「自分の歯は 19 本以下、かつ入れ歯を利用」が 34.0%、「自分の歯は 20 本以上、かつ入れ歯を利用」が 13.8%となっています。また、前回調査と比較して「自分の歯は 20 本以上、かつ入れ歯を利用」が 3.6 ポイント減少し、「自分の歯は 19 本以下、入れ歯の利用なし」が 2.5 ポイント増加しています。

【図表2－3－8 歯の数と入れ歯の状況】



性別にみると、男性・女性ともに「自分の歯は 20 本以上、入れ歯の利用なし」が最も高くなっています。

年齢別にみると、「自分の歯は 20 本以上、入れ歯の利用なし」では、80～84 歳が 43.8%で最も高く、85 歳以上になると「自分の歯は 19 本以下、かつ入れ歯を利用」が 37.1%で最も高くなっています。

【図表2－3－9 歯の数と入れ歯の状況（クロス集計）】

※網掛けは最も割合が高いもの　単位：（%）

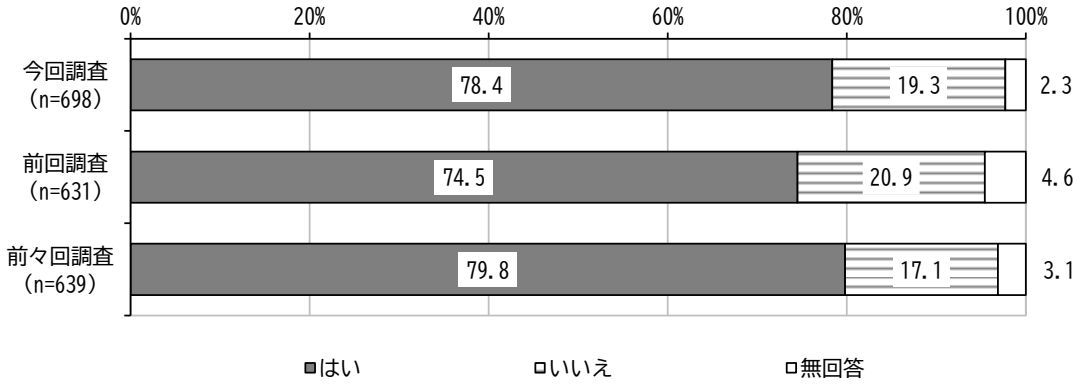
		合計（人）	自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用	自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし	自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用	自分の歯は19本以下、入れ歯の利用なし	無回答
性別	男性	313	12.1	39.0	38.7	8.9	1.3
	女性	384	15.1	43.0	30.2	9.6	2.1
年齢別	65～69歳	138	11.6	41.3	33.3	10.9	2.9
	70～74歳	164	12.2	41.5	35.4	10.4	0.6
	75～79歳	203	16.3	41.9	31.5	7.9	2.5
	80～84歳	130	12.3	43.8	35.4	6.9	1.5
	85歳以上	62	17.7	32.3	37.1	12.9	0.0
世帯構成別	１人暮らし	123	13.8	42.3	33.3	6.5	4.1
	夫婦２人暮らし（配偶者65歳以上）	307	16.9	41.4	35.2	5.9	0.7
	夫婦２人暮らし（配偶者64歳以下）	29	3.4	48.3	31.0	17.2	0.0
	息子・娘との２世帯	95	11.6	31.6	38.9	15.8	2.1
	その他	127	10.2	44.9	28.3	14.2	2.4
居住地区別	字大山崎	292	14.7	41.4	30.5	12.0	1.4
	字円明寺	343	13.4	41.7	36.2	6.7	2.0
	字下植野	62	11.3	37.1	38.7	11.3	1.6

（7） 噛み合わせの状況

問 22	噛み合わせは良いですか。（○は1つ）

噛み合わせの状況について、「はい」が 78.4%、「いいえ」が 19.3%となっています。また、前回調査と比較して「はい」が 3.9 ポイント増加しています。

【図表2－3－10 噛み合わせの状況】

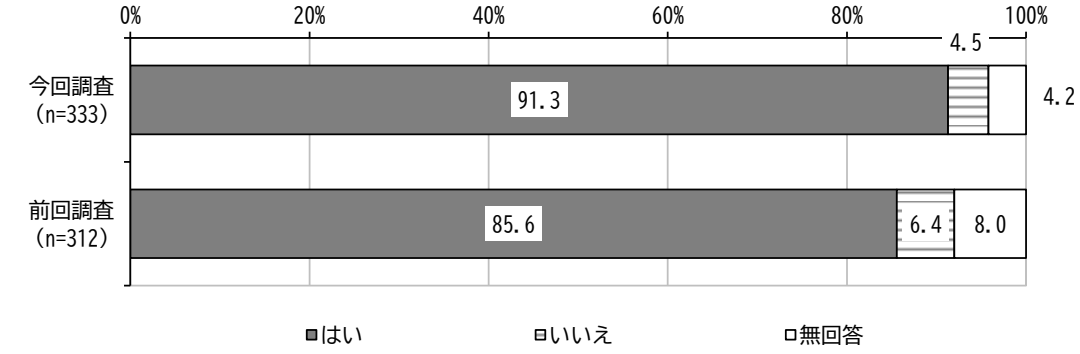


（8） 毎日入れ歯の手入れをしているか

問 23	**【問 21 で「自分の歯は 20 本以上、かつ入れ歯を利用」または「自分の歯は 19 本以下、かつ入れ歯を利用」を回答された方のみ】** 毎日入れ歯の手入れをしていますか。（○は1つ）

毎日入れ歯の手入れをしているかについて、「はい」が 91.3%、「いいえ」が 4.5%となっています。また、前回調査と比較して「はい」が 5.7 ポイント増加しています。

【図表2－3－11 毎日入れ歯の手入れをしているか】

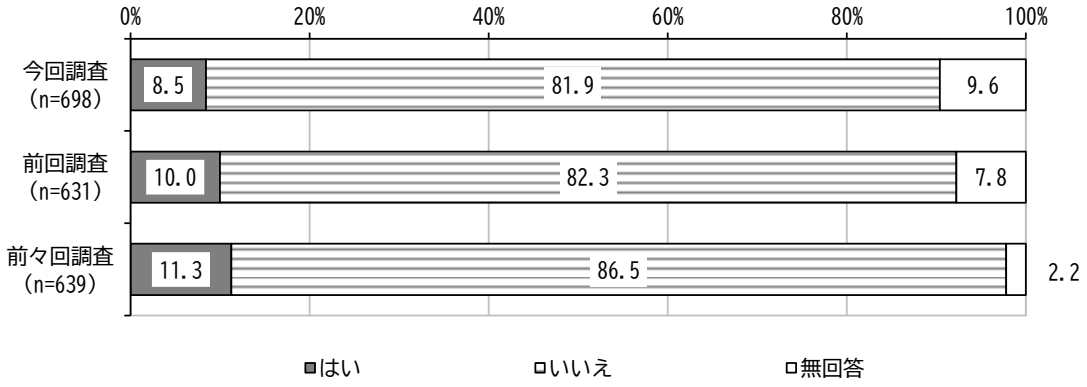


（9） 6か月間で2～3kg 以上の体重減少があったか

問 24	6か月間で2～3kg 以上の体重減少がありましたか。（○は1つ）

6か月間で2～3kg 以上の体重減少があったかについて、「はい」が 8.5%、「いいえ」が 81.9%となっています。また、前回調査と比較して「はい」が 1.5 ポイント減少しています。

【図表2－3－12　6か月間で2～3kg 以上の体重減少があったか】



性別にみると、「はい」について、男性では 9.9%、女性では 7.0%となっており、男性のほうが 2.9 ポイント高くなっています。

年齢別にみると、「はい」では、65～69 歳が 10.1%で最も高くなっています。

世帯構成別でみると、「はい」では、一人暮らしが 11.4%で最も高くなっています。

【図表2－3－13　6か月間で2～3kg 以上の体重減少があったか（クロス集計）】

※網掛けは最も割合が高いもの　単位：（%）

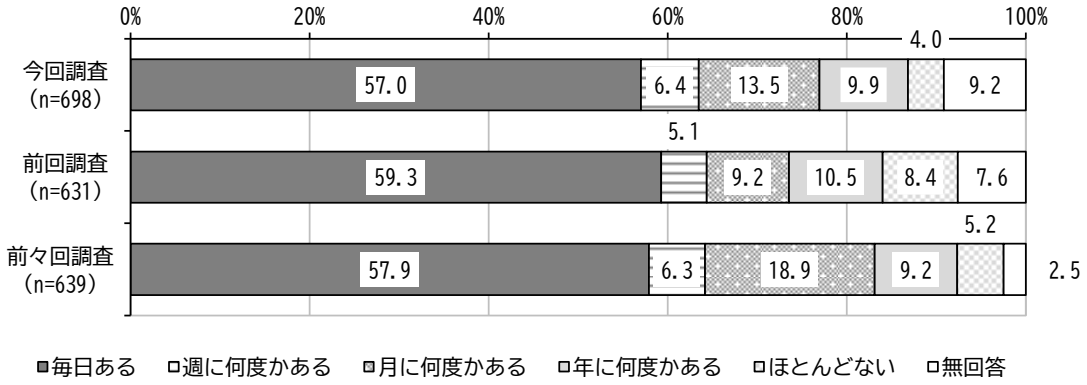
		合計（人）	はい	いいえ	無回答
性別	男性	313	9.9	81.8	8.3
	女性	384	7.0	82.3	10.7
年齢別	65～69歳	138	10.1	77.5	12.3
	70～74歳	164	9.8	81.7	8.5
	75～79歳	203	5.4	83.3	11.3
	80～84歳	130	8.5	85.4	6.2
	85歳以上	62	9.7	82.3	8.1
世帯構成別	１人暮らし	123	11.4	82.1	6.5
	夫婦２人暮らし（配偶者65歳以上）	307	8.5	80.8	10.7
	夫婦２人暮らし（配偶者64歳以下）	29	10.3	82.8	6.9
	息子・娘との２世帯	95	7.4	86.3	6.3
	その他	127	6.3	81.1	12.6
居住地区別	字大山崎	292	7.9	83.2	8.9
	字円明寺	343	8.2	81.0	10.8
	字下植野	62	11.3	82.3	6.5

（10）共食の状況

問 25	どなたかと食事をともにする機会はありますか。（○は1つ）

共食の状況について、「毎日ある」が 57.0％で最も高く、次いで「月に何度かある」が 13.5％、「年に何度かある」が 9.9％となっています。また、前回調査と比較して「毎日ある」が 2.3 ポイント減少しています。

【図表2－3－14 共食の状況】



性別にみると、「ほとんどない」について、男性では 6.4％、女性では 2.1％となっており、男性のほうが 4.3 ポイント高くなっています。

年齢別にみると、「ほとんどない」では、85 歳以上が 9.7％で最も高くなっています。

また、「一人暮らし」では「月に何度かある」が 39.8％で最も高くなっています。

【図表2－3－15 共食の状況（クロス集計）】

※網掛けは最も割合が高いもの　単位：（％）

		合計（人）	毎日ある	週に何度かある	月に何度かある	年に何度かある	ほとんどない	無回答
性別	男性	313	56.9	7.3	13.4	8.3	6.4	7.7
	女性	384	57.0	5.7	13.5	11.2	2.1	10.4
年齢別	65～69歳	138	56.5	5.8	9.4	10.9	4.3	13.0
	70～74歳	164	54.3	7.3	13.4	12.2	4.3	8.5
	75～79歳	203	57.6	6.4	14.3	7.4	3.0	11.3
	80～84歳	130	64.6	4.6	13.1	10.0	2.3	5.4
	85歳以上	62	46.8	9.7	21.0	9.7	9.7	3.2
世帯構成別	１人暮らし	123	3.3	15.4	39.8	26.8	7.3	7.3
	夫婦２人暮らし（配偶者65歳以上）	307	71.3	3.9	6.2	6.2	2.3	10.1
	夫婦２人暮らし（配偶者64歳以下）	29	55.2	10.3	10.3	3.4	10.3	10.3
	息子・娘との２世帯	95	67.4	5.3	9.5	7.4	5.3	5.3
	その他	127	66.9	3.9	7.9	7.1	3.1	11.0
居住地区別	字大山崎	292	58.6	6.5	13.0	10.3	4.5	7.2
	字円明寺	343	56.6	5.8	12.8	9.6	3.5	11.7
	字下植野	62	51.6	9.7	19.4	9.7	4.8	4.8

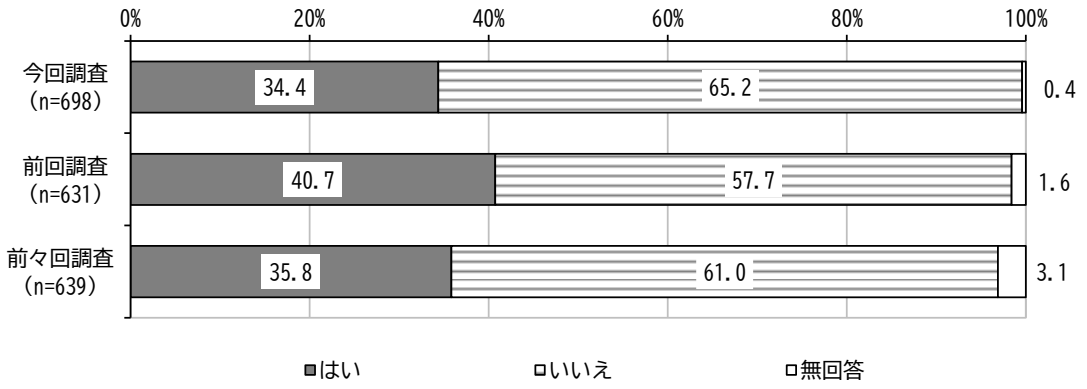
4. 毎日の生活について

(1) 物忘れが多いと感じるか

問 26	物忘れが多いと感じますか。(○は1つ)

物忘れが多いと感じるかについて、「はい」が 34.4%、「いいえ」が 65.2%となっています。また、前回調査と比較して「はい」が 6.3 ポイント減少しています。

【図表2－4－1 物忘れが多いと感じるか】

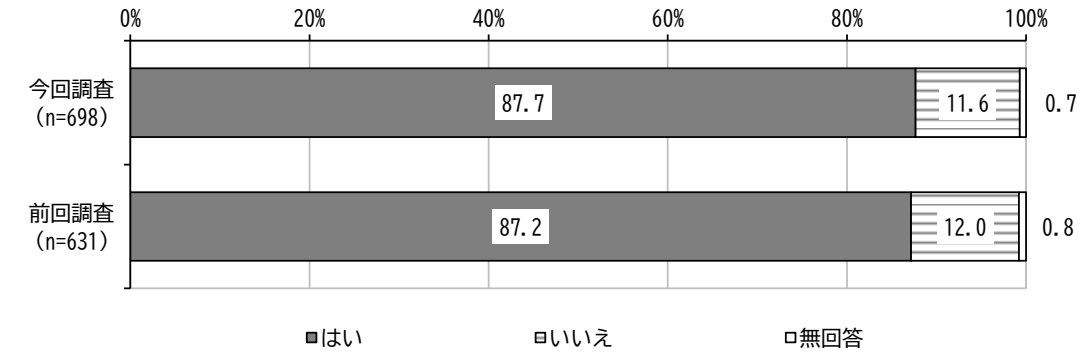


(2) 自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしているか

問 27	自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか。(○は1つ)

自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしているかについて、「はい」が 87.7%、「いいえ」が 11.6%となっています。また、前回調査と比較して「はい」が 0.5 ポイント増加しています。

【図表2－4－2 自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしているか】

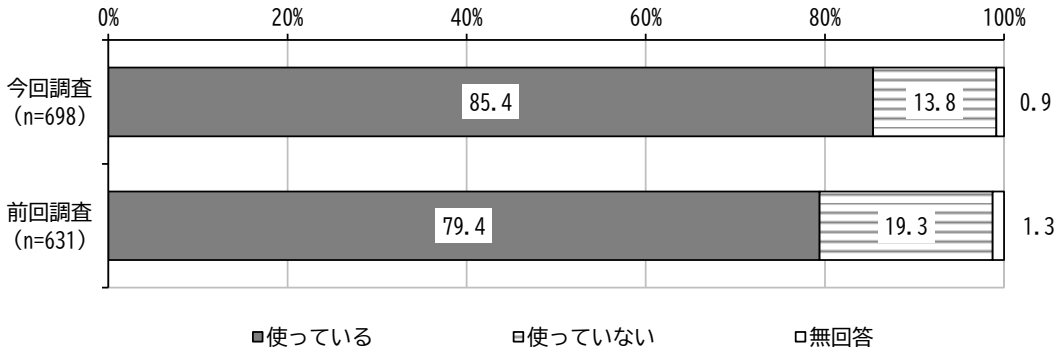


（3）スマートフォンを使っているか

問 28	スマートフォンを使っていますか。（○は1つ）

スマートフォンを使っているかについて、「使っている」が 85.4%、「使っていない」が 13.8%となっています。また、前回調査と比較して「使っている」が 6.0 ポイント増加しています。

【図表2－4－3 スマートフォンを使っているか】



性別にみると、「使っている」について、男性では 84.3%、女性では 86.5%となっており、女性のほうが 2.2 ポイント高くなっています。

年齢別にみると、「使っている」では、65～69 歳が 89.1%で最も高くなっています。

【図表2－4－4 スマートフォンを使っているか（クロス集計）】

※網掛けは最も割合が高いもの　単位：（%）

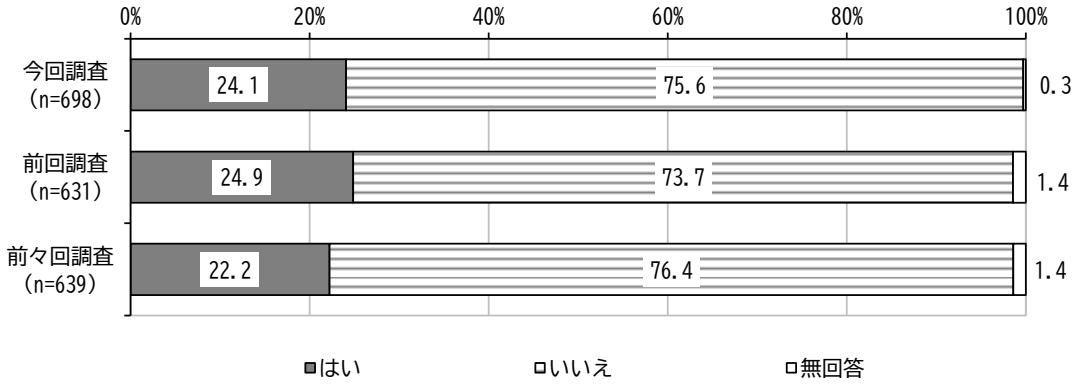
		合計（人）	使っている	使っていない	無回答
性別	男性	313	84.3	14.7	1.0
	女性	384	86.5	12.8	0.8
年齢別	65～69歳	138	89.1	10.1	0.7
	70～74歳	164	89.0	10.4	0.6
	75～79歳	203	84.2	15.3	0.5
	80～84歳	130	84.6	13.8	1.5
	85歳以上	62	74.2	24.2	1.6
世帯構成別	１人暮らし	123	85.4	14.6	0.0
	夫婦２人暮らし（配偶者65歳以上）	307	88.3	11.4	0.3
	夫婦２人暮らし（配偶者64歳以下）	29	86.2	13.8	0.0
	息子・娘との２世帯	95	77.9	18.9	3.2
	その他	127	82.7	15.7	1.6
居住地区別	字大山崎	292	84.9	14.0	1.0
	字円明寺	343	86.9	12.2	0.9
	字下植野	62	80.6	19.4	0.0

（4） 今日が何月何日かわからない時があるか

問 29	今日が何月何日かわからない時がありますか。（○は1つ）

今日が何月何日かわからない時があるかについて、「はい」が 24.1%、「いいえ」が 75.6%となっています。また、前回調査と比較して「はい」が 0.8 ポイント減少しています。

【図表2－4－5 今日が何月何日かわからない時があるか】

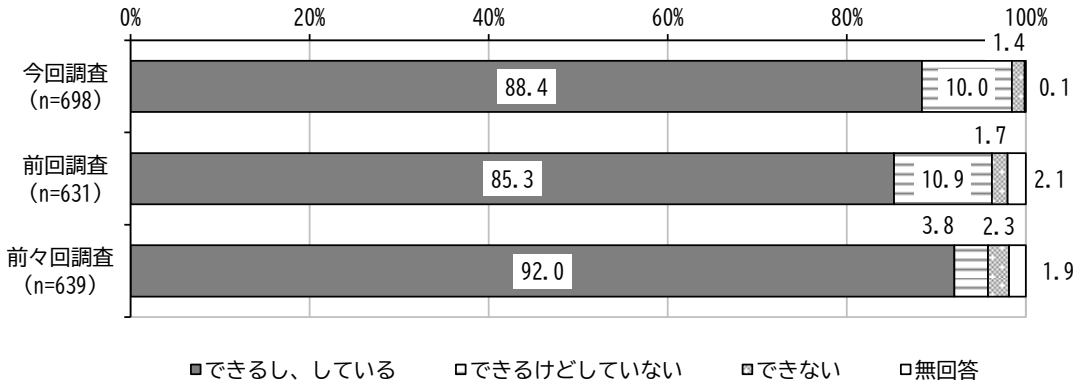


（5） バスや電車を使って1人で外出しているか

問 30	バスや電車を使って1人で外出していますか。（自家用車でも可）（○は1つ）

バスや電車を使って1人で外出しているかについて、「できるし、している」が 88.4%で最も高く、次いで「できるけどしていない」が 10.0%、「できない」が 1.4%となっています。また、前回調査と比較して「できるし、している」が 3.1 ポイント増加しています。

【図表2－4－6 バスや電車を使って1人で外出しているか】

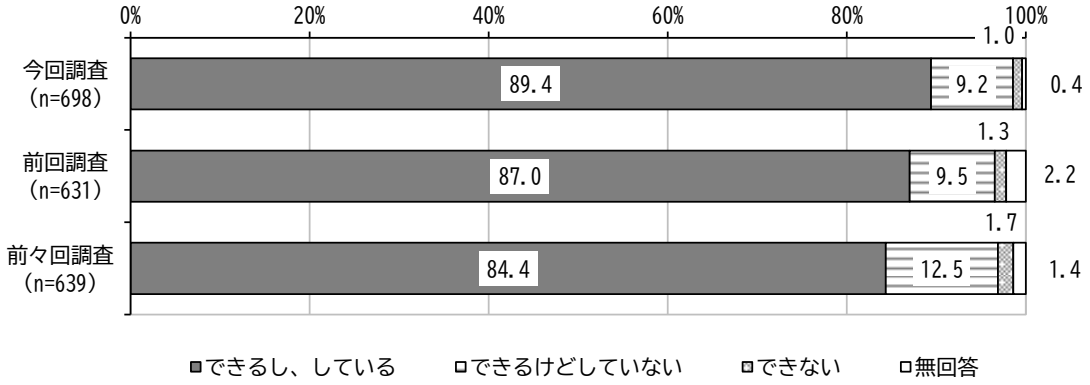


（6） 自分で食品・日用品の買物をしているか

問 31	自分で食品・日用品の買物をしていますか。（○は1つ）

自分で食品・日用品の買物をしているかについて、「できるし、している」が 89.4％で最も高く、次いで「できるけどしていない」が 9.2％、「できない」が 1.0％となっています。また、前回調査と比較して「できるし、している」が 2.4 ポイント増加しています。

【図表2－4－7 自分で食品・日用品の買物をしているか】

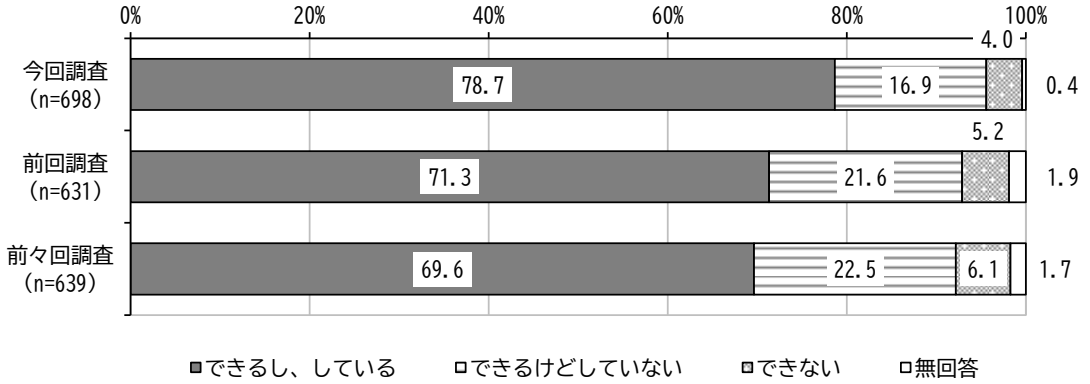


（7） 自分で食事の用意をしているか

問 32	自分で食事の用意をしていますか。（○は1つ）

自分で食事の用意をしているかについて、「できるし、している」が 78.7％で最も高く、次いで「できるけどしていない」が 16.9％、「できない」が 4.0％となっています。また、前回調査と比較して「できるし、している」が 7.4 ポイント増加しています。

【図表2－4－8 自分で食事の用意をしているか】

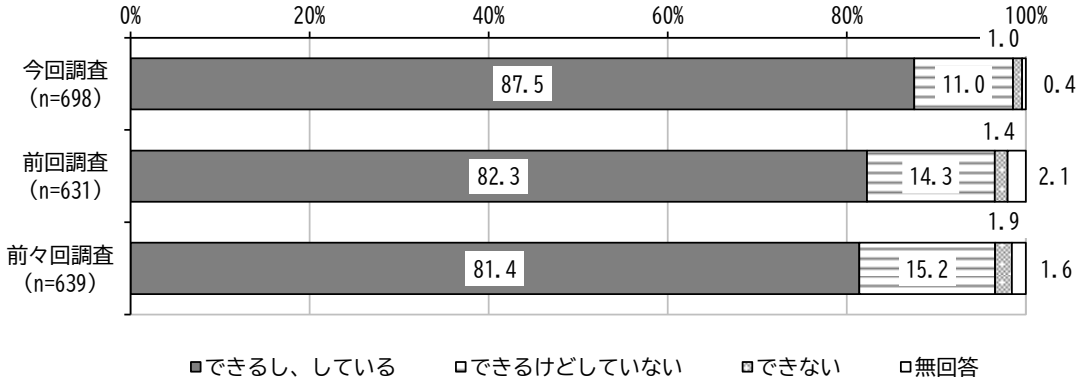


（8） 自分で請求書の支払いをしているか

問 33	自分で請求書の支払いをしていますか。（○は1つ）

自分で請求書の支払いをしているかについて、「できるし、している」が 87.5％で最も高く、次いで「できるけどしていない」が 11.0％、「できない」が 1.0％となっています。また、前回調査と比較して「できるし、している」が 5.2 ポイント増加しています。

【図表2－4－9 自分で請求書の支払いをしているか】

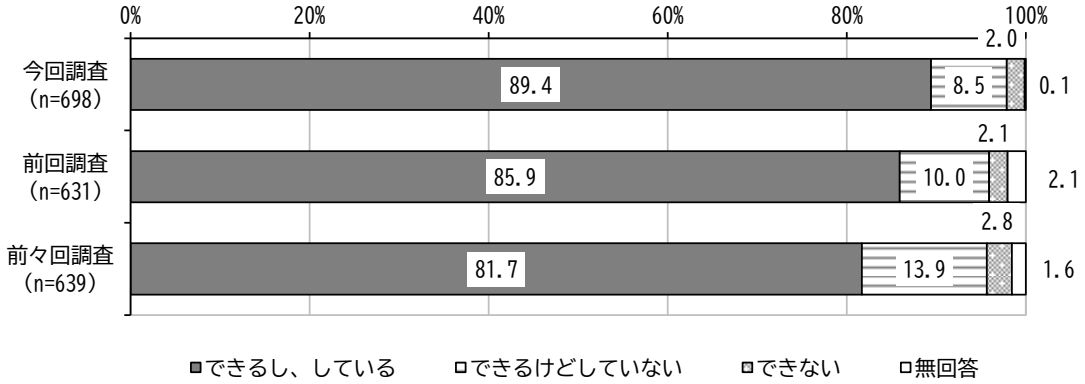


（9） 自分で預貯金の出し入れをしているか

問 34	自分で預貯金の出し入れをしていますか。（○は1つ）

自分で預貯金の出し入れをしているかについて、「できるし、している」が 89.4％で最も高く、次いで「できるけどしていない」が 8.5％、「できない」が 2.0％となっています。また、前回調査と比較して「できるし、している」が 3.5 ポイント増加しています。

【図表2－4－10 自分で預貯金の出し入れをしているか】

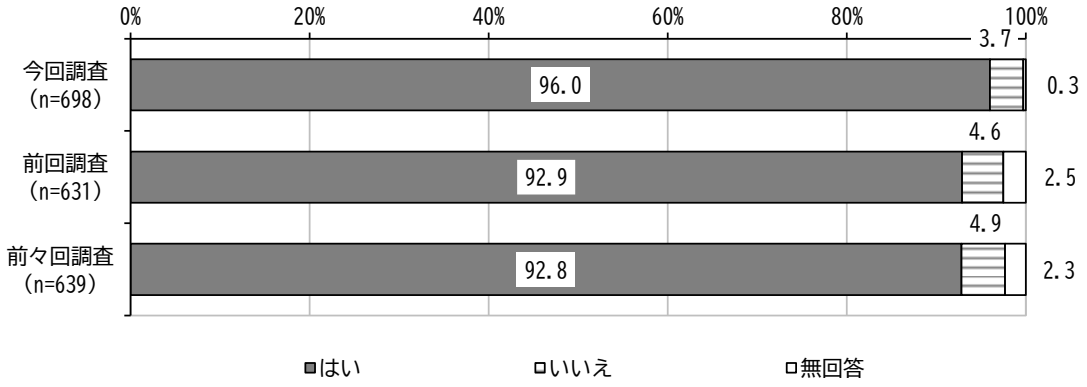


（10） 年金などの書類が書けるか

問 35	年金などの書類(役所や病院などに出す書類)が書けますか。(○は1つ)

年金などの書類が書けるかについて、「はい」が 96.0%、「いいえ」が 3.7%となっています。また、前回調査と比較して「はい」が 3.1 ポイント増加しています。

【図表2－4－11 年金などの書類が書けるか】

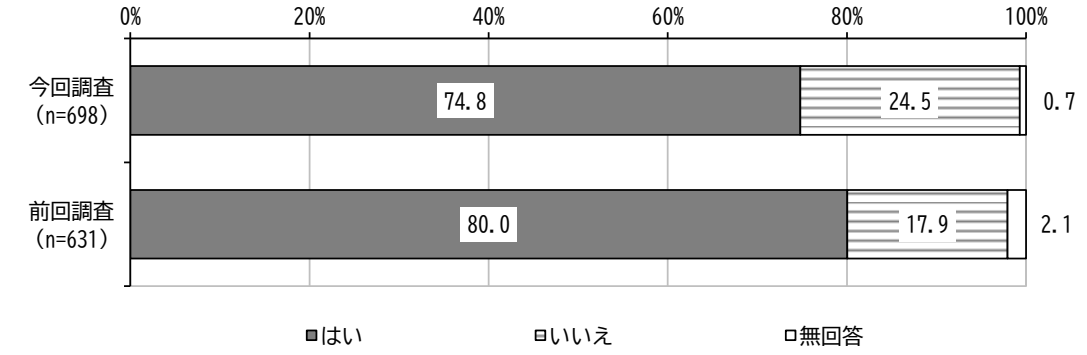


（11） 新聞を読んでいるか

問 36	新聞を読んでいますか。(○は1つ)

新聞を読んでいるかについて、「はい」が 74.8%、「いいえ」が 24.5%となっています。また、前回調査と比較して「はい」が 5.2 ポイント減少しています。

【図表2－4－12 新聞を読んでいるか】

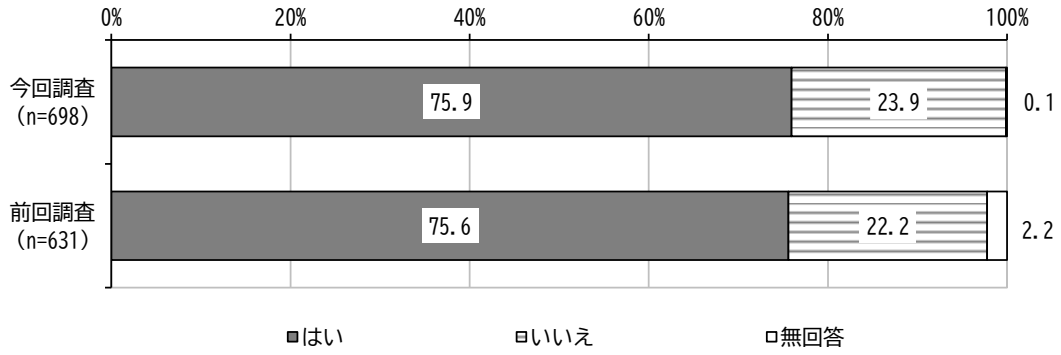


（12） 本や雑誌を読んでいるか

問 37	本や雑誌を読んでいますか。（○は1つ）

本や雑誌を読んでいるかについて、「はい」が 75.9%、「いいえ」が 23.9%となっています。また、前回調査と比較して「はい」が 0.3 ポイント増加しています。

【図表2－4－13 本や雑誌を読んでいるか】

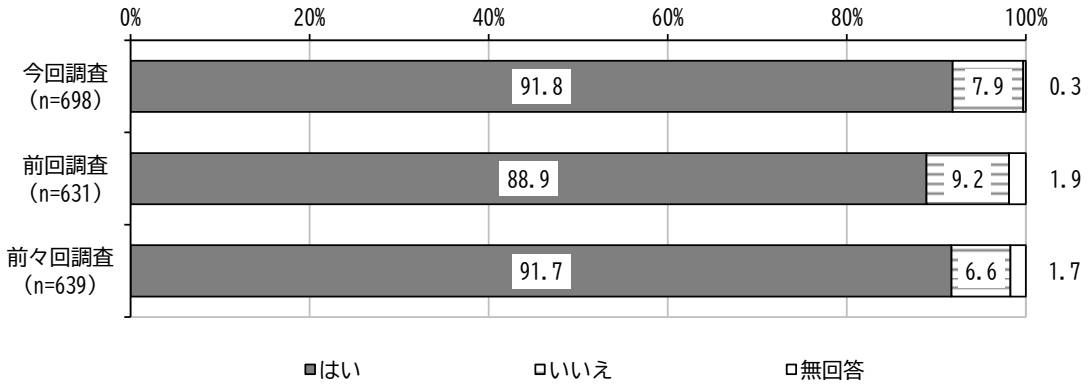


（13） 健康についての記事や番組に関心があるか

問 38	健康についての記事や番組に関心がありますか。（○は1つ）

健康についての記事や番組に関心があるかについて、「はい」が 91.8%、「いいえ」が 7.9%となっています。また、前回調査と比較して「はい」が 2.9 ポイント増加しています。

【図表2－4－14 健康についての記事や番組に関心があるか】

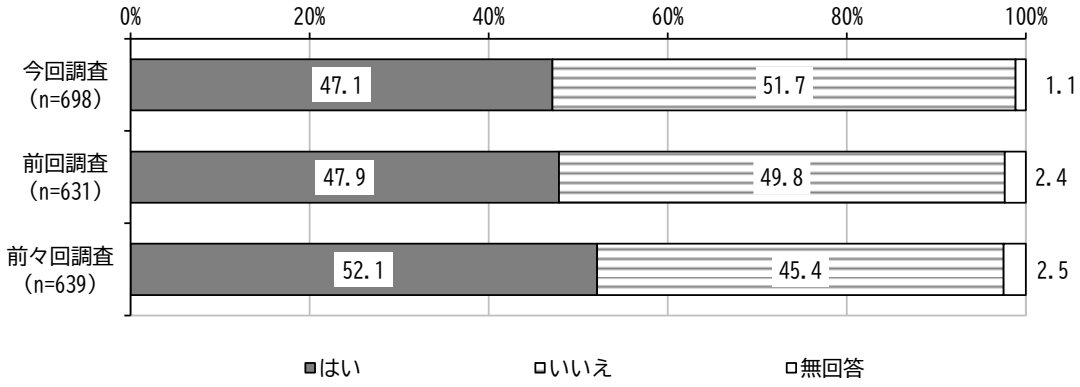


（14）友人の家を訪ねているか

問 39	友人の家を訪ねていますか。（○は1つ）

友人の家を訪ねているかについて、「はい」が 47.1%、「いいえ」が 51.7%となっています。また、前回調査と比較して「はい」が 0.8 ポイント減少しています。

【図表2－4－15 友人の家を訪ねているか】



性別にみると、「はい」について、男性では 41.5%、女性では 51.8%となっており、女性のほうが 10.3 ポイント高くなっています。

年齢別にみると、「はい」では、75～79 歳が 50.2%で最も高くなっています。

【図表2－4－16 友人の家を訪ねているか(クロス集計)】

※網掛けは最も割合が高いもの　単位：(%)

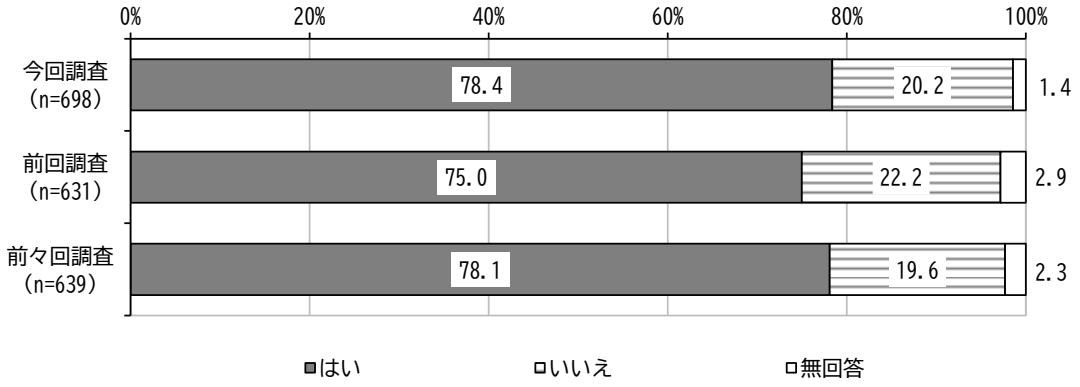
		合計（人）	はい	いいえ	無回答
性別	男性	313	41.5	57.5	1.0
	女性	384	51.8	46.9	1.3
年齢別	65～69歳	138	47.1	51.4	1.4
	70～74歳	164	45.1	53.0	1.8
	75～79歳	203	50.2	48.8	1.0
	80～84歳	130	46.2	53.1	0.8
	85歳以上	62	45.2	54.8	0.0
世帯構成別	１人暮らし	123	46.3	53.7	0.0
	夫婦２人暮らし(配偶者65歳以上)	307	47.2	51.8	1.0
	夫婦２人暮らし(配偶者64歳以下)	29	20.7	75.9	3.4
	息子・娘との２世帯	95	49.5	48.4	2.1
	その他	127	52.0	46.5	1.6
居住地区別	字大山崎	292	44.9	54.1	1.0
	字円明寺	343	49.3	49.6	1.2
	字下植野	62	46.8	51.6	1.6

（15） 家族や友人の相談にのっているか

問 40	家族や友人の相談にのっていますか。（○は1つ）

家族や友人の相談にのっているかについて、「はい」が 78.4%、「いいえ」が 20.2%となっています。また、前回調査と比較して「はい」が 3.4 ポイント増加しています。

【図表2－4－17 家族や友人の相談にのっているか】

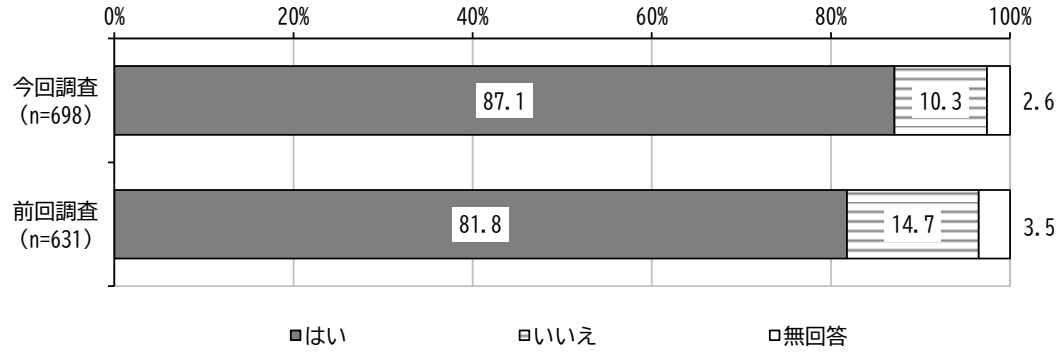


（16） 病人を見舞うことができるか

問 41	病人を見舞うことができますか。（○は1つ）

病人を見舞うことができるかについて、「はい」が 87.1%、「いいえ」が 10.3%となっています。また、前回調査と比較して「はい」が 5.3 ポイント増加しています。

【図表2－4－18 病人を見舞うことができるか】

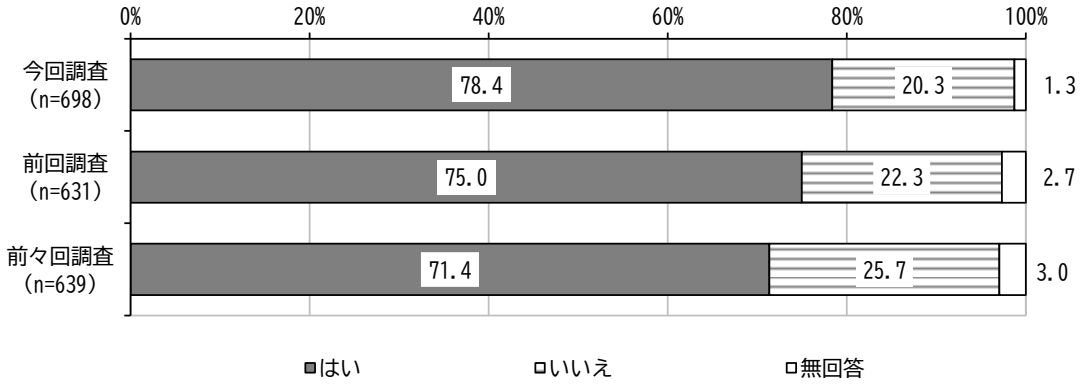


（17）若い人に自分から話しかけることがあるか

問 42	若い人に自分から話しかけることがありますか。（○は1つ）

若い人に自分から話しかけることがあるかについて、「はい」が 78.4%、「いいえ」が 20.3%となっています。また、前回調査と比較して「はい」が 3.4 ポイント増加しています。

【図表2－4－19 若い人に自分から話しかけることがあるか】

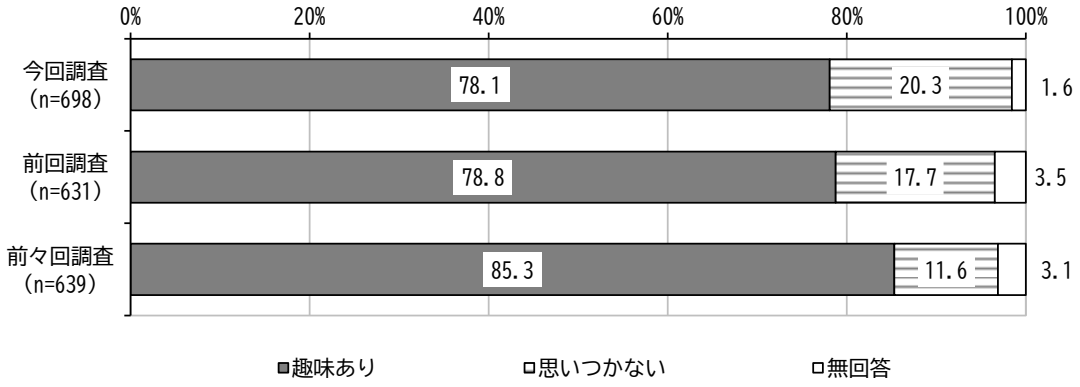


（18） 趣味はあるか

問 43	趣味はありますか。（○は1つ）

趣味はあるかについて、「趣味あり」が 78.1%、「思いつかない」が 20.3%となっています。また、前回調査と比較して「趣味あり」が 0.7 ポイント減少しています。

【図表2－4－20 趣味はあるか】



性別にみると、「趣味あり」について、男性では 74.1%、女性では 81.3%となっており、女性のほうが 7.2 ポイント高くなっています。

年齢別にみると、「趣味あり」では、75～79 歳が 80.8%で最も高くなっています。

居住地区別にみると、「趣味あり」では、字円明寺が 83.7%で最も高くなっています。

【図表2－4－21 趣味はあるか（クロス集計）】

※網掛けは最も割合が高いもの　単位：（%）

		合計（人）	趣味あり	思いつかない	無回答
性別	男性	313	74.1	24.6	1.3
	女性	384	81.3	16.9	1.8
年齢別	65～69歳	138	77.5	20.3	2.2
	70～74歳	164	78.0	20.7	1.2
	75～79歳	203	80.8	17.7	1.5
	80～84歳	130	76.9	21.5	1.5
	85歳以上	62	72.6	25.8	1.6
世帯構成別	１人暮らし	123	80.5	16.3	3.3
	夫婦２人暮らし（配偶者65歳以上）	307	80.5	18.6	1.0
	夫婦２人暮らし（配偶者64歳以下）	29	72.4	27.6	0.0
	息子・娘との２世帯	95	71.6	26.3	2.1
	その他	127	75.6	22.8	1.6
居住地区別	字大山崎	292	73.6	25.0	1.4
	字円明寺	343	83.7	14.9	1.5
	字下植野	62	67.7	29.0	3.2

趣味の内容について、『読書・新聞などの文学系』が 92 件で最も多く、次いで『手芸・裁縫・編み物などの創作系』が 88 件、『園芸』が 74 件となっています。

【図表2－4－22 趣味の内容】

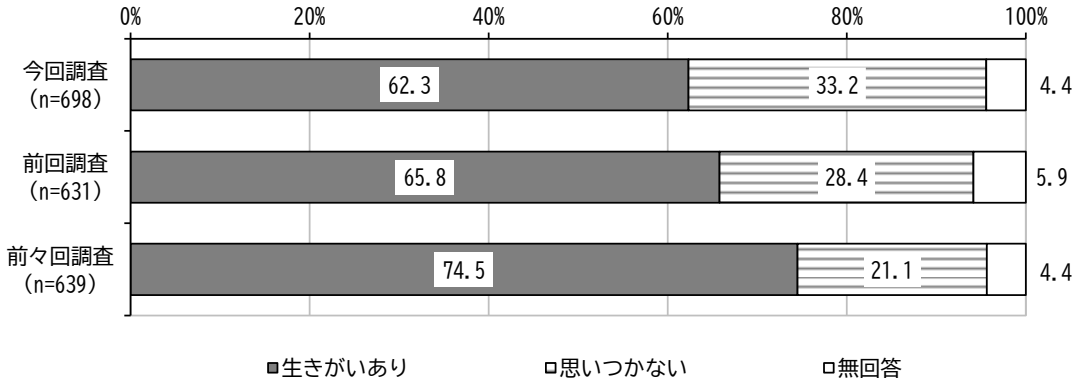
分類	内容	分類	内容
読書・新聞などの文学系（92件）	読書	旅行・外出（49件）	旅行
	新聞		ドライブ
	推理小説		寺社巡り　など
	ブログ　など	ゲーム（44件）	麻雀
手芸・裁縫・編み物などの創作系（88件）	手芸		囲碁
	ビーズ		将棋
	パッチワーク		スマホゲーム　など
	編み物	料理・お菓子作り（33件）	料理
	ペーパークラフト		ケーキ作り
	竹細工　など		パン作り　など
園芸（74件）	ガーデニング	絵画・写真・美術鑑賞などのアート系（32件）	絵画
	花の手入れ		水彩画
	野菜作り		陶芸
	家庭菜園		工芸
	盆栽　など		美術鑑賞　など
映画・ドラマ鑑賞（63件）	映画鑑賞	パソコン・機械（22件）	パソコン
	韓流ドラマ		画像編集
	YouTube		アマチュア無線
	アニメ　など		３Ｄプリント　など
散歩・登山（61件）	ウォーキング	サークル（18件）	サークル活動
	散歩		ボランティア
	ハイキング		地域活動　など
	登山	車などの乗り物（９件）	車　など
	ジョギング　など	ペットの世話（６件）	犬
カラオケ・楽器などの音楽系（58件）	カラオケ		メダカ育成　など
	音楽鑑賞	その他（９件）	政治　など
	ギター		
	ピアノ　など		
スポーツ・運動（56件）	卓球		
	テニス		
	グラウンドゴルフ		
	体操		
	ヨガ		
	太極拳　など		

（19）生きがいはあるか

問 44	生きがいはありますか。（○は1つ）

生きがいはあるかについて、「生きがいあり」が 62.3%、「思いつかない」が 33.2%となっています。また、前回調査と比較して「生きがいあり」が 3.5 ポイント減少しています。

【図表2－4－23 生きがいはあるか】



性別にみると、「生きがいあり」について、男性では 57.8%、女性では 66.1%となっており、女性のほうが 8.3 ポイント高くなっています。

年齢別にみると、「生きがいあり」では、75～79 歳が 67.5%で最も高くなっています。

居住地区別にみると、「生きがいあり」では、字円明寺が 65.3%で最も高くなっています。

【図表2－4－24 生きがいはあるか(クロス集計)】

※網掛けは最も割合が高いもの　単位：(%)

		合計（人）	生きがいあり	思いつかない	無回答
性別	男性	313	57.8	38.0	4.2
	女性	384	66.1	29.2	4.7
年齢別	65～69歳	138	58.7	38.4	2.9
	70～74歳	164	62.2	33.5	4.3
	75～79歳	203	67.5	30.0	2.5
	80～84歳	130	59.2	33.8	6.9
	85歳以上	62	61.3	29.0	9.7
世帯構成別	１人暮らし	123	68.3	27.6	4.1
	夫婦２人暮らし(配偶者65歳以上)	307	63.2	33.2	3.6
	夫婦２人暮らし(配偶者64歳以下)	29	62.1	37.9	0.0
	息子・娘との２世帯	95	58.9	34.7	6.3
	その他	127	57.5	37.0	5.5
居住地区別	字大山崎	292	58.9	37.0	4.1
	字円明寺	343	65.3	30.0	4.7
	字下植野	62	62.9	32.3	4.8

生きがいの内容について、『孫・子ども・家族との時間』が 143 件で最も多く、次いで『旅行・外出』が 82 件、『趣味』が 78 件となっています。

【図表2－4－25 生きがいの内容】

分類	内容
孫・子ども・家族との時間（143件）	孫の成長
	孫と話す・遊ぶこと
	家族旅行
	家族の健康
旅行・外出（82件）	子どもの幸せ　　など
	旅行
	ドライブ
	温泉
	登山　　など
趣味（78件）	手芸・編み物・陶芸
	絵画・カラオケ・音楽
	ゴルフ・卓球
	読書・歴史本
	競馬・パチンコ　　など
仕事（47件）	パート・アルバイト
	仕事　　など
健康（44件）	健康管理
	元気で長生き　　など

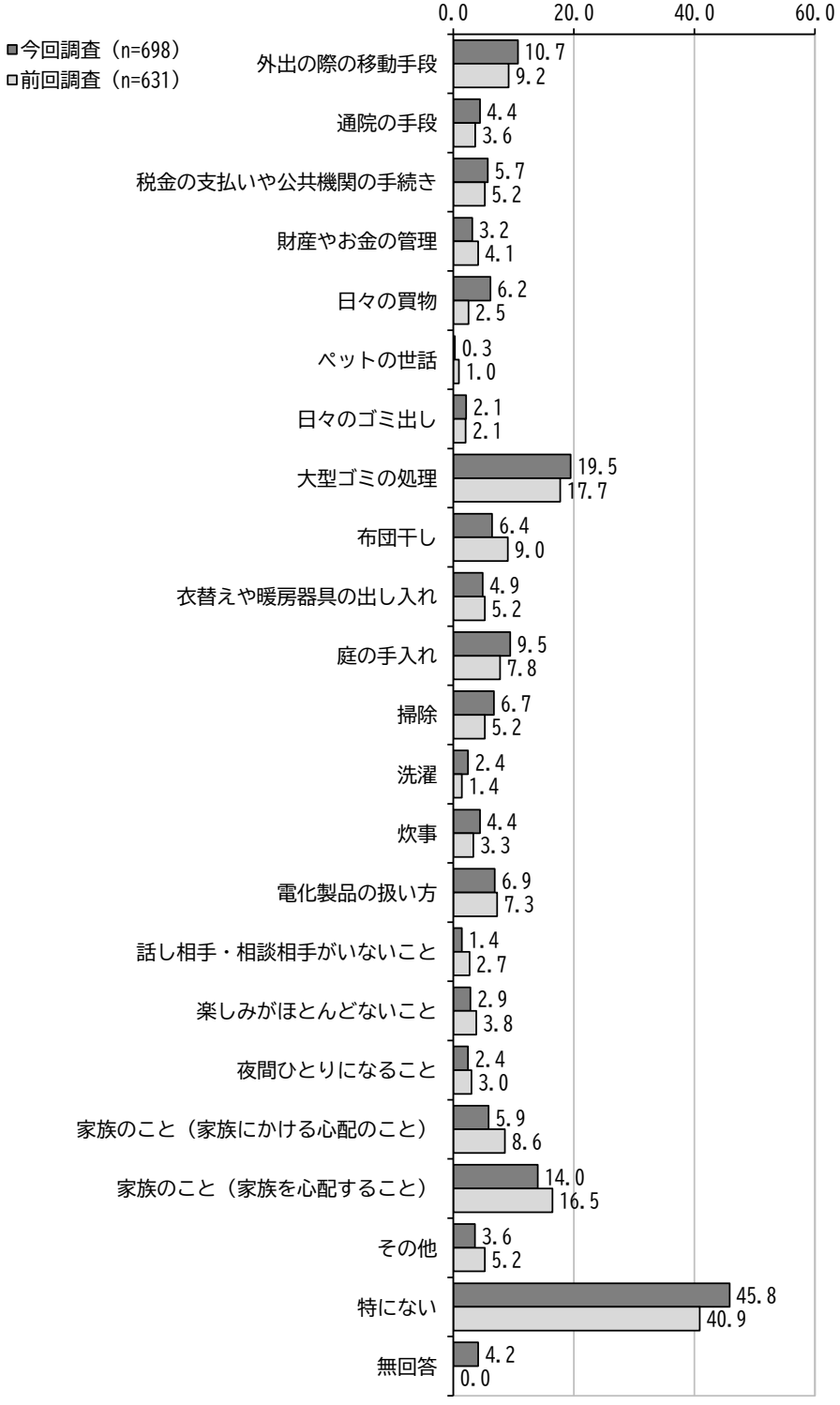
分類	内容
友人との交流（41件）	友達との食事
	サークル活動
	仲間との会話　　など
ボランティア（29件）	ボランティア活動
	人の役に立つこと
	子育て支援　　など
ペット（12件）	犬の世話
	猫の介護　　など
宗教（10件）	宗教
	聖書
	寺院での奉仕　　など
その他（18件）	毎日の生活　　など

（20）暮らしの中で困っていること

問 45	あなたが暮らしの中で困っていることは何ですか。（○はいくつでも）

暮らしの中で困っていることについて、「特にない」が 45.8％で最も高く、次いで「大型ゴミの処理」が 19.5％、「家族のこと（家族を心配すること）」が 14.0％となっています。また、前回調査と比較して「特にない」が 4.9 ポイント増加しています。

【図表2－4－26 暮らしの中で困っていること】



【図表2－4－27 暮らしの中で困っていること(クロス集計)】

※網掛けは最も割合が高いもの　単位：(MA%)

		合計（人）	外出の際の移動手段	通院の手段	税金の支払いや公共機関の手続き	財産やお金の管理	日々の買物	ペットの世話	日々のゴミ出し	大型ゴミの処理	布団干し	衣替えや暖房器具の出し入れ	庭の手入れ	掃除
性別	男性	313	12.8	4.8	7.0	3.5	6.7	0.6	2.6	19.8	7.0	5.8	9.3	8.6
	女性	384	8.9	3.9	4.4	2.6	5.5	0.0	1.6	19.0	5.7	3.9	9.6	4.9
年齢別	65～69歳	138	10.9	5.8	5.1	6.5	5.1	0.0	2.2	16.7	5.8	2.9	9.4	5.8
	70～74歳	164	10.4	4.3	7.9	3.7	7.9	0.6	2.4	21.3	6.1	4.9	7.9	6.7
	75～79歳	203	7.9	3.0	4.4	1.0	5.4	0.5	2.0	21.7	3.9	4.9	10.3	5.4
	80～84歳	130	13.8	4.6	6.2	1.5	5.4	0.0	1.5	16.9	6.2	3.8	7.7	6.9
	85歳以上	62	12.9	4.8	3.2	3.2	6.5	0.0	1.6	17.7	16.1	9.7	14.5	11.3
世帯構成別	１人暮らし	123	12.2	7.3	3.3	1.6	5.7	0.0	3.3	27.6	10.6	5.7	13.0	10.6
	夫婦２人暮らし(配偶者65歳以上)	307	11.7	4.9	6.5	3.3	7.2	0.3	0.7	16.0	5.5	4.6	7.8	5.2
	夫婦２人暮らし(配偶者64歳以下)	29	3.4	3.4	13.8	10.3	3.4	0.0	3.4	10.3	3.4	6.9	6.9	6.9
	息子・娘との２世帯	95	11.6	4.2	2.1	2.1	5.3	0.0	4.2	16.8	5.3	2.1	7.4	5.3
	その他	127	7.1	0.8	7.1	3.1	5.5	0.8	1.6	22.0	6.3	7.1	11.0	7.9
居住地区別	字大山崎	292	12.7	6.8	5.1	2.4	7.9	0.3	3.1	16.1	8.2	5.5	6.5	8.9
	字円明寺	343	9.3	1.7	5.5	2.9	4.7	0.3	1.2	22.4	5.0	4.4	10.2	4.7
	字下植野	62	8.1	6.5	8.1	6.5	4.8	0.0	1.6	17.7	4.8	3.2	19.4	6.5

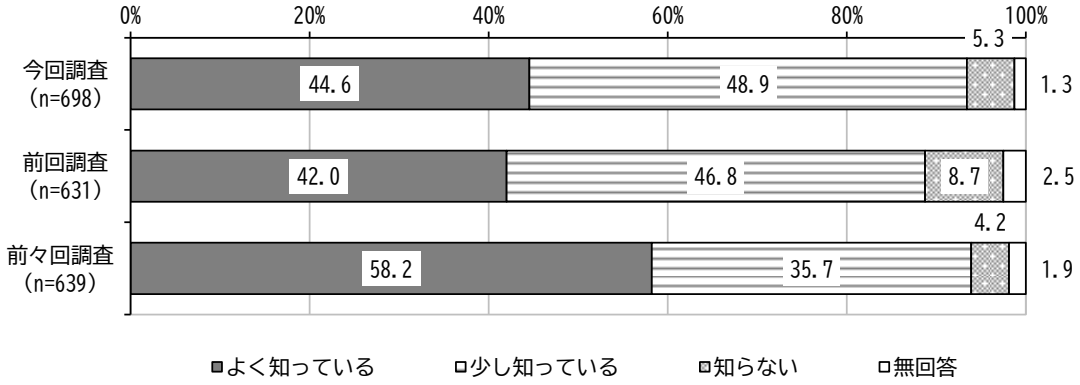
		合計（人）	洗濯	炊事	電化製品の扱い方	話し相手・相談相手がいないこと	楽しみがほとんどないこと	夜間ひとりになること	家族のこと（家族にかける心配のこと）	家族のこと（家族を心配すること）	その他	特にない	無回答
性別	男性	313	3.2	4.8	8.0	1.9	4.2	2.2	6.4	15.3	4.5	41.2	3.8
	女性	384	1.6	3.9	6.0	0.8	1.8	2.3	5.2	13.0	2.9	49.7	4.4
年齢別	65～69歳	138	2.9	2.9	6.5	2.2	3.6	0.7	6.5	17.4	2.2	44.9	5.1
	70～74歳	164	1.2	4.3	6.7	2.4	3.7	0.6	5.5	11.6	6.1	47.0	4.3
	75～79歳	203	2.5	4.4	3.9	0.5	2.5	4.4	6.4	15.3	3.0	46.8	3.4
	80～84歳	130	2.3	3.8	9.2	0.0	1.5	3.1	3.8	9.2	3.8	46.2	5.4
	85歳以上	62	3.2	8.1	12.9	1.6	3.2	1.6	6.5	19.4	1.6	41.9	1.6
世帯構成別	１人暮らし	123	1.6	7.3	7.3	3.3	3.3	10.6	5.7	6.5	4.1	37.4	4.1
	夫婦２人暮らし(配偶者65歳以上)	307	2.3	2.6	7.5	0.7	3.3	0.7	5.5	13.7	3.3	48.2	4.2
	夫婦２人暮らし(配偶者64歳以下)	29	3.4	0.0	3.4	10.3	10.3	0.0	3.4	10.3	6.9	58.6	6.9
	息子・娘との２世帯	95	2.1	4.2	5.3	0.0	2.1	0.0	5.3	14.7	1.1	47.4	4.2
	その他	127	3.9	6.3	5.5	0.8	0.8	1.6	7.9	19.7	4.7	46.5	3.9
居住地区別	字大山崎	292	3.1	5.8	7.9	1.0	3.4	1.7	6.2	14.4	3.8	45.9	4.5
	字円明寺	343	2.0	3.5	6.1	1.5	2.3	2.6	6.4	13.4	3.5	47.5	3.2
	字下植野	62	0.0	1.6	6.5	1.6	3.2	3.2	0.0	16.1	3.2	37.1	8.1

（21）災害時の避難場所を知っているか

問 46	あなたは、災害時の避難場所についてご存知ですか。（○は1つ）

災害時の避難場所を知っているかについて、「少し知っている」が 48.9%で最も高く、次いで「よく知っている」が 44.6%、「知らない」が 5.3%となっています。また、前回調査と比較して「知らない」が 3.4 ポイント減少しています。

【図表2－4－28 災害時の避難場所を知っているか】

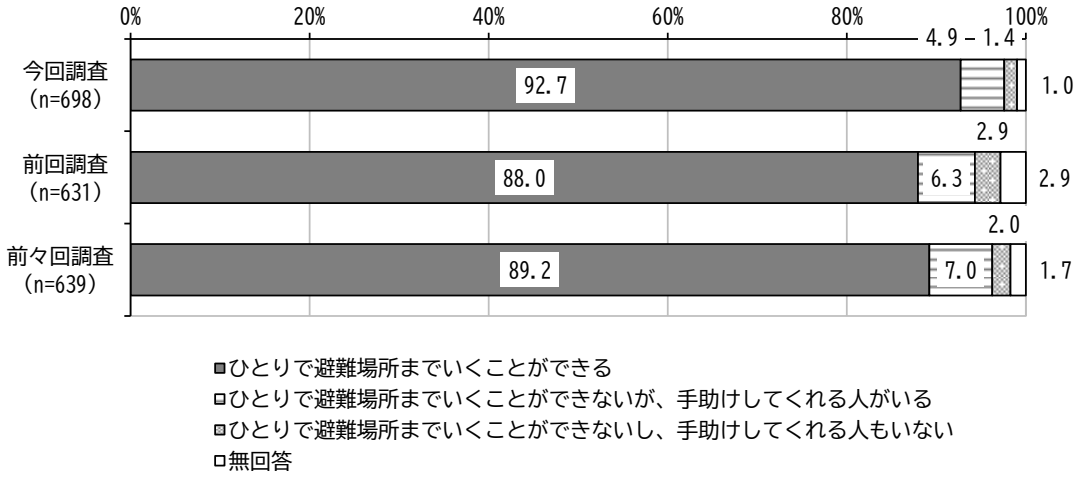


（22）ひとりで避難場所までいくことができるか

問 47	災害が発生して避難する時に、ひとりで避難場所までいくことができますか。 （○は1つ）

ひとりで避難場所までいくことができるかについて、「ひとりで避難場所までいくことができる」が 92.7%で最も高く、次いで「ひとりで避難場所までいくことができないが、手助けしてくれる人がいる」が 4.9%、「ひとりで避難場所までいくことができないし、手助けしてくれる人もいない」が 1.4%となっています。また、前回調査と比較して「ひとりで避難場所までいくことができる」が 4.7 ポイント増加しています。

【図表2－4－29 ひとりで避難場所までいくことができるか】



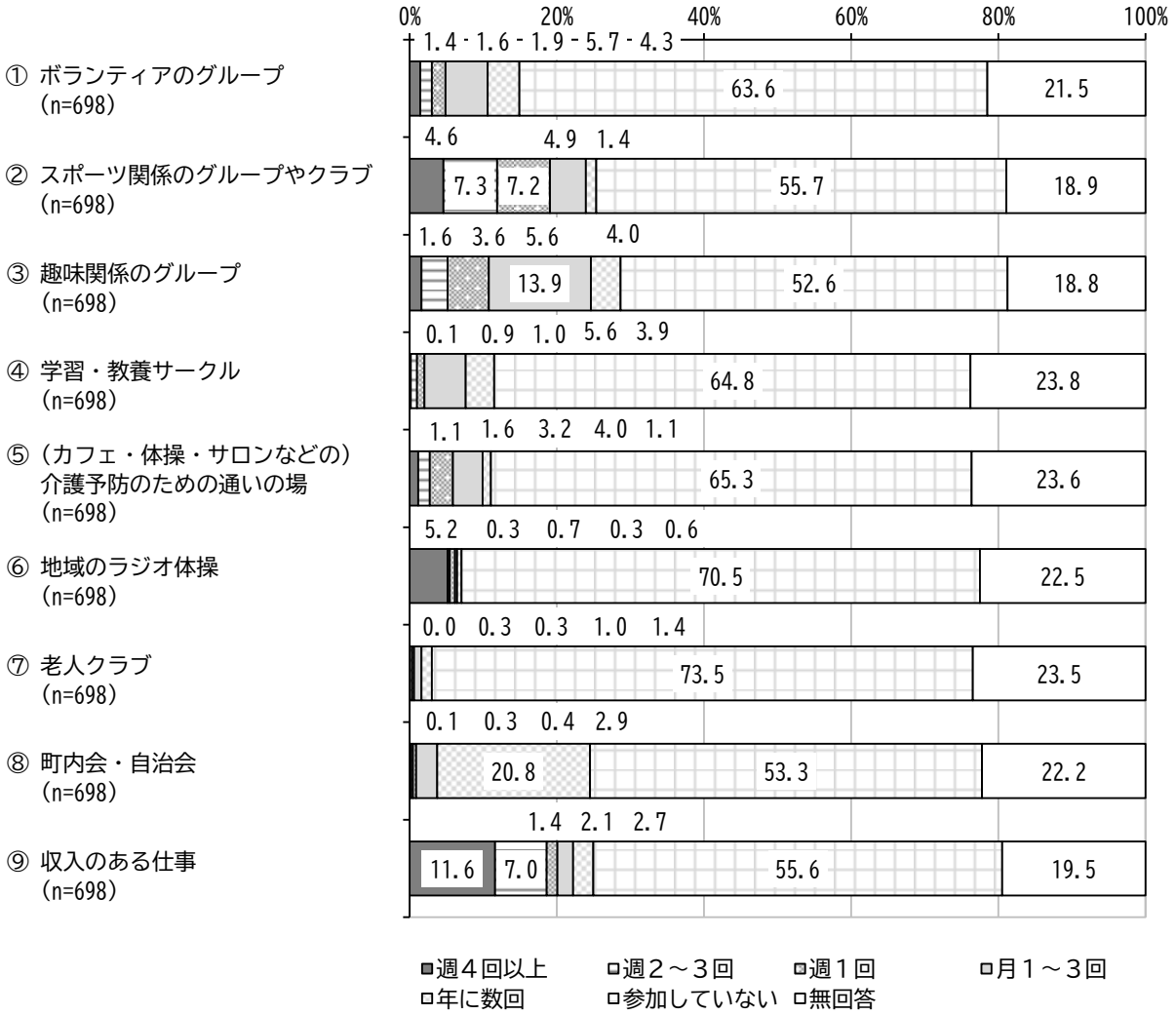
5. 地域での活動について

(1) 地域での活動の頻度

問48	以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか。 (①～⑨それぞれに○は1つ)

地域での活動の頻度について、『参加している』(「週4回以上」と「週2～3回」と「週1回」と「月1～3回」と「年に数回」の合計)では、「趣味関係のグループ」が 28.7%で最も高く、次いで「スポーツ関係のグループ」が 25.4%、「収入のある仕事」が 24.8%となっています。

【図表2－5－1 地域での活動の頻度】



ⅰ　ボランティアのグループ

性別にみると、男性・女性ともに「参加していない」が最も高くなっています。
また、年齢別にみると「参加していない」では 85 歳以上が 66.1%で最も高くなっています。

【図表2－5－2　地域での活動の頻度・ボランティアのグループ(性別・年齢別・居住地区別)】

※網掛けは最も割合が高いもの　単位：(%)

		(人)合計	上週4回以	回週2～3	週1回	回月1～3	年に数回	参加していない	無回答
経年比較	今回調査	698	1.4	1.6	1.9	5.7	4.3	63.6	21.5
	前回調査	631	1.3	2.5	1.3	4.6	5.2	64.8	0.2
	前々回調査	639	1.4	2.3	2.3	5.8	5.3	56.8	26.0
性別	男性	313	1.0	1.6	1.6	4.2	3.5	68.7	19.5
	女性	384	1.8	1.6	2.1	7.0	4.9	59.4	23.2
年齢別	65～69歳	138	0.7	2.2	0.7	5.1	5.1	64.5	21.7
	70～74歳	164	1.2	1.8	3.7	6.1	3.7	64.6	18.9
	75～79歳	203	1.5	2.0	1.5	5.9	4.9	64.0	20.2
	80～84歳	130	2.3	0.8	2.3	6.2	3.1	59.2	26.2
	85歳以上	62	1.6	0.0	0.0	4.8	4.8	66.1	22.6
世帯構成別	１人暮らし	123	2.4	0.0	1.6	4.9	6.5	61.8	22.8
	夫婦２人暮らし(配偶者65歳以上)	307	1.6	2.0	2.3	5.5	4.9	62.5	21.2
	夫婦２人暮らし(配偶者64歳以下)	29	0.0	0.0	0.0	13.8	0.0	75.9	10.3
	息子・娘との２世帯	95	0.0	3.2	1.1	5.3	4.2	62.1	24.2
	その他	127	1.6	1.6	1.6	5.5	2.4	66.9	20.5
居住地区別	字大山崎	292	1.0	1.0	2.7	6.2	3.4	64.0	21.6
	字円明寺	343	1.7	2.0	0.9	5.2	5.5	62.7	21.9
	字下植野	62	1.6	1.6	3.2	6.5	1.6	66.1	19.4

ⅱ　スポーツ関係のグループやクラブ

性別にみると、男性・女性ともに「参加していない」が最も高くなっています。
また、年齢別にみると「参加していない」では 65～69 歳が 59.4%で最も高くなっています

【図表2－5－3　地域での活動の頻度・スポーツ関係のグループやクラブ(性別・年齢別・居住地区別)】

※網掛けは最も割合が高いもの　単位：(%)

		(人)合計	上週4回以	回週2～3	週1回	回月1～3	年に数回	参加していない	無回答
経年比較	今回調査	698	4.6	7.3	7.2	4.9	1.4	55.7	18.9
	前回調査	631	4.1	6.5	6.8	5.1	1.9	59.0	0.2
	前々回調査	639	3.4	9.2	6.1	4.9	3.6	50.1	22.7
性別	男性	313	4.5	4.8	6.1	5.1	1.6	60.1	17.9
	女性	384	4.7	9.4	8.1	4.7	1.3	52.1	19.8
年齢別	65～69歳	138	4.3	4.3	8.0	5.8	0.0	59.4	18.1
	70～74歳	164	4.3	7.3	7.3	5.5	0.0	58.5	17.1
	75～79歳	203	5.4	9.4	8.4	5.4	3.9	49.8	17.7
	80～84歳	130	3.8	7.7	6.2	3.1	0.8	56.2	22.3
	85歳以上	62	4.8	6.5	3.2	3.2	1.6	58.1	22.6
世帯構成別	１人暮らし	123	8.1	6.5	6.5	4.9	2.4	49.6	22.0
	夫婦２人暮らし(配偶者65歳以上)	307	4.9	9.4	7.8	5.9	1.3	53.4	17.3
	夫婦２人暮らし(配偶者64歳以下)	29	0.0	6.9	6.9	3.4	3.4	69.0	10.3
	息子・娘との２世帯	95	4.2	6.3	4.2	2.1	1.1	61.1	21.1
	その他	127	2.4	3.9	9.4	3.9	0.8	60.6	18.9
居住地区別	字大山崎	292	3.4	8.2	7.5	2.4	1.0	58.2	19.2
	字円明寺	343	5.2	6.4	5.8	7.9	2.0	54.2	18.4
	字下植野	62	6.5	8.1	12.9	0.0	0.0	51.6	21.0

iii 趣味関係のグループ

性別にみると、男性・女性ともに「参加していない」が最も高くなっています。
また、年齢別にみると、「参加していない」では、85 歳以上が 56.5%で最も高くなっています。

【図表2－5－4 地域での活動の頻度・趣味関係のグループ(性別・年齢別・居住地区別)】

※網掛けは最も割合が高いもの　単位：(%)

		(人)合計	上週4回以	回週2～3	週1回	回月1～3	年に数回	参加していない	無回答
経年比較	今回調査	698	1.6	3.6	5.6	13.9	4.0	52.6	18.8
	前回調査	631	2.2	5.1	6.5	12.5	4.8	54.2	0.1
	前々回調査	639	2.8	5.8	6.3	15.3	5.3	46.6	17.8
性別	男性	313	1.9	4.5	3.5	11.5	4.5	56.9	17.3
	女性	384	1.3	2.9	7.3	15.9	3.6	49.0	20.1
年齢別	65～69歳	138	1.4	2.9	5.1	12.3	4.3	55.8	18.1
	70～74歳	164	1.2	4.3	5.5	12.8	4.3	52.4	19.5
	75～79歳	203	2.5	3.4	6.4	18.2	4.4	48.3	16.7
	80～84歳	130	0.8	2.3	4.6	12.3	4.6	53.8	21.5
	85歳以上	62	1.6	6.5	6.5	9.7	0.0	56.5	19.4
世帯構成別	１人暮らし	123	2.4	5.7	7.3	19.5	4.1	41.5	19.5
	夫婦２人暮らし(配偶者65歳以上)	307	1.6	3.9	6.2	13.7	2.9	53.1	18.6
	夫婦２人暮らし(配偶者64歳以下)	29	0.0	0.0	6.9	17.2	6.9	58.6	10.3
	息子・娘との２世帯	95	0.0	2.1	4.2	8.4	5.3	58.9	21.1
	その他	127	2.4	1.6	3.1	11.8	4.7	58.3	18.1
居住地区別	字大山崎	292	2.1	2.7	4.5	13.4	4.1	54.5	18.8
	字円明寺	343	1.5	4.1	6.4	14.6	4.7	51.0	17.8
	字下植野	62	0.0	4.8	6.5	12.9	0.0	51.6	24.2

iv 学習・教養サークル

性別にみると、男性・女性ともに「参加していない」が最も高くなっています。
また、年齢別にみると、「参加していない」では、65～69 歳が 69.6%で最も高くなっています。

【図表2－5－5 地域での活動の頻度・学習・教養サークル(性別・年齢別・居住地区別)】

※網掛けは最も割合が高いもの　単位：(%)

		(人)合計	上週4回以	回週2～3	週1回	回月1～3	年に数回	参加していない	無回答
経年比較	今回調査	698	0.1	0.9	1.0	5.6	3.9	64.8	23.8
	前回調査	631	0.0	0.6	2.1	6.3	3.6	66.6	0.2
	前々回調査	639	1.1	1.7	2.2	6.6	5.2	57.9	25.4
性別	男性	313	0.3	1.0	1.0	3.8	3.2	69.3	21.4
	女性	384	0.0	0.8	1.0	7.0	4.4	60.9	25.8
年齢別	65～69歳	138	0.0	0.7	1.4	4.3	2.2	69.6	21.7
	70～74歳	164	0.0	0.0	1.8	7.9	1.8	67.1	21.3
	75～79歳	203	0.0	0.5	0.5	3.4	8.4	61.1	26.1
	80～84歳	130	0.0	0.8	0.8	6.9	2.3	63.1	26.2
	85歳以上	62	1.6	4.8	0.0	6.5	1.6	62.9	22.6
世帯構成別	１人暮らし	123	0.8	0.8	0.0	8.1	7.3	60.2	22.8
	夫婦２人暮らし(配偶者65歳以上)	307	0.0	1.0	1.6	4.6	3.3	64.8	24.8
	夫婦２人暮らし(配偶者64歳以下)	29	0.0	3.4	0.0	0.0	10.3	69.0	17.2
	息子・娘との２世帯	95	0.0	0.0	2.1	7.4	3.2	64.2	23.2
	その他	127	0.0	0.8	0.0	5.5	0.8	70.1	22.8
居住地区別	字大山崎	292	0.0	0.7	0.3	6.2	4.1	64.0	24.7
	字円明寺	343	0.3	1.2	1.7	4.7	3.8	65.0	23.3
	字下植野	62	0.0	0.0	0.0	8.1	3.2	66.1	22.6

v （カフェ・体操・サロンなどの）介護予防のための通いの場

性別にみると、男性・女性ともに「参加していない」が最も高くなっています。
また、年齢別にみると、「参加していない」では、65～69 歳が 71.7%で最も高くなっています。

【図表2－5－6 地域での活動の頻度・介護予防のための通いの場（性別・年齢別・居住地区別）】

※網掛けは最も割合が高いもの　単位：（%）

		合計（人）	上週4回以	回週2～3	週1回	回月1～3	年に数回	参加していない	無回答
経年比較	今回調査	698	1.1	1.6	3.2	4.0	1.1	65.3	23.6
	前回調査	631	0.2	1.1	2.5	2.5	0.6	72.4	0.2
	前々回調査	639	1.6	2.3	3.1	3.1	1.4	63.5	24.9
性別	男性	313	0.6	0.3	1.9	3.8	1.0	70.6	21.7
	女性	384	1.6	2.6	4.2	4.2	1.3	60.9	25.3
年齢別	65～69歳	138	0.0	1.4	0.7	2.2	0.0	71.7	23.9
	70～74歳	164	1.2	0.6	4.3	7.9	1.2	67.1	17.7
	75～79歳	203	0.5	2.5	3.0	3.0	2.5	63.5	25.1
	80～84歳	130	2.3	1.5	5.4	3.1	0.8	58.5	28.5
	85歳以上	62	3.2	1.6	1.6	3.2	0.0	66.1	24.2
世帯構成別	１人暮らし	123	2.4	2.4	3.3	5.7	0.8	61.8	23.6
	夫婦２人暮らし（配偶者65歳以上）	307	0.3	1.3	2.9	4.6	1.0	65.5	24.4
	夫婦２人暮らし（配偶者64歳以下）	29	3.4	0.0	0.0	3.4	3.4	75.9	13.8
	息子・娘との２世帯	95	1.1	4.2	3.2	3.2	2.1	65.3	21.1
	その他	127	0.8	0.0	4.7	2.4	0.8	66.1	25.2
居住地区別	字大山崎	292	0.3	2.4	3.8	5.1	1.0	63.7	23.6
	字円明寺	343	1.5	0.9	2.6	3.2	1.5	66.8	23.6
	字下植野	62	3.2	1.6	3.2	3.2	0.0	64.5	24.2

vi 地域のラジオ体操

性別にみると、男性・女性ともに「参加していない」が最も高くなっています。
また、年齢別にみると、「参加していない」では、70～74 歳が 75.0%で最も高くなっています。

【図表2－5－7 地域での活動の頻度・地域のラジオ体操（性別・年齢別・居住地区別）】

※網掛けは最も割合が高いもの　単位：（%）

		合計（人）	上週4回以	回週2～3	週1回	回月1～3	年に数回	参加していない	無回答
経年比較	今回調査	698	5.2	0.3	0.7	0.3	0.6	70.5	22.5
	前回調査	631	4.1	1.9	0.6	0.3	0.2	72.9	0.2
性別	男性	313	3.5	0.3	0.6	0.3	0.6	73.8	20.8
	女性	384	6.5	0.3	0.8	0.3	0.5	67.7	24.0
年齢別	65～69歳	138	3.6	0.0	0.0	0.0	0.0	73.2	23.2
	70～74歳	164	4.9	0.0	0.6	1.2	0.0	75.0	18.3
	75～79歳	203	4.9	0.0	1.0	0.0	1.5	69.0	23.6
	80～84歳	130	6.2	0.8	0.8	0.0	0.8	65.4	26.2
	85歳以上	62	8.1	1.6	1.6	0.0	0.0	67.7	21.0
世帯構成別	１人暮らし	123	3.3	0.8	0.8	0.0	0.8	71.5	22.8
	夫婦２人暮らし（配偶者65歳以上）	307	6.2	0.0	0.3	0.0	0.3	69.7	23.5
	夫婦２人暮らし（配偶者64歳以下）	29	0.0	0.0	0.0	3.4	0.0	82.8	13.8
	息子・娘との２世帯	95	5.3	0.0	3.2	1.1	1.1	68.4	21.1
	その他	127	5.5	0.8	0.0	0.0	0.8	70.1	22.8
居住地区別	字大山崎	292	6.2	0.0	1.0	0.7	1.4	68.2	22.6
	字円明寺	343	5.2	0.6	0.3	0.0	0.0	71.4	22.4
	字下植野	62	0.0	0.0	1.6	0.0	0.0	75.8	22.6

vii 老人クラブ

性別にみると、男性・女性ともに「参加していない」が最も高くなっています。
また、年齢別にみると、「参加していない」では、70～74 歳が 76.2%で最も高くなっています。

【図表2－5－8 地域での活動の頻度・老人クラブ(性別・年齢別・居住地区別)】

※網掛けは最も割合が高いもの　単位：(%)

		合計(人)	上週4回以	回週2～3	週1回	回月1～3	年に数回	参加していない	無回答
経年比較	今回調査	698	0.0	0.3	0.3	1.0	1.4	73.5	23.5
	前回調査	631	0.0	0.6	0.5	0.5	1.1	75.1	0.2
	前々回調査	639	0.5	0.5	0.2	1.7	4.1	67.0	26.1
性別	男性	313	0.0	0.6	0.0	0.6	1.6	76.4	20.8
	女性	384	0.0	0.0	0.5	1.3	1.3	71.1	25.8
年齢別	65～69歳	138	0.0	0.0	0.0	1.4	0.0	76.1	22.5
	70～74歳	164	0.0	0.6	0.0	0.6	1.2	76.2	21.3
	75～79歳	203	0.0	0.5	0.5	0.5	2.5	72.4	23.6
	80～84歳	130	0.0	0.0	0.8	2.3	0.8	70.0	26.2
	85歳以上	62	0.0	0.0	0.0	0.0	3.2	71.0	25.8
世帯構成別	１人暮らし	123	0.0	0.0	0.0	0.8	3.3	71.5	24.4
	夫婦２人暮らし(配偶者65歳以上)	307	0.0	0.7	0.3	1.6	1.0	73.0	23.5
	夫婦２人暮らし(配偶者64歳以下)	29	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	86.2	13.8
	息子・娘との２世帯	95	0.0	0.0	0.0	1.1	2.1	72.6	24.2
	その他	127	0.0	0.0	0.8	0.0	0.8	74.8	23.6
居住地区別	字大山崎	292	0.0	0.0	0.7	1.4	0.7	74.0	23.3
	字円明寺	343	0.0	0.6	0.0	0.9	1.2	73.2	24.2
	字下植野	62	0.0	0.0	0.0	0.0	6.5	72.6	21.0

viii 町内会・自治会

性別にみると、男性・女性ともに「参加していない」が最も高くなっています。
また、年齢別にみると、「参加していない」では、85 歳以上が 61.3%で最も高くなっています。

【図表2－5－9 地域での活動の頻度・町内会・自治会(性別・年齢別・居住地区別)】

※網掛けは最も割合が高いもの　単位：(%)

		合計(人)	上週4回以	回週2～3	週1回	回月1～3	年に数回	参加していない	無回答
経年比較	今回調査	698	0.1	0.3	0.4	2.9	20.8	53.3	22.2
	前回調査	631	0.0	0.2	0.5	2.4	21.9	53.7	0.2
	前々回調査	639	0.3	0.0	0.5	2.7	23.9	47.6	25.0
性別	男性	313	0.3	0.0	0.3	2.9	20.1	57.2	19.2
	女性	384	0.0	0.5	0.5	2.9	21.4	50.0	24.7
年齢別	65～69歳	138	0.0	0.0	0.0	3.6	21.0	51.4	23.9
	70～74歳	164	0.6	0.6	0.6	3.7	22.6	54.9	17.1
	75～79歳	203	0.0	0.5	0.5	1.5	23.6	51.2	22.7
	80～84歳	130	0.0	0.0	0.0	3.1	17.7	52.3	26.9
	85歳以上	62	0.0	0.0	1.6	3.2	12.9	61.3	21.0
世帯構成別	１人暮らし	123	0.0	0.8	0.0	4.1	19.5	51.2	24.4
	夫婦２人暮らし(配偶者65歳以上)	307	0.3	0.0	0.7	2.6	20.8	53.1	22.5
	夫婦２人暮らし(配偶者64歳以下)	29	0.0	0.0	0.0	0.0	27.6	58.6	13.8
	息子・娘との２世帯	95	0.0	0.0	1.1	1.1	26.3	50.5	21.1
	その他	127	0.0	0.8	0.0	3.9	14.2	58.3	22.8
居住地区別	字大山崎	292	0.3	0.7	0.3	1.7	20.9	54.1	21.9
	字円明寺	343	0.0	0.0	0.6	4.1	21.3	51.6	22.4
	字下植野	62	0.0	0.0	0.0	1.6	17.7	58.1	22.6

ix 収入のある仕事

性別にみると、男性・女性ともに「参加していない」が最も高くなっています。

また、年齢別にみると、「参加していない」では、85 歳以上が 66.1%で最も高くなっています。

【図表2－5－10 地域での活動の頻度・収入のある仕事(性別・年齢別・居住地区別)】

※網掛けは最も割合が高いもの 単位：(%)

		合計（人）	週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回	参加していない	無回答
経年比較	今回調査	698	11.6	7.0	1.4	2.1	2.7	55.6	19.5
	前回調査	631	10.0	7.3	2.4	4.1	2.2	56.3	0.2
	前々回調査	639	10.2	4.5	1.9	2.7	1.7	55.1	23.9
性別	男性	313	13.4	7.3	1.0	1.9	2.6	55.9	17.9
	女性	384	10.2	6.8	1.8	2.3	2.9	55.2	20.8
年齢別	65～69歳	138	15.2	5.8	0.7	1.4	6.5	50.7	19.6
	70～74歳	164	11.6	9.8	1.2	2.4	0.0	57.3	17.7
	75～79歳	203	12.8	8.4	0.0	3.9	2.0	53.7	19.2
	80～84歳	130	10.8	3.1	5.4	0.8	4.6	56.2	19.2
	85歳以上	62	1.6	6.5	0.0	0.0	0.0	66.1	25.8
世帯構成別	１人暮らし	123	14.6	3.3	0.8	2.4	2.4	54.5	22.0
	夫婦２人暮らし(配偶者65歳以上)	307	9.1	8.5	2.0	1.6	2.9	56.4	19.5
	夫婦２人暮らし(配偶者64歳以下)	29	27.6	24.1	0.0	3.4	3.4	34.5	6.9
	息子・娘との２世帯	95	6.3	4.2	1.1	4.2	5.3	58.9	20.0
	その他	127	12.6	6.3	0.8	1.6	0.8	59.1	18.9
居住地区別	字大山崎	292	12.0	5.1	1.0	3.1	3.8	54.5	20.5
	字円明寺	343	9.9	8.7	2.0	1.7	1.7	56.9	19.0
	字下植野	62	19.4	6.5	0.0	0.0	3.2	53.2	17.7

【図表2－5－11 いずれかの活動に参加している人の割合】

※網掛けは最も割合が高いもの 単位：(%)

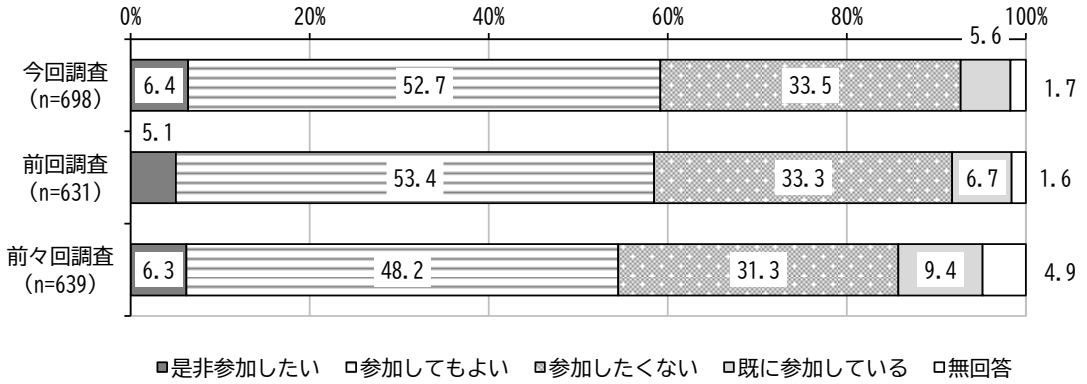
		合計（人）	いずれかに参加している（週1回以上）	いずれかに参加している（年に1回以上週に1回未満）	全てに不参加	無回答
	全体	698	49.7	21.5	24.4	4.4
性別	男性	313	47.0	21.4	27.2	4.5
	女性	384	52.1	21.6	21.9	4.4
年齢別	65～69歳	138	48.6	25.4	21.0	5.1
	70～74歳	164	51.2	20.7	24.4	3.7
	75～79歳	203	51.7	25.1	20.2	3.0
	80～84歳	130	49.2	16.2	26.9	7.7
	85歳以上	62	43.5	14.5	38.7	3.2
世帯構成別	１人暮らし	123	50.4	26.0	18.7	4.9
	夫婦２人暮らし(配偶者65歳以上)	307	54.7	19.9	22.8	2.6
	夫婦２人暮らし(配偶者64歳以下)	29	62.1	27.6	10.3	0.0
	息子・娘との２世帯	95	38.9	26.3	26.3	8.4
	その他	127	42.5	15.7	36.2	5.5
居住地区別	字大山崎	292	46.9	19.9	27.1	6.2
	字円明寺	343	51.0	23.9	22.4	2.6
	字下植野	62	56.5	16.1	21.0	6.5

（2） 地域での活動に参加者として参加したいか

問 49	地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に**参加者として**参加してみたいと思いますか。（○は1つ）

地域での活動に参加者として参加したいかについて、「参加してもよい」が 52.7%で最も高く、次いで「参加したくない」が 33.5%、「是非参加したい」が 6.4%となっています。また、前回調査と比較して「是非参加したい」が 1.3 ポイント増加しています。

【図表2－5－12 地域での活動に参加者として参加したいか】



性別にみると、男性・女性ともに「参加してもよい」が最も高くなっています。

年齢別にみると、「是非参加したい」では、70～74 歳が 9.1%で最も高く、「参加してもよい」では、75～79 歳が 55.7%で最も高くなっています。

居住地区別にみると、「是非参加したい」では、字大山崎が 7.5%で最も高く、「参加してもよい」では、字円明寺が 56.3%で最も高くなっています。

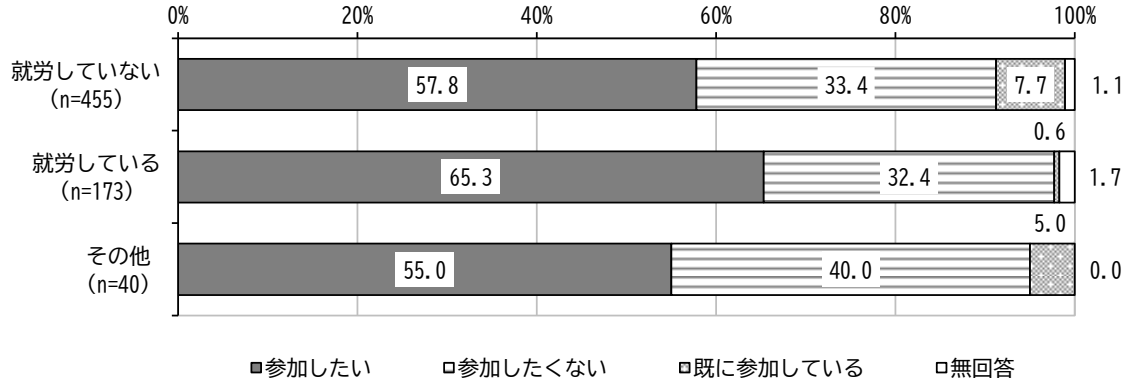
【図表2－5－13 地域での活動に参加者として参加したいか（クロス集計）】

※網掛けは最も割合が高いもの　単位：（%）

		合計（人）	是非参加したい	参加してもよい	参加したくない	既に参加している	無回答
性別	男性	313	4.8	54.3	35.1	3.8	1.9
	女性	384	7.8	51.6	32.0	7.0	1.6
年齢別	65～69歳	138	4.3	48.6	39.1	5.1	2.9
	70～74歳	164	9.1	52.4	32.3	4.3	1.8
	75～79歳	203	6.4	55.7	32.0	4.9	1.0
	80～84歳	130	6.2	53.8	28.5	9.2	2.3
	85歳以上	62	4.8	51.6	38.7	4.8	0.0
世帯構成別	１人暮らし	123	8.1	54.5	25.2	8.9	3.3
	夫婦２人暮らし（配偶者65歳以上）	307	5.5	56.0	32.2	5.5	0.7
	夫婦２人暮らし（配偶者64歳以下）	29	13.8	55.2	31.0	0.0	0.0
	息子・娘との２世帯	95	6.3	47.4	38.9	5.3	2.1
	その他	127	4.7	49.6	40.2	3.1	2.4
居住地区別	字大山崎	292	7.5	51.0	33.2	7.5	0.7
	字円明寺	343	6.1	56.3	32.1	3.2	2.3
	字下植野	62	3.2	41.9	41.9	9.7	3.2

地域での活動に参加者としての参加希望の有無を就労状態別にみると、「就労している」の参加希望が65.3%で、「就労していない」より 7.5 ポイント高くなっていますが、「既に参加している」では「就労していない」が「就労している」より 7.1 ポイント高くなっています。

【図表2－5－14 地域での活動に参加者として参加したいか(就労状態別)】

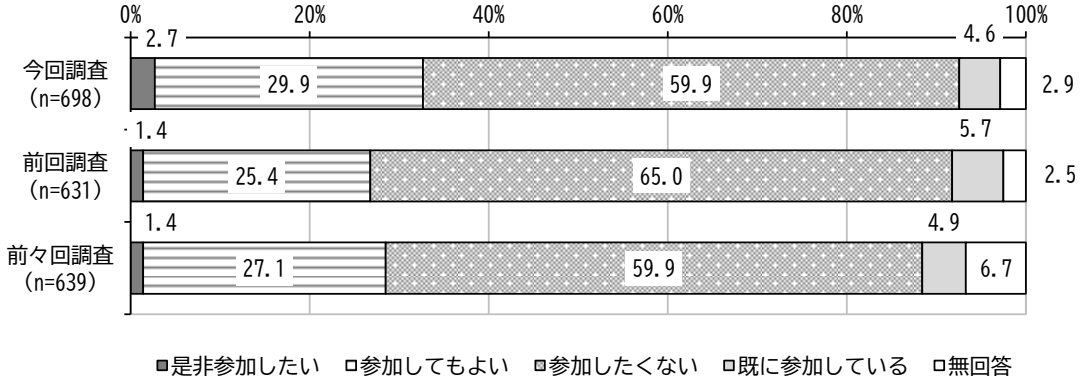


(3) 地域での活動に企画・運営として参加したいか

問 50	地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に**企画・運営(お世話役)**として参加してみたいと思いますか。(○は1つ)

地域での活動に企画・運営として参加したいかについて、「参加したくない」が 59.9%で最も高く、次いで「参加してもよい」が 29.9%、「既に参加している」が 4.6%となっています。また、前回調査と比較して「参加したくない」が 5.1 ポイント減少しています。

【図表2－5－15 地域での活動に企画・運営として参加したいか】



性別にみると、男性・女性ともに「参加したくない」が最も高くなっています。

年齢別にみると、「是非参加したい」では、70～74 歳が 3.7%で最も高く、「参加してもよい」では、75～79 歳が 34.0%で最も高くなっています。

居住地区別にみると、「是非参加したい」では、字円明寺が 3.5%で最も高く、「参加してもよい」でも、字円明寺が 30.6%で最も高くなっています。

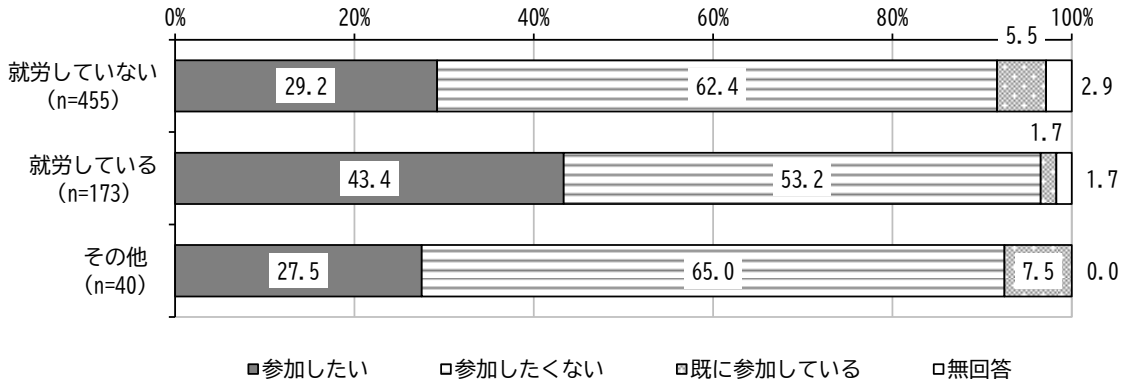
【図表2－5－16 地域での活動に企画・運営として参加したいか(クロス集計】

※網掛けは最も割合が高いもの　単位：(%)

		合計（人）	是非参加したい	参加してもよい	参加したくない	既に参加している	無回答
性別	男性	313	3.2	29.7	60.7	3.5	2.9
	女性	384	2.3	30.2	59.1	5.5	2.9
年齢別	65～69歳	138	3.6	27.5	61.6	3.6	3.6
	70～74歳	164	3.7	31.1	58.5	4.9	1.8
	75～79歳	203	1.5	34.0	57.1	4.4	3.0
	80～84歳	130	2.3	23.8	63.1	6.2	4.6
	85歳以上	62	3.2	32.3	61.3	3.2	0.0
世帯構成別	１人暮らし	123	0.8	34.1	53.7	6.5	4.9
	夫婦２人暮らし(配偶者65歳以上)	307	2.6	32.2	59.3	4.6	1.3
	夫婦２人暮らし(配偶者64歳以下)	29	10.3	37.9	51.7	0.0	0.0
	息子・娘との２世帯	95	3.2	24.2	66.3	2.1	4.2
	その他	127	2.4	22.8	65.4	4.7	4.7
居住地区別	字大山崎	292	2.1	30.1	60.6	5.1	2.1
	字円明寺	343	3.5	30.6	58.9	3.5	3.5
	字下植野	62	1.6	25.8	61.3	8.1	3.2

地域での活動に企画・運営としての参加希望の有無を就労状態別にみると、「就労している」の参加希望が 43.4%で、「就労していない」より 14.2 ポイント高くなっていますが、「既に参加している」は「就労していない」が「就労している」より 3.8 ポイント高くなっています。

【図表2－5－17 地域での活動に企画・運営として参加したいか(就労状態別)】

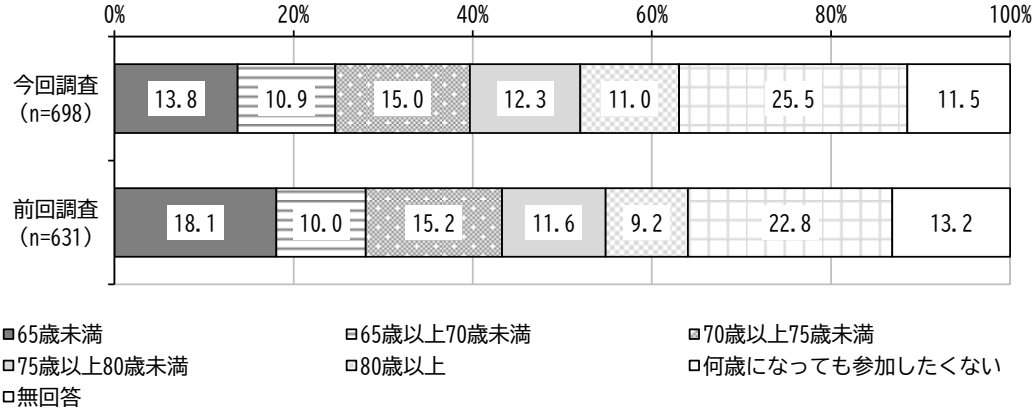


（4） 地域での活動に参加したい（参加した）年齢

問 51	問 48～問 50 でお聞きした、地域での健康づくり活動や趣味等のグループ活動への参加について、あなたは、何歳くらいからそういった活動に参加したいと思いますか。既に参加しておられる方は、何歳くらいからそういった活動に参加されましたか。（○は1つ）

地域での活動に参加したい（参加した）年齢について、「何歳になっても参加したくない」が 25.5%で最も高く、次いで「70 歳以上 75 歳未満」が 15.0%、「65 歳未満」が 13.8%となっています。また、前回調査と比較して「何歳になっても参加したくない」が 2.7 ポイント増加しています。

【図表2－5－18 地域での活動に参加したい（参加した）年齢】



性別にみると、「何歳になっても参加したくない」について、男性では 27.8%、女性では 23.4%となっており、男性のほうが 4.4 ポイント高くなっています。

年齢別にみると、「何歳になっても参加したくない」では、70～74 歳が 26.8%で最も高くなっています。

世帯構成別にみると、夫婦2人暮らし（配偶者64歳以下）では、「70 歳以上 75 歳で参加したい（した）」が 34.5%で最も高くなっています。

【図表2－5－19 地域での活動に参加したい（参加した）年齢（クロス集計）】

※網掛けは最も割合が高いもの　単位：（%）

		合計（人）	65歳未満	65歳以上70歳	70歳以上75歳	75歳以上80歳	80歳以上	何歳になっても参加したくない	無回答
性別	男性	313	11.5	9.6	15.0	10.9	13.1	27.8	12.1
	女性	384	15.6	12.0	15.1	13.5	9.4	23.4	10.9
年齢別	65～69歳	138	9.4	11.6	16.7	14.5	13.0	26.1	8.7
	70～74歳	164	13.4	11.0	20.7	11.6	3.0	26.8	13.4
	75～79歳	203	15.8	10.3	12.3	14.8	12.8	25.6	8.4
	80～84歳	130	13.1	12.3	11.5	8.5	16.9	23.1	14.6
	85歳以上	62	19.4	8.1	12.9	9.7	9.7	24.2	16.1
世帯構成別	１人暮らし	123	19.5	10.6	17.9	7.3	11.4	19.5	13.8
	夫婦２人暮らし（配偶者65歳以上）	307	12.4	11.4	14.7	14.7	14.0	23.1	9.8
	夫婦２人暮らし（配偶者64歳以下）	29	10.3	13.8	34.5	10.3	0.0	20.7	10.3
	息子・娘との２世帯	95	10.5	8.4	13.7	12.6	9.5	30.5	14.7
	その他	127	13.4	11.0	9.4	12.6	7.9	33.9	11.8
居住地区別	字大山崎	292	12.7	14.7	11.6	13.0	10.3	25.0	12.7
	字円明寺	343	14.3	7.3	18.7	11.7	13.1	23.6	11.4
	字下植野	62	16.1	12.9	11.3	12.9	3.2	37.1	6.5

6. 就労について

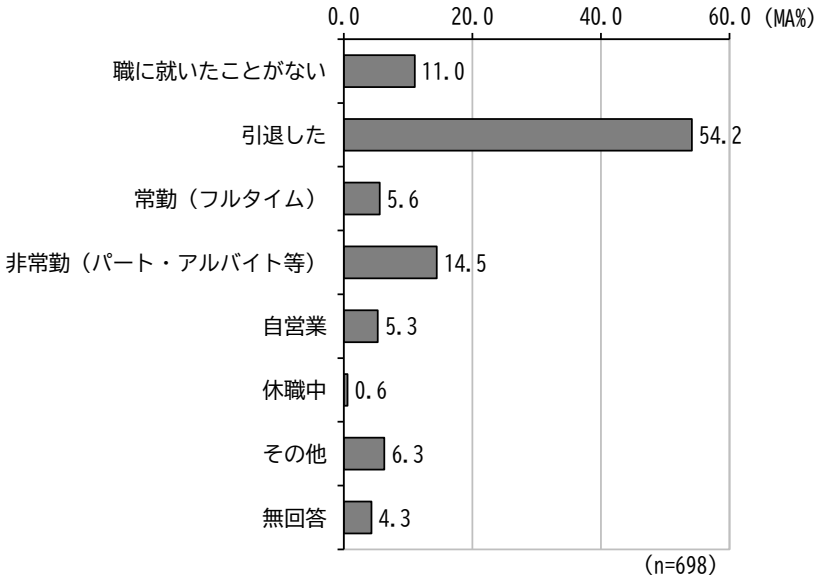
(1) 就労状態

問 52	現在あなたの就労状態はどれですか。(○はいくつでも)

就労状態について、「引退した」が 54.2%で最も高く、次いで「非常勤(パート・アルバイト等)」が 14.5%、「職に就いたことがない」が 11.0%となっています。

また、その他の内容について、『専業主婦』(9件)、『シルバー』(7件)、『農業』(7件)などがあります。

【図表2－6－1 就労状態】



年齢別にみると、「引退した」では、85 歳以上が 56.5%で最も高くなっています。

【図表2－6－2 就労状態(クロス集計)】

※網掛けは最も割合が高いもの　単位：(MA%)

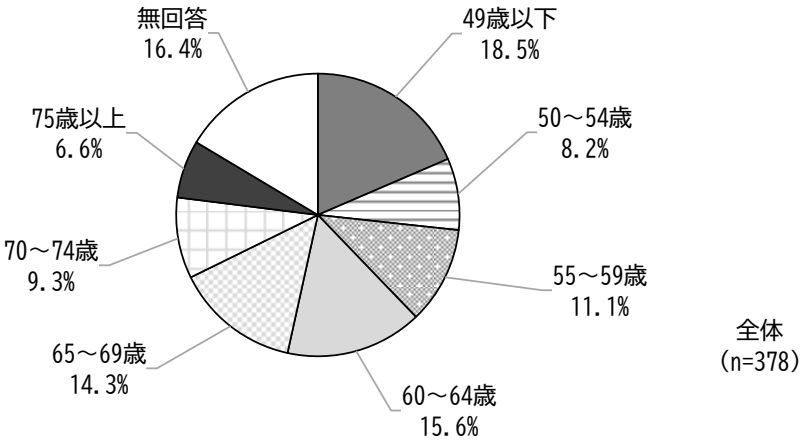
		合計（人）	職に就いたことがない	引退した	常勤（フルタイム）	非常勤（パート・アルバイト等）	自営業	休職中	その他	無回答
性別	男性	313	8.9	54.0	6.7	15.3	8.0	0.3	4.8	4.2
	女性	384	12.8	54.2	4.7	13.8	3.1	0.8	7.6	4.4
年齢別	65～69歳	138	9.4	52.9	10.1	14.5	5.1	0.0	5.1	3.6
	70～74歳	164	9.8	53.0	5.5	18.3	3.7	0.0	6.1	4.9
	75～79歳	203	8.4	56.2	4.4	15.3	6.4	1.0	7.4	3.9
	80～84歳	130	13.8	52.3	4.6	10.0	7.7	1.5	6.2	5.4
	85歳以上	62	21.0	56.5	1.6	11.3	1.6	0.0	6.5	3.2
世帯構成別	１人暮らし	123	16.3	50.4	4.9	11.4	5.7	0.0	7.3	6.5
	夫婦２人暮らし(配偶者65歳以上)	307	10.4	55.0	4.9	15.3	5.9	1.0	5.5	3.6
	夫婦２人暮らし(配偶者64歳以下)	29	0.0	34.5	24.1	34.5	3.4	0.0	3.4	3.4
	息子・娘との２世帯	95	13.7	58.9	2.1	10.5	5.3	0.0	4.2	6.3
	その他	127	8.7	58.3	4.7	14.2	3.9	0.8	8.7	2.4
居住地区別	字大山崎	292	11.0	56.2	5.5	12.0	5.1	0.3	7.2	4.5
	字円明寺	343	11.4	53.9	6.1	15.7	4.4	0.3	5.5	4.1
	字下植野	62	9.7	45.2	3.2	19.4	11.3	3.2	6.5	4.8

（2） 引退した年齢

問 52-1	**【問 52 で「引退した」を回答された方のみ】** あなたはいつ引退しましたか。（○は1つ、数字を記入）

引退した年齢について、「49 歳以下」が 18.5%で最も高く、次いで「60～64 歳」が 15.6%、「65～69 歳」が 14.3%となっています。

【図表2－6－3 引退した年齢】



性別にみると、男性では、「60～64 歳」が 21.3%で最も高く、女性では、「49 歳以下」が 22.6%で最も高くなっています。

【図表2－6－4 引退した年齢(クロス集計)】

※網掛けは最も割合が高いもの　単位：(%)

		合計（人）	49歳以下	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70～74歳	75歳以上	無回答
性別	男性	169	13.6	7.1	8.3	21.3	15.4	8.3	8.9	17.2
	女性	208	22.6	9.1	13.5	11.1	13.5	10.1	4.8	15.4
年齢別	65～69歳	73	35.6	11.0	9.6	26.0	11.0	0.0	0.0	6.8
	70～74歳	87	20.7	11.5	16.1	11.5	17.2	6.9	0.0	16.1
	75～79歳	114	10.5	9.6	12.3	14.9	14.9	16.7	3.5	17.5
	80～84歳	68	13.2	1.5	7.4	14.7	13.2	10.3	13.2	26.5
	85歳以上	35	14.3	2.9	5.7	8.6	14.3	8.6	34.3	11.4
世帯構成別	１人暮らし	62	24.2	9.7	11.3	17.7	12.9	3.2	3.2	17.7
	夫婦２人暮らし(配偶者65歳以上)	169	15.4	8.9	14.2	18.9	8.3	8.9	5.9	19.5
	夫婦２人暮らし(配偶者64歳以下)	10	10.0	0.0	10.0	20.0	40.0	10.0	10.0	0.0
	息子・娘との２世帯	56	19.6	3.6	12.5	7.1	21.4	16.1	10.7	8.9
	その他	74	23.0	9.5	4.1	12.2	17.6	10.8	6.8	16.2
居住地区別	字大山崎	164	19.5	6.1	7.9	11.0	18.3	12.2	7.3	17.7
	字円明寺	185	17.8	10.8	12.4	17.8	12.4	5.9	7.0	15.7
	字下植野	28	17.9	3.6	21.4	28.6	3.6	14.3	0.0	10.7

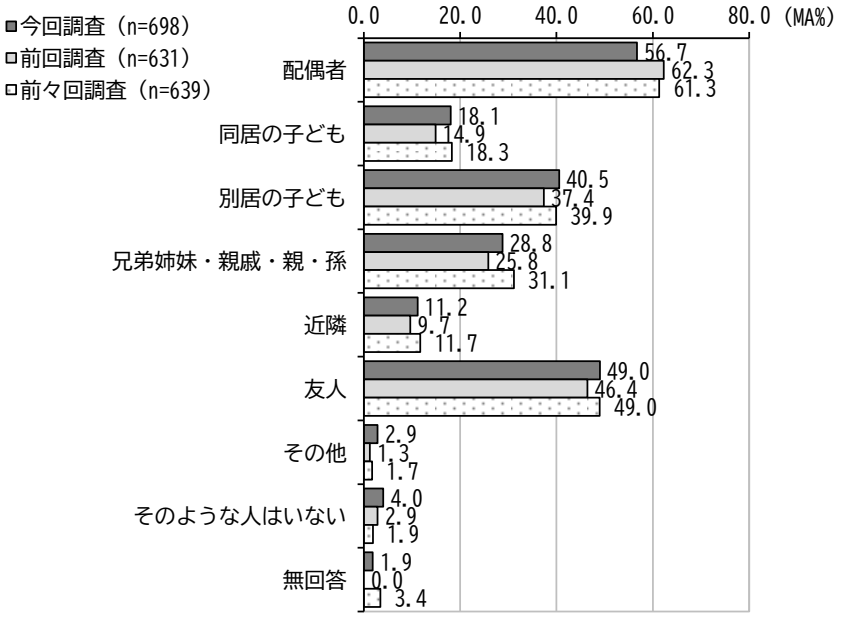
7. たすけあいについて

(1) 心配事や愚痴を聞いてくれる人

問 53	あなたの心配事や愚痴(ぐち)を聞いてくれる人。(○はいくつでも)

心配事や愚痴を聞いてくれる人について、「配偶者」が 56.7%で最も高く、次いで「友人」が 49.0%、「別居の子ども」が 40.5%となっています。また、前回調査と比較して「配偶者」が 5.6 ポイント減少しています。

【図表2－7－1 心配事や愚痴を聞いてくれる人】



性別にみると、男性では、「配偶者」が 61.3%で最も高く、女性では、「友人」が 54.2%で最も高くなっています。

【図表2－7－2 心配事や愚痴を聞いてくれる人(クロス集計)】

※網掛けは最も割合が高いもの　単位：(MA%)

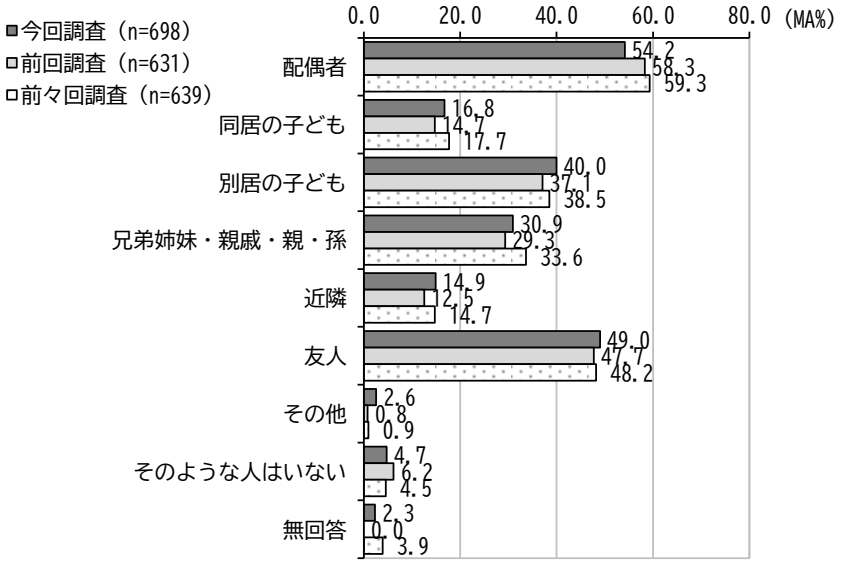
		合計（人）	配偶者	同居の子ども	別居の子ども	兄弟姉妹・親戚・親・孫	近隣	友人	その他	そのような人はいない	無回答
性別	男性	313	61.3	13.4	33.2	24.9	8.9	42.8	3.2	3.2	3.2
	女性	384	52.9	21.9	46.6	32.0	13.0	54.2	2.6	4.7	0.8
年齢別	65～69歳	138	61.6	19.6	33.3	32.6	12.3	49.3	3.6	6.5	1.4
	70～74歳	164	58.5	18.3	38.4	31.1	7.9	47.0	2.4	2.4	1.8
	75～79歳	203	56.7	16.7	43.3	23.2	11.3	50.7	2.5	5.4	2.5
	80～84歳	130	54.6	18.5	43.1	28.5	10.8	46.2	2.3	2.3	1.5
	85歳以上	62	45.2	17.7	48.4	33.9	17.7	54.8	4.8	1.6	1.6
世帯構成別	１人暮らし	123	0.0	0.0	48.0	42.3	20.3	64.2	4.1	9.8	1.6
	夫婦２人暮らし(配偶者65歳以上)	307	83.7	1.6	48.2	27.0	7.5	48.2	1.3	2.0	1.3
	夫婦２人暮らし(配偶者64歳以下)	29	82.8	3.4	20.7	6.9	13.8	27.6	3.4	3.4	3.4
	息子・娘との２世帯	95	48.4	58.9	27.4	24.2	10.5	44.2	2.1	2.1	3.2
	その他	127	47.2	44.1	29.1	30.7	10.2	44.9	6.3	4.7	2.4
居住地区別	字大山崎	292	54.1	18.5	36.3	29.1	13.4	46.6	3.1	4.8	1.7
	字円明寺	343	58.6	16.9	44.3	29.2	11.4	50.1	3.2	3.5	2.0
	字下植野	62	58.1	22.6	40.3	25.8	0.0	54.8	0.0	3.2	1.6

（2） 心配事や愚痴を聞いてあげる人

問 54	反対に、あなたが心配事や愚痴(ぐち)を聞いてあげる人。(○はいくつでも)

心配事や愚痴を聞いてあげる人について、「配偶者」が 54.2%で最も高く、次いで「友人」が 49.0%、「別居の子ども」が 40.0%となっています。また、前回調査と比較して「配偶者」が 4.1 ポイント減少しています。

【図表2－7－3 心配事や愚痴を聞いてあげる人】



性別にみると、男性では、「配偶者」が 58.1%で最も高く、女性では、「友人」が 53.6%で最も高くなっています。

年齢別にみると、65～84 歳までは「配偶者」の割合が最も高く、85 歳以上では「友人」の割合が最も高くなっています。

【図表2－7－4 心配事や愚痴を聞いてあげる人(クロス集計)】

※網掛けは最も割合が高いもの　単位：(MA%)

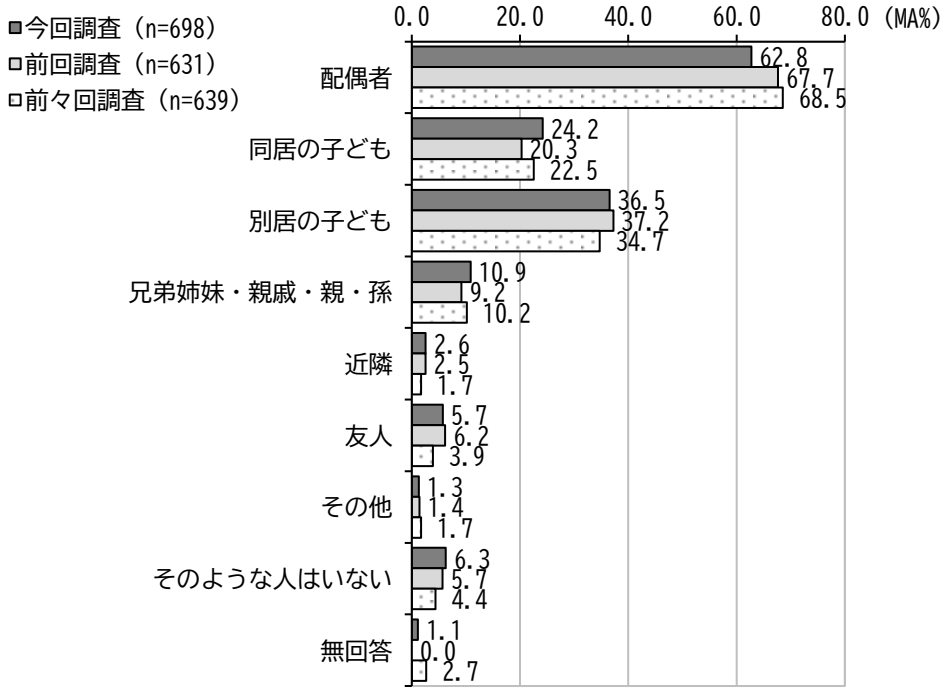
		合計（人）	配偶者	同居の子ども	別居の子ども	兄弟姉妹・親戚・孫	近隣	友人	その他	そのような人はいない	無回答
性別	男性	313	58.1	16.0	38.0	28.4	12.1	43.5	2.9	5.1	2.9
	女性	384	50.8	17.4	41.7	33.1	17.2	53.6	2.3	4.4	1.8
年齢別	65～69歳	138	60.1	18.1	37.0	34.8	15.2	49.3	5.8	4.3	1.4
	70～74歳	164	57.3	17.1	39.0	32.3	13.4	51.8	1.2	5.5	1.2
	75～79歳	203	55.7	14.8	42.9	27.6	14.3	49.8	3.0	3.4	3.0
	80～84歳	130	47.7	17.7	40.8	26.9	14.6	44.6	0.8	6.2	2.3
	85歳以上	62	40.3	17.7	38.7	38.7	21.0	48.4	1.6	4.8	4.8
世帯構成別	１人暮らし	123	0.8	0.0	43.1	38.2	21.1	63.4	3.3	10.6	4.1
	夫婦２人暮らし(配偶者65歳以上)	307	77.9	0.7	48.2	29.6	12.1	50.2	1.3	2.6	1.3
	夫婦２人暮らし(配偶者64歳以下)	29	89.7	3.4	17.2	13.8	13.8	20.7	6.9	3.4	0.0
	息子・娘との２世帯	95	43.2	53.7	30.5	29.5	15.8	48.4	2.1	3.2	4.2
	その他	127	49.6	44.1	30.7	32.3	15.0	39.4	4.7	6.3	1.6
居住地区別	字大山崎	292	50.3	17.8	37.7	31.8	16.8	44.9	2.7	4.5	3.1
	字円明寺	343	57.4	15.7	43.1	31.2	14.9	51.0	2.9	4.4	2.0
	字下植野	62	53.2	17.7	33.9	25.8	6.5	58.1	0.0	8.1	0.0

（3） 病気の時に看病や世話をしてくれる人

問 55	あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人。 （○はいくつでも）

病気の時に看病や世話をしてくれる人について、「配偶者」が 62.8%で最も高く、次いで「別居の子ども」が 36.5%、「同居の子ども」が 24.2%となっています。また、前回調査と比較して「配偶者」が 4.9 ポイント減少しています。

【図表2－7－5 病気の時に看病や世話をしてくれる人】

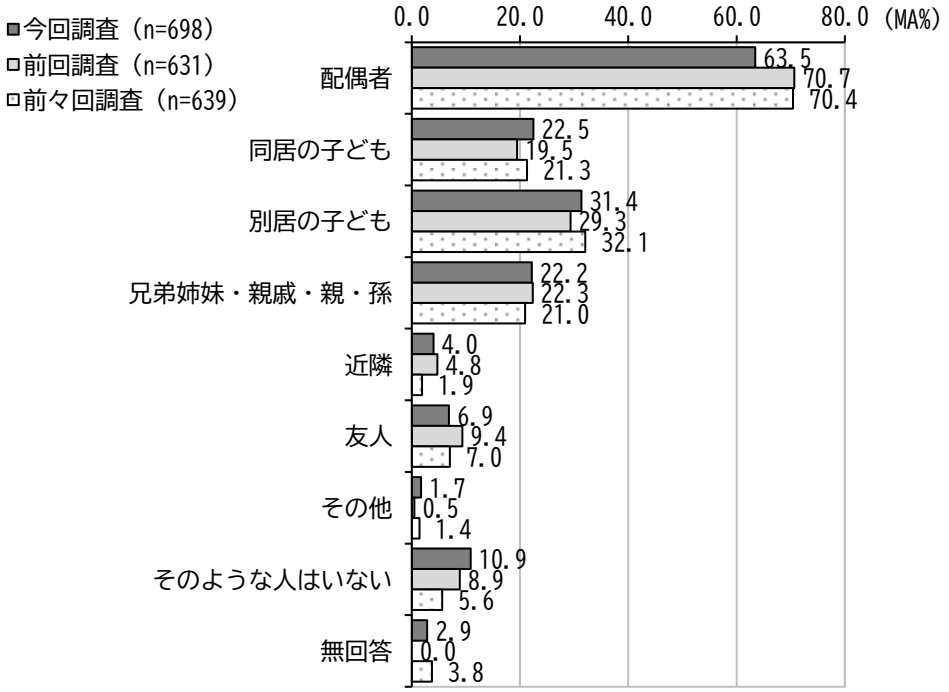


（4） 看病や世話をしてあげる人

問 56	反対に、看病や世話をしてあげる人。（○はいくつでも）

看病や世話をしてあげる人について、「配偶者」が 63.5%で最も高く、次いで「別居の子ども」が 31.4%、「同居の子ども」が 22.5%となっています。また、前回調査と比較して「配偶者」が 7.2 ポイント減少しています。

【図表2－7－6 看病や世話をしてあげる人】

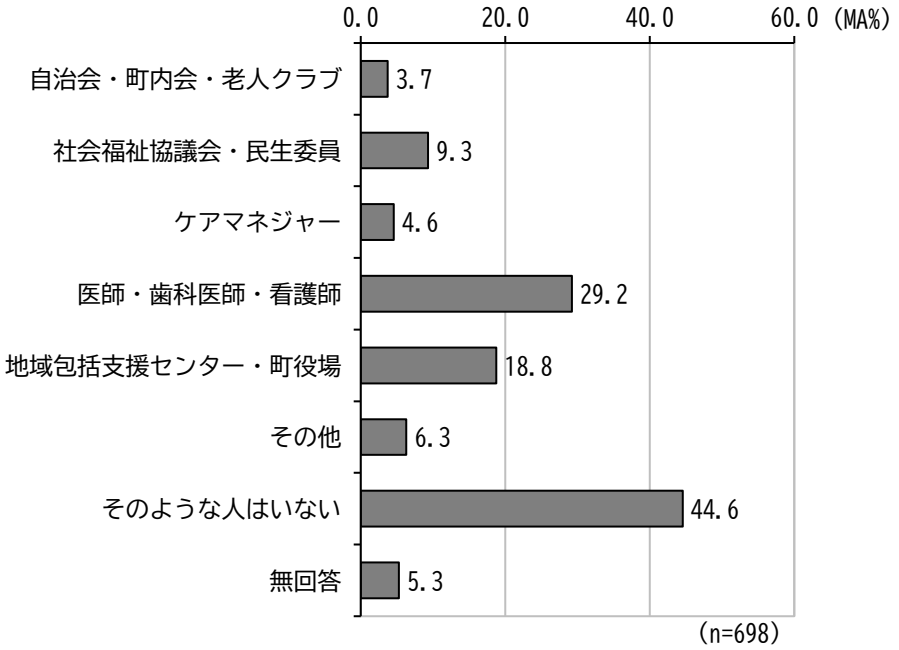


（5） 家族や友人・知人以外の相談相手

問 57	家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手を教えてください。 （○はいくつでも）

家族や友人・知人以外の相談相手について、「そのような人はいない」が 44.6%で最も高く、次いで「医師・歯科医師・看護師」が 29.2%、「地域包括支援センター・町役場」が 18.8%となっています。

【図表2－7－7 家族や友人・知人以外の相談相手】



性別にみると、男性・女性ともに「そのような人はいない」が最も高くなっています。

年齢別にみると、「そのような人はいない」では、65～69 歳が 52.2%で最も高くなっています。

また、居住地区別にみると、「そのような人はいない」では、字円明寺が 45.8%で最も高くなっています。

【図表2－7－8 家族や友人・知人以外の相談相手(クロス集計)】

※網掛けは最も割合が高いもの　単位：(MA%)

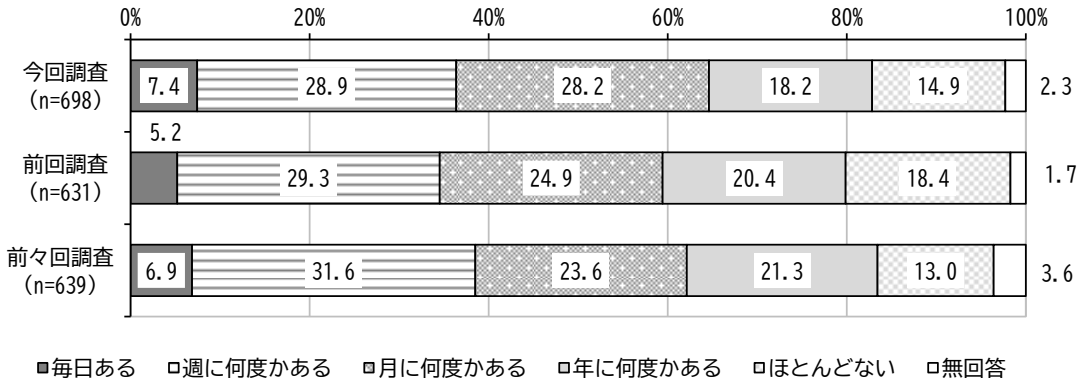
		合計（人）	自治会・町内会・老人クラブ	社会福祉協議会・民生委員	ケアマネジャー	医師・歯科医師・看護師	地域包括支援センター・町役場	その他	そのような人はいない	無回答
性別	男性	313	1.9	7.7	4.2	28.8	16.0	8.9	47.6	3.8
	女性	384	5.2	10.7	4.9	29.7	21.1	4.2	41.9	6.5
年齢別	65～69歳	138	3.6	5.8	2.2	30.4	13.0	8.7	52.2	3.6
	70～74歳	164	3.7	13.4	6.7	23.2	24.4	4.3	46.3	6.1
	75～79歳	203	4.9	9.9	4.4	32.5	21.2	6.4	40.9	3.0
	80～84歳	130	3.1	8.5	3.1	26.2	16.2	6.2	46.2	7.7
	85歳以上	62	1.6	6.5	8.1	38.7	14.5	6.5	30.6	9.7
世帯構成別	１人暮らし	123	3.3	12.2	3.3	28.5	20.3	8.1	40.7	8.1
	夫婦２人暮らし(配偶者65歳以上)	307	2.0	8.8	3.6	27.4	19.2	6.5	47.2	4.9
	夫婦２人暮らし(配偶者64歳以下)	29	3.4	3.4	0.0	20.7	13.8	0.0	65.5	0.0
	息子・娘との２世帯	95	5.3	8.4	4.2	32.6	13.7	7.4	42.1	6.3
	その他	127	6.3	11.0	7.9	29.9	22.8	3.9	42.5	3.9
居住地区別	字大山崎	292	3.8	11.3	5.5	30.8	18.8	6.5	42.8	5.1
	字円明寺	343	4.1	8.2	4.7	28.6	18.7	6.7	45.8	5.2
	字下植野	62	1.6	6.5	0.0	25.8	19.4	3.2	45.2	6.5

（6） 友人・知人と会う頻度

問 58	友人・知人と会う頻度はどれくらいですか。（○は1つ）

友人・知人と会う頻度について、「週に何度かある」が 28.9％で最も高く、次いで「月に何度かある」が28.2％、「年に何度かある」が 18.2％となっています。また、前回調査と比較して「ほとんどない」が 3.5 ポイント減少しています。

【図表2－7－9 友人・知人と会う頻度】



性別にみると、男性・女性ともに「週に何度かある」が最も高くなっています。

年齢別にみると、すべての年代で「週に何度かある」「月に何度かある」が高い割合を占めていますが、「ほとんどない」では、85 歳以上が 22.6％で最も高くなっています。

【図表2－7－10 友人・知人と会う頻度（クロス集計）】

※網掛けは最も割合が高いもの　単位：（%）

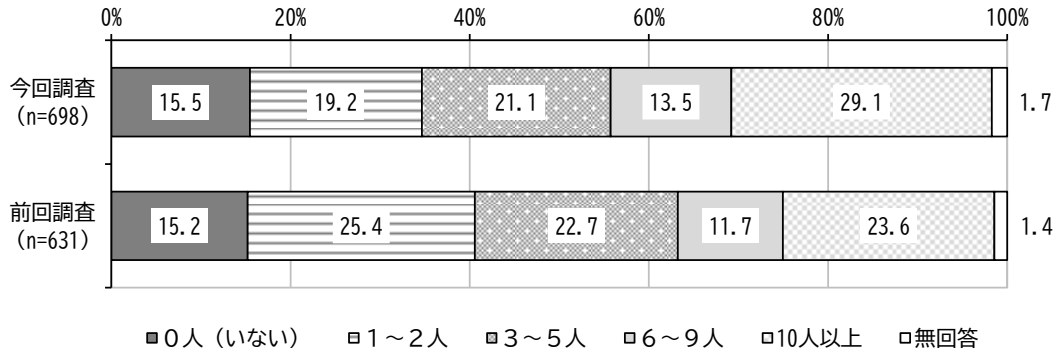
		合計（人）	毎日ある	週に何度かある	月に何度かある	年に何度かある	ほとんどない	無回答
性別	男性	313	8.0	26.2	25.9	21.4	16.9	1.6
	女性	384	7.0	31.3	30.2	15.6	13.3	2.6
年齢別	65～69歳	138	10.1	26.1	29.0	18.8	13.8	2.2
	70～74歳	164	6.1	25.6	36.0	18.3	12.8	1.2
	75～79歳	203	4.9	37.4	22.7	18.7	14.8	1.5
	80～84歳	130	9.2	26.2	26.2	18.5	15.4	4.6
	85歳以上	62	9.7	22.6	29.0	14.5	22.6	1.6
世帯構成別	１人暮らし	123	10.6	35.0	30.1	14.6	8.1	1.6
	夫婦２人暮らし（配偶者65歳以上）	307	6.8	30.0	26.7	20.2	14.0	2.3
	夫婦２人暮らし（配偶者64歳以下）	29	6.9	13.8	34.5	27.6	17.2	0.0
	息子・娘との２世帯	95	3.2	25.3	30.5	14.7	23.2	3.2
	その他	127	7.9	28.3	26.0	17.3	18.9	1.6
居住地区別	字大山崎	292	6.8	29.5	28.1	18.2	15.4	2.1
	字円明寺	343	9.0	28.3	27.1	18.4	14.6	2.6
	字下植野	62	1.6	30.6	35.5	17.7	14.5	0.0

（7） この1か月間で会った友人・知人の人数

問 59	この1か月間、何人の友人・知人と会いましたか。 同じ人には何度会っても１人と数えることとします。（○は1つ）

この1か月間で会った友人・知人の人数について、「10 人以上」が 29.1%で最も高く、次いで「3～5人」が 21.1%、「1～2人」が 19.2%となっています。また、前回調査と比較して「10 人以上」が 5.5 ポイント増加しています。

【図表2－7－11 この1か月間で会った友人・知人の人数】



性別にみると、男性・女性ともに「10 人以上」が最も高くなっています。

年齢別にみると、85 歳以上では「3～5人」が 25.8%で最も高くなっています。

【図表2－7－12 この1か月間で会った友人・知人の人数(クロス集計)】

※網掛けは最も割合が高いもの　単位：(%)

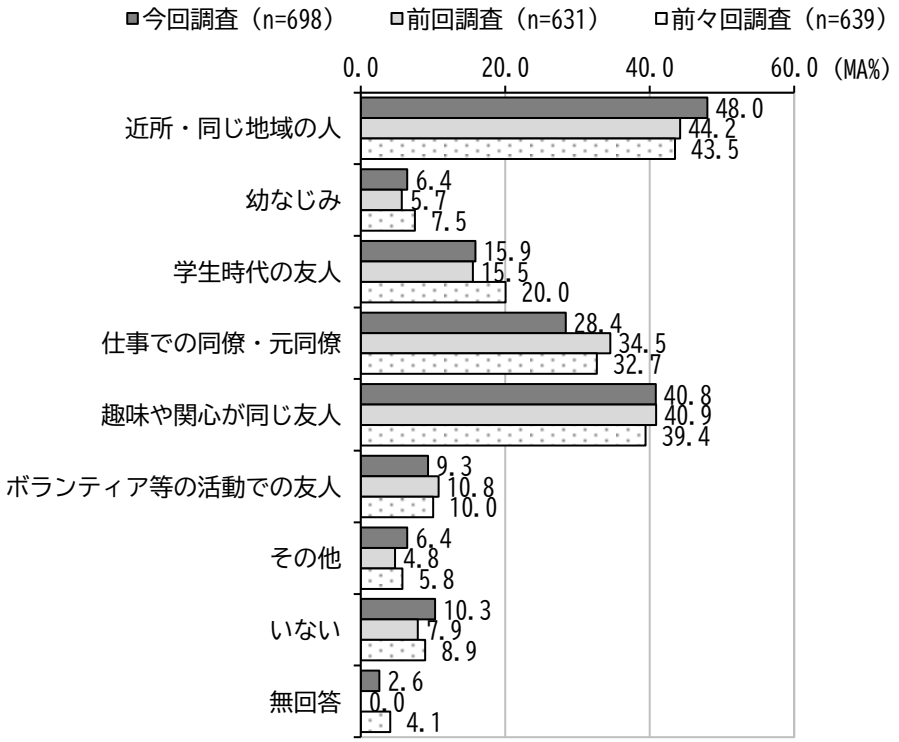
		合計（人）	0人（いない）	1～2人	3～5人	6～9人	10人以上	無回答
性別	男性	313	17.9	22.0	20.1	13.1	25.6	1.3
	女性	384	13.5	16.9	21.9	13.8	32.0	1.8
年齢別	65～69歳	138	13.8	19.6	17.4	12.3	36.2	0.7
	70～74歳	164	14.0	22.6	21.3	15.9	25.6	0.6
	75～79歳	203	16.7	16.7	21.2	12.8	30.5	2.0
	80～84歳	130	15.4	20.0	22.3	11.5	28.5	2.3
	85歳以上	62	19.4	16.1	25.8	16.1	19.4	3.2
世帯構成別	１人暮らし	123	6.5	14.6	29.3	15.4	31.7	2.4
	夫婦２人暮らし（配偶者65歳以上）	307	15.0	17.9	20.5	13.7	31.3	1.6
	夫婦２人暮らし（配偶者64歳以下）	29	24.1	27.6	10.3	6.9	31.0	0.0
	息子・娘との２世帯	95	22.1	16.8	22.1	11.6	25.3	2.1
	その他	127	20.5	24.4	16.5	12.6	25.2	0.8
居住地区別	字大山崎	292	16.1	19.5	21.9	14.0	26.7	1.7
	字円明寺	343	14.9	18.4	20.4	12.2	32.4	1.7
	字下植野	62	16.1	22.6	21.0	17.7	22.6	0.0

（8） よく会う友人・知人

問 60	よく会う友人・知人はどんな関係の人ですか。（○はいくつでも）

よく会う友人・知人について、「近所・同じ地域の人」が 48.0%で最も高く、次いで「趣味や関心が同じ友人」が 40.8%、「仕事での同僚・元同僚」が 28.4%となっています。また、前回調査と比較して「近所・同じ地域の人」が 3.8 ポイント増加しています。

【図表2－7－13 よく会う友人・知人】



【図表2－7－14 よく会う友人・知人（クロス集計）】

※網掛けは最も割合が高いもの　単位：(MA%)

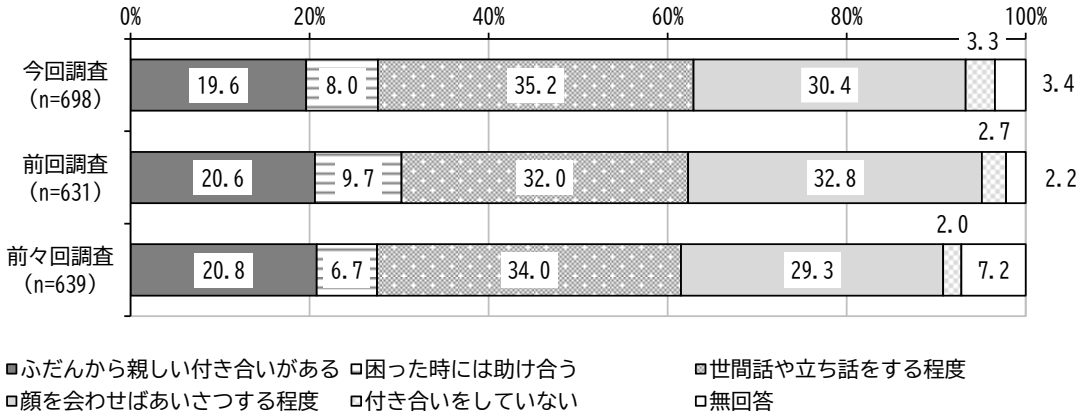
		合計（人）	近所・同じ地域の人	幼なじみ	学生時代の友人	仕事での同僚・元同僚	趣味や関心が同じ友人	ボランティア等の活動での友人	その他	いない	無回答
性別	男性	313	43.5	5.4	17.3	30.4	34.2	7.0	10.2	11.5	3.5
	女性	384	51.8	7.3	14.8	26.8	46.4	11.2	3.4	9.4	1.6
年齢別	65～69歳	138	43.5	8.7	17.4	31.2	39.9	8.0	5.8	8.0	1.4
	70～74歳	164	47.0	6.1	18.9	28.7	45.1	11.6	2.4	11.0	3.0
	75～79歳	203	46.3	5.9	12.8	31.0	41.9	7.9	6.9	11.8	2.0
	80～84歳	130	50.8	3.8	15.4	23.8	37.7	11.5	8.5	9.2	3.1
	85歳以上	62	61.3	9.7	16.1	22.6	35.5	6.5	12.9	11.3	3.2
世帯構成別	１人暮らし	123	59.3	6.5	13.8	24.4	48.0	5.7	7.3	6.5	3.3
	夫婦２人暮らし（配偶者65歳以上）	307	44.6	6.8	15.6	29.3	41.0	10.7	5.5	8.8	2.6
	夫婦２人暮らし（配偶者64歳以下）	29	37.9	6.9	17.2	41.4	24.1	6.9	6.9	10.3	0.0
	息子・娘との２世帯	95	47.4	6.3	18.9	25.3	38.9	8.4	5.3	18.9	1.1
	その他	127	48.0	5.5	17.3	27.6	37.8	10.2	7.9	12.6	3.9
居住地区別	字大山崎	292	50.7	7.5	14.4	26.0	38.4	9.2	4.8	10.6	2.7
	字円明寺	343	47.8	6.1	16.6	30.6	42.9	9.3	8.2	9.6	2.3
	字下植野	62	37.1	3.2	19.4	27.4	41.9	9.7	4.8	12.9	1.6

（9） 隣近所の人との付き合いの状況

問 61	隣近所の人とどの程度お付き合いをしていますか。(○は1つ)

隣近所の人との付き合いの状況について、「世間話や立ち話をする程度」が 35.2%で最も高く、次いで「顔を会わせばあいさつする程度」が 30.4%、「ふだんから親しい付き合いがある」が 19.6%となっています。また、前回調査と比較して「世間話や立ち話をする程度」が 3.2 ポイント増加しています。

【図表2－7－15 隣近所の人との付き合いの状況】



性別にみると、男性では、「顔を会わせばあいさつする程度」が 35.5%で最も高く、女性では、「世間話や立ち話をする程度」が 37.5%で最も高くなっています。

年齢別にみると、「付き合いをしていない」では、65～69 歳が 5.1%で最も高くなっています。

【図表2－7－16 隣近所の人との付き合いの状況(クロス集計)】

※網掛けは最も割合が高いもの　単位：(%)

		合計（人）	ふだんから親しい付き合いがある	困った時には助け合う	世間話や立ち話をする程度	顔を会わせばあいさつする程度	付き合いをしていない	無回答
性別	男性	313	17.6	7.3	32.6	35.5	3.2	3.8
	女性	384	21.4	8.3	37.5	26.3	3.4	3.1
年齢別	65～69歳	138	17.4	8.0	34.8	31.9	5.1	2.9
	70～74歳	164	18.9	6.7	34.8	34.1	2.4	3.0
	75～79歳	203	18.7	8.9	39.4	26.6	3.4	3.0
	80～84歳	130	22.3	9.2	30.8	31.5	2.3	3.8
	85歳以上	62	24.2	4.8	33.9	27.4	3.2	6.5
世帯構成別	１人暮らし	123	19.5	12.2	40.7	22.8	3.3	1.6
	夫婦２人暮らし(配偶者65歳以上)	307	18.2	6.2	36.8	31.6	4.6	2.6
	夫婦２人暮らし(配偶者64歳以下)	29	13.8	6.9	13.8	65.5	0.0	0.0
	息子・娘との２世帯	95	22.1	8.4	32.6	29.5	3.2	4.2
	その他	127	22.8	7.9	33.1	28.3	0.8	7.1
居住地区別	字大山崎	292	21.9	7.2	32.9	31.8	2.7	3.4
	字円明寺	343	18.4	9.0	36.4	28.9	3.8	3.5
	字下植野	62	16.1	4.8	40.3	32.3	3.2	3.2

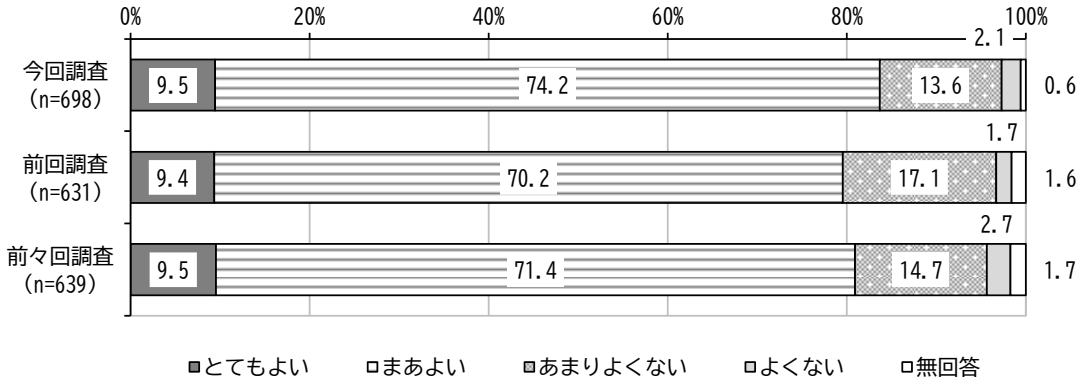
8. 健康について

(1) 健康状態

問 62	現在のあなたの健康状態はいかがですか。(○は1つ)

健康状態について、「まあよい」が 74.2%で最も高く、次いで「あまりよくない」が 13.6%、「とてもよい」が 9.5%となっています。また、前回調査と比較して「まあよい」が 4.0 ポイント増加しています。

【図表2－8－1 健康状態】



性別にみると、男性・女性ともに「まあよい」が最も高くなっています。

年齢別にみると、「とてもよい」では、65～69 歳が 10.1%で最も高く、「まあよい」では、85 歳以上が 77.4%で最も高くなっています。

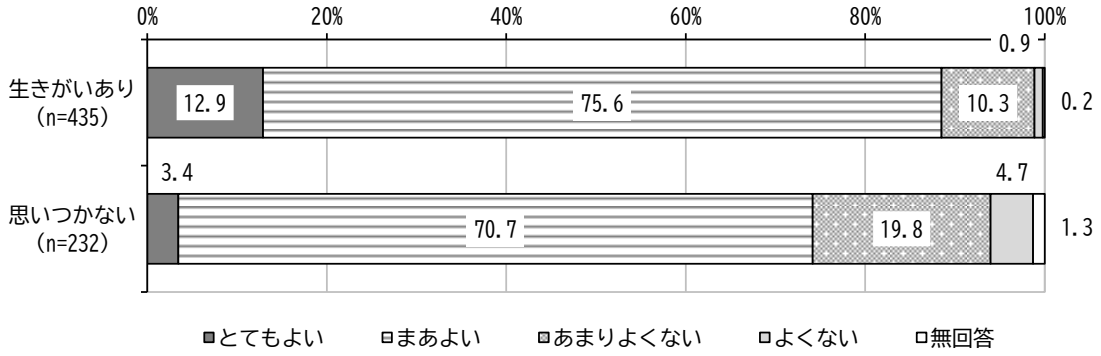
【図表2－8－2 健康状態(クロス集計)】

※網掛けは最も割合が高いもの　単位：(%)

		合計(人)	とてもよい	まあよい	あまりよくない	よくない	無回答
性別	男性	313	8.3	70.9	18.5	1.9	0.3
	女性	384	10.4	77.1	9.4	2.3	0.8
年齢別	65～69歳	138	10.1	68.8	18.1	2.2	0.7
	70～74歳	164	9.8	75.6	11.6	3.0	0.0
	75～79歳	203	9.9	76.4	10.8	2.0	1.0
	80～84歳	130	8.5	73.8	14.6	2.3	0.8
	85歳以上	62	8.1	77.4	14.5	0.0	0.0
世帯構成別	１人暮らし	123	8.1	74.8	15.4	0.8	0.8
	夫婦２人暮らし(配偶者65歳以上)	307	9.4	75.6	11.4	2.9	0.7
	夫婦２人暮らし(配偶者64歳以下)	29	10.3	72.4	10.3	6.9	0.0
	息子・娘との２世帯	95	5.3	77.9	14.7	1.1	1.1
	その他	127	13.4	66.9	18.1	1.6	0.0
居住地区別	字大山崎	292	8.6	76.0	13.7	1.0	0.7
	字円明寺	343	10.5	73.5	12.5	2.9	0.6
	字下植野	62	8.1	71.0	17.7	3.2	0.0

健康状態を生きがいの有無別でみると、「生きがいあり」の「とてもよい」「まあよい」の割合が、「思いつかない」より高くなっています。

【図表2－8－3 健康状態(生きがいの有無別)】

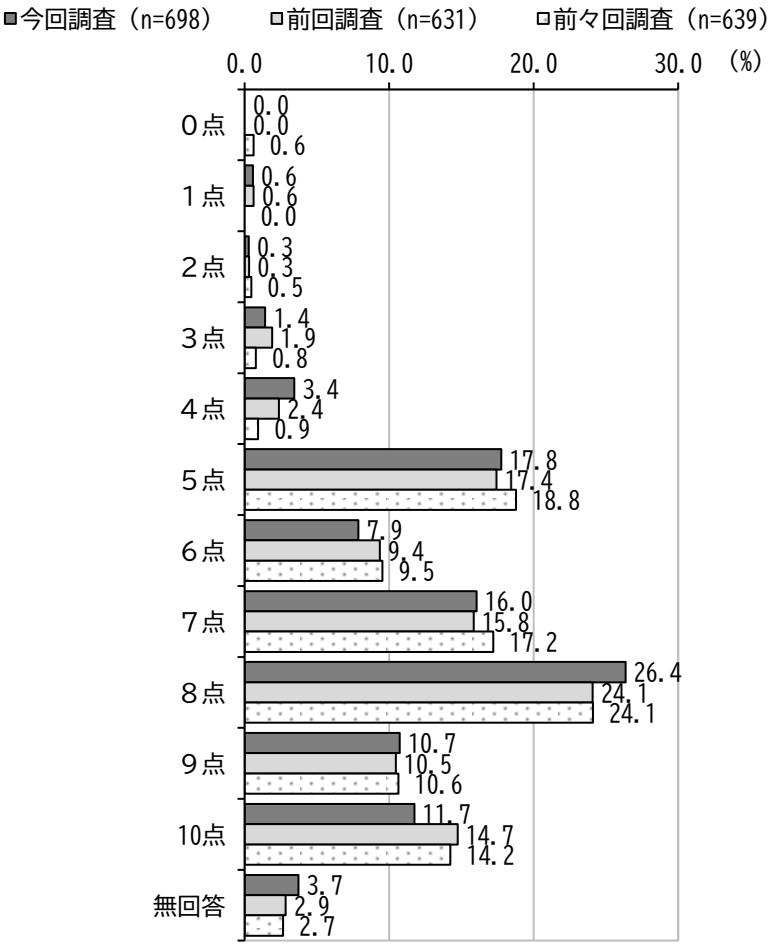


(2) 幸福度

問 63	あなたは、現在どの程度幸せですか。 (「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を 10 点として、ご記入ください。)(○は1つ)

幸福度について、「8点」が 26.4%で最も高く、次いで「5点」が 17.8%、「7点」が 16.0%となっています。また、前回調査と比較して「8点」が 2.3 ポイント増加し、「10 点」が 3.0 ポイント減少しています。

【図表2－8－4 幸福度】



性別にみると、男性・女性ともに「8点」が最も高くなっています。

年齢別にみると、「10 点」では、85 歳以上が 16.1%で最も高くなっています。

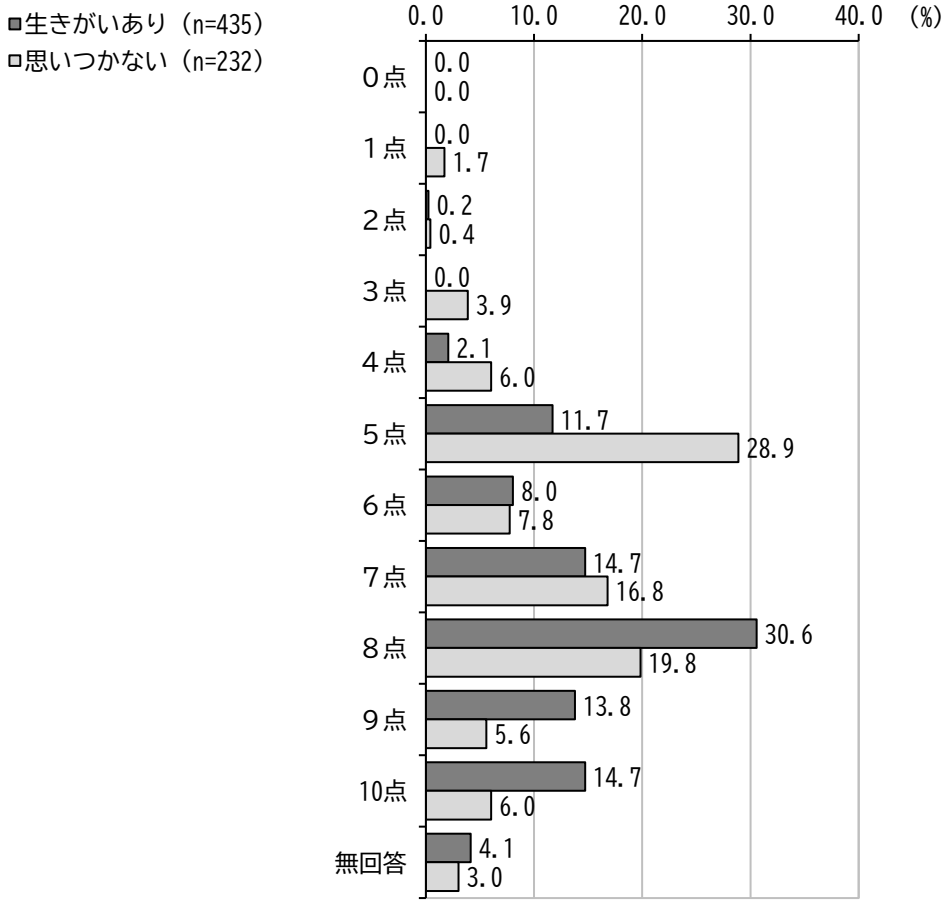
【図表2－8－5 幸福度(クロス集計)】

※網掛けは最も割合が高いもの　単位：(%)

		(人)合計	0点	1点	2点	3点	4点	5点	6点	7点	8点	9点	10点	無回答
性別	男性	313	0.0	0.6	0.3	1.9	4.5	17.3	8.0	17.6	24.3	8.9	13.7	2.9
	女性	384	0.0	0.5	0.3	1.0	2.6	18.2	7.8	14.8	28.1	12.2	10.2	4.2
年齢別	65～69歳	138	0.0	1.4	0.0	2.9	2.2	17.4	10.9	16.7	26.1	9.4	8.7	4.3
	70～74歳	164	0.0	0.6	0.6	1.2	4.3	18.9	7.9	18.3	22.6	10.4	11.6	3.7
	75～79歳	203	0.0	0.0	0.5	1.5	3.0	17.2	7.9	12.8	29.1	12.3	12.3	3.4
	80～84歳	130	0.0	0.0	0.0	0.8	2.3	20.8	5.4	16.2	29.2	10.0	12.3	3.1
	85歳以上	62	0.0	1.6	0.0	0.0	8.1	11.3	6.5	19.4	22.6	11.3	16.1	3.2
世帯構成別	１人暮らし	123	0.0	0.0	0.8	1.6	8.9	16.3	8.1	15.4	30.1	6.5	6.5	5.7
	夫婦２人暮らし(配偶者65歳以上)	307	0.0	0.3	0.0	0.3	2.0	18.6	7.5	16.0	26.1	13.7	12.7	2.9
	夫婦２人暮らし(配偶者64歳以下)	29	0.0	3.4	0.0	0.0	6.9	6.9	10.3	27.6	34.5	3.4	3.4	3.4
	息子・娘との２世帯	95	0.0	2.1	1.1	1.1	1.1	16.8	4.2	14.7	29.5	8.4	16.8	4.2
	その他	127	0.0	0.0	0.0	4.7	3.1	22.0	10.2	13.4	19.7	11.8	11.8	3.1
居住地区別	字大山崎	292	0.0	1.0	0.0	0.7	3.8	18.8	10.3	16.1	23.3	10.6	12.0	3.4
	字円明寺	343	0.0	0.0	0.6	1.7	3.2	16.0	6.1	16.3	28.6	11.1	12.8	3.5
	字下植野	62	0.0	1.6	0.0	3.2	3.2	22.6	6.5	14.5	29.0	9.7	4.8	4.8

幸福度を生きがいの有無別にみると、「生きがいあり」は「7点～10 点」の割合が多く、「思いつかない」は「4点～8点」の割合が多くなっています。

【図表2－8－6 幸福度(生きがいの有無別)】

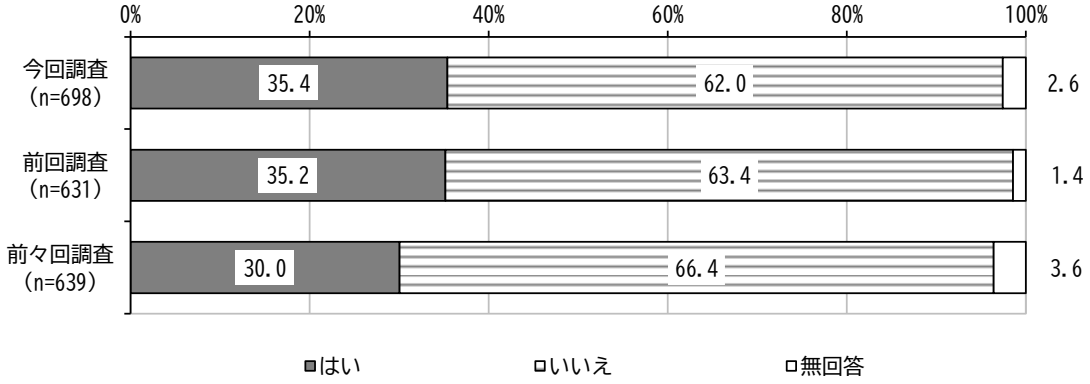


（3） この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりしたか

問 64	この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか。（○は1つ）

この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりしたかについて、「はい」が 35.4%、「いいえ」が 62.0%となっています。また、前回調査と比較して「はい」が 0.2 ポイント増加しています。

【図表2－8－7 この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりしたか】

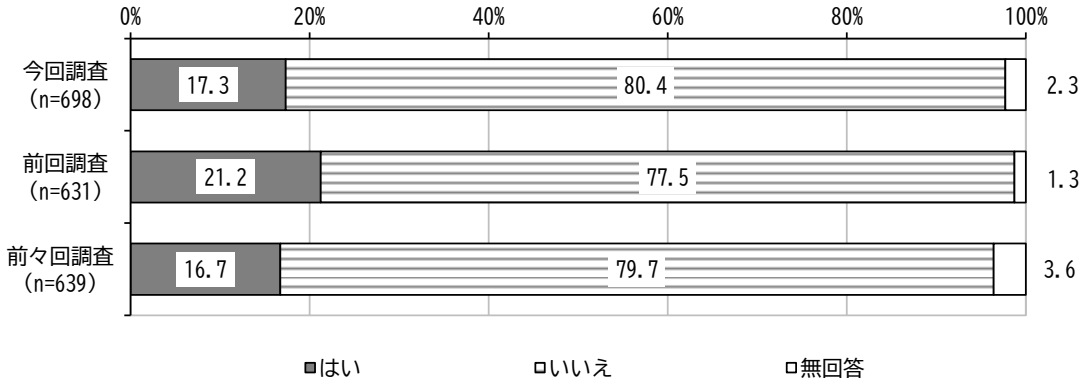


（4） この1か月間、物事に興味がわかない、心から楽しめない感じがよくあったか

問 65	この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか。（○は1つ）

この1か月間、物事に興味がわかない、心から楽しめない感じがよくあったかについて、「はい」が 17.3%、「いいえ」が 80.4%となっています。また、前回調査と比較して「はい」が 3.9 ポイント減少しています。

【図表2－8－8 この1か月間、物事に興味がわかない、心から楽しめない感じがよくあったか】

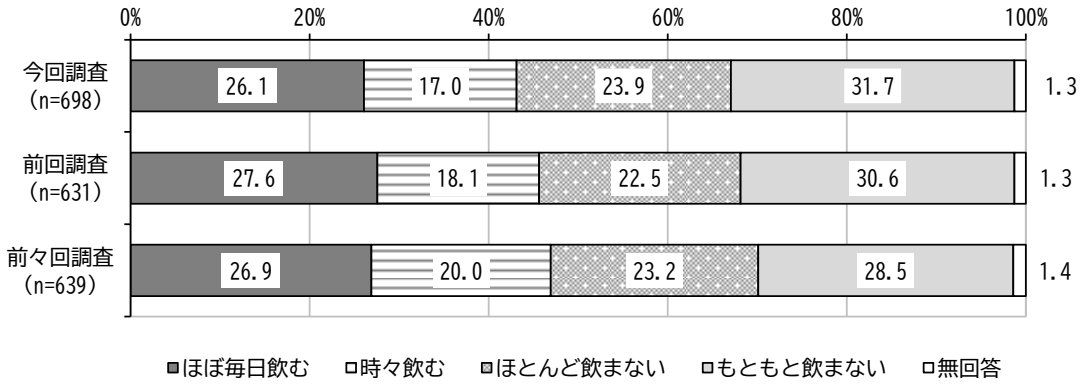


（5） 飲酒状況

問 66	お酒は飲みますか。（○は1つ）

飲酒状況について、「もともと飲まない」が 31.7％で最も高く、次いで「ほぼ毎日飲む」が 26.1％、「ほとんど飲まない」が 23.9％となっています。また、前回調査と比較して「ほぼ毎日飲む」が 1.5 ポイント減少しています。

【図表2－8－9 飲酒状況】



性別にみると、男性では、「ほぼ毎日飲む」が 32.6％で最も高く、女性では、「もともと飲まない」が 35.7％で最も高くなっています。

年齢別にみると、「ほぼ毎日飲む」では、75～79 歳が 29.1％で最も高くなっています。

【図表2－8－10 飲酒状況（クロス集計）】

※網掛けは最も割合が高いもの　単位：（％）

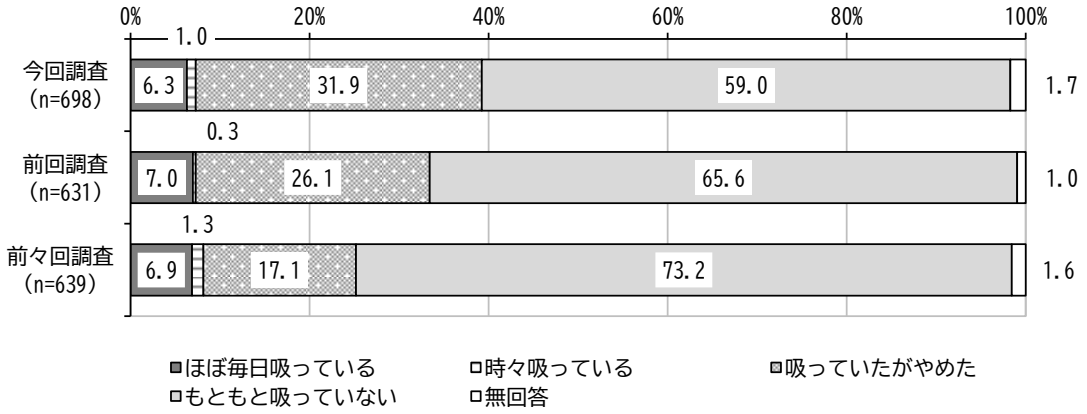
		合計（人）	ほぼ毎日飲む	時々飲む	ほとんど飲まない	もともと飲まない	無回答
性別	男性	313	32.6	14.4	25.6	26.8	0.6
	女性	384	20.8	19.0	22.7	35.7	1.8
年齢別	65～69歳	138	27.5	18.1	21.0	31.2	2.2
	70～74歳	164	26.2	18.9	27.4	25.6	1.8
	75～79歳	203	29.1	15.8	21.2	33.0	1.0
	80～84歳	130	22.3	18.5	26.2	33.1	0.0
	85歳以上	62	21.0	9.7	25.8	41.9	1.6
世帯構成別	１人暮らし	123	17.9	15.4	27.6	36.6	2.4
	夫婦２人暮らし（配偶者65歳以上）	307	32.2	19.9	20.5	26.7	0.7
	夫婦２人暮らし（配偶者64歳以下）	29	44.8	6.9	17.2	27.6	3.4
	息子・娘との２世帯	95	21.1	16.8	25.3	35.8	1.1
	その他	127	21.3	16.5	26.0	35.4	0.8
居住地区別	字大山崎	292	24.3	15.1	23.6	35.6	1.4
	字円明寺	343	26.8	19.5	24.5	27.7	1.5
	字下植野	62	30.6	11.3	22.6	35.5	0.0

（6） 喫煙状況

問 67	タバコは吸っていますか。（○は1つ）

喫煙状況について、「もともと吸っていない」が 59.0%で最も高く、次いで「吸っていたがやめた」が 31.9%、「ほぼ毎日吸っている」が 6.3%となっています。また、前回調査と比較して「吸っていたがやめた」が 5.8 ポイント増加しています。

【図表2－8－11 喫煙状況】

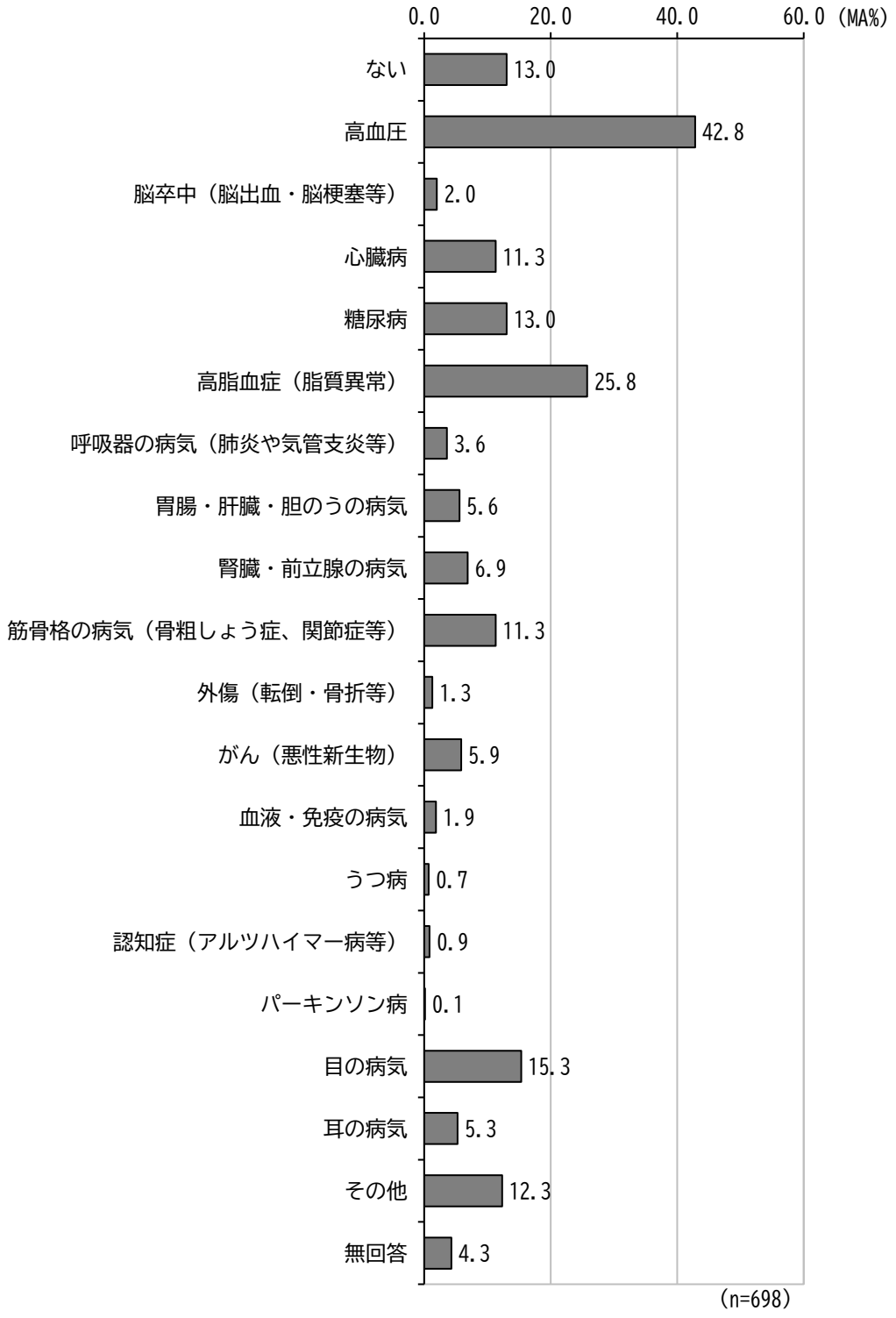


（7） 現在治療中、または後遺症のある病気

問 68	現在治療中、または後遺症のある病気はありますか。（○はいくつでも）

現在治療中、または後遺症のある病気について、「高血圧」が 42.8%で最も高く、次いで「高脂血症（脂質異常）」が 25.8%、「目の病気」が 15.3%となっています。

【図表2－8－12 現在治療中、または後遺症のある病気】



性別にみると、男性・女性ともに「高血圧」が最も高くなっています。

年齢別にみると、「ない」では、75～79 歳が 14.8%で最も高くなっています。

【図表2－8－13　現在治療中、または後遺症のある病気(クロス集計)】

※網掛けは最も割合が高いもの　単位：(MA%)

		合計（人）	ない	高血圧	脳卒中（脳出血・脳梗塞等）	心臓病	糖尿病	高脂血症（脂質異常）	呼吸器の病気（肺炎や気管支炎等）	胃腸・肝臓・胆のうの病気	腎臓・前立腺の病気	筋骨格の病気（骨粗しょう症、関節症等）	外傷（転倒・骨折等）
性別	男性	313	11.8	46.6	2.2	13.4	15.0	21.1	4.8	6.7	10.5	9.9	1.9
	女性	384	13.8	39.8	1.8	9.6	11.5	29.7	2.6	4.7	3.9	12.5	0.8
年齢別	65～69歳	138	11.6	43.5	2.2	14.5	13.0	24.6	5.1	4.3	7.2	11.6	2.2
	70～74歳	164	14.0	40.9	1.2	10.4	16.5	27.4	1.8	6.1	4.3	10.4	1.8
	75～79歳	203	14.8	43.3	1.0	9.4	11.8	26.1	4.4	5.9	8.9	10.8	0.5
	80～84歳	130	10.0	39.2	4.6	10.8	11.5	28.5	2.3	6.2	6.2	12.3	0.0
	85歳以上	62	12.9	53.2	1.6	14.5	11.3	17.7	4.8	4.8	8.1	12.9	3.2
世帯構成別	１人暮らし	123	12.2	43.9	2.4	11.4	11.4	27.6	4.9	5.7	5.7	11.4	0.8
	夫婦２人暮らし(配偶者65歳以上)	307	15.0	45.3	2.3	10.7	13.4	24.8	2.6	5.2	6.8	8.1	1.0
	夫婦２人暮らし(配偶者64歳以下)	29	6.9	34.5	0.0	13.8	13.8	17.2	6.9	17.2	3.4	6.9	0.0
	息子・娘との２世帯	95	12.6	33.7	1.1	14.7	9.5	24.2	6.3	2.1	8.4	17.9	2.1
	その他	127	11.0	44.1	2.4	10.2	17.3	28.3	2.4	5.5	7.1	14.2	1.6
居住地区別	字大山崎	292	12.3	43.5	1.7	10.6	11.6	25.0	2.7	7.5	7.5	14.0	0.7
	字円明寺	343	14.0	42.6	2.0	11.7	13.7	27.1	4.4	3.2	6.4	8.5	2.0
	字下植野	62	9.7	41.9	3.2	12.9	16.1	22.6	3.2	9.7	6.5	14.5	0.0

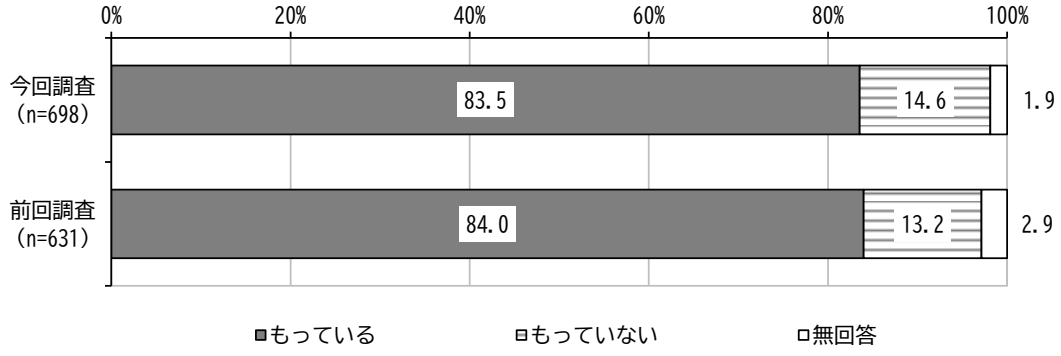
		合計（人）	がん（悪性新生物）	血液・免疫の病気	うつ病	認知症（アルツハイマー病等）	パーキンソン病	目の病気	耳の病気	その他	無回答
性別	男性	313	7.0	2.9	0.3	0.6	0.3	13.7	5.8	13.7	3.8
	女性	384	4.9	1.0	1.0	1.0	0.0	16.7	4.9	11.2	4.7
年齢別	65～69歳	138	7.2	3.6	1.4	2.2	0.0	10.1	5.1	13.8	4.3
	70～74歳	164	5.5	0.6	0.6	0.6	0.0	12.8	5.5	14.0	4.9
	75～79歳	203	6.4	1.5	1.0	0.0	0.5	14.8	3.4	11.8	2.0
	80～84歳	130	4.6	2.3	0.0	0.8	0.0	22.3	5.4	8.5	7.7
	85歳以上	62	4.8	1.6	0.0	1.6	0.0	21.0	11.3	14.5	3.2
世帯構成別	１人暮らし	123	6.5	2.4	0.0	0.0	0.0	17.9	5.7	16.3	3.3
	夫婦２人暮らし(配偶者65歳以上)	307	4.6	1.6	0.7	1.0	0.3	14.0	4.9	9.1	4.2
	夫婦２人暮らし(配偶者64歳以下)	29	13.8	3.4	0.0	0.0	0.0	10.3	3.4	20.7	3.4
	息子・娘との２世帯	95	4.2	1.1	1.1	2.1	0.0	20.0	4.2	14.7	4.2
	その他	127	7.1	2.4	1.6	0.0	0.0	11.8	6.3	13.4	5.5
居住地区別	字大山崎	292	4.5	1.7	0.3	0.7	0.0	18.2	6.5	12.7	3.4
	字円明寺	343	7.6	2.3	0.6	0.9	0.3	12.8	4.1	11.1	5.0
	字下植野	62	3.2	0.0	3.2	1.6	0.0	16.1	6.5	17.7	4.8

（8） かかりつけ医を持っているか

問 69	「かかりつけ医」とは、日頃から健康について相談でき、体調が悪いときにまず診てもらえるような、地域の身近な医師のことです。あなたは「かかりつけ医」をもっていますか。（○は1つ）

かかりつけ医を持っているかについて、「もっている」が 83.5%、「もっていない」が 14.6%となっています。また、前回調査と比較して「もっている」が 0.5 ポイント減少しています。

【図表2－8－14 かかりつけ医を持っているか】



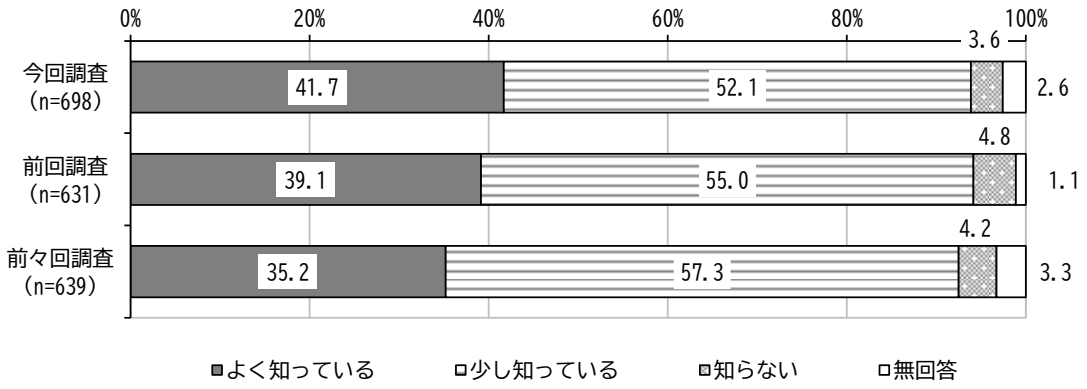
9. 認知症にかかる相談窓口の把握について

(1) 認知症の認知度

問 70	あなたは、認知症についてご存知ですか。(○は1つ)

認知症の認知度について、「少し知っている」が 52.1%で最も高く、次いで「よく知っている」が 41.7%、「知らない」が 3.6%となっています。また、前回調査と比較して「知らない」が 1.2 ポイント減少しています。

【図表2－9－1 認知症の認知度】



性別にみると、「よく知っている」について、男性では 39.3%、女性では 43.8%となっており、女性のほうが 4.5 ポイント高くなっています。

年齢別にみると、「よく知っている」では、80～84 歳が 44.6%で最も高く、「少し知っている」では、70～74 歳が 53.7%で最も高くなっています。

【図表2－9－2 認知症の認知度(クロス集計)】

※網掛けは最も割合が高いもの 単位：(%)

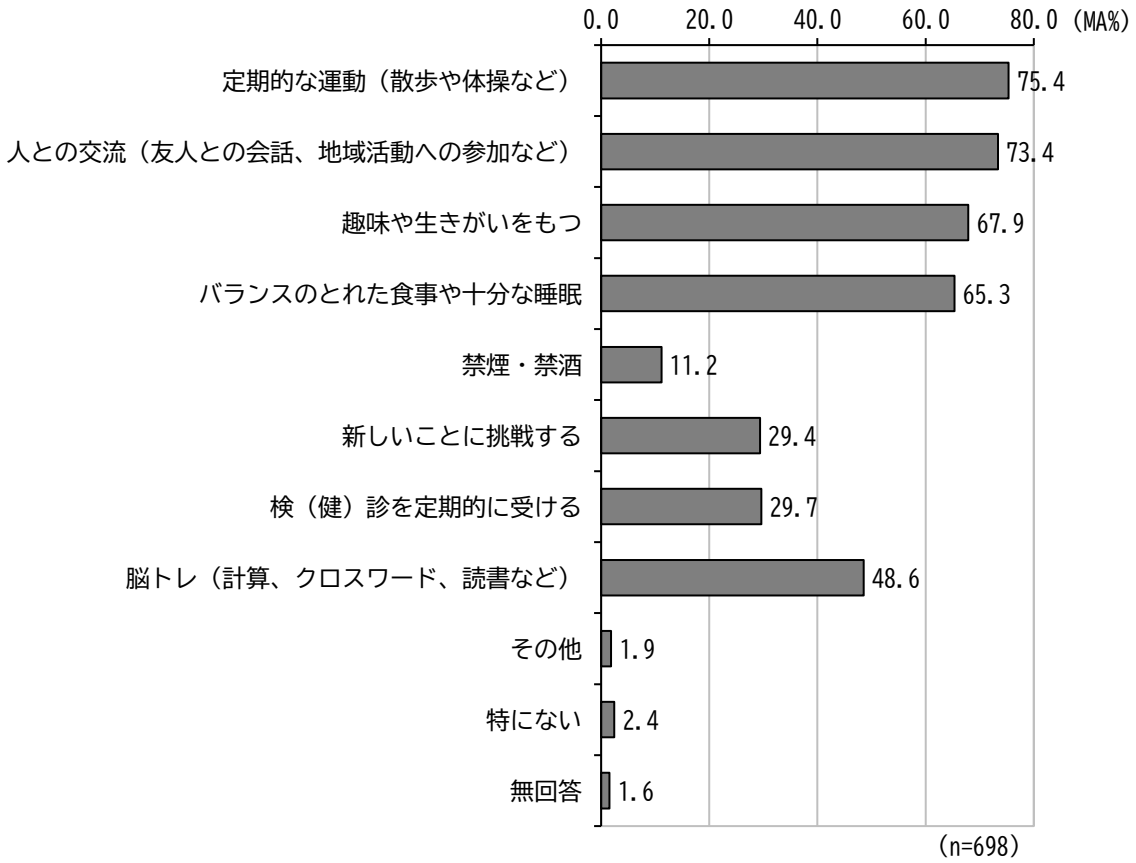
		合計(人)	よく知っている	少し知っている	知らない	無回答
性別	男性	313	39.3	53.0	5.4	2.2
	女性	384	43.8	51.3	2.1	2.9
年齢別	65～69歳	138	42.0	52.9	2.9	2.2
	70～74歳	164	40.2	53.7	4.3	1.8
	75～79歳	203	41.9	51.2	3.4	3.4
	80～84歳	130	44.6	50.8	2.3	2.3
	85歳以上	62	38.7	51.6	6.5	3.2
世帯構成別	１人暮らし	123	43.1	48.8	4.9	3.3
	夫婦２人暮らし(配偶者65歳以上)	307	40.1	54.4	2.6	2.9
	夫婦２人暮らし(配偶者64歳以下)	29	31.0	55.2	13.8	0.0
	息子・娘との２世帯	95	41.1	51.6	3.2	4.2
	その他	127	48.0	49.6	2.4	0.0
居住地区別	字大山崎	292	42.8	53.1	2.7	1.4
	字円明寺	343	42.3	49.9	4.4	3.5
	字下植野	62	33.9	59.7	3.2	3.2

（2） 認知症予防のために効果的だと思うこと

問 71	あなたが認知症予防のために効果的だと思うことは何ですか。（○はいくつでも）

認知症予防のために効果的だと思うことについて、「定期的な運動（散歩や体操など）」が 75.4％で最も高く、次いで「人との交流（友人との会話、地域活動への参加など）」が 73.4％、「趣味や生きがいをもつ」が 67.9％となっています。

【図表2－9－3 認知症予防のために効果的だと思うこと】



性別にみると、男性では、「定期的な運動（散歩や体操など）」が 73.8%で最も高く、女性では、「人との交流（友人との会話、地域活動への参加など）」が 77.9%で最も高くなっています。

年齢別にみると、「特にない」では、85 歳以上が 4.8%で最も高くなっています。

【図表2－9－4 認知症予防のために効果的だと思うこと（クロス集計）】

※網掛けは最も割合が高いもの　単位：（MA%）

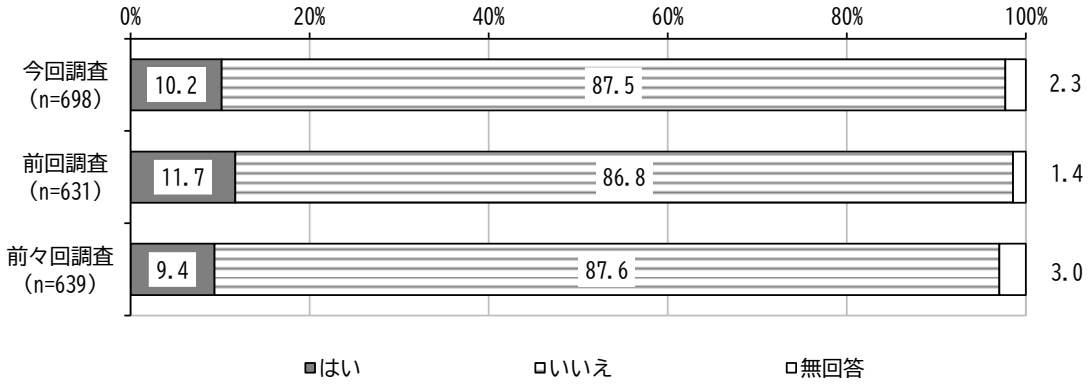
		合計（人）	定期的な運動（散歩や体操など）	人との交流（友人との会話、地域活動への参加など）	趣味や生きがいをもつ	バランスのとれた食事や十分な睡眠	禁煙・禁酒	新しいことに挑戦する	検（健）診を定期的に受ける	脳トレ（計算、クロスワード、読書など）	その他	特にない	無回答
性別	男性	313	73.8	68.1	64.2	62.3	13.4	26.2	28.4	42.8	0.3	1.9	1.9
	女性	384	76.8	77.9	71.1	68.0	9.4	32.0	30.7	53.4	3.1	2.6	1.3
年齢別	65～69歳	138	76.1	71.7	63.0	63.0	7.2	23.2	24.6	47.1	0.0	3.6	2.2
	70～74歳	164	75.0	72.6	73.2	67.1	14.0	29.9	31.1	54.3	2.4	1.2	1.2
	75～79歳	203	79.3	75.9	72.9	62.6	10.8	31.0	27.6	52.2	2.5	1.0	1.5
	80～84歳	130	73.1	73.8	63.8	70.0	11.5	31.5	34.6	43.1	1.5	3.1	0.0
	85歳以上	62	67.7	71.0	58.1	66.1	12.9	32.3	33.9	37.1	3.2	4.8	4.8
世帯構成別	１人暮らし	123	73.2	80.5	70.7	68.3	11.4	28.5	35.0	52.8	0.8	4.1	3.3
	夫婦２人暮らし（配偶者65歳以上）	307	79.8	74.6	68.7	68.4	11.7	31.6	30.9	49.2	2.3	0.3	1.3
	夫婦２人暮らし（配偶者64歳以下）	29	65.5	65.5	62.1	44.8	10.3	37.9	20.7	44.8	0.0	6.9	0.0
	息子・娘との２世帯	95	68.4	70.5	71.6	67.4	9.5	27.4	28.4	51.6	1.1	2.1	1.1
	その他	127	75.6	67.7	61.4	57.5	11.8	24.4	25.2	44.9	3.1	5.5	0.8
居住地区別	字大山崎	292	74.3	72.6	66.4	64.7	11.0	28.8	28.8	43.5	2.1	4.1	1.0
	字円明寺	343	76.1	74.6	69.4	63.8	11.4	30.9	30.3	51.0	2.0	0.9	2.3
	字下植野	62	77.4	71.0	67.7	77.4	11.3	24.2	30.6	59.7	0.0	1.6	0.0

（3） 認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいるか

問 72	認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいますか。（○は1つ）

認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいるかについて、「はい」が 10.2%、「いいえ」が 87.5%となっています。また、前回調査と比較して「はい」が 1.5 ポイント減少しています。

【図表2－9－5 認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいるか】

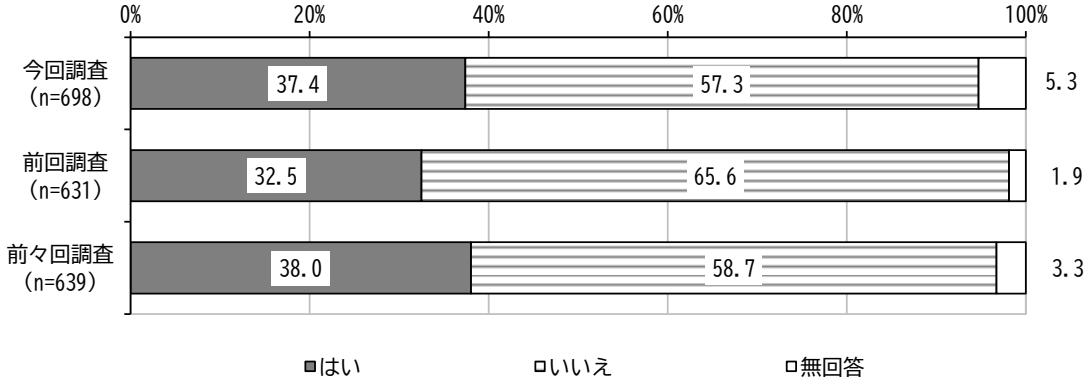


（4） 認知症に関する相談窓口を知っているか

問 73	認知症に関する相談窓口を知っていますか。（○は1つ）

認知症に関する相談窓口の認知状況について、「はい」が 37.4%、「いいえ」が 57.3%となっています。また、前回調査と比較して「はい」が 4.9 ポイント増加しています。

【図表2－9－6 認知症に関する相談窓口を知っているか】

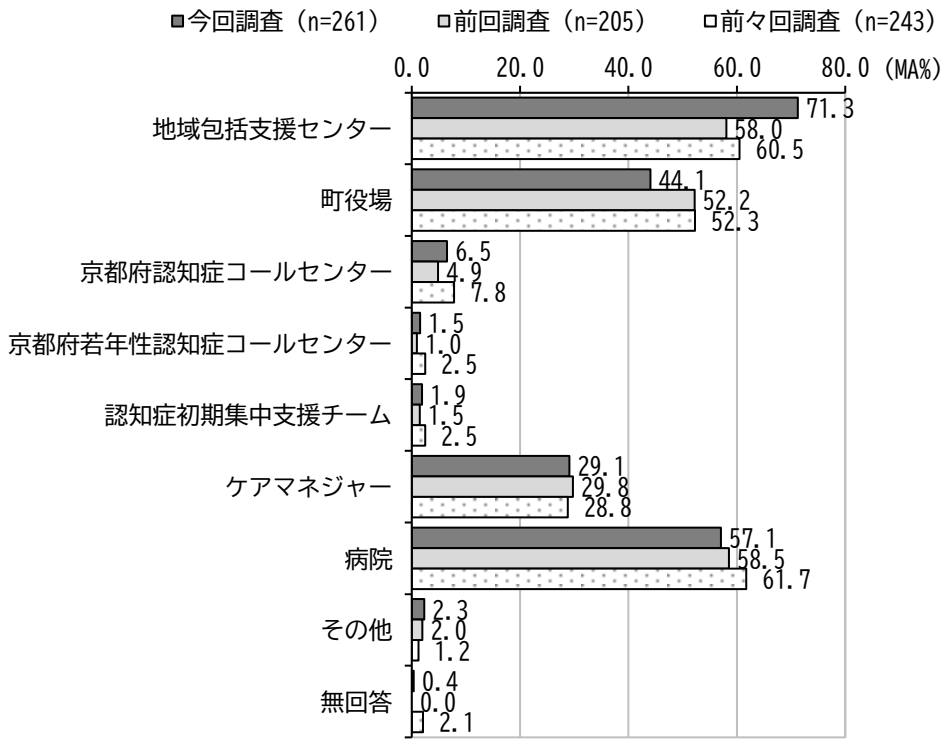


（5） 認知症に関する相談窓口の認知状況

問 73-1	**【問 73 で「はい」を回答された方のみ】** 認知症についての相談先としてどんなところをご存知ですか。（○はいくつでも）

認知症に関する相談窓口の認知状況について、「地域包括支援センター」が 71.3％で最も高く、次いで「病院」が 57.1％、「町役場」が 44.1％となっています。また、前回調査と比較して「地域包括支援センター」が 13.3 ポイント増加しています。

【図表2－9－7 認知症に関する相談窓口の認知状況】



性別にみると、「地域包括支援センター」について、男性では 60.4%、女性では 77.6%となっており、女性のほうが 17.2 ポイント高くなっています。

年齢別にみると、「地域包括支援センター」では、75～79 歳が 77.3%で最も高くなっています。

【図表2－9－8 認知症に関する相談窓口の認知状況(クロス集計)】

※網掛けは最も割合が高いもの　単位：(MA%)

		合計（人）	地域包括支援センター	町役場	京都府認知症コールセンター	京都府若年性認知症コールセンター	認知症初期集中支援チーム	ケアマネジャー	病院	その他	無回答
性別	男性	96	60.4	45.8	6.3	2.1	1.0	31.3	60.4	0.0	0.0
	女性	165	77.6	43.0	6.7	1.2	2.4	27.9	55.2	3.6	0.6
年齢別	65～69歳	45	71.1	40.0	2.2	0.0	0.0	28.9	73.3	2.2	0.0
	70～74歳	67	67.2	43.3	9.0	0.0	1.5	31.3	49.3	1.5	1.5
	75～79歳	75	77.3	41.3	9.3	4.0	2.7	30.7	53.3	1.3	0.0
	80～84歳	56	67.9	50.0	3.6	1.8	1.8	17.9	60.7	5.4	0.0
	85歳以上	18	72.2	50.0	5.6	0.0	5.6	50.0	50.0	0.0	0.0
世帯構成別	１人暮らし	52	76.9	34.6	5.8	0.0	1.9	21.2	59.6	3.8	0.0
	夫婦２人暮らし(配偶者65歳以上)	124	66.1	42.7	4.0	0.0	2.4	29.8	55.6	3.2	0.8
	夫婦２人暮らし(配偶者64歳以下)	6	50.0	33.3	16.7	16.7	0.0	33.3	16.7	0.0	0.0
	息子・娘との２世帯	31	71.0	58.1	6.5	3.2	3.2	16.1	64.5	0.0	0.0
	その他	43	83.7	51.2	11.6	4.7	0.0	39.5	55.8	0.0	0.0
居住地区別	字大山崎	107	71.0	44.9	4.7	0.9	2.8	32.7	62.6	1.9	0.0
	字円明寺	133	71.4	45.9	9.0	2.3	1.5	26.3	51.9	2.3	0.8
	字下植野	21	71.4	28.6	0.0	0.0	0.0	28.6	61.9	4.8	0.0

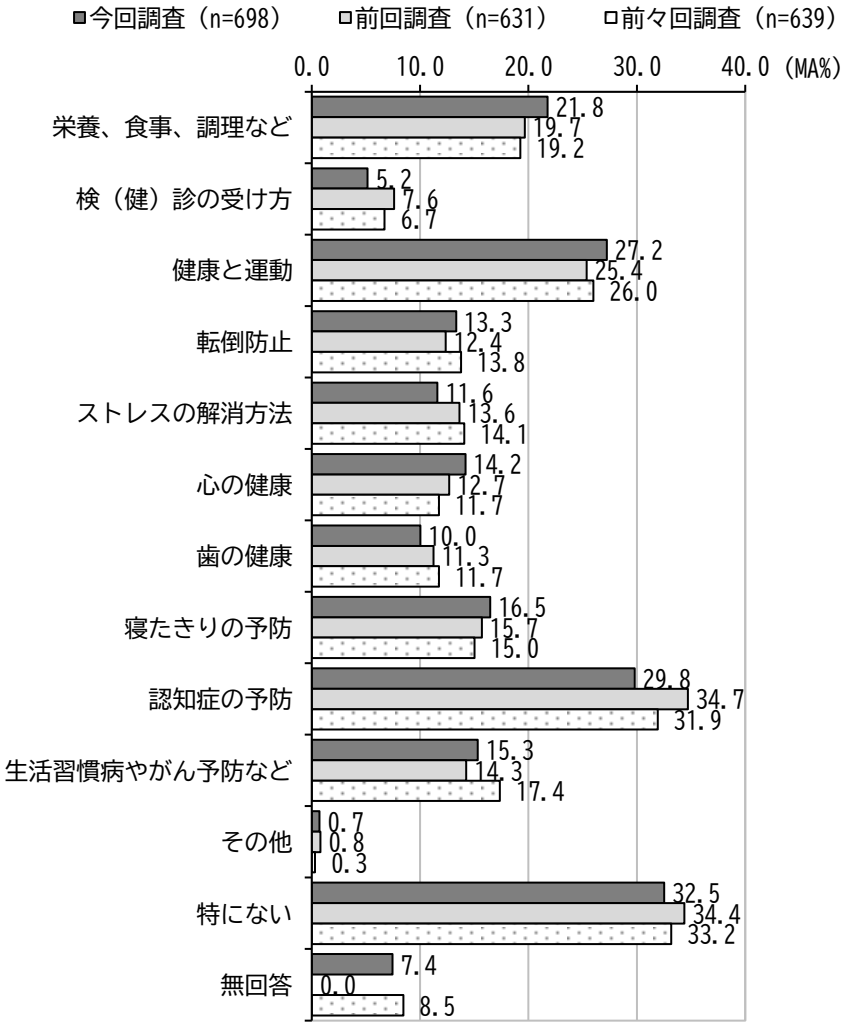
10. 高齢者に関するサービス・制度等について

(1) 健康づくりや介護予防について知りたいこと

問 74	あなたが健康づくりや介護予防について知りたいことはありますか。 (○はいくつでも)

健康づくりや介護予防について知りたいことについて、「特にない」が 32.5%で最も高く、次いで「認知症の予防」が 29.8%、「健康と運動」が 27.2%となっています。また、前回調査と比較して「栄養、食事、調理」が 2.1 ポイント増加し、「認知症の予防」が 4.9 ポイント減少しています。

【図表2－10－1 健康づくりや介護予防について知りたいこと】



性別にみると、男性・女性ともに「特にない」が最も高くなっています。

年齢別にみると、「認知症の予防」では、70～74 歳が 36.6%で最も高くなっています。

【図表2－10－2 健康づくりや介護予防について知りたいこと(クロス集計)】

※網掛けは最も割合が高いもの 単位：(MA%)

		合計（人）	栄養、食事、調理など	検（健）診の受け方	健康と運動	転倒防止	ストレスの解消方法	心の健康	歯の健康	寝たきりの予防	認知症の予防	生活習慣病やがん予防など	その他
性別	男性	313	19.2	6.1	25.2	9.3	8.9	11.8	9.3	14.4	31.9	16.0	1.0
	女性	384	24.0	4.4	28.9	16.7	13.8	16.1	10.7	18.2	28.1	14.8	0.3
年齢別	65～69歳	138	21.0	5.8	30.4	13.0	10.9	14.5	11.6	11.6	29.7	15.9	0.7
	70～74歳	164	18.9	4.3	25.6	14.6	11.0	16.5	11.0	21.3	36.6	20.7	0.6
	75～79歳	203	24.1	5.4	27.6	12.8	12.3	12.3	11.3	16.3	24.1	12.3	0.5
	80～84歳	130	24.6	5.4	25.4	12.3	10.8	16.2	7.7	15.4	30.8	14.6	0.0
	85歳以上	62	17.7	4.8	27.4	14.5	14.5	9.7	4.8	17.7	29.0	11.3	1.6
世帯構成別	１人暮らし	123	22.0	6.5	24.4	17.1	13.0	15.4	11.4	17.1	27.6	16.3	1.6
	夫婦２人暮らし(配偶者65歳以上)	307	22.8	4.9	31.9	10.4	11.1	13.7	9.4	15.6	32.9	16.9	1.0
	夫婦２人暮らし(配偶者64歳以下)	29	17.2	20.7	24.1	13.8	10.3	20.7	13.8	10.3	37.9	10.3	0.0
	息子・娘との２世帯	95	21.1	3.2	21.1	16.8	12.6	13.7	9.5	22.1	27.4	12.6	0.0
	その他	127	21.3	3.1	24.4	13.4	10.2	14.2	8.7	14.2	25.2	15.0	0.0
居住地区別	字大山崎	292	22.9	5.1	29.5	14.0	11.0	14.7	9.6	18.2	28.8	14.7	0.7
	字円明寺	343	19.5	5.0	26.5	12.5	12.8	14.9	9.6	13.1	29.7	15.7	0.6
	字下植野	62	29.0	6.5	21.0	14.5	8.1	8.1	14.5	27.4	35.5	16.1	0.0

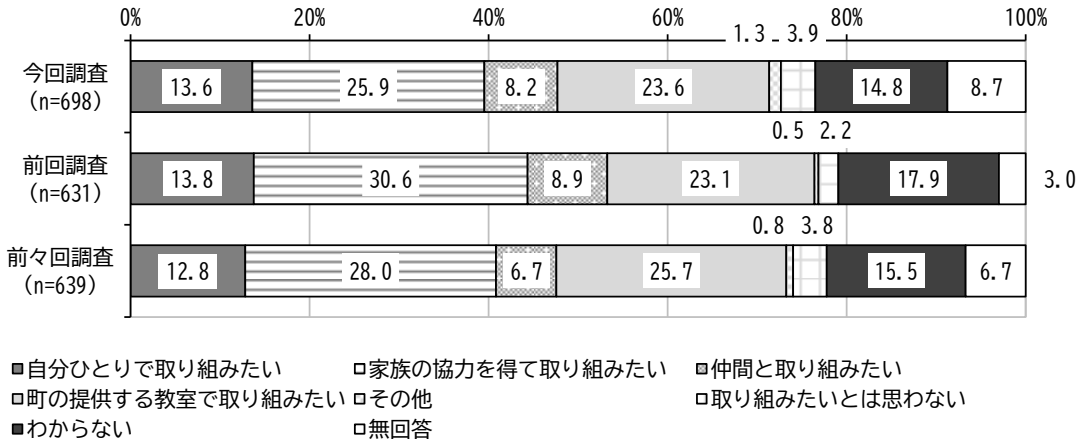
		合計（人）	特にない	無回答
性別	男性	313	36.1	7.0
	女性	384	29.7	7.8
年齢別	65～69歳	138	37.7	4.3
	70～74歳	164	32.9	7.3
	75～79歳	203	31.0	7.9
	80～84歳	130	31.5	6.9
	85歳以上	62	27.4	14.5
世帯構成別	１人暮らし	123	27.6	9.8
	夫婦２人暮らし(配偶者65歳以上)	307	31.3	5.9
	夫婦２人暮らし(配偶者64歳以下)	29	41.4	0.0
	息子・娘との２世帯	95	35.8	8.4
	その他	127	34.6	8.7
居住地区別	字大山崎	292	34.9	6.8
	字円明寺	343	30.0	8.7
	字下植野	62	35.5	3.2

（2） 健康づくりや介護予防についてどのように取り組みたいか

問 75	本町の要介護認定を受けている高齢者の方は、およそ5人に1人で、年々増加しています。要介護の方が減少することは、当人だけではなく、周りの家族や地域の人々にとってもよいことで、介護保険料の減少にもつながることなので、町ではみんなが協力し合って介護予防の普及ができればと考えています。 そこでおうかがいします。あなたは、健康づくりや介護予防に、どのように取り組みたいですか。（○は1つ）

健康づくりや介護予防についてどのように取り組みたいかについて、「家族の協力を得て取り組みたい」が25.9%で最も高く、次いで「町の提供する教室で取り組みたい」が 23.6%、「わからない」が 14.8%となっています。また、前回調査と比較して「家族の協力を得て取り組みたい」が 4.7 ポイント減少しています。

【図表2－10－3 健康づくりや介護予防についてどのように取り組みたいか】



性別にみると、男性では、「家族の協力を得て取り組みたい」が 27.2%で最も高く、女性では、「町の提供する教室で取り組みたい」が 26.3%で最も高くなっています。

年齢別にみると、「町の提供する教室で取り組みたい」では、80～84 歳が 30.0%で最も高くなっています。

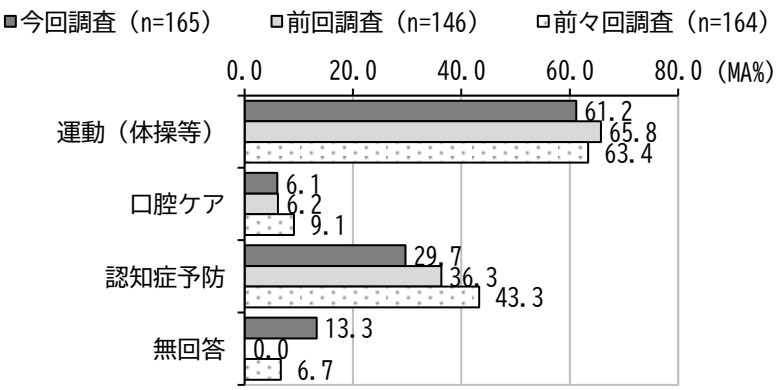
【図表2－10－4 健康づくりや介護予防についてどのように取り組みたいか(クロス集計)】

※網掛けは最も割合が高いもの　単位：(%)

		合計（人）	自分ひとりで取り組みたい	家族の協力を得て取り組みたい	仲間と取り組みたい	町の提供する教室で取り組みたい	その他	取り組みたいとは思わない	わからない	無回答
性別	男性	313	16.0	27.2	8.0	20.4	1.9	4.8	14.4	7.3
	女性	384	11.7	25.0	8.3	26.3	0.8	2.9	15.1	9.9
年齢別	65～69歳	138	18.8	21.0	4.3	21.7	0.7	5.8	20.3	7.2
	70～74歳	164	11.6	26.2	10.4	23.8	0.6	3.7	15.9	7.9
	75～79歳	203	12.8	29.1	9.4	22.7	2.5	3.0	14.3	6.4
	80～84歳	130	10.8	25.4	5.4	30.0	0.0	3.1	12.3	13.1
	85歳以上	62	16.1	27.4	12.9	17.7	3.2	3.2	6.5	12.9
世帯構成別	１人暮らし	123	21.1	6.5	11.4	35.0	3.3	4.1	9.8	8.9
	夫婦２人暮らし(配偶者65歳以上)	307	10.1	32.6	7.5	22.8	1.6	2.3	14.7	8.5
	夫婦２人暮らし(配偶者64歳以下)	29	6.9	31.0	3.4	17.2	0.0	10.3	24.1	6.9
	息子・娘との２世帯	95	15.8	31.6	6.3	17.9	0.0	4.2	10.5	13.7
	その他	127	16.5	23.6	9.4	22.8	0.0	6.3	16.5	4.7
居住地区別	字大山崎	292	15.1	27.1	6.5	22.9	1.0	5.1	13.4	8.9
	字円明寺	343	13.1	23.0	9.6	25.7	1.7	2.3	15.7	8.7
	字下植野	62	9.7	37.1	8.1	16.1	0.0	4.8	16.1	8.1

また、参加したい教室について、について、「運動(体操等)」が 61.2%で最も高く、次いで「認知症予防」が 29.7%、「無回答」が 13.3%となっています。また、前回調査と比較して「認知症予防」が 6.6 ポイント減少しています。

【図表2－10－5 参加したい教室】

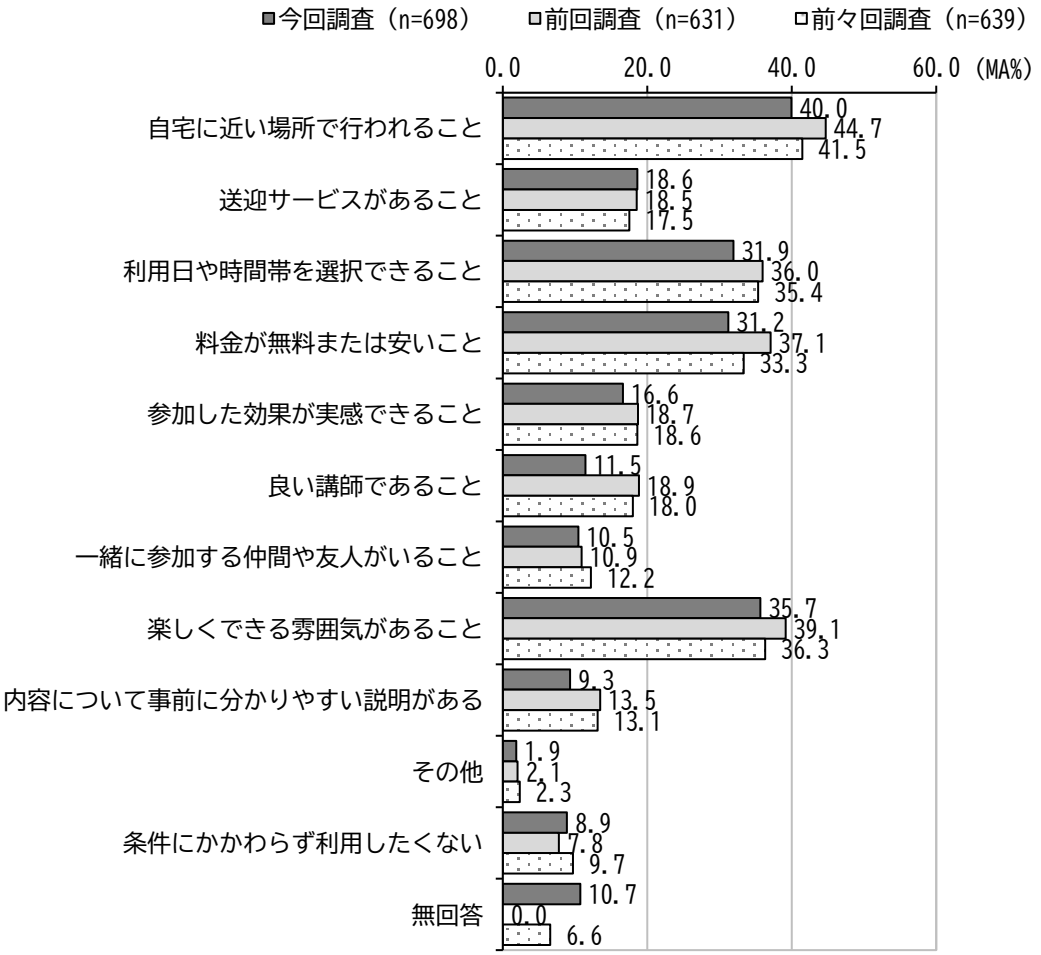


（3） 健康づくりや介護予防教室に参加するための条件

問 76	町の健康づくりや介護予防教室に参加するために必要な条件は何ですか。 （○は3つまで）

健康づくりや介護予防教室に参加するための条件について、「自宅に近い場所で行われること」が 40.0%で最も高く、次いで「楽しくできる雰囲気があること」が 35.7%、「利用日や時間帯を選択できること」が31.9%となっています。また、前回調査と比較して「自宅に近い場所で行われること」が 4.7 ポイント減少しています。

【図表2－10－6 健康づくりや介護予防教室に参加するための条件】



性別にみると、男性・女性ともに「自宅に近い場所で行われること」が最も高くなっています。

年齢別にみると、70～74 歳で「楽しくできる雰囲気があること」が 43.9%と最も高くなっています。

また、居住地区別にみると、字大山崎、字下植野では「自宅に近い場所で行われること」が最も高くなっていますが、字円明寺では「楽しくできる雰囲気があること」が最も高くなっています。

【図表2－10－7 健康づくりや介護予防教室に参加するための条件(クロス集計)】

※網掛けは最も割合が高いもの 単位：(MA%)

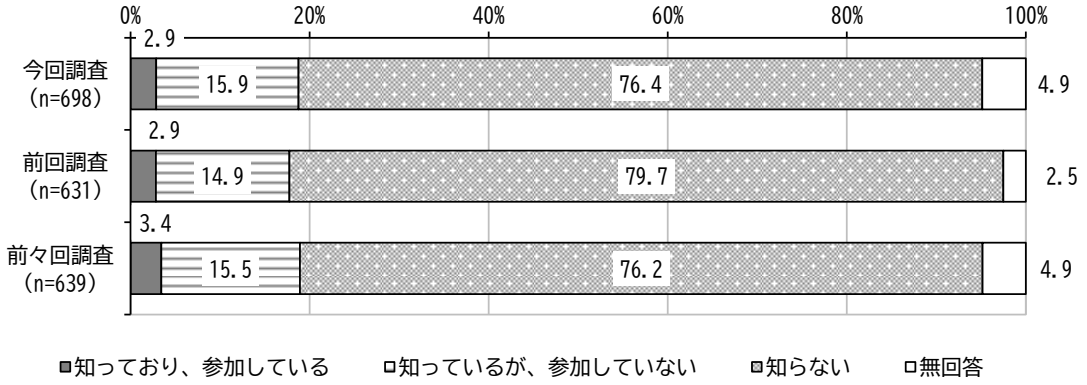
		合計（人）	自宅に近い場所で行われること	送迎サービスがあること	利用日や時間帯を選択できること	料金が無料または安いこと	参加した効果が実感できること	良い講師であること	一緒に参加する仲間や友人がいること	楽しくできる雰囲気があること	内容について事前に分かりやすい説明がある	その他	条件にかかわらず利用したくない	無回答
性別	男性	313	41.2	18.2	29.1	32.6	16.3	8.3	6.1	33.9	11.5	1.9	9.9	11.5
	女性	384	39.1	19.0	34.4	30.2	16.9	14.1	14.1	37.2	7.6	1.8	8.1	9.9
年齢別	65～69歳	138	39.9	15.2	33.3	34.8	13.8	13.8	9.4	37.0	14.5	2.2	10.9	8.0
	70～74歳	164	36.6	18.3	30.5	32.9	18.9	14.6	12.8	43.9	5.5	1.2	7.9	10.4
	75～79歳	203	41.4	18.7	34.5	33.0	20.7	12.3	9.9	35.0	9.4	2.0	8.4	7.9
	80～84歳	130	43.8	20.0	29.2	26.2	12.3	7.7	9.2	27.7	8.5	1.5	6.9	18.5
	85歳以上	62	37.1	24.2	30.6	24.2	12.9	3.2	11.3	30.6	9.7	3.2	12.9	9.7
世帯構成別	１人暮らし	123	42.3	22.8	30.9	30.1	18.7	13.0	10.6	35.8	8.1	2.4	9.8	10.6
	夫婦２人暮らし(配偶者65歳以上)	307	42.7	20.5	35.8	32.6	17.6	10.4	10.7	33.9	10.4	2.0	7.5	9.1
	夫婦２人暮らし(配偶者64歳以下)	29	24.1	6.9	17.2	37.9	24.1	10.3	10.3	34.5	10.3	0.0	10.3	17.2
	息子・娘との２世帯	95	37.9	17.9	28.4	26.3	15.8	7.4	11.6	44.2	10.5	2.1	9.5	9.5
	その他	127	37.0	12.6	29.9	33.1	12.6	15.7	8.7	34.6	5.5	1.6	10.2	13.4
居住地区別	字大山崎	292	43.2	14.4	29.8	30.8	16.4	9.6	11.3	33.2	8.9	2.4	10.3	9.6
	字円明寺	343	37.9	20.7	33.5	31.2	16.9	12.5	9.6	38.2	9.3	1.5	7.9	11.4
	字下植野	62	37.1	27.4	33.9	33.9	16.1	14.5	11.3	33.9	11.3	1.6	8.1	11.3

（4） 助け愛隊サポーターの認知状況

問 77	「助け愛隊」サポーターについてご存知ですか。（○は1つ）

助け愛隊サポーターの認知状況について、「知らない」が 76.4％で最も高く、次いで「知っているが、参加していない」が 15.9％、「知っており、参加している」が 2.9％となっています。また、前回調査と比較して「知らない」が 3.3 ポイント減少しています。

【図表2－10－8 助け愛隊サポーターの認知状況】



性別にみると、男性・女性ともに「知らない」が最も高くなっています。

年齢別にみると、「知っており、参加している」では、75～79 歳が 3.9％で最も高くなっています。

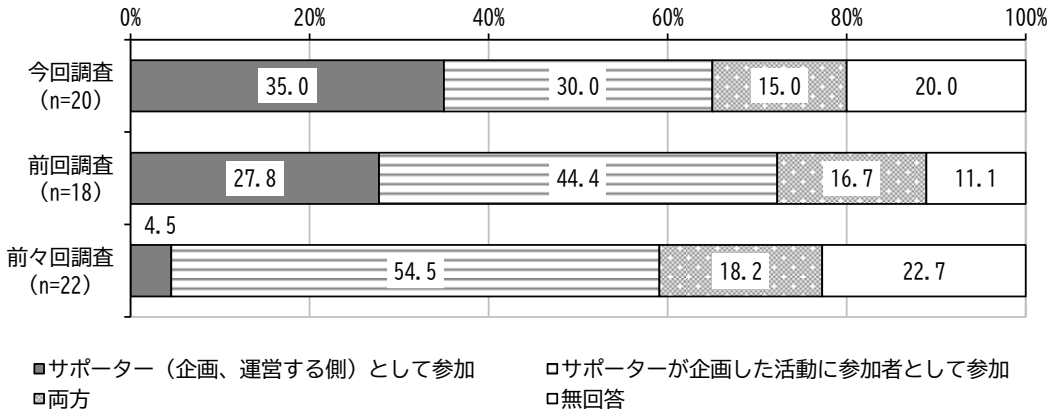
【図表2－10－9 助け愛隊サポーターの認知状況（クロス集計）】

※網掛けは最も割合が高いもの　単位：（％）

		合計（人）	知っており、参加している	知っているが、参加していない	知らない	無回答
性別	男性	313	2.2	11.5	82.1	4.2
	女性	384	3.4	19.3	71.9	5.5
年齢別	65～69歳	138	1.4	11.6	81.2	5.8
	70～74歳	164	3.7	15.2	79.3	1.8
	75～79歳	203	3.9	17.2	74.4	4.4
	80～84歳	130	3.1	19.2	71.5	6.2
	85歳以上	62	0.0	14.5	75.8	9.7
世帯構成別	１人暮らし	123	4.1	18.7	70.7	6.5
	夫婦２人暮らし（配偶者65歳以上）	307	3.3	15.6	76.2	4.9
	夫婦２人暮らし（配偶者64歳以下）	29	0.0	10.3	86.2	3.4
	息子・娘との２世帯	95	3.2	13.7	78.9	4.2
	その他	127	1.6	17.3	76.4	4.7
居住地区別	字大山崎	292	4.1	16.8	74.3	4.8
	字円明寺	343	1.5	15.7	77.6	5.2
	字下植野	62	4.8	11.3	80.6	3.2

また、参加している立場について、「サポーター（企画、運営する側）として参加」が 35.0％で最も高く、次いで「サポーターが企画した活動に参加者として参加」が 30.0％、「両方」が 15.0％となっています。また、前回調査と比較して「サポーター（企画、運営する側）として参加」が 7.2 ポイント増加しています。

【図表2－10－10 参加している立場】

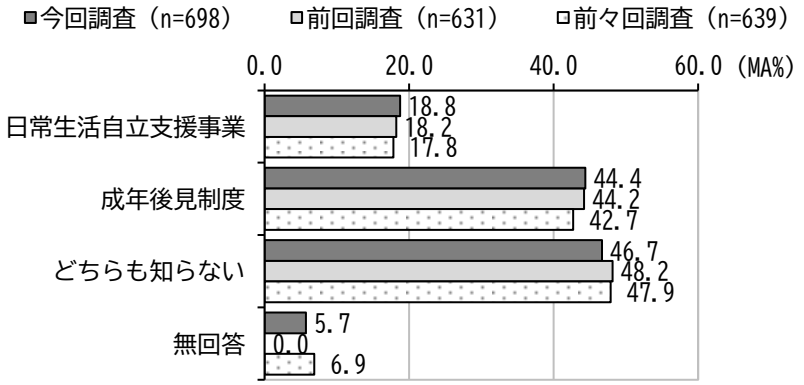


（5） 高齢者の権利擁護に関する事業等の認知状況

問 78	高齢者の権利擁護（高齢者の権利や生活、財産などを守ります）のための制度についておうかがいします。次の事業や制度を知っていますか。（○はいくつでも）

高齢者の権利擁護に関する事業等の認知状況について、「どちらも知らない」が 46.7%で最も高く、次いで「成年後見制度」が 44.4%、「日常生活自立支援事業」が 18.8%となっています。また、前回調査と比較して「どちらも知らない」が 1.5 ポイント減少しています。

【図表2－10－11 高齢者の権利擁護に関する事業等の認知状況】



性別にみると、男性では、「どちらも知らない」が 49.8%で最も高く、女性では、「成年後見制度」が 46.6%で最も高くなっています。

年齢別にみると、「どちらも知らない」では、65～69 歳が 52.2%で最も高くなっています。

【図表2－10－12 高齢者の権利擁護に関する事業等の認知状況（クロス集計）】

※網掛けは最も割合が高いもの　単位：（MA%）

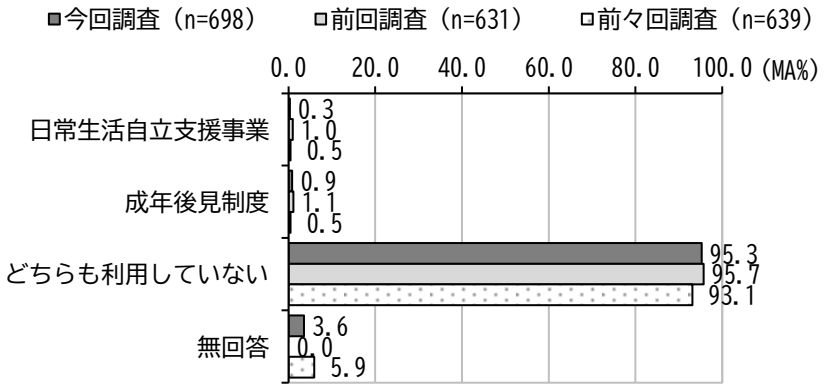
		合計（人）	日常生活自立支援事業	成年後見制度	どちらも知らない	無回答
性別	男性	313	14.7	41.9	49.8	6.7
	女性	384	22.1	46.6	44.0	4.9
年齢別	65～69歳	138	14.5	43.5	52.2	3.6
	70～74歳	164	20.1	47.6	47.6	3.7
	75～79歳	203	19.2	44.3	46.3	4.4
	80～84歳	130	23.8	41.5	43.1	10.0
	85歳以上	62	12.9	45.2	40.3	11.3
世帯構成別	１人暮らし	123	26.0	44.7	43.1	6.5
	夫婦２人暮らし（配偶者65歳以上）	307	16.9	47.2	44.0	5.5
	夫婦２人暮らし（配偶者64歳以下）	29	10.3	31.0	62.1	3.4
	息子・娘との２世帯	95	22.1	42.1	50.5	5.3
	その他	127	16.5	44.1	48.0	7.1
居住地区別	字大山崎	292	19.9	42.8	46.9	5.5
	字円明寺	343	18.1	46.6	45.2	6.4
	字下植野	62	17.7	40.3	53.2	3.2

（6） 高齢者の権利擁護に関する事業等の利用状況

問 79	次の事業や制度を利用したこと（利用している）がありますか。（○はいくつでも）

高齢者の権利擁護に関する事業等の利用状況について、「どちらも利用していない」が 95.3%で最も高く、次いで「成年後見制度」が 0.9%、「日常生活自立支援事業」が 0.3%となっています。また、前回調査と比較して「どちらも利用していない」が 0.4 ポイント減少しています。

【図表2－10－13 高齢者の権利擁護に関する事業等の利用状況】

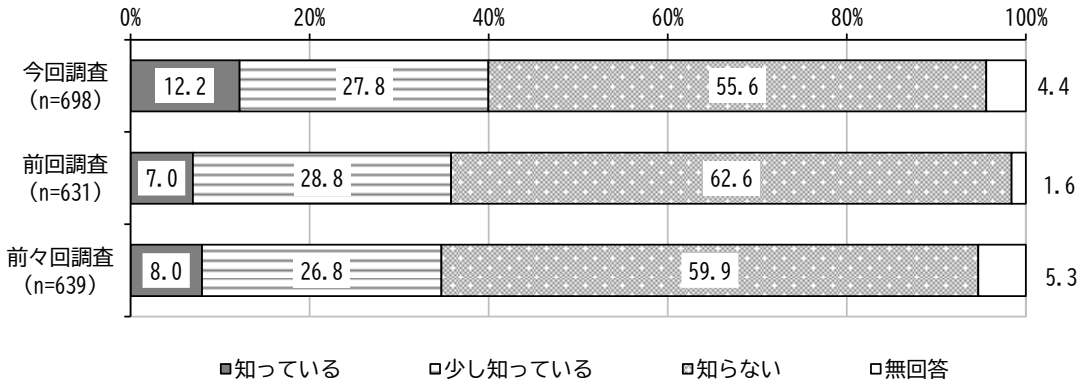


（7） 地域包括支援センターの活動の認知状況

問 80	あなたは、地域包括支援センターの活動についてご存知ですか。（○は1つ）

地域包括支援センターの活動の認知状況について、「知らない」が 55.6%で最も高く、次いで「少し知っている」が 27.8%、「知っている」が 12.2%となっています。また、前回調査と比較して「知らない」が 7.0 ポイント減少しています。

【図表2－10－14 地域包括支援センターの活動の認知状況】



性別にみると、「知っている」について、男性では 7.3%、女性では 16.1%となっており、女性のほうが 8.8 ポイント高くなっています。

年齢別にみると、「知っている」では、70～74 歳が 15.2%で最も高くなっています。

居住地区別にみると、「知っている」「少し知っている」の割合は、字円明寺が最も高くなっています。

【図表2－10－15 地域包括支援センターの活動の認知状況（クロス集計）】

※網掛けは最も割合が高いもの　単位：（%）

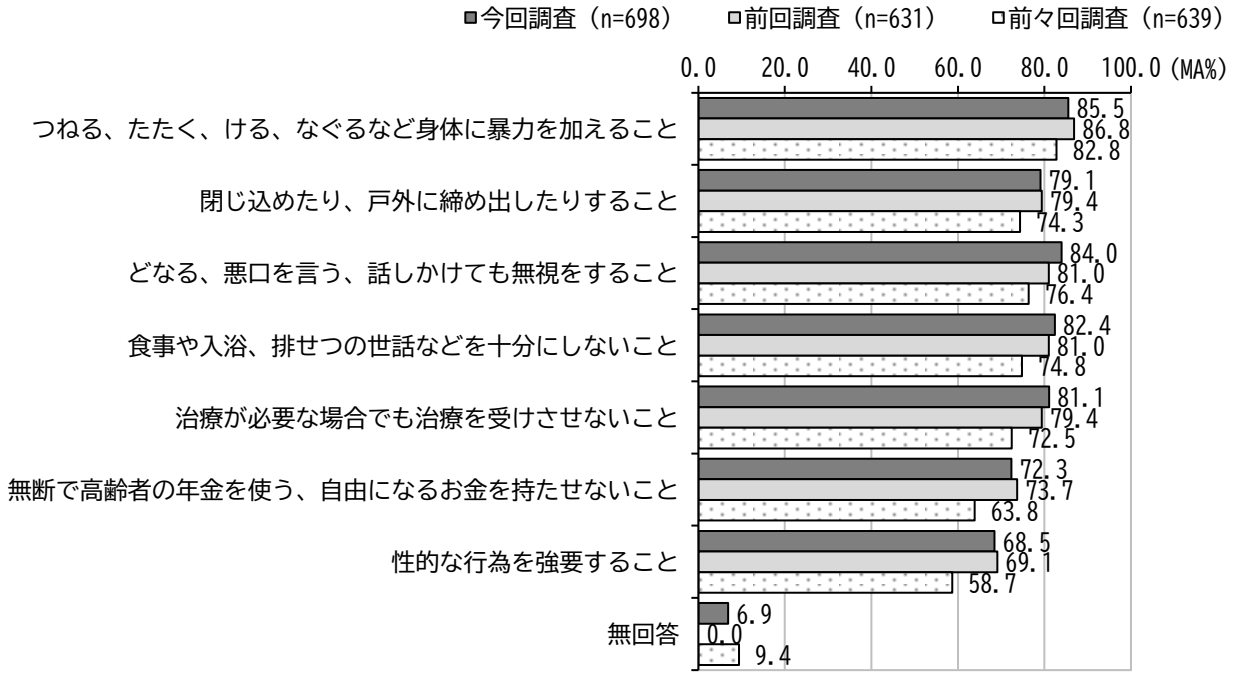
		合計（人）	知っている	少し知っている	知らない	無回答
性別	男性	313	7.3	25.9	62.9	3.8
	女性	384	16.1	29.4	49.5	4.9
年齢別	65～69歳	138	8.7	26.8	60.1	4.3
	70～74歳	164	15.2	26.8	53.0	4.9
	75～79歳	203	10.8	29.1	57.1	3.0
	80～84歳	130	13.1	30.8	50.8	5.4
	85歳以上	62	14.5	22.6	56.5	6.5
世帯構成別	１人暮らし	123	13.0	38.2	42.3	6.5
	夫婦２人暮らし（配偶者65歳以上）	307	12.4	28.7	55.4	3.6
	夫婦２人暮らし（配偶者64歳以下）	29	3.4	20.7	75.9	0.0
	息子・娘との２世帯	95	9.5	23.2	60.0	7.4
	その他	127	14.2	23.6	58.3	3.9
居住地区別	字大山崎	292	13.4	23.6	58.6	4.5
	字円明寺	343	12.0	31.2	51.9	5.0
	字下植野	62	8.1	29.0	61.3	1.6

（8） 高齢者への虐待だと思う行為

問 81	あなたが高齢者への虐待だと思う行為はどれですか。（○はいくつでも）

高齢者への虐待だと思う行為について、「つねる、たたく、ける、なぐるなど身体に暴力を加えること」が 85.5%で最も高く、次いで「どなる、悪口を言う、話しかけても無視をすること」が 84.0%、「食事や入浴、排せつの世話などを十分にしないこと」が 82.4%となっています。

【図表2－10－16 高齢者への虐待だと思う行為】

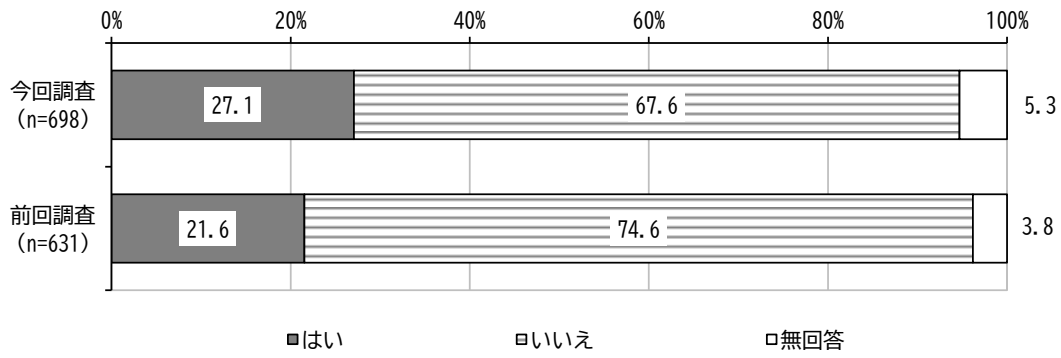


（9） 高齢者への虐待に関する相談窓口を知っているか

問 82	高齢者の虐待についての相談窓口を知っていますか。（○は1つ）

高齢者への虐待に関する相談窓口を知っているかについて、「はい」が 27.1%、「いいえ」が 67.6%となっています。また、前回調査と比較して「はい」が 5.5 ポイント増加しています。

【図表2－10－17 高齢者への虐待に関する相談窓口を知っているか】

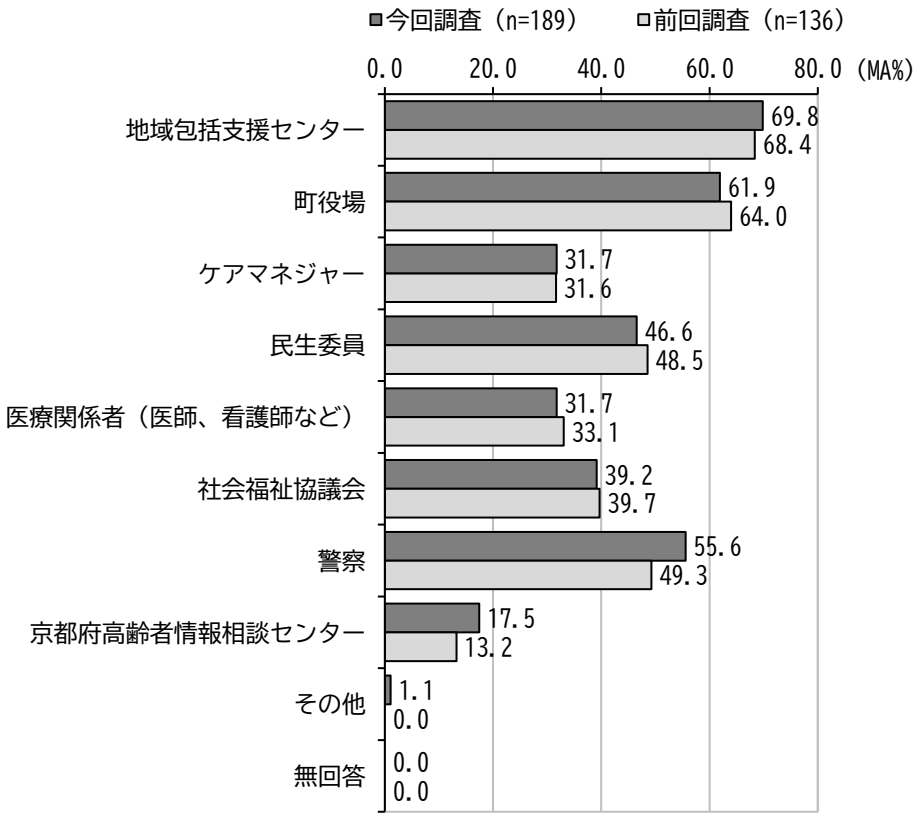


（10） 高齢者への虐待に関する相談窓口の認知状況

問 82-1	**【問 82 で「はい」を回答された方のみ】** 高齢者の虐待についての相談先としてどんなところをご存知ですか。 （○はいくつでも）

高齢者への虐待に関する相談窓口の認知状況について、「地域包括支援センター」が 69.8%で最も高く、次いで「町役場」が 61.9%、「警察」が 55.6%となっています。また、前回調査と比較して「地域包括支援センター」が 1.4 ポイント増加しています。

【図表2－10－18 高齢者への虐待に関する相談窓口の認知状況】



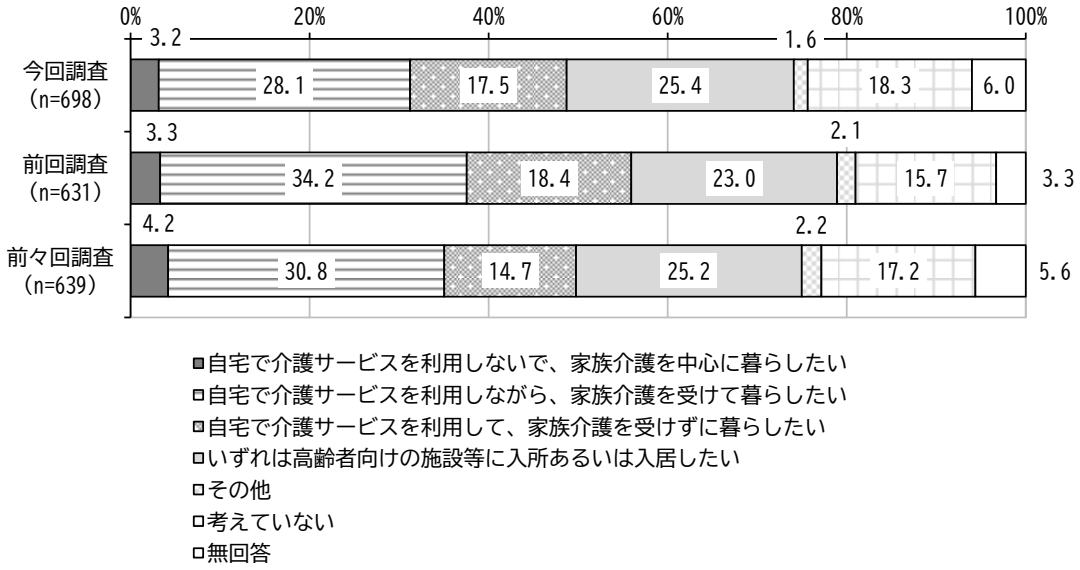
11. 今後の生活や高齢者施策全般について

(1) 介護サービスに関する今後の希望

問 83	介護サービスについて、今後の希望をお教えください。(○は1つ)

介護サービスに関する今後の希望について、「自宅で介護サービスを利用しながら、家族介護を受けて暮らしたい」が28.1%で最も高く、次いで「いずれは高齢者向けの施設等に入所あるいは入居したい」が25.4%、「考えていない」が 18.3%となっています。また、前回調査と比較して「自宅で介護サービスを利用しながら、家族介護を受けて暮らしたい」が 6.1 ポイント減少しています。

【図表2－11－1 介護サービスに関する今後の希望】



性別にみると、男性・女性ともに「自宅で介護サービスを利用しながら、家族介護を受けて暮らしたい」が最も高くなっています。

年齢別にみると、「自宅で介護サービスを利用しながら、家族介護を受けて暮らしたい」では、80～84 歳が35.4%で最も高く、「自宅で介護サービスを利用して、家族介護を受けずに暮らしたい」では、70～74 歳が20.7%で最も高くなっています。

居住地区別にみると、「自宅で介護サービスを利用しながら、家族介護を受けて暮らしたい」では、字下植野が 29.0%で最も高く、「いずれは高齢者向けの施設等に入所あるいは入居したい」では、字大山崎が 28.1%で最も高くなっています。

【図表2－11－2 介護サービスに関する今後の希望(クロス集計)】

※網掛けは最も割合が高いもの　単位：(%)

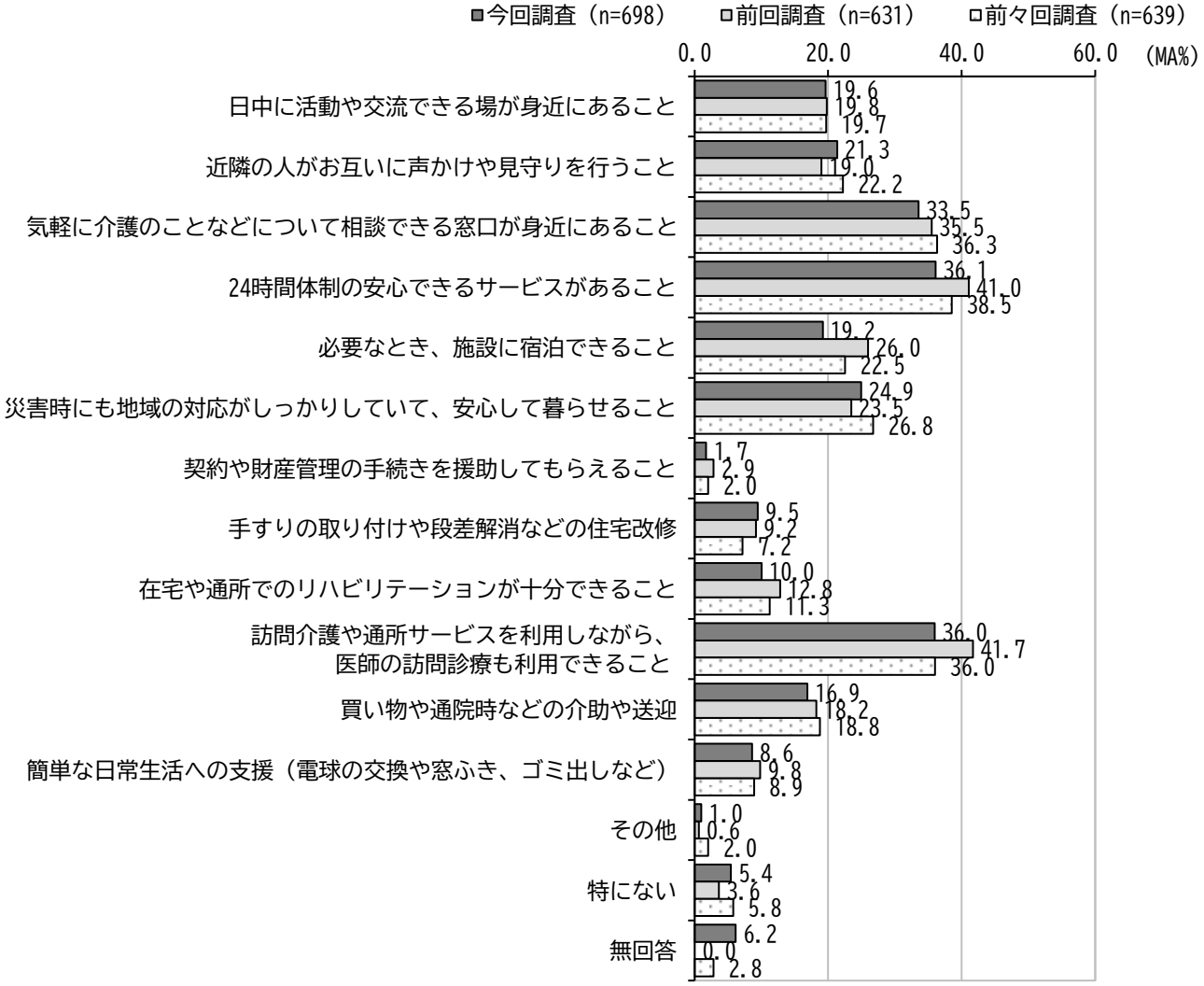
		合計（人）	自宅で介護サービスを利用しないで、家族介護を中心に暮らしたい	自宅で介護サービスを利用しながら、家族介護を受けて暮らしたい	自宅で介護サービスを利用して、家族介護を受けずに暮らしたい	いずれは高齢者向けの施設等に入所あるいは入居したい	その他	考えていない	無回答
性別	男性	313	4.5	31.0	15.3	25.2	1.9	16.3	5.8
	女性	384	2.1	25.8	19.0	25.5	1.3	20.1	6.3
年齢別	65～69歳	138	2.9	26.8	13.8	29.7	1.4	19.6	5.8
	70～74歳	164	3.7	23.2	20.7	27.4	1.2	18.3	5.5
	75～79歳	203	2.5	28.6	18.7	22.7	1.0	20.2	6.4
	80～84歳	130	3.8	35.4	15.4	20.8	2.3	16.9	5.4
	85歳以上	62	3.2	27.4	16.1	29.0	3.2	12.9	8.1
世帯構成別	１人暮らし	123	0.8	12.2	30.1	30.1	3.3	14.6	8.9
	夫婦２人暮らし(配偶者65歳以上)	307	3.3	33.9	13.4	24.8	1.6	16.9	6.2
	夫婦２人暮らし(配偶者64歳以下)	29	0.0	37.9	20.7	13.8	0.0	27.6	0.0
	息子・娘との２世帯	95	4.2	31.6	14.7	25.3	1.1	16.8	6.3
	その他	127	4.7	23.6	17.3	24.4	0.8	24.4	4.7
居住地区別	字大山崎	292	2.4	27.4	15.8	28.1	1.0	19.5	5.8
	字円明寺	343	3.2	28.6	17.2	24.2	1.7	18.1	7.0
	字下植野	62	6.5	29.0	25.8	19.4	3.2	14.5	1.6

（2） 高齢者が身近な地域や自宅での生活を続けていくための必要な支援

問 84	高齢者に対してどのような支援があれば、身近な地域や自宅での生活を続けていくことができると思いますか。（○は3つまで）

高齢者が身近な地域や自宅での生活を続けていくための必要な支援について、「24 時間体制の安心できるサービスがあること」が 36.1%で最も高く、次いで「訪問介護や通所サービスを利用しながら、医師の訪問診療も利用できること」が 36.0%、「気軽に介護のことなどについて相談できる窓口が身近にあること」が 33.5%となっています。また、前回調査と比較して「必要なとき、施設に宿泊できること」が 6.8 ポイント、「訪問介護や通所サービスを利用しながら、医師の訪問診療も利用できること」が 5.7 ポイント減少しています。

【図表2－11－3 高齢者が身近な地域や自宅での生活を続けていくための必要な支援】



性別にみると、男性・女性ともに「24 時間体制の安心できるサービスがあること」が最も高くなっています。

年齢別にみると、「訪問介護や通所サービスを利用しながら、医師の訪問診療も利用できること」では、70～74 歳が 39.6%で最も高くなっています。

また、居住地区別にみると、「訪問介護や通所サービスを利用しながら、医師の訪問診療も利用できること」では、字大山崎が 36.6%で最も高くなっています。

【図表2－11－4 高齢者が身近な地域や自宅での生活を続けていくための必要な支援(クロス集計)】

※網掛けは最も割合が高いもの　単位：(MA%)

		合計（人）	日中に活動や交流できる場が身近にあること	近隣の人がお互いに声かけや見守りを行うこと	気軽に介護のことなどについて相談できる窓口が身近にあること	24時間体制の安心できるサービスがあること	必要なとき、施設に宿泊できること	災害時にも地域の対応がしっかりしていて、安心して暮らせること	契約や財産管理の手続きを援助してもらえること	手すりの取り付けや段差解消などの住宅改修	在宅や通所でのリハビリテーションが十分できること	訪問介護や通所サービスを利用しながら、医師の訪問診療も利用できること	買い物や通院時などの介助や送迎
性別	男性	313	18.5	21.7	33.5	36.7	20.8	23.0	2.2	10.2	9.9	36.4	17.6
	女性	384	20.6	21.1	33.3	35.7	18.0	26.6	1.3	8.9	10.2	35.4	16.4
年齢別	65～69歳	138	22.5	22.5	33.3	37.7	18.8	25.4	0.7	9.4	13.8	31.9	12.3
	70～74歳	164	17.1	23.2	29.3	35.4	23.8	24.4	3.7	7.3	9.8	39.6	23.2
	75～79歳	203	23.2	18.2	34.5	41.9	19.7	22.7	0.0	11.3	10.8	35.5	17.2
	80～84歳	130	15.4	22.3	35.4	26.2	13.8	28.5	3.1	12.3	9.2	38.5	16.2
	85歳以上	62	17.7	22.6	37.1	37.1	17.7	25.8	1.6	3.2	1.6	30.6	11.3
世帯構成別	１人暮らし	123	20.3	19.5	36.6	40.7	12.2	29.3	0.8	8.9	8.9	35.8	17.1
	夫婦２人暮らし(配偶者65歳以上)	307	18.2	19.9	32.6	34.9	20.8	23.5	2.0	10.4	13.0	39.4	18.9
	夫婦２人暮らし(配偶者64歳以下)	29	27.6	13.8	24.1	34.5	20.7	20.7	0.0	6.9	13.8	41.4	17.2
	息子・娘との２世帯	95	21.1	20.0	29.5	36.8	21.1	27.4	1.1	7.4	7.4	36.8	13.7
	その他	127	18.1	29.1	38.6	36.2	18.9	22.0	3.1	6.3	4.7	28.3	15.0
居住地区別	字大山崎	292	17.5	24.7	33.6	35.6	15.8	26.7	3.1	8.6	6.5	36.6	18.5
	字円明寺	343	21.6	19.5	33.5	36.2	20.7	21.9	0.9	10.5	12.0	35.3	14.9
	字下植野	62	19.4	16.1	32.3	38.7	27.4	33.9	0.0	8.1	16.1	35.5	21.0

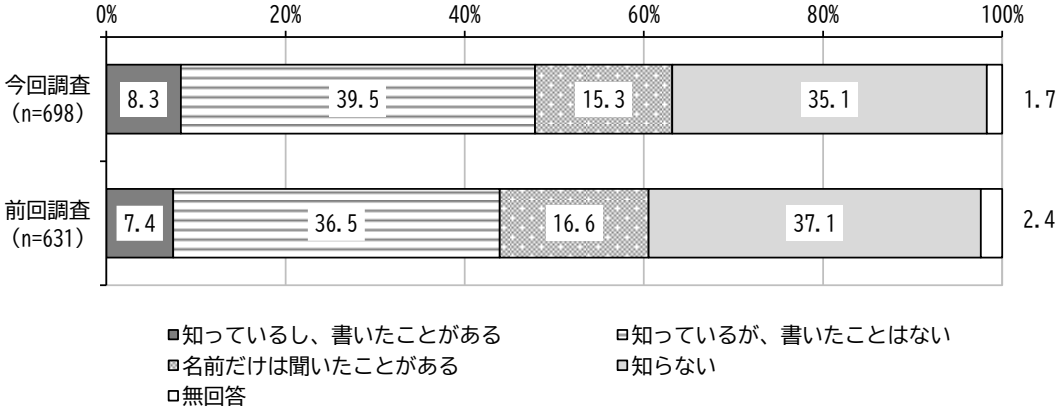
		合計（人）	簡単な日常生活への支援（電球の交換や窓ふき、ゴミ出しなど）	その他	特にない	無回答
性別	男性	313	7.3	1.0	4.8	6.7
	女性	384	9.4	1.0	6.0	5.7
年齢別	65～69歳	138	11.6	0.0	6.5	4.3
	70～74歳	164	7.3	3.0	3.7	6.1
	75～79歳	203	6.9	0.5	4.9	5.9
	80～84歳	130	9.2	0.8	6.9	6.9
	85歳以上	62	8.1	0.0	6.5	9.7
世帯構成別	１人暮らし	123	16.3	1.6	3.3	8.1
	夫婦２人暮らし(配偶者65歳以上)	307	7.8	1.3	5.2	6.2
	夫婦２人暮らし(配偶者64歳以下)	29	6.9	0.0	13.8	0.0
	息子・娘との２世帯	95	4.2	0.0	7.4	5.3
	その他	127	7.9	0.8	5.5	6.3
居住地区別	字大山崎	292	8.2	1.0	5.5	5.1
	字円明寺	343	8.7	1.2	6.1	7.6
	字下植野	62	8.1	0.0	1.6	3.2

（3） エンディングノートの認知状況

問 85	乙訓医師会では、身近な地域での「人生最期の過ごし方」について考えるきっかけとして、小冊子『私の医療に対する希望』を配布しています。 あなたは、同冊子、あるいは、同じような趣旨で受けたい医療への希望などをあらかじめ書いておくノート（「エンディングノート」などと呼ばれることが多い）を知っていますか。（○は1つ）

エンディングノートの認知状況について、「知っているが、書いたことはない」が 39.5%で最も高く、次いで「知らない」が 35.1%、「名前だけは聞いたことがある」が 15.3%となっています。また、前回調査と比較して「知らない」が 2.0 ポイント減少しています。

【図表2－11－5 エンディングノートの認知状況】



【【図表2－11－6 エンディングノートの認知状況（クロス集計）】

※網掛けは最も割合が高いもの　単位：（%）

		合計（人）	知っているし、書いたことがある	知っているが、書いたことはない	名前だけは聞いたことがある	知らない	無回答
性別	男性	313	6.7	35.8	15.0	41.2	1.3
	女性	384	9.6	42.7	15.6	29.9	2.1
年齢別	65～69歳	138	4.3	39.9	15.2	40.6	0.0
	70～74歳	164	9.1	45.1	15.2	29.3	1.2
	75～79歳	203	8.9	39.4	15.8	33.5	2.5
	80～84歳	130	10.0	36.9	16.9	33.8	2.3
	85歳以上	62	9.7	30.6	11.3	45.2	3.2
世帯構成別	１人暮らし	123	16.3	39.8	9.8	29.3	4.9
	夫婦２人暮らし（配偶者65歳以上）	307	6.8	42.3	15.6	33.6	1.6
	夫婦２人暮らし（配偶者64歳以下）	29	0.0	24.1	13.8	62.1	0.0
	息子・娘との２世帯	95	9.5	35.8	22.1	32.6	0.0
	その他	127	5.5	40.9	15.0	38.6	0.0
居住地区別	字大山崎	292	8.2	42.5	15.1	31.8	2.4
	字円明寺	343	9.0	38.2	15.5	35.9	1.5
	字下植野	62	4.8	33.9	16.1	45.2	0.0

12. リスク判定

「介護予防・日常生活圏域ニーズ調査」は、要介護状態になる前の高齢者について、要介護状態になるリスクの発生状況と、各種リスクに影響を与える日常生活の状況を把握し、地域の抱える課題を特定することを目的に実施しています。

ここでは、「介護予防・日常生活圏域ニーズ調査」の調査項目を使用し、各種リスクの判定を行っています。

(1) 運動機能の低下

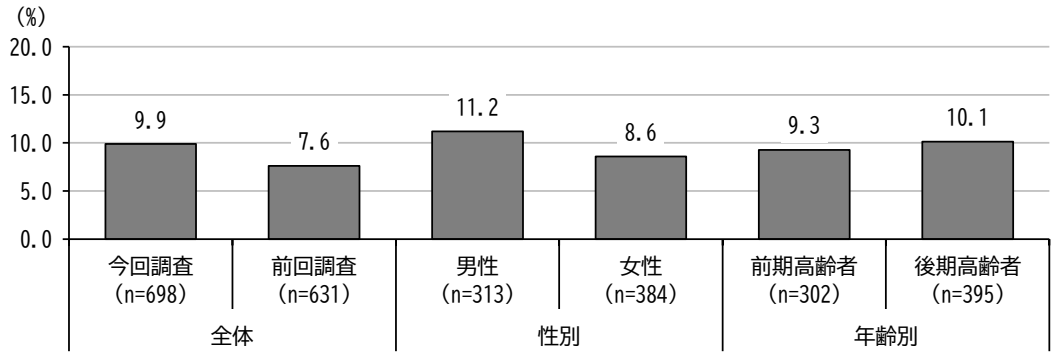
下記の5設問について、3問以上該当する選択肢が回答された場合、運動器機能が低下している高齢者として判定しました。

【図表2－12－1 運動機能の低下を判定するための項目】

問	設問	該当する選択肢
問5	階段を手すりや壁をつたわらずに昇っていますか。	「できない」
問6	椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか。	「できない」
問7	15 分位続けて歩いていますか。	「できない」
問8	過去1年間に転んだ経験がありますか。	「何度もある」 「1度ある」
問9	転倒に対する不安は大きいですか。	「とても不安である」 「やや不安である」

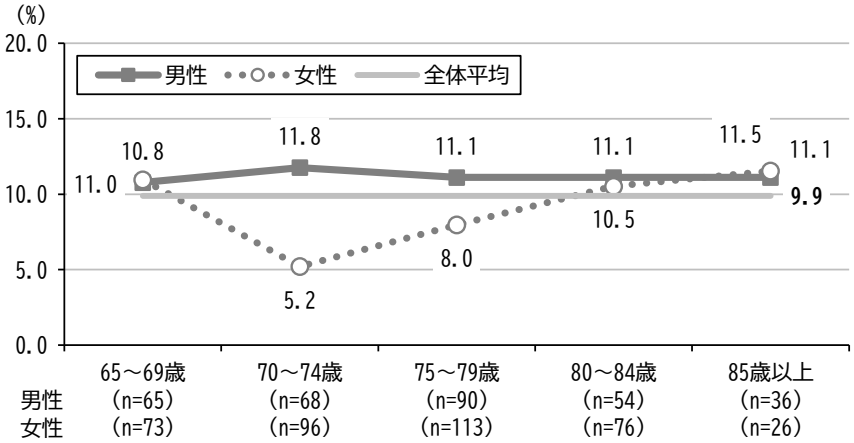
運動機能が低下していると判断された高齢者の割合は、全体で 9.9%となっています。前回調査と比較すると、2.3 ポイント増加しています。

【図表2－12－2 運動機能の低下 該当者の割合】

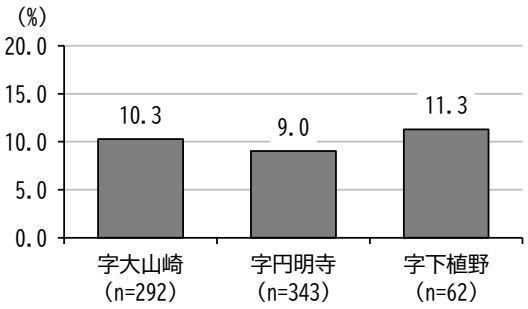


性別にみると、男性では、「70～74 歳」が 11.8%で最も高く、女性では、「85 歳以上」が 11.5%で最も高くなっています。

【図表2－12－3 運動機能の低下 該当者の割合(性別･年齢別)】



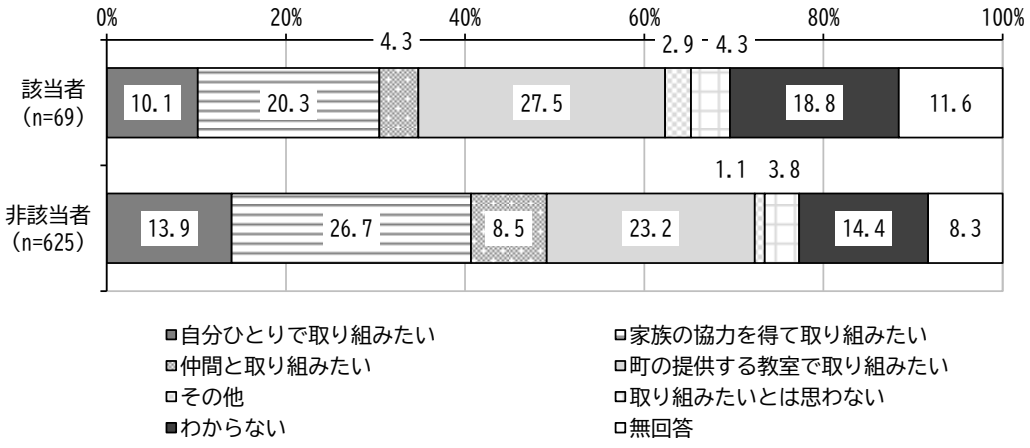
【図表2－12－4 運動機能の低下 該当者の割合(字別)】



【他項目との関係性】

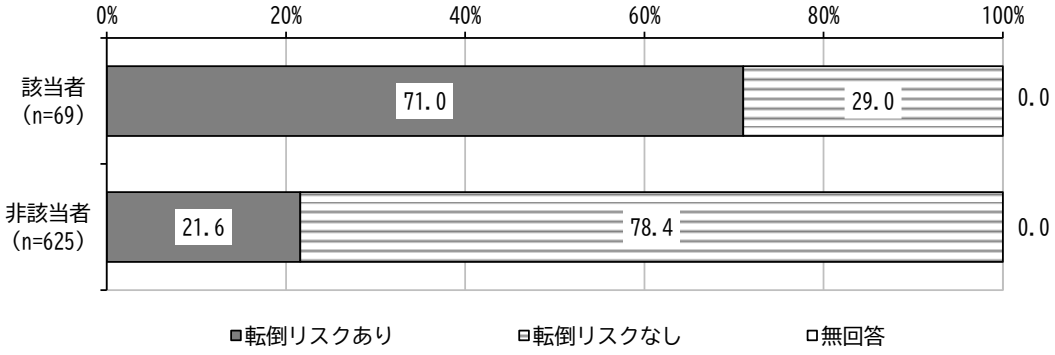
項目 1	項目 2
リスク判定:運動機能の低下	問 75 あなたは、健康づくりや介護予防に、どのように取り組みたいですか。(○は1つ)

【図表2－12－5 健康づくりや介護予防についてどのように取り組みたいか(運動機能の低下別)】



項目 1	項目 2
リスク判定:運動機能の低下	リスク判定:転倒リスク

【図表2－12－6 転倒リスク 該当者の割合(運動機能の低下別)】



(2) 低栄養状態

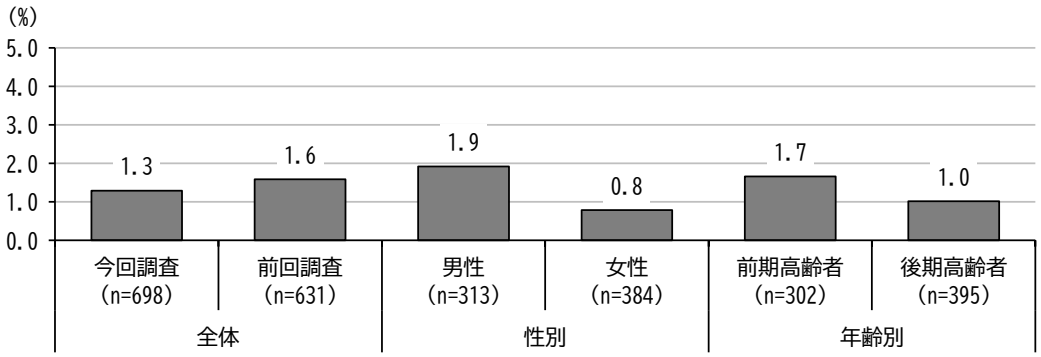
下記の2設問について、2問とも該当する選択肢が回答された場合、低栄養状態の高齢者として判定しました。

【図表2－12－7 低栄養状態を判定するための項目】

問	設問	該当する選択肢
問 16	身長と体重を教えてください。	身長・体重から算出されるBMI(体重(kg)÷{身長(m)×身長(m)})が18.5 以下
問 24	6か月間で2～3kg 以上の体重減少がありましたか。	「はい」

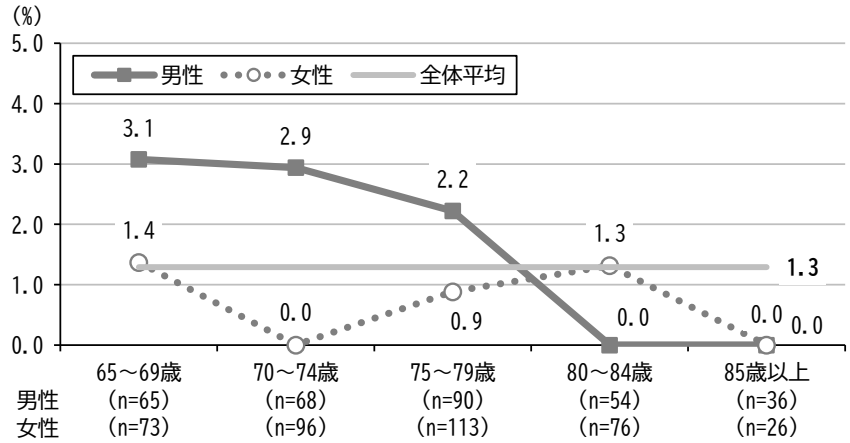
低栄養状態と判断された高齢者の割合は、全体で 1.3%となっています。前回調査と比較すると、0.3 ポイント減少しています。

【図表2－12－8 低栄養状態 該当者の割合】

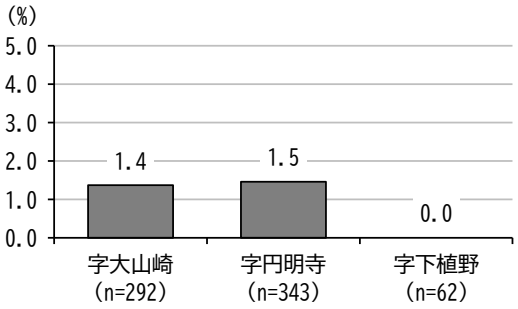


性別にみると、男性・女性ともに「65～69 歳」が最も高くなっています。

【図表2－12－9　低栄養状態　該当者の割合(性別・年齢別)】



【図表2－12－10　低栄養状態　該当者の割合(字別)】



（3） 口腔機能の低下

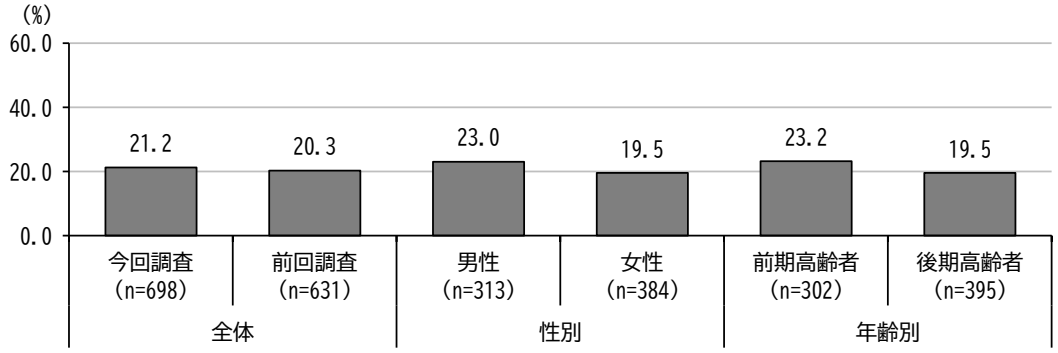
下記の3設問について、2問以上該当する選択肢が回答された場合、口腔機能が低下している高齢者として判定しました。

【図表2－12－11 口腔機能の低下を判定するための項目】

問	設問	該当する選択肢
問 17	半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか。	「はい」
問 18	お茶や汁物等でむせることがありますか。	「はい」
問 19	口の渇きが気になりますか。	「はい」

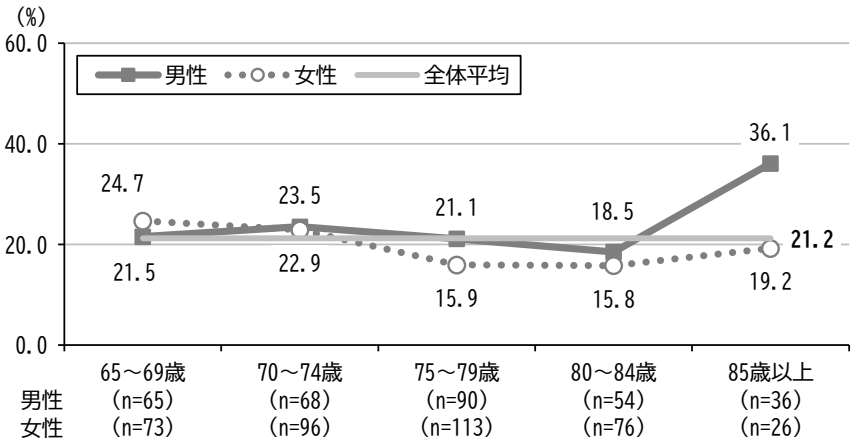
口腔機能が低下していると判断された高齢者の割合は、全体で 21.2%となっています。前回調査と比較すると、0.9 ポイント増加しています。

【図表2－12－12 口腔機能の低下 該当者の割合】

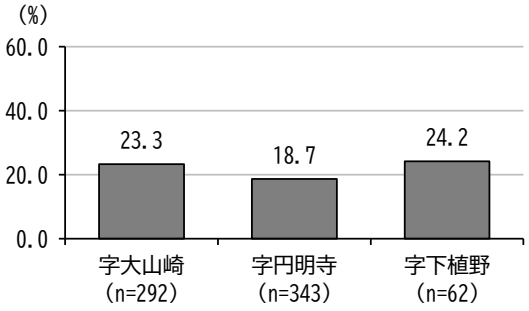


性別にみると、男性では、「85 歳以上」が 36.1%で最も高く、女性では、「65～69 歳」が 24.7%で最も高くなっています。

【図表2－12－13 口腔機能の低下 該当者の割合(性別･年齢別)】



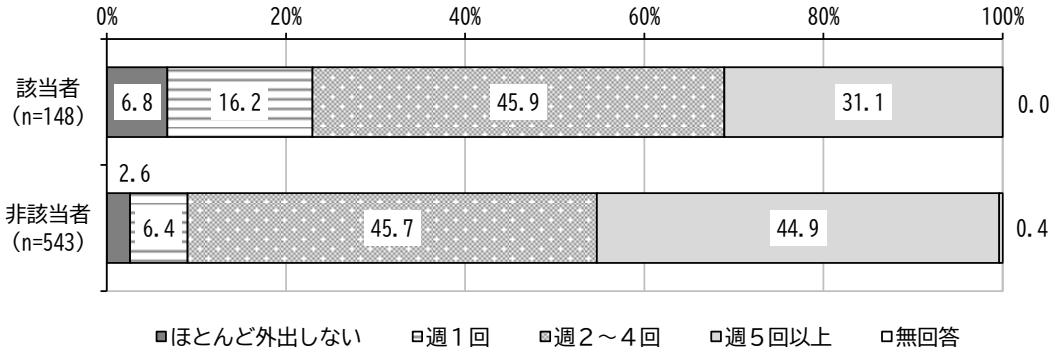
【図表2－12－14　口腔機能の低下　該当者の割合(字別)】



【他項目との関係性】

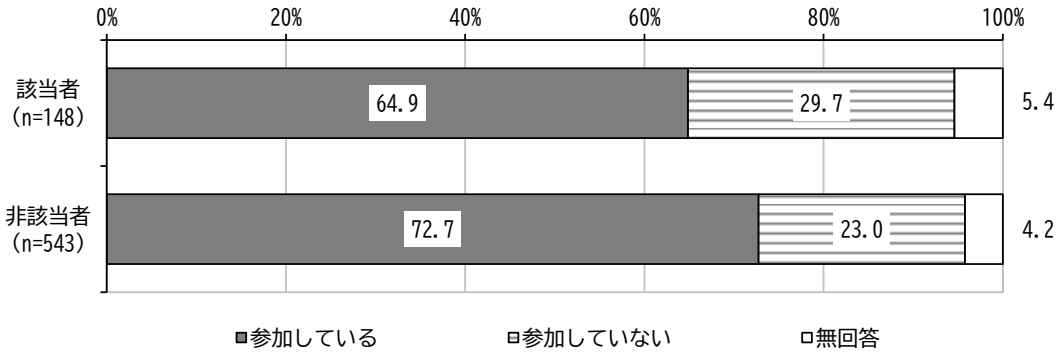
項目１	項目２
リスク判定:口腔機能の低下	問 10　週に1回以上は外出していますか。 (○は1つ)

【図表2－12－15　週に1回以上は外出しているか(口腔機能の低下別)】



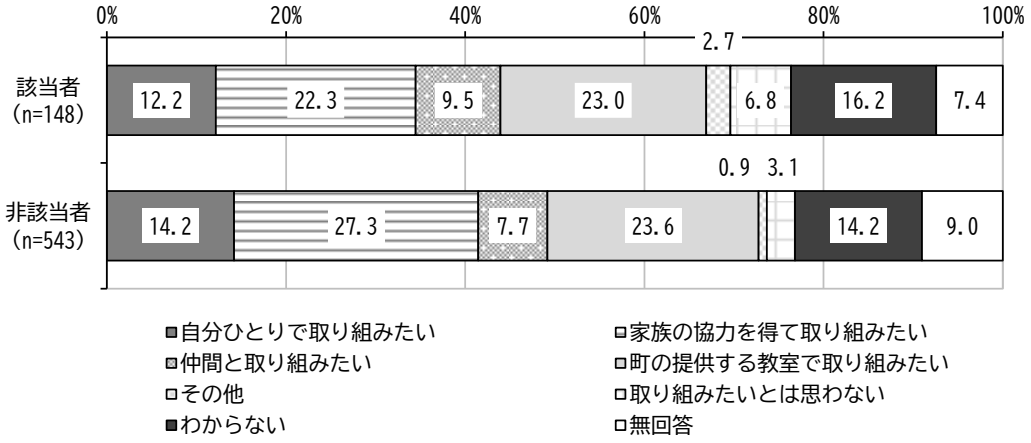
項目１	項目２
リスク判定:口腔機能の低下	地域活動参加状況

【図表2－12－16　地域活動参加状況(口腔機能の低下別)】



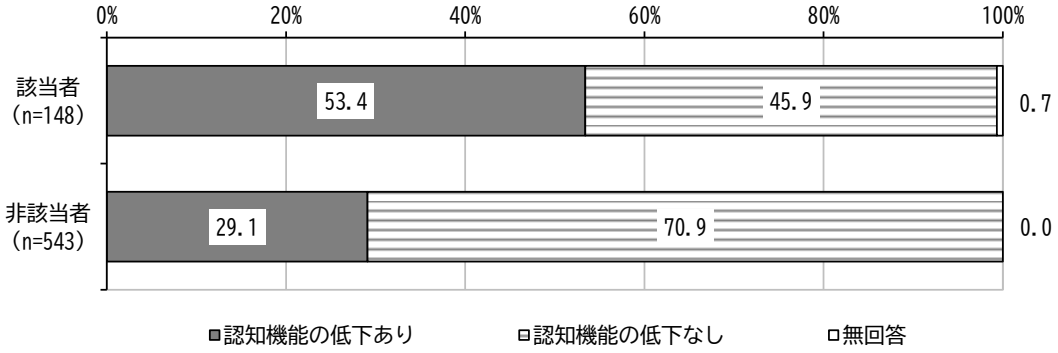
項目１	項目２
リスク判定:口腔機能の低下	問 75　あなたは、健康づくりや介護予防に、どのように取り組みたいですか。(○は1つ)

【図表2－12－17　健康づくりや介護予防についてどのように取り組みたいか(口腔機能の低下別)】



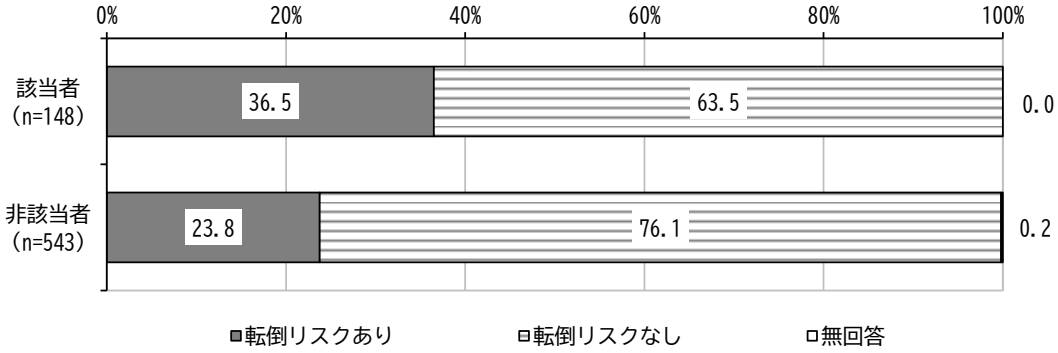
項目１	項目２
リスク判定:口腔機能の低下	リスク判定:認知機能の低下

【図表2－12－18　認知機能の低下　該当者の割合(口腔機能の低下別)】



項目１	項目２
リスク判定:口腔機能の低下	リスク判定:転倒リスク

【図表2－12－19　転倒リスク　該当者の割合(口腔機能の低下別)】



（4） 閉じこもり傾向

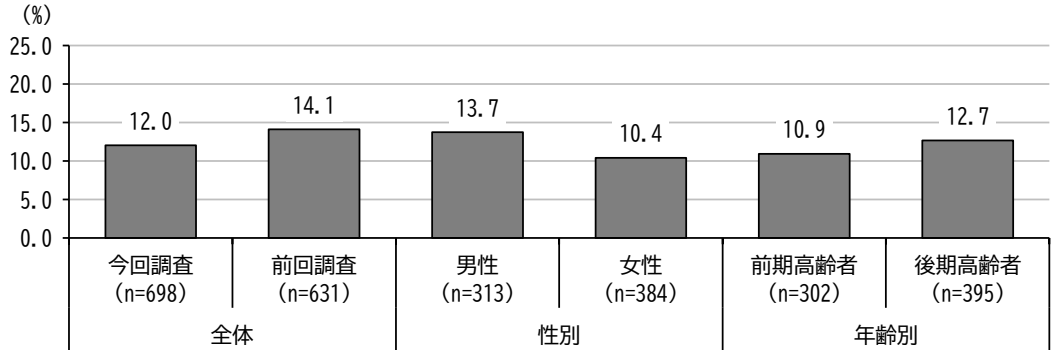
下記の設問について、該当する選択肢が回答された場合、閉じこもり傾向の高齢者として判定しました。

【図表2－12－20 閉じこもり傾向を判定するための項目】

問	設問	該当する選択肢
問 10	週に1回以上は外出していますか。	「ほとんど外出しない」 「週1回」

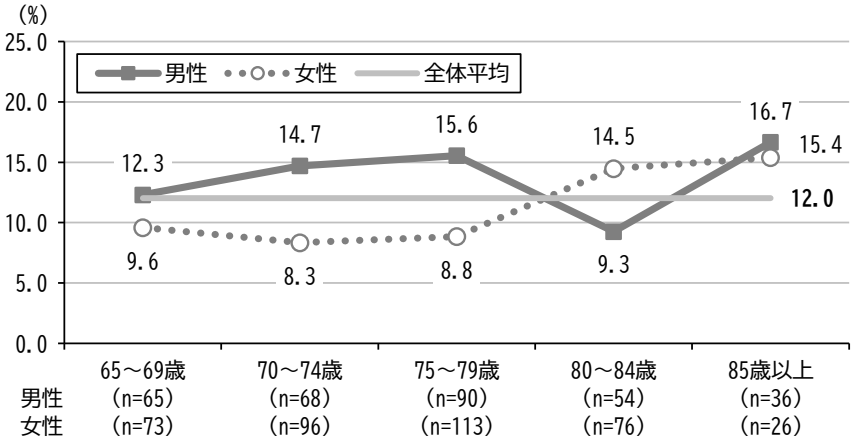
閉じこもり傾向と判断された高齢者の割合は、全体で 12.0％となっています。前回調査と比較すると、2.1 ポイント減少しています。

【図表2－12－21 閉じこもり傾向 該当者の割合】

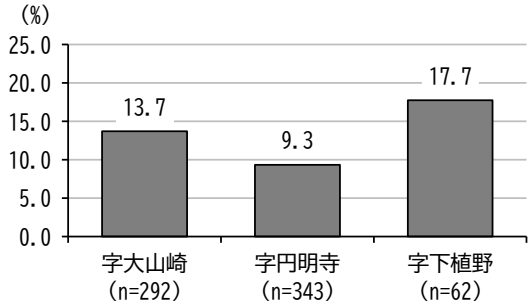


性別にみると、男性・女性ともに「85 歳以上」が最も高くなっています。

【図表2－12－22 閉じこもり傾向 該当者の割合(性別・年齢別)】



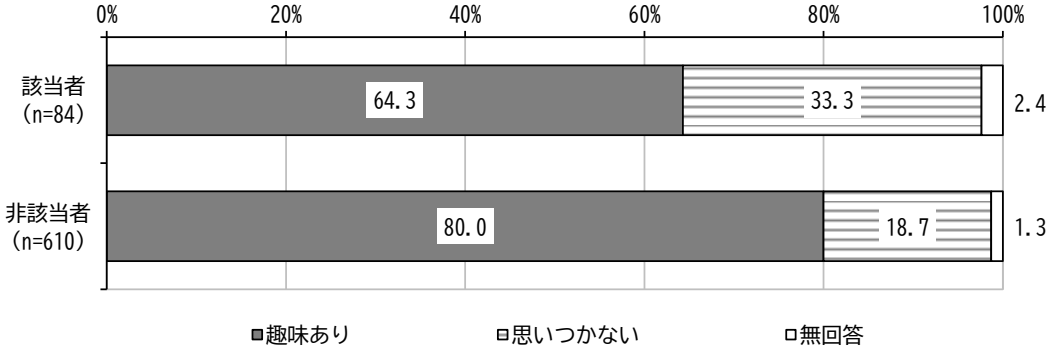
【図表2－12－23 閉じこもり傾向 該当者の割合(字別)】



【他項目との関係性】

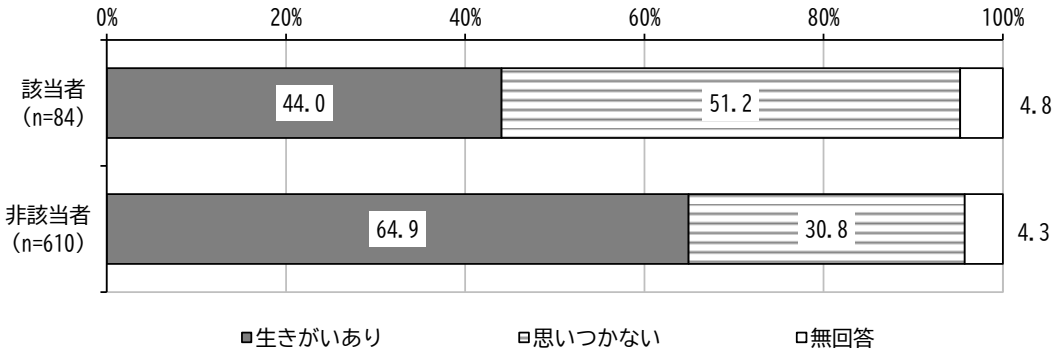
項目１	項目２
リスク判定:閉じこもり傾向	問 43 趣味はありますか。(○は1つ)

【図表2－12－24 趣味はあるか(閉じこもり傾向別)】



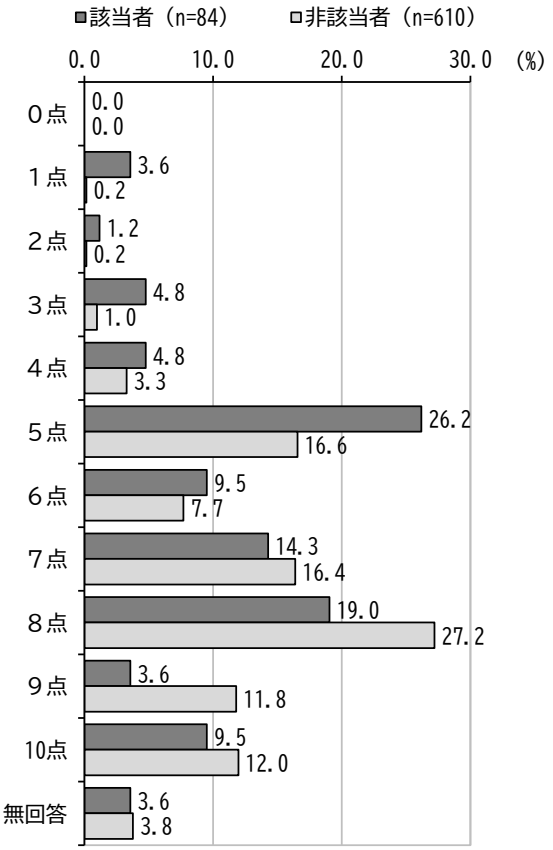
項目１	項目２
リスク判定:閉じこもり傾向	問 44 生きがいはありますか。(○は1つ)

【図表2－12－25 生きがいはあるか(閉じこもり傾向別)】



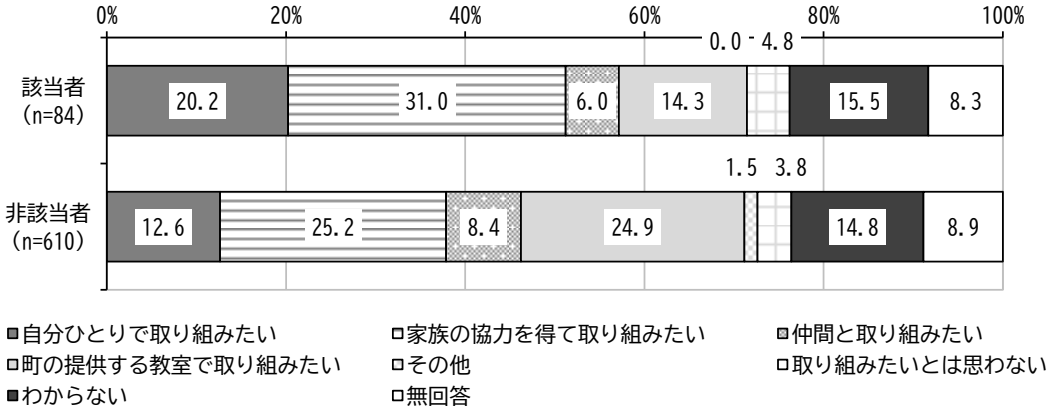
項目１	項目２
リスク判定:閉じこもり傾向	問 63　あなたは、現在どの程度幸せですか。(「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を 10 点として、ご記入ください。)(○は1つ)

【図表2－12－26　幸福度(閉じこもり傾向別)】



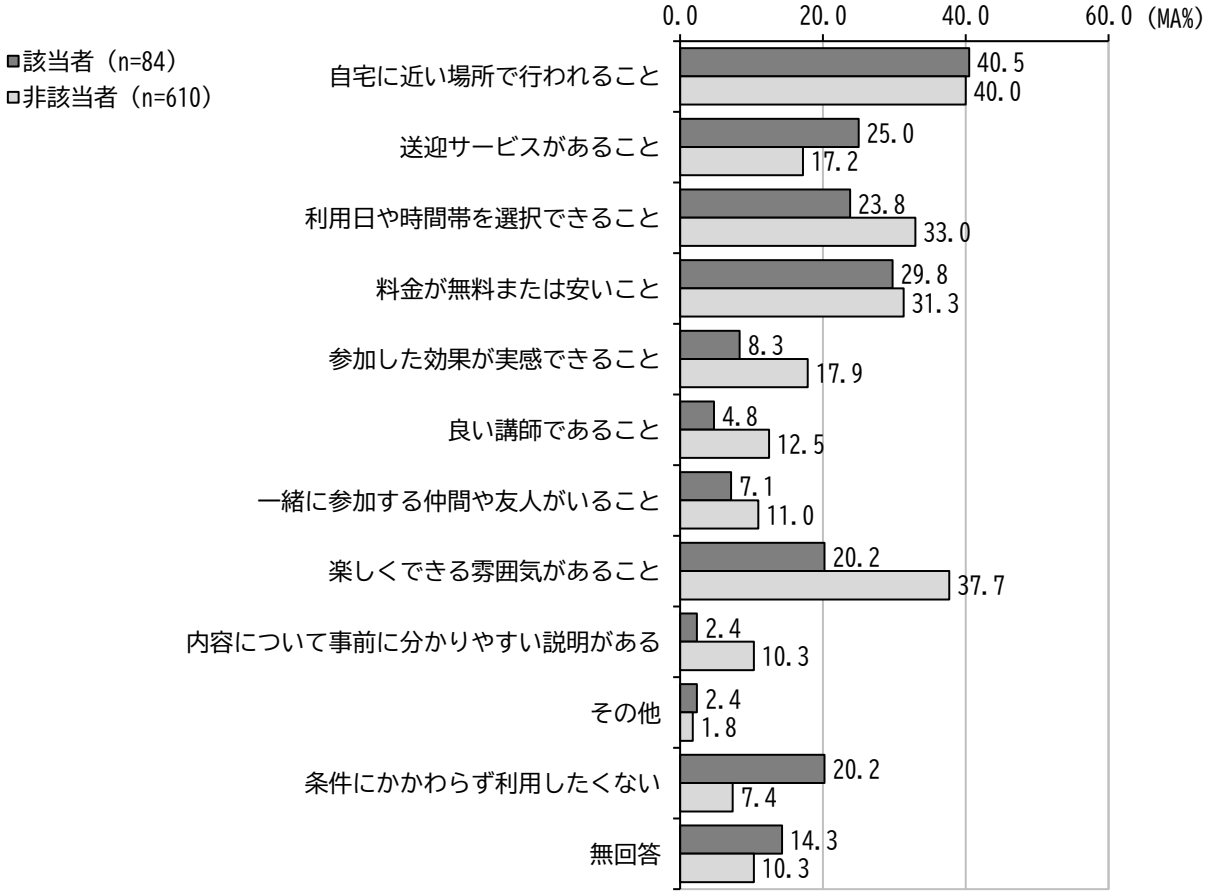
項目１	項目２
リスク判定:閉じこもり傾向	問 75　あなたは、健康づくりや介護予防に、どのように取り組みたいですか。(○は1つ)

【図表2－12－27　健康づくりや介護予防についてどのように取り組みたいか(閉じこもり傾向別)】



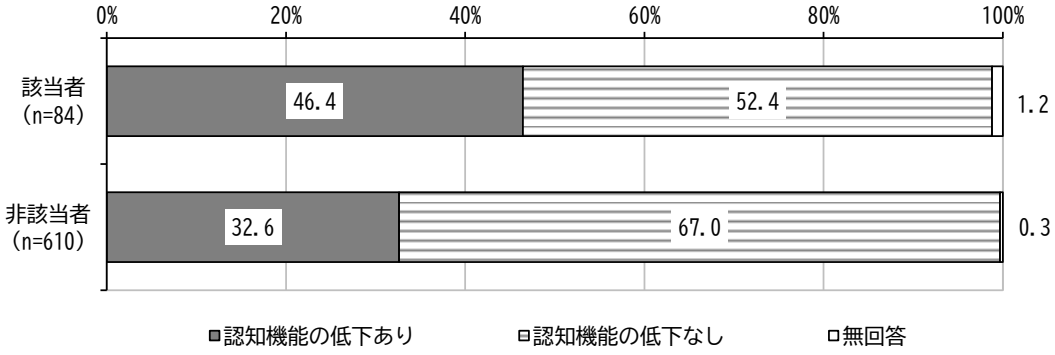
項目１	項目２
リスク判定:閉じこもり傾向	問 76　町の健康づくりや介護予防教室に参加するために必要な条件は何ですか。(○は3つまで)

【図表2－12－28　健康づくりや介護予防教室に参加するための条件(閉じこもり傾向別)】



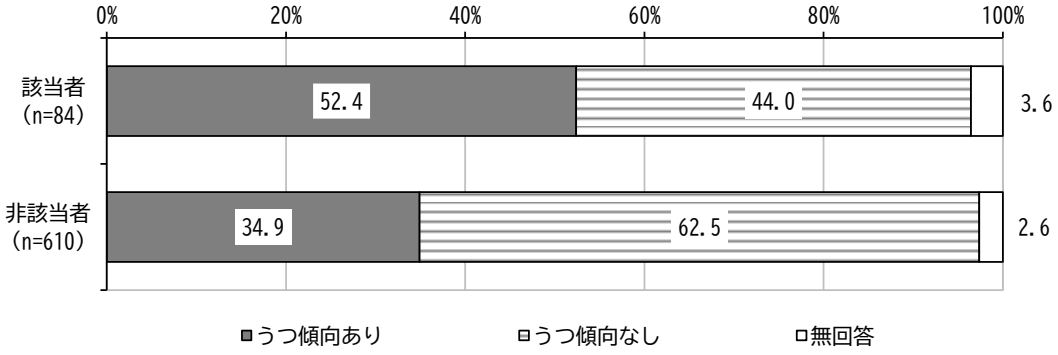
項目１	項目２
リスク判定:閉じこもり傾向	リスク判定:認知機能の低下

【図表2－12－29　認知機能の低下　該当者の割合(閉じこもり傾向別)】



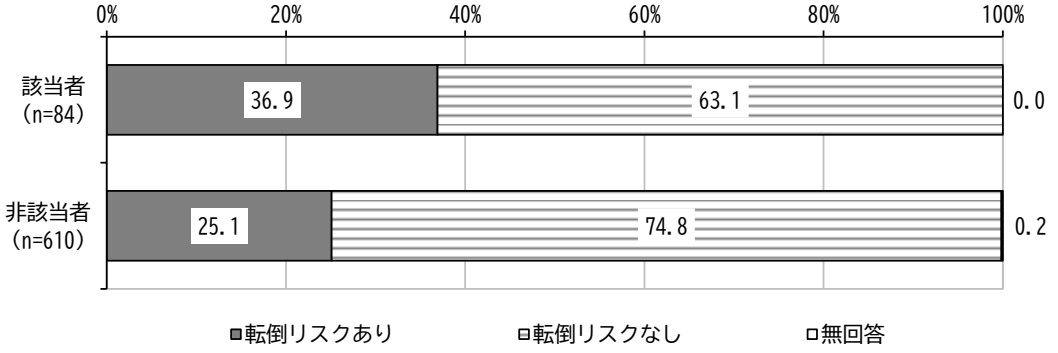
項目１	項目２
リスク判定:閉じこもり傾向	リスク判定:うつ傾向

【図表2－12－30　うつ傾向　該当者の割合(閉じこもり傾向別)】



項目１	項目２
リスク判定:閉じこもり傾向	リスク判定:転倒リスク

【図表2－12－31　転倒リスク　該当者の割合(閉じこもり傾向別)】



（5） 認知機能の低下

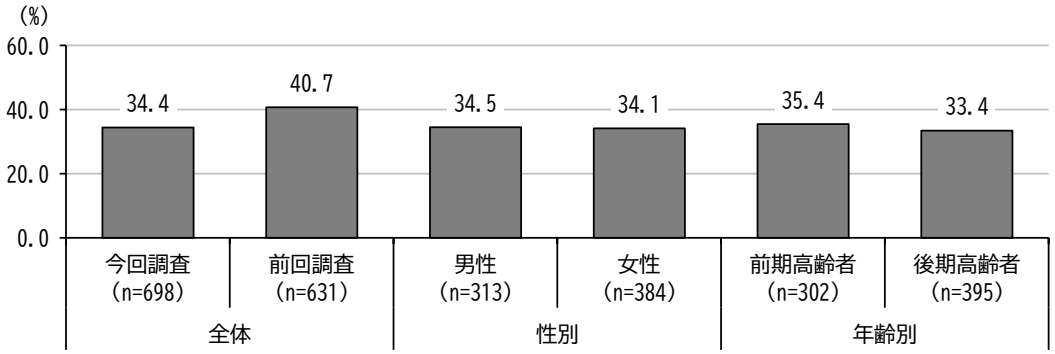
下記の設問について、該当する選択肢が回答された場合、認知機能が低下している高齢者として判定しました。

【図表2－12－32 認知機能の低下を判定するための項目】

問	設問	該当する選択肢
問 26	物忘れが多いと感じますか。	「はい」

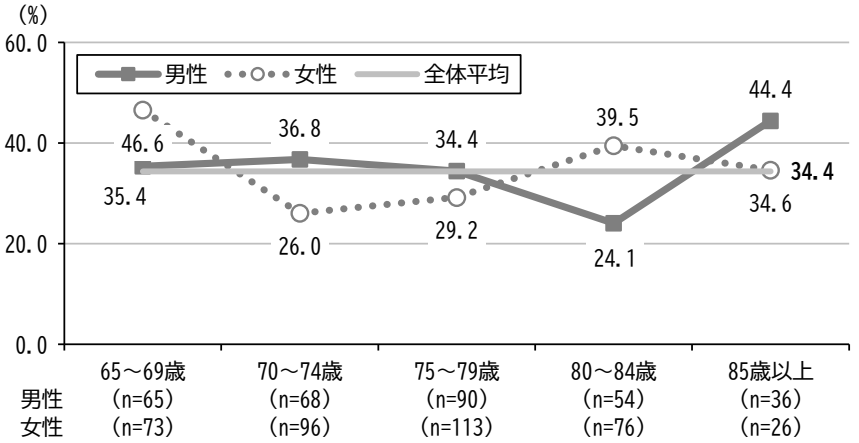
認知機能が低下していると判断された高齢者の割合は、全体で 34.4%となっています。前回調査と比較すると、6.3 ポイント減少しています。

【図表2－12－33 認知機能の低下 該当者の割合】

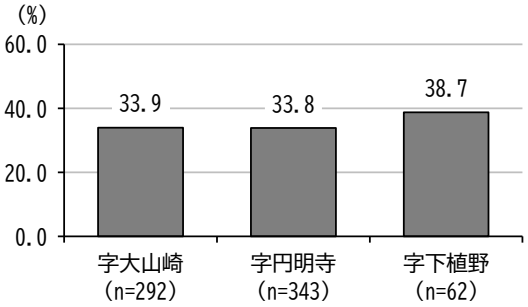


性別にみると、男性では、「85 歳以上」が 44.4%で最も高く、女性では、「65～69 歳」が 46.6%で最も高くなっています。

【図表2－12－34 認知機能の低下 該当者の割合(性別･年齢別)】



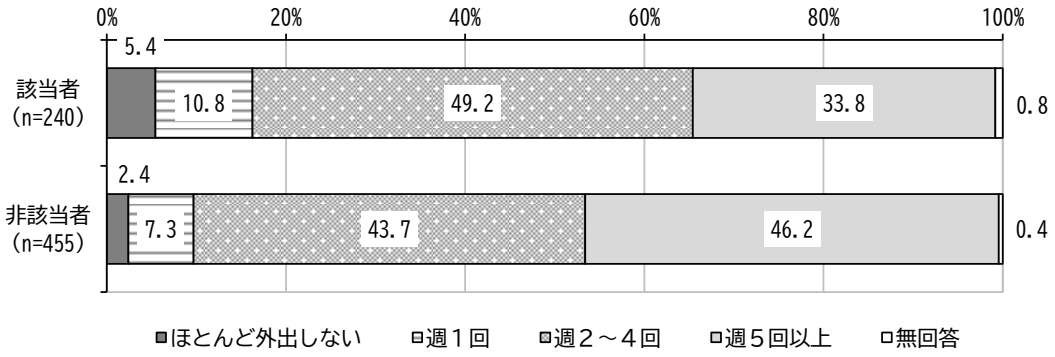
【図表2－12－35 認知機能の低下 該当者の割合(字別)】



【他項目との関係性】

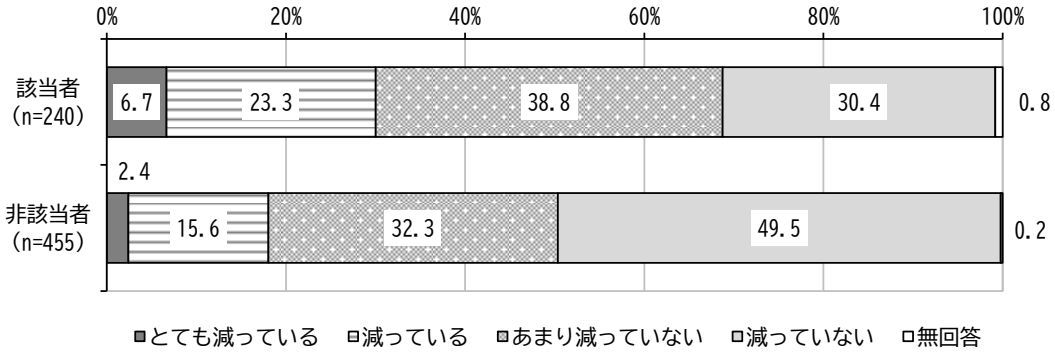
項目１	項目２
リスク判定:認知機能の低下	問 10 週に1回以上は外出していますか。 (○は1つ)

【図表2－12－36 週に1回以上は外出しているか(認知機能の低下別)】



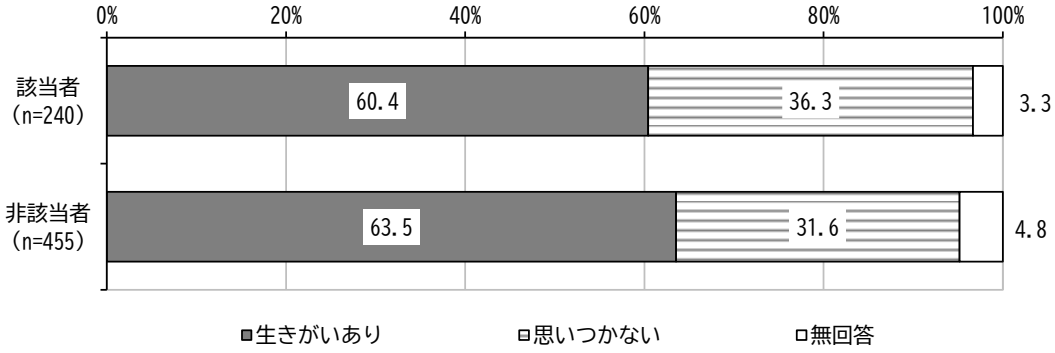
項目１	項目２
リスク判定:認知機能の低下	問 11 昨年と比べて外出の回数が減っていますか。(○は1つ)

【図表2－12－37 昨年と比べて外出の回数が減っているか(認知機能の低下別)】



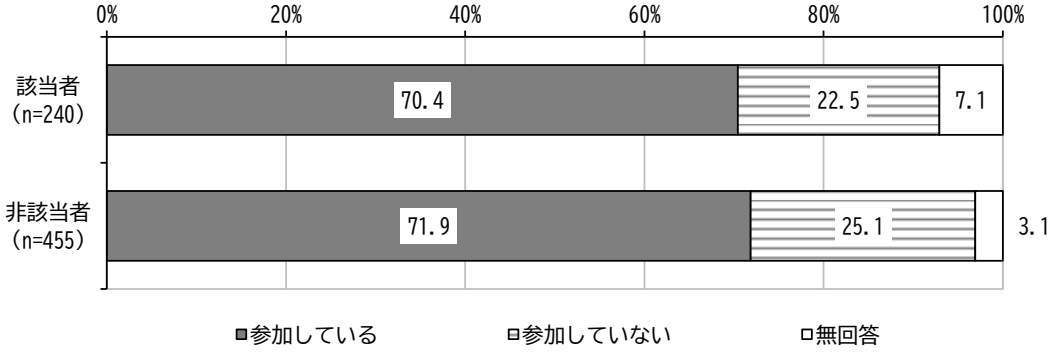
項目１	項目２
リスク判定：認知機能の低下	問 44　生きがいはありますか。（○は1つ）

【図表2－12－38　生きがいはあるか（認知機能の低下別）】



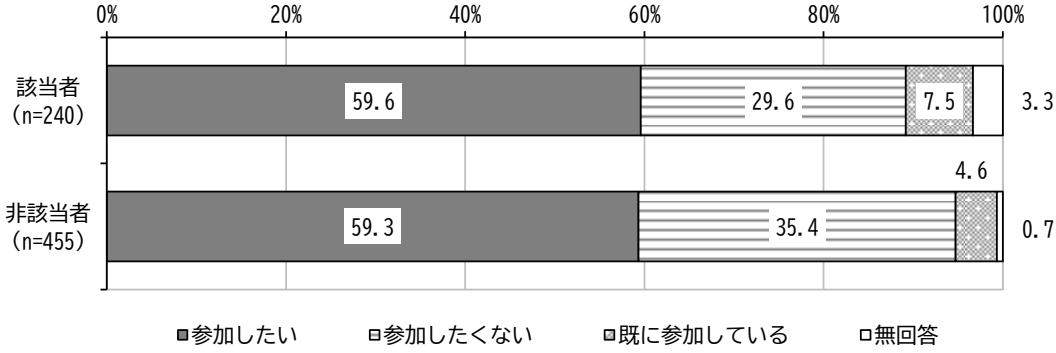
項目１	項目２
リスク判定：認知機能の低下	地域活動参加状況

【図表2－12－39　地域活動参加状況（認知機能の低下別）】



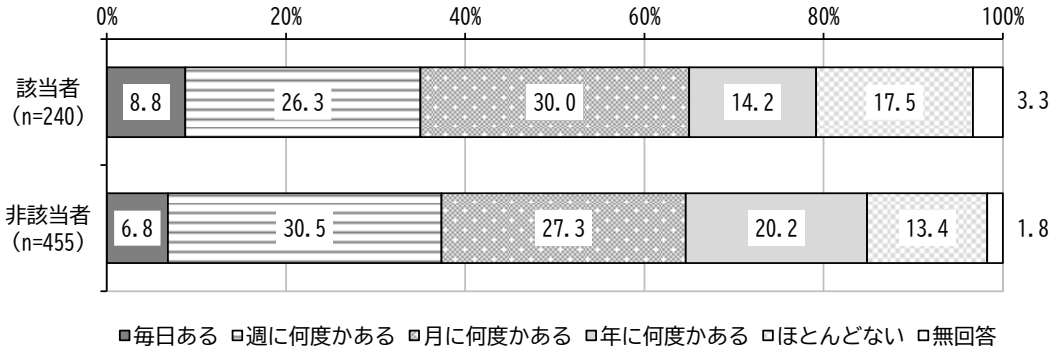
項目１	項目２
リスク判定：認知機能の低下	問 49　地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか。（○は1つ）

【図表2－12－40　地域での活動に参加者として参加したいか（認知機能の低下別）】



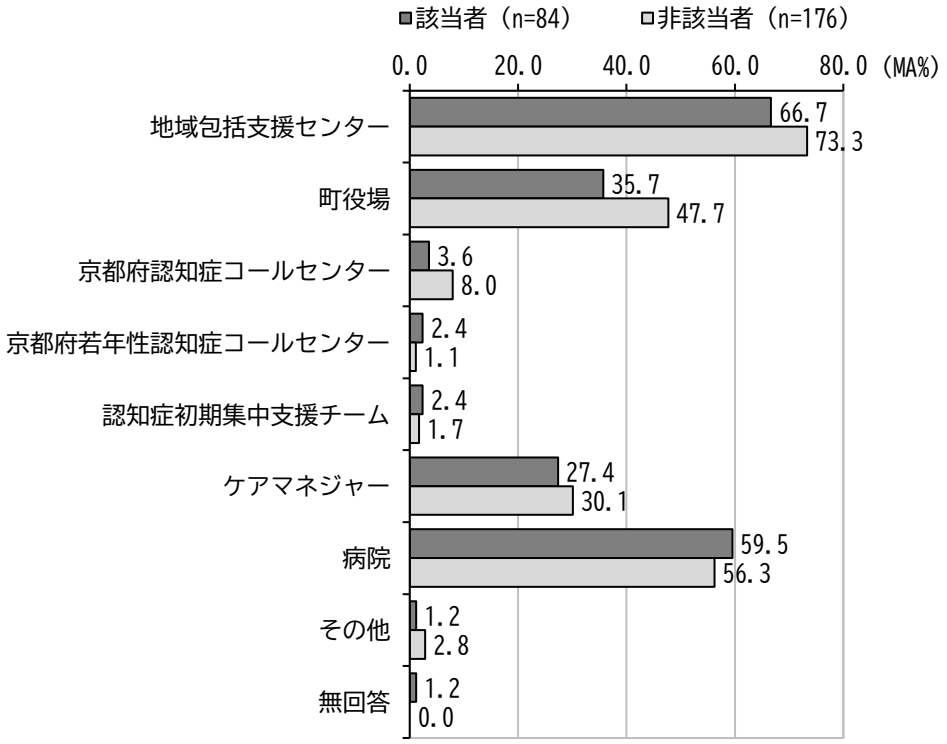
項目１	項目２
リスク判定:認知機能の低下	問 58　友人･知人と会う頻度はどれくらいですか。(○は1つ)

【図表2－12－41　友人･知人と会う頻度(認知機能の低下別)】



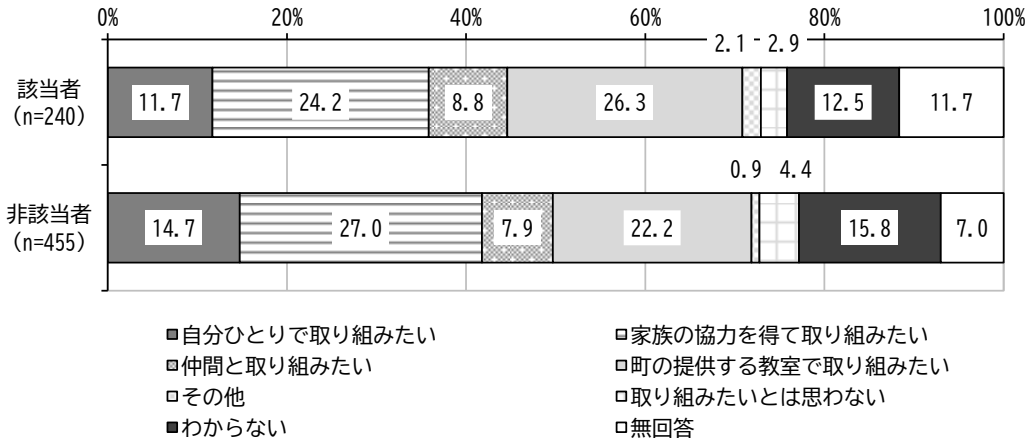
項目１	項目２
リスク判定:認知機能の低下	問 73-1　認知症についての相談先としてどんなところをご存知ですか。(○はいくつでも)

【図表2－12－42　認知症に関する相談窓口の認知状況(認知機能の低下別)】



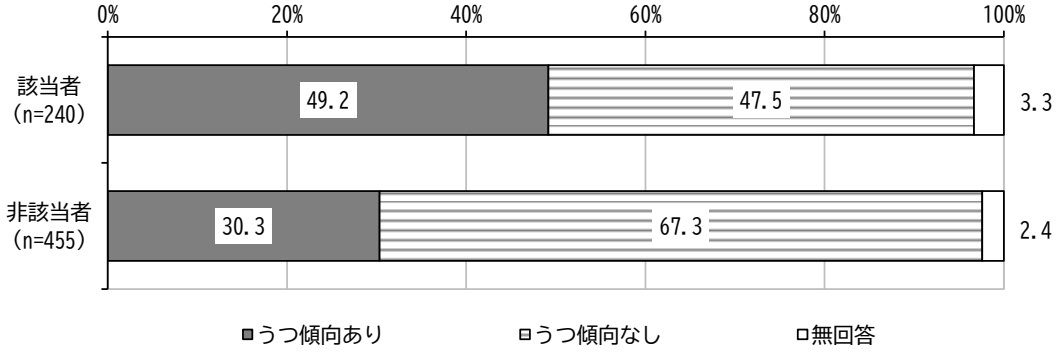
項目１	項目２
リスク判定：認知機能の低下	問 75　あなたは、健康づくりや介護予防に、どのように取り組みたいですか。（○は1つ）

【図表2－12－43　健康づくりや介護予防についてどのように取り組みたいか（認知機能の低下別）】



項目１	項目２
リスク判定：認知機能の低下	リスク判定：うつ傾向

【図表2－12－44　うつ傾向　該当者の割合（認知機能の低下別）】



項目１	項目２
リスク判定：口腔機能の低下	リスク判定：認知機能の低下

106 ページ参照

項目１	項目２
リスク判定：閉じこもり傾向	リスク判定：認知機能の低下

110 ページ参照

（6） うつ傾向

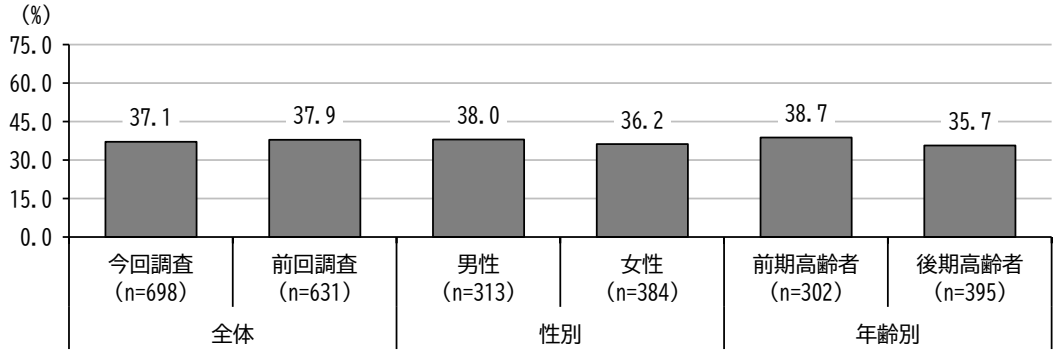
下記の2設問について、いずれか1問でも該当する選択肢が回答された場合、うつ傾向の高齢者として判定しました。

【図表2－12－45 うつ傾向を判定するための項目】

問	設問	該当する選択肢
問 64	この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか。	「はい」
問 65	この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか。	「はい」

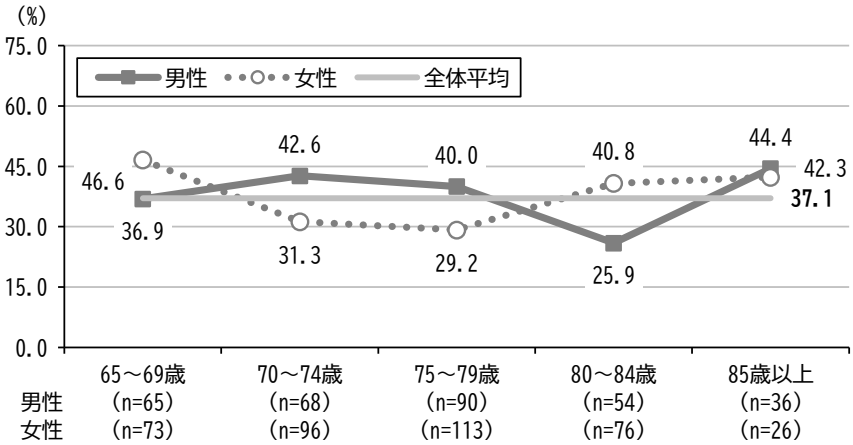
うつ傾向と判断された高齢者の割合は、全体で 37.1%となっています。前回調査と比較すると、0.8 ポイント減少しています。

【図表2－12－46 うつ傾向 該当者の割合】

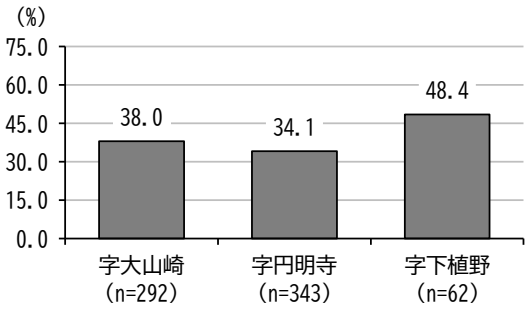


性別にみると、男性では、「85 歳以上」が 44.4%で最も高く、女性では、「65～69 歳」が 46.6%で最も高くなっています。

【図表2－12－47 うつ傾向 該当者の割合(性別･年齢別)】



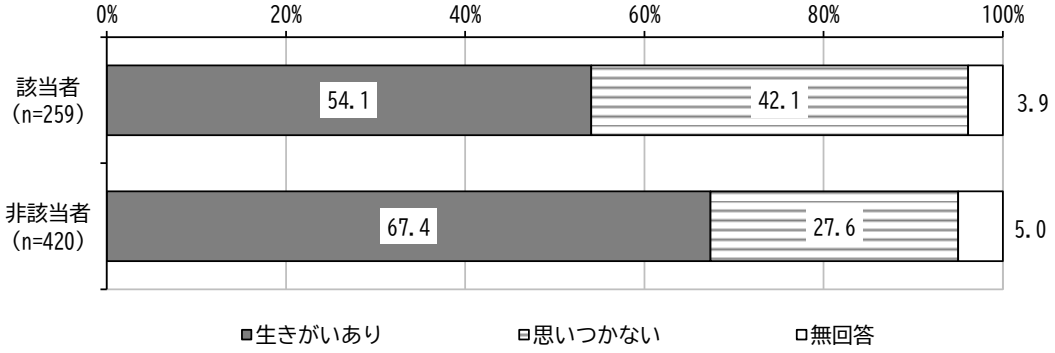
【図表2－12－48 うつ傾向 該当者の割合(字別)】



【他項目との関係性】

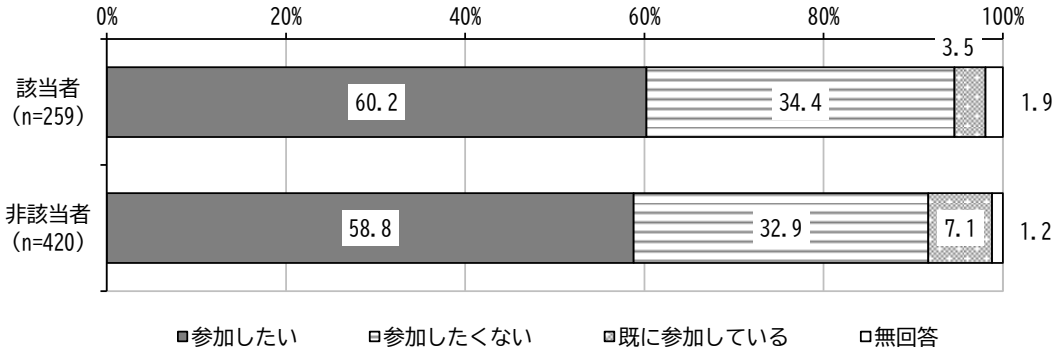
項目１	項目２
リスク判定:うつ傾向	問 44 生きがいはありますか。(○は1つ)

【図表2－12－49 生きがいはあるか (うつ傾向別)】



項目１	項目２
リスク判定:うつ傾向	問 49 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか。(○は1つ)

【図表2－12－50 地域での活動に参加者として参加したいか(うつ傾向別)】



項目１	項目２
リスク判定:閉じこもり傾向	リスク判定：うつ傾向

111 ページ参照

項目１	項目２
リスク判定:認知機能の低下	リスク判定：うつ傾向

116 ページ参照

（7） 転倒リスク

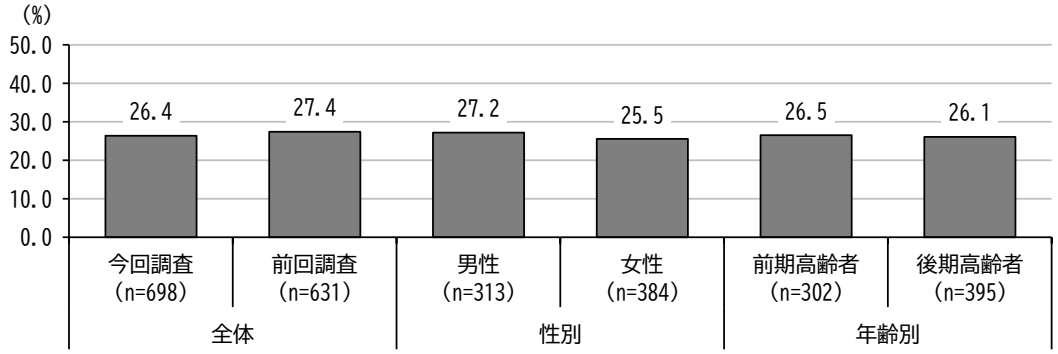
下記の設問について、該当する選択肢が回答された場合、転倒リスクがある高齢者として判定しました。

【図表2－12－51 転倒リスクを判定するための項目】

問	設問	該当する選択肢
問8	過去1年間に転んだ経験がありますか。	「何度もある」 「1度ある」

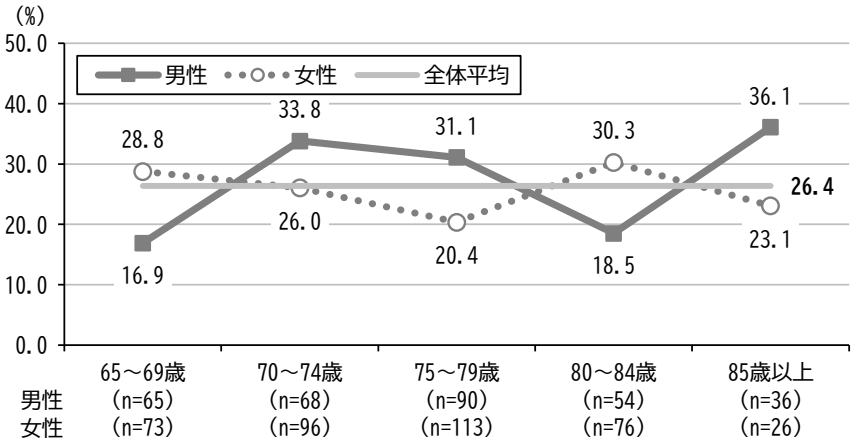
転倒リスクがあると判断された高齢者の割合は、全体で 26.4%となっています。前回調査と比較すると、1.0 ポイント減少しています。

【図表2－12－52 転倒リスク 該当者の割合】

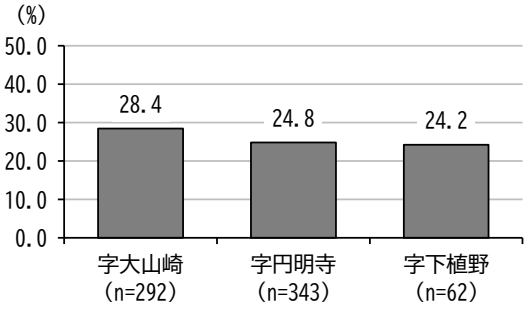


性別にみると、男性では、「85 歳以上」が 36.1%で最も高く、女性では、「80～84 歳」が 30.3%で最も高くなっています。

【図表2－12－53 転倒リスク 該当者の割合(性別・年齢別)】



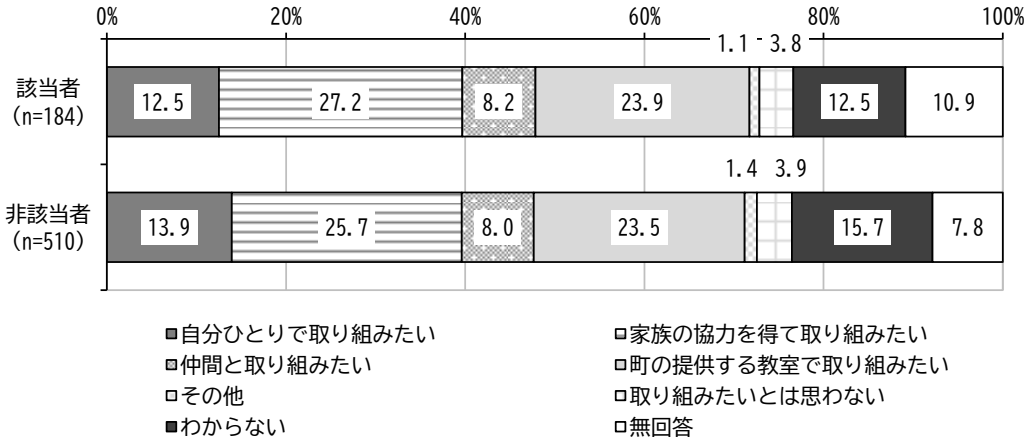
【図表2－12－54 転倒リスク 該当者の割合(字別)】



【他項目との関係性】

項目 1	項目 2
リスク判定:転倒リスク	問 75 あなたは、健康づくりや介護予防に、どのように取り組みたいですか。(○は1つ)

【図表2－12－55 健康づくりや介護予防についてどのように取り組みたいか(転倒リスク別)】



項目 1	項目 2
リスク判定:運動機能の低下	リスク判定:転倒リスク

102 ページ参照

項目 1	項目 2
リスク判定:口腔機能の低下	リスク判定:転倒リスク

106 ページ参照

項目 1	項目 2
リスク判定:閉じこもり傾向	リスク判定:転倒リスク

111 ページ参照

（8） IADL の低下

老研式活動能力指標に基づき、下記の5設問について、該当する選択肢を回答した場合を1点として、5点満点で評価し、4点以下の場合、IADL（手段的日常生活自立度）が低下している高齢者として判定しました。

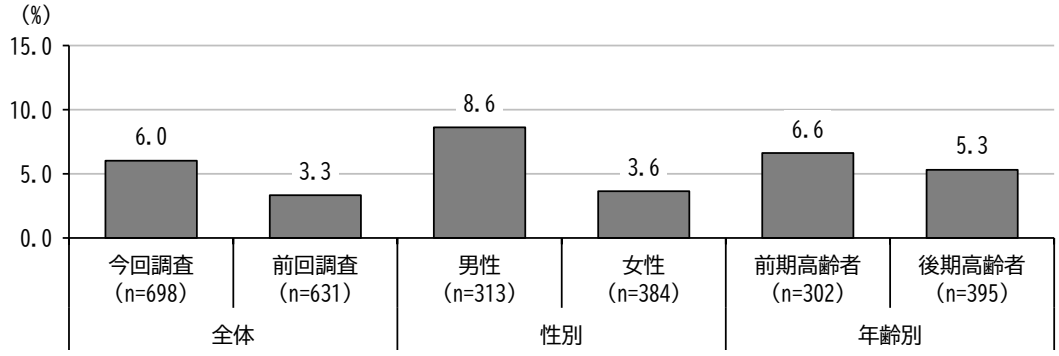
※IADL（手段的日常生活自立度）とは買物、電話、外出等、ADL（日常生活動作：起居動作・移乗・移動・食事・更衣・排泄・入浴・整容）よりも高い自立した日常生活を送る能力をいいます。

【図表2－12－56 IADL の低下を判定するための項目】

問	設問	該当する選択肢
問 30	バスや電車を使って1人で外出していますか。 （自家用車でも可）	「できるし、している」 「できるけどしていない」
問 31	自分で食品・日用品の買物をしていますか。	「できるし、している」 「できるけどしていない」
問 32	自分で食事の用意をしていますか。	「できるし、している」 「できるけどしていない」
問 33	自分で請求書の支払いをしていますか。	「できるし、している」 「できるけどしていない」
問 34	自分で預貯金の出し入れをしていますか。	「できるし、している」 「できるけどしていない」

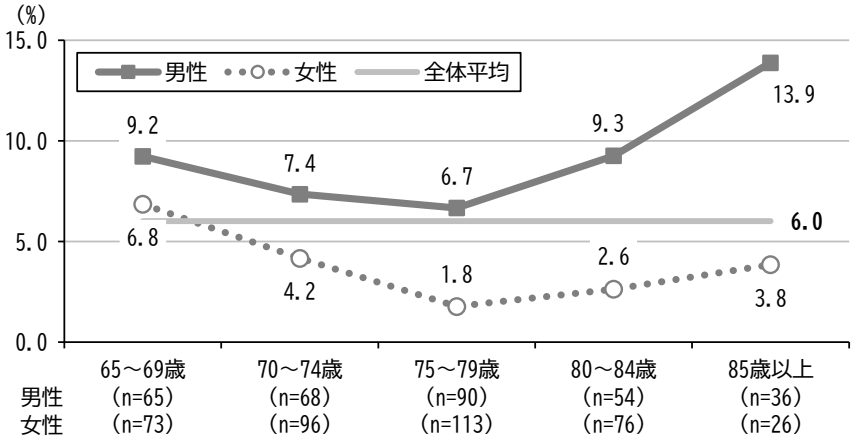
IADL が低下していると判断された高齢者の割合は、全体で 6.0%となっています。前回調査と比較すると、2.7 ポイント増加しています。

【図表2－12－57 IADL の低下 該当者の割合】

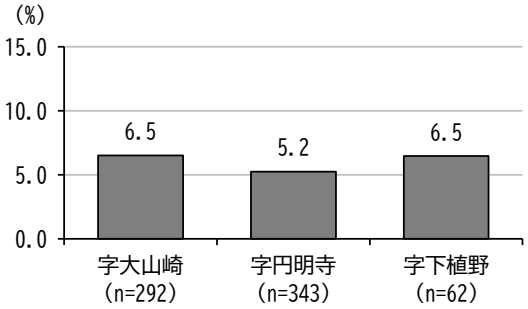


性別にみると、男性では、「85 歳以上」が 13.9%で最も高く、女性では、「65～69 歳」が 6.8%で最も高くなっています。

【図表2－12－58 IADL の低下 該当者の割合(性別・年齢別)】



【図表2－12－59 IADL の低下 該当者の割合(字別)】



第3章　介護予防･日常生活圏域ニーズ調査(要支援認定者対象)の結果

1.　回答者の属性

(1) 回答者

	調査票を記入されたのはどなたですか。○をつけてください。

回答者について、「あなた(あて名のご本人)」が 74.4%で最も高く、次いで「本人の子どもまたはその配偶者」が 4.1%、「本人の配偶者」が 3.6%となっています。

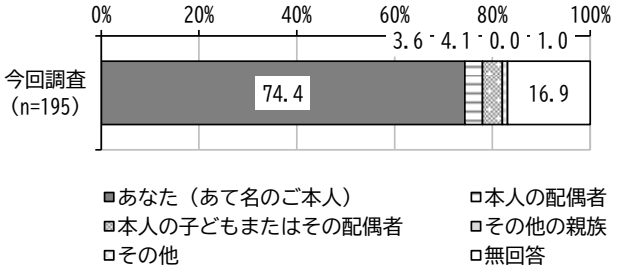
性別について、「男性」が 26.2%、「女性」が 73.8%となっています。

年齢について、「85 歳以上」が 54.4%で最も高く、次いで「80～84 歳」が 25.6%、「75～79 歳」が 12.8%となっています。

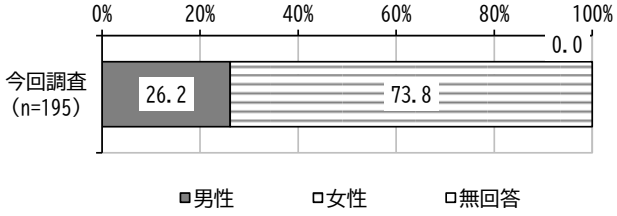
居住地区について、「字円明寺」が 52.8%で最も高く、次いで「字大山崎」が 37.4%、「字下植野」が 9.7%となっています。

認定状況について、「要支援1」が 65.6%、「要支援2」が 34.4%となっています。

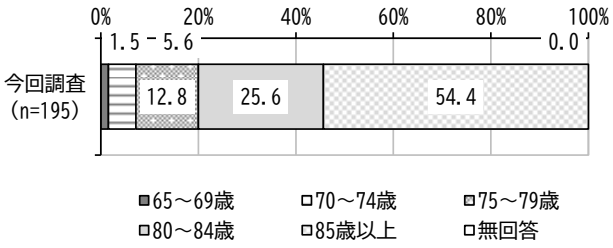
【図表3－1－1　回答者】



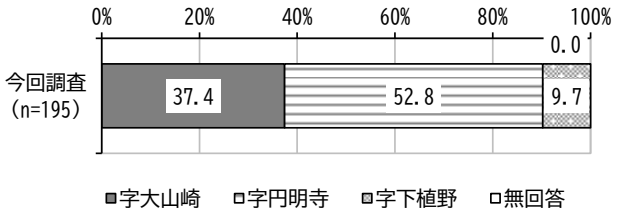
【図表3－1－2　性別】



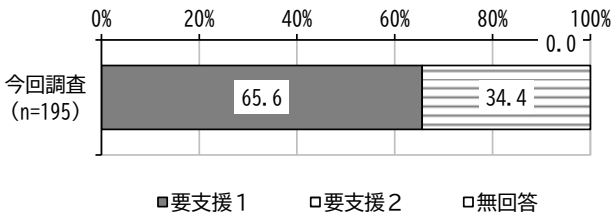
【図表3－1－3　年齢】



【図表3－1－4　居住地区】



【図表3－1－5　認定状況】

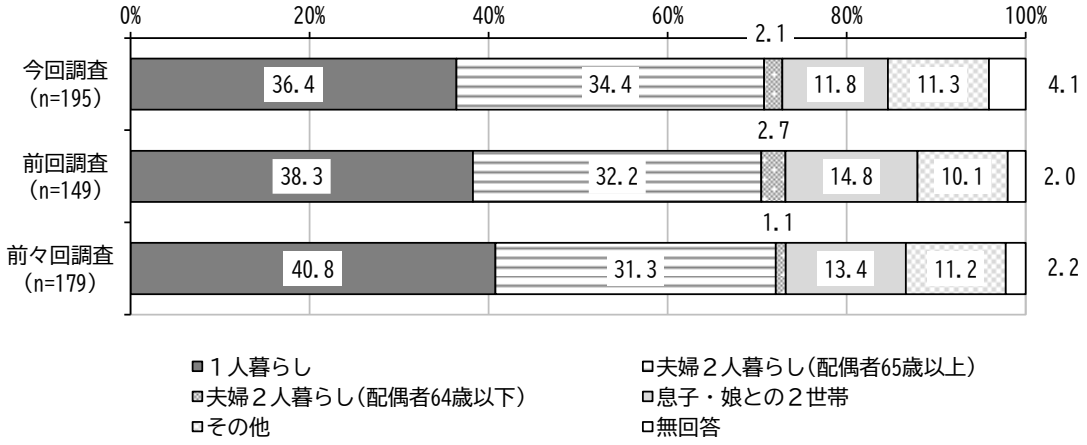


（2） 世帯構成

問1	家族構成をお教えください。（○は1つ）

世帯構成について、「1人暮らし」が 36.4％で最も高く、次いで「夫婦2人暮らし（配偶者 65 歳以上）」が 34.4％、「息子・娘との2世帯」が 11.8％となっています。また、前回調査と比較して「1人暮らし」が 1.9 ポイント減少しています。

【図表3－1－6 世帯構成】

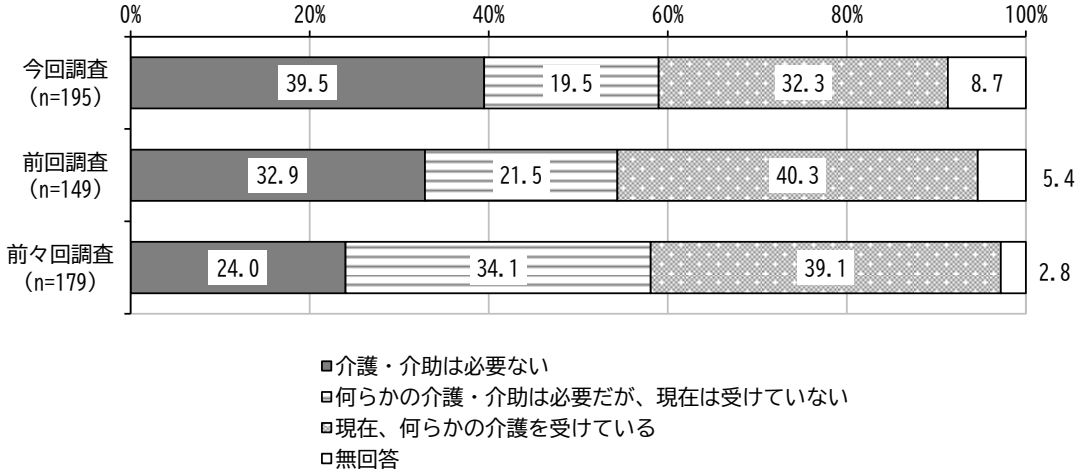


（3） 介護・介助の状況

問2	あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか。（○は1つ）

介護・介助の状況について、「介護・介助は必要ない」が 39.5%で最も高く、次いで「現在、何らかの介護を受けている」が 32.3%、「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」が 19.5%となっています。また、前回調査と比較して「介護・介助は必要ない」が 6.6 ポイント増加しています。

【図表3－1－7 介護・介助の状況】



性別にみると、「介護・介助は必要ない」について、男性では 43.1%、女性では 38.2%となっており、男性のほうが 4.9 ポイント高くなっています。

年齢別にみると、65 歳～84 歳では「介護・介助は必要ない」が最も高い割合となっていますが、85 歳以上では「現在、何らかの介護を受けている」が 37.7%と最も高くなっています。

【図表3－1－8 介護・介助の状況（クロス集計）】

※網掛けは最も割合が高いもの　単位：（%）

		合計（人）	介護・介助は必要ない	何らかの介助は必要だが、現在は受けていない	現在、何らかの介護を受けている	無回答
性別	男性	51	43.1	27.5	23.5	5.9
	女性	144	38.2	16.7	35.4	9.7
年齢別	65～74歳	14	57.1	21.4	21.4	0.0
	75～84歳	75	49.3	17.3	26.7	6.7
	85歳以上	106	30.2	20.8	37.7	11.3
世帯構成別	１人暮らし	71	36.6	22.5	31.0	9.9
	夫婦２人暮らし（配偶者65歳以上）	67	47.8	17.9	29.9	4.5
	夫婦２人暮らし（配偶者64歳以下）	4	50.0	25.0	25.0	0.0
	息子・娘との２世帯	23	26.1	17.4	39.1	17.4
	その他	22	40.9	18.2	31.8	9.1
居住地区別	字大山崎	73	34.2	20.5	35.6	9.6
	字円明寺	103	41.7	20.4	28.2	9.7
	字下植野	19	47.4	10.5	42.1	0.0
認定状況別	要支援１	128	43.8	21.1	25.8	9.4
	要支援２	67	31.3	16.4	44.8	7.5

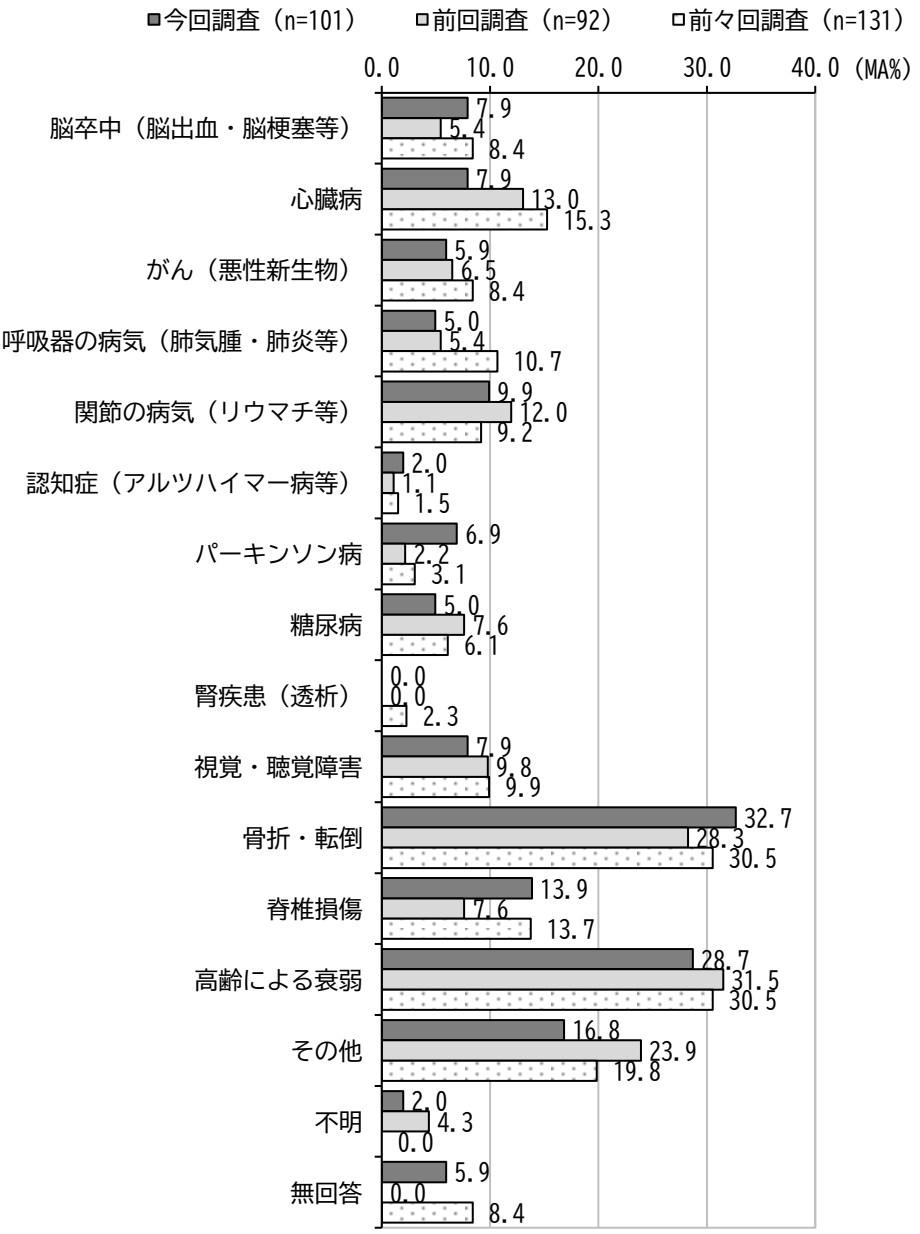
（4） 介護・介助が必要になった原因

問2-1	**【問2で「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」または「現在、何らかの介護を受けている」を回答された方のみ】** 介護・介助が必要になった主な原因はなんですか。（○はいくつでも）

介護・介助が必要になった原因について、「骨折・転倒」が 32.7%で最も高く、次いで「高齢による衰弱」が 28.7%、「その他」が 16.8%となっています。また、前回調査と比較して「骨折・転倒」が 4.4 ポイント増加しています。

また、その他の内容について、『歩行困難』（8件）などがあります。

【図表3－1－9 介護・介助が必要になった原因】



性別にみると、男性・女性ともに「骨折・転倒」が最も高くなっています。

年齢別にみると、65 歳～74 歳では「がん（悪性新生物）」、75～84 歳では「骨折・転倒」、85 歳以上では「高齢による衰弱」が最も高い割合となっています。

【図表3－1－10 介護・介助が必要になった原因（クロス集計）】

※網掛けは最も割合が高いもの　単位：（MA%）

		合計（人）	脳卒中（脳出血・脳梗塞等）	心臓病	がん（悪性新生物）	呼吸器の病気（肺気腫・肺炎等）	関節の病気（リウマチ等）	認知症（アルツハイマー病等）	パーキンソン病	糖尿病	腎疾患（透析）	視覚・聴覚障害	骨折・転倒
性別	男性	26	11.5	15.4	7.7	11.5	11.5	0.0	11.5	0.0	0.0	11.5	30.8
	女性	75	6.7	5.3	5.3	2.7	9.3	2.7	5.3	6.7	0.0	6.7	33.3
年齢別	65～74歳	6	16.7	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	16.7	16.7	0.0	0.0	0.0
	75～84歳	33	6.1	3.0	9.1	6.1	6.1	3.0	6.1	3.0	0.0	6.1	33.3
	85歳以上	62	8.1	11.3	1.6	4.8	12.9	1.6	6.5	4.8	0.0	9.7	35.5
世帯構成別	１人暮らし	38	10.5	5.3	7.9	0.0	7.9	2.6	7.9	7.9	0.0	7.9	42.1
	夫婦２人暮らし（配偶者65歳以上）	32	9.4	15.6	3.1	12.5	9.4	3.1	6.3	3.1	0.0	9.4	28.1
	夫婦２人暮らし（配偶者64歳以下）	2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	息子・娘との２世帯	13	0.0	7.7	15.4	0.0	15.4	0.0	15.4	0.0	0.0	7.7	7.7
	その他	11	9.1	0.0	0.0	0.0	9.1	0.0	0.0	0.0	0.0	9.1	54.5
居住地区別	字大山崎	41	9.8	4.9	4.9	9.8	12.2	2.4	4.9	4.9	0.0	7.3	26.8
	字円明寺	50	6.0	12.0	8.0	2.0	10.0	2.0	10.0	4.0	0.0	8.0	34.0
	字下植野	10	10.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	10.0	0.0	10.0	50.0
認定状況別	要支援１	60	5.0	6.7	6.7	6.7	11.7	1.7	8.3	6.7	0.0	10.0	40.0
	要支援２	41	12.2	9.8	4.9	2.4	7.3	2.4	4.9	2.4	0.0	4.9	22.0

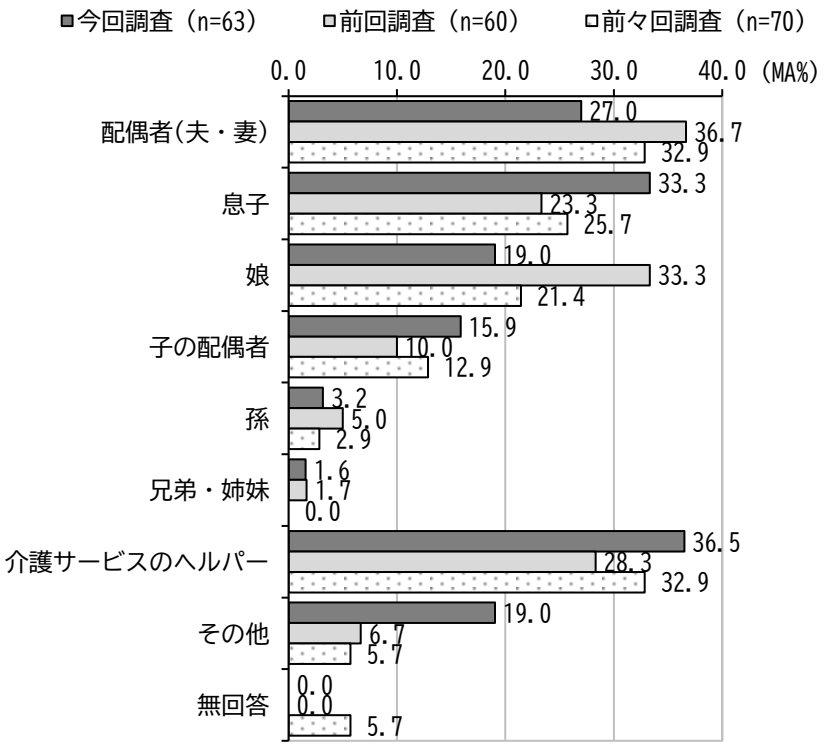
		合計（人）	脊椎損傷	高齢による衰弱	その他	不明	無回答
性別	男性	26	7.7	23.1	3.8	3.8	11.5
	女性	75	16.0	30.7	21.3	1.3	4.0
年齢別	65～74歳	6	16.7	0.0	33.3	0.0	0.0
	75～84歳	33	18.2	18.2	12.1	0.0	6.1
	85歳以上	62	11.3	37.1	17.7	3.2	6.5
世帯構成別	１人暮らし	38	15.8	28.9	18.4	2.6	10.5
	夫婦２人暮らし（配偶者65歳以上）	32	21.9	28.1	9.4	3.1	0.0
	夫婦２人暮らし（配偶者64歳以下）	2	0.0	0.0	50.0	0.0	50.0
	息子・娘との２世帯	13	0.0	46.2	15.4	0.0	7.7
	その他	11	0.0	9.1	27.3	0.0	0.0
居住地区別	字大山崎	41	12.2	36.6	22.0	2.4	4.9
	字円明寺	50	14.0	28.0	12.0	2.0	8.0
	字下植野	10	20.0	0.0	20.0	0.0	0.0
認定状況別	要支援１	60	13.3	36.7	16.7	1.7	5.0
	要支援２	41	14.6	17.1	17.1	2.4	7.3

（5） 介護者・介助者

問2-2	**【問2で「現在、何らかの介護を受けている」を回答された方のみ】** 主にどなたの介護、介助を受けていますか。（○はいくつでも）

介護者・介助者について、「介護サービスのヘルパー」が 36.5%で最も高く、次いで「息子」が 33.3%、「配偶者（夫・妻）」が 27.0%となっています。また、前回調査と比較して「息子」が 10.0 ポイント、「介護サービスのヘルパー」が 8.2 ポイント増加し、「娘」は 14.3 ポイント減少しています。

【図表3－1－11 介護者・介助者】

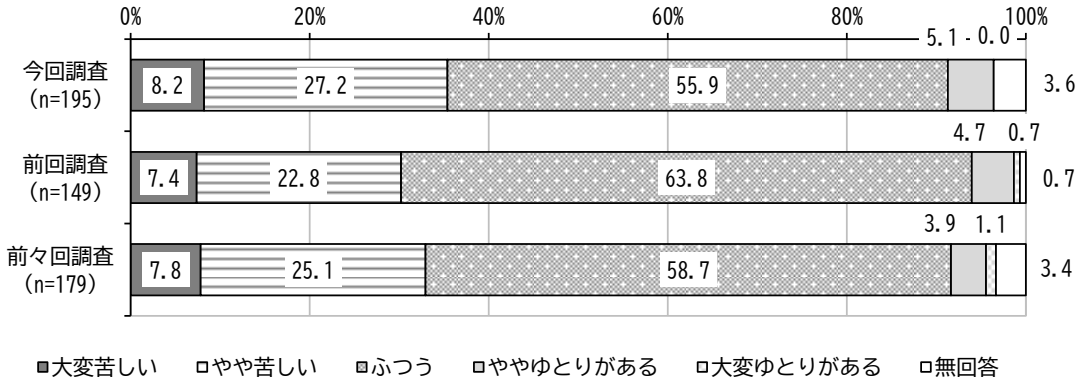


（6） 現在の暮らしの状況

問3	現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか。（○は1つ）

現在の暮らしの状況を経済的にみると、「ふつう」が 55.9%で最も高く、次いで「やや苦しい」が 27.2%、「大変苦しい」が 8.2%となっています。また、前回調査と比較して「ふつう」が 7.9 ポイント減少しています。

【図表3－1－12 現在の暮らしの状況】



性別にみると、男性・女性ともに「ふつう」が最も高くなっています。

年齢別にみると、「大変苦しい」では、65～74 歳が 21.4%で最も高く、「やや苦しい」でも、65～74 歳が 42.9%で最も高くなっています。

【図表3－1－13 現在の暮らしの状況（クロス集計）】

※網掛けは最も割合が高いもの　単位：（%）

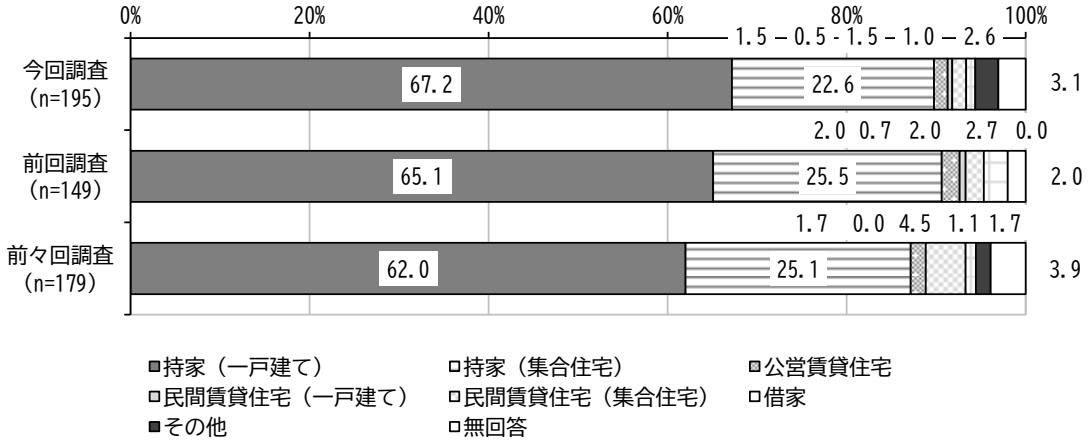
		合計（人）	大変苦しい	やや苦しい	ふつう	ややゆとりがある	大変ゆとりがある	無回答
性別	男性	51	13.7	31.4	**47.1**	3.9	0.0	3.9
	女性	144	6.3	25.7	**59.0**	5.6	0.0	3.5
年齢別	65～74歳	14	21.4	**42.9**	35.7	0.0	0.0	0.0
	75～84歳	75	5.3	33.3	**49.3**	5.3	0.0	6.7
	85歳以上	106	8.5	20.8	**63.2**	5.7	0.0	1.9
世帯構成別	１人暮らし	71	8.5	18.3	**63.4**	4.2	0.0	5.6
	夫婦２人暮らし（配偶者65歳以上）	67	7.5	31.3	**50.7**	6.0	0.0	4.5
	夫婦２人暮らし（配偶者64歳以下）	4	25.0	**50.0**	25.0	0.0	0.0	0.0
	息子・娘との２世帯	23	13.0	17.4	**69.6**	0.0	0.0	0.0
	その他	22	4.5	**40.9**	**40.9**	13.6	0.0	0.0
居住地区別	字大山崎	73	8.2	31.5	**46.6**	8.2	0.0	5.5
	字円明寺	103	8.7	25.2	**61.2**	1.9	0.0	2.9
	字下植野	19	5.3	21.1	**63.2**	10.5	0.0	0.0
認定状況別	要支援１	128	5.5	27.3	**57.8**	5.5	0.0	3.9
	要支援２	67	13.4	26.9	**52.2**	4.5	0.0	3.0

(7) 居住形態

問4	お住まいは一戸建て、または集合住宅のどちらですか。(○は1つ)

居住形態について、「持家(一戸建て)」が 67.2%で最も高く、次いで「持家(集合住宅)」が 22.6%、「その他」が 2.6%となっています。また、前回調査と比較して「持家(一戸建て)」が 2.1 ポイント増加しています。

【図表3－1－14 居住形態】



性別にみると、男性・女性ともに「持家(一戸建て)」が最も高くなっています。

年齢別にみると、「持家(一戸建て)」では、65～74 歳が 85.7%で最も高くなっています。

居住地区別にみると、「持家(一戸建て)」では、字大山崎が 95.9%で最も高くなっています。

【図表3－1－15 居住形態(クロス集計)】

※網掛けは最も割合が高いもの　単位：(%)

		合計（人）	持家（一戸建て）	持家（集合住宅）	公営賃貸住宅	民間賃貸住宅（一戸建て）	民間賃貸住宅（集合住宅）	借家	その他	無回答
性別	男性	51	72.5	19.6	0.0	0.0	2.0	2.0	2.0	2.0
	女性	144	65.3	23.6	2.1	0.7	1.4	0.7	2.8	3.5
年齢別	65～74歳	14	85.7	7.1	0.0	0.0	0.0	0.0	7.1	0.0
	75～84歳	75	74.7	14.7	2.7	0.0	4.0	1.3	1.3	1.3
	85歳以上	106	59.4	30.2	0.9	0.9	0.0	0.9	2.8	4.7
世帯構成別	１人暮らし	71	63.4	25.4	2.8	1.4	2.8	1.4	0.0	2.8
	夫婦２人暮らし(配偶者65歳以上)	67	70.1	23.9	0.0	0.0	1.5	0.0	1.5	3.0
	夫婦２人暮らし(配偶者64歳以下)	4	50.0	25.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0
	息子・娘との２世帯	23	69.6	13.0	4.3	0.0	0.0	0.0	4.3	8.7
	その他	22	68.2	22.7	0.0	0.0	0.0	0.0	9.1	0.0
居住地区別	字大山崎	73	95.9	0.0	0.0	0.0	1.4	0.0	1.4	1.4
	字円明寺	103	44.7	41.7	2.9	1.0	1.0	1.9	2.9	3.9
	字下植野	19	78.9	5.3	0.0	0.0	5.3	0.0	5.3	5.3
認定状況別	要支援１	128	68.0	22.7	2.3	0.8	1.6	0.8	2.3	1.6
	要支援２	67	65.7	22.4	0.0	0.0	1.5	1.5	3.0	6.0

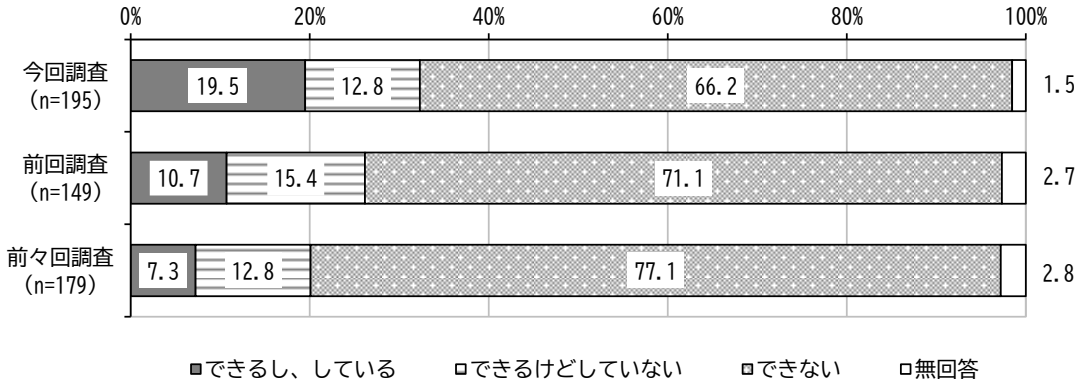
2. からだを動かすことについて

(1) 階段を手すりや壁をつたわらずに昇れるか

問5	階段を手すりや壁をつたわらずに昇っていますか。(○は1つ)

階段を手すりや壁をつたわらずに昇れるかについて、「できない」が 66.2%で最も高く、次いで「できるし、している」が 19.5%、「できるけどしていない」が 12.8%となっています。また、前回調査と比較して「できるし、している」が 8.8 ポイント増加しています。

【図表3－2－1 階段を手すりや壁をつたわらずに昇れるか】

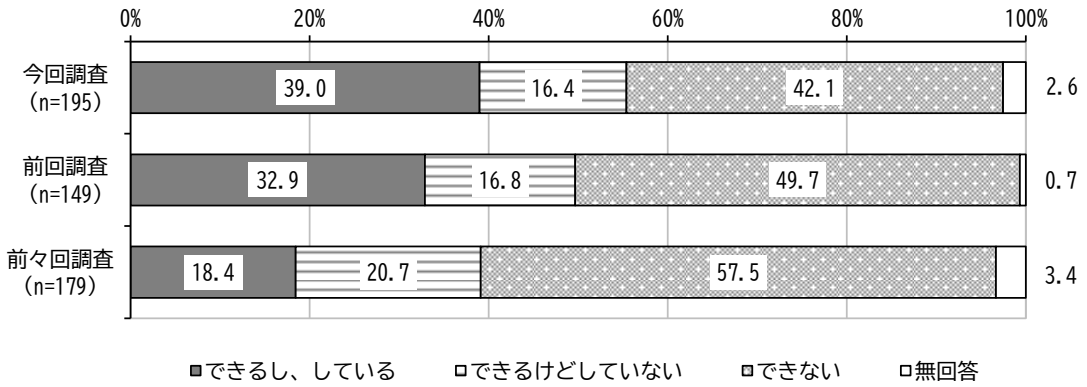


(2) 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がれるか

問6	椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか。(○は1つ)

椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がれるかについて、「できない」が 42.1%で最も高く、次いで「できるし、している」が 39.0%、「できるけどしていない」が 16.4%となっています。また、前回調査と比較して「できるし、している」が 6.1 ポイント増加しています。

【図表3－2－2 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がれるか】

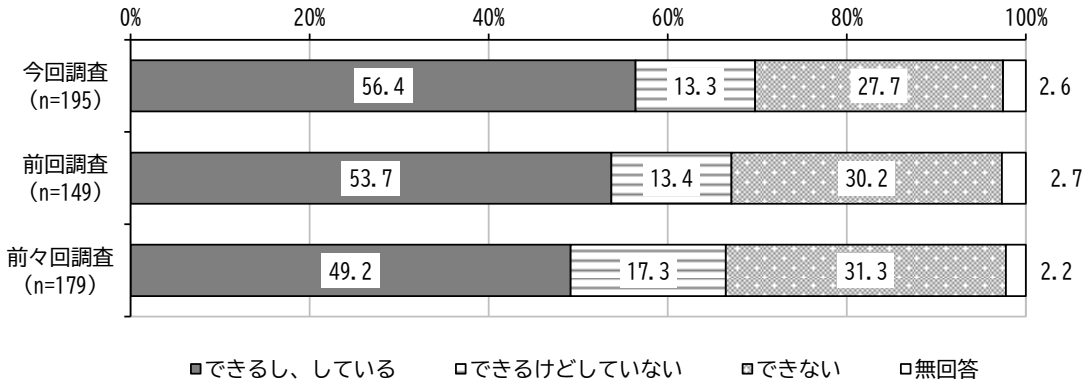


（3） 15 分位続けて歩けるか

問7	15 分位続けて歩いていますか。（○は1つ）

15 分位続けて歩けるかについて、「できるし、している」が 56.4％で最も高く、次いで「できない」が 27.7％、「できるけどしていない」が 13.3％となっています。また、前回調査と比較して「できるし、している」が 2.7 ポイント増加しています。

【図表3－2－3 15 分位続けて歩けるか】

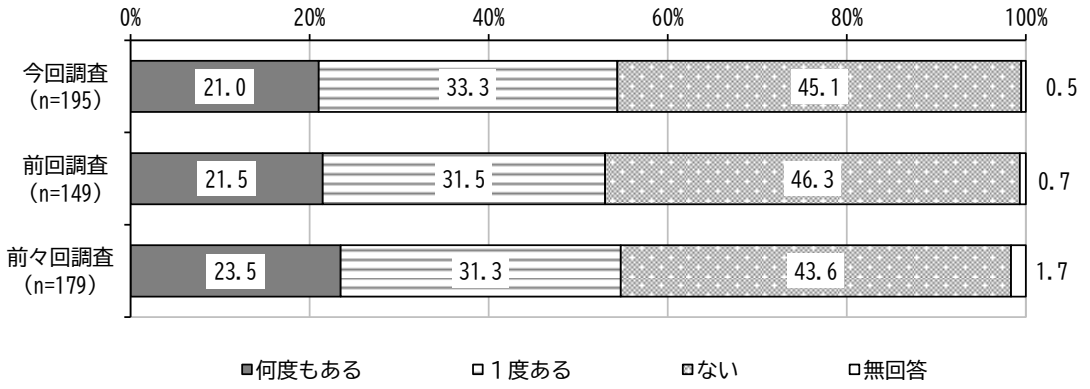


（4） 過去1年間に転んだ経験があるか

問8	過去1年間に転んだ経験がありますか。（○は1つ）

過去1年間に転んだ経験があるかについて、「ない」が 45.1％で最も高く、次いで「1度ある」が 33.3％、「何度もある」が 21.0％となっています。また、前回調査と比較して「ない」が 1.2 ポイント減少しています。

【図表3－2－4 過去1年間に転んだ経験があるか】

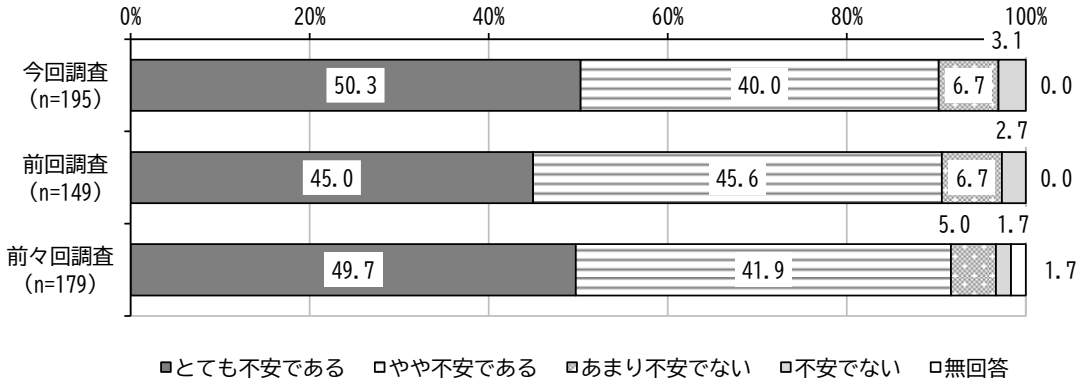


（5） 転倒に対する不安は大きいか

問9	転倒に対する不安は大きいですか。（○は1つ）

転倒に対する不安は大きいかについて、「とても不安である」が 50.3%で最も高く、次いで「やや不安である」が40.0%、「あまり不安でない」が6.7%となっています。また、前回調査と比較して「とても不安である」が5.3 ポイント増加しています。

【図表3－2－5 転倒に対する不安は大きいか】

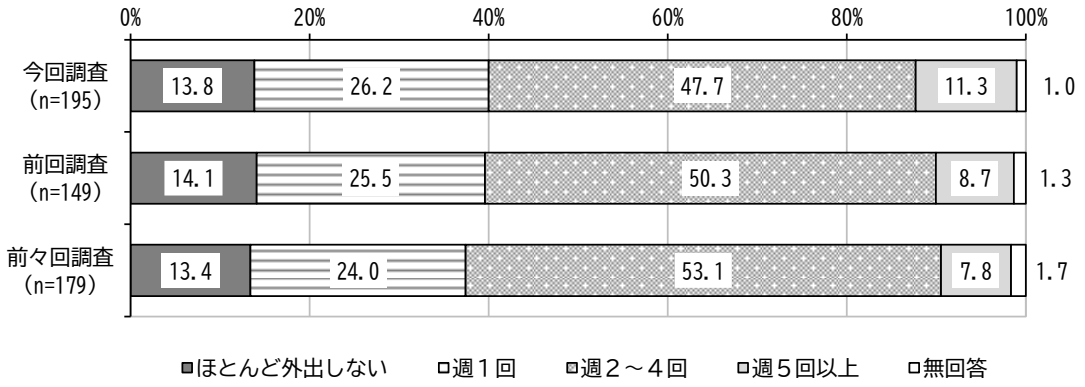


（6）週に1回以上は外出しているか

問 10	週に1回以上は外出していますか。（○は1つ）

週に1回以上は外出しているかについて、「週2～4回」が 47.7%で最も高く、次いで「週1回」が 26.2%、「ほとんど外出しない」が13.8%となっています。また、前回調査と比較して「週2～4回」が2.6 ポイント減少しています。

【図表3－2－6 週に1回以上は外出しているか】



性別にみると、男性・女性ともに「週2～4回」が最も高くなっています。

年齢別にみると、「ほとんど外出しない」では、85 歳以上が 16.0%で最も高くなっています。

【図表3－2－7 週に1回以上は外出しているか（クロス集計）】

※網掛けは最も割合が高いもの　単位：（%）

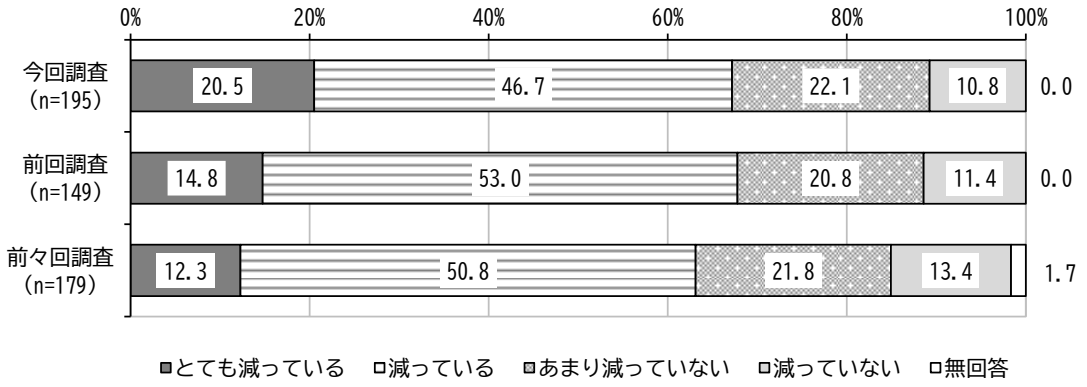
		合計（人）	ほとんど外出しない	週１回	週２～４回	週５回以上	無回答
性別	男性	51	23.5	25.5	33.3	17.6	0.0
	女性	144	10.4	26.4	52.8	9.0	1.4
年齢別	65～74歳	14	0.0	14.3	50.0	35.7	0.0
	75～84歳	75	13.3	21.3	49.3	14.7	1.3
	85歳以上	106	16.0	31.1	46.2	5.7	0.9
世帯構成別	１人暮らし	71	7.0	25.4	57.7	7.0	2.8
	夫婦２人暮らし（配偶者65歳以上）	67	13.4	23.9	47.8	14.9	0.0
	夫婦２人暮らし（配偶者64歳以下）	4	25.0	25.0	50.0	0.0	0.0
	息子・娘との２世帯	23	26.1	39.1	26.1	8.7	0.0
	その他	22	22.7	22.7	36.4	18.2	0.0
居住地区別	字大山崎	73	17.8	20.5	49.3	11.0	1.4
	字円明寺	103	11.7	25.2	49.5	12.6	1.0
	字下植野	19	10.5	52.6	31.6	5.3	0.0
認定状況別	要支援１	128	10.9	28.1	49.2	10.9	0.8
	要支援２	67	19.4	22.4	44.8	11.9	1.5

（7） 昨年と比べて外出の回数が減っているか

問 11	昨年と比べて外出の回数が減っていますか。（○は1つ）

昨年と比べて外出の回数が減っているかについて、「減っている」が 46.7%で最も高く、次いで「あまり減っていない」が 22.1%、「とても減っている」が 20.5%となっています。また、前回調査と比較して「減っている」が 6.3 ポイント減少しています。

【図表3－2－8 昨年と比べて外出の回数が減っているか】



性別にみると、男性・女性ともに「減っている」が最も高くなっています。

年齢別にみると、「とても減っている」では、85 歳以上が 23.6%で最も高く、「減っている」でも、85 歳以上が 50.9%で最も高くなっています。

【図表3－2－9 昨年と比べて外出の回数が減っているか（クロス集計）】

※網掛けは最も割合が高いもの　単位：（%）

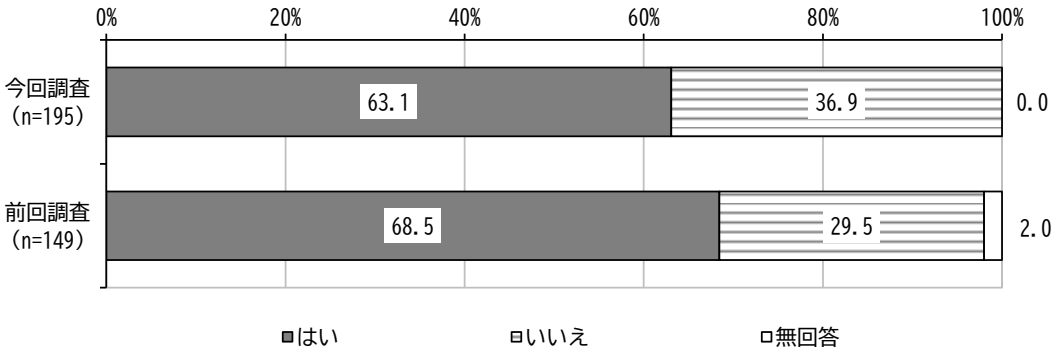
		合計（人）	とても減っている	減っている	あまり減っていない	減っていない	無回答
性別	男性	51	25.5	43.1	23.5	7.8	0.0
	女性	144	18.8	47.9	21.5	11.8	0.0
年齢別	65～74歳	14	14.3	35.7	21.4	28.6	0.0
	75～84歳	75	17.3	42.7	26.7	13.3	0.0
	85歳以上	106	23.6	50.9	18.9	6.6	0.0
世帯構成別	１人暮らし	71	18.3	52.1	18.3	11.3	0.0
	夫婦２人暮らし（配偶者65歳以上）	67	17.9	38.8	31.3	11.9	0.0
	夫婦２人暮らし（配偶者64歳以下）	4	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0
	息子・娘との２世帯	23	30.4	43.5	13.0	13.0	0.0
	その他	22	13.6	54.5	22.7	9.1	0.0
居住地区別	字大山崎	73	16.4	47.9	17.8	17.8	0.0
	字円明寺	103	20.4	48.5	23.3	7.8	0.0
	字下植野	19	36.8	31.6	31.6	0.0	0.0
認定状況別	要支援１	128	15.6	48.4	24.2	11.7	0.0
	要支援２	67	29.9	43.3	17.9	9.0	0.0

（8） 外出を控えているか

問 12	外出を控えていますか。(○は1つ)

外出を控えているかについて、「はい」が 63.1%、「いいえ」が 36.9%となっています。また、前回調査と比較して「はい」が 5.4 ポイント減少しています。

【図表3－2－10 外出を控えているか】



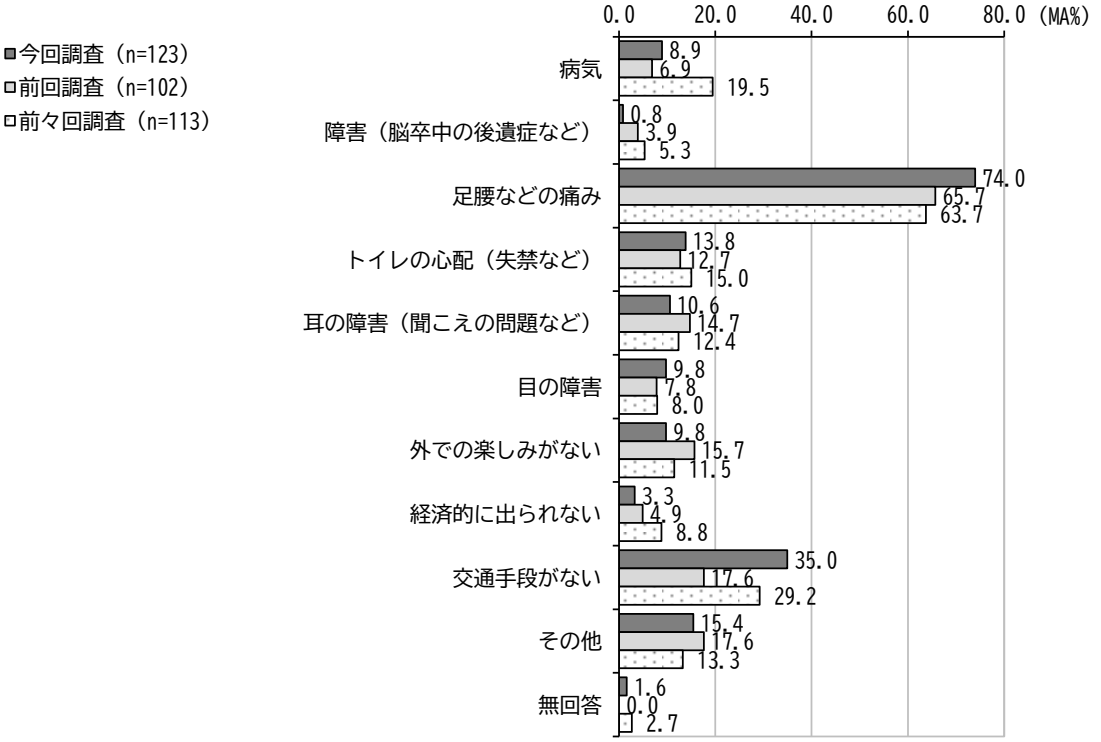
（9） 外出を控えている理由

問 12-1	**【問 12 で「はい」(外出を控えている)を回答された方のみ】** 外出を控えている理由は、次のどれですか。(○はいくつでも)

外出を控えている理由について、「足腰などの痛み」が 74.0%で最も高く、次いで「交通手段がない」が35.0%、「その他」が 15.4%となっています。

また、その他の内容について、『体力の低下』(8件)、『ふらつき』(5件)などがあります。

【図表3－2－11 外出を控えている理由】



【【図表3－2－12 外出を控えている理由(クロス集計)】

※網掛けは最も割合が高いもの　単位：(MA%)

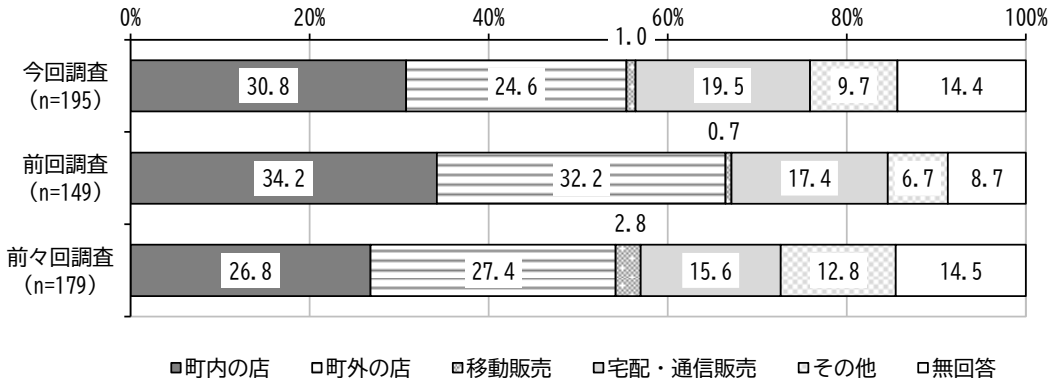
		合計（人）	病気	障害（脳卒中の後遺症など）	足腰などの痛み	トイレの心配（失禁など）	耳の障害（聞こえの問題など）	目の障害	外での楽しみがない	経済的に出られない	交通手段がない	その他	無回答
性別	男性	29	10.3	3.4	75.9	27.6	17.2	10.3	17.2	3.4	31.0	17.2	0.0
	女性	94	8.5	0.0	73.4	9.6	8.5	9.6	7.4	3.2	36.2	14.9	2.1
年齢別	65～74歳	7	14.3	0.0	28.6	14.3	14.3	0.0	0.0	14.3	42.9	28.6	0.0
	75～84歳	38	10.5	0.0	78.9	13.2	5.3	13.2	10.5	0.0	28.9	10.5	2.6
	85歳以上	78	7.7	1.3	75.6	14.1	12.8	9.0	10.3	3.8	37.2	16.7	1.3
世帯構成別	１人暮らし	41	9.8	0.0	78.0	9.8	12.2	12.2	4.9	9.8	39.0	17.1	0.0
	夫婦２人暮らし(配偶者65歳以上)	41	9.8	2.4	68.3	19.5	14.6	7.3	12.2	0.0	26.8	17.1	2.4
	夫婦２人暮らし(配偶者64歳以下)	1	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	息子・娘との２世帯	18	11.1	0.0	83.3	16.7	5.6	5.6	11.1	0.0	16.7	16.7	0.0
	その他	15	6.7	0.0	66.7	6.7	6.7	13.3	13.3	0.0	60.0	13.3	0.0
居住地区別	字大山崎	48	8.3	0.0	77.1	12.5	6.3	14.6	8.3	2.1	31.3	16.7	4.2
	字円明寺	63	9.5	1.6	68.3	14.3	12.7	6.3	12.7	3.2	38.1	17.5	0.0
	字下植野	12	8.3	0.0	91.7	16.7	16.7	8.3	0.0	8.3	33.3	0.0	0.0
認定状況別	要支援１	77	6.5	0.0	74.0	15.6	9.1	10.4	11.7	3.9	36.4	11.7	2.6
	要支援２	46	13.0	2.2	73.9	10.9	13.0	8.7	6.5	2.2	32.6	21.7	0.0

（10） 主に日常生活の買い物をする場所

問 13	あなたは、日常生活の買物を、主にどこでしますか。（○は1つ）

主に日常生活の買い物をする場所について、「町内の店」が 30.8％で最も高く、次いで「町外の店」が24.6％、「宅配・通信販売」が 19.5％となっています。また、前回調査と比較して「町内の店」が 3.4 ポイント減少しています。

【図表3－2－13 主に日常生活の買い物をする場所】



性別にみると、男性・女性ともに「町内の店」が最も高くなっています。

年齢別にみると、75歳以上では「町内の店」の割合が最も高く、65～74 歳では「宅配・通信販売」が35.7％と最も高くなっています。

居住地区別にみると、字大山崎、字円明寺では「町内の店」の割合が高く、字下植野では「町外の店」が最も高くなっています。

【図表3－2－14 主に日常生活の買い物をする場所（クロス集計）】

※網掛けは最も割合が高いもの　単位：（%）

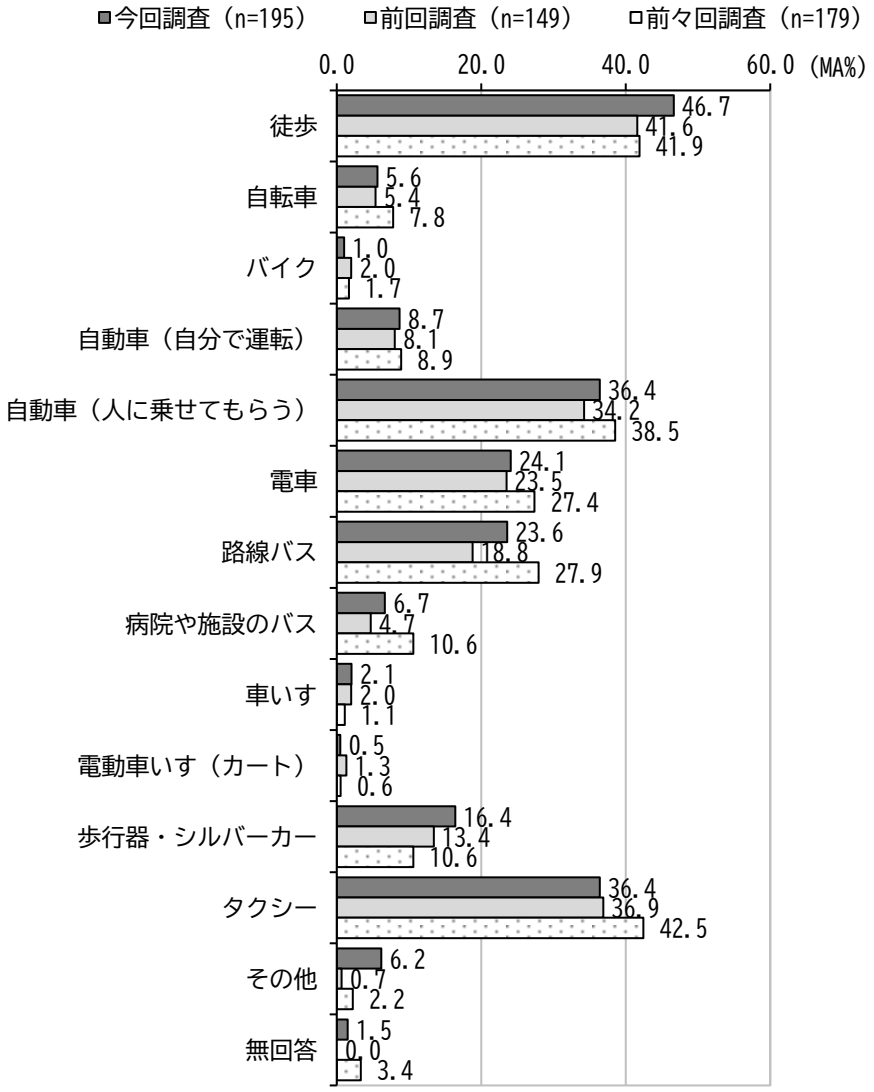
		合計（人）	町内の店	町外の店	移動販売	宅配・通信販売	その他	無回答
性別	男性	51	37.3	17.6	2.0	17.6	7.8	17.6
	女性	144	28.5	27.1	0.7	20.1	10.4	13.2
年齢別	65～74歳	14	14.3	21.4	0.0	35.7	14.3	14.3
	75～84歳	75	30.7	29.3	0.0	10.7	13.3	16.0
	85歳以上	106	33.0	21.7	1.9	23.6	6.6	13.2
世帯構成別	１人暮らし	71	35.2	29.6	2.8	14.1	5.6	12.7
	夫婦２人暮らし（配偶者65歳以上）	67	29.9	19.4	0.0	17.9	14.9	17.9
	夫婦２人暮らし（配偶者64歳以下）	4	25.0	50.0	0.0	25.0	0.0	0.0
	息子・娘との２世帯	23	26.1	34.8	0.0	34.8	4.3	0.0
	その他	22	27.3	18.2	0.0	22.7	13.6	18.2
居住地区別	字大山崎	73	26.0	23.3	1.4	20.5	12.3	16.4
	字円明寺	103	37.9	22.3	1.0	18.4	7.8	12.6
	字下植野	19	10.5	42.1	0.0	21.1	10.5	15.8
認定状況別	要支援１	128	32.8	25.8	0.8	17.2	6.3	17.2
	要支援２	67	26.9	22.4	1.5	23.9	16.4	9.0

（11） 外出する際の移動手段

問 14	外出する際の移動手段は何ですか。（○はいくつでも）

外出する際の移動手段について、「徒歩」が 46.7%で最も高く、次いで「自動車（人に乗せてもらう）」「タクシー」が 36.4%、「電車」が 24.1%となっています。また、前回調査と比較して「徒歩」が 5.1 ポイント増加しています。

【図表3－2－15 外出する際の移動手段】



性別にみると、男性・女性ともに「徒歩」が最も高くなっています。
年齢別にみると、「徒歩」では、85 歳以上が 47.2%で最も高くなっています。
また、居住地区別にみると、「徒歩」では、字円明寺が 52.4%で最も高くなっています。

【図表3－2－16 外出する際の移動手段(クロス集計)】

※網掛けは最も割合が高いもの　単位：(MA%)

		合計（人）	徒歩	自転車	バイク	自動車（自分で運転）	自動車（人に乗せてもらう）	電車	路線バス	病院や施設のバス	車いす	電動車いす（カート）	歩行器・シルバーカー
性別	男性	51	51.0	5.9	0.0	21.6	23.5	23.5	21.6	5.9	3.9	0.0	5.9
	女性	144	45.1	5.6	1.4	4.2	41.0	24.3	24.3	6.9	1.4	0.7	20.1
年齢別	65～74歳	14	42.9	7.1	7.1	7.1	42.9	14.3	28.6	0.0	0.0	0.0	21.4
	75～84歳	75	46.7	9.3	1.3	16.0	36.0	29.3	25.3	9.3	0.0	0.0	14.7
	85歳以上	106	47.2	2.8	0.0	3.8	35.8	21.7	21.7	5.7	3.8	0.9	17.0
世帯構成別	１人暮らし	71	42.3	8.5	1.4	5.6	29.6	25.4	32.4	4.2	1.4	0.0	15.5
	夫婦２人暮らし(配偶者65歳以上)	67	56.7	6.0	1.5	11.9	31.3	28.4	25.4	11.9	1.5	0.0	11.9
	夫婦２人暮らし(配偶者64歳以下)	4	50.0	0.0	0.0	0.0	75.0	25.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	息子・娘との２世帯	23	34.8	0.0	0.0	8.7	56.5	17.4	4.3	4.3	8.7	0.0	39.1
	その他	22	40.9	4.5	0.0	13.6	50.0	22.7	13.6	4.5	0.0	0.0	13.6
居住地区別	字大山崎	73	39.7	9.6	1.4	12.3	37.0	21.9	6.8	11.0	1.4	1.4	19.2
	字円明寺	103	52.4	3.9	1.0	6.8	32.0	28.2	36.9	4.9	1.9	0.0	14.6
	字下植野	19	42.1	0.0	0.0	5.3	57.9	10.5	15.8	0.0	5.3	0.0	15.8
認定状況別	要支援１	128	48.4	7.8	1.6	11.7	32.8	26.6	22.7	3.9	0.0	0.8	14.1
	要支援２	67	43.3	1.5	0.0	3.0	43.3	19.4	25.4	11.9	6.0	0.0	20.9

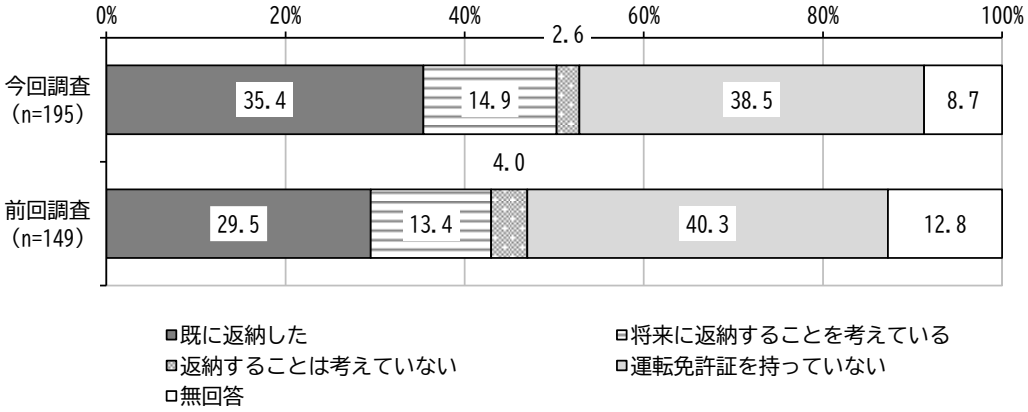
		合計（人）	タクシー	その他	無回答
性別	男性	51	27.5	3.9	2.0
	女性	144	39.6	6.9	1.4
年齢別	65～74歳	14	14.3	7.1	0.0
	75～84歳	75	29.3	8.0	1.3
	85歳以上	106	44.3	4.7	1.9
世帯構成別	１人暮らし	71	42.3	5.6	0.0
	夫婦２人暮らし(配偶者65歳以上)	67	34.3	7.5	0.0
	夫婦２人暮らし(配偶者64歳以下)	4	0.0	0.0	0.0
	息子・娘との２世帯	23	34.8	0.0	0.0
	その他	22	27.3	13.6	9.1
居住地区別	字大山崎	73	35.6	8.2	1.4
	字円明寺	103	35.9	4.9	1.0
	字下植野	19	42.1	5.3	5.3
認定状況別	要支援１	128	35.2	6.3	1.6
	要支援２	67	38.8	6.0	1.5

（12）運転免許の返納意向

問 15	運転免許証を返納する意向はありますか。（○は1つ）

運転免許の返納意向について、「運転免許証を持っていない」が 38.5%で最も高く、次いで「既に返納した」が 35.4%、「将来に返納することを考えている」が 14.9%となっています。また、前回調査と比較して「既に返納した」が 5.9 ポイント増加しています。

【図表3－2－17 運転免許の返納意向】



性別にみると、男性では、「既に返納した」が52.9%で最も高く、女性では、「運転免許証を持っていない」が46.5%で最も高くなっています。

年齢別にみると、65歳～74 歳では「将来に返納することを考えている」の割合が最も高く、75 歳以上では「既に返納した」「運転免許証を持っていない」の割合が高くなっています。

居住地区別にみると、「既に返納した」では、字円明寺が 37.9%で最も高くなっています。

【図表3－2－18 運転免許の返納意向（クロス集計）】

※網掛けは最も割合が高いもの　単位：（%）

		合計（人）	既に返納した	将来に返納することを考えている	返納することは考えていない	運転免許証を持っていない	無回答
性別	男性	51	52.9	21.6	5.9	15.7	3.9
	女性	144	29.2	12.5	1.4	46.5	10.4
年齢別	65～74歳	14	35.7	50.0	7.1	7.1	0.0
	75～84歳	75	34.7	22.7	5.3	34.7	2.7
	85歳以上	106	35.8	4.7	0.0	45.3	14.2
世帯構成別	１人暮らし	71	28.2	9.9	1.4	43.7	16.9
	夫婦２人暮らし（配偶者65歳以上）	67	44.8	19.4	4.5	29.9	1.5
	夫婦２人暮らし（配偶者64歳以下）	4	75.0	25.0	0.0	0.0	0.0
	息子・娘との２世帯	23	26.1	13.0	0.0	52.2	8.7
	その他	22	27.3	22.7	4.5	40.9	4.5
居住地区別	字大山崎	73	34.2	16.4	2.7	37.0	9.6
	字円明寺	103	37.9	10.7	2.9	39.8	8.7
	字下植野	19	26.3	31.6	0.0	36.8	5.3
認定状況別	要支援１	128	29.7	19.5	2.3	37.5	10.9
	要支援２	67	46.3	6.0	3.0	40.3	4.5

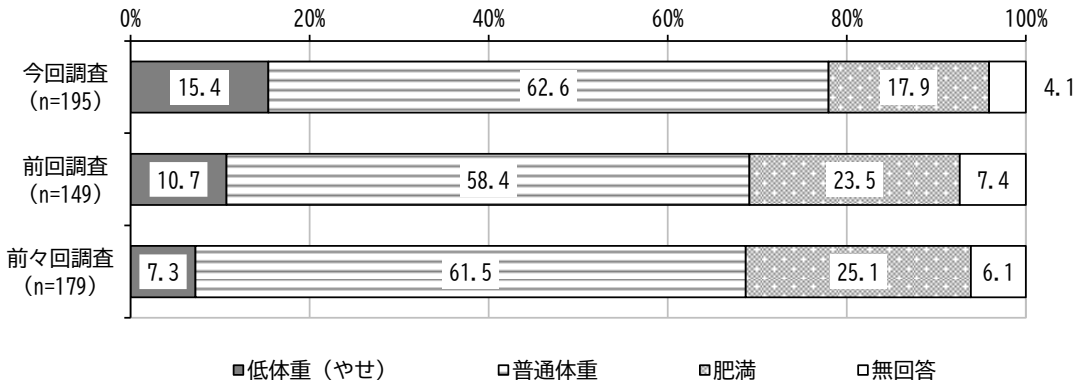
3. 食べることについて

(1) BMI

問 16	身長と体重を教えてください。(数字を記入)

BMI について、「普通体重」が 62.6%で最も高く、次いで「肥満」が 17.9%、「低体重(やせ)」が 15.4%となっています。また、前回調査と比較して「普通体重」が 4.2 ポイント増加しています。

【図表3－3－1 BMI】



※ BMI18.5 未満:低体重(やせ)、BMI18.5～25 未満:普通体重、BMI25 以上:肥満で算出

性別にみると、「低体重(やせ)」について、男性では 7.8%、女性では 18.1%となっており、女性のほうが 10.3 ポイント高くなっています。

年齢別にみると、「低体重(やせ)」では、65～74 歳が 35.7%で最も高くなっています。

【図表3－3－2 BMI(クロス集計)】

※網掛けは最も割合が高いもの 単位：(%)

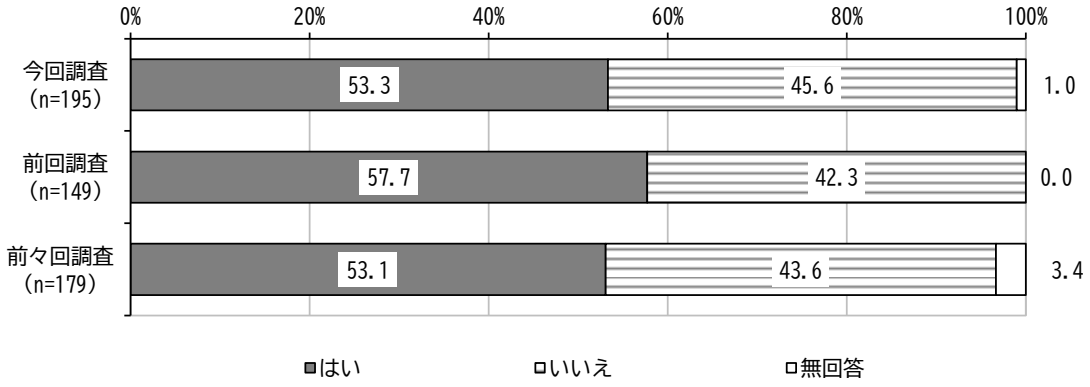
		合計(人)	低体重(やせ)	普通体重	肥満	無回答
性別	男性	51	7.8	68.6	21.6	2.0
	女性	144	18.1	60.4	16.7	4.9
年齢別	65～74歳	14	35.7	50.0	14.3	0.0
	75～84歳	75	21.3	49.3	25.3	4.0
	85歳以上	106	8.5	73.6	13.2	4.7
世帯構成別	１人暮らし	71	12.7	67.6	14.1	5.6
	夫婦２人暮らし(配偶者65歳以上)	67	19.4	53.7	23.9	3.0
	夫婦２人暮らし(配偶者64歳以下)	4	25.0	75.0	0.0	0.0
	息子・娘との２世帯	23	4.3	69.6	17.4	8.7
	その他	22	22.7	63.6	13.6	0.0
居住地区別	字大山崎	73	15.1	56.2	23.3	5.5
	字円明寺	103	16.5	64.1	15.5	3.9
	字下植野	19	10.5	78.9	10.5	0.0
認定状況別	要支援１	128	15.6	64.1	18.0	2.3
	要支援２	67	14.9	59.7	17.9	7.5

（2） 半年前に比べて固いものが食べにくいか

問 17	半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか。（○は1つ）

半年前に比べて固いものが食べにくいかについて、「はい」が 53.3%、「いいえ」が 45.6%となっています。また、前回調査と比較して「はい」が 4.4 ポイント減少しています。

【図表3－3－3 半年前に比べて固いものが食べにくいか】

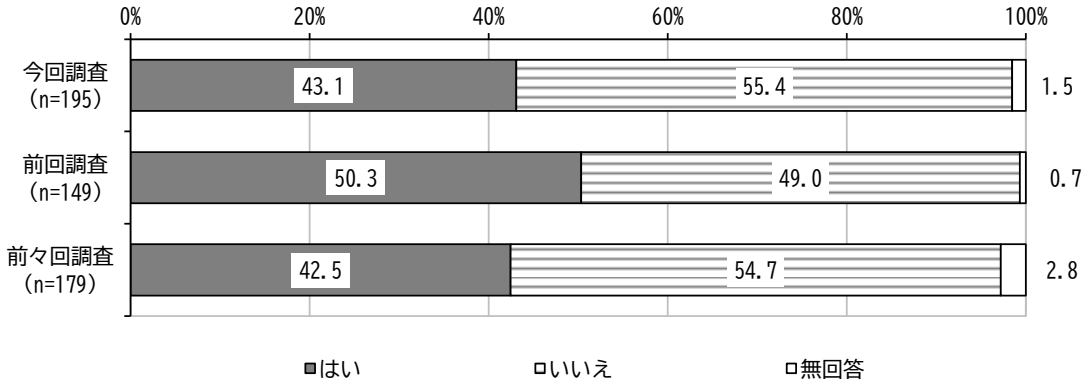


（3） お茶や汁物等でむせることがあるか

問 18	お茶や汁物等でむせることがありますか。（○は1つ）

お茶や汁物等でむせることがあるかについて、「はい」が 43.1%、「いいえ」が 55.4%となっています。また、前回調査と比較して「はい」が 7.2 ポイント減少しています。

【図表3－3－4 お茶や汁物等でむせることがあるか】

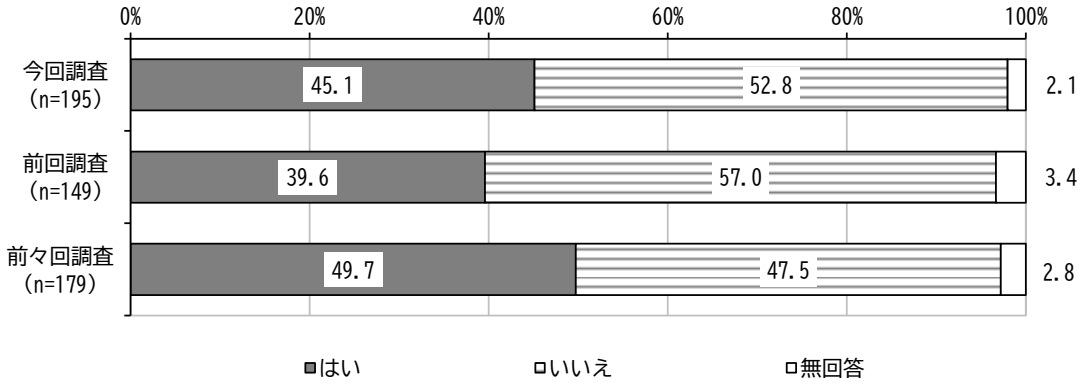


（4） 口の渇きが気になるか

問 19	口の渇きが気になりますか。（○は1つ）

口の渇きが気になるかについて、「はい」が 45.1%、「いいえ」が 52.8%となっています。また、前回調査と比較して「はい」が 5.5 ポイント増加しています。

【図表3－3－5 口の渇きが気になるか】

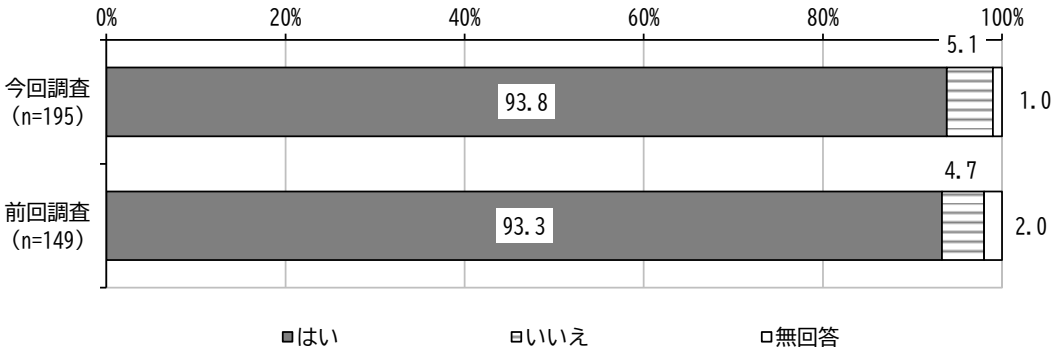


（5） 歯磨きを毎日しているか

問 20	歯磨き（人にやってもらう場合も含む）を毎日していますか。（○は1つ）

歯磨きを毎日しているかについて、「はい」が 93.8%、「いいえ」が 5.1%となっています。また、前回調査と比較して「はい」が 0.5 ポイント増加しています。

【図表3－3－6 歯磨きを毎日しているか】



性別にみると、「はい」について、男性では 88.2%、女性では 95.8%となっており、女性のほうが 7.6 ポイント高くなっています。

年齢別にみると、「はい」では、85 歳以上が 94.3%で最も高くなっています。

【図表3－3－7 歯磨きを毎日しているか（クロス集計）】

※網掛けは最も割合が高いもの　単位：（%）

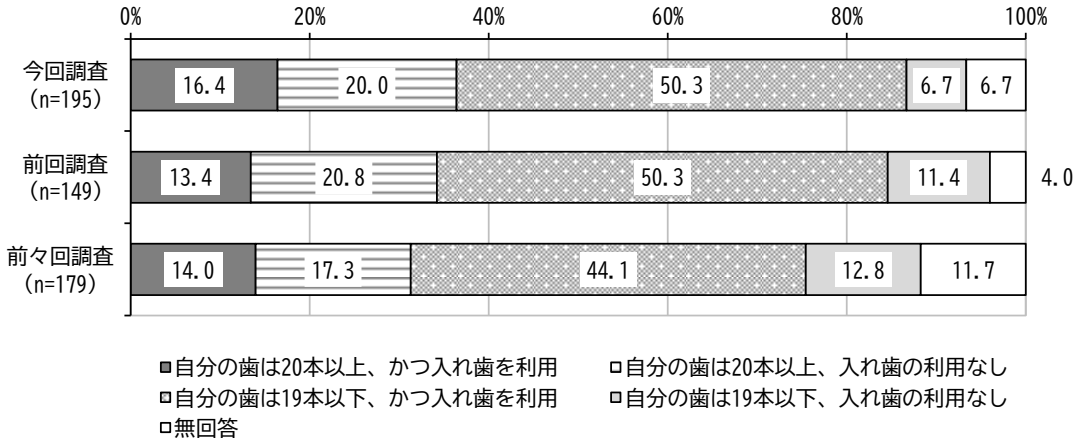
		合計（人）	はい	いいえ	無回答
性別	男性	51	88.2	9.8	2.0
	女性	144	95.8	3.5	0.7
年齢別	65～74歳	14	92.9	7.1	0.0
	75～84歳	75	93.3	6.7	0.0
	85歳以上	106	94.3	3.8	1.9
世帯構成別	１人暮らし	71	90.1	8.5	1.4
	夫婦２人暮らし（配偶者65歳以上）	67	95.5	4.5	0.0
	夫婦２人暮らし（配偶者64歳以下）	4	75.0	25.0	0.0
	息子・娘との２世帯	23	100.0	0.0	0.0
	その他	22	100.0	0.0	0.0
居住地区別	字大山崎	73	90.4	8.2	1.4
	字円明寺	103	95.1	3.9	1.0
	字下植野	19	100.0	0.0	0.0
認定状況別	要支援１	128	95.3	3.9	0.8
	要支援２	67	91.0	7.5	1.5

（6） 歯の数と入れ歯の状況

問 21	歯の数と入れ歯の利用状況をお教えください。 成人の歯の総本数は、親知らずを含めて 32 本です。（○は1つ）

歯の数と入れ歯の状況について、「自分の歯は 19 本以下、かつ入れ歯を利用」が 50.3％で最も高く、次いで「自分の歯は 20 本以上、入れ歯の利用なし」が 20.0％、「自分の歯は 20 本以上、かつ入れ歯を利用」が 16.4％となっています。また、前回調査と比較して「自分の歯は 20 本以上、入れ歯の利用なし」が 0.8 ポイント減少しています。

【図表3－3－8 歯の数と入れ歯の状況】



性別にみると、「自分の歯は 20 本以上、入れ歯の利用なし」について、男性では 13.7％、女性では 22.2％となっており、女性のほうが 8.5 ポイント高くなっています。

年齢別にみると、「自分の歯は 20 本以上、かつ入れ歯を利用」では、65～74 歳が 21.4％で最も高く、「自分の歯は 20 本以上、入れ歯の利用なし」でも、65～74 歳が 28.6％で最も高くなっています。

【図表3－3－9 歯の数と入れ歯の状況（クロス集計）】

※網掛けは最も割合が高いもの　単位：（％）

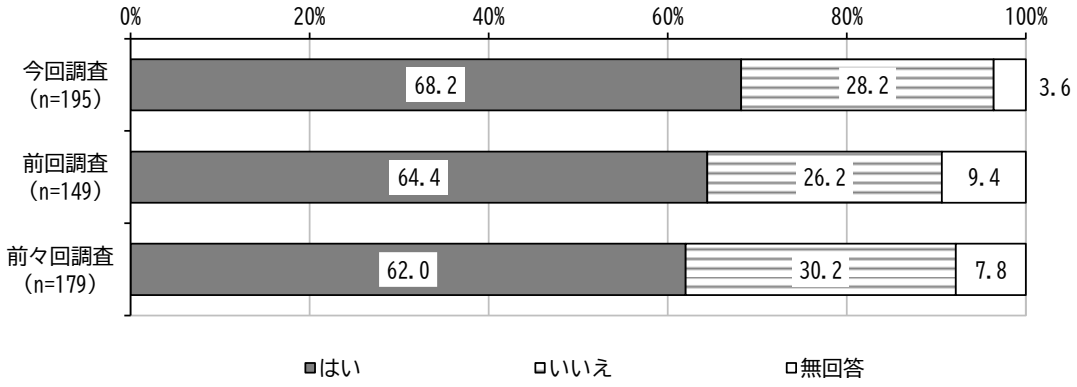
		合計（人）	自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用	自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし	自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用	自分の歯は19本以下、入れ歯の利用なし	無回答
性別	男性	51	23.5	13.7	54.9	2.0	5.9
	女性	144	13.9	22.2	48.6	8.3	6.9
年齢別	65～74歳	14	21.4	28.6	21.4	21.4	7.1
	75～84歳	75	14.7	22.7	49.3	8.0	5.3
	85歳以上	106	17.0	17.0	54.7	3.8	7.5
世帯構成別	１人暮らし	71	22.5	16.9	47.9	5.6	7.0
	夫婦２人暮らし（配偶者65歳以上）	67	16.4	17.9	55.2	7.5	3.0
	夫婦２人暮らし（配偶者64歳以下）	4	0.0	75.0	0.0	0.0	25.0
	息子・娘との２世帯	23	8.7	26.1	56.5	4.3	4.3
	その他	22	9.1	22.7	45.5	13.6	9.1
居住地区別	字大山崎	73	12.3	16.4	56.2	5.5	9.6
	字円明寺	103	18.4	23.3	45.6	7.8	4.9
	字下植野	19	21.1	15.8	52.6	5.3	5.3
認定状況別	要支援１	128	18.8	21.1	47.7	4.7	7.8
	要支援２	67	11.9	17.9	55.2	10.4	4.5

（7） 噛み合わせの状況

問 22	噛み合わせは良いですか。（○は1つ）

噛み合わせの状況について、「はい」が 68.2%、「いいえ」が 28.2%となっています。また、前回調査と比較して「はい」が 3.8 ポイント増加しています。

【図表3－3－10 噛み合わせの状況】

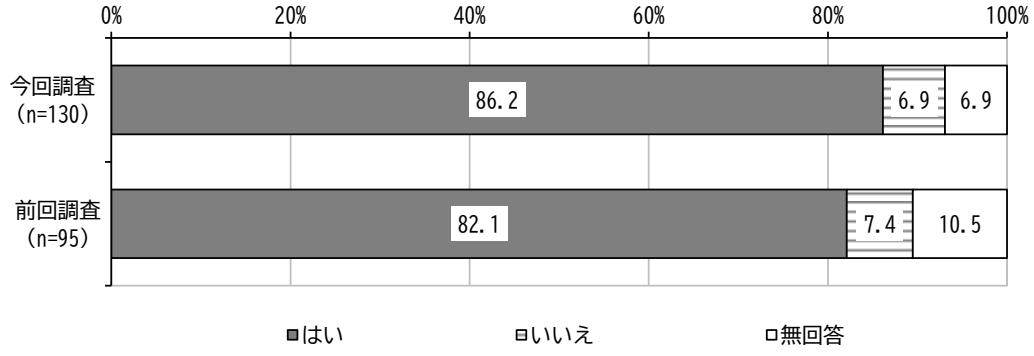


（8） 毎日入れ歯の手入れをしているか

問 23	**【問 21 で「自分の歯は 20 本以上、かつ入れ歯を利用」または「自分の歯は 19 本以下、かつ入れ歯を利用」を回答された方のみ】** 毎日入れ歯の手入れをしていますか。（○は1つ）

毎日入れ歯の手入れをしているかについて、「はい」が 86.2%、「いいえ」が 6.9%となっています。また、前回調査と比較して「はい」が 4.1 ポイント増加しています。

【図表3－3－11 毎日入れ歯の手入れをしているか】

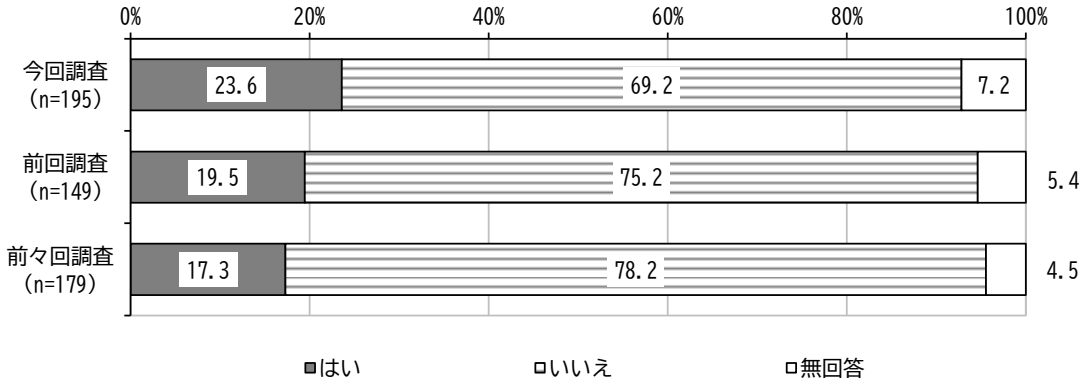


（9） 6か月間で2～3kg 以上の体重減少があったか

問 24	6か月間で2～3kg 以上の体重減少がありましたか。（○は1つ）

6か月間で2～3kg 以上の体重減少があったかについて、「はい」が 23.6%、「いいえ」が 69.2%となっています。また、前回調査と比較して「はい」が 4.1 ポイント増加しています。

【図表3－3－12 6か月間で2～3kg 以上の体重減少があったか】



性別にみると、「はい」について、男性では 31.4%、女性では 20.8%となっており、男性のほうが 10.6 ポイント高くなっています。

年齢別にみると、「はい」では、85 歳以上が 26.4%で最も高くなっています。

【図表3－3－13 6か月間で2～3kg 以上の体重減少があったか（クロス集計）】

※網掛けは最も割合が高いもの 単位：（%）

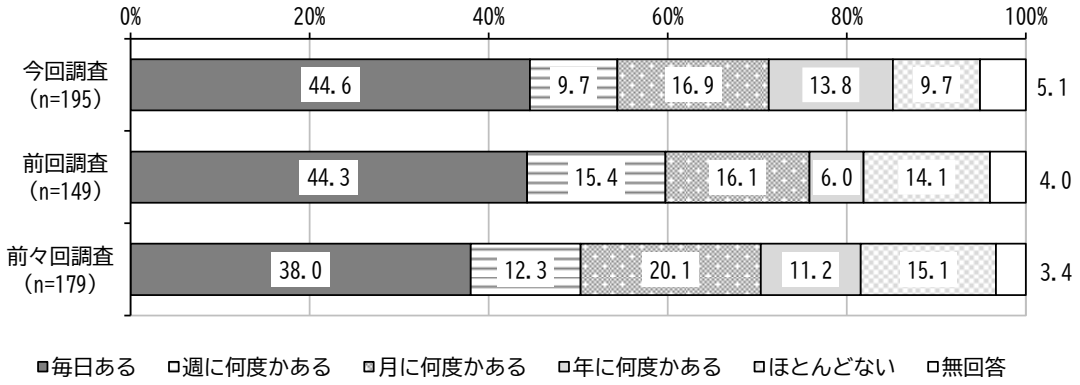
		合計（人）	はい	いいえ	無回答
性別	男性	51	31.4	64.7	3.9
	女性	144	20.8	70.8	8.3
年齢別	65～74歳	14	0.0	85.7	14.3
	75～84歳	75	24.0	70.7	5.3
	85歳以上	106	26.4	66.0	7.5
世帯構成別	１人暮らし	71	23.9	67.6	8.5
	夫婦２人暮らし（配偶者65歳以上）	67	13.4	82.1	4.5
	夫婦２人暮らし（配偶者64歳以下）	4	50.0	50.0	0.0
	息子・娘との２世帯	23	34.8	56.5	8.7
	その他	22	31.8	59.1	9.1
居住地区別	字大山崎	73	27.4	65.8	6.8
	字円明寺	103	22.3	68.9	8.7
	字下植野	19	15.8	84.2	0.0
認定状況別	要支援１	128	21.1	70.3	8.6
	要支援２	67	28.4	67.2	4.5

（10）共食の状況

問 25	どなたかと食事をともにする機会はありますか。（○は1つ）

共食の状況について、「毎日ある」が 44.6％で最も高く、次いで「月に何度かある」が 16.9％、「年に何度かある」が 13.8％となっています。また、前回調査と比較して「ほとんどない」が 4.4 ポイント減少しています。

【図表3－3－14　共食の状況】



性別にみると、男性・女性ともに「毎日ある」が最も高くなっています。

年齢別にみると、「ほとんどない」では、85 歳以上が 10.4％で最も高くなっています。

居住地区別にみると、「ほとんどない」では、字大山崎が 12.3％で最も高くなっています。

【図表3－3－15　共食の状況（クロス集計）】

※網掛けは最も割合が高いもの　単位：（％）

		合計（人）	毎日ある	週に何度かある	月に何度かある	年に何度かある	ほとんどない	無回答
性別	男性	51	56.9	2.0	11.8	9.8	15.7	3.9
	女性	144	40.3	12.5	18.8	15.3	7.6	5.6
年齢別	65～74歳	14	42.9	7.1	21.4	7.1	7.1	14.3
	75～84歳	75	50.7	10.7	13.3	12.0	9.3	4.0
	85歳以上	106	40.6	9.4	18.9	16.0	10.4	4.7
世帯構成別	１人暮らし	71	2.8	19.7	32.4	25.4	14.1	5.6
	夫婦２人暮らし（配偶者65歳以上）	67	74.6	1.5	6.0	7.5	6.0	4.5
	夫婦２人暮らし（配偶者64歳以下）	4	75.0	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0
	息子・娘との２世帯	23	73.9	4.3	8.7	0.0	4.3	8.7
	その他	22	54.5	13.6	13.6	4.5	13.6	0.0
居住地区別	字大山崎	73	50.7	9.6	13.7	9.6	12.3	4.1
	字円明寺	103	36.9	9.7	19.4	18.4	8.7	6.8
	字下植野	19	63.2	10.5	15.8	5.3	5.3	0.0
認定状況別	要支援１	128	42.2	8.6	18.8	12.5	11.7	6.3
	要支援２	67	49.3	11.9	13.4	16.4	6.0	3.0

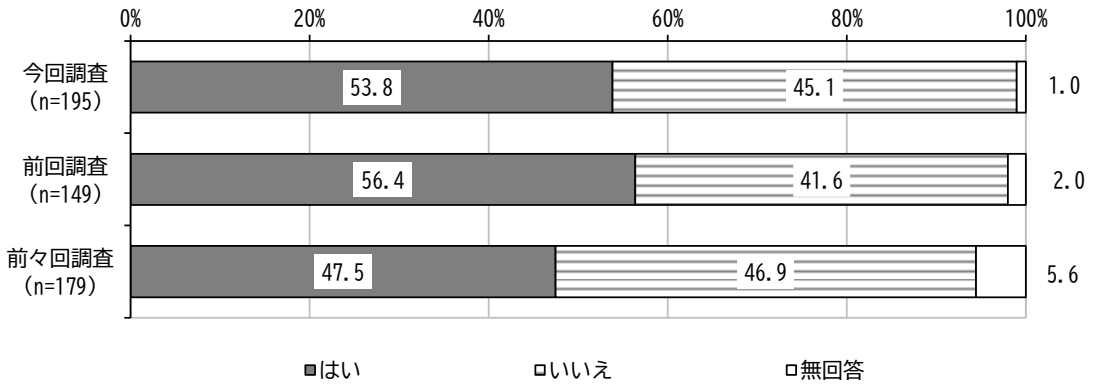
4. 毎日の生活について

(1) 物忘れが多いと感じるか

問 26	物忘れが多いと感じますか。(○は1つ)

物忘れが多いと感じるかについて、「はい」が 53.8%、「いいえ」が 45.1%となっています。また、前回調査と比較して「はい」が 2.6 ポイント減少しています。

【図表3－4－1 物忘れが多いと感じるか】

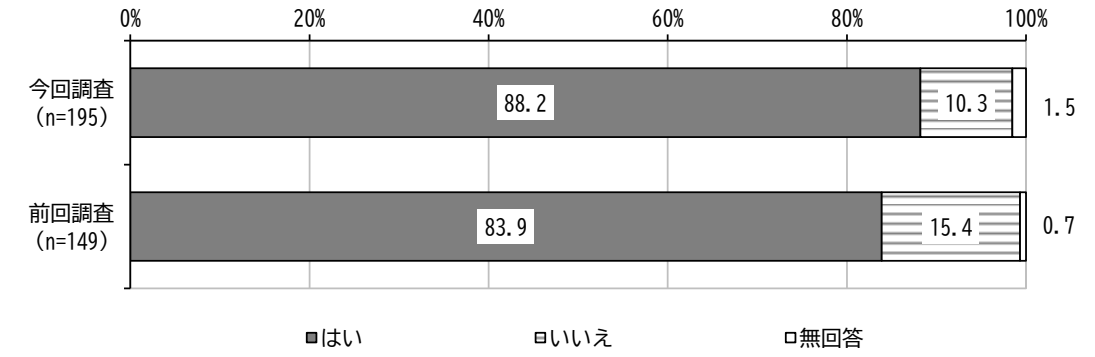


(2) 自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしているか

問 27	自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか。(○は1つ)

自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしているかについて、「はい」が 88.2%、「いいえ」が 10.3%となっています。また、前回調査と比較して「はい」が 4.3 ポイント増加しています。

【図表3－4－2 自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしているか】

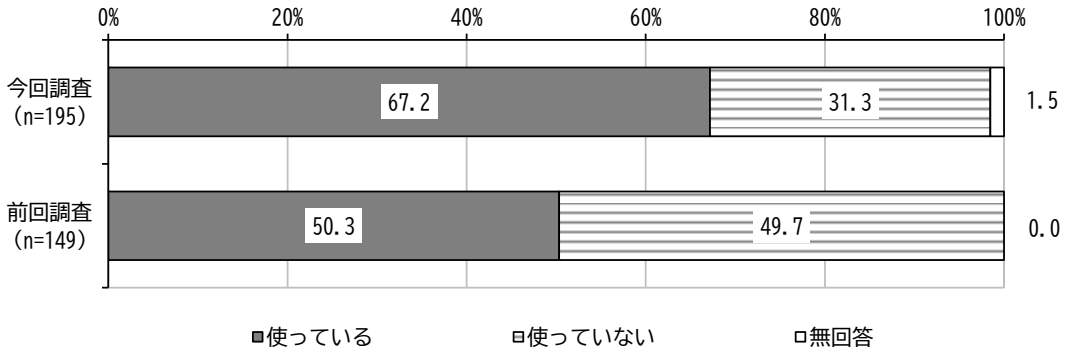


（3）スマートフォンを使っているか

問 28	スマートフォンを使っていますか。（○は1つ）

スマートフォンを使っているかについて、「使っている」が 67.2%、「使っていない」が 31.3%となっています。また、前回調査と比較して「使っている」が 16.9 ポイント増加しています。

【図表3－4－3 スマートフォンを使っているか】



性別にみると、「使っている」について、男性では58.8%、女性では70.1%となっており、女性のほうが11.3ポイント高くなっています。

年齢別にみると、「使っている」では、65～74 歳が 92.9%で最も高くなっています。

【図表3－4－4 スマートフォンを使っているか（クロス集計）】

※網掛けは最も割合が高いもの　単位：（%）

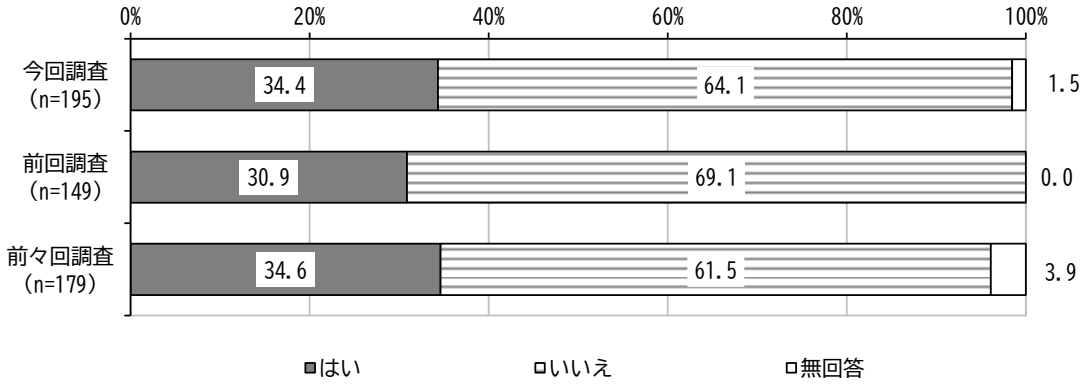
		合計（人）	使っている	使っていない	無回答
性別	男性	51	58.8	41.2	0.0
	女性	144	70.1	27.8	2.1
年齢別	65～74歳	14	92.9	7.1	0.0
	75～84歳	75	76.0	22.7	1.3
	85歳以上	106	57.5	40.6	1.9
世帯構成別	１人暮らし	71	70.4	28.2	1.4
	夫婦２人暮らし（配偶者65歳以上）	67	70.1	29.9	0.0
	夫婦２人暮らし（配偶者64歳以下）	4	50.0	50.0	0.0
	息子・娘との２世帯	23	56.5	43.5	0.0
	その他	22	77.3	22.7	0.0
居住地区別	字大山崎	73	68.5	28.8	2.7
	字円明寺	103	65.0	34.0	1.0
	字下植野	19	73.7	26.3	0.0
認定状況別	要支援１	128	65.6	32.0	2.3
	要支援２	67	70.1	29.9	0.0

（4） 今日が何月何日かわからない時があるか

問 29	今日が何月何日かわからない時がありますか。(○は1つ)

今日が何月何日かわからない時があるかについて、「はい」が34.4%、「いいえ」が64.1%となっています。また、前回調査と比較して「はい」が 3.5 ポイント増加しています。

【図表3－4－5 今日が何月何日かわからない時があるか】

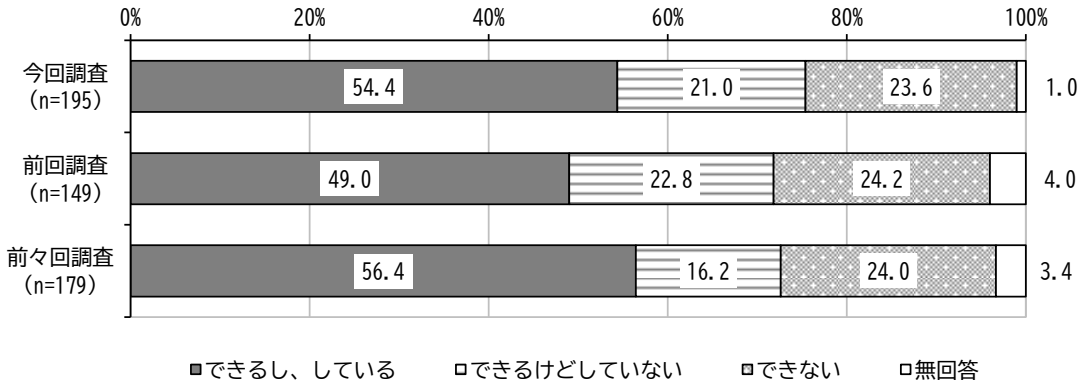


（5） バスや電車を使って1人で外出しているか

問 30	バスや電車を使って1人で外出していますか。(自家用車でも可)(○は1つ)

バスや電車を使って1人で外出しているかについて、「できるし、している」が 54.4%で最も高く、次いで「できない」が 23.6%、「できるけどしていない」が 21.0%となっています。また、前回調査と比較して「できるし、している」が 5.4 ポイント増加しています。

【図表3－4－6 バスや電車を使って1人で外出しているか】

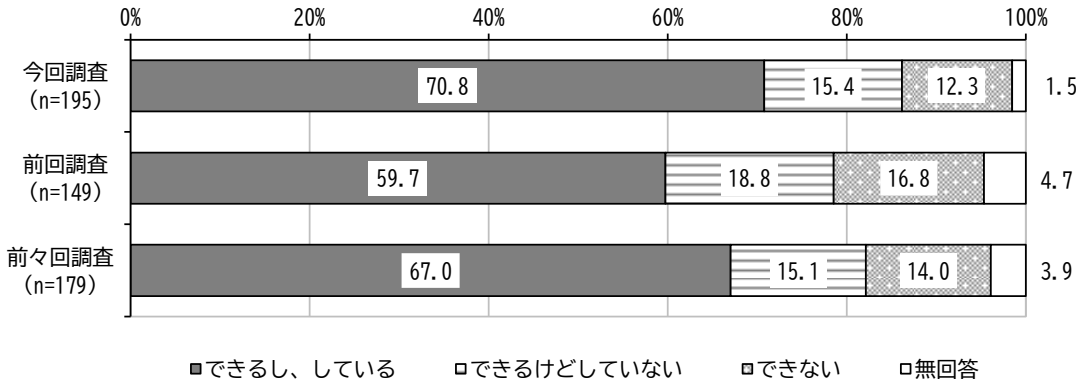


（6） 自分で食品･日用品の買物をしているか

問 31	自分で食品･日用品の買物をしていますか。（○は1つ）

自分で食品･日用品の買物をしているかについて、「できるし、している」が 70.8%で最も高く、次いで「できるけどしていない」が 15.4%、「できない」が 12.3%となっています。また、前回調査と比較して「できるし、している」が 11.1 ポイント増加しています。

【図表3－4－7 自分で食品･日用品の買物をしているか】

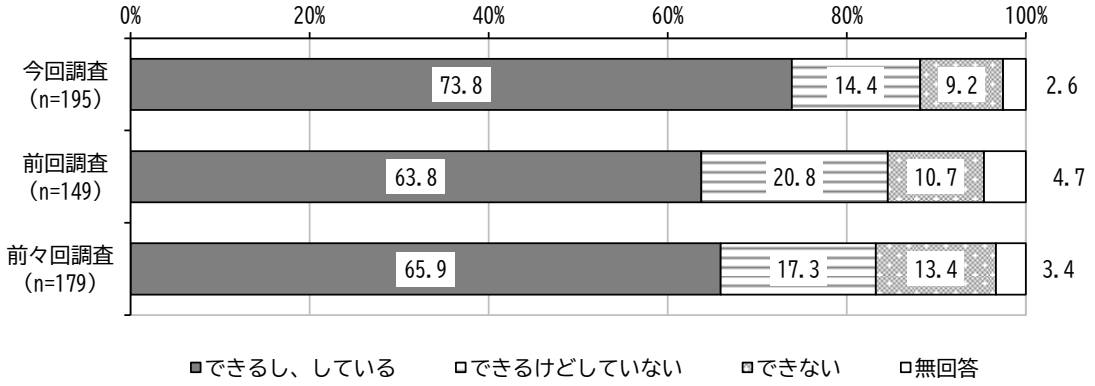


（7） 自分で食事の用意をしているか

問 32	自分で食事の用意をしていますか。（○は1つ）

自分で食事の用意をしているかについて、「できるし、している」が 73.8%で最も高く、次いで「できるけどしていない」が 14.4%、「できない」が 9.2%となっています。また、前回調査と比較して「できるし、している」が 10.0 ポイント増加しています。

【図表3－4－8 自分で食事の用意をしているか】

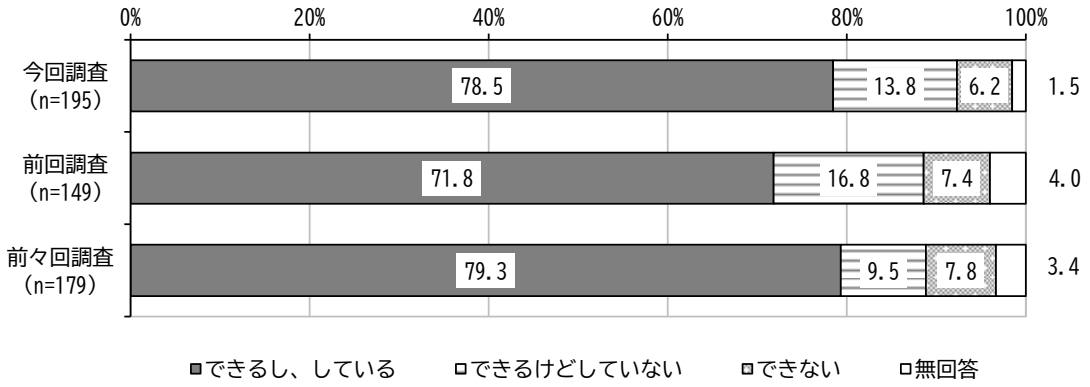


（8） 自分で請求書の支払いをしているか

問 33	自分で請求書の支払いをしていますか。（○は1つ）

自分で請求書の支払いをしているかについて、「できるし、している」が 78.5%で最も高く、次いで「できるけどしていない」が 13.8%、「できない」が 6.2%となっています。また、前回調査と比較して「できるし、している」が 6.7 ポイント増加しています。

【図表3－4－9 自分で請求書の支払いをしているか】

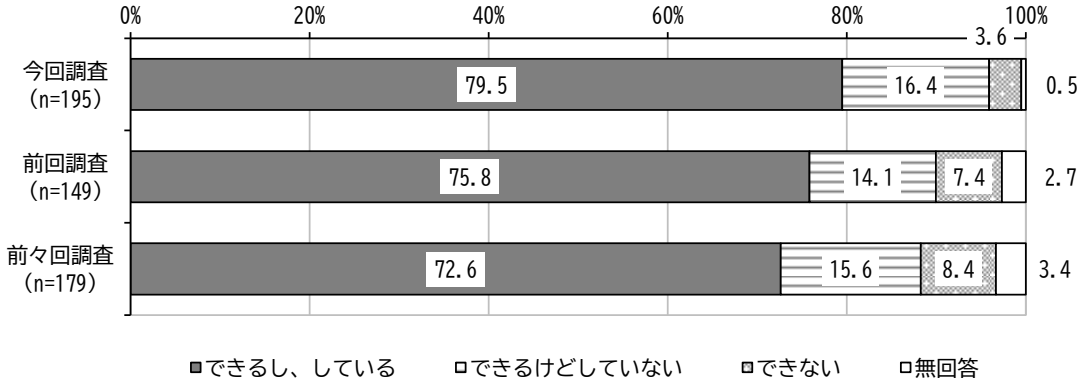


（9） 自分で預貯金の出し入れをしているか

問 34	自分で預貯金の出し入れをしていますか。（○は1つ）

自分で預貯金の出し入れをしているかについて、「できるし、している」が 79.5%で最も高く、次いで「できるけどしていない」が 16.4%、「できない」が 3.6%となっています。また、前回調査と比較して「できるし、している」が 3.7 ポイント増加しています。

【図表3－4－10 自分で預貯金の出し入れをしているか】

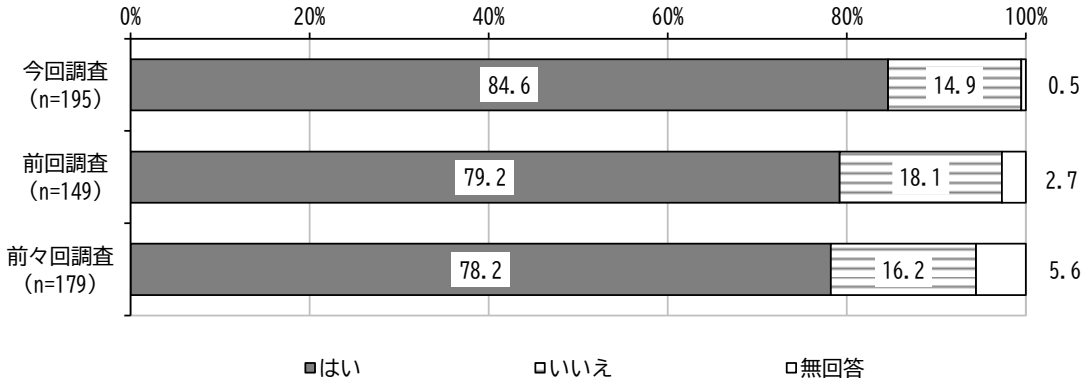


（10） 年金などの書類が書けるか

問 35	年金などの書類(役所や病院などに出す書類)が書けますか。(○は1つ)

年金などの書類が書けるかについて、「はい」が 84.6%、「いいえ」が 14.9%となっています。また、前回調査と比較して「はい」が 5.4 ポイント増加しています。

【図表3－4－11 年金などの書類が書けるか】

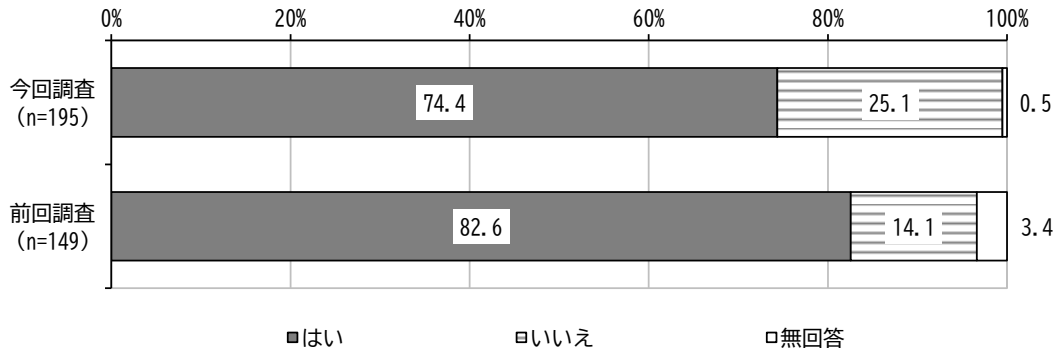


（11） 新聞を読んでいるか

問 36	新聞を読んでいますか。(○は1つ)

新聞を読んでいるかについて、「はい」が 74.4%、「いいえ」が 25.1%となっています。また、前回調査と比較して「はい」が 8.2 ポイント減少しています。

【図表3－4－12 新聞を読んでいるか】

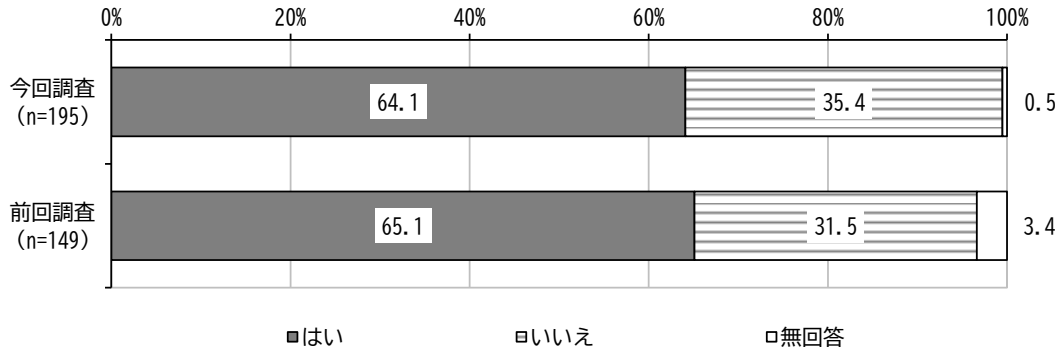


（12） 本や雑誌を読んでいるか

問 37	本や雑誌を読んでいますか。（○は1つ）

本や雑誌を読んでいるかについて、「はい」が 64.1%、「いいえ」が 35.4%となっています。また、前回調査と比較して「はい」が 1.0 ポイント減少しています。

【図表3－4－13 本や雑誌を読んでいるか】

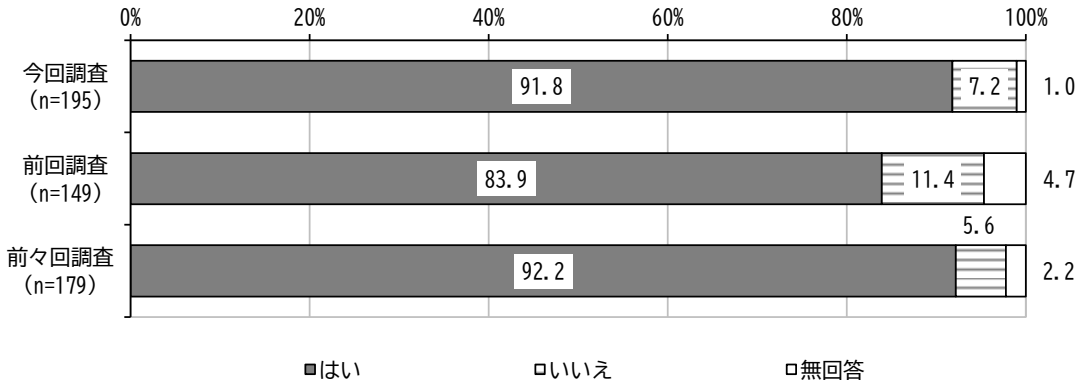


（13） 健康についての記事や番組に関心があるか

問 38	健康についての記事や番組に関心がありますか。（○は1つ）

健康についての記事や番組に関心があるかについて、「はい」が 91.8%、「いいえ」が 7.2%となっています。また、前回調査と比較して「はい」が 7.9 ポイント増加しています。

【図表3－4－14 健康についての記事や番組に関心があるか】

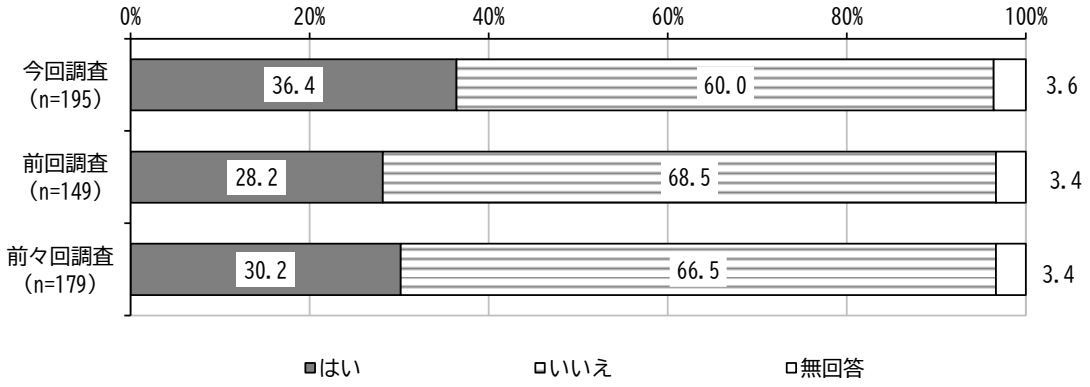


（14）友人の家を訪ねているか

問 39	友人の家を訪ねていますか。（○は1つ）

友人の家を訪ねているかについて、「はい」が 36.4%、「いいえ」が 60.0%となっています。また、前回調査と比較して「はい」が 8.2 ポイント増加しています。

【図表3－4－15 友人の家を訪ねているか】



性別にみると、「はい」について、男性では 17.6%、女性では 43.1%となっており、女性のほうが 25.5 ポイント高くなっています。

年齢別にみると、「はい」では、65～74 歳が 50.0%で最も高くなっています。

【図表3－4－16 友人の家を訪ねているか(クロス集計)】

※網掛けは最も割合が高いもの　単位：(%)

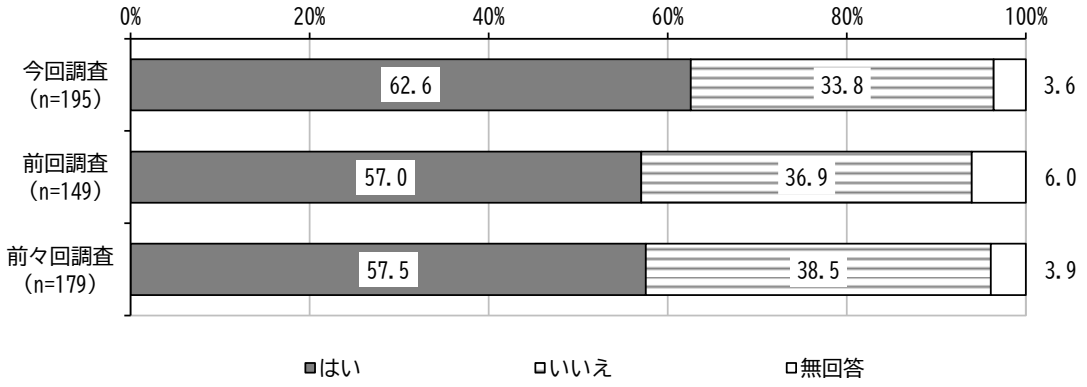
		合計（人）	はい	いいえ	無回答
性別	男性	51	17.6	82.4	0.0
	女性	144	43.1	52.1	4.9
年齢別	65～74歳	14	50.0	50.0	0.0
	75～84歳	75	33.3	64.0	2.7
	85歳以上	106	36.8	58.5	4.7
世帯構成別	１人暮らし	71	50.7	45.1	4.2
	夫婦２人暮らし(配偶者65歳以上)	67	29.9	68.7	1.5
	夫婦２人暮らし(配偶者64歳以下)	4	0.0	100.0	0.0
	息子・娘との２世帯	23	26.1	69.6	4.3
	その他	22	27.3	68.2	4.5
居住地区別	字大山崎	73	28.8	64.4	6.8
	字円明寺	103	41.7	56.3	1.9
	字下植野	19	36.8	63.2	0.0
認定状況別	要支援１	128	39.8	56.3	3.9
	要支援２	67	29.9	67.2	3.0

（15） 家族や友人の相談にのっているか

問 40	家族や友人の相談にのっていますか。（○は1つ）

家族や友人の相談にのっているかについて、「はい」が 62.6%、「いいえ」が 33.8%となっています。また、前回調査と比較して「はい」が 5.6 ポイント増加しています。

【図表3－4－17 家族や友人の相談にのっているか】

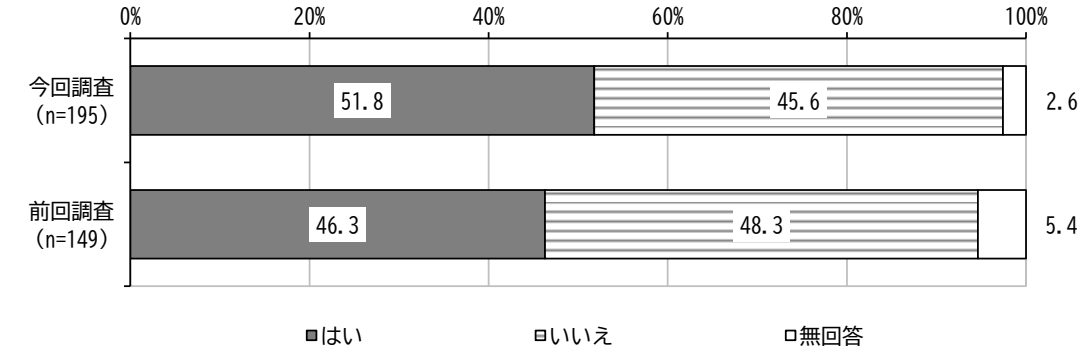


（16） 病人を見舞うことができるか

問 41	病人を見舞うことができますか。（○は1つ）

病人を見舞うことができるかについて、「はい」が 51.8%、「いいえ」が 45.6%となっています。また、前回調査と比較して「はい」が 5.5 ポイント増加しています。

【図表3－4－18 病人を見舞うことができるか】

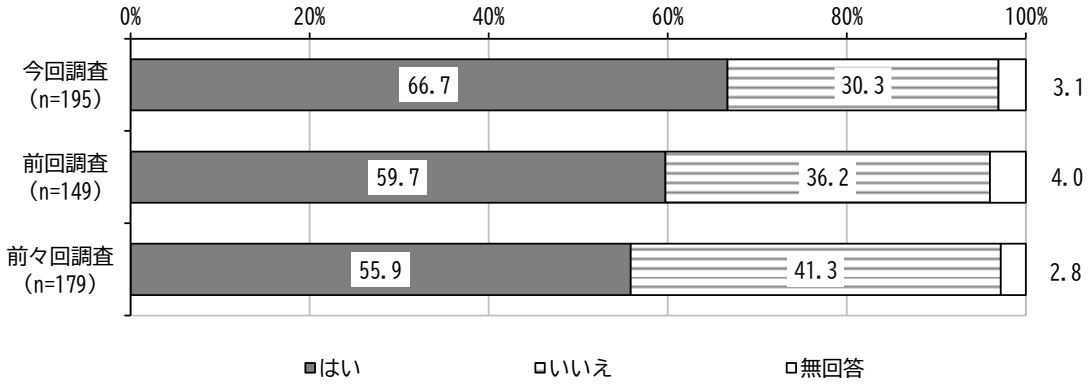


（17）若い人に自分から話しかけることがあるか

問 42	若い人に自分から話しかけることがありますか。（○は1つ）

若い人に自分から話しかけることがあるかについて、「はい」が 66.7%、「いいえ」が 30.3%となっています。また、前回調査と比較して「はい」が 7.0 ポイント増加しています。

【図表3－4－19 若い人に自分から話しかけることがあるか】

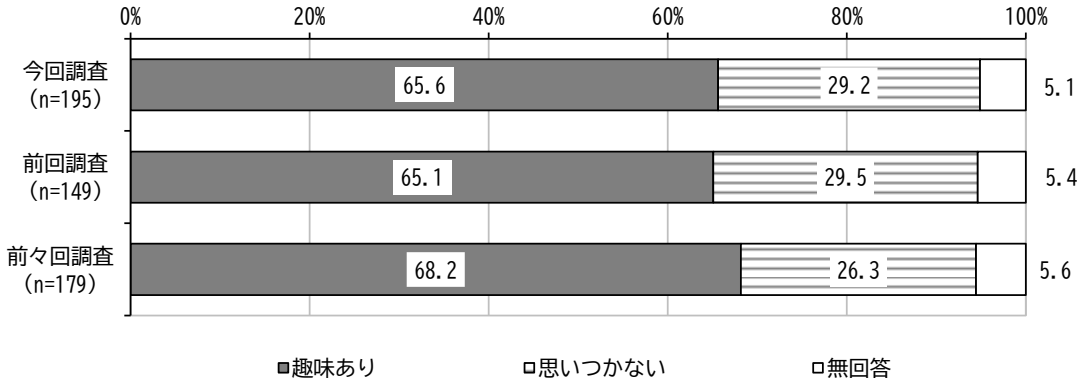


（18）趣味はあるか

問 43	趣味はありますか。（○は1つ）

趣味はあるかについて、「趣味あり」が 65.6%、「思いつかない」が 29.2%となっています。また、前回調査と比較して「趣味あり」が 0.5 ポイント増加しています。

【図表3－4－20 趣味はあるか】



性別にみると、「趣味あり」について、男性では 66.7%、女性では 65.3%となっており、男性のほうが 1.4 ポイント高くなっています。

年齢別にみると、「趣味あり」では、85 歳以上が 71.7%で最も高くなっています。

居住地区別にみると、「趣味あり」では、字円明寺が 69.9%で最も高くなっています。

【図表3－4－21 趣味はあるか（クロス集計）】

※網掛けは最も割合が高いもの　単位：（%）

		合計（人）	趣味あり	思いつかない	無回答
性別	男性	51	66.7	31.4	2.0
	女性	144	65.3	28.5	6.3
年齢別	65～74歳	14	50.0	50.0	0.0
	75～84歳	75	60.0	33.3	6.7
	85歳以上	106	71.7	23.6	4.7
世帯構成別	１人暮らし	71	67.6	25.4	7.0
	夫婦２人暮らし（配偶者65歳以上）	67	70.1	25.4	4.5
	夫婦２人暮らし（配偶者64歳以下）	4	25.0	75.0	0.0
	息子・娘との２世帯	23	69.6	30.4	0.0
	その他	22	50.0	45.5	4.5
居住地区別	字大山崎	73	61.6	34.2	4.1
	字円明寺	103	69.9	23.3	6.8
	字下植野	19	57.9	42.1	0.0
認定状況別	要支援１	128	64.1	30.5	5.5
	要支援２	67	68.7	26.9	4.5

趣味の内容について、『読書・新聞などの文学系』が 22 件で最も多く、次いで『カラオケ・楽器などの音楽系』が 19 件、『手芸・裁縫・編み物などの創作系』が 18 件となっています。

【図表3－4－22 趣味の内容】

分類	内容
読書・新聞などの文学系（22件）	読書
	新聞
	推理小説　　など
カラオケ・楽器などの音楽系（19件）	カラオケ
	コーラス
	音楽鑑賞
	ピアノ
	三味線　　など
手芸・裁縫・編み物などの創作系（18件）	手芸
	裁縫
	パッチワーク
	編み物
	レース編み　　など
絵画・写真・美術鑑賞などのアート系（16件）	絵画
	水彩画
	スケッチ
	写真
	美術鑑賞
	ぬり絵　　など
園芸（13件）	植木の剪定
	花・庭の手入れ
	花壇づくり
	野菜作り
	プランター栽培　　など

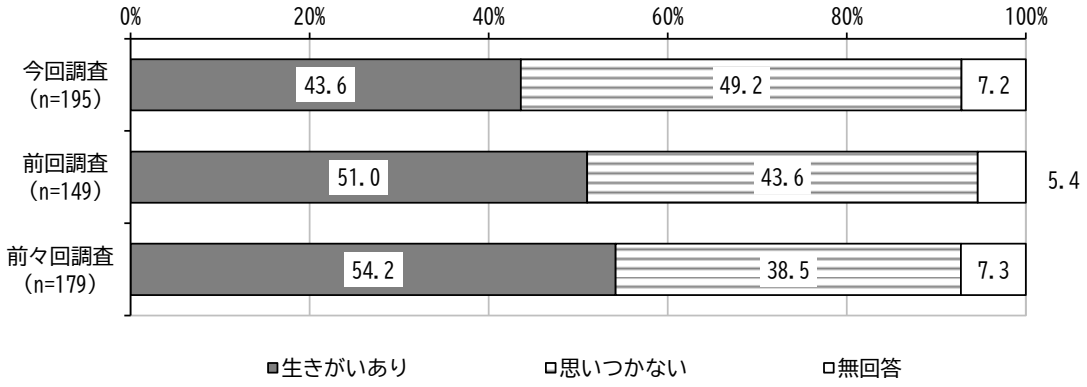
分類	内容
映画・ドラマ鑑賞（10件）	映画鑑賞
	韓流ドラマ
	YouTube　　など
旅行・外出（10件）	旅行
	カフェめぐり
	ハイキング　　など
ゲーム（９件）	麻雀
	パズル
	クロスワード
	囲碁
	将棋　　など
スポーツ・運動（７件）	卓球
	グラウンドゴルフ
	スポーツ観戦　　など
語学・学び系（３件）	英会話　　など
サークル（３件）	サークル活動　　など
その他（３件）	仕事　　など

（19）生きがいはあるか

問 44	生きがいはありますか。（○は1つ）

生きがいはあるかについて、「生きがいあり」が 43.6%、「思いつかない」が 49.2%となっています。また、前回調査と比較して「生きがいあり」が 7.4 ポイント減少しています。

【図表3－4－23 生きがいはあるか】



性別にみると、「生きがいあり」について、男性では 33.3%、女性では 47.2%となっており、女性のほうが 13.9 ポイント高くなっています。

年齢別にみると、「生きがいあり」では、85 歳以上が 50.0%で最も高くなっています。

【図表3－4－24 生きがいはあるか(クロス集計)】

※網掛けは最も割合が高いもの　単位：(%)

		合計（人）	生きがいあり	思いつかない	無回答
性別	男性	51	33.3	60.8	5.9
	女性	144	47.2	45.1	7.6
年齢別	65～74歳	14	35.7	64.3	0.0
	75～84歳	75	36.0	57.3	6.7
	85歳以上	106	50.0	41.5	8.5
世帯構成別	１人暮らし	71	45.1	45.1	9.9
	夫婦２人暮らし(配偶者65歳以上)	67	49.3	47.8	3.0
	夫婦２人暮らし(配偶者64歳以下)	4	25.0	75.0	0.0
	息子・娘との２世帯	23	30.4	60.9	8.7
	その他	22	40.9	54.5	4.5
居住地区別	字大山崎	73	43.8	49.3	6.8
	字円明寺	103	43.7	49.5	6.8
	字下植野	19	42.1	47.4	10.5
認定状況別	要支援１	128	45.3	46.9	7.8
	要支援２	67	40.3	53.7	6.0

生きがいの内容について、『孫・子ども・家族との時間』が 33 件で最も多く、次いで『趣味』が 26 件、『健康』が 14 件となっています。

【図表3－4－25 生きがいの内容】

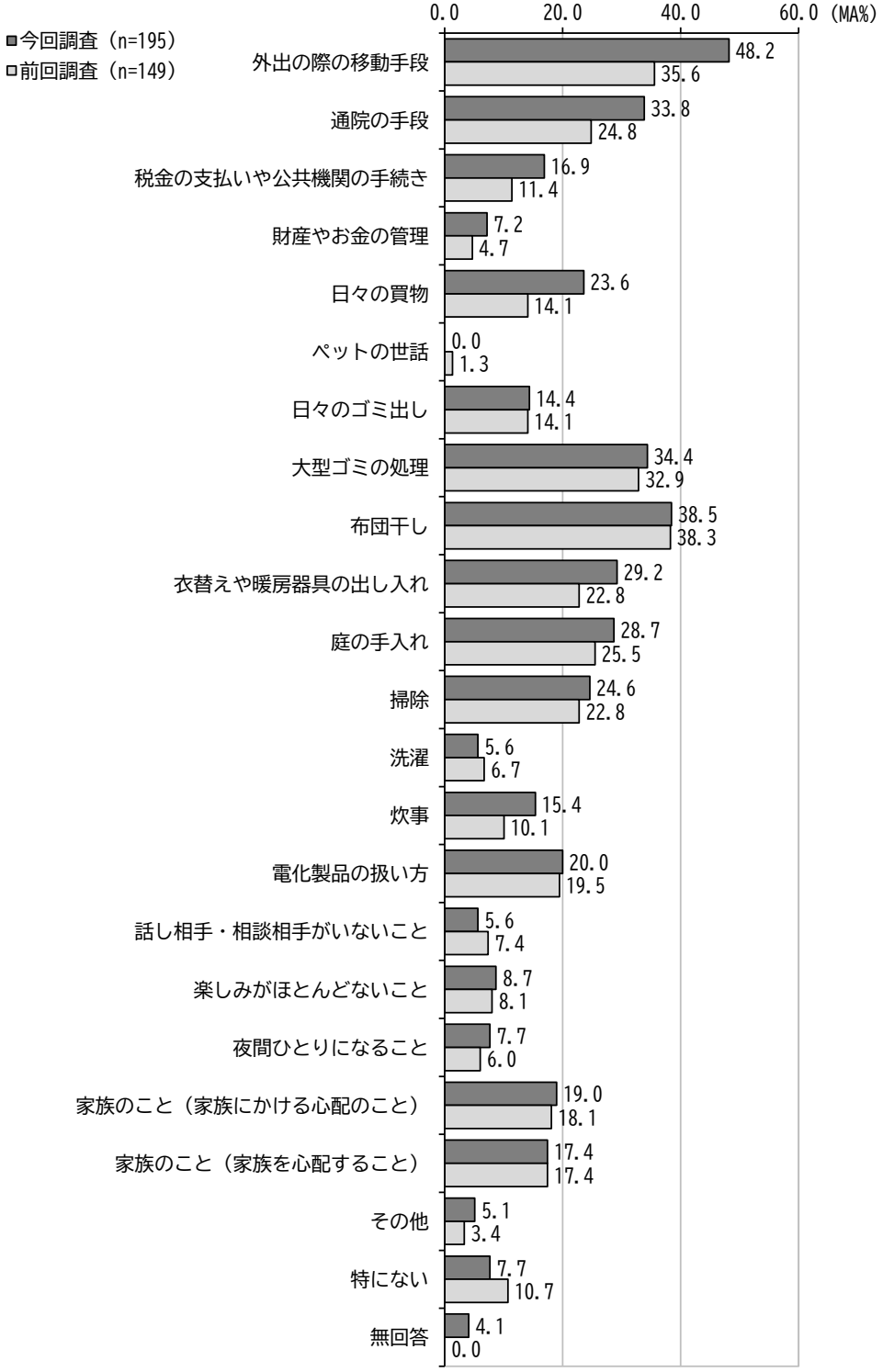
分類	内容
孫・子ども・家族との時間（33件）	孫の成長
	子ども・孫の健康
	家族と過ごすこと
	主人の世話　　など
趣味（26件）	手芸・縫物
	音楽を聴く
	読書・新聞　　など
健康（14件）	健康でいること
	長生き　　など
友人との交流（12件）	友人と会う
	デイケアでの交流
	人と話す　　など
日常生活（10件）	毎日が楽しい
	食事がおいしい　　など
仕事（８件）	仕事
	役割をもつこと　　など
その他（４件）	信仰による支え　　など

（20）暮らしの中で困っていること

問 45	あなたが暮らしの中で困っていることは何ですか。（○はいくつでも）

暮らしの中で困っていることについて、「外出の際の移動手段」が 48.2%で最も高く、次いで「布団干し」が 38.5%、「大型ゴミの処理」が 34.4%となっています。また、前回調査と比較して「外出の際の移動手段」が 12.6 ポイント増加しています。

【図表3－4－26 暮らしの中で困っていること】



性別にみると、男性・女性ともに「外出の際の移動手段」が最も高くなっています。
年齢別にみると、「外出の際の移動手段」では、65～74 歳が 57.1%で最も高くなっています。
また、居住地区別にみると、字下植野では「通院の手段」が 57.9%で最も高くなっています。

【図表3－4－27 暮らしの中で困っていること(クロス集計)】

※網掛けは最も割合が高いもの　単位：(MA%)

		合計（人）	外出の際の移動手段	通院の手段	税金の支払いや公共機関の手続き	財産やお金の管理	日々の買物	ペットの世話	日々のゴミ出し	大型ゴミの処理	布団干し	衣替えや暖房器具の出し入れ	庭の手入れ	掃除
性別	男性	51	51.0	31.4	13.7	11.8	27.5	0.0	15.7	27.5	19.6	21.6	21.6	27.5
	女性	144	47.2	34.7	18.1	5.6	22.2	0.0	13.9	36.8	45.1	31.9	31.3	23.6
年齢別	65～74歳	14	57.1	21.4	0.0	0.0	14.3	0.0	14.3	28.6	35.7	35.7	21.4	14.3
	75～84歳	75	44.0	37.3	18.7	6.7	20.0	0.0	9.3	38.7	38.7	22.7	17.3	21.3
	85歳以上	106	50.0	33.0	17.9	8.5	27.4	0.0	17.9	32.1	38.7	33.0	37.7	28.3
世帯構成別	１人暮らし	71	45.1	36.6	14.1	7.0	21.1	0.0	16.9	43.7	54.9	38.0	40.8	31.0
	夫婦２人暮らし(配偶者65歳以上)	67	55.2	35.8	20.9	9.0	31.3	0.0	13.4	31.3	29.9	28.4	25.4	28.4
	夫婦２人暮らし(配偶者64歳以下)	4	50.0	25.0	25.0	0.0	25.0	0.0	0.0	25.0	0.0	25.0	0.0	0.0
	息子・娘との２世帯	23	43.5	30.4	17.4	4.3	17.4	0.0	17.4	21.7	26.1	8.7	21.7	17.4
	その他	22	50.0	36.4	18.2	9.1	18.2	0.0	13.6	31.8	31.8	27.3	13.6	13.6
居住地区別	字大山崎	73	45.2	31.5	16.4	5.5	19.2	0.0	16.4	31.5	37.0	23.3	24.7	26.0
	字円明寺	103	49.5	31.1	17.5	7.8	23.3	0.0	12.6	38.8	40.8	34.0	30.1	24.3
	字下植野	19	52.6	57.9	15.8	10.5	42.1	0.0	15.8	21.1	31.6	26.3	36.8	21.1
認定状況別	要支援１	128	41.4	28.9	16.4	9.4	21.9	0.0	13.3	32.8	36.7	25.0	27.3	25.8
	要支援２	67	61.2	43.3	17.9	3.0	26.9	0.0	16.4	37.3	41.8	37.3	31.3	22.4

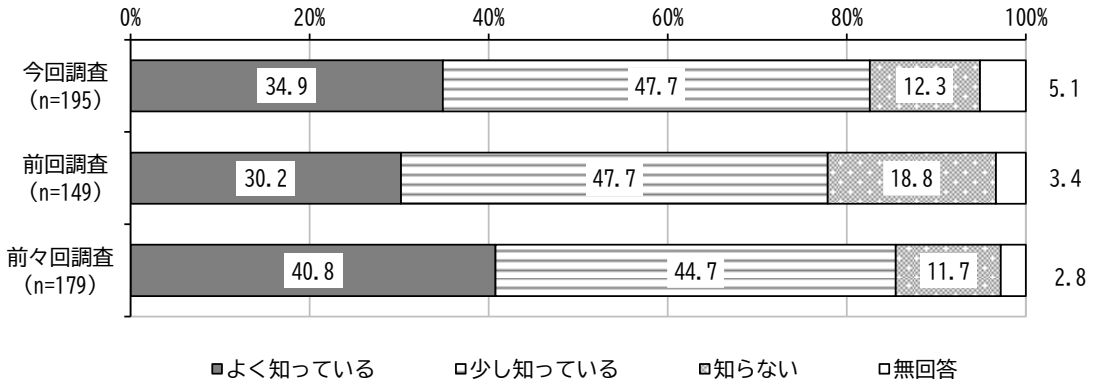
		合計（人）	洗濯	炊事	電化製品の扱い方	話し相手・相談相手がいないこと	楽しみがほとんどないこと	夜間ひとりになること	家族のこと（家族にかける心配のこと）	家族のこと（家族を心配すること）	その他	特にない	無回答
性別	男性	51	7.8	17.6	13.7	9.8	9.8	9.8	21.6	21.6	5.9	5.9	3.9
	女性	144	4.9	14.6	22.2	4.2	8.3	6.9	18.1	16.0	4.9	8.3	4.2
年齢別	65～74歳	14	0.0	0.0	7.1	7.1	7.1	0.0	0.0	7.1	14.3	21.4	0.0
	75～84歳	75	5.3	12.0	16.0	8.0	8.0	6.7	20.0	20.0	6.7	8.0	6.7
	85歳以上	106	6.6	19.8	24.5	3.8	9.4	9.4	20.8	17.0	2.8	5.7	2.8
世帯構成別	１人暮らし	71	5.6	16.9	28.2	7.0	7.0	18.3	15.5	7.0	2.8	1.4	5.6
	夫婦２人暮らし(配偶者65歳以上)	67	7.5	19.4	19.4	6.0	11.9	0.0	17.9	25.4	7.5	10.4	3.0
	夫婦２人暮らし(配偶者64歳以下)	4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	25.0	0.0	25.0	0.0
	息子・娘との２世帯	23	8.7	8.7	13.0	0.0	4.3	0.0	17.4	17.4	4.3	17.4	0.0
	その他	22	0.0	4.5	9.1	9.1	4.5	9.1	36.4	22.7	9.1	9.1	4.5
居住地区別	字大山崎	73	5.5	17.8	21.9	8.2	4.1	9.6	16.4	17.8	11.0	11.0	5.5
	字円明寺	103	4.9	15.5	19.4	3.9	10.7	6.8	20.4	16.5	1.0	2.9	2.9
	字下植野	19	10.5	5.3	15.8	5.3	15.8	5.3	21.1	21.1	5.3	21.1	5.3
認定状況別	要支援１	128	5.5	14.1	21.1	3.9	7.8	7.8	19.5	19.5	7.0	7.8	4.7
	要支援２	67	6.0	17.9	17.9	9.0	10.4	7.5	17.9	13.4	1.5	7.5	3.0

（21）災害時の避難場所を知っているか

問 46	あなたは、災害時の避難場所についてご存知ですか。（○は1つ）

災害時の避難場所を知っているかについて、「少し知っている」が 47.7%で最も高く、次いで「よく知っている」が 34.9%、「知らない」が 12.3%となっています。また、前回調査と比較して「知らない」が 6.5 ポイント減少しています。

【図表3－4－28 災害時の避難場所を知っているか】

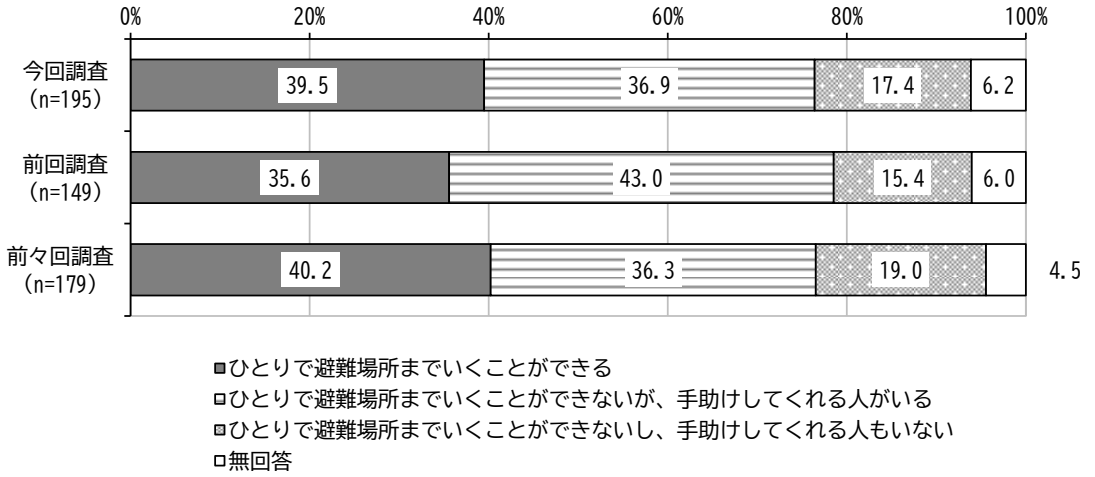


（22）ひとりで避難場所までいくことができるか

問 47	災害が発生して避難する時に、ひとりで避難場所までいくことができますか。（○は1つ）

ひとりで避難場所までいくことができるかについて、「ひとりで避難場所までいくことができる」が 39.5%で最も高く、次いで「ひとりで避難場所までいくことができないが、手助けしてくれる人がいる」が 36.9%、「ひとりで避難場所までいくことができないし、手助けしてくれる人もいない」が 17.4%となっています。また、前回調査と比較して「ひとりで避難場所までいくことができる」が 3.9 ポイント増加しています。

【図表3－4－29 ひとりで避難場所までいくことができるか】



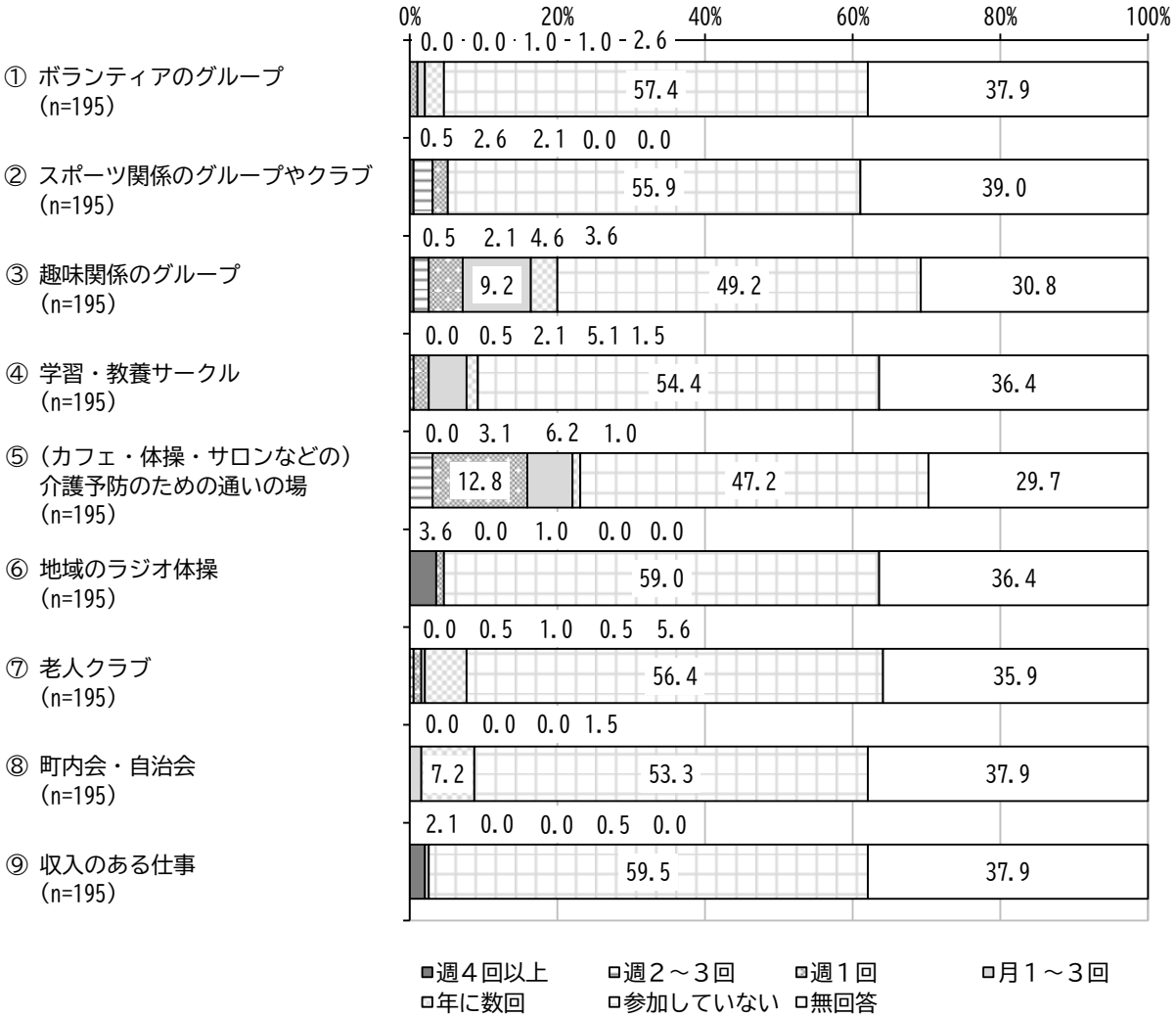
5. 地域での活動について

(1) 地域での活動の頻度

問48	以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか。 (①～⑨それぞれに○は1つ)

地域での活動の頻度について、『参加している』(「週4回以上」と「週2～3回」と「週1回」と「月1～3回」と「年に数回」の合計)では、「(カフェ・体操・サロンなどの)介護予防のための通いの場」が 23.1%で最も高く、次いで「趣味関係のグループ」が 20.0%、「学習・教養サークル」が 9.2%となっています。

【図表3－5－1 地域での活動の頻度】



ⅰ　ボランティアのグループ

性別にみると、男性・女性ともに「参加していない」が最も高くなっています。

【図表3－5－2　地域での活動の頻度・ボランティアのグループ(性別・年齢別・居住地区別)】

※網掛けは最も割合が高いもの　単位：(%)

		合計(人)	上週4回以	回週2～3	週1回	回月1～3	年に数回	参加していない	無回答
経年比較	今回調査	195	0.0	0.0	1.0	1.0	2.6	57.4	37.9
	前回調査	149	0.7	0.7	1.3	1.3	0.0	63.8	0.3
	前々回調査	179	0.0	0.6	1.1	1.1	2.2	62.6	32.4
性別	男性	51	0.0	0.0	0.0	0.0	9.8	62.7	27.5
	女性	144	0.0	0.0	1.4	1.4	0.0	55.6	41.7
年齢別	65～74歳	14	0.0	0.0	0.0	7.1	0.0	71.4	21.4
	75～84歳	75	0.0	0.0	0.0	0.0	1.3	66.7	32.0
	85歳以上	106	0.0	0.0	1.9	0.9	3.8	49.1	44.3
世帯構成別	１人暮らし	71	0.0	0.0	2.8	0.0	2.8	43.7	50.7
	夫婦２人暮らし(配偶者65歳以上)	67	0.0	0.0	0.0	1.5	3.0	68.7	26.9
	夫婦２人暮らし(配偶者64歳以下)	4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	50.0
	息子・娘との２世帯	23	0.0	0.0	0.0	4.3	0.0	65.2	30.4
	その他	22	0.0	0.0	0.0	0.0	4.5	68.2	27.3
居住地区別	字大山崎	73	0.0	0.0	0.0	0.0	1.4	53.4	45.2
	字円明寺	103	0.0	0.0	1.9	1.9	3.9	54.4	37.9
	字下植野	19	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	89.5	10.5
認定状況別	要支援１	128	0.0	0.0	1.6	1.6	2.3	57.0	37.5
	要支援２	67	0.0	0.0	0.0	0.0	3.0	58.2	38.8

ⅱ　スポーツ関係のグループやクラブ

性別にみると、男性・女性ともに「参加していない」が最も高くなっています。

【図表3－5－3　地域での活動の頻度・スポーツ関係のグループやクラブ(性別・年齢別・居住地区別)】

※網掛けは最も割合が高いもの　単位：(%)

		合計(人)	上週4回以	回週2～3	週1回	回月1～3	年に数回	参加していない	無回答
経年比較	今回調査	195	0.5	2.6	2.1	0.0	0.0	55.9	39.0
	前回調査	149	0.7	0.7	4.0	2.7	0.0	62.4	0.3
	前々回調査	179	1.1	3.9	1.1	0.6	1.1	56.4	35.8
性別	男性	51	0.0	3.9	2.0	0.0	0.0	66.7	27.5
	女性	144	0.7	2.1	2.1	0.0	0.0	52.1	43.1
年齢別	65～74歳	14	0.0	7.1	0.0	0.0	0.0	64.3	28.6
	75～84歳	75	1.3	5.3	2.7	0.0	0.0	62.7	28.0
	85歳以上	106	0.0	0.0	1.9	0.0	0.0	50.0	48.1
世帯構成別	１人暮らし	71	0.0	0.0	2.8	0.0	0.0	45.1	52.1
	夫婦２人暮らし(配偶者65歳以上)	67	1.5	7.5	1.5	0.0	0.0	62.7	26.9
	夫婦２人暮らし(配偶者64歳以下)	4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	50.0
	息子・娘との２世帯	23	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	65.2	34.8
	その他	22	0.0	0.0	4.5	0.0	0.0	68.2	27.3
居住地区別	字大山崎	73	1.4	5.5	2.7	0.0	0.0	47.9	42.5
	字円明寺	103	0.0	1.0	1.9	0.0	0.0	55.3	41.7
	字下植野	19	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	89.5	10.5
認定状況別	要支援１	128	0.8	3.9	3.1	0.0	0.0	53.1	39.1
	要支援２	67	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	61.2	38.8

iii 趣味関係のグループ

性別にみると、男性・女性ともに「参加していない」が最も高くなっています。

【図表3－5－4 地域での活動の頻度・趣味関係のグループ(性別・年齢別・居住地区別)】

※網掛けは最も割合が高いもの 単位：(%)

		合計(人)	上週4回以	回週2～3	週1回	回月1～3	年に数回	参加していない	無回答
経年比較	今回調査	195	0.5	2.1	4.6	9.2	3.6	49.2	30.8
	前回調査	149	0.7	0.7	4.7	6.0	2.0	59.7	0.3
	前々回調査	179	0.6	4.5	2.8	6.7	3.9	52.5	29.1
性別	男性	51	2.0	0.0	5.9	5.9	2.0	58.8	25.5
	女性	144	0.0	2.8	4.2	10.4	4.2	45.8	32.6
年齢別	65～74歳	14	0.0	7.1	0.0	7.1	7.1	57.1	21.4
	75～84歳	75	0.0	2.7	4.0	6.7	4.0	56.0	26.7
	85歳以上	106	0.9	0.9	5.7	11.3	2.8	43.4	34.9
世帯構成別	１人暮らし	71	0.0	2.8	8.5	12.7	2.8	35.2	38.0
	夫婦２人暮らし(配偶者65歳以上)	67	1.5	1.5	3.0	7.5	6.0	56.7	23.9
	夫婦２人暮らし(配偶者64歳以下)	4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	50.0
	息子・娘との２世帯	23	0.0	0.0	0.0	4.3	4.3	60.9	30.4
	その他	22	0.0	4.5	4.5	13.6	0.0	63.6	13.6
居住地区別	字大山崎	73	0.0	4.1	6.8	2.7	5.5	46.6	34.2
	字円明寺	103	1.0	1.0	2.9	15.5	2.9	44.7	32.0
	字下植野	19	0.0	0.0	5.3	0.0	0.0	84.2	10.5
認定状況別	要支援１	128	0.8	1.6	6.3	11.7	5.5	44.5	29.7
	要支援２	67	0.0	3.0	1.5	4.5	0.0	58.2	32.8

iv 学習・教養サークル

性別にみると、男性・女性ともに「参加していない」が最も高くなっています。

【図表3－5－5 地域での活動の頻度・学習・教養サークル(性別・年齢別・居住地区別)】

※網掛けは最も割合が高いもの 単位：(%)

		合計(人)	上週4回以	回週2～3	週1回	回月1～3	年に数回	参加していない	無回答
経年比較	今回調査	195	0.0	0.5	2.1	5.1	1.5	54.4	36.4
	前回調査	149	0.0	0.0	0.7	2.0	1.3	64.4	0.3
	前々回調査	179	0.6	2.8	1.7	1.7	2.8	57.5	33.0
性別	男性	51	0.0	0.0	2.0	2.0	0.0	64.7	31.4
	女性	144	0.0	0.7	2.1	6.3	2.1	50.7	38.2
年齢別	65～74歳	14	0.0	0.0	0.0	21.4	0.0	64.3	14.3
	75～84歳	75	0.0	1.3	1.3	4.0	0.0	64.0	29.3
	85歳以上	106	0.0	0.0	2.8	3.8	2.8	46.2	44.3
世帯構成別	１人暮らし	71	0.0	0.0	4.2	5.6	1.4	40.8	47.9
	夫婦２人暮らし(配偶者65歳以上)	67	0.0	1.5	1.5	6.0	3.0	62.7	25.4
	夫婦２人暮らし(配偶者64歳以下)	4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	50.0
	息子・娘との２世帯	23	0.0	0.0	0.0	4.3	0.0	65.2	30.4
	その他	22	0.0	0.0	0.0	4.5	0.0	68.2	27.3
居住地区別	字大山崎	73	0.0	0.0	0.0	1.4	1.4	53.4	43.8
	字円明寺	103	0.0	1.0	2.9	8.7	1.9	50.5	35.0
	字下植野	19	0.0	0.0	5.3	0.0	0.0	78.9	15.8
認定状況別	要支援１	128	0.0	0.8	2.3	6.3	2.3	53.1	35.2
	要支援２	67	0.0	0.0	1.5	3.0	0.0	56.7	38.8

ｖ （カフェ・体操・サロンなどの）介護予防のための通いの場

性別にみると、男性・女性ともに「参加していない」が最も高くなっています。

【図表3－5－6 地域での活動の頻度・介護予防のための通いの場（性別・年齢別・居住地区別）】

※網掛けは最も割合が高いもの　単位：（%）

		合計（人）	上週4回以	回週2～3	週1回	回月1～3	年に数回	参加していない	無回答
経年比較	今回調査	195	0.0	3.1	12.8	6.2	1.0	47.2	29.7
	前回調査	149	0.0	9.4	8.1	2.7	0.7	55.0	0.2
	前々回調査	179	1.7	11.7	9.5	3.4	2.2	48.0	23.5
性別	男性	51	0.0	0.0	7.8	5.9	3.9	58.8	23.5
	女性	144	0.0	4.2	14.6	6.3	0.0	43.1	31.9
年齢別	65～74歳	14	0.0	7.1	21.4	7.1	0.0	42.9	21.4
	75～84歳	75	0.0	2.7	9.3	6.7	1.3	56.0	24.0
	85歳以上	106	0.0	2.8	14.2	5.7	0.9	41.5	34.9
世帯構成別	１人暮らし	71	0.0	4.2	21.1	5.6	0.0	31.0	38.0
	夫婦２人暮らし（配偶者65歳以上）	67	0.0	1.5	10.4	7.5	0.0	58.2	22.4
	夫婦２人暮らし（配偶者64歳以下）	4	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	50.0	25.0
	息子・娘との２世帯	23	0.0	4.3	0.0	4.3	0.0	60.9	30.4
	その他	22	0.0	4.5	13.6	4.5	9.1	54.5	13.6
居住地区別	字大山崎	73	0.0	1.4	13.7	2.7	1.4	41.1	39.7
	字円明寺	103	0.0	4.9	12.6	8.7	1.0	46.6	26.2
	字下植野	19	0.0	0.0	10.5	5.3	0.0	73.7	10.5
認定状況別	要支援１	128	0.0	0.0	18.0	4.7	1.6	45.3	30.5
	要支援２	67	0.0	9.0	3.0	9.0	0.0	50.7	28.4

ｖｉ 地域のラジオ体操

性別にみると、男性・女性ともに「参加していない」が最も高くなっています。

【図表3－5－7 地域での活動の頻度・地域のラジオ体操（性別・年齢別・居住地区別）】

※網掛けは最も割合が高いもの　単位：（%）

		合計（人）	上週4回以	回週2～3	週1回	回月1～3	年に数回	参加していない	無回答
経年比較	今回調査	195	3.6	0.0	1.0	0.0	0.0	59.0	36.4
	前回調査	149	2.7	0.7	0.0	0.0	0.0	65.8	0.3
性別	男性	51	0.0	0.0	2.0	0.0	0.0	68.6	29.4
	女性	144	4.9	0.0	0.7	0.0	0.0	55.6	38.9
年齢別	65～74歳	14	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	78.6	21.4
	75～84歳	75	1.3	0.0	1.3	0.0	0.0	66.7	30.7
	85歳以上	106	5.7	0.0	0.9	0.0	0.0	50.9	42.5
世帯構成別	１人暮らし	71	8.5	0.0	1.4	0.0	0.0	45.1	45.1
	夫婦２人暮らし（配偶者65歳以上）	67	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	68.7	31.3
	夫婦２人暮らし（配偶者64歳以下）	4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	50.0
	息子・娘との２世帯	23	4.3	0.0	0.0	0.0	0.0	69.6	26.1
	その他	22	0.0	0.0	4.5	0.0	0.0	72.7	22.7
居住地区別	字大山崎	73	4.1	0.0	1.4	0.0	0.0	52.1	42.5
	字円明寺	103	3.9	0.0	0.0	0.0	0.0	59.2	36.9
	字下植野	19	0.0	0.0	5.3	0.0	0.0	84.2	10.5
認定状況別	要支援１	128	3.9	0.0	1.6	0.0	0.0	58.6	35.9
	要支援２	67	3.0	0.0	0.0	0.0	0.0	59.7	37.3

vii 老人クラブ

性別にみると、男性・女性ともに「参加していない」が最も高くなっています。

【図表3－5－8 地域での活動の頻度・老人クラブ(性別・年齢別・居住地区別)】

※網掛けは最も割合が高いもの 単位：(%)

		合計(人)	上週4回以	回週2～3	週1回	回月1～3	年に数回	参加していない	無回答
経年比較	今回調査	195	0.0	0.5	1.0	0.5	5.6	56.4	35.9
	前回調査	149	0.0	0.0	0.0	2.0	3.4	63.1	0.3
	前々回調査	179	1.7	2.2	1.1	1.1	6.7	55.3	31.8
性別	男性	51	0.0	0.0	0.0	0.0	13.7	60.8	25.5
	女性	144	0.0	0.7	1.4	0.7	2.8	54.9	39.6
年齢別	65～74歳	14	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	78.6	21.4
	75～84歳	75	0.0	0.0	0.0	0.0	2.7	66.7	30.7
	85歳以上	106	0.0	0.9	1.9	0.9	8.5	46.2	41.5
世帯構成別	１人暮らし	71	0.0	1.4	1.4	1.4	9.9	40.8	45.1
	夫婦２人暮らし(配偶者65歳以上)	67	0.0	0.0	0.0	0.0	3.0	67.2	29.9
	夫婦２人暮らし(配偶者64歳以下)	4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	50.0
	息子・娘との２世帯	23	0.0	0.0	4.3	0.0	4.3	65.2	26.1
	その他	22	0.0	0.0	0.0	0.0	4.5	72.7	22.7
居住地区別	字大山崎	73	0.0	1.4	1.4	0.0	1.4	52.1	43.8
	字円明寺	103	0.0	0.0	0.0	1.0	7.8	55.3	35.9
	字下植野	19	0.0	0.0	5.3	0.0	10.5	78.9	5.3
認定状況別	要支援１	128	0.0	0.0	1.6	0.0	7.0	54.7	36.7
	要支援２	67	0.0	1.5	0.0	1.5	3.0	59.7	34.3

viii 町内会・自治会

性別にみると、男性・女性ともに「参加していない」が最も高くなっています。

【図表3－5－9 地域での活動の頻度・町内会・自治会(性別・年齢別・居住地区別)】

※網掛けは最も割合が高いもの 単位：(%)

		合計(人)	上週4回以	回週2～3	週1回	回月1～3	年に数回	参加していない	無回答
経年比較	今回調査	195	0.0	0.0	0.0	1.5	7.2	53.3	37.9
	前回調査	149	0.7	0.0	0.0	1.3	8.1	59.7	0.3
	前々回調査	179	0.6	0.0	0.0	0.6	7.3	55.9	35.8
性別	男性	51	0.0	0.0	0.0	2.0	7.8	62.7	27.5
	女性	144	0.0	0.0	0.0	1.4	6.9	50.0	41.7
年齢別	65～74歳	14	0.0	0.0	0.0	7.1	7.1	71.4	14.3
	75～84歳	75	0.0	0.0	0.0	0.0	6.7	62.7	30.7
	85歳以上	106	0.0	0.0	0.0	1.9	7.5	44.3	46.2
世帯構成別	１人暮らし	71	0.0	0.0	0.0	1.4	14.1	36.6	47.9
	夫婦２人暮らし(配偶者65歳以上)	67	0.0	0.0	0.0	0.0	1.5	65.7	32.8
	夫婦２人暮らし(配偶者64歳以下)	4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	50.0
	息子・娘との２世帯	23	0.0	0.0	0.0	8.7	4.3	60.9	26.1
	その他	22	0.0	0.0	0.0	0.0	9.1	68.2	22.7
居住地区別	字大山崎	73	0.0	0.0	0.0	2.7	2.7	50.7	43.8
	字円明寺	103	0.0	0.0	0.0	1.0	9.7	50.5	38.8
	字下植野	19	0.0	0.0	0.0	0.0	10.5	78.9	10.5
認定状況別	要支援１	128	0.0	0.0	0.0	1.6	7.0	54.7	36.7
	要支援２	67	0.0	0.0	0.0	1.5	7.5	50.7	40.3

ix 収入のある仕事

性別にみると、男性・女性ともに「参加していない」が最も高くなっています。

【図表3－5－10 地域での活動の頻度・収入のある仕事(性別・年齢別・居住地区別)】

※網掛けは最も割合が高いもの 単位：(%)

		合計（人）	週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回	参加していない	無回答
経年比較	今回調査	195	2.1	0.0	0.0	0.5	0.0	59.5	37.9
	前回調査	149	0.7	0.7	1.3	0.0	0.0	65.8	0.3
	前々回調査	179	1.7	0.6	0.6	0.6	0.6	61.5	34.6
性別	男性	51	3.9	0.0	0.0	0.0	0.0	66.7	29.4
	女性	144	1.4	0.0	0.0	0.7	0.0	56.9	41.0
年齢別	65～74歳	14	14.3	0.0	0.0	0.0	0.0	64.3	21.4
	75～84歳	75	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	69.3	30.7
	85歳以上	106	1.9	0.0	0.0	0.9	0.0	51.9	45.3
世帯構成別	１人暮らし	71	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	52.1	47.9
	夫婦２人暮らし(配偶者65歳以上)	67	6.0	0.0	0.0	1.5	0.0	61.2	31.3
	夫婦２人暮らし(配偶者64歳以下)	4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	50.0
	息子・娘との２世帯	23	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	69.6	30.4
	その他	22	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	77.3	22.7
居住地区別	字大山崎	73	4.1	0.0	0.0	1.4	0.0	52.1	42.5
	字円明寺	103	1.0	0.0	0.0	0.0	0.0	59.2	39.8
	字下植野	19	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	89.5	10.5
認定状況別	要支援１	128	2.3	0.0	0.0	0.8	0.0	59.4	37.5
	要支援２	67	1.5	0.0	0.0	0.0	0.0	59.7	38.8

【図表3－5－11 いずれかの活動に参加している人の割合】

※網掛けは最も割合が高いもの 単位：(%)

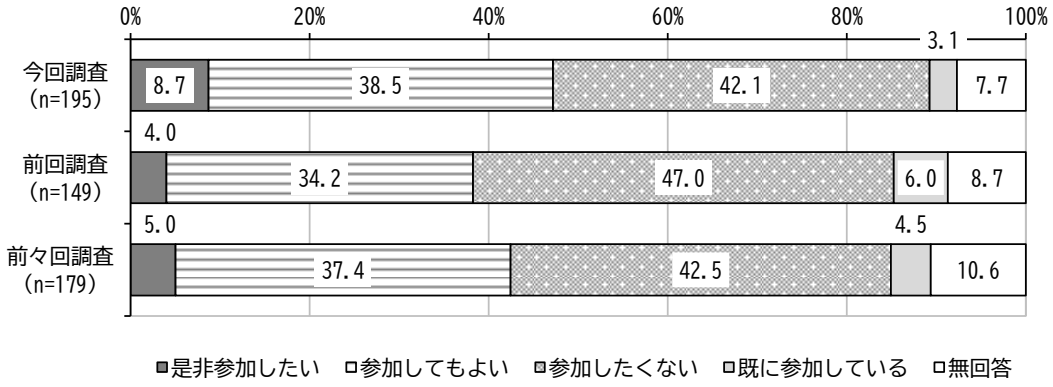
		合計（人）	いずれかに参加している（週1回以上）	いずれかに参加している（年に1回以上週1回未満）	全てに不参加	無回答
	全体	195	30.8	16.9	34.4	17.9
性別	男性	51	23.5	25.5	35.3	15.7
	女性	144	33.3	13.9	34.0	18.8
年齢別	65～74歳	14	42.9	21.4	28.6	7.1
	75～84歳	75	29.3	16.0	38.7	16.0
	85歳以上	106	30.2	17.0	32.1	20.8
世帯構成別	１人暮らし	71	40.8	15.5	22.5	21.1
	夫婦２人暮らし(配偶者65歳以上)	67	31.3	14.9	40.3	13.4
	夫婦２人暮らし(配偶者64歳以下)	4	0.0	25.0	50.0	25.0
	息子・娘との２世帯	23	13.0	21.7	47.8	17.4
	その他	22	31.8	27.3	36.4	4.5
居住地区別	字大山崎	73	38.4	9.6	30.1	21.9
	字円明寺	103	28.2	23.3	31.1	17.5
	字下植野	19	15.8	10.5	68.4	5.3
認定状況別	要支援１	128	35.2	14.1	33.6	17.2
	要支援２	67	22.4	22.4	35.8	19.4

（2） 地域での活動に参加者として参加したいか

問 49	地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に**参加者として**参加してみたいと思いますか。（○は1つ）

地域での活動に参加者として参加したいかについて、「参加したくない」が 42.1%で最も高く、次いで「参加してもよい」が 38.5%、「是非参加したい」が 8.7%となっています。また、前回調査と比較して「参加したくない」が 4.9 ポイント減少しています。

【図表3－5－12 地域での活動に参加者として参加したいか】



性別にみると、男性では、「参加したくない」が 52.9%で最も高く、女性では、「参加してもよい」が 40.3%で最も高くなっています。

年齢別にみると、「是非参加したい」では、75～84 歳が 9.3%で最も高く、「参加してもよい」でも、75～84 歳が 44.0%で最も高くなっています。

居住地区別にみると、「是非参加したい」では、字円明寺が 9.7%で最も高く、「参加してもよい」でも、字円明寺が 47.6%で最も高くなっています。

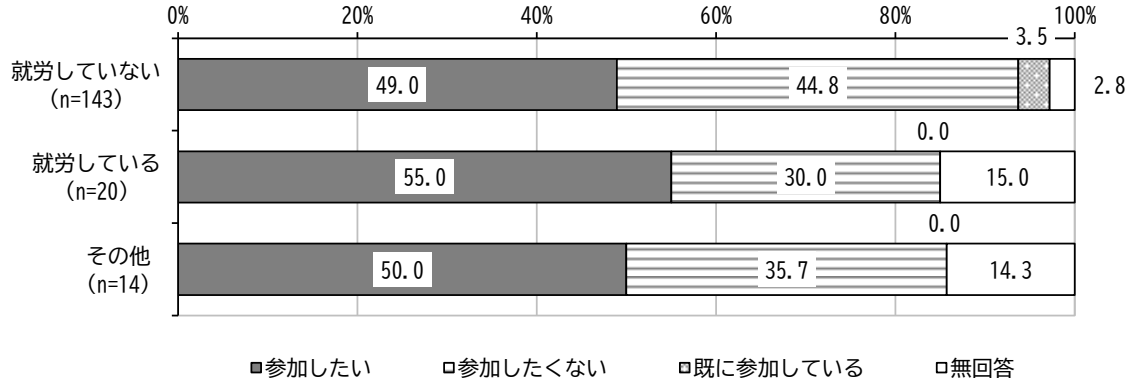
【図表3－5－13 地域での活動に参加者として参加したいか（クロス集計）】

※網掛けは最も割合が高いもの　単位：（%）

		合計（人）	是非参加したい	参加してもよい	参加したくない	既に参加している	無回答
性別	男性	51	7.8	33.3	52.9	0.0	5.9
	女性	144	9.0	40.3	38.2	4.2	8.3
年齢別	65～74歳	14	7.1	42.9	50.0	0.0	0.0
	75～84歳	75	9.3	44.0	41.3	2.7	2.7
	85歳以上	106	8.5	34.0	41.5	3.8	12.3
世帯構成別	１人暮らし	71	11.3	38.0	35.2	7.0	8.5
	夫婦２人暮らし（配偶者65歳以上）	67	7.5	43.3	43.3	1.5	4.5
	夫婦２人暮らし（配偶者64歳以下）	4	25.0	0.0	75.0	0.0	0.0
	息子・娘との２世帯	23	8.7	21.7	60.9	0.0	8.7
	その他	22	4.5	50.0	36.4	0.0	9.1
居住地区別	字大山崎	73	9.6	28.8	52.1	2.7	6.8
	字円明寺	103	9.7	47.6	31.1	2.9	8.7
	字下植野	19	0.0	26.3	63.2	5.3	5.3
認定状況別	要支援１	128	9.4	39.1	39.8	4.7	7.0
	要支援２	67	7.5	37.3	46.3	0.0	9.0

地域での活動に参加者としての参加希望の有無を就労状態別にみると、「就労している」の参加希望が55.0%で、「就労していない」より 6.0 ポイント高くなっていますが、「既に参加している」では「就労していない」が「就労している」より 3.5 ポイント高くなっています。

【図表3－5－14 地域での活動に参加者として参加したいか(就労状態別)】

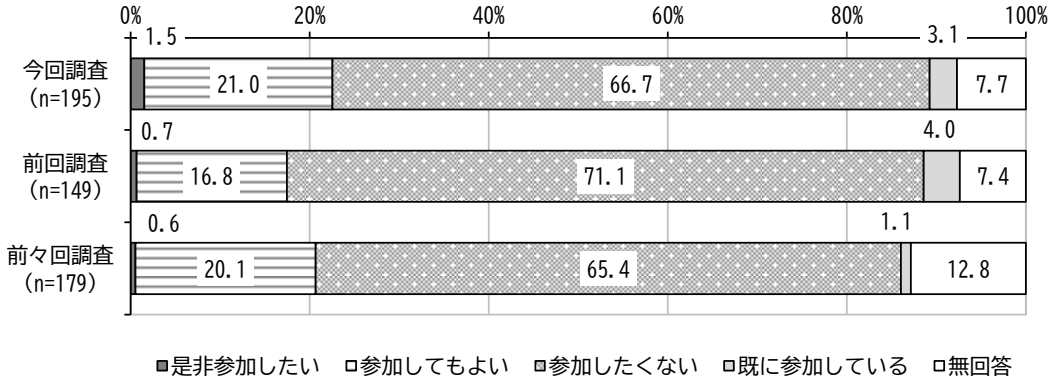


(3) 地域での活動に企画・運営として参加したいか

問 50	地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に**企画・運営(お世話役)**として参加してみたいと思いますか。(○は1つ)

地域での活動に企画・運営として参加したいかについて、「参加したくない」が 66.7%で最も高く、次いで「参加してもよい」が 21.0%、「既に参加している」が 3.1%となっています。また、前回調査と比較して「参加したくない」が 4.4 ポイント減少しています。

【図表3－5－15 地域での活動に企画・運営として参加したいか】



性別にみると、男性・女性ともに「参加したくない」が最も高くなっています。

年齢別にみると、「是非参加したい」では、85 歳以上が 1.9%で最も高く、「参加してもよい」でも、85 歳以上が 23.6%で最も高くなっています。

居住地区別にみると、「是非参加したい」では、字大山崎が 2.7%で最も高く、「参加してもよい」では、字円明寺が 23.3%で最も高くなっています。

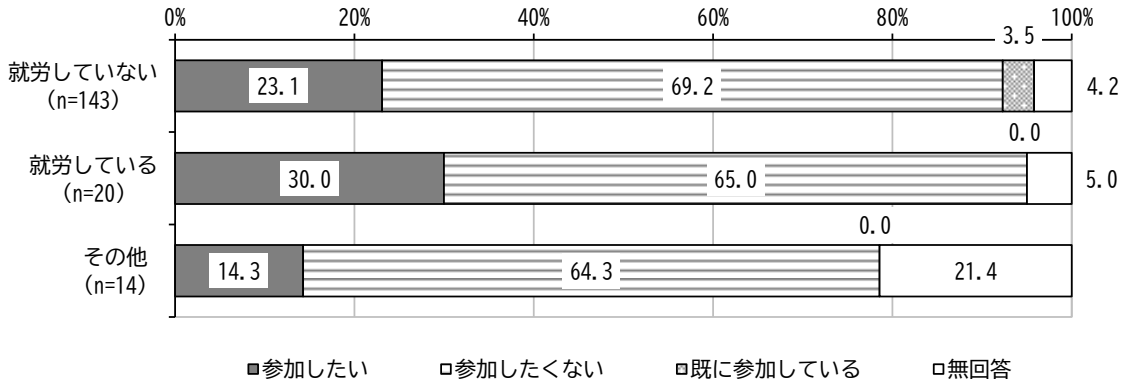
【図表3－5－16 地域での活動に企画・運営として参加したいか(クロス集計)】

※網掛けは最も割合が高いもの 単位：(%)

		合計（人）	是非参加したい	参加してもよい	参加したくない	既に参加している	無回答
性別	男性	51	0.0	17.6	76.5	2.0	3.9
	女性	144	2.1	22.2	63.2	3.5	9.0
年齢別	65～74歳	14	0.0	14.3	78.6	7.1	0.0
	75～84歳	75	1.3	18.7	70.7	4.0	5.3
	85歳以上	106	1.9	23.6	62.3	1.9	10.4
世帯構成別	１人暮らし	71	0.0	22.5	62.0	4.2	11.3
	夫婦２人暮らし(配偶者65歳以上)	67	1.5	28.4	65.7	1.5	3.0
	夫婦２人暮らし(配偶者64歳以下)	4	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0
	息子・娘との２世帯	23	8.7	4.3	78.3	4.3	4.3
	その他	22	0.0	22.7	68.2	4.5	4.5
居住地区別	字大山崎	73	2.7	19.2	64.4	2.7	11.0
	字円明寺	103	1.0	23.3	65.0	3.9	6.8
	字下植野	19	0.0	15.8	84.2	0.0	0.0
認定状況別	要支援１	128	1.6	25.0	63.3	3.9	6.3
	要支援２	67	1.5	13.4	73.1	1.5	10.4

地域での活動に企画・運営としての参加希望の有無を就労状態別にみると、「就労している」の参加希望が 30.0%で、「就労していない」より 6.9 ポイント高くなっていますが、「既に参加している」では「就労していない」が「就労している」より 3.5 ポイント高くなっています。

【図表3－5－17 地域での活動に企画・運営として参加したいか(就労状態別)】

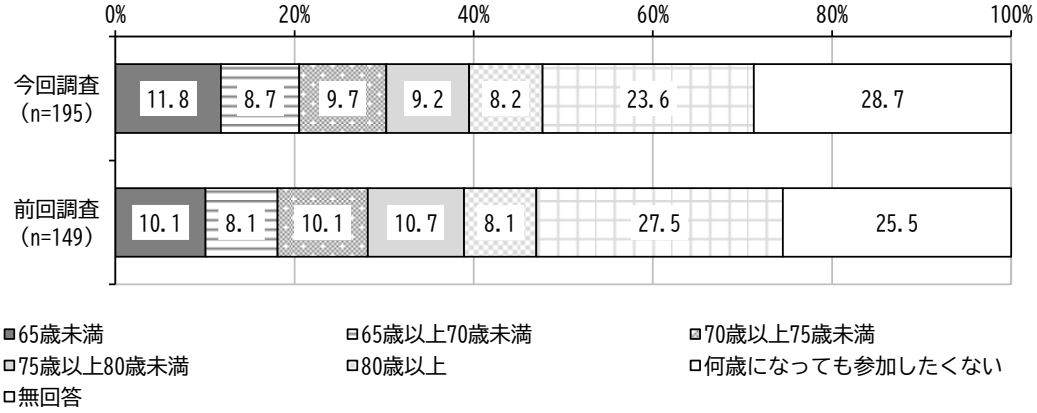


（4） 地域での活動に参加したい（参加した）年齢

問 51	問 48～問 50 でお聞きした、地域での健康づくり活動や趣味等のグループ活動への参加について、あなたは、何歳くらいからそういった活動に参加したいと思いますか。既に参加しておられる方は、何歳くらいからそういった活動に参加されましたか。（○は1つ）

地域での活動に参加したい（参加した）年齢について、「何歳になっても参加したくない」が 23.6%で最も高く、次いで「65 歳未満」が 11.8%、「70 歳以上 75 歳未満」が 9.7%となっています。また、前回調査と比較して「何歳になっても参加したくない」が 3.9 ポイント減少しています。

【図表3－5－18 地域での活動に参加したい（参加した）年齢】



性別にみると、男性・女性ともに「何歳になっても参加したくない」が最も高くなっています。

年齢別にみると、「何歳になっても参加したくない」では、75～84 歳が 30.7%で最も高くなっています。

居住地区別にみると、「何歳になっても参加したくない」では、字大山崎が 28.8%で最も高くなっています。

【図表3－5－19 地域での活動に参加したい（参加した）年齢（クロス集計）】

※網掛けは最も割合が高いもの　単位：（%）

		合計（人）	65歳未満	65歳以上70歳	70歳以上75歳未満	75歳以上80歳未満	80歳以上	何歳になっても参加したくない	無回答
性別	男性	51	0.0	11.8	5.9	7.8	11.8	37.3	25.5
	女性	144	16.0	7.6	11.1	9.7	6.9	18.8	29.9
年齢別	65～74歳	14	7.1	0.0	28.6	21.4	0.0	14.3	28.6
	75～84歳	75	12.0	9.3	6.7	9.3	10.7	30.7	21.3
	85歳以上	106	12.3	9.4	9.4	7.5	7.5	19.8	34.0
世帯構成別	１人暮らし	71	16.9	7.0	9.9	8.5	8.5	22.5	26.8
	夫婦２人暮らし（配偶者65歳以上）	67	11.9	9.0	7.5	14.9	7.5	25.4	23.9
	夫婦２人暮らし（配偶者64歳以下）	4	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	50.0	25.0
	息子・娘との２世帯	23	4.3	8.7	13.0	0.0	8.7	26.1	39.1
	その他	22	4.5	18.2	9.1	9.1	9.1	22.7	27.3
居住地区別	字大山崎	73	5.5	9.6	6.8	12.3	9.6	28.8	27.4
	字円明寺	103	17.5	6.8	12.6	5.8	7.8	20.4	29.1
	字下植野	19	5.3	15.8	5.3	15.8	5.3	21.1	31.6
認定状況別	要支援１	128	13.3	10.2	9.4	9.4	8.6	21.1	28.1
	要支援２	67	9.0	6.0	10.4	9.0	7.5	28.4	29.9

6. 就労について

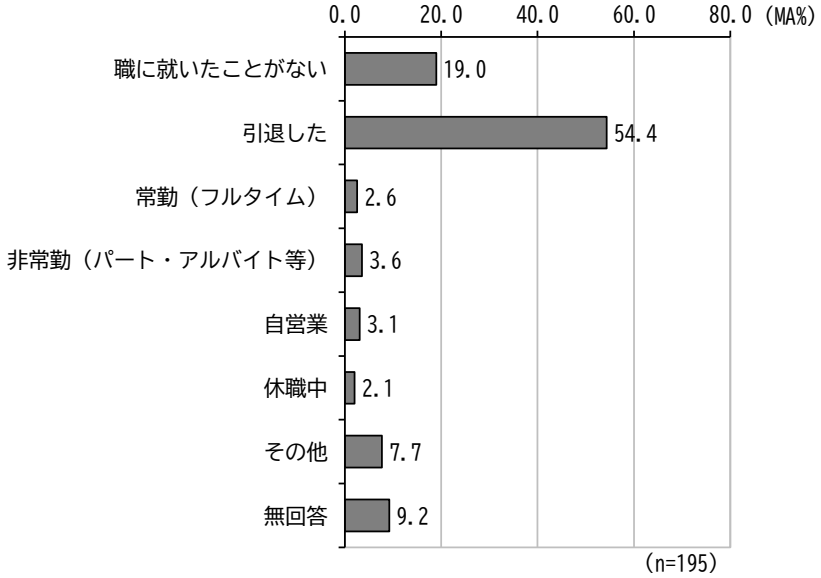
(1) 就労状態

問 52	現在あなたの就労状態はどれですか。(○はいくつでも)

就労状態について、「引退した」が 54.4%で最も高く、次いで「職に就いたことがない」が 19.0%、「その他」が 7.7%となっています。

また、その他の内容について、『高齢のため就労不可』(5件)などがあります。

【図表3－6－1 就労状態】



年齢別にみると、「引退した」では、65～74 歳が 71.4%で最も高くなっています。

【図表3－6－2 就労状態(クロス集計)】

※網掛けは最も割合が高いもの　単位：(MA%)

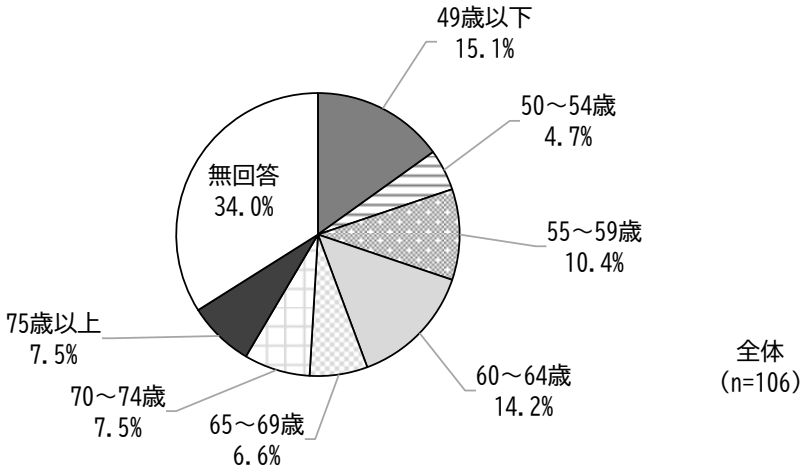
		合計（人）	職に就いたことがない	引退した	常勤（フルタイム）	非常勤（パート・アルバイト等）	自営業	休職中	その他	無回答
性別	男性	51	7.8	76.5	2.0	0.0	3.9	2.0	5.9	2.0
	女性	144	22.9	46.5	2.8	4.9	2.8	2.1	8.3	11.8
年齢別	65～74歳	14	0.0	71.4	7.1	14.3	0.0	7.1	0.0	0.0
	75～84歳	75	20.0	61.3	1.3	2.7	2.7	0.0	5.3	6.7
	85歳以上	106	20.8	47.2	2.8	2.8	3.8	2.8	10.4	12.3
世帯構成別	１人暮らし	71	23.9	46.5	1.4	1.4	2.8	1.4	14.1	11.3
	夫婦２人暮らし(配偶者65歳以上)	67	11.9	64.2	4.5	9.0	1.5	3.0	4.5	3.0
	夫婦２人暮らし(配偶者64歳以下)	4	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	息子・娘との２世帯	23	26.1	43.5	4.3	0.0	4.3	4.3	0.0	17.4
	その他	22	27.3	54.5	0.0	0.0	4.5	0.0	0.0	13.6
居住地区別	字大山崎	73	23.3	42.5	2.7	4.1	5.5	2.7	8.2	13.7
	字円明寺	103	14.6	61.2	1.9	2.9	1.0	1.9	8.7	7.8
	字下植野	19	26.3	63.2	5.3	5.3	5.3	0.0	0.0	0.0
認定状況別	要支援１	128	18.8	54.7	3.1	3.1	3.9	2.3	7.8	7.8
	要支援２	67	19.4	53.7	1.5	4.5	1.5	1.5	7.5	11.9

（2） 引退した年齢

問 52-1	**【問 52 で「引退した」を回答された方のみ】** あなたはいつ引退しましたか。（○は1つ、数字を記入）

引退した年齢について、「49 歳以下」が 15.1%で最も高く、次いで、「60～64 歳」が 14.2%、「55～59 歳」が 10.4%となっています。

【図表3－6－3 引退した年齢】



性別にみると、男性では、「60～64 歳」が 28.2%で最も高く、女性では、「49 歳以下」が 17.9%で最も高くなっています。

【図表3－6－4 引退した年齢(クロス集計)】

※網掛けは最も割合が高いもの　単位：(%)

		合計（人）	49歳以下	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70～74歳	75歳以上	無回答
性別	男性	39	10.3	0.0	10.3	28.2	10.3	10.3	2.6	28.2
	女性	67	17.9	7.5	10.4	6.0	4.5	6.0	10.4	37.3
年齢別	65～74歳	10	0.0	10.0	20.0	0.0	20.0	0.0	0.0	50.0
	75～84歳	46	15.2	4.3	15.2	17.4	6.5	13.0	8.7	19.6
	85歳以上	50	18.0	4.0	4.0	14.0	4.0	4.0	8.0	44.0
世帯構成別	１人暮らし	33	18.2	3.0	6.1	21.2	3.0	6.1	6.1	36.4
	夫婦２人暮らし(配偶者65歳以上)	43	14.0	4.7	9.3	4.7	14.0	11.6	7.0	34.9
	夫婦２人暮らし(配偶者64歳以下)	4	0.0	0.0	25.0	50.0	0.0	0.0	0.0	25.0
	息子・娘との２世帯	10	10.0	10.0	0.0	20.0	0.0	0.0	20.0	40.0
	その他	12	16.7	8.3	33.3	16.7	0.0	8.3	0.0	16.7
居住地区別	字大山崎	31	9.7	6.5	6.5	16.1	6.5	9.7	9.7	35.5
	字円明寺	63	17.5	3.2	12.7	14.3	4.8	7.9	4.8	34.9
	字下植野	12	16.7	8.3	8.3	8.3	16.7	0.0	16.7	25.0
認定状況別	要支援１	70	14.3	4.3	8.6	17.1	8.6	7.1	5.7	34.3
	要支援２	36	16.7	5.6	13.9	8.3	2.8	8.3	11.1	33.3

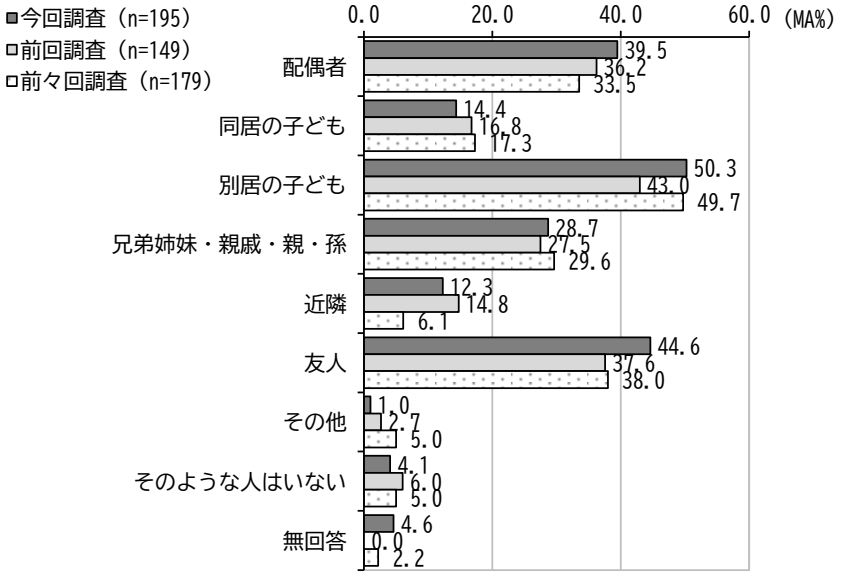
7. たすけあいについて

(1) 心配事や愚痴を聞いてくれる人

問 53	あなたの心配事や愚痴(ぐち)を聞いてくれる人。(○はいくつでも)

心配事や愚痴を聞いてくれる人について、「別居の子ども」が 50.3%で最も高く、次いで「友人」が 44.6%、「配偶者」が 39.5%となっています。また、前回調査と比較して「別居の子ども」が 7.3 ポイント増加しています。

【図表3－7－1 心配事や愚痴を聞いてくれる人】



性別にみると、男性では、「配偶者」が 56.9%で最も高く、女性では、「別居の子ども」が 53.5%で最も高くなっています。年齢別にみると、「そのような人はいない」では、75～84 歳が 6.7%で最も高くなっています。

年齢別にみると 65～74 歳では「友人」の割合が最も高く、75 歳以上では「別居の子ども」の割合が最も高くなっています。

【図表3－7－2 心配事や愚痴を聞いてくれる人(クロス集計)】

※網掛けは最も割合が高いもの　単位：(MA%)

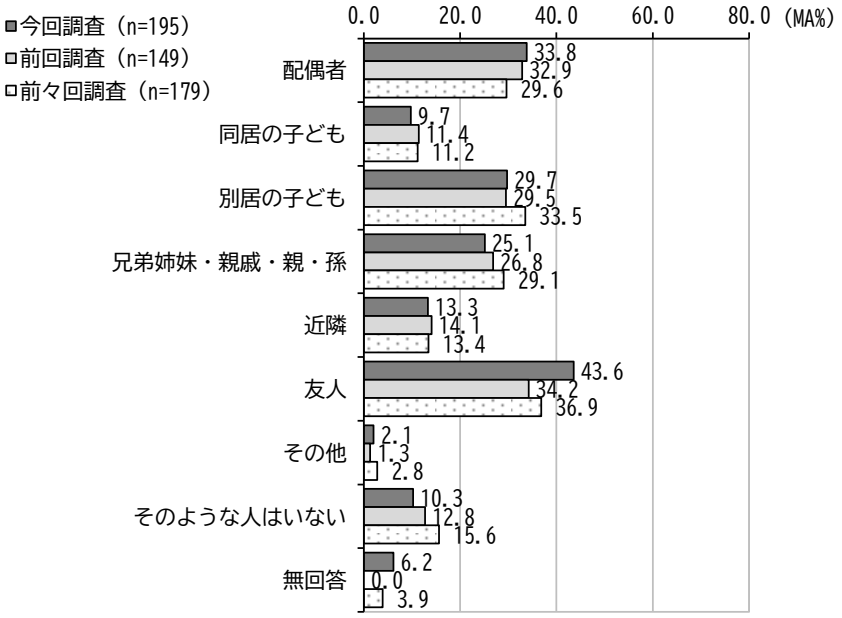
		合計（人）	配偶者	同居の子ども	別居の子ども	兄弟姉妹・親戚・孫	近隣	友人	その他	そのような人はいない	無回答
性別	男性	51	56.9	3.9	41.2	15.7	3.9	21.6	0.0	9.8	3.9
	女性	144	33.3	18.1	53.5	33.3	15.3	52.8	1.4	2.1	4.9
年齢別	65～74歳	14	50.0	21.4	35.7	28.6	7.1	78.6	0.0	0.0	0.0
	75～84歳	75	49.3	6.7	50.7	32.0	16.0	48.0	1.3	6.7	2.7
	85歳以上	106	31.1	18.9	51.9	26.4	10.4	37.7	0.9	2.8	6.6
世帯構成別	１人暮らし	71	1.4	0.0	52.1	31.0	19.7	53.5	1.4	7.0	4.2
	夫婦２人暮らし(配偶者65歳以上)	67	80.6	0.0	59.7	28.4	7.5	43.3	1.5	0.0	1.5
	夫婦２人暮らし(配偶者64歳以下)	4	75.0	0.0	25.0	25.0	0.0	25.0	0.0	25.0	0.0
	息子・娘との２世帯	23	17.4	60.9	39.1	30.4	8.7	34.8	0.0	4.3	8.7
	その他	22	45.5	54.5	36.4	22.7	13.6	36.4	0.0	4.5	9.1
居住地区別	字大山崎	73	42.5	19.2	42.5	32.9	9.6	41.1	1.4	6.8	5.5
	字円明寺	103	35.9	9.7	53.4	26.2	13.6	46.6	1.0	2.9	4.9
	字下植野	19	47.4	21.1	63.2	26.3	15.8	47.4	0.0	0.0	0.0
認定状況別	要支援１	128	39.8	14.1	50.0	29.7	11.7	49.2	0.0	3.1	5.5
	要支援２	67	38.8	14.9	50.7	26.9	13.4	35.8	3.0	6.0	3.0

（2） 心配事や愚痴を聞いてあげる人

問 54	反対に、あなたが心配事や愚痴(ぐち)を聞いてあげる人。(○はいくつでも)

心配事や愚痴を聞いてあげる人について、「友人」が 43.6%で最も高く、次いで「配偶者」が 33.8%、「別居の子ども」が 29.7%となっています。また、前回調査と比較して「友人」が 9.4 ポイント増加しています。

【図表3－7－3 心配事や愚痴を聞いてあげる人】



性別にみると、男性では、「配偶者」が 58.8%で最も高く、女性では、「友人」が 52.1%で最も高くなっています。

【図表3－7－4 心配事や愚痴を聞いてあげる人(クロス集計)】

※網掛けは最も割合が高いもの　単位：(MA%)

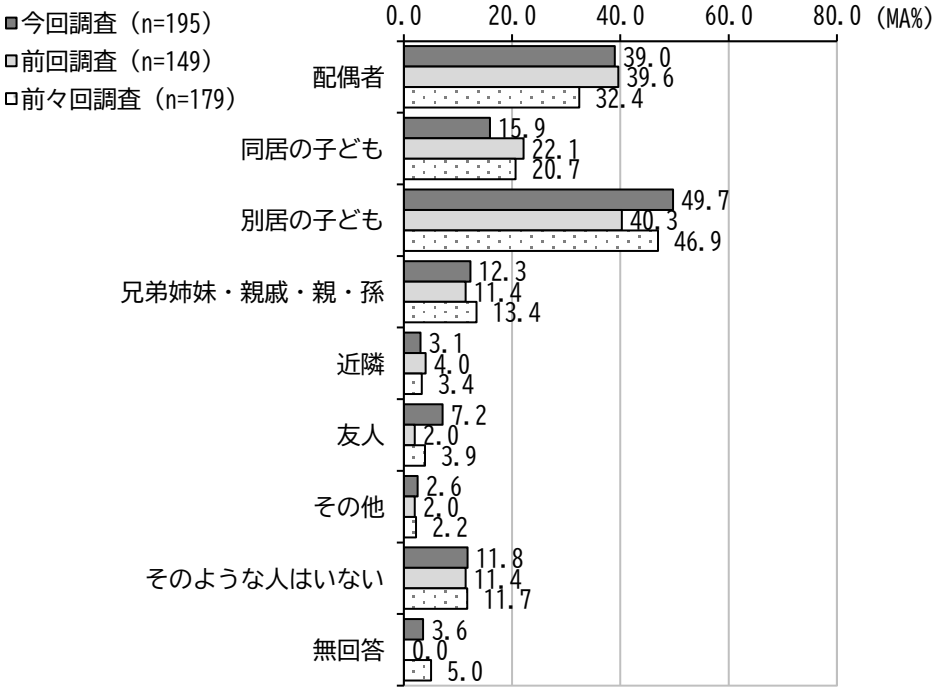
		合計（人）	配偶者	同居の子ども	別居の子ども	兄弟姉妹・親戚・孫	近隣	友人	その他	そのような人はいない	無回答
性別	男性	51	58.8	2.0	27.5	15.7	2.0	19.6	0.0	17.6	3.9
	女性	144	25.0	12.5	30.6	28.5	17.4	52.1	2.8	7.6	6.9
年齢別	65～74歳	14	28.6	21.4	42.9	21.4	14.3	71.4	0.0	0.0	0.0
	75～84歳	75	41.3	2.7	29.3	24.0	14.7	44.0	1.3	12.0	6.7
	85歳以上	106	29.2	13.2	28.3	26.4	12.3	39.6	2.8	10.4	6.6
世帯構成別	１人暮らし	71	0.0	0.0	28.2	23.9	16.9	56.3	5.6	15.5	5.6
	夫婦２人暮らし(配偶者65歳以上)	67	71.6	0.0	32.8	26.9	11.9	37.3	0.0	7.5	3.0
	夫婦２人暮らし(配偶者64歳以下)	4	100.0	0.0	25.0	25.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0
	息子・娘との２世帯	23	21.7	47.8	30.4	30.4	13.0	39.1	0.0	8.7	4.3
	その他	22	22.7	31.8	22.7	22.7	9.1	31.8	0.0	9.1	13.6
居住地区別	字大山崎	73	37.0	9.6	24.7	27.4	15.1	37.0	1.4	8.2	9.6
	字円明寺	103	30.1	8.7	33.0	23.3	12.6	47.6	2.9	10.7	4.9
	字下植野	19	42.1	15.8	31.6	26.3	10.5	47.4	0.0	15.8	0.0
認定状況別	要支援１	128	36.7	10.2	30.5	28.9	14.1	48.4	2.3	6.3	4.7
	要支援２	67	28.4	9.0	28.4	17.9	11.9	34.3	1.5	17.9	9.0

（3） 病気の時に看病や世話をしてくれる人

問 55	あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人。 （○はいくつでも）

病気の時に看病や世話をしてくれる人について、「別居の子ども」が 49.7%で最も高く、次いで「配偶者」が 39.0%、「同居の子ども」が 15.9%となっています。また、前回調査と比較して「別居の子ども」が 9.4 ポイント増加しています。

【図表3－7－5 病気の時に看病や世話をしてくれる人】

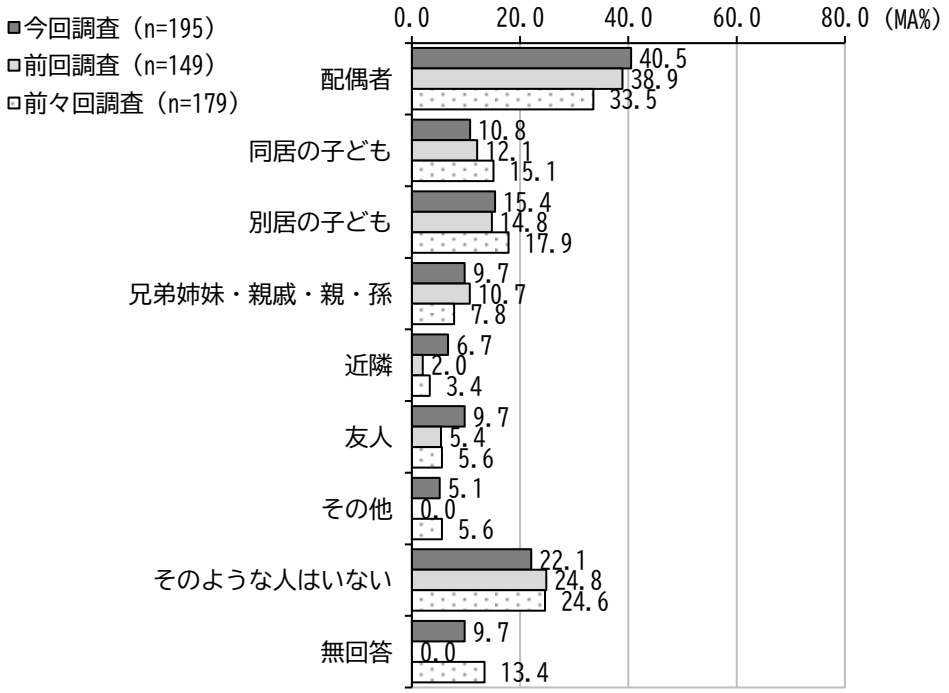


（4） 看病や世話をしてあげる人

問 56	反対に、看病や世話をしてあげる人。（○はいくつでも）

看病や世話をしてあげる人について、「配偶者」が 40.5％で最も高く、次いで「そのような人はいない」が 22.1％、「別居の子ども」が 15.4％となっています。また、前回調査と比較して「配偶者」が 1.6 ポイント増加しています。

【図表3－7－6 看病や世話をしてあげる人】

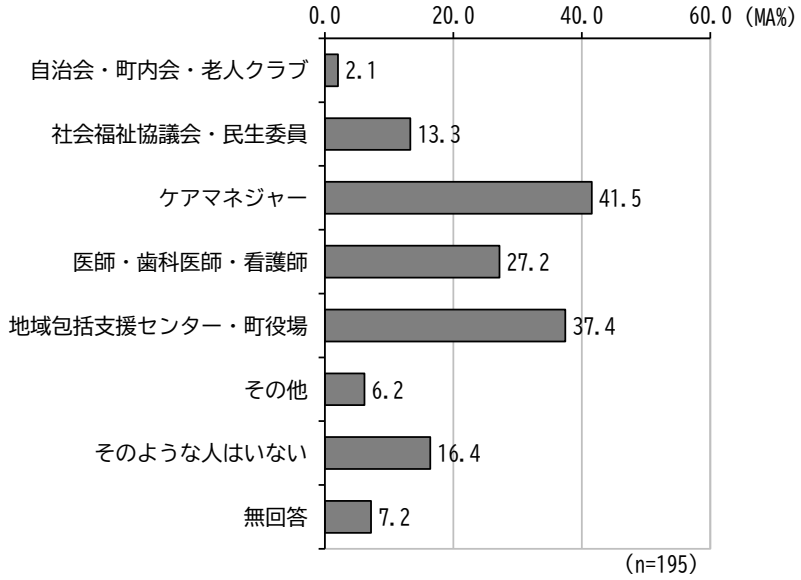


（5） 家族や友人・知人以外の相談相手

問 57	家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手を教えてください。 （○はいくつでも）

家族や友人・知人以外の相談相手について、「ケアマネジャー」が 41.5%で最も高く、次いで「地域包括支援センター・町役場」が 37.4%、「医師・歯科医師・看護師」が 27.2%となっています。

【図表3－7－7 家族や友人・知人以外の相談相手】



性別にみると、男性では、「地域包括支援センター・町役場」が 33.3%で最も高く、女性では、「ケアマネジャー」が 45.1%で最も高くなっています。

年齢別にみると、「そのような人はいない」では、65～74 歳が 35.7%で最も高くなっています。

【図表3－7－8 家族や友人・知人以外の相談相手（クロス集計）】

※網掛けは最も割合が高いもの　単位：(MA%)

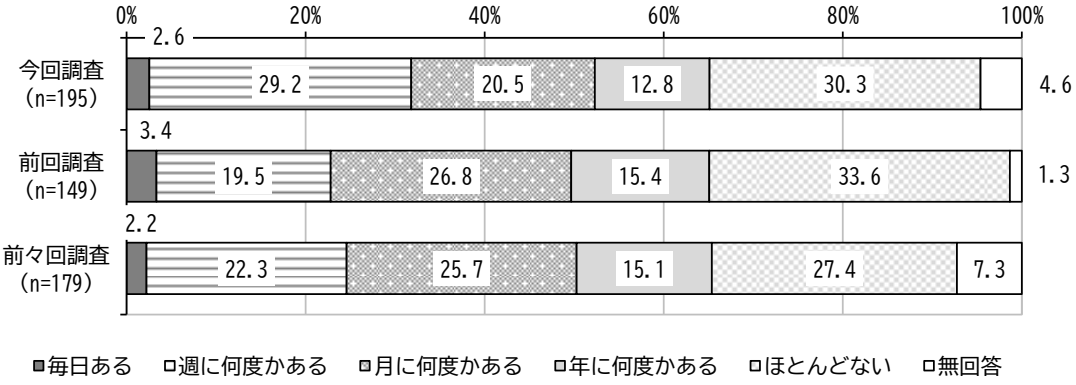
		合計（人）	自治会・町内会・老人クラブ	社会福祉協議会・民生委員	ケアマネジャー	医師・歯科医師・看護師	地域包括支援センター・町役場	その他	そのような人はいない	無回答
性別	男性	51	3.9	21.6	31.4	27.5	33.3	0.0	29.4	3.9
	女性	144	1.4	10.4	45.1	27.1	38.9	8.3	11.8	8.3
年齢別	65～74歳	14	0.0	7.1	35.7	21.4	35.7	21.4	35.7	0.0
	75～84歳	75	0.0	16.0	37.3	22.7	38.7	2.7	21.3	6.7
	85歳以上	106	3.8	12.3	45.3	31.1	36.8	6.6	10.4	8.5
世帯構成別	１人暮らし	71	2.8	16.9	43.7	26.8	39.4	7.0	8.5	8.5
	夫婦２人暮らし(配偶者65歳以上)	67	1.5	13.4	37.3	29.9	38.8	6.0	22.4	4.5
	夫婦２人暮らし(配偶者64歳以下)	4	0.0	25.0	25.0	25.0	25.0	0.0	25.0	0.0
	息子・娘との２世帯	23	0.0	8.7	43.5	26.1	21.7	0.0	30.4	13.0
	その他	22	4.5	9.1	45.5	18.2	50.0	9.1	9.1	4.5
居住地区別	字大山崎	73	1.4	9.6	41.1	26.0	32.9	4.1	23.3	8.2
	字円明寺	103	1.9	16.5	39.8	26.2	42.7	7.8	11.7	5.8
	字下植野	19	5.3	10.5	52.6	36.8	26.3	5.3	15.8	10.5
認定状況別	要支援１	128	0.8	12.5	39.1	28.9	39.1	7.0	17.2	7.0
	要支援２	67	4.5	14.9	46.3	23.9	34.3	4.5	14.9	7.5

（6） 友人・知人と会う頻度

問 58	友人・知人と会う頻度はどれくらいですか。（○は1つ）

友人・知人と会う頻度について、「ほとんどない」が 30.3％で最も高く、次いで「週に何度かある」が 29.2％、「月に何度かある」が 20.5％となっています。また、前回調査と比較して「ほとんどない」が 3.3 ポイント減少しています。

【図表3－7－9 友人・知人と会う頻度】



性別にみると、男性では、「ほとんどない」が 52.9％で最も高く、女性では、「週に何度かある」が 36.8％で最も高くなっています。

年齢別にみると、「ほとんどない」では、85 歳以上が 33.0％で最も高くなっています。

居住地区別にみると、「ほとんどない」では、字下植野が 42.1％で最も高くなっています。

【図表3－7－10 友人・知人と会う頻度（クロス集計）】

※網掛けは最も割合が高いもの　単位：（％）

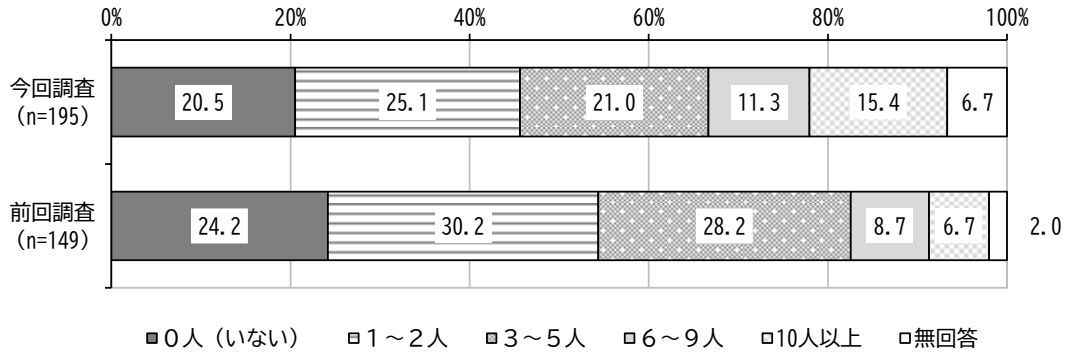
		合計（人）	毎日ある	週に何度かある	月に何度かある	年に何度かある	ほとんどない	無回答
性別	男性	51	0.0	7.8	19.6	15.7	52.9	3.9
	女性	144	3.5	36.8	20.8	11.8	22.2	4.9
年齢別	65～74歳	14	14.3	21.4	21.4	28.6	14.3	0.0
	75～84歳	75	1.3	32.0	17.3	17.3	29.3	2.7
	85歳以上	106	1.9	28.3	22.6	7.5	33.0	6.6
世帯構成別	１人暮らし	71	4.2	36.6	28.2	5.6	19.7	5.6
	夫婦２人暮らし（配偶者65歳以上）	67	0.0	25.4	14.9	19.4	38.8	1.5
	夫婦２人暮らし（配偶者64歳以下）	4	0.0	0.0	25.0	0.0	75.0	0.0
	息子・娘との２世帯	23	0.0	26.1	26.1	17.4	26.1	4.3
	その他	22	9.1	18.2	13.6	18.2	31.8	9.1
居住地区別	字大山崎	73	0.0	28.8	19.2	15.1	30.1	6.8
	字円明寺	103	3.9	30.1	22.3	12.6	28.2	2.9
	字下植野	19	5.3	26.3	15.8	5.3	42.1	5.3
認定状況別	要支援１	128	2.3	32.0	23.4	13.3	25.0	3.9
	要支援２	67	3.0	23.9	14.9	11.9	40.3	6.0

（7） この1か月間で会った友人・知人の人数

問 59	この1か月間、何人の友人・知人と会いましたか。 同じ人には何度会っても１人と数えることとします。（○は1つ）

この1か月間で会った友人・知人の人数について、「1～2人」が 25.1%で最も高く、次いで「3～5人」が 21.0%、「0人（いない）」が 20.5%となっています。また、前回調査と比較して「10 人以上」が 8.7 ポイント増加しています。

【図表3－7－11 この1か月間で会った友人・知人の人数】



性別にみると、男性では、「0人（いない）」が 41.2%で最も高く、女性では、「1～2人」が 25.7%で最も高くなっています。

年齢別にみると、65～74 歳では「3～5人」の割合が最も高く、75 歳以上では「1～2人の」割合が最も高くなっています。

【図表3－7－12 この1か月間で会った友人・知人の人数（クロス集計）】

※網掛けは最も割合が高いもの　単位：（%）

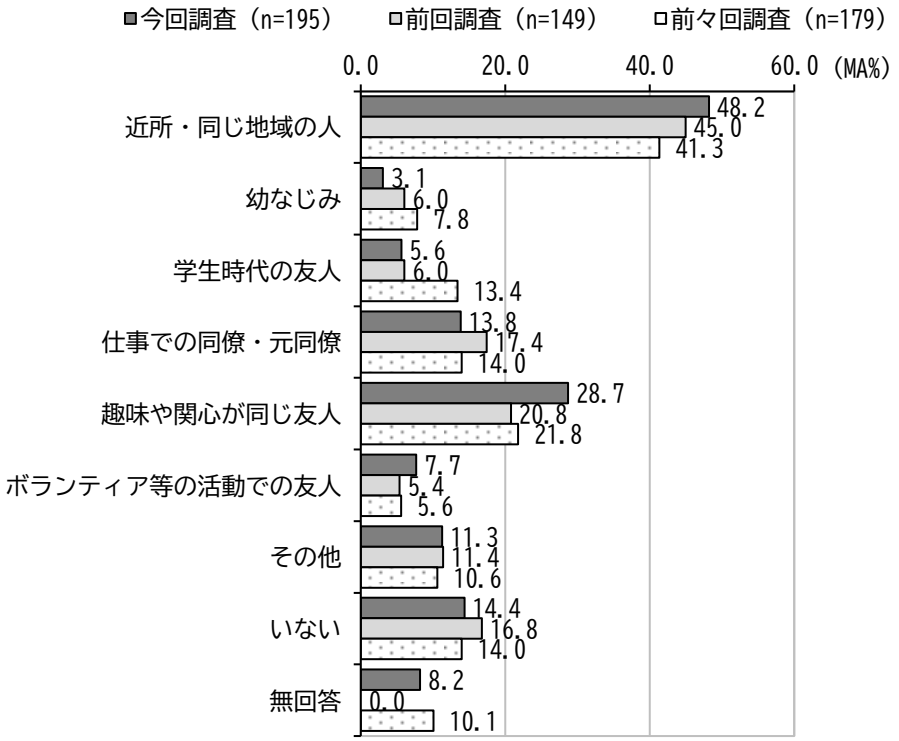
		合計（人）	0人（いない）	1～2人	3～5人	6～9人	10人以上	無回答
性別	男性	51	41.2	23.5	11.8	5.9	13.7	3.9
	女性	144	13.2	25.7	24.3	13.2	16.0	7.6
年齢別	65～74歳	14	14.3	21.4	42.9	14.3	7.1	0.0
	75～84歳	75	21.3	24.0	22.7	9.3	18.7	4.0
	85歳以上	106	20.8	26.4	17.0	12.3	14.2	9.4
世帯構成別	１人暮らし	71	14.1	23.9	25.4	12.7	18.3	5.6
	夫婦２人暮らし（配偶者65歳以上）	67	26.9	23.9	17.9	11.9	13.4	6.0
	夫婦２人暮らし（配偶者64歳以下）	4	50.0	0.0	25.0	0.0	25.0	0.0
	息子・娘との２世帯	23	13.0	21.7	26.1	17.4	8.7	13.0
	その他	22	22.7	45.5	13.6	4.5	13.6	0.0
居住地区別	字大山崎	73	16.4	30.1	24.7	8.2	11.0	9.6
	字円明寺	103	22.3	22.3	18.4	13.6	18.4	4.9
	字下植野	19	26.3	21.1	21.1	10.5	15.8	5.3
認定状況別	要支援１	128	14.1	30.5	22.7	9.4	15.6	7.8
	要支援２	67	32.8	14.9	17.9	14.9	14.9	4.5

（8） よく会う友人・知人

問 60	よく会う友人・知人はどんな関係の人ですか。（○はいくつでも）

よく会う友人・知人について、「近所・同じ地域の人」が 48.2%で最も高く、次いで「趣味や関心が同じ友人」が 28.7%、「いない」が 14.4%となっています。また、前回調査と比較して「近所・同じ地域の人」が 3.2 ポイント、「趣味や関心が同じ友人」が 7.9 ポイント増加しています。

【図表3－7－13 よく会う友人・知人】



【図表3－7－14 よく会う友人・知人（クロス集計）】

※網掛けは最も割合が高いもの　単位：（MA%）

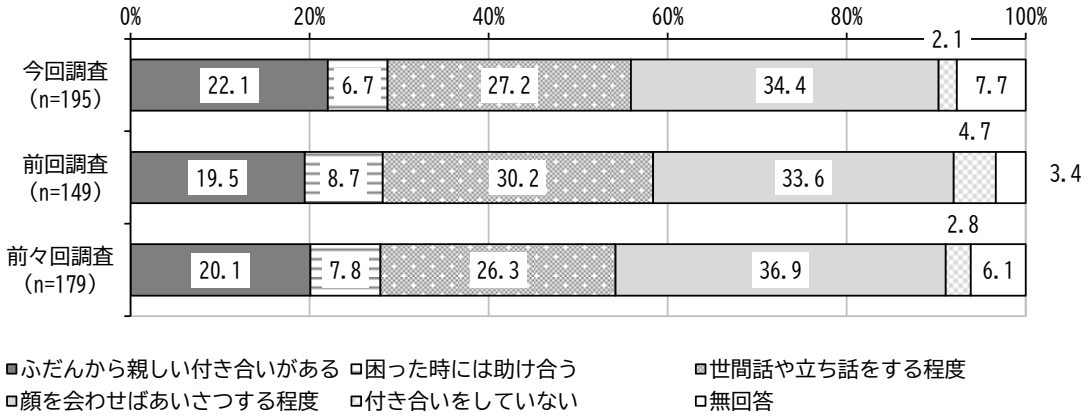
		合計（人）	近所・同じ地域の人	幼なじみ	学生時代の友人	仕事での同僚・元同僚	趣味や関心が同じ友人	ボランティア等の活動での友人	その他	いない	無回答
性別	男性	51	27.5	5.9	7.8	15.7	21.6	5.9	5.9	33.3	7.8
	女性	144	55.6	2.1	4.9	13.2	31.3	8.3	13.2	7.6	8.3
年齢別	65～74歳	14	71.4	0.0	21.4	28.6	14.3	7.1	7.1	7.1	7.1
	75～84歳	75	53.3	5.3	4.0	16.0	28.0	8.0	6.7	16.0	6.7
	85歳以上	106	41.5	1.9	4.7	10.4	31.1	7.5	15.1	14.2	9.4
世帯構成別	１人暮らし	71	62.0	5.6	5.6	15.5	35.2	7.0	9.9	7.0	4.2
	夫婦２人暮らし（配偶者65歳以上）	67	37.3	1.5	4.5	13.4	28.4	10.4	13.4	23.9	7.5
	夫婦２人暮らし（配偶者64歳以下）	4	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	25.0	0.0	75.0	0.0
	息子・娘との２世帯	23	43.5	0.0	13.0	21.7	17.4	4.3	17.4	4.3	13.0
	その他	22	59.1	4.5	0.0	9.1	36.4	4.5	0.0	9.1	9.1
居住地区別	字大山崎	73	43.8	5.5	6.8	17.8	26.0	1.4	16.4	8.2	15.1
	字円明寺	103	52.4	1.9	5.8	11.7	34.0	12.6	6.8	17.5	3.9
	字下植野	19	42.1	0.0	0.0	10.5	10.5	5.3	15.8	21.1	5.3
認定状況別	要支援１	128	50.8	4.7	7.0	14.1	32.8	10.2	7.0	10.9	8.6
	要支援２	67	43.3	0.0	3.0	13.4	20.9	3.0	19.4	20.9	7.5

（9） 隣近所の人との付き合いの状況

問 61	隣近所の人とどの程度お付き合いをしていますか。(○は1つ)

隣近所の人との付き合いの状況について、「顔を会わせばあいさつする程度」が 34.4%で最も高く、次いで「世間話や立ち話をする程度」が 27.2%、「ふだんから親しい付き合いがある」が 22.1%となっています。また、前回調査と比較して「ふだんから親しい付き合いがある」が 2.6 ポイント増加しています。

【図表3－7－15 隣近所の人との付き合いの状況】



性別にみると、男性では、「顔を会わせばあいさつする程度」が 54.9%で最も高く、女性では、「世間話や立ち話をする程度」が 31.9%で最も高くなっています。

【図表3－7－16 隣近所の人との付き合いの状況(クロス集計)】

※網掛けは最も割合が高いもの　単位：(%)

		合計（人）	ふだんから親しい付き合いがある	困った時には助け合う	世間話や立ち話をする程度	顔を会わせばあいさつする程度	付き合いをしていない	無回答
性別	男性	51	17.6	3.9	13.7	**54.9**	3.9	5.9
	女性	144	23.6	7.6	**31.9**	27.1	1.4	8.3
年齢別	65～74歳	14	14.3	7.1	**35.7**	**35.7**	7.1	0.0
	75～84歳	75	17.3	10.7	26.7	**38.7**	0.0	6.7
	85歳以上	106	26.4	3.8	26.4	**31.1**	2.8	9.4
世帯構成別	１人暮らし	71	28.2	9.9	**29.6**	23.9	1.4	7.0
	夫婦２人暮らし(配偶者65歳以上)	67	20.9	6.0	22.4	**40.3**	3.0	7.5
	夫婦２人暮らし(配偶者64歳以下)	4	0.0	0.0	25.0	**75.0**	0.0	0.0
	息子・娘との２世帯	23	21.7	0.0	30.4	**34.8**	4.3	8.7
	その他	22	13.6	9.1	31.8	**40.9**	0.0	4.5
居住地区別	字大山崎	73	19.2	1.4	31.5	**37.0**	2.7	8.2
	字円明寺	103	24.3	9.7	26.2	**29.1**	1.9	8.7
	字下植野	19	21.1	10.5	15.8	**52.6**	0.0	0.0
認定状況別	要支援１	128	22.7	7.8	28.1	**32.8**	0.8	7.8
	要支援２	67	20.9	4.5	25.4	**37.3**	4.5	7.5

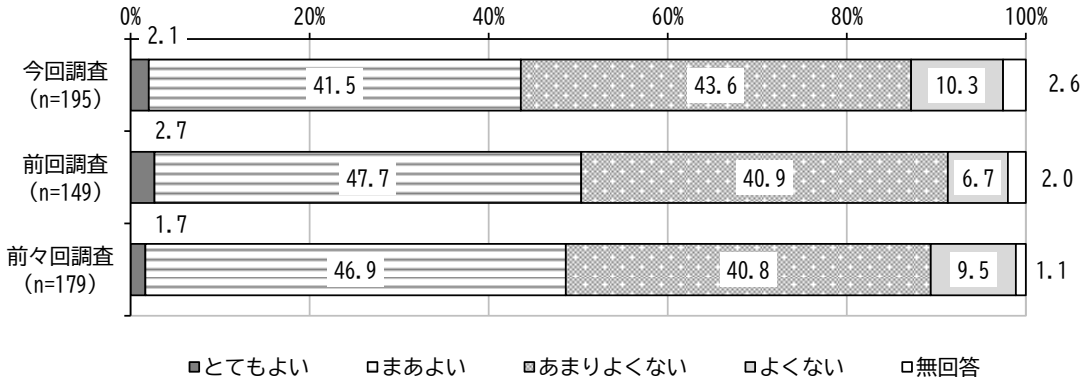
8. 健康について

(1) 健康状態

問 62	現在のあなたの健康状態はいかがですか。(○は1つ)

健康状態について、「あまりよくない」が 43.6%で最も高く、次いで「まあよい」が 41.5%、「よくない」が10.3%となっています。また、前回調査と比較して「よくない」が 3.6 ポイント増加しています。

【図表3－8－1 健康状態】



性別にみると、男性では、「あまりよくない」が51.0%で最も高く、女性では、「まあよい」が43.8%で最も高くなっています。

年齢別にみると、75 歳以上で「あまりよくない」の割合が最も高くなっています。

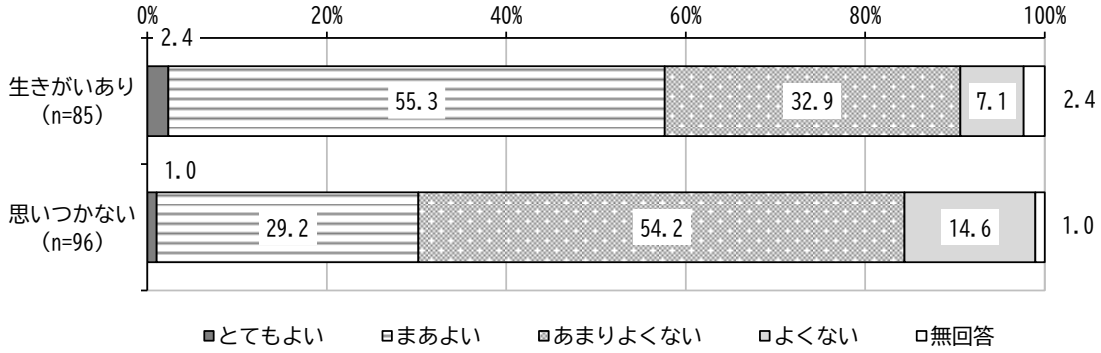
【図表3－8－2 健康状態(クロス集計)】

※網掛けは最も割合が高いもの　単位：(%)

		合計(人)	とてもよい	まあよい	あまりよくない	よくない	無回答
性別	男性	51	0.0	35.3	51.0	11.8	2.0
	女性	144	2.8	43.8	41.0	9.7	2.8
年齢別	65～74歳	14	0.0	50.0	35.7	14.3	0.0
	75～84歳	75	4.0	38.7	45.3	8.0	4.0
	85歳以上	106	0.9	42.5	43.4	11.3	1.9
世帯構成別	１人暮らし	71	4.2	45.1	46.5	4.2	0.0
	夫婦２人暮らし(配偶者65歳以上)	67	1.5	46.3	38.8	11.9	1.5
	夫婦２人暮らし(配偶者64歳以下)	4	0.0	0.0	75.0	25.0	0.0
	息子・娘との２世帯	23	0.0	34.8	47.8	13.0	4.3
	その他	22	0.0	31.8	40.9	22.7	4.5
居住地区別	字大山崎	73	4.1	38.4	43.8	9.6	4.1
	字円明寺	103	1.0	42.7	43.7	10.7	1.9
	字下植野	19	0.0	47.4	42.1	10.5	0.0
認定状況別	要支援１	128	3.1	46.1	40.6	7.0	3.1
	要支援２	67	0.0	32.8	49.3	16.4	1.5

健康状態を生きがいの有無別でみると、「生きがいあり」の「とてもよい」「まあよい」の割合が「思いつかない」より高くなっています。

【図表3－8－3 健康状態(生きがいの有無別)】

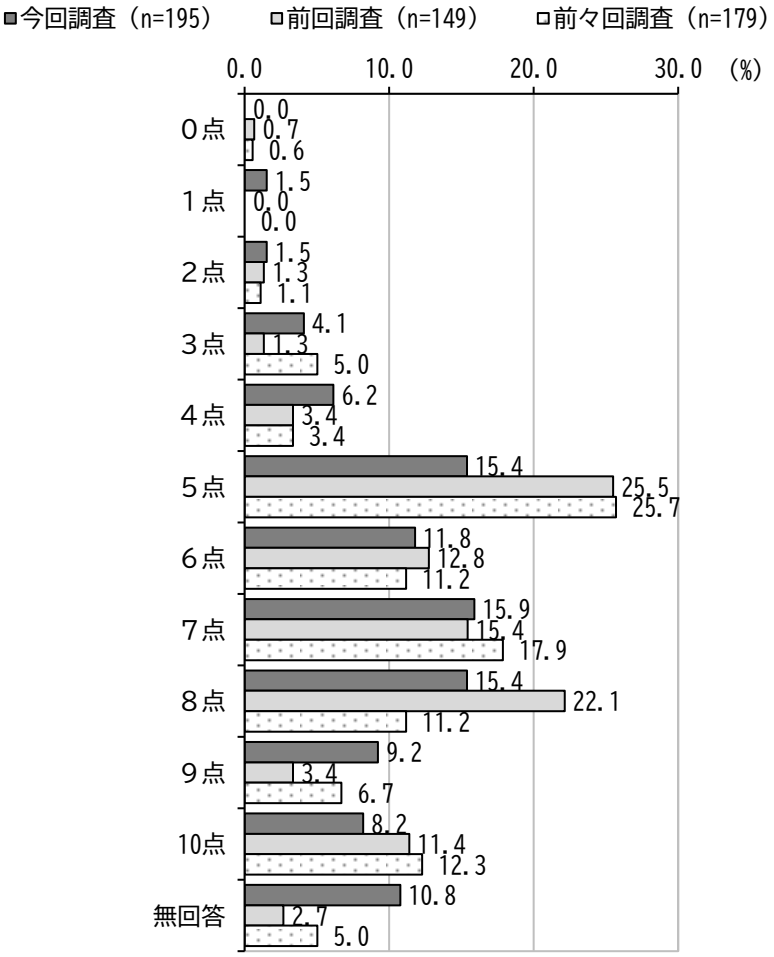


(2) 幸福度

問 63	あなたは、現在どの程度幸せですか。 (「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を 10 点として、ご記入ください。)(○は1つ)

幸福度について、「7点」が 15.9%で最も高く、次いで「5点」「8点」が 15.4%、「6点」が 11.8%となっています。また、前回調査と比較して「10 点」が 3.2 ポイント減少しています。

【図表3－8－4 幸福度】



性別にみると、男性では、「5点」が 17.6%で最も高く、女性では、「8点」が 16.7%で最も高くなっています。
年齢別にみると、「10 点」では、85 歳以上が 10.4%で最も高くなっています。

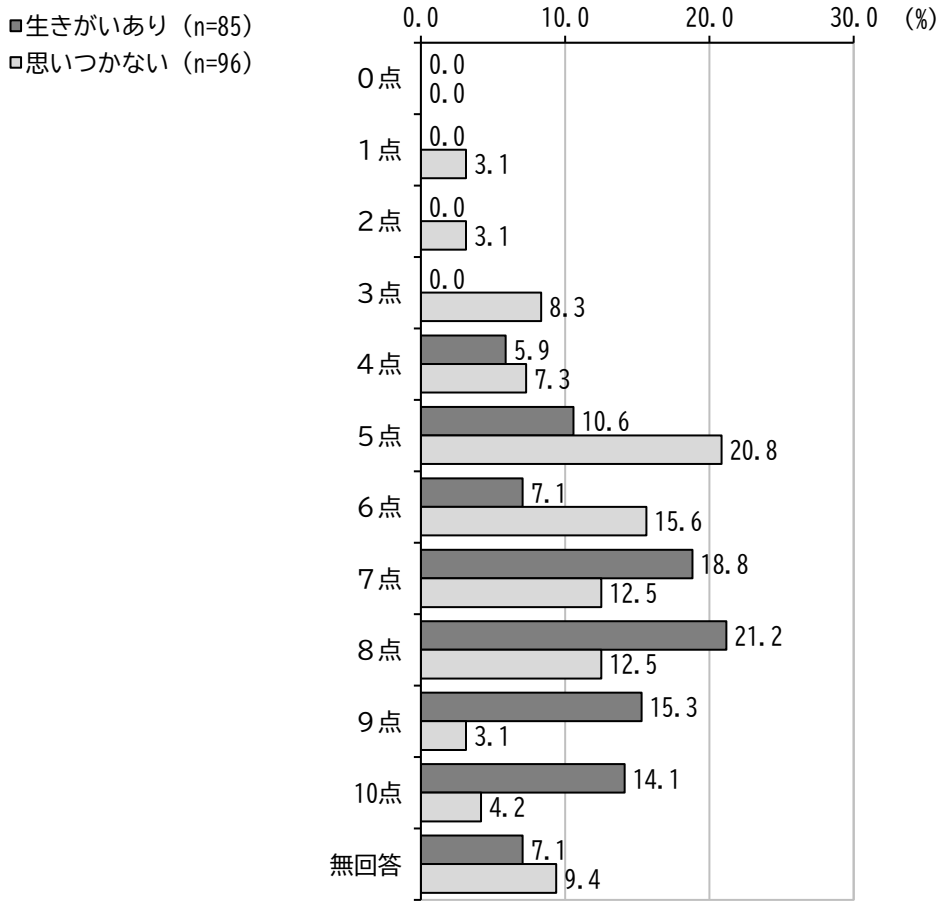
【図表3－8－5 幸福度(クロス集計)】

※網掛けは最も割合が高いもの　単位：(%)

		合計（人）	0点	1点	2点	3点	4点	5点	6点	7点	8点	9点	10点	無回答
性別	男性	51	0.0	3.9	5.9	3.9	7.8	17.6	15.7	15.7	11.8	5.9	7.8	3.9
	女性	144	0.0	0.7	0.0	4.2	5.6	14.6	10.4	16.0	16.7	10.4	8.3	13.2
年齢別	65～74歳	14	0.0	7.1	0.0	7.1	0.0	21.4	14.3	21.4	14.3	7.1	7.1	0.0
	75～84歳	75	0.0	1.3	1.3	2.7	9.3	22.7	12.0	13.3	10.7	12.0	5.3	9.3
	85歳以上	106	0.0	0.9	1.9	4.7	4.7	9.4	11.3	17.0	18.9	7.5	10.4	13.2
世帯構成別	１人暮らし	71	0.0	1.4	1.4	5.6	8.5	12.7	11.3	16.9	12.7	8.5	5.6	15.5
	夫婦２人暮らし(配偶者65歳以上)	67	0.0	1.5	0.0	4.5	6.0	22.4	11.9	14.9	14.9	11.9	7.5	4.5
	夫婦２人暮らし(配偶者64歳以下)	4	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	25.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0
	息子・娘との２世帯	23	0.0	4.3	0.0	4.3	0.0	8.7	13.0	21.7	17.4	4.3	21.7	4.3
	その他	22	0.0	0.0	9.1	0.0	4.5	18.2	13.6	18.2	13.6	4.5	9.1	9.1
居住地区別	字大山崎	73	0.0	0.0	2.7	4.1	6.8	19.2	13.7	13.7	9.6	11.0	6.8	12.3
	字円明寺	103	0.0	2.9	1.0	1.9	5.8	12.6	11.7	16.5	21.4	5.8	9.7	10.7
	字下植野	19	0.0	0.0	0.0	15.8	5.3	15.8	5.3	21.1	5.3	21.1	5.3	5.3
認定状況別	要支援１	128	0.0	1.6	1.6	4.7	7.0	17.2	10.2	15.6	14.8	10.2	7.0	10.2
	要支援２	67	0.0	1.5	1.5	3.0	4.5	11.9	14.9	16.4	16.4	7.5	10.4	11.9

幸福度を生きがいの有無別にみると、「生きがいあり」は「7点～10 点」の割合が多く、「思いつかない」は「5点～8点」の割合が多くなっています。

【図表3－8－6 幸福度(生きがいの有無別)】

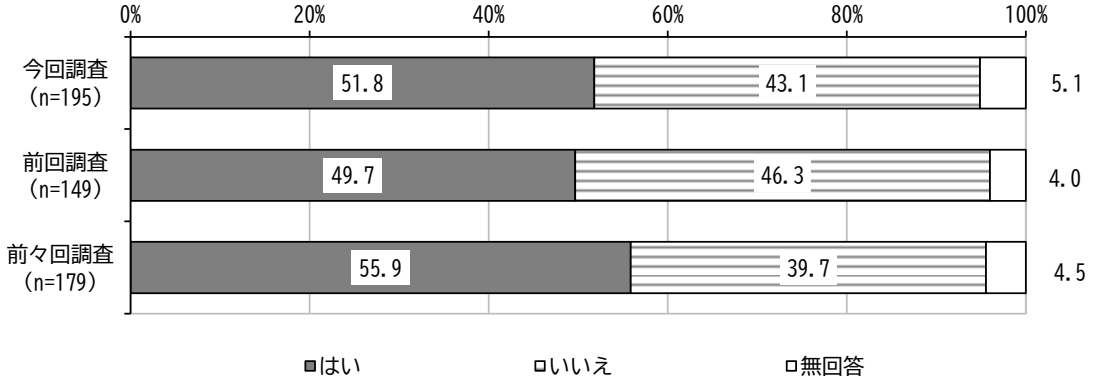


（3） この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりしたか

問 64	この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか。（○は1つ）

この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりしたかについて、「はい」が 51.8%、「いいえ」が 43.1%となっています。また、前回調査と比較して「はい」が 2.1 ポイント増加しています。

【図表3－8－7 この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりしたか】

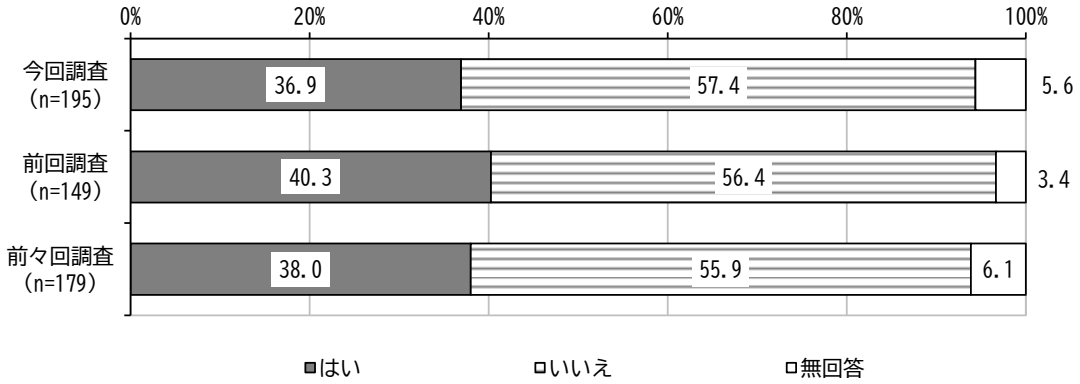


（4） この1か月間、物事に興味がわかない、心から楽しめない感じがよくあったか

問 65	この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか。（○は1つ）

この1か月間、物事に興味がわかない、心から楽しめない感じがよくあったかについて、「はい」が 36.9%、「いいえ」が 57.4%となっています。また、前回調査と比較して「はい」が 3.4 ポイント減少しています。

【図表3－8－8 この1か月間、物事に興味がわかない、心から楽しめない感じがよくあったか】

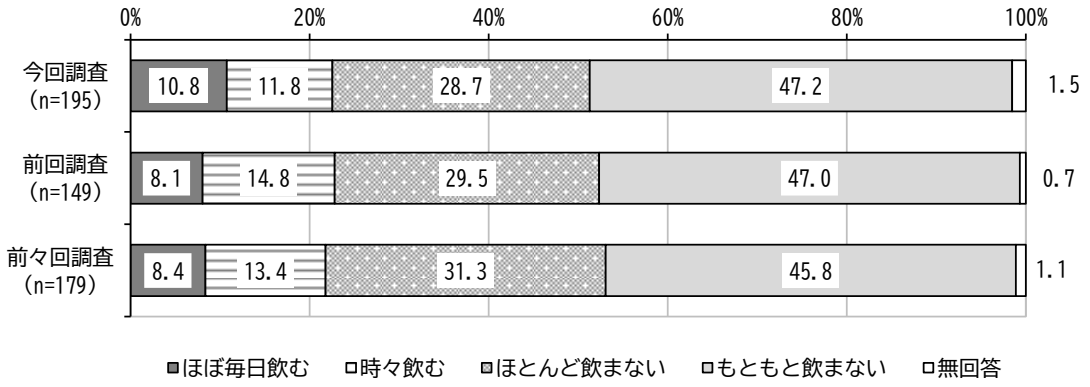


（5） 飲酒状況

問 66	お酒は飲みますか。（○は1つ）

飲酒状況について、「もともと飲まない」が 47.2％で最も高く、次いで「ほとんど飲まない」が 28.7％、「時々飲む」が 11.8％となっています。また、前回調査と比較して「ほぼ毎日飲む」が 2.7 ポイント増加しています。

【図表3－8－9 飲酒状況】



性別にみると、男性では、「ほぼ毎日飲む」が 31.4％で最も高く、女性では、「もともと飲まない」が 56.9％で最も高くなっています。

【図表3－8－10 飲酒状況（クロス集計）】

※網掛けは最も割合が高いもの　単位：（％）

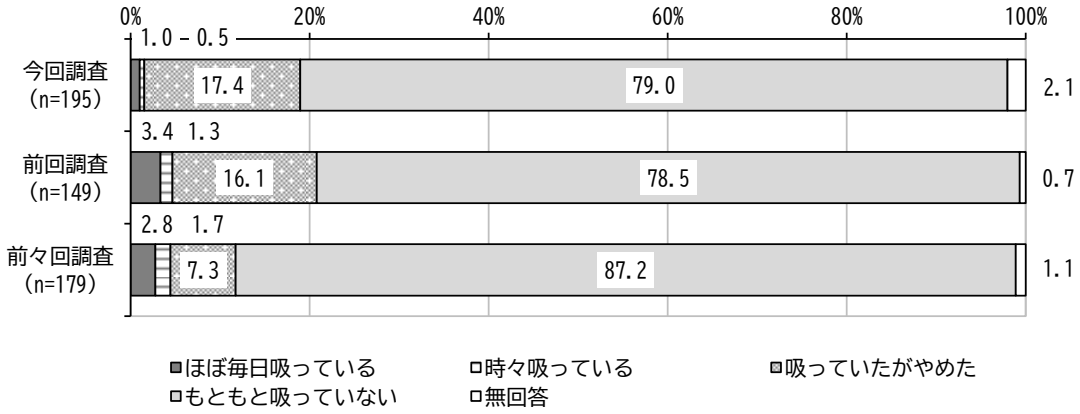
		合計（人）	ほぼ毎日飲む	時々飲む	ほとんど飲まない	もともと飲まない	無回答
性別	男性	51	31.4	15.7	31.4	19.6	2.0
	女性	144	3.5	10.4	27.8	56.9	1.4
年齢別	65～74歳	14	0.0	0.0	42.9	57.1	0.0
	75～84歳	75	12.0	10.7	32.0	44.0	1.3
	85歳以上	106	11.3	14.2	24.5	48.1	1.9
世帯構成別	１人暮らし	71	4.2	14.1	29.6	49.3	2.8
	夫婦２人暮らし（配偶者65歳以上）	67	11.9	11.9	32.8	43.3	0.0
	夫婦２人暮らし（配偶者64歳以下）	4	25.0	0.0	25.0	50.0	0.0
	息子・娘との２世帯	23	13.0	17.4	21.7	47.8	0.0
	その他	22	22.7	4.5	27.3	45.5	0.0
居住地区別	字大山崎	73	11.0	15.1	28.8	42.5	2.7
	字円明寺	103	9.7	9.7	30.1	49.5	1.0
	字下植野	19	15.8	10.5	21.1	52.6	0.0
認定状況別	要支援１	128	8.6	14.1	29.7	45.3	2.3
	要支援２	67	14.9	7.5	26.9	50.7	0.0

（6） 喫煙状況

問 67	タバコは吸っていますか。（○は1つ）

喫煙状況について、「もともと吸っていない」が 79.0%で最も高く、次いで「吸っていたがやめた」が 17.4%、「ほぼ毎日吸っている」が 1.0%となっています。また、前回調査と比較して「ほぼ毎日吸っている」が 2.4 ポイント減少しています。

【図表3－8－11 喫煙状況】

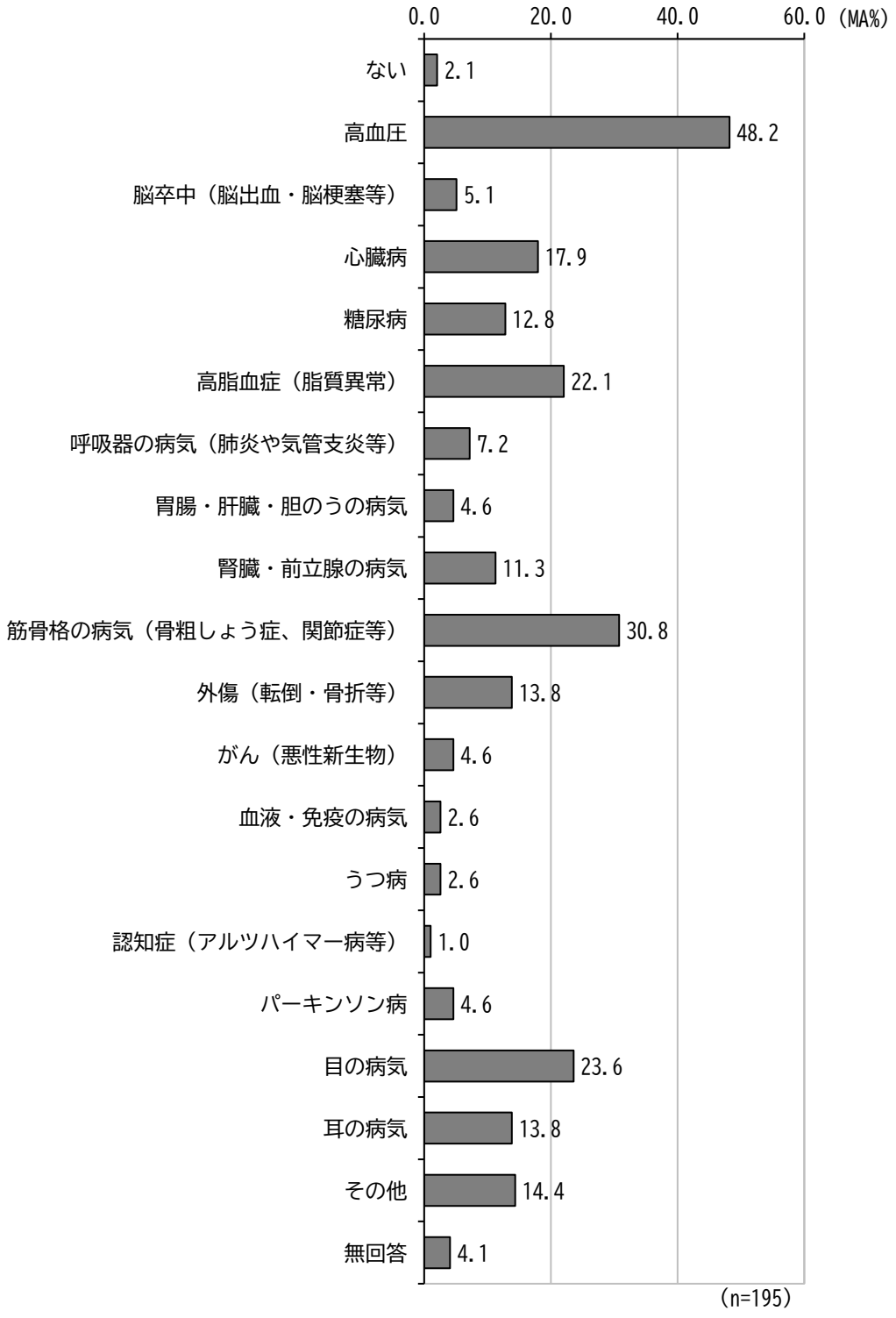


（7） 現在治療中、または後遺症のある病気

問 68	現在治療中、または後遺症のある病気はありますか。（○はいくつでも）

現在治療中、または後遺症のある病気について、「高血圧」が 48.2%で最も高く、次いで「筋骨格の病気（骨粗しょう症、関節症等）」が 30.8%、「目の病気」が 23.6%となっています。

【図表3－8－12 現在治療中、または後遺症のある病気】



性別にみると、男性・女性ともに「高血圧」が最も高くなっています。

年齢別にみると、「認知症（アルツハイマー病等）」では、75～84 歳が 2.7%で最も高くなっています。

また、居住地区別にみると、「認知症（アルツハイマー病等）」では、字大山崎が 1.4%で最も高くなっています。

【図表3－8－13 現在治療中、または後遺症のある病気（クロス集計）】

※網掛けは最も割合が高いもの　単位：（MA%）

		合計（人）	ない	高血圧	脳卒中（脳出血・脳梗塞等）	心臓病	糖尿病	高脂血症（脂質異常）	呼吸器の病気（肺炎や気管支炎等）	胃腸・肝臓・胆のうの病気	腎臓・前立腺の病気	筋骨格の病気（骨粗しょう症、関節症等）	外傷（転倒・骨折等）
性別	男性	51	0.0	52.9	7.8	29.4	13.7	7.8	13.7	0.0	27.5	7.8	11.8
	女性	144	2.8	46.5	4.2	13.9	12.5	27.1	4.9	6.3	5.6	38.9	14.6
年齢別	65～74歳	14	7.1	14.3	0.0	0.0	7.1	21.4	0.0	0.0	0.0	35.7	14.3
	75～84歳	75	0.0	50.7	5.3	13.3	14.7	24.0	9.3	5.3	9.3	34.7	16.0
	85歳以上	106	2.8	50.9	5.7	23.6	12.3	20.8	6.6	4.7	14.2	27.4	12.3
世帯構成別	１人暮らし	71	1.4	47.9	5.6	14.1	8.5	25.4	5.6	1.4	4.2	31.0	16.9
	夫婦２人暮らし（配偶者65歳以上）	67	1.5	47.8	6.0	22.4	14.9	20.9	11.9	9.0	17.9	32.8	10.4
	夫婦２人暮らし（配偶者64歳以下）	4	0.0	25.0	0.0	25.0	25.0	0.0	50.0	0.0	25.0	0.0	0.0
	息子・娘との２世帯	23	4.3	47.8	4.3	30.4	13.0	30.4	0.0	8.7	4.3	30.4	4.3
	その他	22	4.5	54.5	4.5	9.1	13.6	18.2	0.0	0.0	22.7	31.8	27.3
居住地区別	字大山崎	73	1.4	46.6	4.1	19.2	12.3	17.8	8.2	5.5	6.8	27.4	11.0
	字円明寺	103	1.9	46.6	5.8	18.4	10.7	27.2	7.8	3.9	14.6	33.0	13.6
	字下植野	19	5.3	63.2	5.3	10.5	26.3	10.5	0.0	5.3	10.5	31.6	26.3
認定状況別	要支援１	128	2.3	48.4	5.5	14.8	14.1	22.7	5.5	4.7	9.4	30.5	12.5
	要支援２	67	1.5	47.8	4.5	23.9	10.4	20.9	10.4	4.5	14.9	31.3	16.4

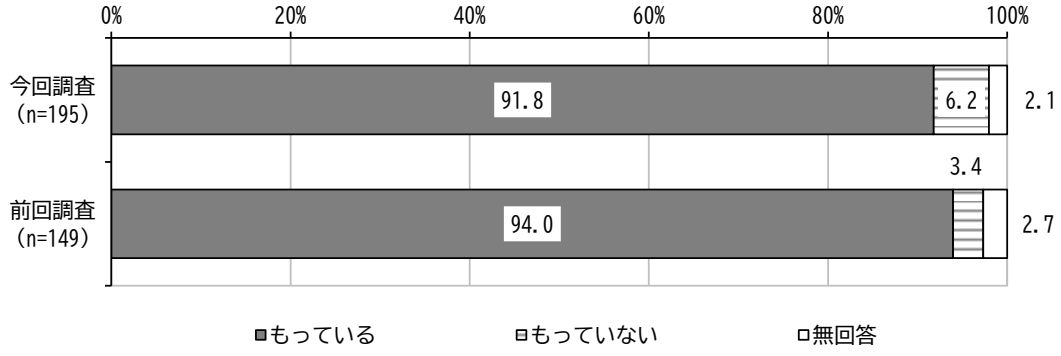
		合計（人）	がん（悪性新生物）	血液・免疫の病気	うつ病	認知症（アルツハイマー病等）	パーキンソン病	目の病気	耳の病気	その他	無回答
性別	男性	51	3.9	2.0	2.0	2.0	5.9	19.6	11.8	13.7	5.9
	女性	144	4.9	2.8	2.8	0.7	4.2	25.0	14.6	14.6	3.5
年齢別	65～74歳	14	14.3	7.1	0.0	0.0	21.4	0.0	14.3	21.4	0.0
	75～84歳	75	5.3	2.7	5.3	2.7	2.7	22.7	4.0	14.7	4.0
	85歳以上	106	2.8	1.9	0.9	0.0	3.8	27.4	20.8	13.2	4.7
世帯構成別	１人暮らし	71	8.5	2.8	1.4	0.0	4.2	23.9	12.7	12.7	8.5
	夫婦２人暮らし（配偶者65歳以上）	67	3.0	1.5	0.0	3.0	4.5	23.9	14.9	14.9	0.0
	夫婦２人暮らし（配偶者64歳以下）	4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	25.0	25.0
	息子・娘との２世帯	23	4.3	0.0	4.3	0.0	8.7	26.1	21.7	13.0	0.0
	その他	22	0.0	9.1	4.5	0.0	4.5	9.1	9.1	13.6	0.0
居住地区別	字大山崎	73	5.5	2.7	4.1	1.4	4.1	23.3	9.6	17.8	8.2
	字円明寺	103	4.9	1.9	1.9	1.0	5.8	20.4	14.6	10.7	1.9
	字下植野	19	0.0	5.3	0.0	0.0	0.0	42.1	26.3	21.1	0.0
認定状況別	要支援１	128	4.7	3.1	1.6	1.6	4.7	24.2	11.7	11.7	5.5
	要支援２	67	4.5	1.5	4.5	0.0	4.5	22.4	17.9	19.4	1.5

（8） かかりつけ医を持っているか

問 69	「かかりつけ医」とは、日頃から健康について相談でき、体調が悪いときにまず診てもらえるような、地域の身近な医師のことです。あなたは「かかりつけ医」をもっていますか。（○は1つ）

かかりつけ医を持っているかについて、「もっている」が 91.8%、「もっていない」が 6.2%となっています。また、前回調査と比較して「もっている」が 2.2 ポイント減少しています。

【図表3－8－14 かかりつけ医を持っているか】



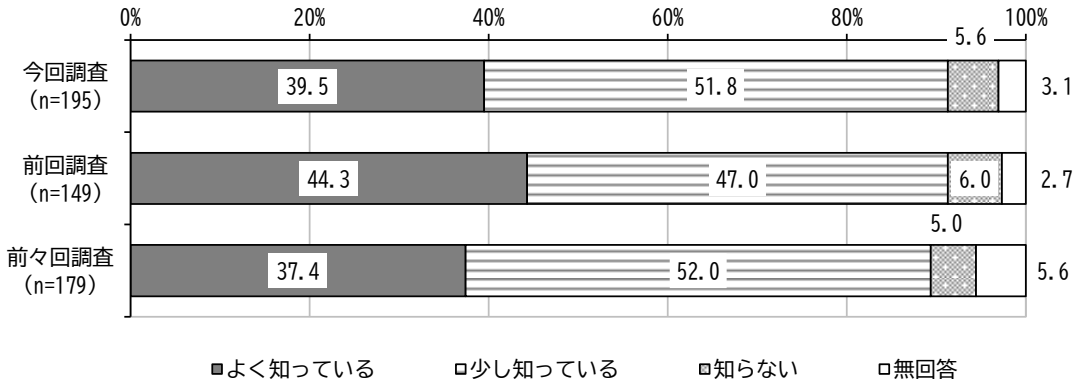
9. 認知症にかかる相談窓口の把握について

(1) 認知症の認知度

問 70	あなたは、認知症についてご存知ですか。(○は1つ)

認知症の認知度について、「少し知っている」が 51.8%で最も高く、次いで「よく知っている」が 39.5%、「知らない」が 5.6%となっています。また、前回調査と比較して「少し知っている」が 4.8 ポイント増加しています。

【図表3－9－1 認知症の認知度】



性別にみると、男性・女性ともに「少し知っている」が最も高くなっています。

年齢別にみると、「知らない」では、85 歳以上が 6.6%で最も高くなっています。

居住地区別にみると、「知らない」では、字大山崎が 8.2%で最も高くなっています。

【図表3－9－2 認知症の認知度(クロス集計)】

※網掛けは最も割合が高いもの　単位：(%)

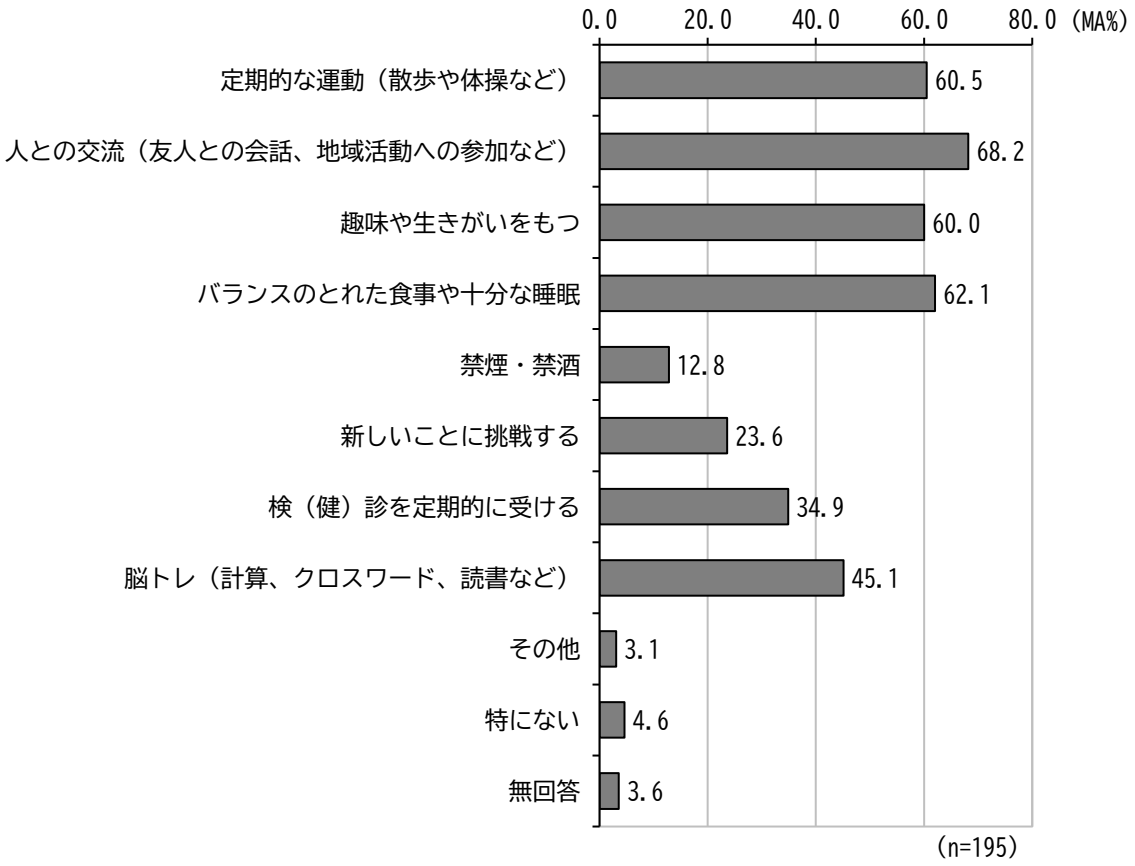
		合計（人）	よく知っている	少し知っている	知らない	無回答
性別	男性	51	43.1	45.1	7.8	3.9
	女性	144	38.2	54.2	4.9	2.8
年齢別	65～74歳	14	50.0	50.0	0.0	0.0
	75～84歳	75	41.3	52.0	5.3	1.3
	85歳以上	106	36.8	51.9	6.6	4.7
世帯構成別	１人暮らし	71	43.7	47.9	5.6	2.8
	夫婦２人暮らし(配偶者65歳以上)	67	34.3	61.2	3.0	1.5
	夫婦２人暮らし(配偶者64歳以下)	4	75.0	0.0	25.0	0.0
	息子・娘との２世帯	23	43.5	47.8	4.3	4.3
	その他	22	31.8	59.1	4.5	4.5
居住地区別	字大山崎	73	38.4	50.7	8.2	2.7
	字円明寺	103	41.7	50.5	4.9	2.9
	字下植野	19	31.6	63.2	0.0	5.3
認定状況別	要支援１	128	38.3	51.6	6.3	3.9
	要支援２	67	41.8	52.2	4.5	1.5

（2） 認知症予防のために効果的だと思うこと

問 71	あなたが認知症予防のために効果的だと思うことは何ですか。（○はいくつでも）

認知症予防のために効果的だと思うことについて、「人との交流（友人との会話、地域活動への参加など）」が 68.2%で最も高く、次いで「バランスのとれた食事や十分な睡眠」が 62.1%、「定期的な運動（散歩や体操など）」が 60.5%となっています。

【図表3－9－3 認知症予防のために効果的だと思うこと】



性別にみると、男性・女性ともに「人との交流（友人との会話、地域活動への参加など）」が最も高くなっています。

年齢別にみると、85 歳以上では「バランスのとれた食事や十分な睡眠」が最も高くなっています。

【図表3－9－4　認知症予防のために効果的だと思うこと（クロス集計）】

※網掛けは最も割合が高いもの　単位：（MA%）

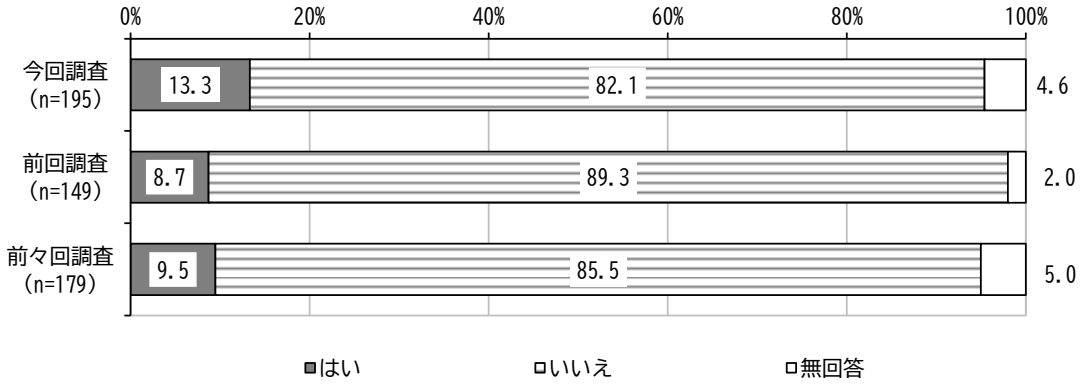
		合計（人）	定期的な運動（散歩や体操など）	人との交流（友人との会話、地域活動への参加など）	趣味や生きがいをもつ	バランスのとれた食事や十分な睡眠	禁煙・禁酒	新しいことに挑戦する	検（健）診を定期的に受ける	脳トレ（計算、クロスワード、読書など）	その他	特にない	無回答
性別	男性	51	51.0	56.9	51.0	45.1	9.8	15.7	31.4	29.4	3.9	7.8	3.9
	女性	144	63.9	72.2	63.2	68.1	13.9	26.4	36.1	50.7	2.8	3.5	3.5
年齢別	65～74歳	14	78.6	92.9	71.4	64.3	28.6	57.1	35.7	71.4	0.0	0.0	0.0
	75～84歳	75	64.0	76.0	60.0	61.3	10.7	30.7	41.3	46.7	1.3	4.0	1.3
	85歳以上	106	55.7	59.4	58.5	62.3	12.3	14.2	30.2	40.6	4.7	5.7	5.7
世帯構成別	１人暮らし	71	64.8	76.1	59.2	73.2	9.9	18.3	33.8	43.7	0.0	4.2	4.2
	夫婦２人暮らし（配偶者65歳以上）	67	64.2	70.1	70.1	58.2	20.9	34.3	41.8	53.7	3.0	1.5	3.0
	夫婦２人暮らし（配偶者64歳以下）	4	25.0	25.0	25.0	25.0	0.0	25.0	75.0	25.0	25.0	25.0	0.0
	息子・娘との２世帯	23	43.5	34.8	56.5	43.5	4.3	17.4	8.7	39.1	8.7	4.3	4.3
	その他	22	59.1	81.8	50.0	68.2	13.6	18.2	45.5	40.9	4.5	9.1	0.0
居住地区別	字大山崎	73	57.5	63.0	54.8	57.5	13.7	24.7	32.9	39.7	4.1	5.5	4.1
	字円明寺	103	59.2	72.8	66.0	67.0	11.7	24.3	37.9	47.6	1.9	3.9	3.9
	字下植野	19	78.9	63.2	47.4	52.6	15.8	15.8	26.3	52.6	5.3	5.3	0.0
認定状況別	要支援１	128	60.9	71.9	60.2	64.1	16.4	26.6	41.4	45.3	0.8	3.9	4.7
	要支援２	67	59.7	61.2	59.7	58.2	6.0	17.9	22.4	44.8	7.5	6.0	1.5

（3） 認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいるか

問 72	認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいますか。（○は1つ）

認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいるかについて、「はい」が 13.3%、「いいえ」が 82.1%となっています。また、前回調査と比較して「はい」が 4.6 ポイント増加しています。

【図表3－9－5 認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいるか】

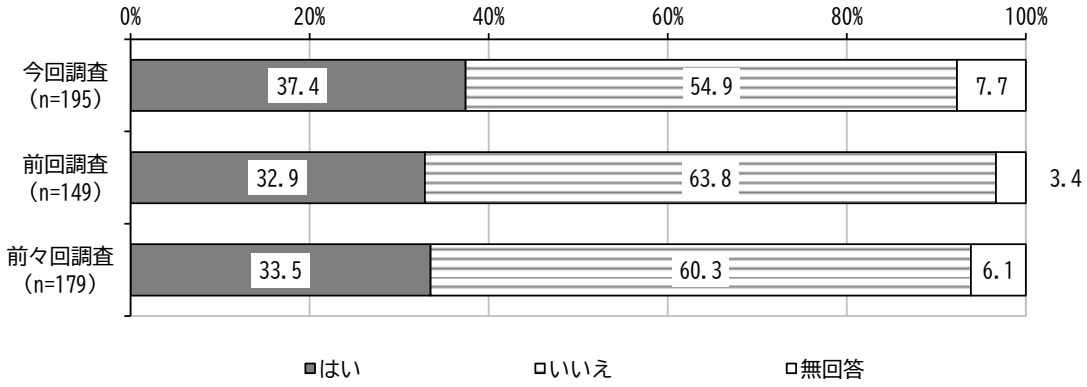


（4） 認知症に関する相談窓口を知っているか

問 73	認知症に関する相談窓口を知っていますか。（○は1つ）

認知症に関する相談窓口の認知状況について、「はい」が 37.4%、「いいえ」が 54.9%となっています。また、前回調査と比較して「はい」が 4.5 ポイント増加しています。

【図表3－9－6 認知症に関する相談窓口を知っているか】

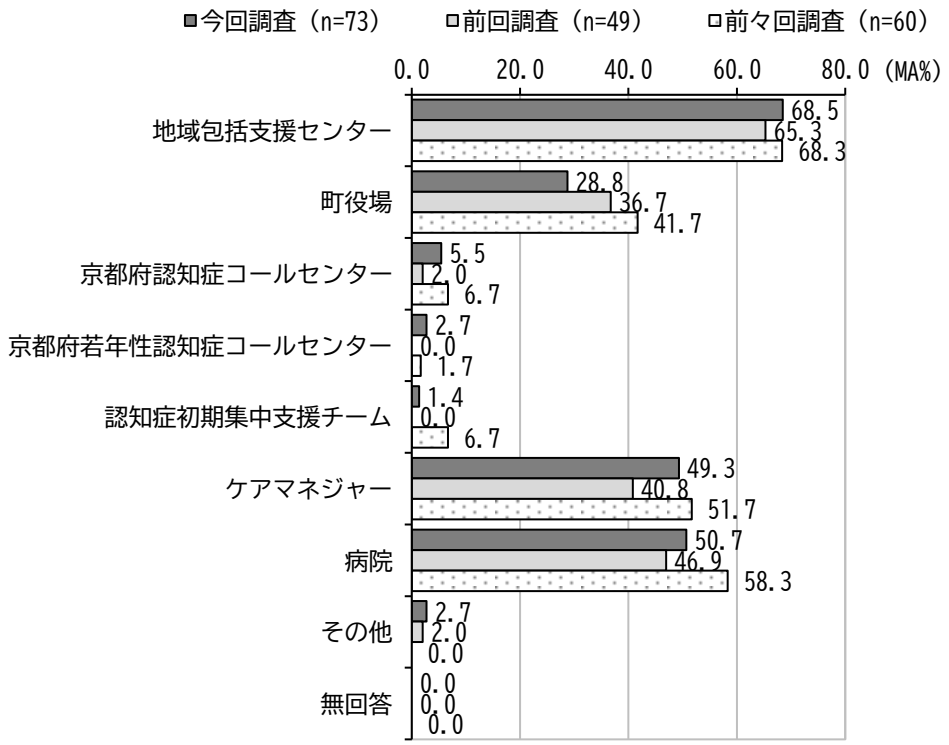


（5） 認知症に関する相談窓口の認知状況

問 73-1	**【問 73 で「はい」を回答された方のみ】** 認知症についての相談先としてどんなところをご存知ですか。（○はいくつでも）

認知症に関する相談窓口の認知状況について、「地域包括支援センター」が 68.5%で最も高く、次いで「病院」が 50.7%、「ケアマネジャー」が 49.3%となっています。また、前回調査と比較して「地域包括支援センター」が 3.2 ポイント増加しています。

【図表3－9－7 認知症に関する相談窓口の認知状況】



性別にみると、男性・女性ともに「地域包括支援センター」が最も高くなっています。

また、居住地区別にみると、字大山崎、字円明寺では「地域包括支援センター」が最も高く、字下植野では「病院」が最も高くなっています。

【図表3－9－8 認知症に関する相談窓口の認知状況(クロス集計)】

※網掛けは最も割合が高いもの 単位：(MA%)

		合計（人）	地域包括支援センター	町役場	京都府認知症コールセンター	京都府若年性認知症コールセンター	認知症初期集中支援チーム	ケアマネジャー	病院	その他	無回答
性別	男性	19	78.9	36.8	5.3	0.0	0.0	57.9	31.6	0.0	0.0
	女性	54	64.8	25.9	5.6	3.7	1.9	46.3	57.4	3.7	0.0
年齢別	65～74歳	6	100.0	66.7	33.3	16.7	16.7	66.7	66.7	16.7	0.0
	75～84歳	30	73.3	13.3	0.0	0.0	0.0	50.0	53.3	0.0	0.0
	85歳以上	37	59.5	35.1	5.4	2.7	0.0	45.9	45.9	2.7	0.0
世帯構成別	１人暮らし	28	67.9	17.9	7.1	7.1	3.6	50.0	64.3	3.6	0.0
	夫婦２人暮らし(配偶者65歳以上)	27	70.4	25.9	3.7	0.0	0.0	44.4	40.7	0.0	0.0
	夫婦２人暮らし(配偶者64歳以下)	1	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0
	息子・娘との２世帯	8	50.0	62.5	12.5	0.0	0.0	50.0	37.5	0.0	0.0
	その他	9	77.8	44.4	0.0	0.0	0.0	55.6	44.4	11.1	0.0
居住地区別	字大山崎	26	57.7	30.8	3.8	3.8	0.0	53.8	57.7	0.0	0.0
	字円明寺	42	78.6	26.2	7.1	2.4	2.4	50.0	45.2	4.8	0.0
	字下植野	5	40.0	40.0	0.0	0.0	0.0	20.0	60.0	0.0	0.0
認定状況別	要支援１	44	65.9	31.8	6.8	2.3	2.3	50.0	59.1	2.3	0.0
	要支援２	29	72.4	24.1	3.4	3.4	0.0	48.3	37.9	3.4	0.0

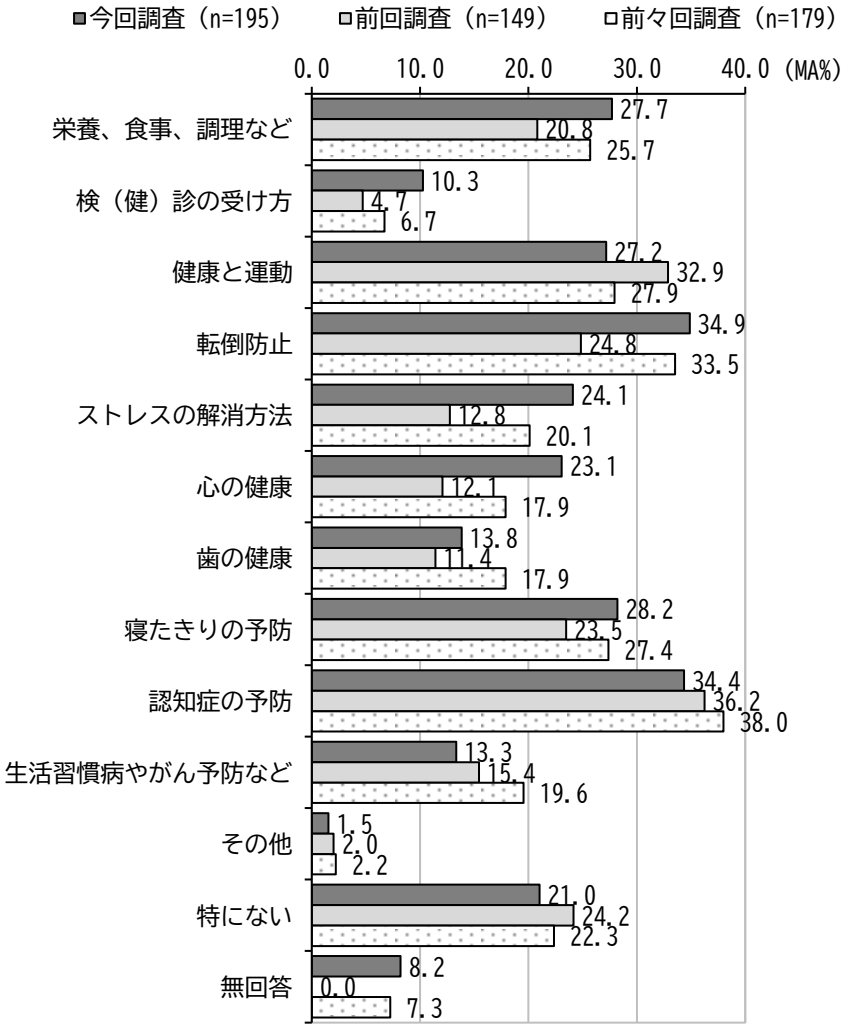
10. 高齢者に関するサービス・制度等について

(1) 健康づくりや介護予防について知りたいこと

問 74	あなたが健康づくりや介護予防について知りたいことはありますか。 (○はいくつでも)

健康づくりや介護予防について知りたいことについて、「転倒防止」が 34.9%で最も高く、次いで「認知症の予防」が 34.4%、「寝たきりの予防」が 28.2%となっています。また、前回調査と比較して「転倒防止」が 10.1 ポイント増加しています。

【図表3－10－1 健康づくりや介護予防について知りたいこと】



性別にみると、男性では、「健康と運動」が 37.3%で最も高く、女性では、「転倒防止」が 37.5%で最も高くなっています。

年齢別にみると、「認知症の予防」では、75～84 歳が 40.0%で最も高くなっています。

【図表3－10－2 健康づくりや介護予防について知りたいこと(クロス集計)】

※網掛けは最も割合が高いもの 単位：(MA%)

		合計（人）	栄養、食事、調理など	検（健）診の受け方	健康と運動	転倒防止	ストレスの解消方法	心の健康	歯の健康	寝たきりの予防	認知症の予防	生活習慣病やがん予防など	その他
性別	男性	51	25.5	9.8	37.3	27.5	21.6	19.6	7.8	21.6	35.3	11.8	2.0
	女性	144	28.5	10.4	23.6	37.5	25.0	24.3	16.0	30.6	34.0	13.9	1.4
年齢別	65～74歳	14	14.3	0.0	21.4	21.4	21.4	28.6	0.0	28.6	21.4	14.3	0.0
	75～84歳	75	24.0	13.3	22.7	33.3	28.0	25.3	12.0	24.0	40.0	14.7	0.0
	85歳以上	106	32.1	9.4	31.1	37.7	21.7	20.8	17.0	31.1	32.1	12.3	2.8
世帯構成別	１人暮らし	71	33.8	12.7	29.6	40.8	22.5	18.3	15.5	28.2	35.2	18.3	1.4
	夫婦２人暮らし(配偶者65歳以上)	67	22.4	7.5	23.9	26.9	32.8	31.3	6.0	31.3	34.3	16.4	3.0
	夫婦２人暮らし(配偶者64歳以下)	4	25.0	0.0	25.0	50.0	0.0	25.0	0.0	25.0	25.0	0.0	0.0
	息子・娘との２世帯	23	13.0	4.3	21.7	34.8	17.4	8.7	13.0	21.7	30.4	8.7	0.0
	その他	22	36.4	18.2	36.4	36.4	18.2	22.7	22.7	27.3	45.5	0.0	0.0
居住地区別	字大山崎	73	27.4	12.3	20.5	35.6	26.0	24.7	19.2	27.4	34.2	12.3	0.0
	字円明寺	103	28.2	9.7	32.0	35.0	23.3	22.3	10.7	29.1	34.0	13.6	2.9
	字下植野	19	26.3	5.3	26.3	31.6	21.1	21.1	10.5	26.3	36.8	15.8	0.0
認定状況別	要支援１	128	29.7	10.9	27.3	32.0	25.8	21.1	11.7	24.2	32.0	14.8	2.3
	要支援２	67	23.9	9.0	26.9	40.3	20.9	26.9	17.9	35.8	38.8	10.4	0.0

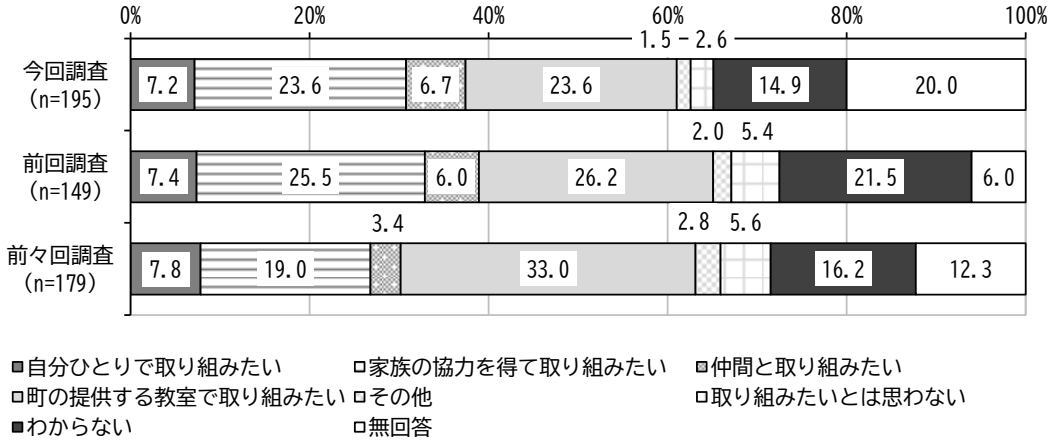
		合計（人）	特にない	無回答
性別	男性	51	27.5	3.9
	女性	144	18.8	9.7
年齢別	65～74歳	14	28.6	7.1
	75～84歳	75	22.7	5.3
	85歳以上	106	18.9	10.4
世帯構成別	１人暮らし	71	16.9	11.3
	夫婦２人暮らし(配偶者65歳以上)	67	20.9	6.0
	夫婦２人暮らし(配偶者64歳以下)	4	50.0	0.0
	息子・娘との２世帯	23	39.1	8.7
	その他	22	13.6	4.5
居住地区別	字大山崎	73	20.5	11.0
	字円明寺	103	17.5	6.8
	字下植野	19	42.1	5.3
認定状況別	要支援１	128	20.3	10.2
	要支援２	67	22.4	4.5

（2） 健康づくりや介護予防についてどのように取り組みたいか

問 75	本町の要介護認定を受けている高齢者の方は、およそ5人に1人で、年々増加しています。要介護の方が減少することは、当人だけではなく、周りの家族や地域の人々にとってもよいことで、介護保険料の減少にもつながることなので、町ではみんなが協力し合って介護予防の普及ができればと考えています。 そこでおうかがいします。あなたは、健康づくりや介護予防に、どのように取り組みたいですか。（○は1つ）

健康づくりや介護予防についてどのように取り組みたいかについて、「家族の協力を得て取り組みたい」「町の提供する教室で取り組みたい」が 23.6％で最も高く、次いで「わからない」が 14.9％、「自分ひとりで取り組みたい」が 7.2％となっています。また、前回調査と比較して「町の提供する教室で取り組みたい」が 2.6 ポイント減少しています。

【図表3－10－3 健康づくりや介護予防についてどのように取り組みたいか】



性別にみると、男性では、「町の提供する教室で取り組みたい」が 29.4%で最も高く、女性では、「家族の協力を得て取り組みたい」が 22.9%で最も高くなっています。

年齢別にみると、65～74 歳では「家族の協力を得て取り組みたい」の割合が高く、85 歳以上では「町の提供する教室で取り組みたい」が最も高くなっています。

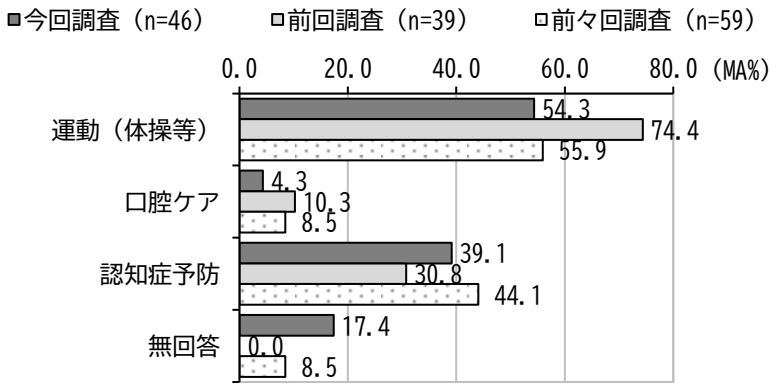
【図表3－10－4 健康づくりや介護予防についてどのように取り組みたいか(クロス集計)】

※網掛けは最も割合が高いもの　単位：(%)

		合計（人）	自分ひとりで取り組みたい	家族の協力を得て取り組みたい	仲間と取り組みたい	町の提供する教室で取り組みたい	その他	取り組みたいとは思わない	わからない	無回答
性別	男性	51	9.8	25.5	0.0	29.4	3.9	5.9	15.7	9.8
	女性	144	6.3	22.9	9.0	21.5	0.7	1.4	14.6	23.6
年齢別	65～74歳	14	14.3	21.4	7.1	14.3	0.0	0.0	28.6	14.3
	75～84歳	75	5.3	32.0	5.3	20.0	0.0	2.7	17.3	17.3
	85歳以上	106	7.5	17.9	7.5	27.4	2.8	2.8	11.3	22.6
世帯構成別	１人暮らし	71	9.9	11.3	7.0	35.2	0.0	0.0	15.5	21.1
	夫婦２人暮らし(配偶者65歳以上)	67	4.5	37.3	1.5	20.9	3.0	4.5	10.4	17.9
	夫婦２人暮らし(配偶者64歳以下)	4	0.0	25.0	0.0	25.0	0.0	0.0	50.0	0.0
	息子・娘との２世帯	23	0.0	21.7	17.4	17.4	0.0	4.3	21.7	17.4
	その他	22	13.6	31.8	9.1	9.1	0.0	4.5	18.2	13.6
居住地区別	字大山崎	73	8.2	26.0	4.1	28.8	0.0	5.5	12.3	15.1
	字円明寺	103	6.8	17.5	8.7	24.3	1.0	0.0	16.5	25.2
	字下植野	19	5.3	47.4	5.3	0.0	10.5	5.3	15.8	10.5
認定状況別	要支援１	128	8.6	25.0	6.3	27.3	0.0	1.6	14.1	17.2
	要支援２	67	4.5	20.9	7.5	16.4	4.5	4.5	16.4	25.4

また、参加したい教室について、「運動(体操等)」が 54.3%で最も高く、次いで「認知症予防」が 39.1%、「口腔ケア」が 4.3%となっています。また、前回調査と比較して「認知症予防」が 8.3 ポイント増加しています。

【図表3－10－5 参加したい教室】

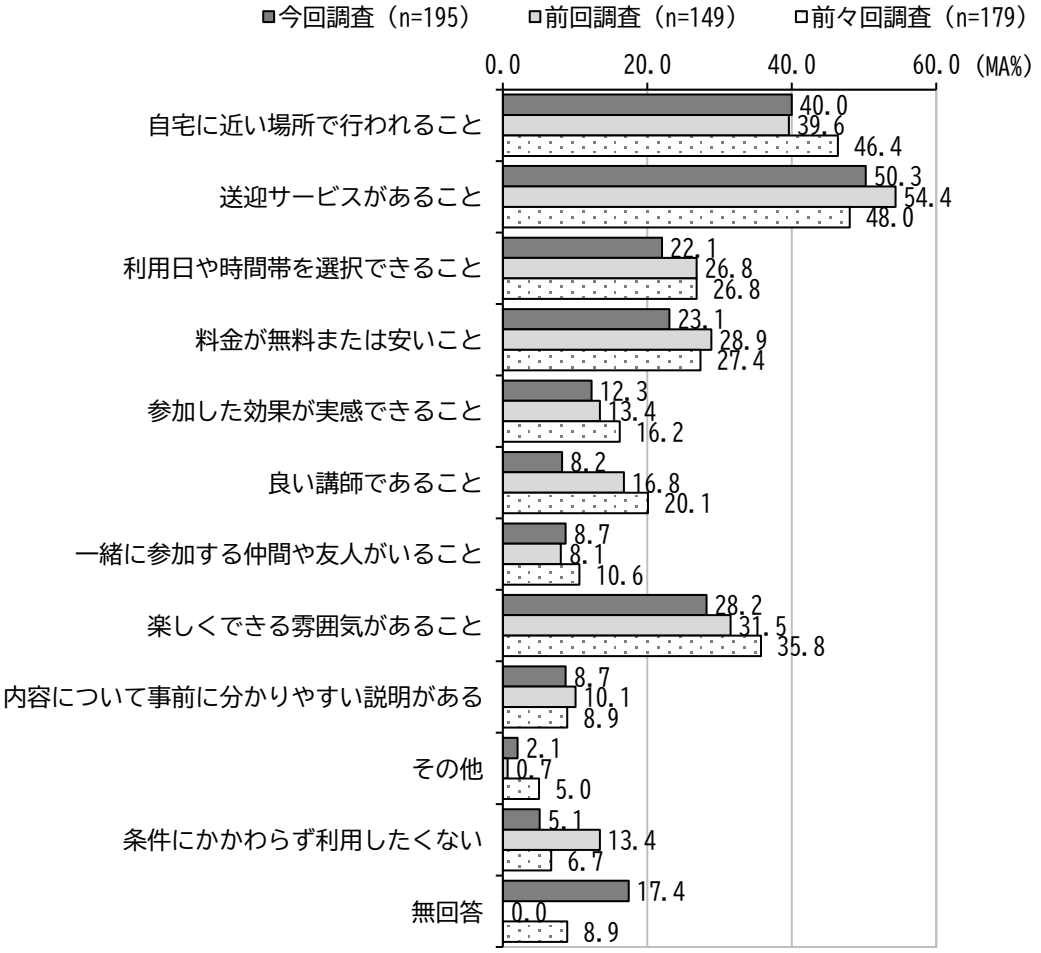


（3） 健康づくりや介護予防教室に参加するための条件

問 76	町の健康づくりや介護予防教室に参加するために必要な条件は何ですか。 （○は3つまで）

健康づくりや介護予防教室に参加するための条件について、「送迎サービスがあること」が 50.3%で最も高く、次いで「自宅に近い場所で行われること」が 40.0%、「楽しくできる雰囲気があること」が 28.2%となっています。また、前回調査と比較して「送迎サービスがあること」が 4.1 ポイント減少しています。

【図表3－10－6 健康づくりや介護予防教室に参加するための条件】



性別にみると、男性では、「自宅に近い場所で行われること」が 47.1%で最も高く、女性では、「送迎サービスがあること」が 52.8%で最も高くなっています。

【図表3－10－7 健康づくりや介護予防教室に参加するための条件(クロス集計)】

※網掛けは最も割合が高いもの　単位：(MA%)

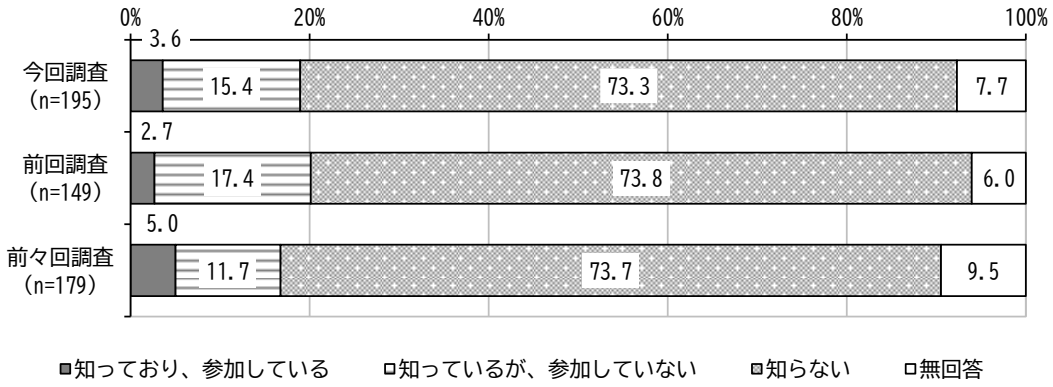
		合計（人）	自宅に近い場所で行われること	送迎サービスがあること	利用日や時間帯を選択できること	料金が無料または安いこと	参加した効果が実感できること	良い講師であること	一緒に参加する仲間や友人がいること	楽しくできる雰囲気があること	内容について事前に分かりやすい説明がある	その他	条件にかかわらず利用したくない	無回答
性別	男性	51	47.1	43.1	19.6	33.3	13.7	7.8	2.0	25.5	9.8	3.9	3.9	15.7
	女性	144	37.5	52.8	22.9	19.4	11.8	8.3	11.1	29.2	8.3	1.4	5.6	18.1
年齢別	65～74歳	14	42.9	57.1	21.4	28.6	21.4	7.1	7.1	28.6	0.0	0.0	7.1	14.3
	75～84歳	75	37.3	56.0	22.7	28.0	16.0	9.3	9.3	28.0	8.0	2.7	6.7	10.7
	85歳以上	106	41.5	45.3	21.7	18.9	8.5	7.5	8.5	28.3	10.4	1.9	3.8	22.6
世帯構成別	１人暮らし	71	36.6	49.3	14.1	23.9	12.7	8.5	14.1	35.2	7.0	1.4	2.8	18.3
	夫婦２人暮らし(配偶者65歳以上)	67	34.3	56.7	32.8	22.4	16.4	7.5	6.0	28.4	10.4	1.5	9.0	11.9
	夫婦２人暮らし(配偶者64歳以下)	4	25.0	50.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	25.0	25.0	0.0	0.0	25.0
	息子・娘との２世帯	23	56.5	39.1	21.7	30.4	13.0	4.3	8.7	17.4	8.7	4.3	0.0	21.7
	その他	22	45.5	50.0	22.7	13.6	4.5	13.6	0.0	22.7	4.5	4.5	9.1	22.7
居住地区別	字大山崎	73	34.2	50.7	12.3	24.7	19.2	6.8	12.3	34.2	11.0	2.7	4.1	17.8
	字円明寺	103	42.7	48.5	28.2	23.3	9.7	9.7	6.8	26.2	7.8	1.9	4.9	16.5
	字下植野	19	47.4	57.9	26.3	15.8	0.0	5.3	5.3	15.8	5.3	0.0	10.5	21.1
認定状況別	要支援１	128	39.1	47.7	22.7	21.9	16.4	7.8	8.6	29.7	9.4	2.3	4.7	18.0
	要支援２	67	41.8	55.2	20.9	25.4	4.5	9.0	9.0	25.4	7.5	1.5	6.0	16.4

（4） 助け愛隊サポーターの認知状況

問 77	「助け愛隊」サポーターについてご存知ですか。（○は1つ）

助け愛隊サポーターの認知状況について、「知らない」が 73.3%で最も高く、次いで「知っているが、参加していない」が 15.4%、「知っており、参加している」が 3.6%となっています。また、前回調査と比較して「知らない」が 0.5 ポイント減少しています。

【図表3－10－8 助け愛隊サポーターの認知状況】



性別にみると、「知らない」について、男性では 88.2%、女性では 68.1%となっており、男性のほうが 20.1 ポイント高くなっています。

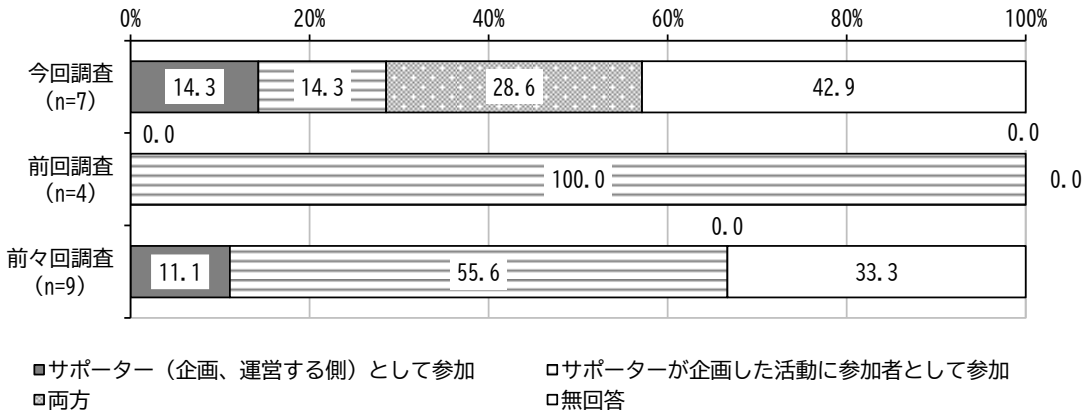
【図表3－10－9 助け愛隊サポーターの認知状況（クロス集計）】

※網掛けは最も割合が高いもの　単位：（%）

		合計（人）	知っており、参加している	知っているが、参加していない	知らない	無回答
性別	男性	51	0.0	9.8	88.2	2.0
	女性	144	4.9	17.4	68.1	9.7
年齢別	65～74歳	14	7.1	21.4	71.4	0.0
	75～84歳	75	1.3	17.3	74.7	6.7
	85歳以上	106	4.7	13.2	72.6	9.4
世帯構成別	１人暮らし	71	4.2	14.1	71.8	9.9
	夫婦２人暮らし（配偶者65歳以上）	67	1.5	14.9	80.6	3.0
	夫婦２人暮らし（配偶者64歳以下）	4	0.0	25.0	75.0	0.0
	息子・娘との２世帯	23	8.7	21.7	65.2	4.3
	その他	22	4.5	18.2	68.2	9.1
居住地区別	字大山崎	73	2.7	13.7	72.6	11.0
	字円明寺	103	3.9	17.5	72.8	5.8
	字下植野	19	5.3	10.5	78.9	5.3
認定状況別	要支援１	128	4.7	11.7	75.0	8.6
	要支援２	67	1.5	22.4	70.1	6.0

また、参加している立場について、「両方」が 28.6％で最も高く、次いで、「サポーター（企画、運営する側）として参加」「サポーターが企画した活動に参加者として参加」が 14.3％となっています。

【図表3－10－10 参加している立場】

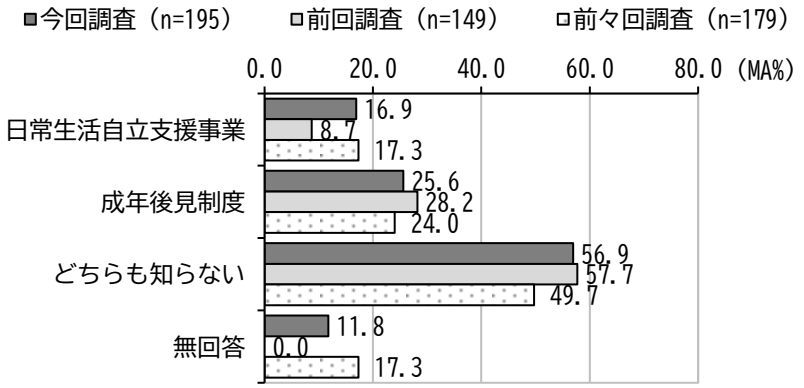


（5） 高齢者の権利擁護に関する事業等の認知状況

問 78	高齢者の権利擁護（高齢者の権利や生活、財産などを守ります）のための制度についておうかがいします。次の事業や制度を知っていますか。（○はいくつでも）

高齢者の権利擁護に関する事業等の認知状況について、「どちらも知らない」が 56.9%で最も高く、次いで「成年後見制度」が 25.6%、「日常生活自立支援事業」が 16.9%となっています。また、前回調査と比較して「どちらも知らない」が 0.8 ポイント減少しています。

【図表3－10－11 高齢者の権利擁護に関する事業等の認知状況】



性別にみると、男性・女性ともに「どちらも知らない」が最も高くなっています。

年齢別にみると、「どちらも知らない」では、85 歳以上が 57.5%で最も高くなっています。

【図表3－10－12 高齢者の権利擁護に関する事業等の認知状況（クロス集計）】

※網掛けは最も割合が高いもの　単位：（MA%）

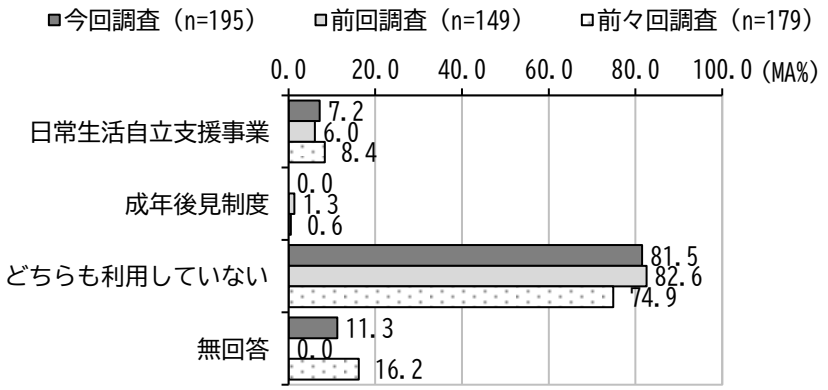
		合計（人）	日常生活自立支援事業	成年後見制度	どちらも知らない	無回答
性別	男性	51	11.8	29.4	66.7	3.9
	女性	144	18.8	24.3	53.5	14.6
年齢別	65～74歳	14	28.6	35.7	57.1	7.1
	75～84歳	75	17.3	32.0	56.0	8.0
	85歳以上	106	15.1	19.8	57.5	15.1
世帯構成別	１人暮らし	71	21.1	21.1	56.3	12.7
	夫婦２人暮らし（配偶者65歳以上）	67	14.9	31.3	56.7	7.5
	夫婦２人暮らし（配偶者64歳以下）	4	25.0	25.0	75.0	0.0
	息子・娘との２世帯	23	17.4	21.7	60.9	13.0
	その他	22	13.6	31.8	54.5	13.6
居住地区別	字大山崎	73	11.0	24.7	60.3	12.3
	字円明寺	103	21.4	29.1	55.3	9.7
	字下植野	19	15.8	10.5	52.6	21.1
認定状況別	要支援１	128	14.8	24.2	59.4	10.2
	要支援２	67	20.9	28.4	52.2	14.9

（6） 高齢者の権利擁護に関する事業等の利用状況

問 79	次の事業や制度を利用したこと（利用している）がありますか。（○はいくつでも）

高齢者の権利擁護に関する事業等の利用状況について、「どちらも利用していない」が 81.5%で最も高く、次いで「日常生活自立支援事業」が 7.2%となっています。また、前回調査と比較して「どちらも利用していない」が 1.1 ポイント減少しています。

【図表3－10－13 高齢者の権利擁護に関する事業等の利用状況】

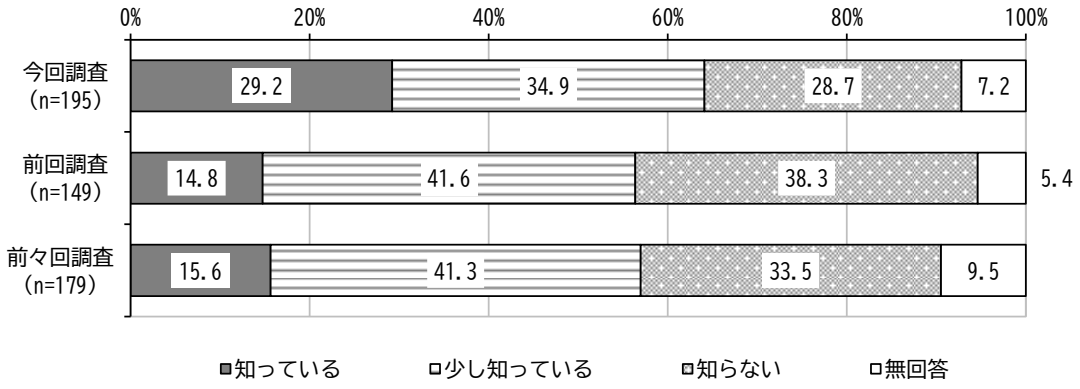


（7） 地域包括支援センターの活動の認知状況

問 80	あなたは、地域包括支援センターの活動についてご存知ですか。（○は1つ）

地域包括支援センターの活動の認知状況について、「少し知っている」が 34.9%で最も高く、次いで「知っている」が 29.2%、「知らない」が 28.7%となっています。また、前回調査と比較して「少し知っている」が 6.7 ポイント減少しています。

【図表3－10－14 地域包括支援センターの活動の認知状況】



性別にみると、男性では、「知らない」が 45.1%で最も高く、女性では、「少し知っている」が 35.4%で最も高くなっています。

年齢別にみると、「知らない」では、75～84 歳が 29.3%で最も高くなっています。

居住地区別にみると、「知らない」では、字大山崎が 32.9%で最も高くなっています。

【図表3－10－15 地域包括支援センターの活動の認知状況（クロス集計）】

※網掛けは最も割合が高いもの　単位：（%）

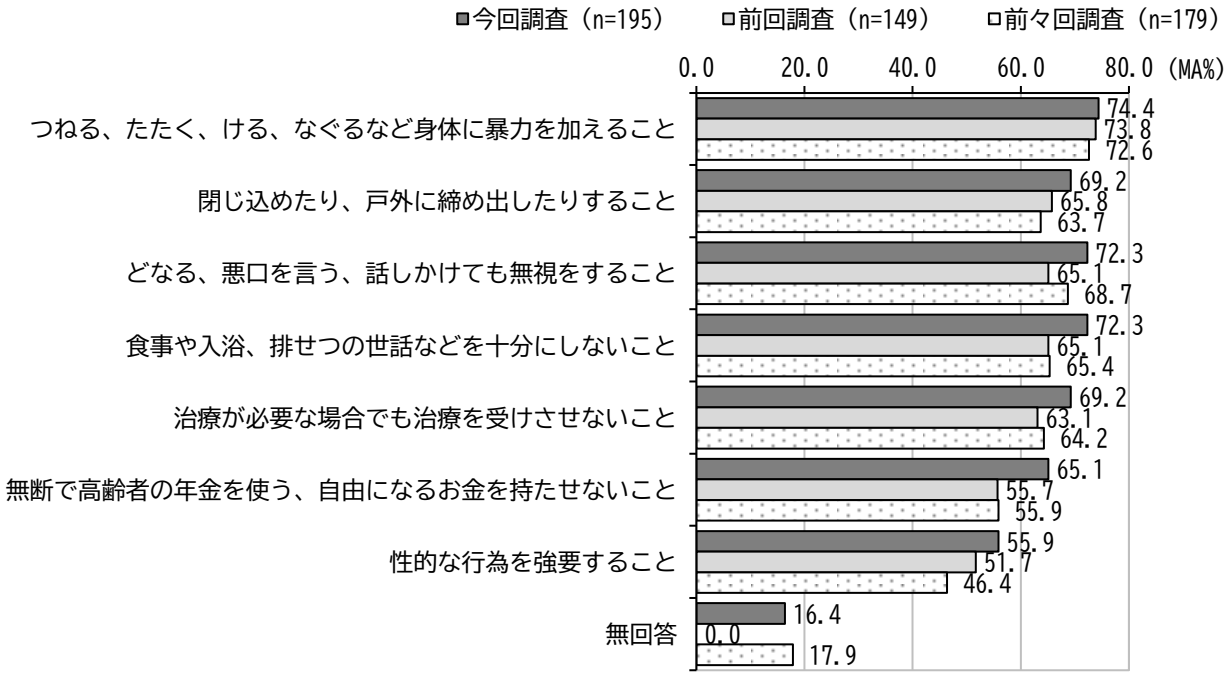
		合計（人）	知っている	少し知っている	知らない	無回答
性別	男性	51	19.6	33.3	45.1	2.0
	女性	144	32.6	35.4	22.9	9.0
年齢別	65～74歳	14	28.6	50.0	21.4	0.0
	75～84歳	75	33.3	32.0	29.3	5.3
	85歳以上	106	26.4	34.9	29.2	9.4
世帯構成別	１人暮らし	71	36.6	31.0	22.5	9.9
	夫婦２人暮らし（配偶者65歳以上）	67	25.4	44.8	26.9	3.0
	夫婦２人暮らし（配偶者64歳以下）	4	25.0	0.0	75.0	0.0
	息子・娘との２世帯	23	30.4	21.7	43.5	4.3
	その他	22	22.7	45.5	22.7	9.1
居住地区別	字大山崎	73	26.0	31.5	32.9	9.6
	字円明寺	103	31.1	37.9	26.2	4.9
	字下植野	19	31.6	31.6	26.3	10.5
認定状況別	要支援１	128	25.8	37.5	29.7	7.0
	要支援２	67	35.8	29.9	26.9	7.5

（8） 高齢者への虐待だと思う行為

問 81	あなたが高齢者への虐待だと思う行為はどれですか。（○はいくつでも）

高齢者への虐待だと思う行為について、「つねる、たたく、ける、なぐるなど身体に暴力を加えること」が 74.4%で最も高く、次いで「どなる、悪口を言う、話しかけても無視をすること」「食事や入浴、排せつの世話などを十分にしないこと」が 72.3%、「閉じ込めたり、戸外に締め出したりすること」「治療が必要な場合でも治療を受けさせないこと」が 69.2%となっています。

【図表3－10－16 高齢者への虐待だと思う行為】

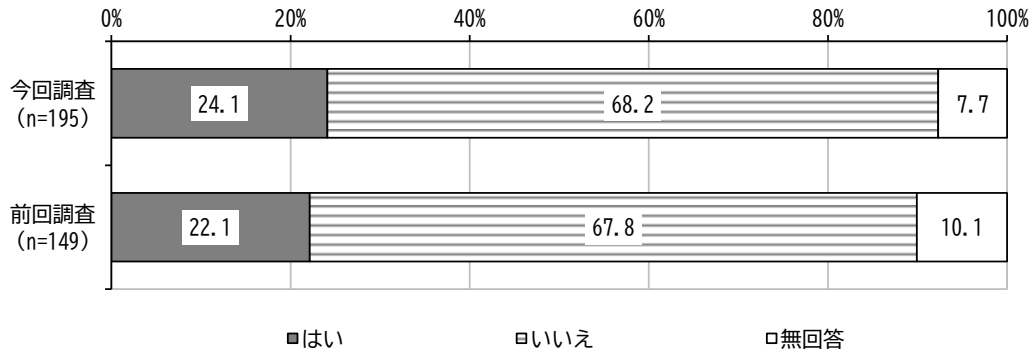


（9） 高齢者への虐待に関する相談窓口を知っているか

問 82	高齢者の虐待についての相談窓口を知っていますか。（○は1つ）

高齢者への虐待に関する相談窓口を知っているかについて、「はい」が 24.1%、「いいえ」が 68.2%となっています。また、前回調査と比較して「はい」が 2.0 ポイント増加しています。

【図表3－10－17 高齢者への虐待に関する相談窓口を知っているか】

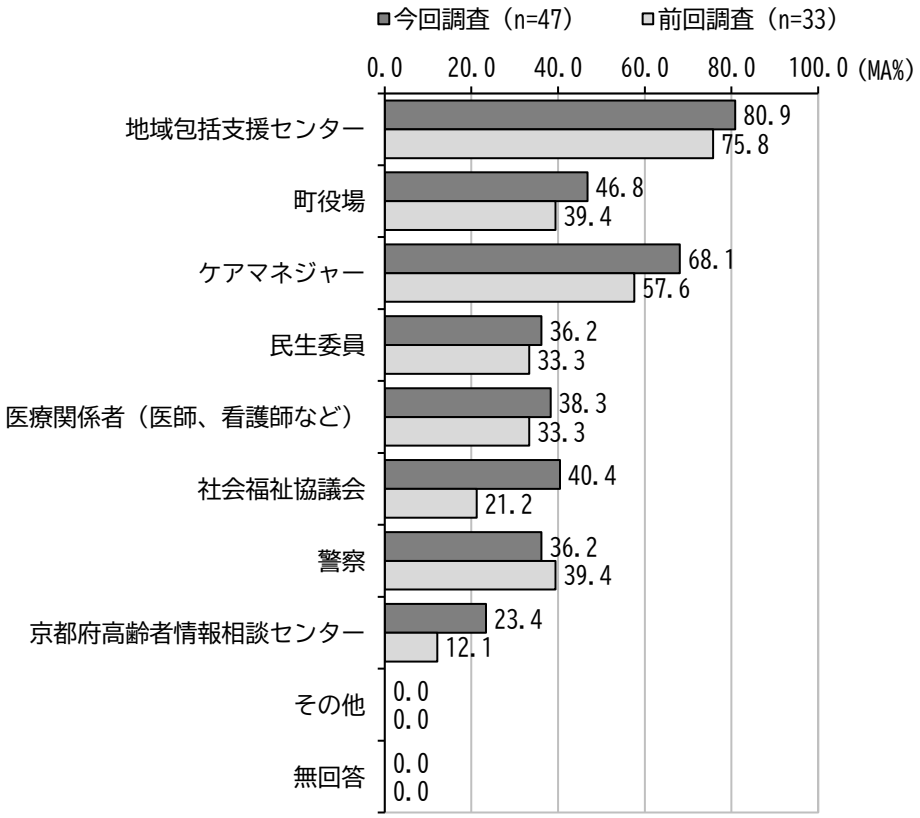


（10） 高齢者への虐待に関する相談窓口の認知状況

問 82-1	**【問 82 で「はい」を回答された方のみ】** 高齢者の虐待についての相談先としてどんなところをご存知ですか。 （○はいくつでも）

高齢者への虐待に関する相談窓口の認知状況について、「地域包括支援センター」が 80.9%で最も高く、次いで「ケアマネジャー」が 68.1%、「町役場」が 46.8%となっています。また、前回調査と比較して「地域包括支援センター」が 5.1 ポイント増加しています。

【図表3－10－18 高齢者への虐待に関する相談窓口の認知状況】



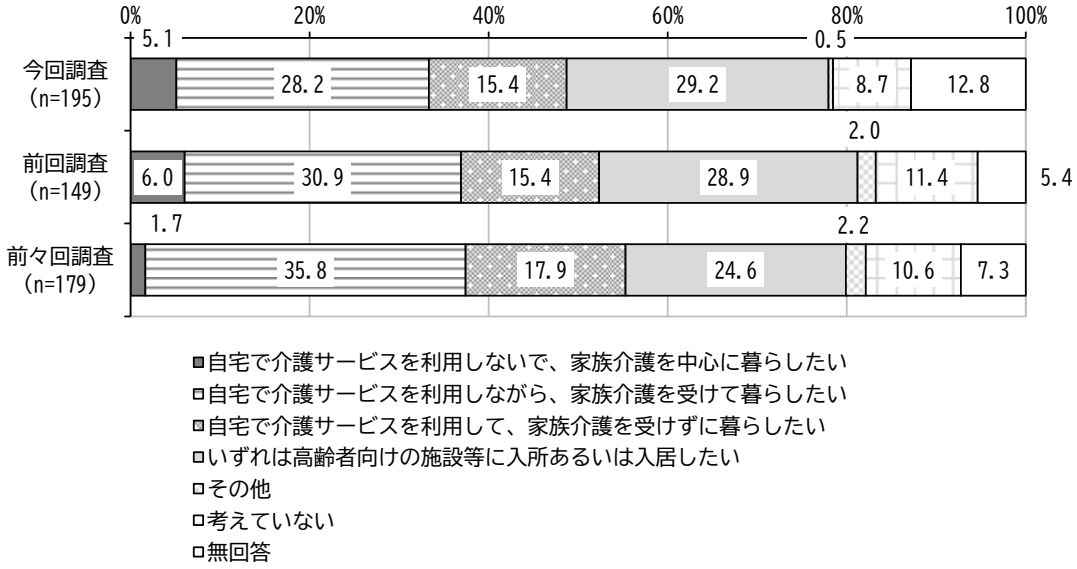
11. 今後の生活や高齢者施策全般について

(1) 介護サービスに関する今後の希望

問 83	介護サービスについて、今後の希望をお教えください。(○は1つ)

介護サービスに関する今後の希望について、「いずれは高齢者向けの施設等に入所あるいは入居したい」が29.2%で最も高く、次いで「自宅で介護サービスを利用しながら、家族介護を受けて暮らしたい」が 28.2%、「自宅で介護サービスを利用して、家族介護を受けずに暮らしたい」が 15.4%となっています。また、前回調査と比較して「自宅で介護サービスを利用しながら、家族介護を受けて暮らしたい」が 2.7 ポイント減少しています。

【図表3－11－1 介護サービスに関する今後の希望】



性別にみると、男性では、「自宅で介護サービスを利用しながら、家族介護を受けて暮らしたい」が 39.2%で最も高く、女性では、「いずれは高齢者向けの施設等に入所あるいは入居したい」が 31.3%で最も高くなっています。

年齢別にみると、「自宅で介護サービスを利用しながら、家族介護を受けて暮らしたい」では、65～74 歳が50.0%で最も高くなっています。

居住地区別にみると、「自宅で介護サービスを利用しながら、家族介護を受けて暮らしたい」では、字下植野が 36.8%で最も高くなっています。

【図表3－11－2 介護サービスに関する今後の希望(クロス集計)】

※網掛けは最も割合が高いもの　単位：(%)

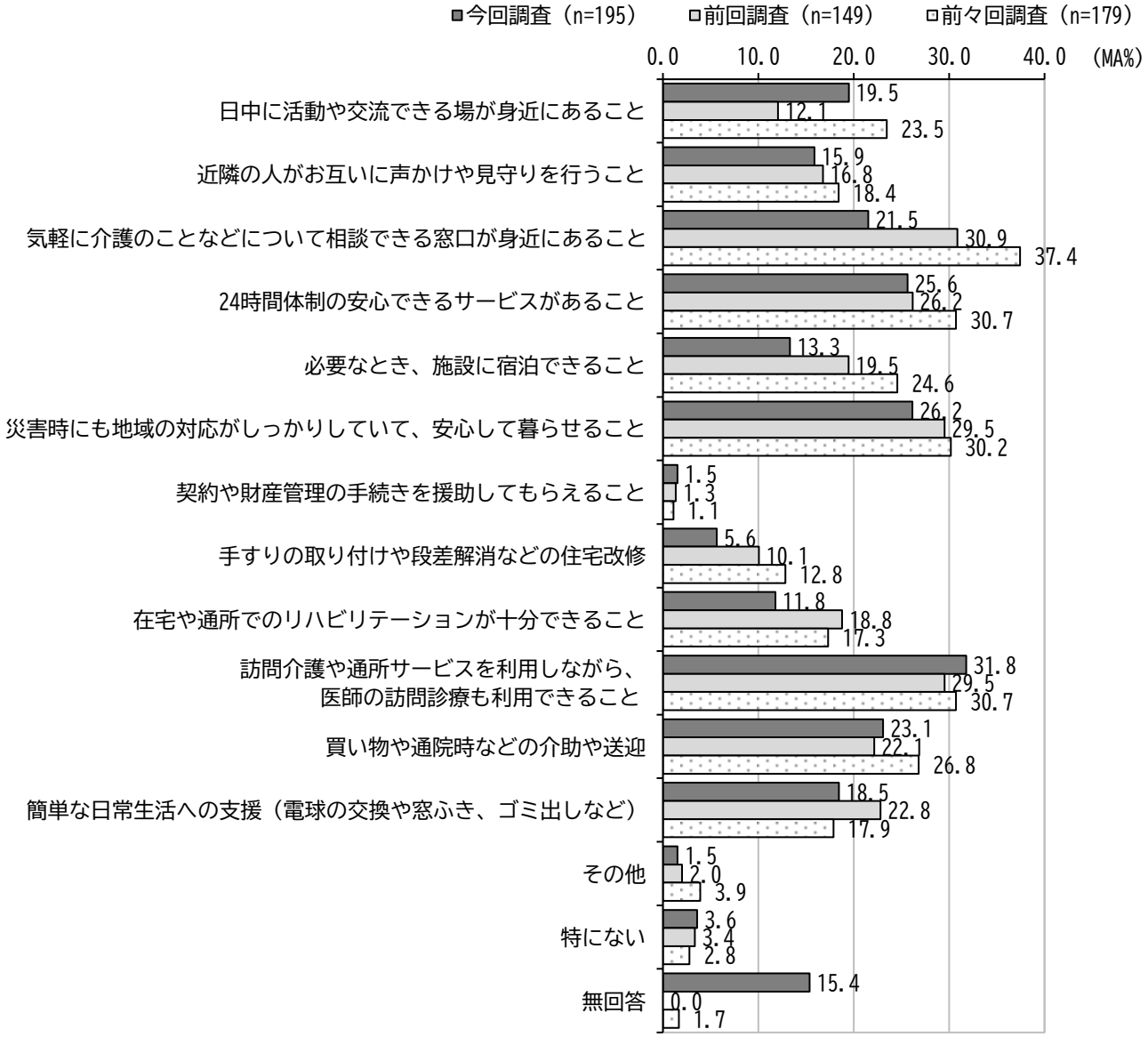
		合計（人）	自宅で介護サービスを利用しないで、家族介護を中心に暮らしたい	自宅で介護サービスを利用しながら、家族介護を受けて暮らしたい	自宅で介護サービスを利用して、家族介護を受けずに暮らしたい	いずれは高齢者向けの施設等に入所あるいは入居したい	その他	考えていない	無回答
性別	男性	51	7.8	39.2	11.8	23.5	0.0	9.8	7.8
	女性	144	4.2	24.3	16.7	31.3	0.7	8.3	14.6
年齢別	65～74歳	14	0.0	50.0	14.3	14.3	0.0	14.3	7.1
	75～84歳	75	4.0	24.0	10.7	40.0	1.3	10.7	9.3
	85歳以上	106	6.6	28.3	18.9	23.6	0.0	6.6	16.0
世帯構成別	１人暮らし	71	1.4	8.5	22.5	38.0	1.4	7.0	21.1
	夫婦２人暮らし(配偶者65歳以上)	67	4.5	38.8	6.0	29.9	0.0	13.4	7.5
	夫婦２人暮らし(配偶者64歳以下)	4	25.0	75.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	息子・娘との２世帯	23	17.4	39.1	17.4	17.4	0.0	8.7	0.0
	その他	22	0.0	36.4	22.7	27.3	0.0	0.0	13.6
居住地区別	字大山崎	73	9.6	27.4	13.7	27.4	1.4	8.2	12.3
	字円明寺	103	2.9	27.2	16.5	30.1	0.0	9.7	13.6
	字下植野	19	0.0	36.8	15.8	31.6	0.0	5.3	10.5
認定状況別	要支援１	128	4.7	25.8	14.8	30.5	0.8	10.9	12.5
	要支援２	67	6.0	32.8	16.4	26.9	0.0	4.5	13.4

（2） 高齢者が身近な地域や自宅での生活を続けていくための必要な支援

問 84	高齢者に対してどのような支援があれば、身近な地域や自宅での生活を続けていくことができると思いますか。（○は3つまで）

高齢者が身近な地域や自宅での生活を続けていくための必要な支援について、「訪問介護や通所サービスを利用しながら、医師の訪問診療も利用できること」が 31.8%で最も高く、次いで「災害時にも地域の対応がしっかりしていて、安心して暮らせること」が 26.2%、「24 時間体制の安心できるサービスがあること」が 25.6%となっています。また、前回調査と比較して「訪問介護や通所サービスを利用しながら、医師の訪問診療も利用できること」が 2.3 ポイント増加しています。

【図表3－11－3 高齢者が身近な地域や自宅での生活を続けていくための必要な支援】



性別にみると、男性・女性ともに「訪問介護や通所サービスを利用しながら、医師の訪問診療も利用できること」が最も高くなっています。

年齢別にみると、「訪問介護や通所サービスを利用しながら、医師の訪問診療も利用できること」では、65～74 歳が 35.7%で最も高くなっています。

【図表3－11－4 高齢者が身近な地域や自宅での生活を続けていくための必要な支援(クロス集計)】

※網掛けは最も割合が高いもの 単位：(MA%)

		合計（人）	日中に活動や交流できる場が身近にあること	近隣の人がお互いに声かけや見守りを行うこと	気軽に介護のことなどについて相談できる窓口が身近にあること	24時間体制の安心できるサービスがあること	必要なとき、施設に宿泊できること	災害時にも地域の対応がしっかりしていて、安心して暮らせること	契約や財産管理の手続きを援助してもらえること	手すりの取り付けや段差解消などの住宅改修	在宅や通所でのリハビリテーションが十分できること	訪問介護や通所サービスを利用しながら、医師の訪問診療も利用できること	買い物や通院時などの介助や送迎
性別	男性	51	19.6	21.6	19.6	23.5	9.8	31.4	0.0	9.8	7.8	37.3	17.6
	女性	144	19.4	13.9	22.2	26.4	14.6	24.3	2.1	4.2	13.2	29.9	25.0
年齢別	65～74歳	14	7.1	7.1	21.4	21.4	7.1	14.3	0.0	0.0	35.7	35.7	21.4
	75～84歳	75	29.3	20.0	22.7	29.3	14.7	28.0	1.3	5.3	10.7	34.7	26.7
	85歳以上	106	14.2	14.2	20.8	23.6	13.2	26.4	1.9	6.6	9.4	29.2	20.8
世帯構成別	１人暮らし	71	16.9	22.5	23.9	29.6	12.7	29.6	2.8	5.6	9.9	28.2	21.1
	夫婦２人暮らし(配偶者65歳以上)	67	22.4	10.4	25.4	20.9	14.9	23.9	1.5	1.5	13.4	40.3	26.9
	夫婦２人暮らし(配偶者64歳以下)	4	50.0	0.0	25.0	0.0	0.0	25.0	0.0	25.0	0.0	25.0	25.0
	息子・娘との２世帯	23	17.4	8.7	8.7	30.4	17.4	30.4	0.0	4.3	13.0	43.5	17.4
	その他	22	18.2	22.7	18.2	36.4	13.6	22.7	0.0	13.6	13.6	13.6	18.2
居住地区別	字大山崎	73	23.3	19.2	21.9	21.9	9.6	31.5	2.7	5.5	8.2	30.1	21.9
	字円明寺	103	19.4	13.6	16.5	30.1	15.5	22.3	1.0	4.9	12.6	31.1	24.3
	字下植野	19	5.3	15.8	47.4	15.8	15.8	26.3	0.0	10.5	21.1	42.1	21.1
認定状況別	要支援１	128	23.4	19.5	24.2	27.3	14.1	28.1	1.6	3.9	11.7	33.6	18.8
	要支援２	67	11.9	9.0	16.4	22.4	11.9	22.4	1.5	9.0	11.9	28.4	31.3

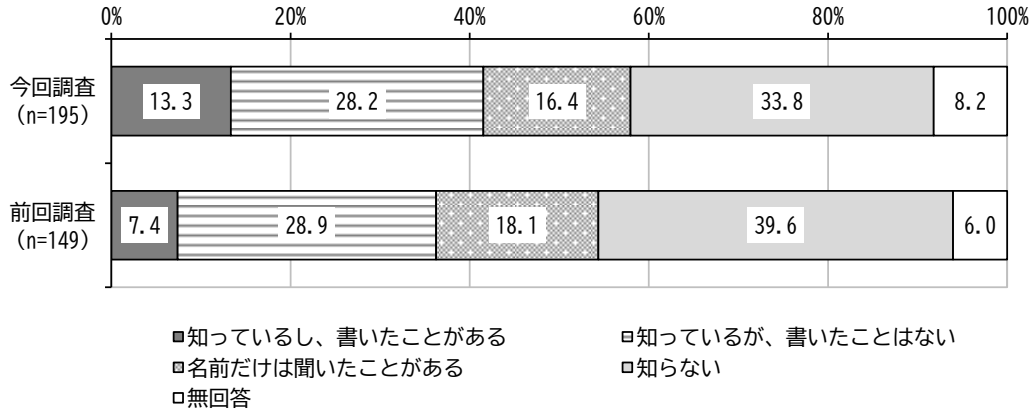
		合計（人）	簡単な日常生活への支援（電球の交換や窓ふき、ゴミ出しなど）	その他	特にない	無回答
性別	男性	51	7.8	0.0	7.8	17.6
	女性	144	22.2	2.1	2.1	14.6
年齢別	65～74歳	14	28.6	0.0	0.0	28.6
	75～84歳	75	22.7	0.0	2.7	5.3
	85歳以上	106	14.2	2.8	4.7	20.8
世帯構成別	１人暮らし	71	23.9	2.8	2.8	12.7
	夫婦２人暮らし(配偶者65歳以上)	67	13.4	1.5	6.0	11.9
	夫婦２人暮らし(配偶者64歳以下)	4	0.0	0.0	0.0	25.0
	息子・娘との２世帯	23	17.4	0.0	4.3	17.4
	その他	22	27.3	0.0	0.0	18.2
居住地区別	字大山崎	73	16.4	0.0	4.1	13.7
	字円明寺	103	19.4	2.9	3.9	16.5
	字下植野	19	21.1	0.0	0.0	15.8
認定状況別	要支援１	128	13.3	2.3	2.3	15.6
	要支援２	67	28.4	0.0	6.0	14.9

（3） エンディングノートの認知状況

問 85	乙訓医師会では、身近な地域での「人生最期の過ごし方」について考えるきっかけとして、小冊子『私の医療に対する希望』を配布しています。 あなたは、同冊子、あるいは、同じような趣旨で受けたい医療への希望などをあらかじめ書いておくノート（「エンディングノート」などと呼ばれることが多い）を知っていますか。（○は1つ）

エンディングノートの認知状況について、「知らない」が 33.8％で最も高く、次いで「知っているが、書いたことはない」が28.2％、「名前だけは聞いたことがある」が16.4％となっています。また、前回調査と比較して「知らない」が 5.8 ポイント減少しています。

【図表3－11－5 エンディングノートの認知状況】



性別にみると、男性・女性ともに「知らない」が最も高くなっています。

年齢別にみると、「知っているし、書いたことがない」では、65～74 歳が 35.7％で最も高くなっています。

【図表3－11－6 エンディングノートの認知状況（クロス集計）】

※網掛けは最も割合が高いもの　単位：（%）

		合計（人）	知っているし、書いたことがある	知っているが、書いたことはない	名前だけは聞いたことがある	知らない	無回答
性別	男性	51	5.9	25.5	13.7	45.1	9.8
	女性	144	16.0	29.2	17.4	29.9	7.6
年齢別	65～74歳	14	14.3	35.7	14.3	35.7	0.0
	75～84歳	75	14.7	32.0	17.3	33.3	2.7
	85歳以上	106	12.3	24.5	16.0	34.0	13.2
世帯構成別	１人暮らし	71	18.3	25.4	16.9	32.4	7.0
	夫婦２人暮らし（配偶者65歳以上）	67	11.9	28.4	16.4	37.3	6.0
	夫婦２人暮らし（配偶者64歳以下）	4	25.0	25.0	0.0	50.0	0.0
	息子・娘との２世帯	23	13.0	30.4	17.4	39.1	0.0
	その他	22	4.5	36.4	22.7	27.3	9.1
居住地区別	字大山崎	73	11.0	23.3	15.1	43.8	6.8
	字円明寺	103	15.5	31.1	17.5	26.2	9.7
	字下植野	19	10.5	31.6	15.8	36.8	5.3
認定状況別	要支援１	128	15.6	27.3	13.3	35.9	7.8
	要支援２	67	9.0	29.9	22.4	29.9	9.0

12. リスク判定

「介護予防・日常生活圏域ニーズ調査」は、要介護状態になる前の高齢者について、要介護状態になるリスクの発生状況と、各種リスクに影響を与える日常生活の状況を把握し、地域の抱える課題を特定することを目的に実施しています。

ここでは、「介護予防・日常生活圏域ニーズ調査」の調査項目を使用し、各種リスクの判定を行っています。

(1) 運動機能の低下

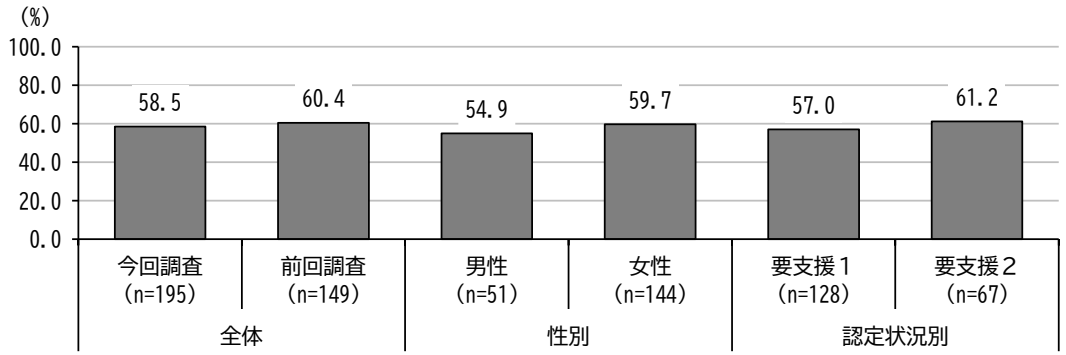
下記の5設問について、3問以上該当する選択肢が回答された場合、運動器機能が低下している高齢者として判定しました。

【図表3－12－1 運動機能の低下を判定するための項目】

問	設問	該当する選択肢
問5	階段を手すりや壁をつたわらずに昇っていますか。	「できない」
問6	椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか。	「できない」
問7	15 分位続けて歩いていますか。	「できない」
問8	過去1年間に転んだ経験がありますか。	「何度もある」 「1度ある」
問9	転倒に対する不安は大きいですか。	「とても不安である」 「やや不安である」

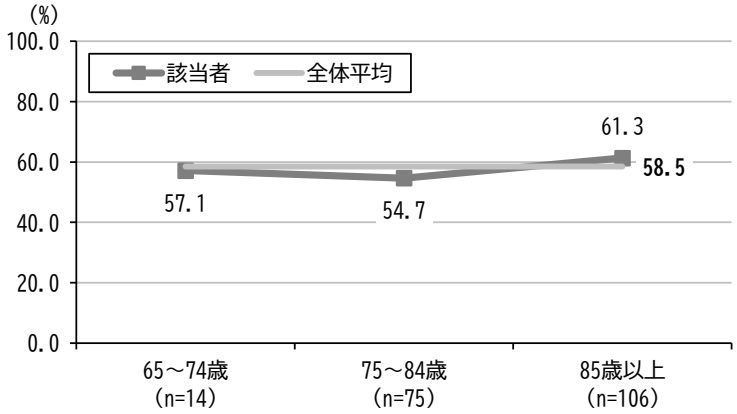
運動機能が低下していると判断された高齢者の割合は、全体で 58.5%となっています。前回調査と比較すると、1.9 ポイント減少しています。

【図表3－12－2 運動機能の低下 該当者の割合】

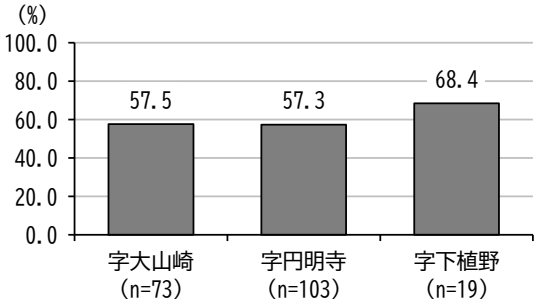


年齢別にみると、「85 歳以上」が 61.3%で最も高くなっています。

【図表3－12－3 運動機能の低下 該当者の割合(年齢別)】



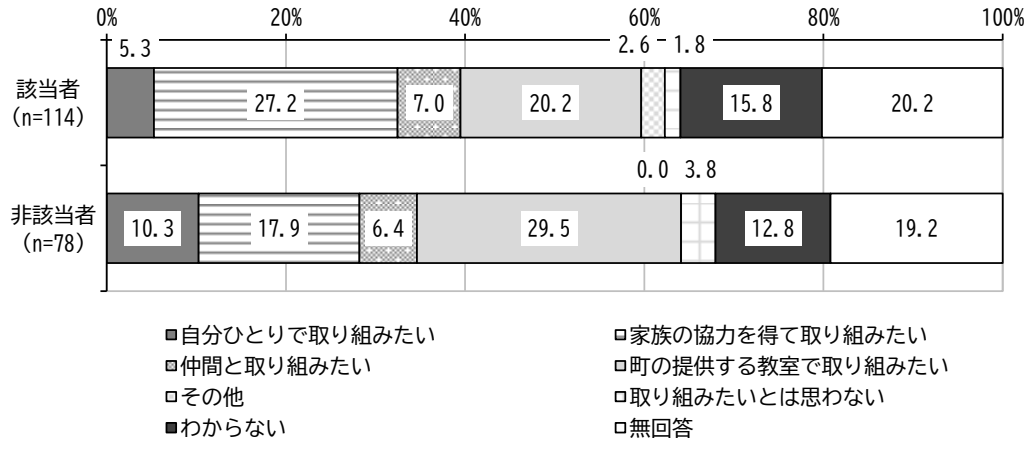
【図表3－12－4 運動機能の低下 該当者の割合(字別)】



【他項目との関係性】

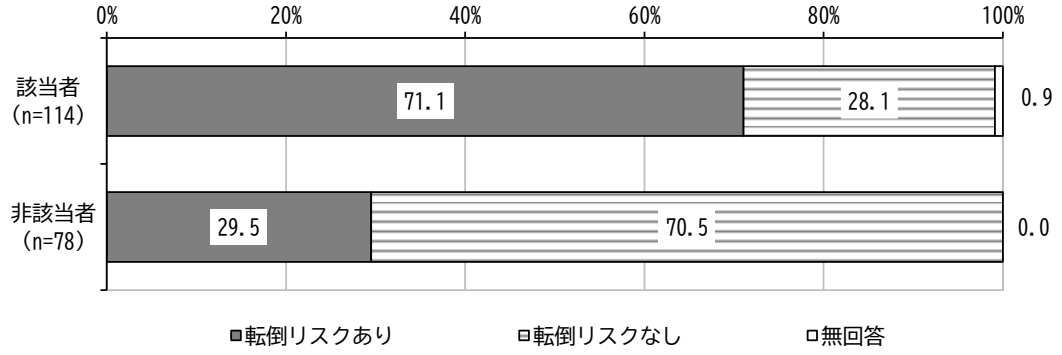
項目 1	項目 2
リスク判定:運動機能の低下	問 75 あなたは、健康づくりや介護予防に、どのように取り組みたいですか。(○は1つ)

【図表3－12－5 健康づくりや介護予防についてどのように取り組みたいか(運動機能の低下別)】



項目１	項目２
リスク判定：運動機能の低下	リスク判定：転倒リスク

【図表3－12－6 転倒リスク 該当者の割合（運動機能の低下別）】



（2） 低栄養状態

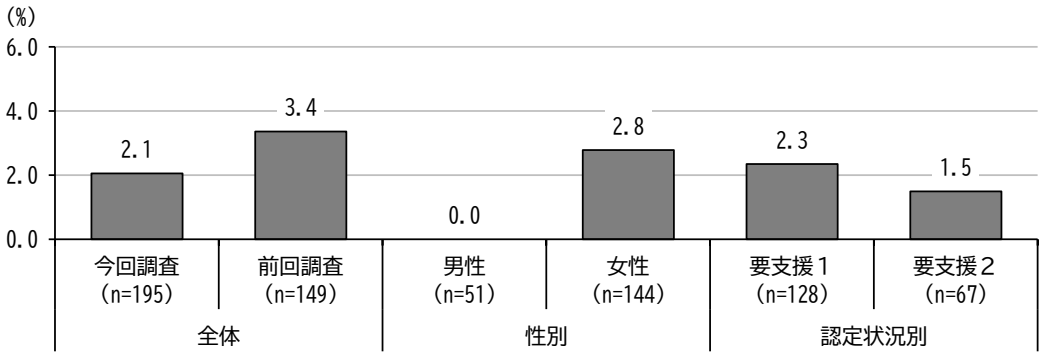
下記の2設問について、2問とも該当する選択肢が回答された場合、低栄養状態の高齢者として判定しました。

【図表3－12－7 低栄養状態を判定するための項目】

問	設問	該当する選択肢
問 16	身長と体重を教えてください。	身長・体重から算出されるBMI（体重（kg）÷{身長（m）×身長（m）}）が18.5 以下
問 24	6か月間で2～3kg 以上の体重減少がありましたか。	「はい」

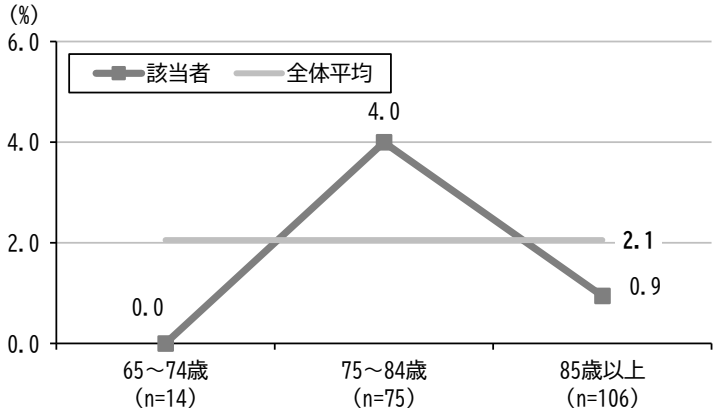
低栄養状態と判断された高齢者の割合は、全体で 2.1%となっています。前回調査と比較すると、1.3 ポイント減少しています。

【図表3－12－8 低栄養状態 該当者の割合】

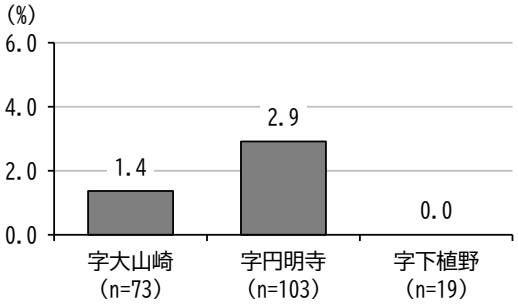


年齢別にみると、「75～84 歳」が 4.0%で最も高くなっています。

【図表3－12－9 低栄養状態 該当者の割合(年齢別)】



【図表3－12－10 低栄養状態 該当者の割合(字別)】



（3） 口腔機能の低下

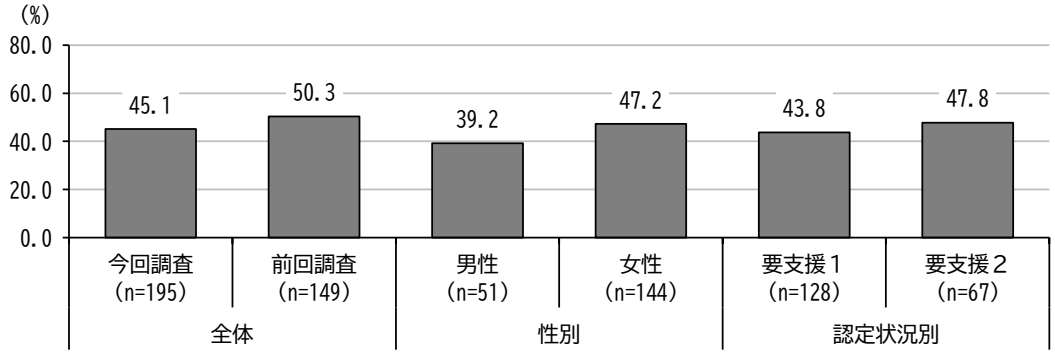
下記の3設問について、2問以上該当する選択肢が回答された場合、口腔機能が低下している高齢者として判定しました。

【図表3－12－11 口腔機能の低下を判定するための項目】

問	設問	該当する選択肢
問 17	半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか。	「はい」
問 18	お茶や汁物等でむせることがありますか。	「はい」
問 19	口の渇きが気になりますか。	「はい」

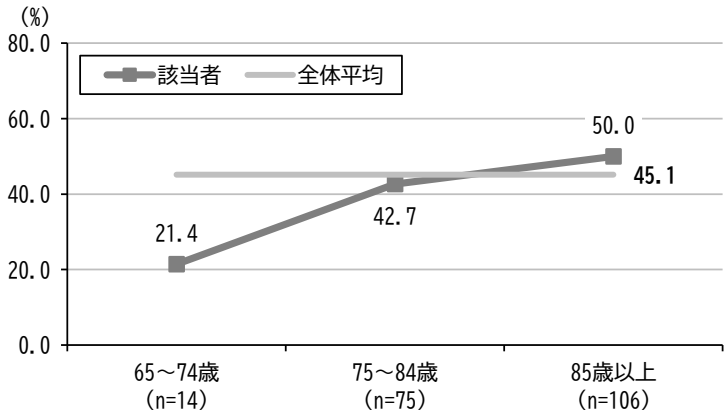
口腔機能が低下していると判断された高齢者の割合は、全体で 45.1%となっています。前回調査と比較すると、5.2 ポイント減少しています。

【図表3－12－12 口腔機能の低下 該当者の割合】

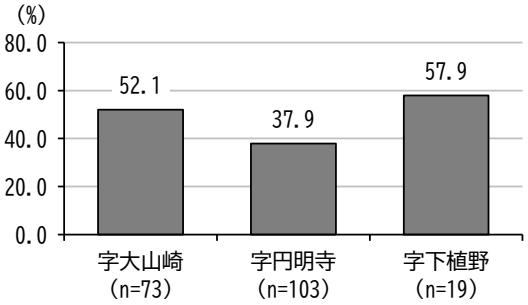


年齢別にみると、「85 歳以上」が 50.0%で最も高くなっています。

【図表3－12－13 口腔機能の低下 該当者の割合(年齢別)】



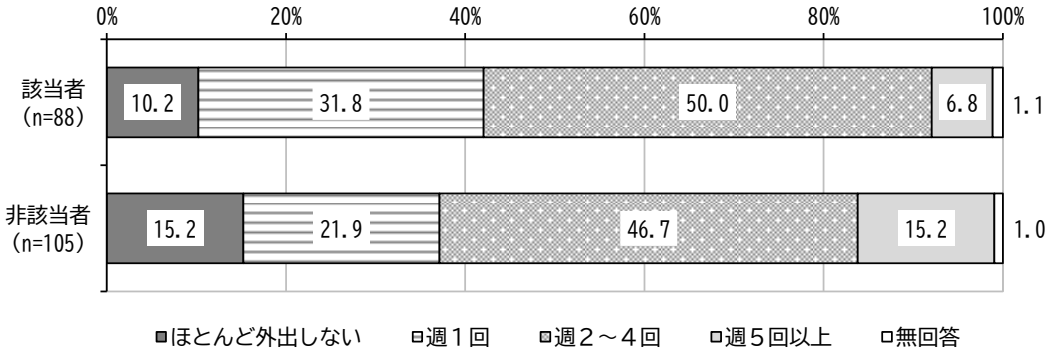
【図表3－12－14　口腔機能の低下　該当者の割合(字別)】



【他項目との関係性】

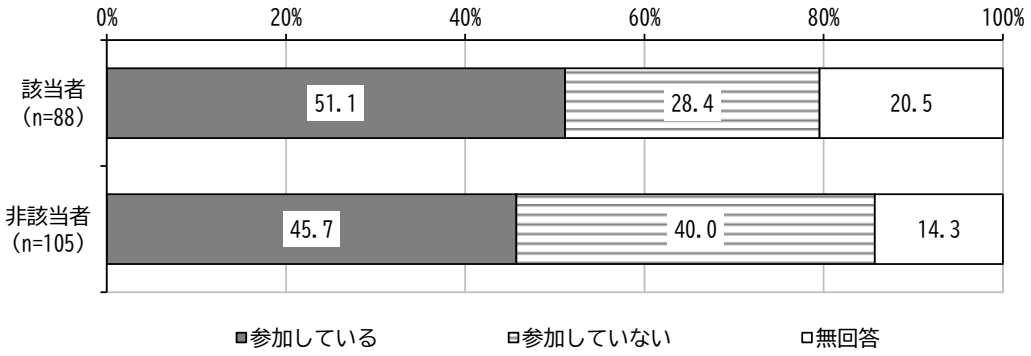
項目１	項目２
リスク判定:口腔機能の低下	問 10　週に1回以上は外出していますか。 (○は1つ)

【図表3－12－15　週に1回以上は外出しているか(口腔機能の低下別)】



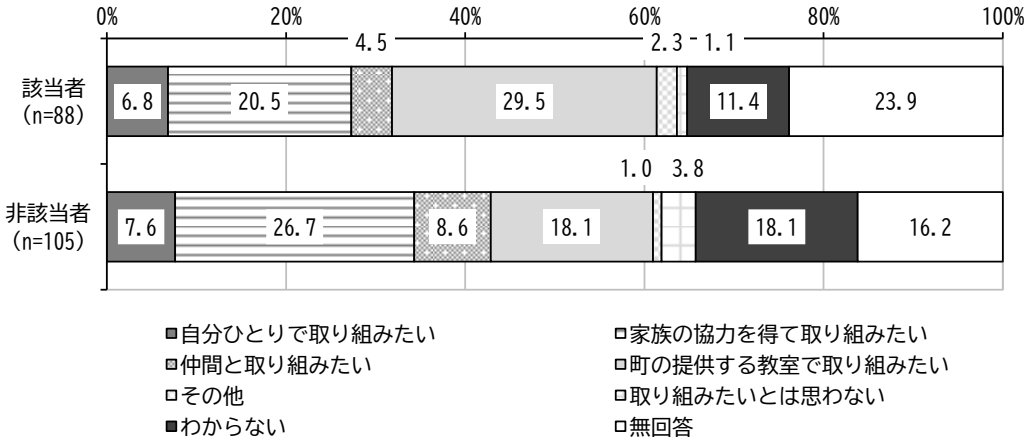
項目１	項目２
リスク判定:口腔機能の低下	地域活動参加状況

【図表3－12－16　地域活動参加状況(口腔機能の低下別)】



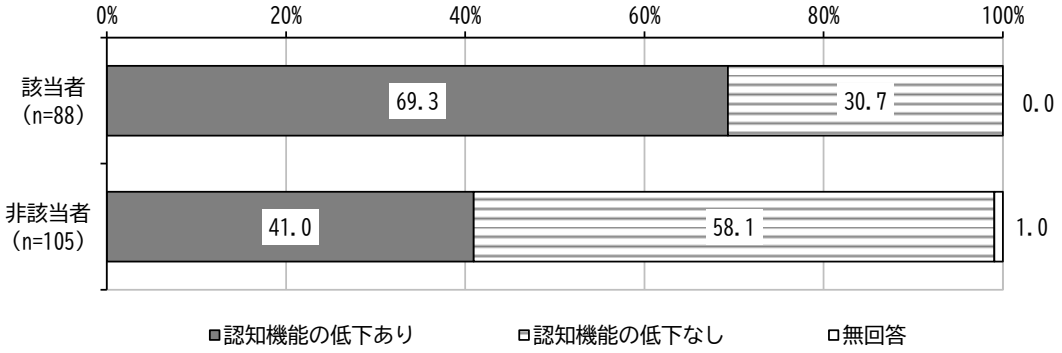
項目１	項目２
リスク判定:口腔機能の低下	問 75　あなたは、健康づくりや介護予防に、どのように取り組みたいですか。(○は1つ)

【図表3－12－17　健康づくりや介護予防についてどのように取り組みたいか(口腔機能の低下別)】



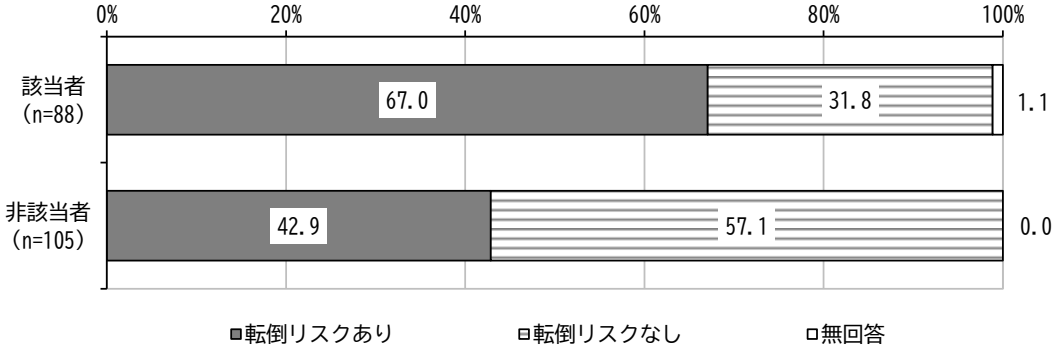
項目１	項目２
リスク判定:口腔機能の低下	リスク判定:認知機能の低下

【図表3－12－18　認知機能の低下　該当者の割合(口腔機能の低下別)】



項目１	項目２
リスク判定:口腔機能の低下	リスク判定:転倒リスク

【図表3－12－19　転倒リスク　該当者の割合(口腔機能の低下別)】



（4） 閉じこもり傾向

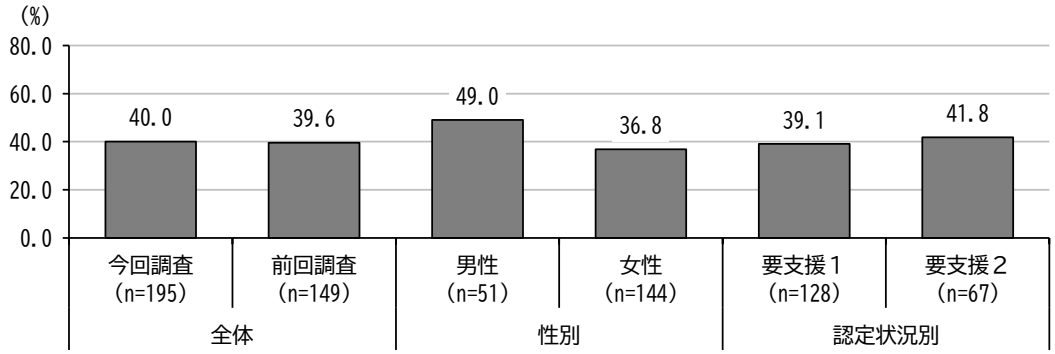
下記の設問について、該当する選択肢が回答された場合、閉じこもり傾向の高齢者として判定しました。

【図表3－12－20 閉じこもり傾向を判定するための項目】

問	設問	該当する選択肢
問 10	週に1回以上は外出していますか。	「ほとんど外出しない」 「週1回」

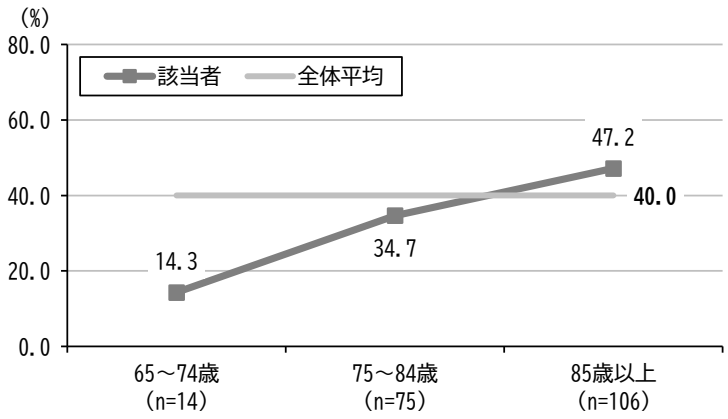
閉じこもり傾向と判断された高齢者の割合は、全体で 40.0%となっています。前回調査と比較すると、0.4 ポイント増加しています。

【図表3－12－21 閉じこもり傾向 該当者の割合】

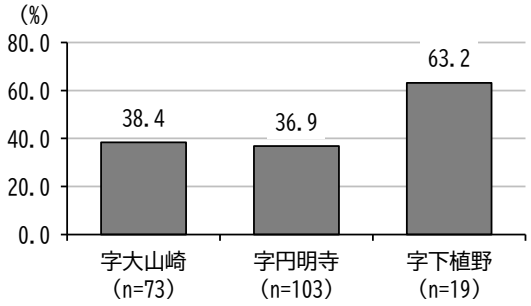


年齢別にみると、「85 歳以上」が 47.2%で最も高くなっています。

【図表3－12－22 閉じこもり傾向 該当者の割合(年齢別)】



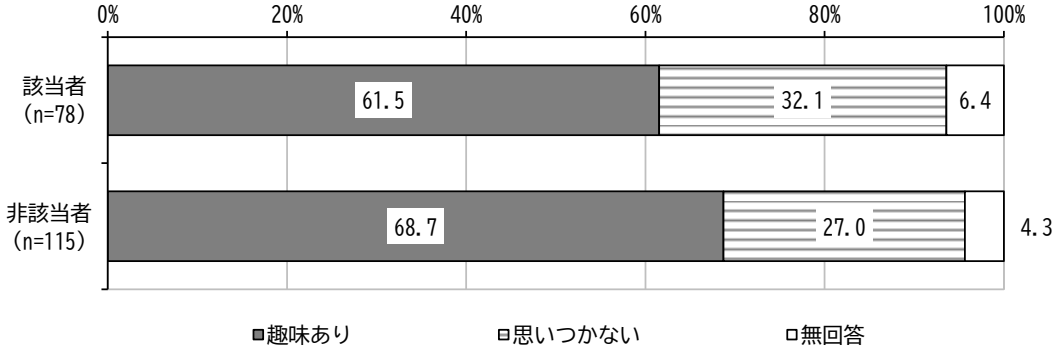
【図表3－12－23 閉じこもり傾向 該当者の割合(字別)】



【他項目との関係性】

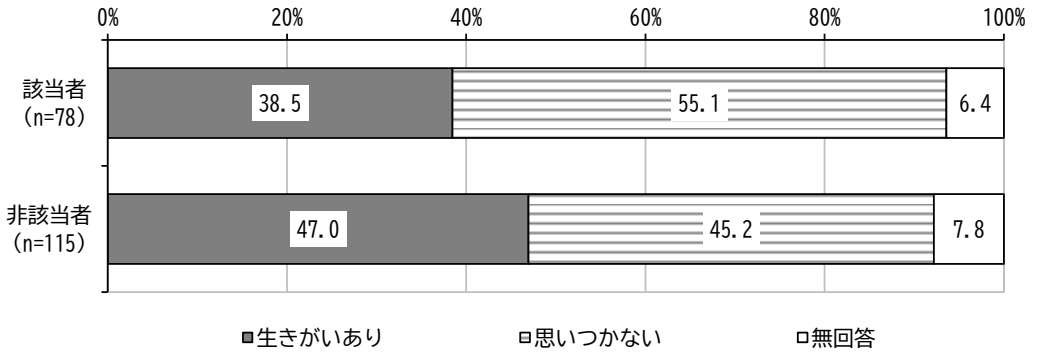
項目１	項目２
リスク判定:閉じこもり傾向	問 43 趣味はありますか。(○は1つ)

【図表3－12－24 趣味はあるか(閉じこもり傾向別)】



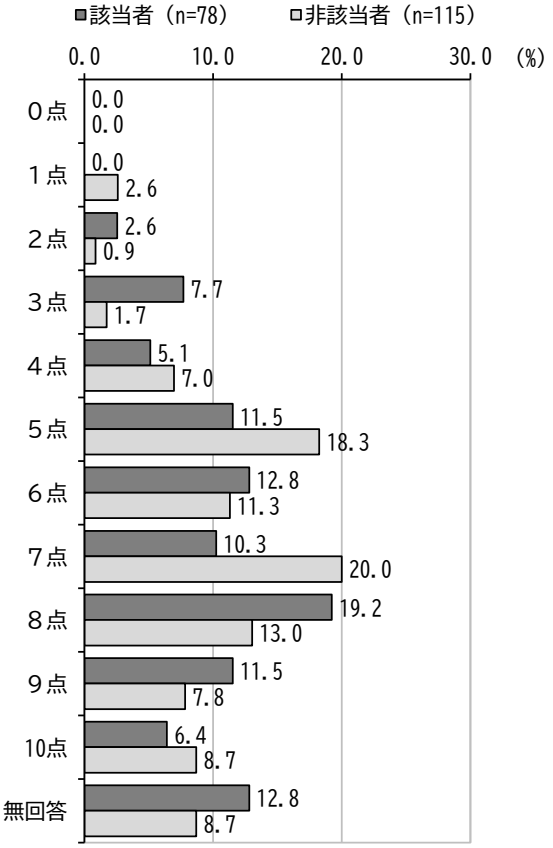
項目１	項目２
リスク判定:閉じこもり傾向	問 44 生きがいはありますか。(○は1つ)

【図表3－12－25 生きがいはあるか(閉じこもり傾向別)】



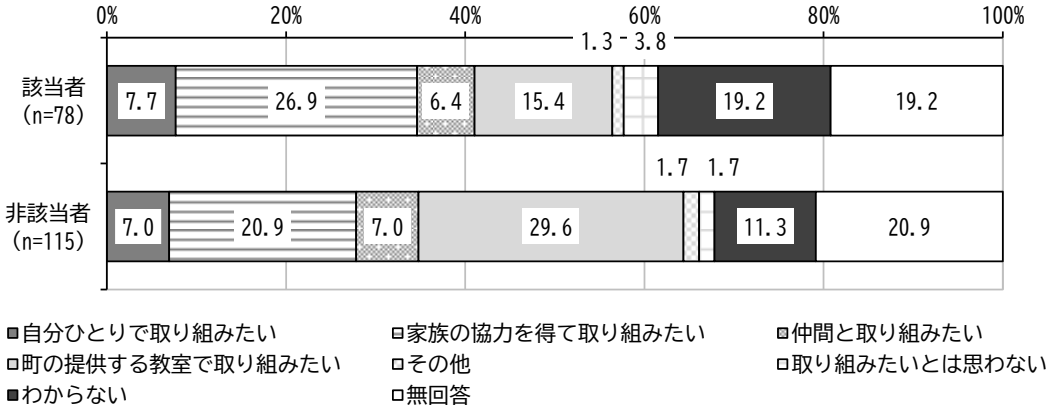
項目１	項目２
リスク判定:閉じこもり傾向	問 63　あなたは、現在どの程度幸せですか。(「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を 10 点として、ご記入ください。)(○は1つ)

【図表3－12－26　幸福度(閉じこもり傾向別)】



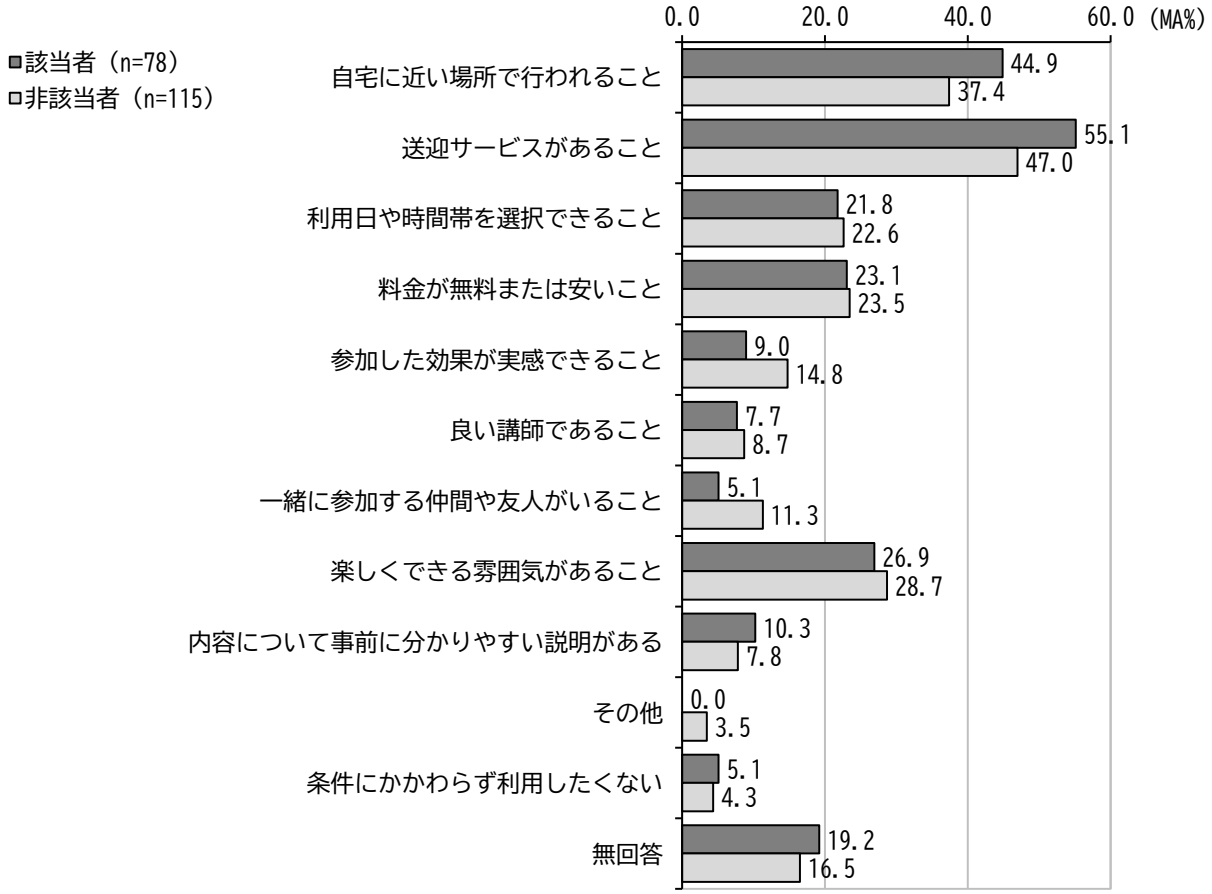
項目１	項目２
リスク判定:閉じこもり傾向	問 75　あなたは、健康づくりや介護予防に、どのように取り組みたいですか。(○は1つ)

【図表3－12－27　健康づくりや介護予防についてどのように取り組みたいか(閉じこもり傾向別)】



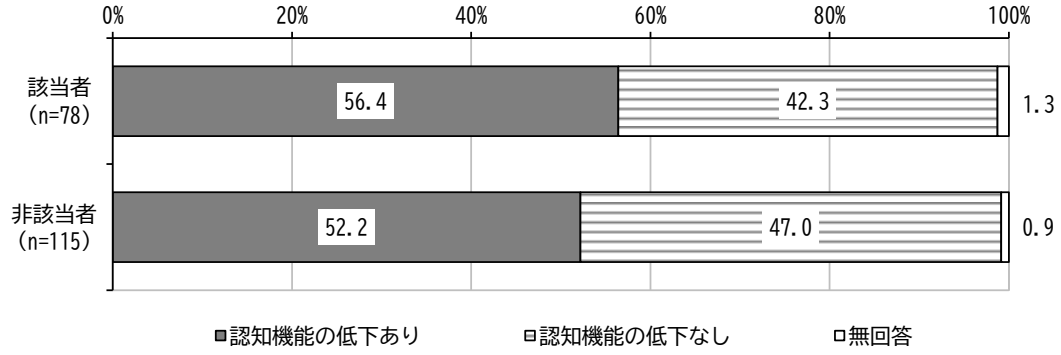
項目１	項目２
リスク判定:閉じこもり傾向	問 76　町の健康づくりや介護予防教室に参加するために必要な条件は何ですか。(○は3つまで)

【図表3－12－28　健康づくりや介護予防教室に参加するための条件(閉じこもり傾向別)】



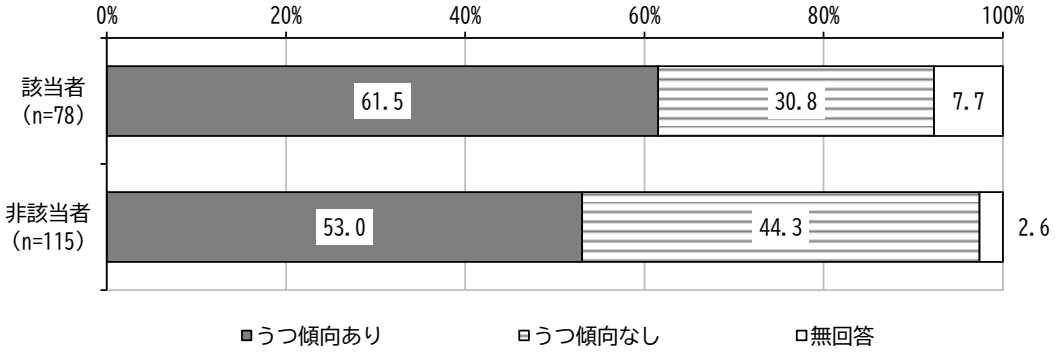
項目１	項目２
リスク判定:閉じこもり傾向	リスク判定:認知機能の低下

【図表3－12－29　認知機能の低下　該当者の割合(閉じこもり傾向別)】



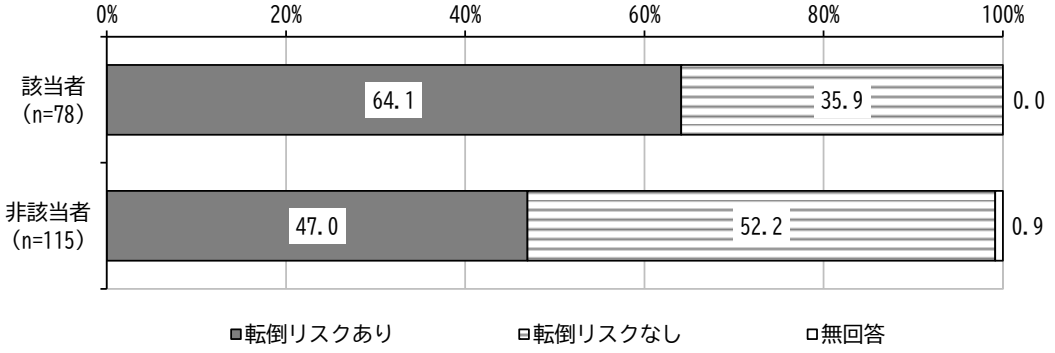
項目１	項目２
リスク判定:閉じこもり傾向	リスク判定:うつ傾向

【図表3－12－30　うつ傾向　該当者の割合(閉じこもり傾向別)】



項目１	項目２
リスク判定:閉じこもり傾向	リスク判定:転倒リスク

【図表3－12－31　転倒リスク　該当者の割合(閉じこもり傾向別)】



（5） 認知機能の低下

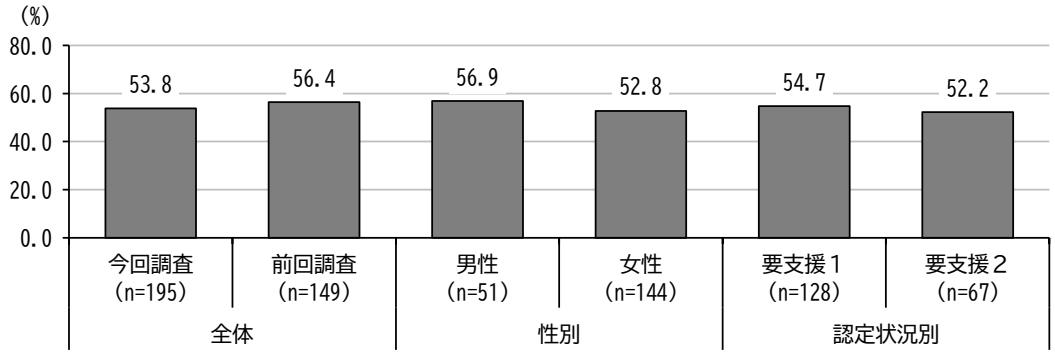
下記の設問について、該当する選択肢が回答された場合、認知機能が低下している高齢者として判定しました。

【図表3－12－32 認知機能の低下を判定するための項目】

問	設問	該当する選択肢
問 26	物忘れが多いと感じますか。	「はい」

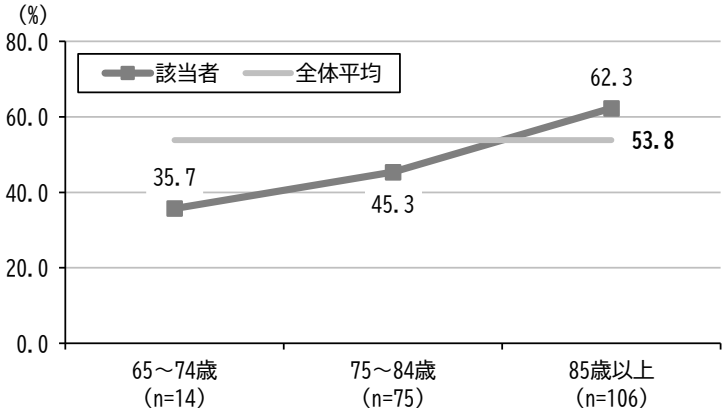
認知機能が低下していると判断された高齢者の割合は、全体で 53.8%となっています。前回調査と比較すると、2.5 ポイント減少しています。

【図表3－12－33 認知機能の低下 該当者の割合】

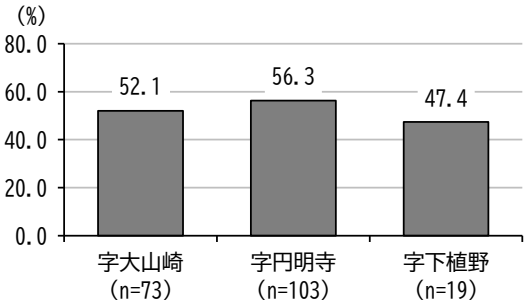


年齢別にみると、「85 歳以上」が 62.3%で最も高くなっています。

【図表3－12－34 認知機能の低下 該当者の割合（年齢別）】



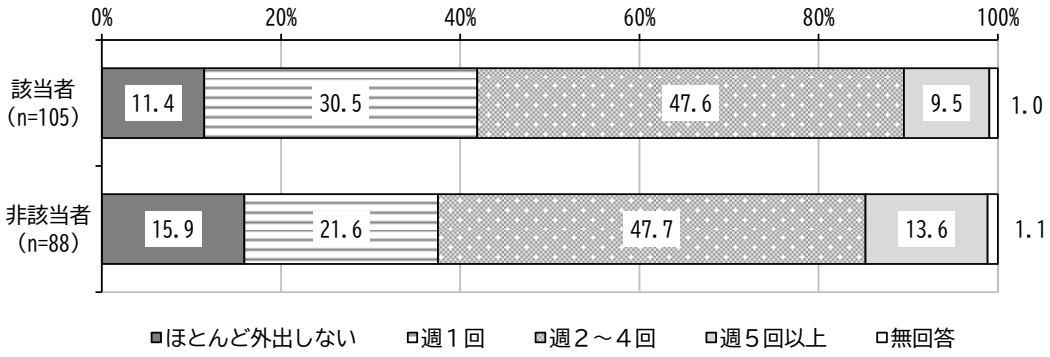
【図表3－12－35 認知機能の低下 該当者の割合(字別)】



【他項目との関係性】

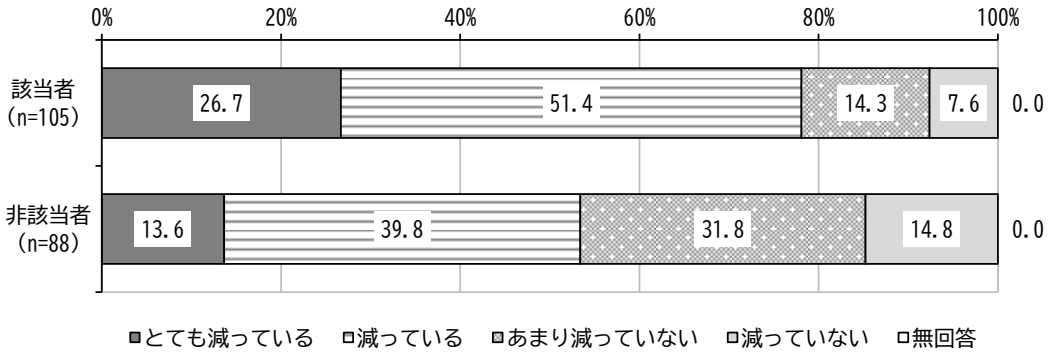
項目１	項目２
リスク判定:認知機能の低下	問 10 週に1回以上は外出していますか。 (○は1つ)

【図表3－12－36 週に1回以上は外出しているか(認知機能の低下別)】



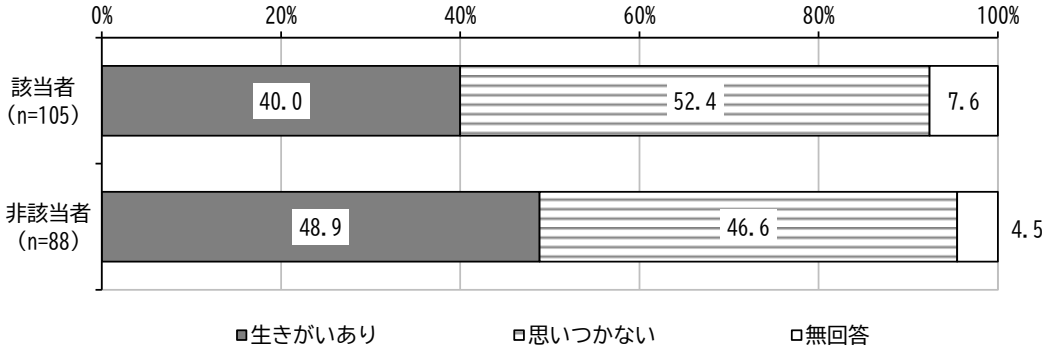
項目１	項目２
リスク判定:認知機能の低下	問 11 昨年と比べて外出の回数が減っていますか。(○は1つ)

【図表3－12－37 昨年と比べて外出の回数が減っているか(認知機能の低下別)】



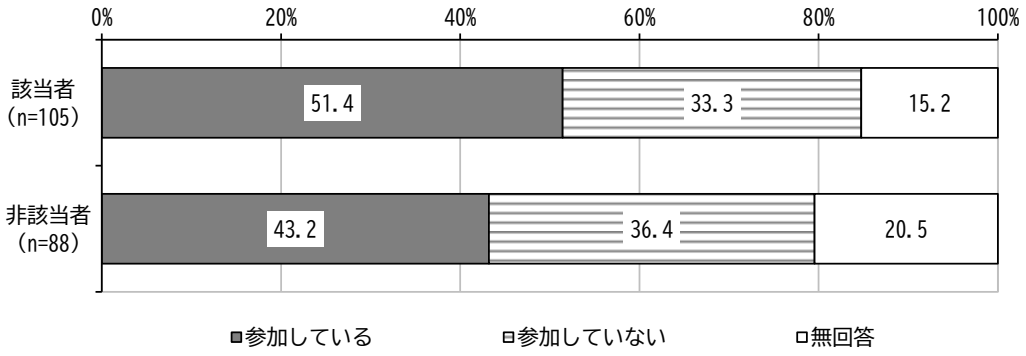
項目１	項目２
リスク判定：認知機能の低下	問 44　生きがいはありますか。（○は1つ）

【図表3－12－38　生きがいはあるか（認知機能の低下別）】



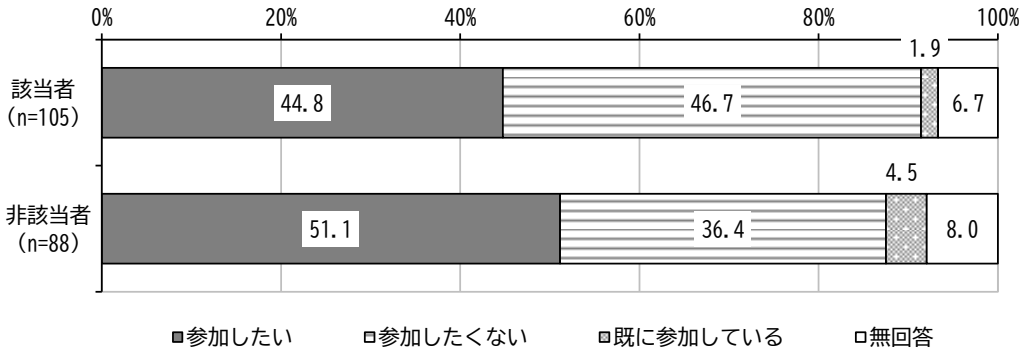
項目１	項目２
リスク判定：認知機能の低下	地域活動参加状況

【図表3－12－39　地域活動参加状況（認知機能の低下別）】



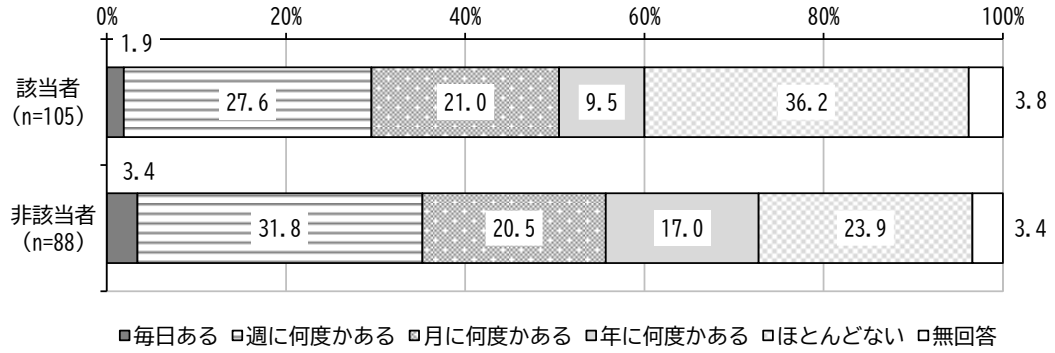
項目１	項目２
リスク判定：認知機能の低下	問 49　地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか。（○は1つ）

【図表3－12－40　地域での活動に参加者として参加したいか（認知機能の低下別）】



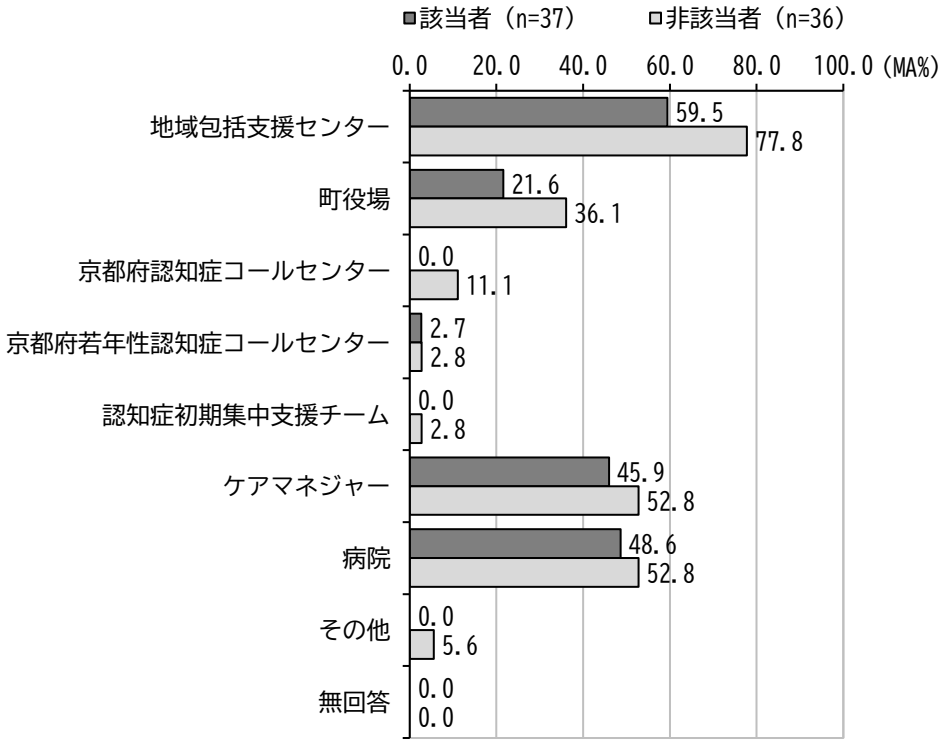
項目１	項目２
リスク判定:認知機能の低下	問 58　友人･知人と会う頻度はどれくらいですか。(○は1つ)

【図表3－12－41　友人･知人と会う頻度(認知機能の低下別)】



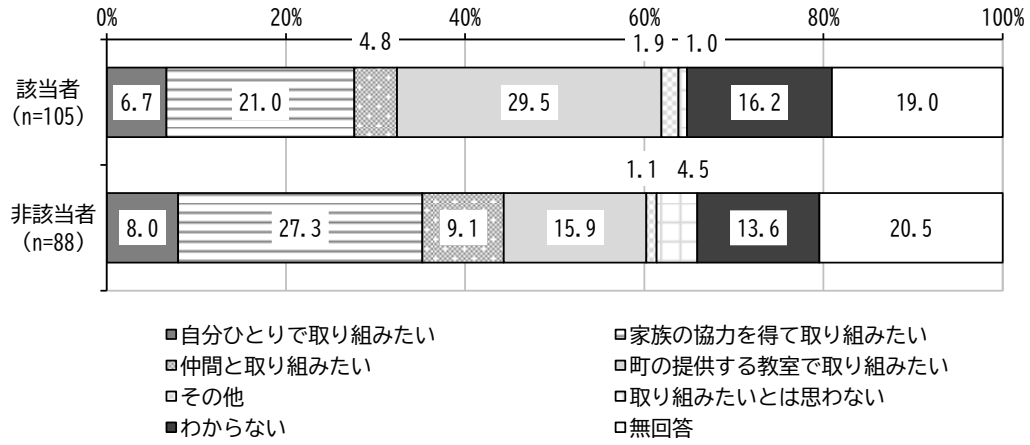
項目１	項目２
リスク判定:認知機能の低下	問 73-1　認知症についての相談先としてどんなところをご存知ですか。(○はいくつでも)

【図表3－12－42　認知症に関する相談窓口の認知状況(認知機能の低下別)】



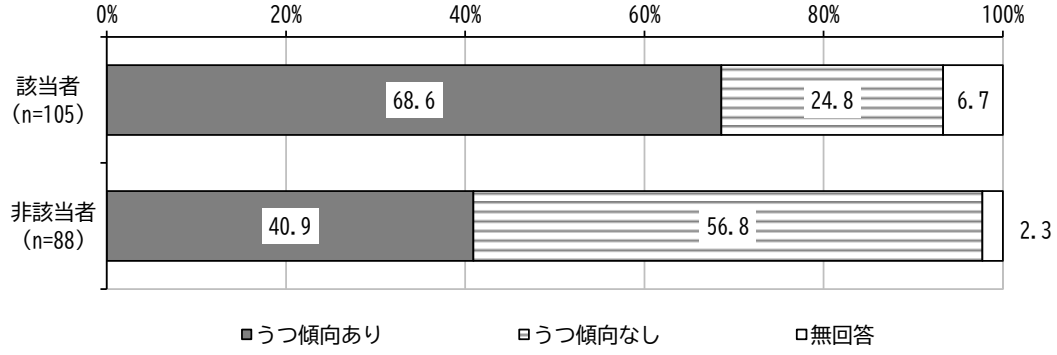
項目１	項目２
リスク判定:認知機能の低下	問 75　あなたは、健康づくりや介護予防に、どのように取り組みたいですか。(○は1つ)

【図表3－12－43　健康づくりや介護予防についてどのように取り組みたいか(認知機能の低下別)】



項目１	項目２
リスク判定:認知機能の低下	リスク判定:うつ傾向

【図表3－12－44　うつ傾向　該当者の割合(認知機能の低下別)】



項目１	項目２
リスク判定:　口腔機能の低下	リスク判定:認知機能の低下

228 ページ参照

項目１	項目２
リスク判定:　閉じこもり傾向	リスク判定:認知機能の低下

232 ページ参照

（6） うつ傾向

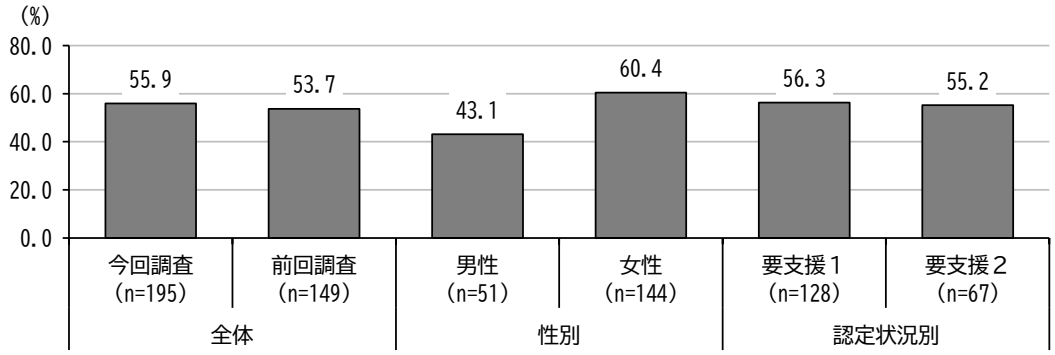
下記の2設問について、いずれか1問でも該当する選択肢が回答された場合、うつ傾向の高齢者として判定しました。

【図表3－12－45 うつ傾向を判定するための項目】

問	設問	該当する選択肢
問 64	この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか。	「はい」
問 65	この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか。	「はい」

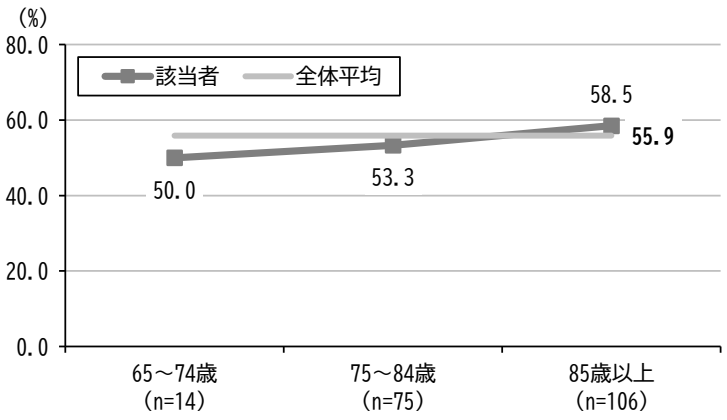
うつ傾向と判断された高齢者の割合は、全体で 55.9%となっています。前回調査と比較すると、2.2 ポイント増加しています。

【図表3－12－46 うつ傾向 該当者の割合】



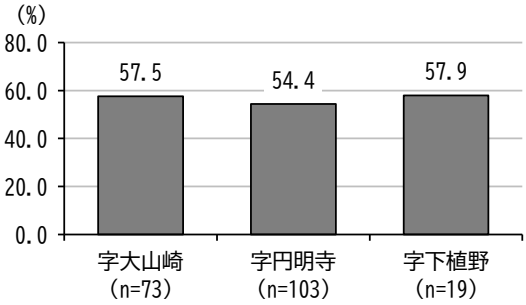
年齢別にみると、「85 歳以上」が 58.5%で最も高くなっています。

【図表3－12－47 うつ傾向 該当者の割合(年齢別)】



字別でみると、「字下植野」が 57.9%で最も高くなっています。

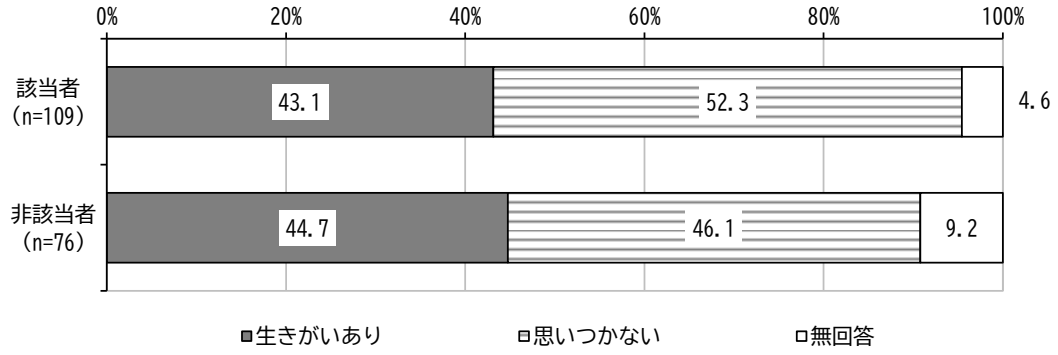
【図表3－12－48 うつ傾向　該当者の割合(字別)】



【他項目との関係性】

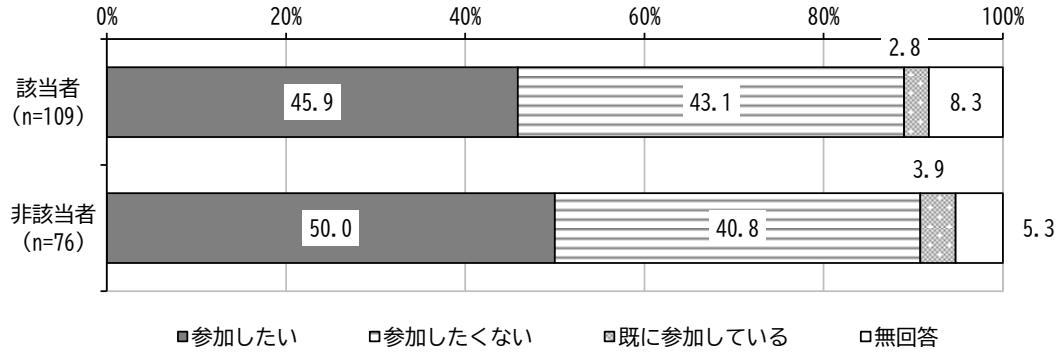
項目 1	項目 2
リスク判定:うつ傾向	問 44　生きがいはありますか。(○は1つ)

【図表3－12－49　生きがいはあるか （うつ傾向別)】



項目 1	項目 2
リスク判定:うつ傾向	問 49　地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか。(○は1つ)

【図表3－12－50　地域での活動に参加者として参加したいか(うつ傾向別)】



項目１	項目２
リスク判定：閉じこもり傾向	リスク判定:うつ傾向

233 ページ参照

項目１	項目２
リスク判定:認知機能の低下	リスク判定:うつ傾向

238 ページ参照

（7） 転倒リスク

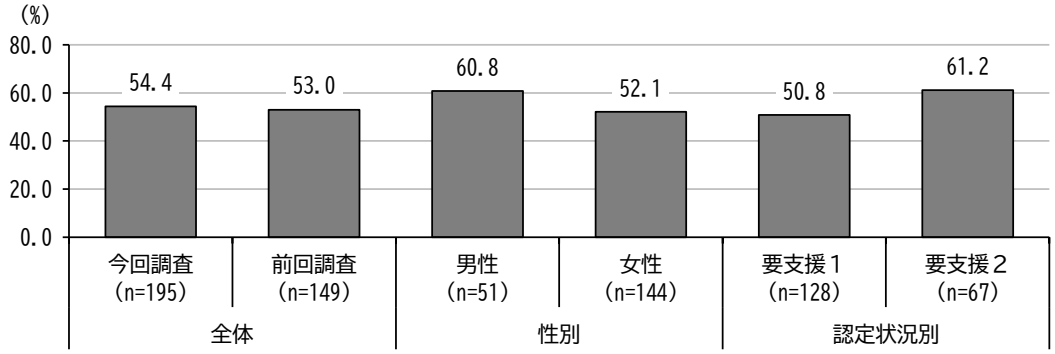
下記の設問について、該当する選択肢が回答された場合、転倒リスクがある高齢者として判定しました。

【図表3－12－51 転倒リスクを判定するための項目】

問	設問	該当する選択肢
問8	過去1年間に転んだ経験がありますか。	「何度もある」 「1度ある」

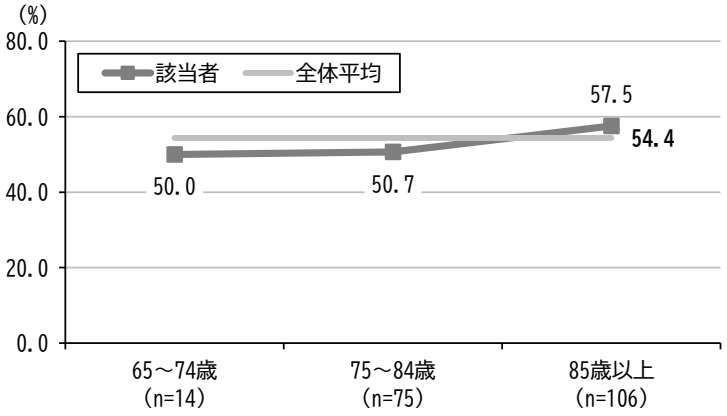
転倒リスクがあると判断された高齢者の割合は、全体で 54.4%となっています。前回調査と比較すると、1.4 ポイント増加しています。

【図表3－12－52 転倒リスク 該当者の割合】

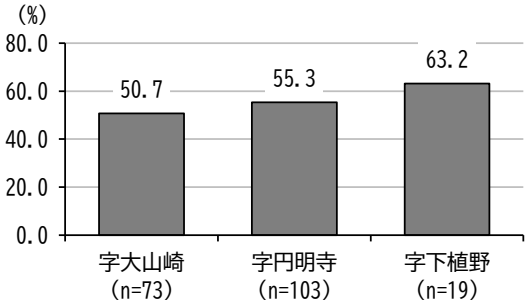


年齢別にみると、「85 歳以上」が 57.5%で最も高くなっています。

【図表3－12－53 転倒リスク 該当者の割合(年齢別)】



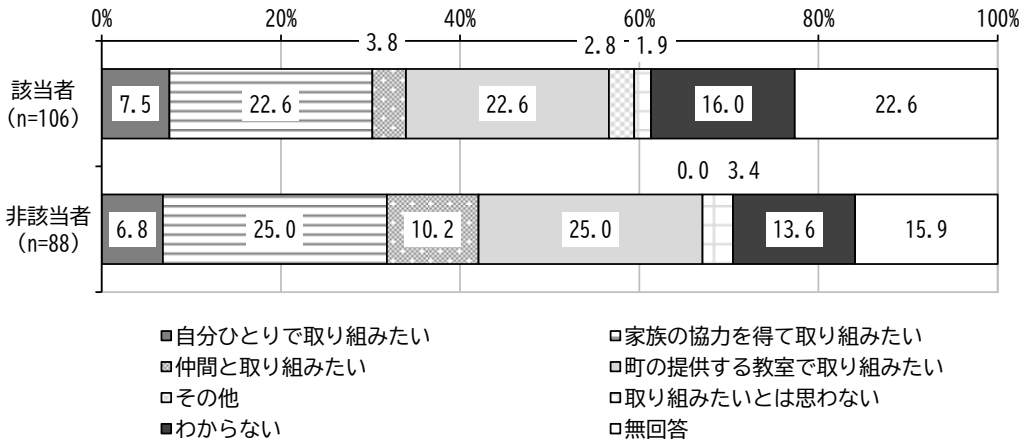
【図表3－12－54 転倒リスク 該当者の割合(字別)】



【他項目との関係性】

項目 1	項目 2
リスク判定:転倒リスク	問 75 あなたは、健康づくりや介護予防に、どのように取り組みたいですか。(○は1つ)

【図表3－12－55 健康づくりや介護予防についてどのように取り組みたいか(転倒リスク別)】



項目 1	項目 2
リスク判定:運動機能の低下	リスク判定:転倒リスク

224 ページ参照

項目 1	項目 2
リスク判定:口腔機能の低下	リスク判定:転倒リスク

228 ページ参照

項目 1	項目 2
リスク判定:閉じこもり傾向	リスク判定:転倒リスク

233 ページ参照

(8) IADL の低下

老研式活動能力指標に基づき、下記の5設問について、該当する選択肢を回答した場合を1点として、5点満点で評価し、4点以下の場合、IADL(手段的日常生活自立度)が低下している高齢者として判定しました。

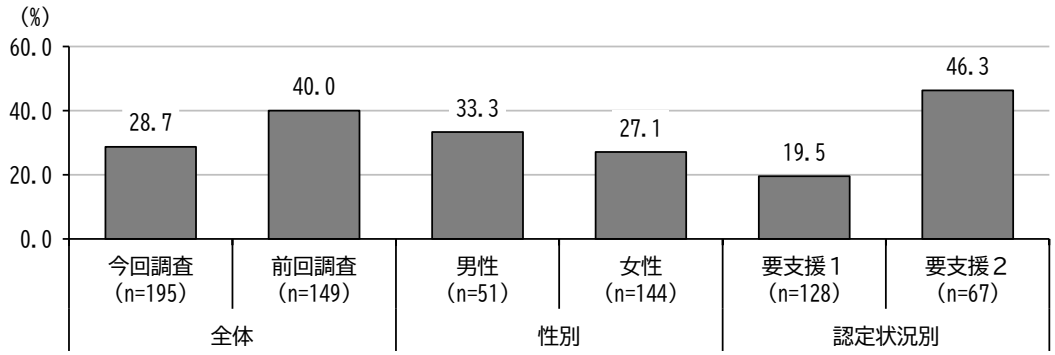
※IADL(手段的日常生活自立度)とは買物、電話、外出等、ADL(日常生活動作:起居動作・移乗・移動・食事・更衣・排泄・入浴・整容)よりも高い自立した日常生活を送る能力をいいます。

【図表3－12－56 IADL の低下を判定するための項目】

問	設問	該当する選択肢
問 30	バスや電車を使って1人で外出していますか。 (自家用車でも可)	「できるし、している」 「できるけどしていない」
問 31	自分で食品・日用品の買物をしていますか。	「できるし、している」 「できるけどしていない」
問 32	自分で食事の用意をしていますか。	「できるし、している」 「できるけどしていない」
問 33	自分で請求書の支払いをしていますか。	「できるし、している」 「できるけどしていない」
問 34	自分で預貯金の出し入れをしていますか。	「できるし、している」 「できるけどしていない」

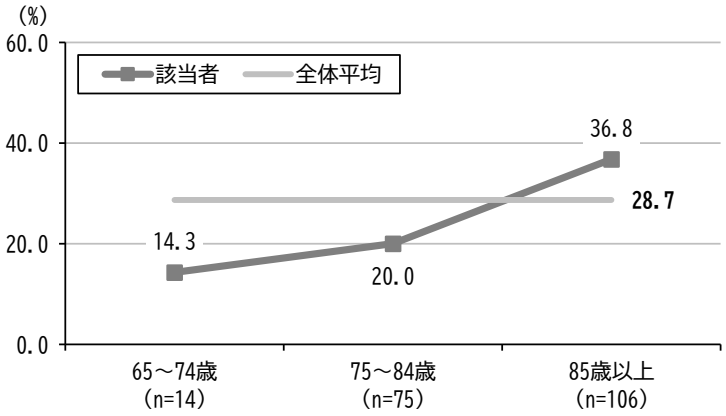
IADL が低下していると判断された高齢者の割合は、全体で 28.7%となっています。前回調査と比較すると、11.3 ポイント減少しています。

【図表3－12－57 IADL の低下 該当者の割合】

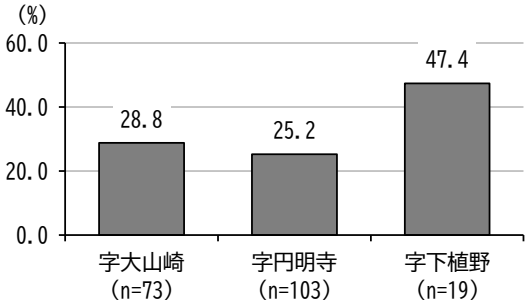


年齢別にみると、「85 歳以上」が 36.8%で最も高くなっています。

【図表3－12－58 IADL の低下 該当者の割合(年齢別)】



【図表3－12－59 IADL の低下 該当者の割合(字別)】



第4章　在宅介護実態調査

Ⅰ　単純集計結果

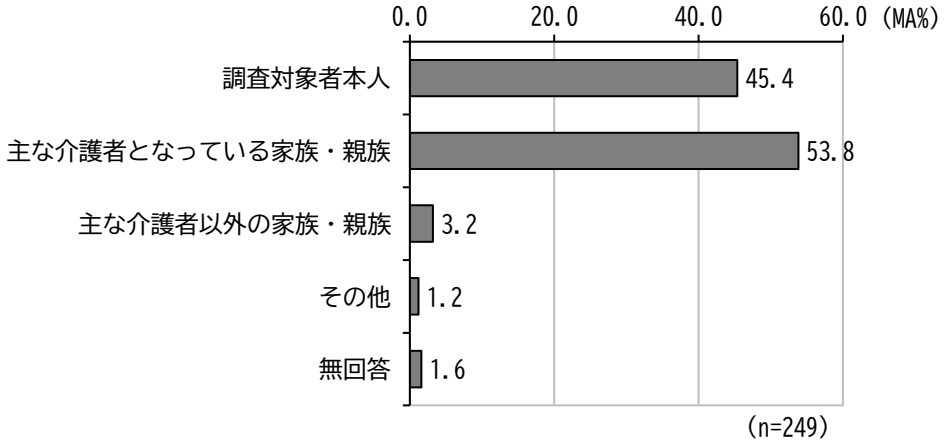
1.　回答者の属性

（1）回答者

A票	問1	現在、この調査票にご回答を頂いているのは、どなたですか。 （○はいくつでも）

回答者について、「主な介護者となっている家族・親族」が 53.8%で最も高く、次いで「調査対象者本人」が 45.4%、「主な介護者以外の家族・親族」が 3.2%となっています。

【図表4－1－1－1　回答者】

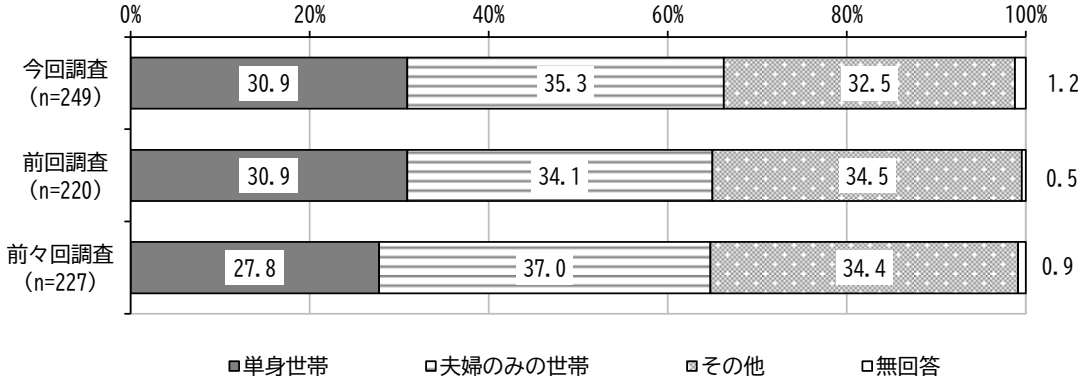


（2）世帯構成

A票	問2	世帯類型について、ご回答ください。（○は1つ）

世帯構成について、「夫婦のみの世帯」が 35.3%で最も高く、次いで「その他」が 32.5%、「単身世帯」が 30.9%となっています。また、前回調査と比較して「夫婦のみの世帯」が 1.2 ポイント増加しています。

【図表4－1－1－2　世帯構成】

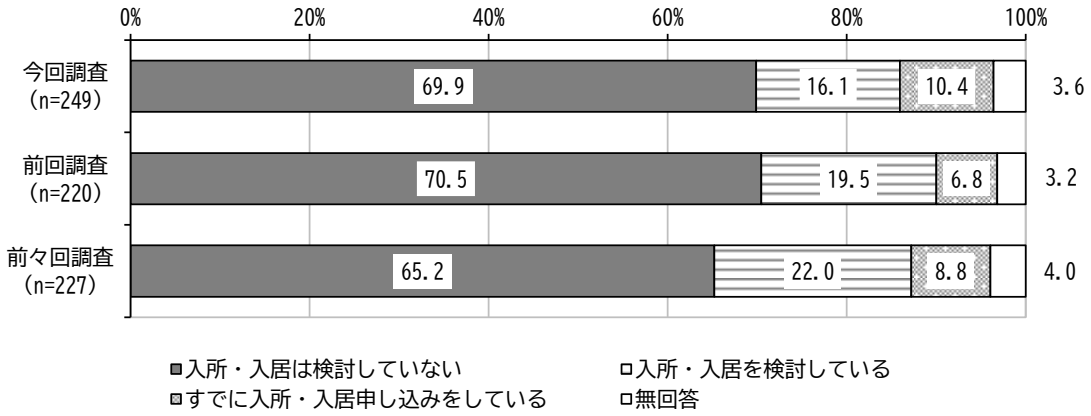


（3） 施設等への入所・入居の状況

A票	問3	現時点での、施設等への入所・入居の検討状況について、ご回答ください。 （○は1つ）

施設等への入所・入居の状況について、「入所・入居は検討していない」が 69.9%で最も高く、次いで「入所・入居を検討している」が 16.1%、「すでに入所・入居申し込みをしている」が 10.4%となっています。また、前回調査と比較して「入所・入居を検討している」が 3.4 ポイント減少しています。

【図表4－1－1－3 施設等への入所・入居の状況】



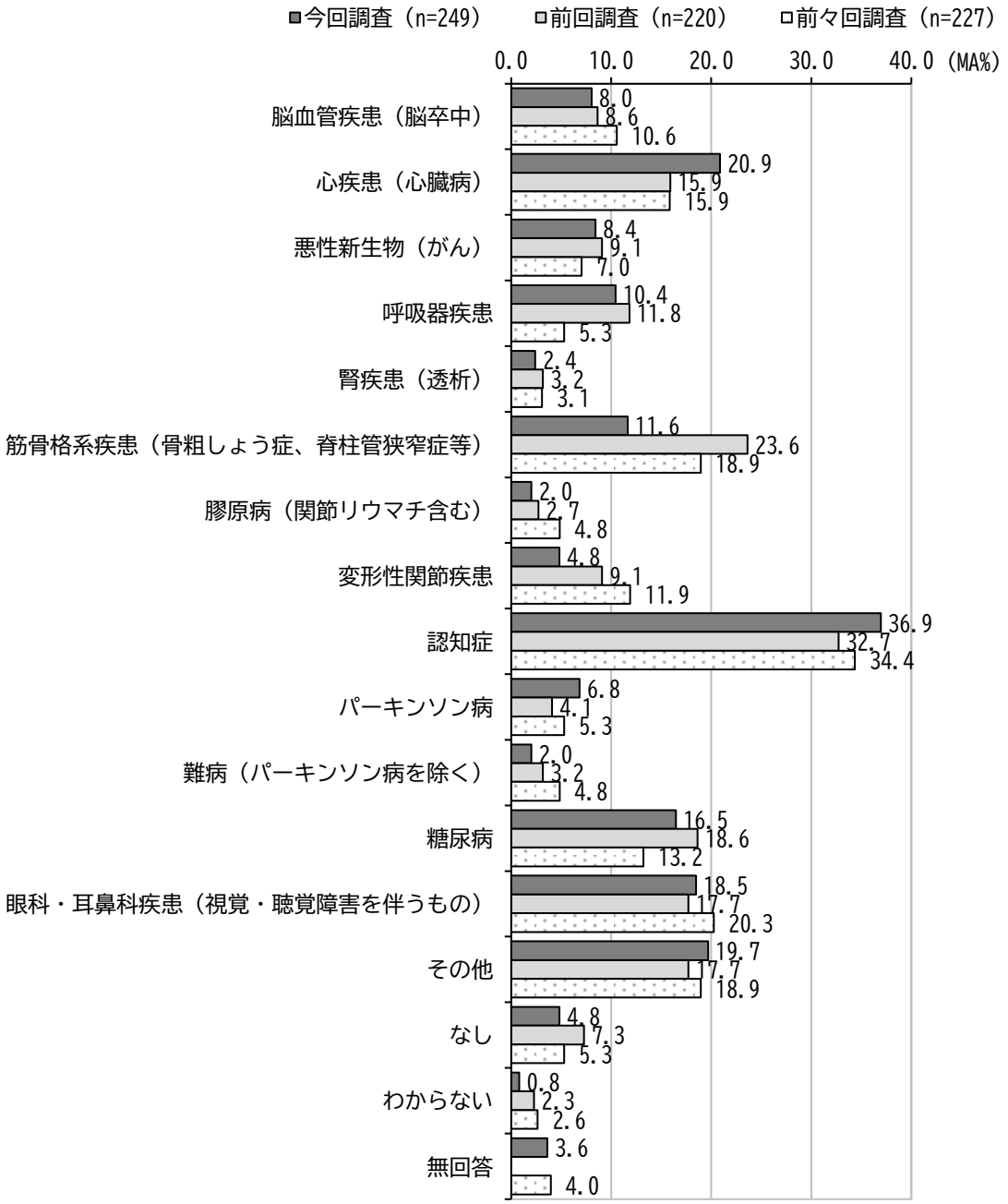
（4） 現在、抱えている傷病

A票	問4	あなた（認定調査対象者）が、現在抱えている傷病について、ご回答ください。（○はいくつでも）

現在、抱えている傷病について、「認知症」が 36.9%で最も高く、次いで「心疾患（心臓病）」が 20.9%、「その他」が 19.7%となっています。また、前回調査と比較して「認知症」が 4.2 ポイント増加しています。

また、その他の内容について、『骨折などによる歩行困難』（11 件）、『生活習慣病』（9件）、『脊椎・頸椎損傷』（6件）などがあります。

【図表4－1－1－4 現在、抱えている傷病】



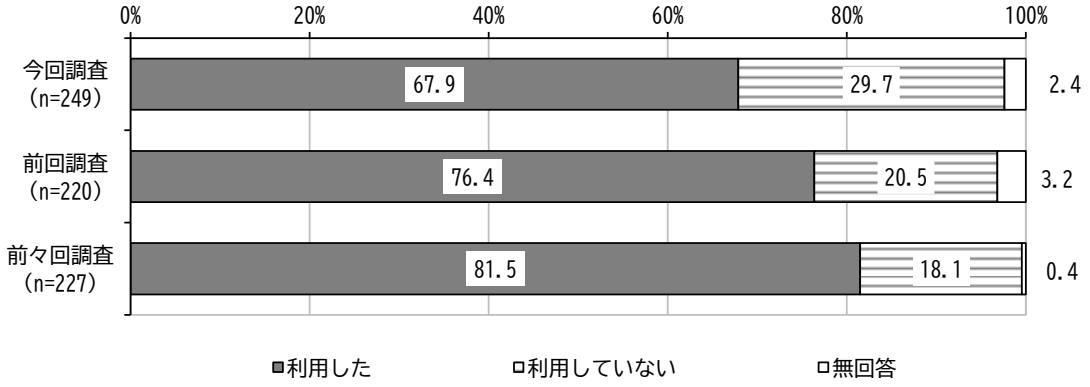
2. 介護保険サービスについて

(1) 1か月間の介護保険サービスの利用状況

A票	問5	令和7年 10 月の1か月の間に、(住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の)介護保険サービスを利用しましたか。(○は1つ)

1か月間の介護保険サービスの利用状況について、「利用した」が 67.9%、「利用していない」が 29.7%となっています。また、前回調査と比較して「利用した」が 8.5 ポイント減少しています。

【図表4－1－2－1 1か月間の介護保険サービスの利用状況】

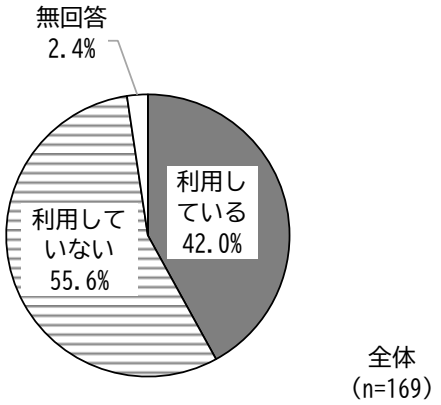


(2) 訪問看護の利用状況

A票	問5-1	**【問5で「利用した」を回答された方のみ】** 現在、訪問看護を利用していますか。(○は1つ)

訪問看護の利用状況について、「利用している」が 42.0%、「利用していない」が 55.6%となっています。

【図表4－1－2－2 訪問看護の利用状況】

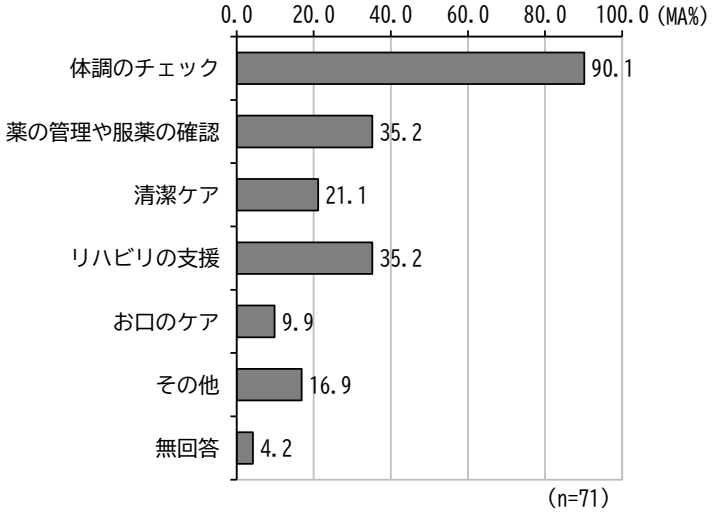


（3） 訪問看護で受けている支援

A票	問5-2	**【問5-1で訪問看護を「利用している」を回答された方のみ】** 訪問看護では、どのような支援を受けていますか。（○はいくつでも）

訪問看護で受けている支援について、「体調のチェック」が 90.1%で最も高く、次いで「薬の管理や服薬の確認」「リハビリの支援」が 35.2%、「清潔ケア」が 21.1%となっています。

【図表4－1－2－3 訪問看護で受けている支援】

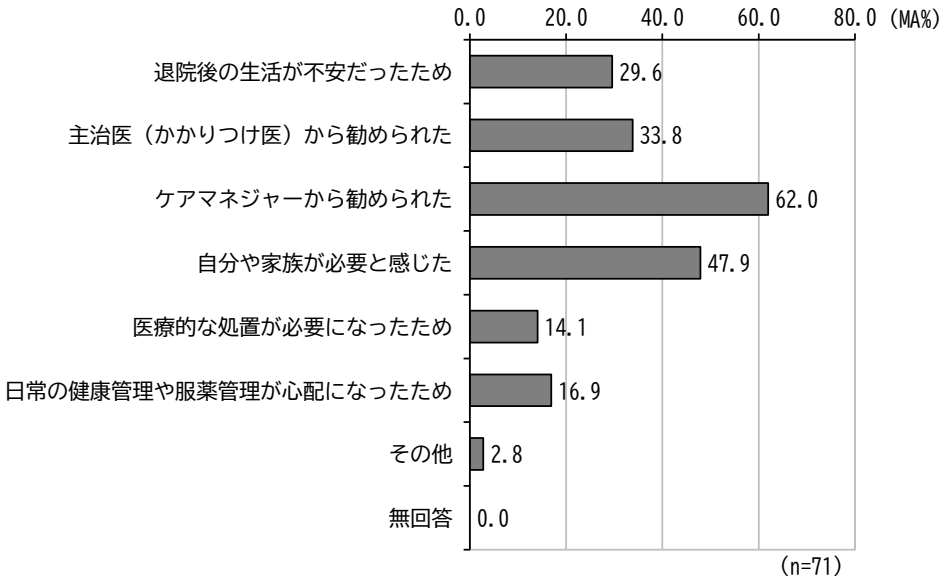


（4） 訪問看護の利用のきっかけ

A票	問5-3	**【問5-1で訪問看護を「利用している」を回答された方のみ】** 訪問看護の利用のきっかけは何ですか。（○はいくつでも）

訪問看護の利用のきっかけについて、「ケアマネジャーから勧められた」が 62.0%で最も高く、次いで「自分や家族が必要と感じた」が 47.9%、「主治医（かかりつけ医）から勧められた」が 33.8%となっています。

【図表4－1－2－4 訪問看護の利用のきっかけ】



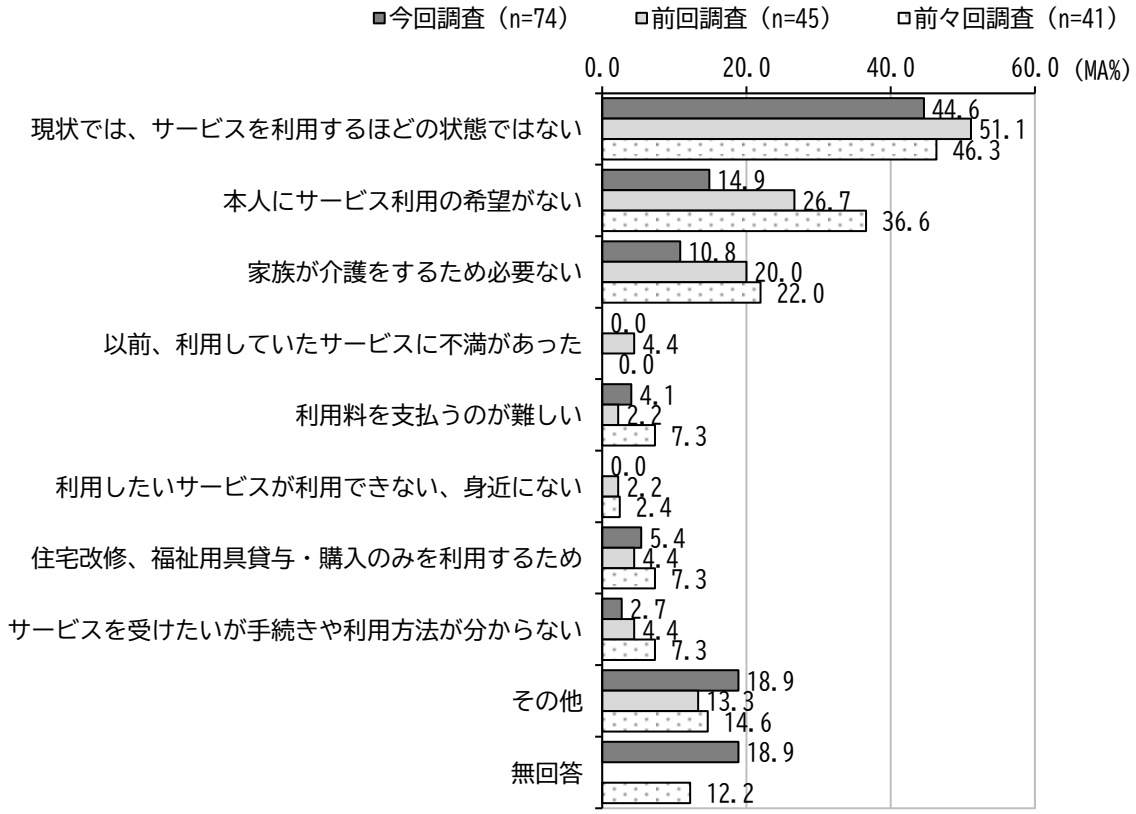
（5） 介護保険サービスを利用していない理由

A票	問5-4	**【問5で（住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の）介護保険サービスを「利用していない」を回答された方のみ】** 介護保険サービスを利用していない理由は何ですか。（○はいくつでも）

介護保険サービスを利用していない理由について、「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が 44.6%で最も高く、次いで「その他」が 18.9%、「本人にサービス利用の希望がない」が 14.9%となっています。また、前回調査と比較して「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が 6.5 ポイント減少しています。

また、その他の内容について、『入院中のため』（5件）などがあります。

【図表4－1－2－5 介護保険サービスを利用していない理由】



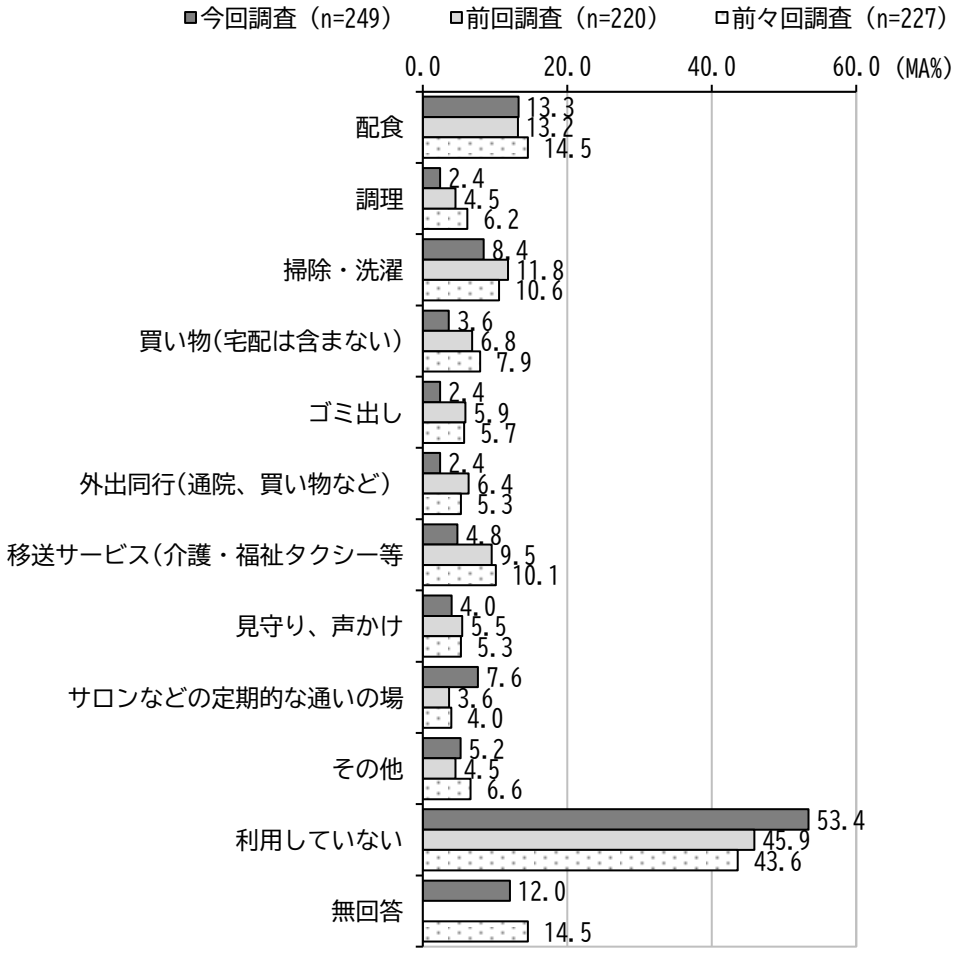
3. 介護保険サービス以外の支援・サービスについて

(1) 介護保険サービス以外で利用している支援・サービス

A票	問6	現在、利用している、「介護保険サービス**以外**」の支援・サービスについて、ご回答ください。(○はいくつでも)※総合事業に基づく支援・サービスは、「介護保険サービス」に含めます。

介護保険サービス以外で利用している支援・サービスについて、「利用していない」が 53.4%で最も高く、次いで「配食」が 13.3%、「掃除・洗濯」が 8.4%となっています。また、前回調査と比較して「利用していない」が 7.5 ポイント増加しています。

【図表4－1－3－1 介護保険サービス以外で利用している支援・サービス】

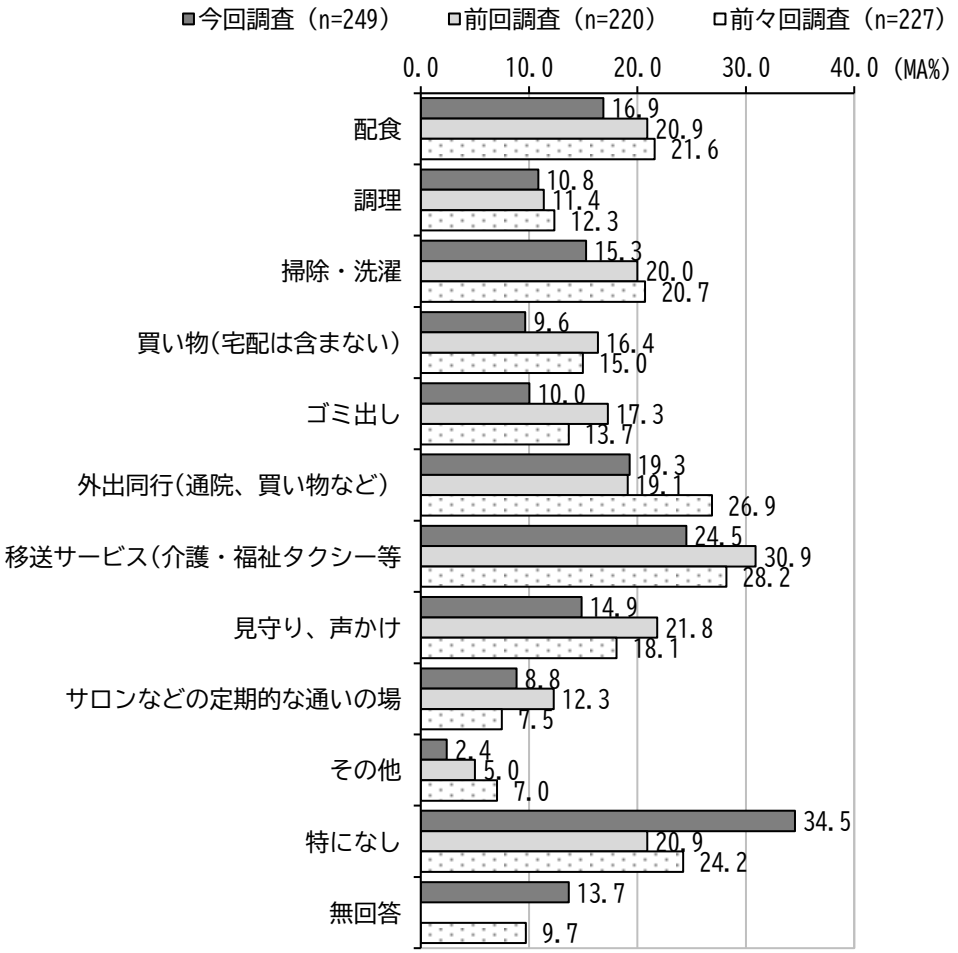


（2） 在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス

A票	問7	今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス（現在利用しているが、さらなる充実が必要と感じる支援・サービスを含む）について、ご回答ください。（○はいくつでも）※介護保険サービス、介護保険以外の支援・サービスともに含みます。

在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービスについて、「特になし」が 34.5％で最も高く、次いで「移送サービス（介護・福祉タクシー等」が 24.5％、「外出同行（通院、買い物など）」が 19.3％となっています。また、前回調査と比較して「特になし」が 13.6 ポイント増加しています。

【図表4－1－3－2 在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス】

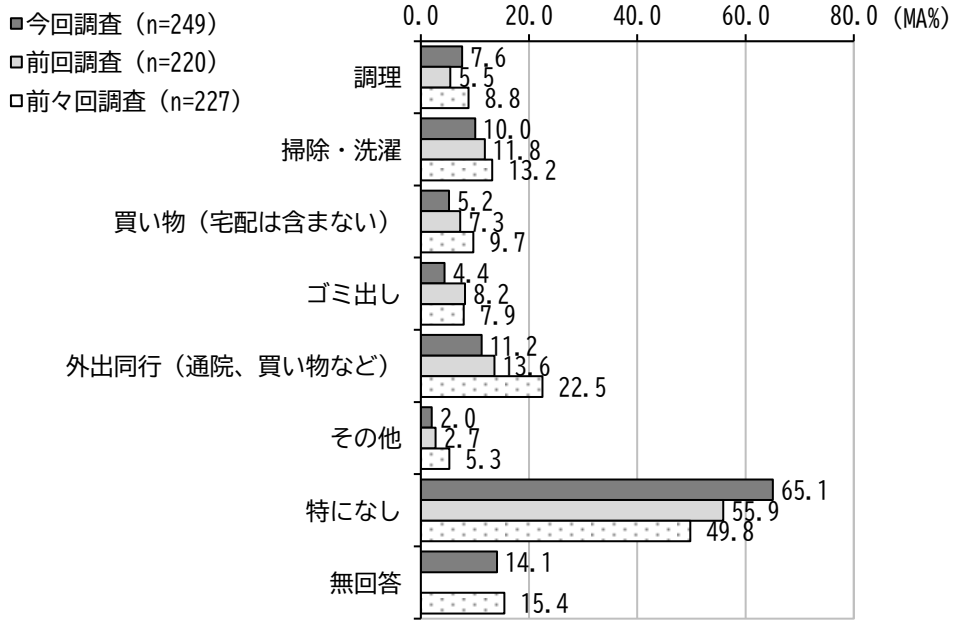


（3） 利用したい有償ボランティアサービス

A票	問8	有償ボランティアがあれば、利用したい支援・サービスについて、ご回答下さい。（○はいくつでも）

利用したい有償ボランティアサービスについて、「特になし」が 65.1%で最も高く、次いで「外出同行（通院、買い物など）」が 11.2%、「掃除・洗濯」が 10.0%、「調理」が 7.6%となっています。また、前回調査と比較して「特になし」が 9.2 ポイント増加しています。

【図表4－1－3－3 利用したい有償ボランティアサービス】

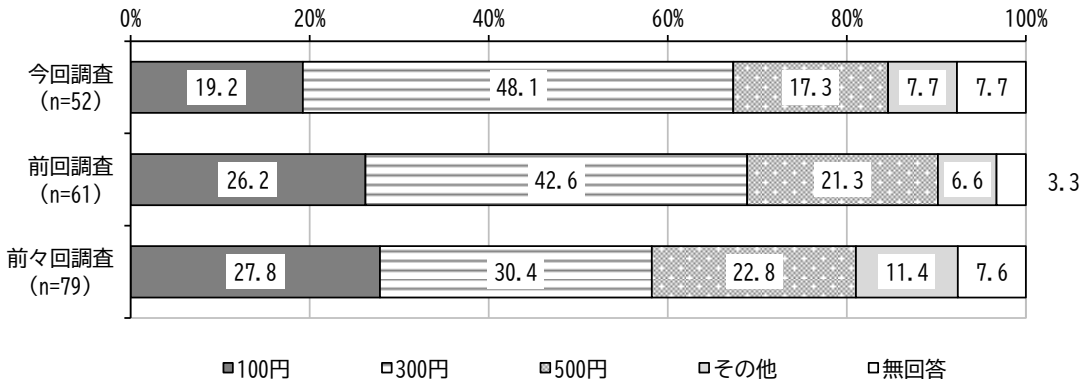


（4） 有償ボランティアの 30 分あたりの許容価格

A票	問8-1	**【問8で「調理」～「その他」を回答された方のみ】** **30 分あたり**いくらまでなら利用したいですか。（○は1つ）

有償ボランティアの 30 分あたりの許容価格について、「300 円」が 48.1%で最も高く、次いで「100 円」が 19.2%、「500 円」が 17.3%となっています。また、前回調査と比較して「300 円」が 5.5 ポイント増加しています。

【図表4－1－3－4 有償ボランティアの 30 分あたりの許容価格】

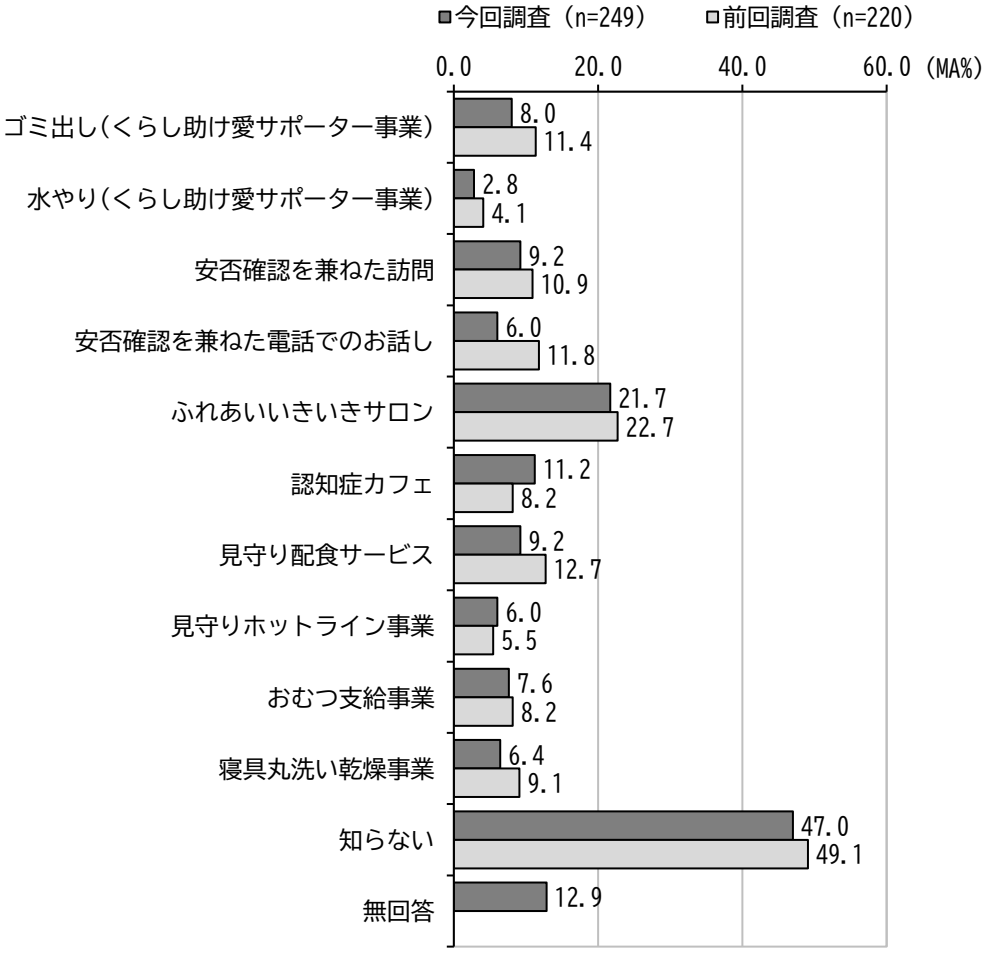


（5） 町や社会福祉協議会が実施しているサービスの認知状況

A票	問9	町や社会福祉協議会の実施している、高齢者の暮らしを支えるサービスをご存じですか。知っているサービスを選択してください。（○はいくつでも）

町や社会福祉協議会が実施しているサービスの認知状況について、「知らない」が 47.0%で最も高く、次いで「ふれあいいきいきサロン」が 21.7%、「認知症カフェ」が 11.2%となっています。また、前回調査と比較して「知らない」が 2.1 ポイント減少しています。

【図表4－1－3－5 町や社会福祉協議会が実施しているサービスの認知状況】



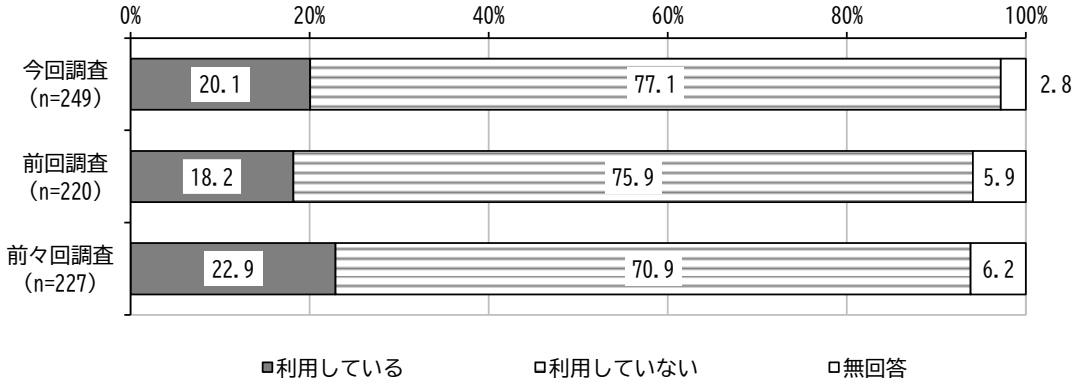
4. 訪問診療・居宅療養管理指導について

(1) 訪問診療を利用しているか

A票	問 10	あなた(認定調査対象者)は、現在、訪問診療を利用していますか。(○は1つ) ※訪問歯科診療や居宅療養管理指導等は含みません。

訪問診療を利用しているかについて、「利用している」が 20.1%、「利用していない」が 77.1%となっています。また、前回調査と比較して「利用している」が 1.9 ポイント増加しています。

【図表4－1－4－1 訪問診療を利用しているか】

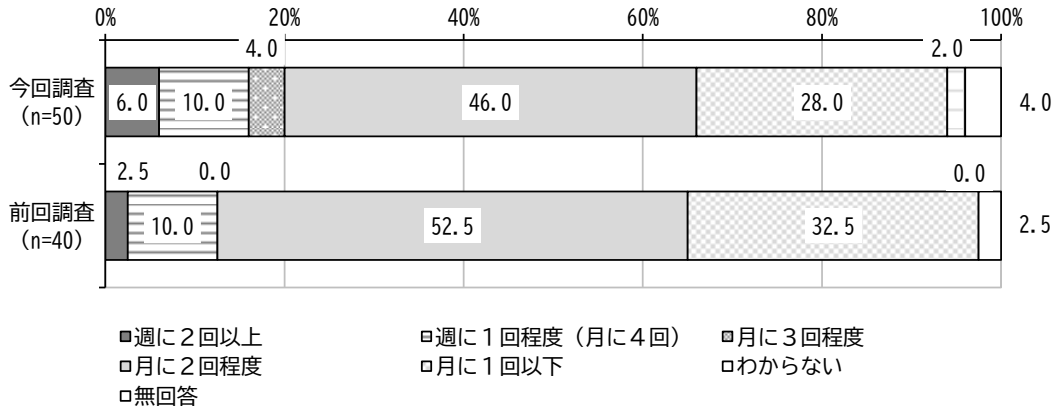


(2) 訪問診療の利用回数

A票	問 10-1	**【問 10 で「利用している」を回答された方のみ】** 訪問診療を利用する回数は、だいたいで、どのくらいですか。(○は1つ)

訪問診療の利用回数について、「月に2回程度」が 46.0%で最も高く、次いで「月に1回以下」が 28.0%、「週に1回程度(月に4回)」が 10.0%となっています。また、前回調査と比較して「週に2回以上」が 3.5 ポイント、「月に3回程度」が 4.0 ポイント増加し、「月に2回程度」が 6.5 ポイント減少しています。

【図表4－1－4－2 訪問診療の利用回数】

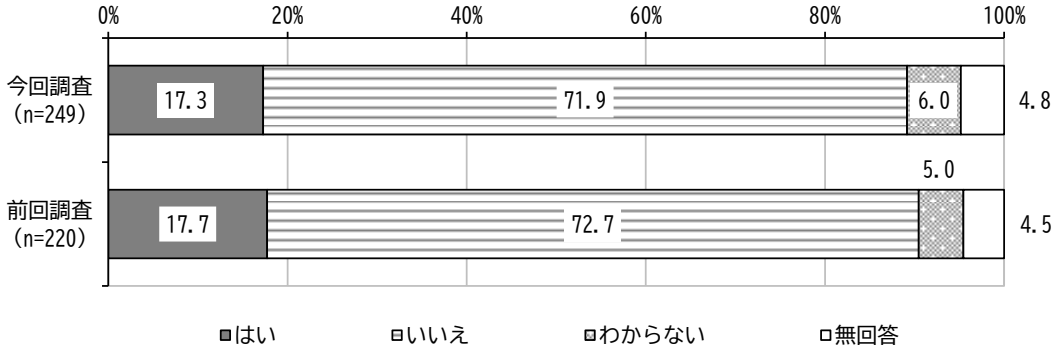


（3） 居宅療養管理指導を受けているか

A票	問 11	あなた（認定調査対象者）は、現在、居宅療養管理指導を受けていますか。 （○は1つ）

居宅療養管理指導を受けているかについて、「いいえ」が 71.9%で最も高く、次いで「はい」が 17.3%、「わからない」が 6.0%となっています。また、前回調査と比較して「いいえ」が 0.8 ポイント減少しています。

【図表4－1－4－3 居宅療養管理指導を受けているか】

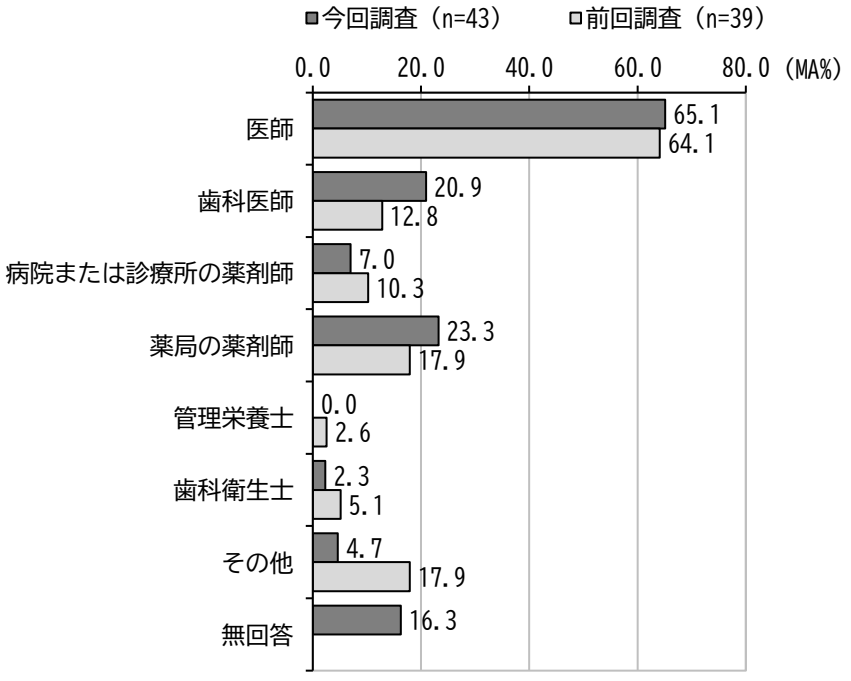


（4） 訪問を受けている専門家

A票	問 11-1	**【問 11 で「はい」を回答された方のみ】** どのような専門家（医療従事者）の訪問を受けていますか。（○はいくつでも）

訪問を受けている専門家について、「医師」が 65.1%で最も高く、次いで「薬局の薬剤師」が 23.3%、「歯科医師」が 20.9%となっています。また、前回調査と比較して「歯科医師」が 8.1 ポイント増加しています。

【図表4－1－4－4 訪問を受けている専門家】

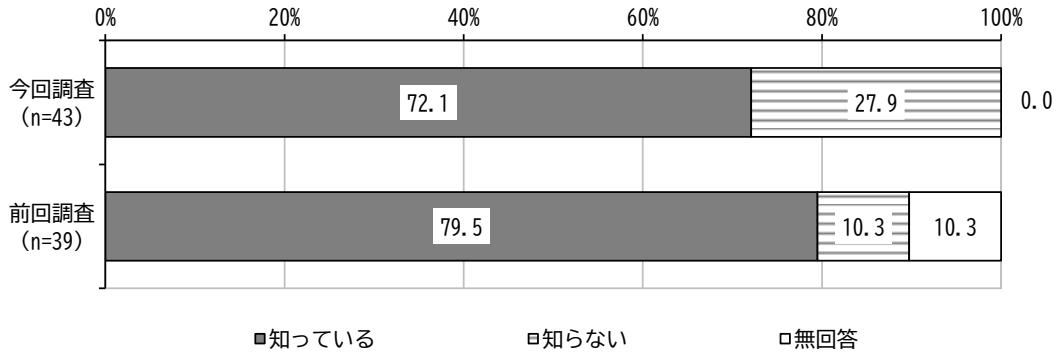


（5） 居宅療養管理指導を受ける際、自己負担額が生じることを知っているか

A票	問 11-2	**【問 11 で「はい」を回答された方のみ】** 居宅療養管理指導を受ける場合、医療費とは別に、介護保険サービスの利用料として自己負担額が生じることをご存知ですか。（○は1つ）

居宅療養管理指導を受ける際、自己負担額が生じることを知っているかについて、「知っている」が 72.1%、「知らない」が27.9%となっています。また、前回調査と比較して「知っている」が7.4ポイント減少しています。

【図表4－1－4－5 居宅療養管理指導を受ける際、自己負担額が生じることを知っているか】



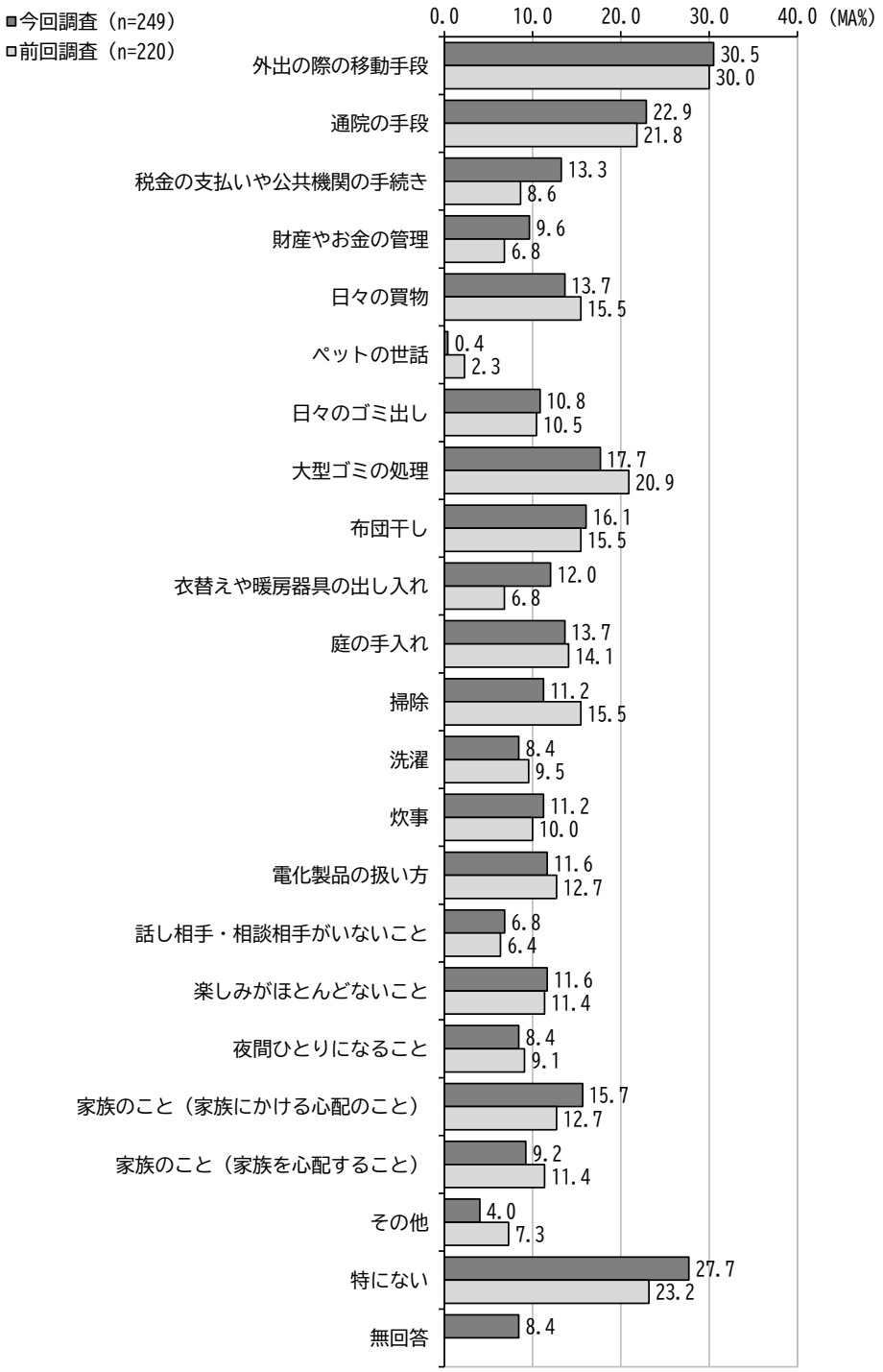
5. 毎日の生活について

(1) 暮らしの中で困っていること

A票	問 12	あなた(認定調査対象者)が暮らしの中で困っていることは何ですか。 (○はいくつでも)

暮らしの中で困っていることについて、「外出の際の移動手段」が 30.5%で最も高く、次いで「特にない」が 27.7%、「通院の手段」が 22.9%となっています。また、前回調査と比較して「税金の支払いや公共機関の手続き」が 4.7 ポイント、「家族のこと(家族にかける心配のこと)」が 3.0 ポイント増加しています。

【図表4－1－5－1 暮らしの中で困っていること】



【図表4－1－5－2 暮らしの中で困っていること(性･年齢･世帯構成･認定状況別)】

※網掛けは最も割合が高いもの　単位：(MA%)

		合計（人）	外出の際の移動手段	通院の手段	税金の支払いや公共機関の手続き	財産やお金の管理	日々の買物	ペットの世話	日々のゴミ出し	大型ゴミの処理	布団干し	衣替えや暖房器具の出し入れ	庭の手入れ	掃除
性別	男性	100	35.0	23.0	8.0	8.0	13.0	1.0	10.0	14.0	9.0	8.0	10.0	8.0
	女性	146	27.4	23.3	16.4	11.0	14.4	0.0	11.6	19.9	20.5	15.1	16.4	13.7
年齢別	75歳未満	30	33.3	20.0	13.3	10.0	20.0	0.0	3.3	6.7	6.7	10.0	13.3	13.3
	75～84歳	102	26.5	23.5	9.8	7.8	7.8	0.0	8.8	16.7	17.6	7.8	9.8	9.8
	85歳以上	114	33.3	23.7	15.8	11.4	17.5	0.9	14.9	21.1	16.7	16.7	17.5	12.3
世帯構成別	１人暮らし	77	31.2	28.6	24.7	19.5	19.5	0.0	22.1	27.3	26.0	20.8	28.6	22.1
	夫婦のみの世帯	88	35.2	25.0	10.2	5.7	12.5	1.1	5.7	17.0	13.6	9.1	8.0	6.8
	その他	81	25.9	16.0	6.2	4.9	9.9	0.0	6.2	9.9	9.9	7.4	6.2	6.2
認定状況別	要介護１・２	164	30.5	23.2	15.2	11.0	12.2	0.6	11.6	18.3	16.5	12.2	14.0	11.0
	要介護３以上	84	29.8	22.6	9.5	7.1	16.7	0.0	9.5	16.7	15.5	11.9	13.1	11.9

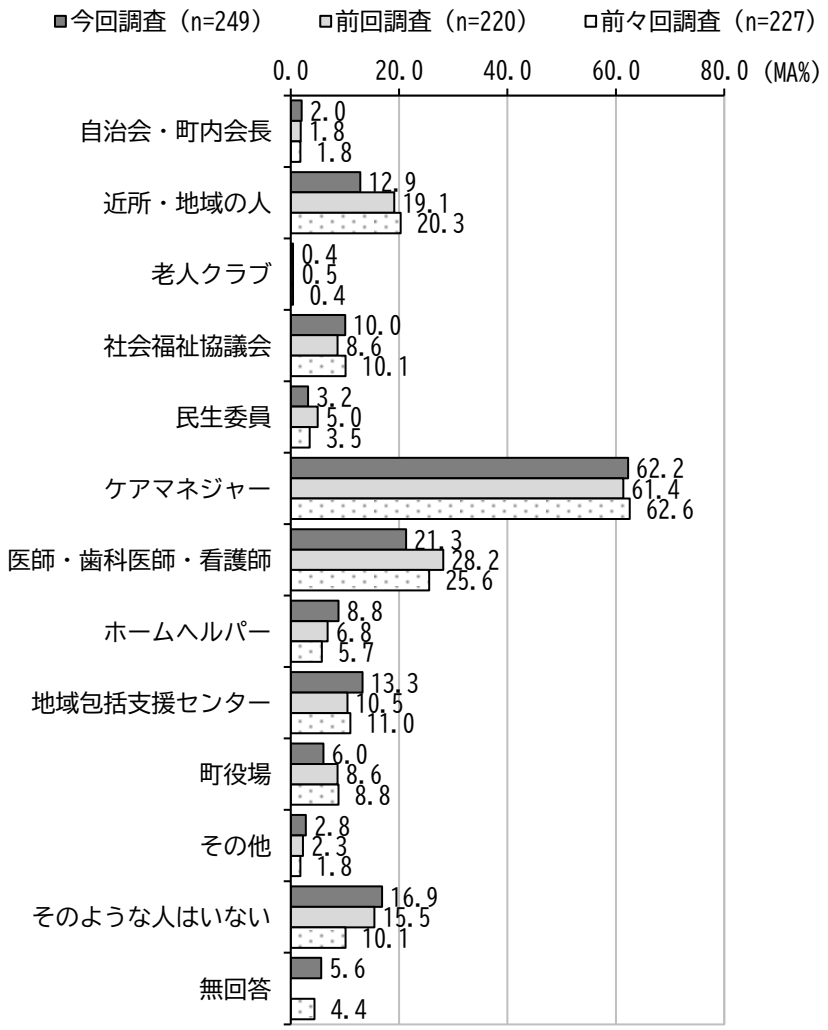
		合計（人）	洗濯	炊事	電化製品の扱い方	話し相手・相談相手がいないこと	楽しみがほとんどないこと	夜間ひとりになること	家族のこと（家族にかける心配のこと）	家族のこと（家族を心配すること）	その他	特にない	無回答
性別	男性	100	7.0	8.0	8.0	5.0	10.0	4.0	18.0	11.0	6.0	25.0	10.0
	女性	146	9.6	13.7	13.7	8.2	13.0	11.6	13.7	7.5	2.7	30.1	6.8
年齢別	75歳未満	30	3.3	13.3	6.7	3.3	6.7	3.3	20.0	10.0	0.0	33.3	6.7
	75～84歳	102	8.8	8.8	10.8	3.9	10.8	8.8	16.7	8.8	3.9	31.4	5.9
	85歳以上	114	9.6	13.2	13.2	10.5	14.0	9.6	13.2	8.8	5.3	23.7	10.5
世帯構成別	１人暮らし	77	13.0	19.5	16.9	14.3	11.7	20.8	13.0	5.2	5.2	20.8	9.1
	夫婦のみの世帯	88	8.0	5.7	12.5	4.5	12.5	5.7	17.0	12.5	3.4	25.0	10.2
	その他	81	4.9	9.9	6.2	2.5	11.1	0.0	16.0	8.6	3.7	37.0	4.9
認定状況別	要介護１・２	164	7.9	10.4	12.8	7.9	13.4	8.5	13.4	7.9	4.9	28.0	7.3
	要介護３以上	84	9.5	13.1	9.5	4.8	8.3	8.3	19.0	10.7	2.4	27.4	10.7

（2） 相談相手

A票	問 13	家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手を教えてください。（〇はいくつでも）

相談相手について、「ケアマネジャー」が 62.2％で最も高く、次いで「医師・歯科医師・看護師」が 21.3％、「そのような人はいない」が 16.9％となっています。また、前回調査と比較して「ケアマネジャー」が 0.8 ポイント増加しています。

【図表4－1－5－3 相談相手】



（3） 地域の人に協力してもらいたいこと

A票	問 14	現在の生活で、地域の人たちに何か協力してもらいたいことはありますか。（〇はいくつでも）

地域の人に協力してもらいたいことについて、「特にない」が 49.8%で最も高く、次いで「緊急時の対応」が 21.3%、「声かけ、安否確認」が 9.2%となっています。また、前回調査と比較して「特にない」が 7.5 ポイント減少しています。

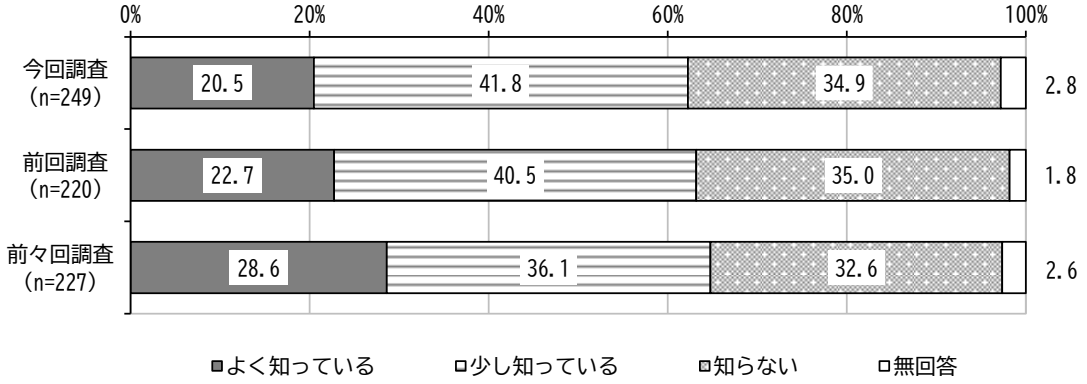
【図表4－1－5－4 地域の人に協力してもらいたいこと】

（4） 災害時の避難場所の認知状況

A票	問 15	あなた（認定調査対象者）は、災害時の避難場所についてご存知ですか。 （○は1つ）

災害時の避難場所の認知状況について、「少し知っている」が 41.8％で最も高く、次いで「知らない」が 34.9％、「よく知っている」が 20.5％となっています。

【図表4－1－5－5 災害時の避難場所の認知状況】

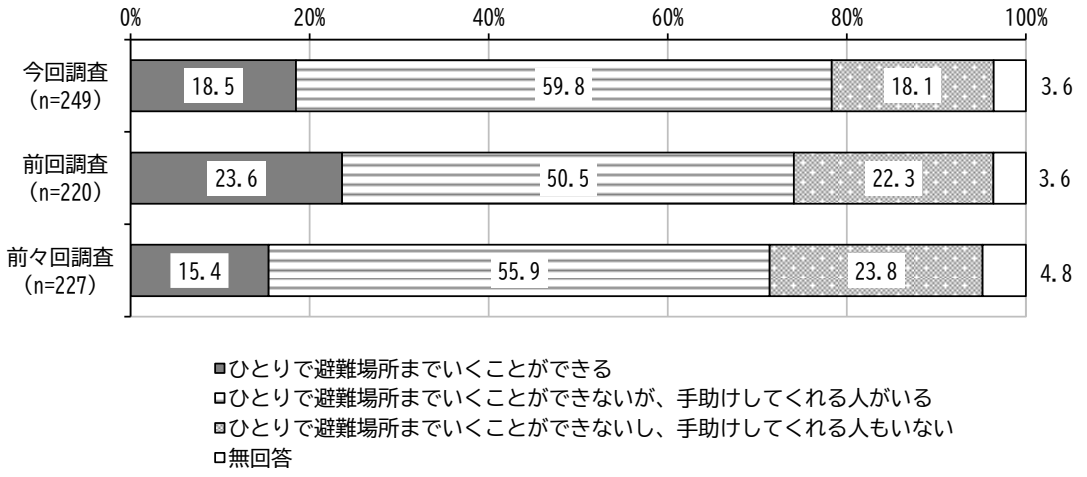


（5） ひとりで避難場所に行くことができるか

A票	問 16	災害が発生して避難する時に、ひとりで避難場所までいくことができますか。 （○は1つ）

ひとりで避難場所に行くことができるかについて、「ひとりで避難場所までいくことができないが、手助けしてくれる人がいる」が 59.8％で最も高く、次いで「ひとりで避難場所までいくことができる」が 18.5％、「ひとりで避難場所までいくことができないし、手助けしてくれる人もいない」が 18.1％となっています。また、前回調査と比較して「ひとりで避難場所までいくことができないが、手助けしてくれる人がいる」が 9.3 ポイント増加しています。

【図表4－1－5－6 ひとりで避難場所に行くことができるか】

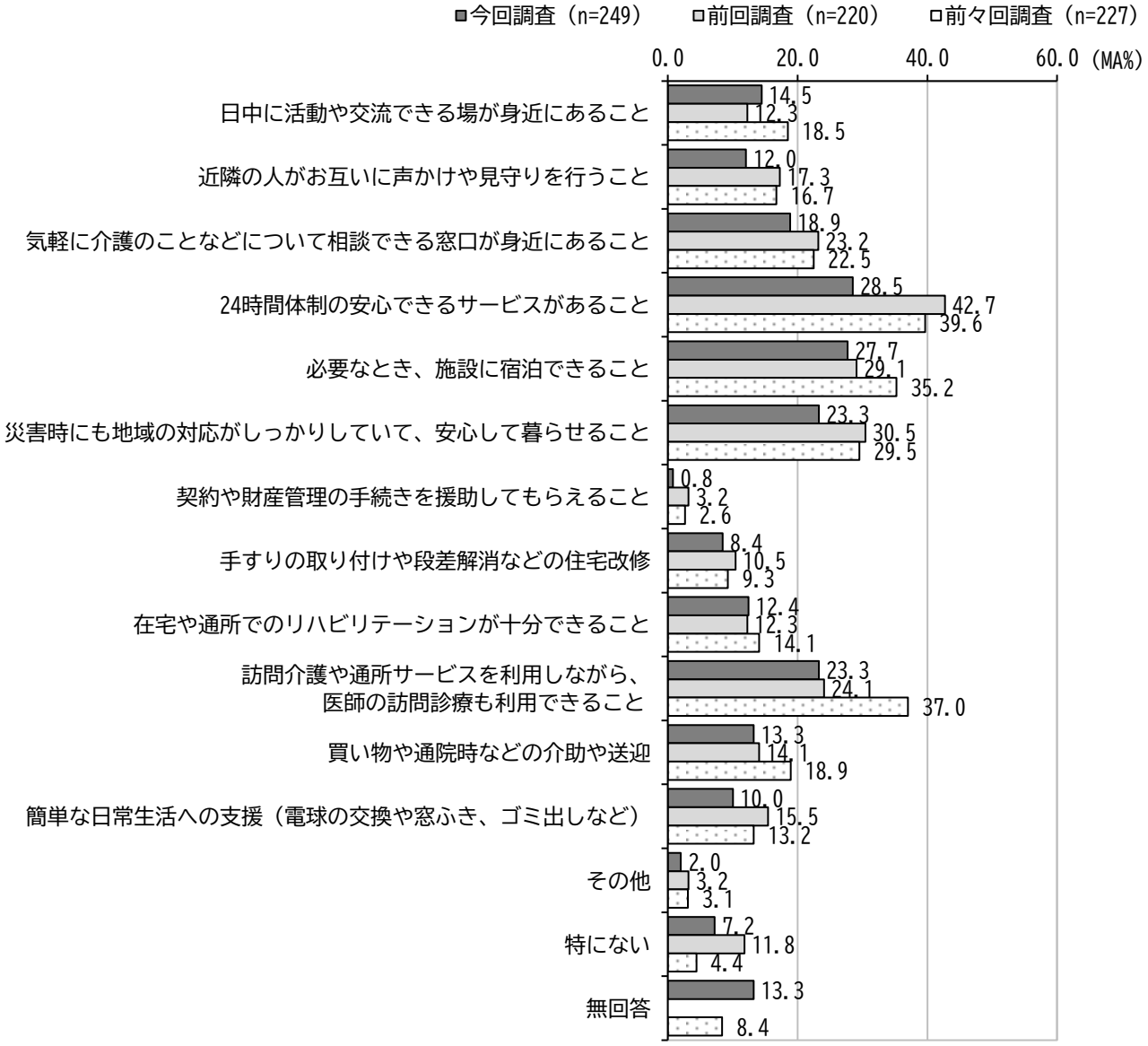


（6） 高齢者が身近な地域や自宅での生活を続けていくための必要な支援

A票	問 17	高齢者に対してどのような支援があれば、身近な地域や自宅での生活を続けていくことができると思いますか。（○は3つまで）

高齢者が身近な地域や自宅での生活を続けていくための必要な支援について、「24 時間体制の安心できるサービスがあること」が 28.5%で最も高く、次いで「必要なとき、施設に宿泊できること」が 27.7%、「災害時にも地域の対応がしっかりしていて、安心して暮らせること」「訪問介護や通所サービスを利用しながら、医師の訪問診療も利用できること」が 23.3%となっています。また、前回調査と比較して「24 時間体制の安心できるサービスがあること」が 14.2 ポイント減少しています。

【図表4－1－5－7 高齢者が身近な地域や自宅での生活を続けていくための必要な支援】

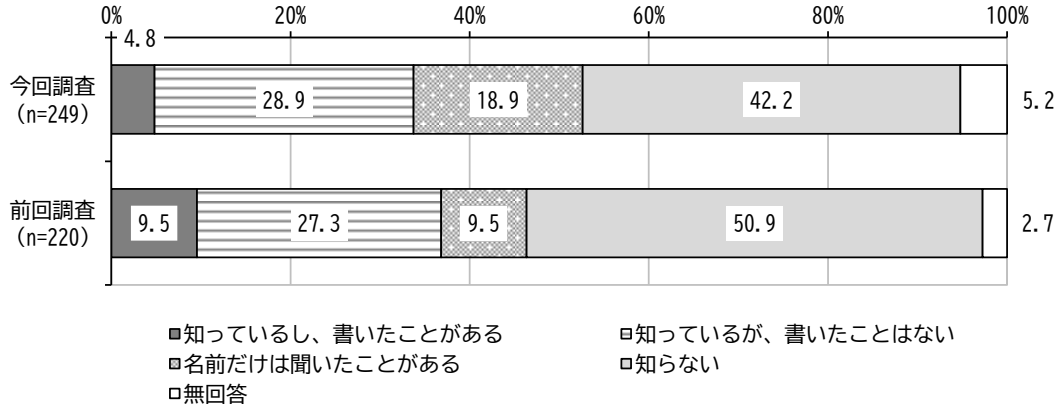


（7） エンディングノートの認知状況

A票	問 18	乙訓医師会では、身近な地域での「人生最期の過ごし方」について考えるきっかけとして、小冊子『私の医療に対する希望』を配布しています。 あなたは、同冊子、あるいは、同じような趣旨で受けたい医療への希望などをあらかじめ書いておくノート（「エンディングノート」などと呼ばれることが多い）を知っていますか。（○は1つ）

エンディングノートの認知状況について、「知らない」が 42.2％で最も高く、次いで「知っているが、書いたことはない」が28.9％、「名前だけは聞いたことがある」が18.9％となっています。また、前回調査と比較して「知らない」が 8.7 ポイント減少しています。

【図表4－1－5－8 エンディングノートの認知状況】



【図表4－1－5－9 エンディングノートの認知状況（性・年齢・世帯構成・認定状況別）】

※網掛けは最も割合が高いもの　単位：（%）

		合計（人）	知っているし、書いたことがある	知っているが、書いたことはない	名前だけは聞いたことがある	知らない	無回答
性別	男性	100	6.0	31.0	15.0	43.0	5.0
	女性	146	4.1	27.4	21.9	41.1	5.5
年齢別	75歳未満	30	0.0	43.3	10.0	40.0	6.7
	75～84歳	102	4.9	25.5	18.6	47.1	3.9
	85歳以上	114	6.1	28.1	21.9	37.7	6.1
世帯構成別	１人暮らし	77	7.8	29.9	15.6	42.9	3.9
	夫婦のみの世帯	88	4.5	29.5	22.7	37.5	5.7
	その他	81	2.5	28.4	17.3	46.9	4.9
認定状況別	要介護１・２	164	3.7	23.8	20.1	48.8	3.7
	要介護３以上	84	7.1	38.1	16.7	29.8	8.3

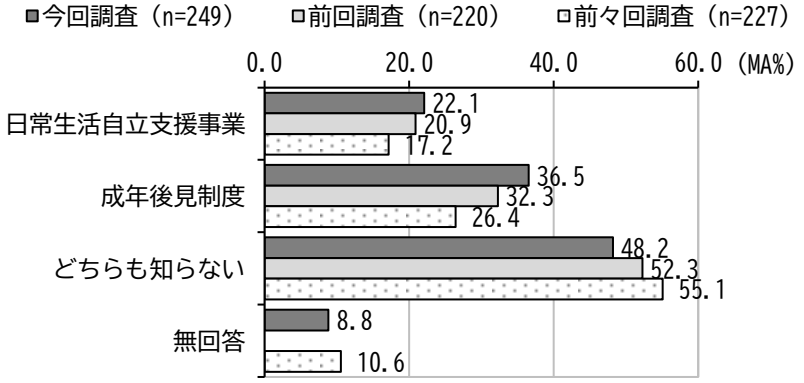
6. 高齢者に関する制度について

(1) 高齢者の権利擁護に関する事業や制度の認知状況

A票	問 19	高齢者の権利擁護(高齢者の権利や生活、財産などを守ります)のための制度についておうかがいします。次の事業や制度を知っていますか。 (○はいくつでも)

高齢者の権利擁護に関する事業や制度の認知状況について、「どちらも知らない」が 48.2%で最も高く、次いで「成年後見制度」が 36.5%、「日常生活自立支援事業」が 22.1%となっています。また、前回調査と比較して「どちらも知らない」が 4.1 ポイント減少しています。

【図表4－1－6－1 高齢者の権利擁護に関する事業や制度の認知状況】

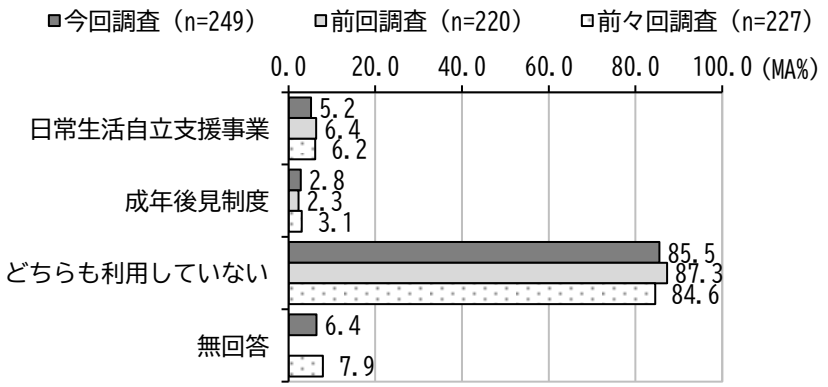


(2) 高齢者の権利擁護に関する事業や制度の利用状況

A票	問 20	次の事業や制度を利用したこと(利用している)がありますか。 (○はいくつでも)

高齢者の権利擁護に関する事業や制度の利用状況について、「どちらも利用していない」が 85.5%で最も高く、次いで「日常生活自立支援事業」が 5.2%、「成年後見制度」が 2.8%となっています。また、前回調査と比較して「どちらも利用していない」が 1.8 ポイント減少しています。

【図表4－1－6－2 高齢者の権利擁護に関する事業や制度の利用状況】

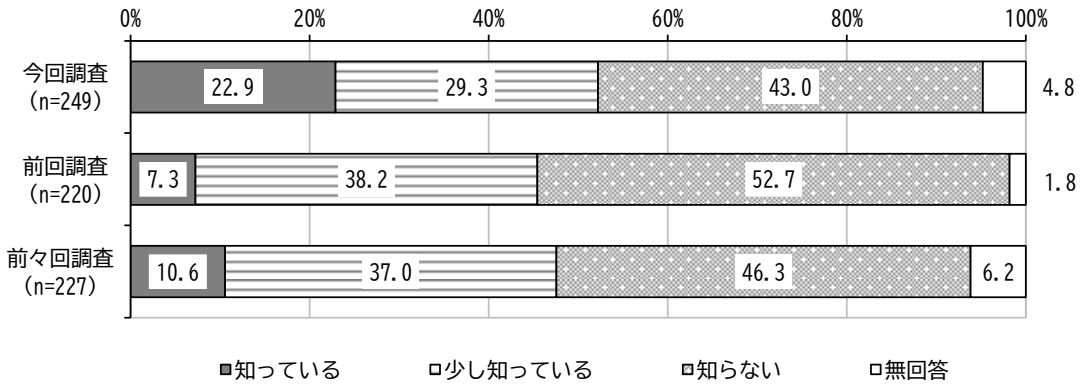


（3） 地域包括支援センターの活動の認知状況

A票	問 21	あなた（認定調査対象者）は、地域包括支援センターの活動についてご存知ですか。（○は1つ）

地域包括支援センターの活動の認知状況について、「知らない」が 43.0％で最も高く、次いで「少し知っている」が 29.3％、「知っている」が 22.9％となっています。また、前回調査と比較して「知っている」が 15.6 ポイント増加しています。

【図表4－1－6－3 地域包括支援センターの活動の認知状況】

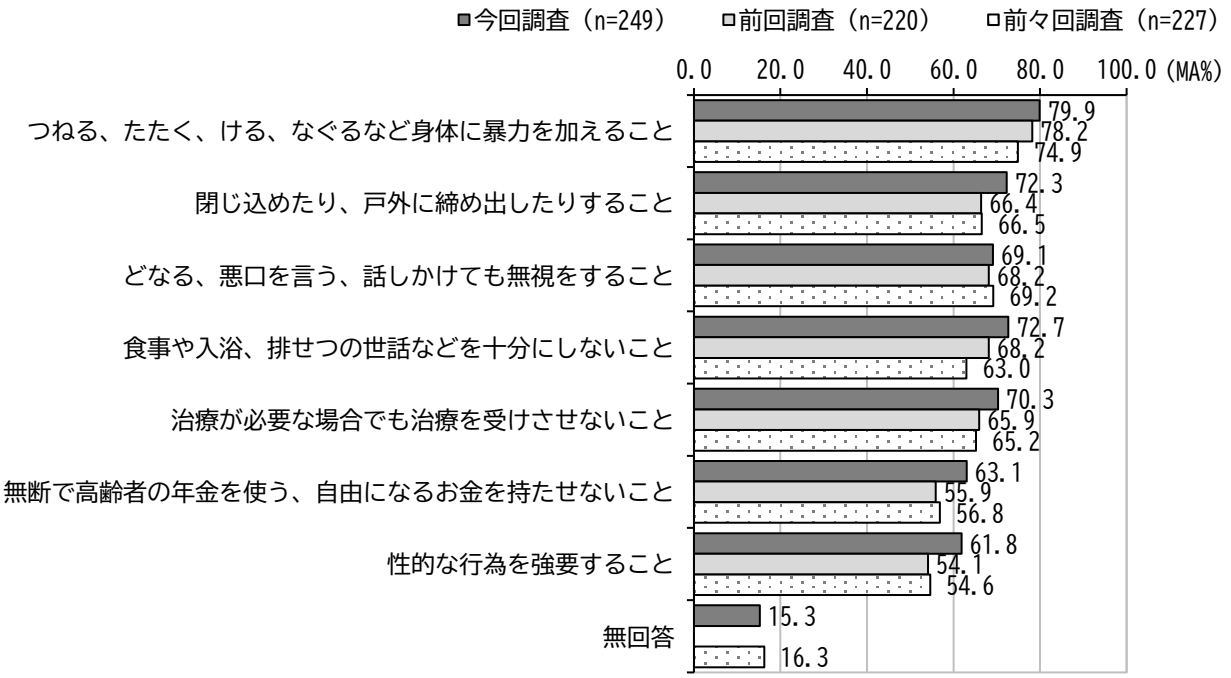


（4） 高齢者への虐待だと思う行為

A票	問 22	あなた(認定調査対象者)が高齢者への虐待だと思う行為はどれですか。 (○はいくつでも)

高齢者への虐待だと思う行為について、「つねる、たたく、ける、なぐるなど身体に暴力を加えること」が 79.9%で最も高く、次いで「食事や入浴、排せつの世話などを十分にしないこと」が 72.7%、「閉じ込めたり、戸外に締め出したりすること」が 72.3%となっています。

【図表4－1－6－4 高齢者への虐待だと思う行為】

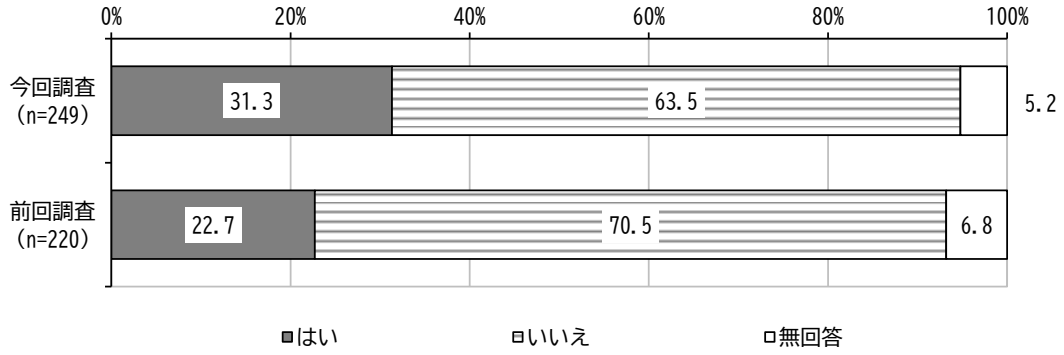


（5） 高齢者への虐待に関する相談窓口を知っているか

A票	問 23	高齢者の虐待についての相談窓口を知っていますか。(○は1つ)

高齢者への虐待に関する相談窓口を知っているかについて、「はい」が 31.3%、「いいえ」が 63.5%となっています。また、前回調査と比較して「はい」が 8.6 ポイント増加しています。

【図表4－1－6－5 高齢者への虐待に関する相談窓口を知っているか】

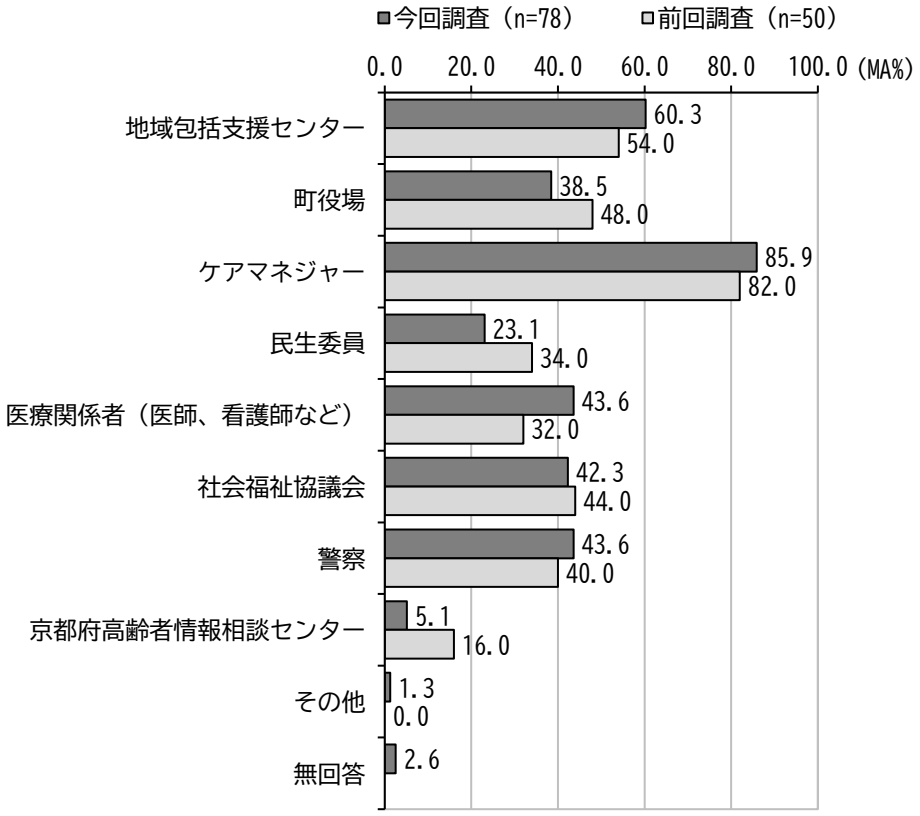


（6） 高齢者への虐待に関する相談窓口の認知状況

A票	問 23-1	**【問 23 で「はい」を回答された方のみ】** 高齢者の虐待についての相談先としてどんなところをご存知ですか。 （○はいくつでも）

高齢者への虐待に関する相談窓口の認知状況について、「ケアマネジャー」が 85.9%で最も高く、次いで「地域包括支援センター」が 60.3%、「医療関係者（医師、看護師など）」が 43.6%となっています。

【図表4－1－6－6 高齢者への虐待に関する相談窓口の認知状況】

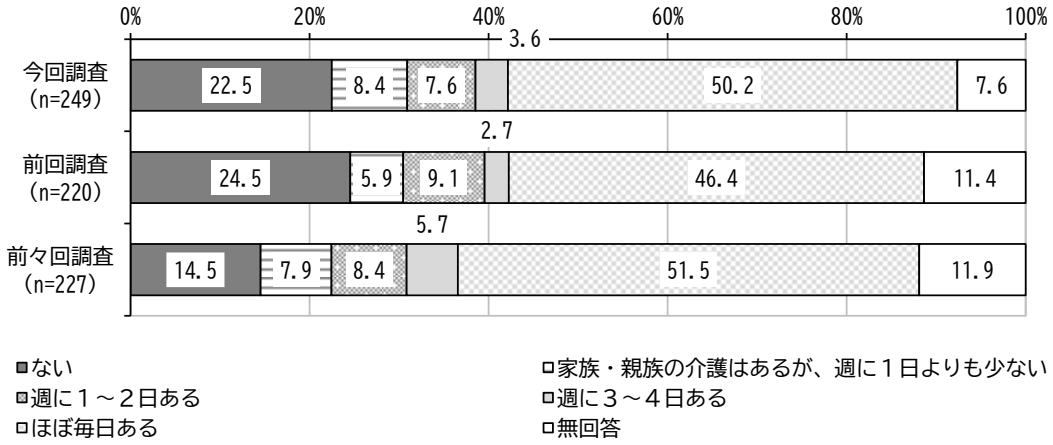


（7） 家族等からの介護の状況

A票	問 24	ご家族やご親族の方からの介護は、週にどのくらいありますか（同居していない子どもや親族等からの介護を含む）。（○は1つ）

家族等からの介護の状況について、「ほぼ毎日ある」が 50.2%で最も高く、次いで「ない」が 22.5%、「家族・親族の介護はあるが、週に1日よりも少ない」が 8.4%となっています。また、前回調査と比較して「ほぼ毎日ある」が 3.8 ポイント増加しています。

【図表4－1－6－7 家族等からの介護の状況】



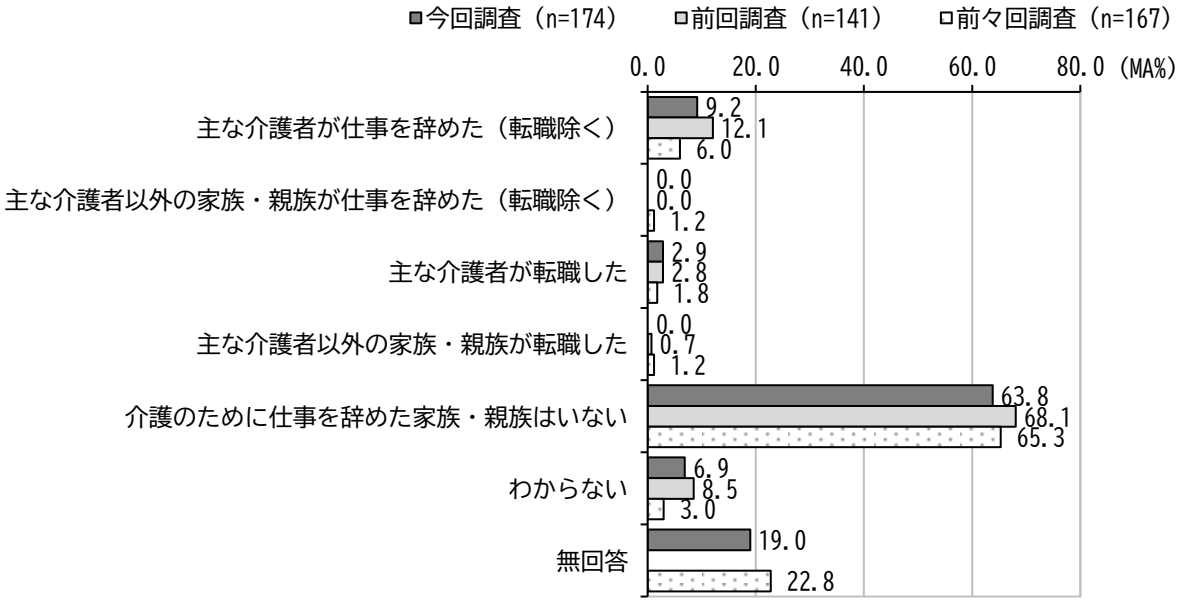
7. 主な介護者の属性

(1) 介護のために仕事を辞めた人がいるか

B票	問1	ご家族やご親族の中で、ご本人(認定調査対象者)の介護を主な理由として、過去１年の間に仕事を辞めた方はいますか。(現在働いているかどうかや、現在の勤務形態は問いません。)(○はいくつでも)※自営業や農林水産業のお仕事を辞めた方を含みます。

介護のために仕事を辞めた人がいるかについて、「介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」が63.8%で最も高く、次いで「主な介護者が仕事を辞めた(転職除く)」が 9.2%、「わからない」が 6.9%となっています。

【図表4－1－7－1 介護のために仕事を辞めた人がいるか】

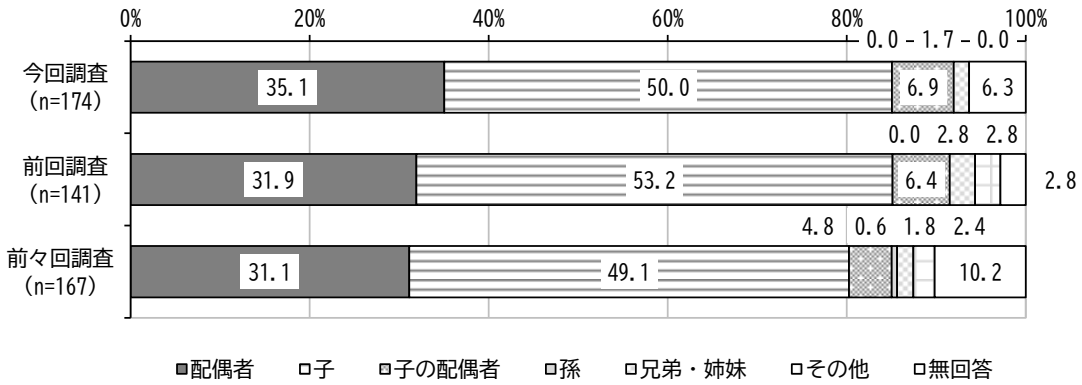


(2) 主な介護者

B票	問2	主な介護者の方は、どなたですか。(○は1つ)

主な介護者について、「子」が 50.0%で最も高く、次いで「配偶者」が 35.1%、「子の配偶者」が 6.9%となっています。また、前回調査と比較して「配偶者」が 3.2 ポイント増加し、「子」が 3.2 ポイント減少しています。

【図表4－1－7－2 主な介護者】

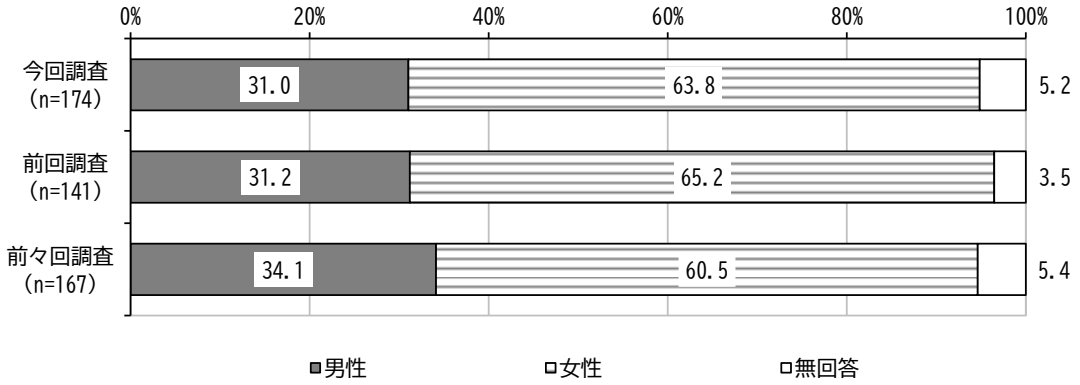


（3） 主な介護者の性別

B票	問3	主な介護者の方の性別について、ご回答ください。（○は1つ）

主な介護者の性別について、「男性」が 31.0%、「女性」が 63.8%となっています。また、前回調査と比較して「女性」が 1.4 ポイント減少しています。

【図表4－1－7－3 主な介護者の性別】

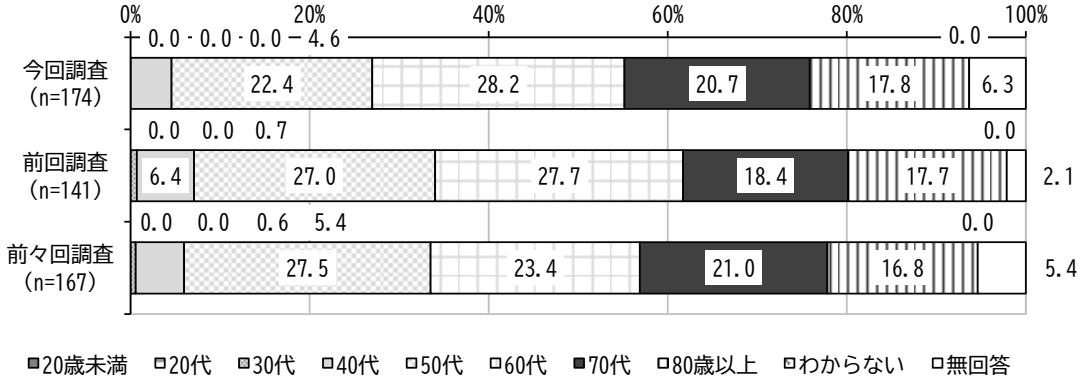


（4） 主な介護者の年齢

B票	問4	主な介護者の方の年齢について、ご回答ください。（○は1つ）

主な介護者の年齢について、「60代」が28.2%で最も高く、次いで「50代」が22.4%、「70代」が20.7%となっています。また、前回調査と比較して「70 代」が 2.3 ポイント増加しています。

【図表4－1－7－4 主な介護者の年齢】

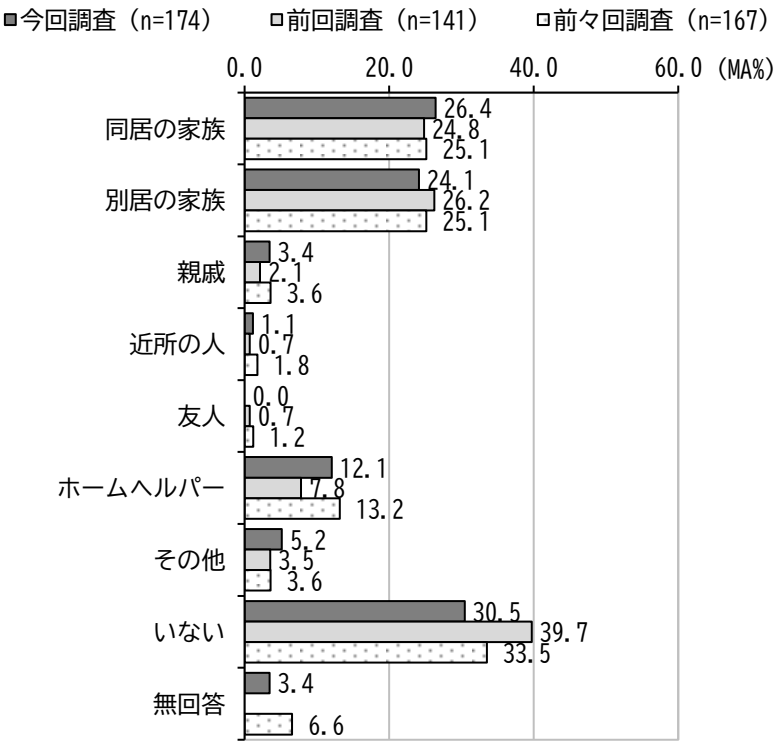


（5）主な介護者の他に介護を担っている人

B票	問5	主な介護者の他に日常生活の介護を担っている人はいますか。 （○はいくつでも）

主な介護者の他に介護を担っている人について、「いない」が 30.5%で最も高く、次いで「同居の家族」が 26.4%、「別居の家族」が 24.1%となっています。また、前回調査と比較して「いない」が 9.2 ポイント減少しています。

【図表4－1－7－5 主な介護者の他に介護を担っている人】



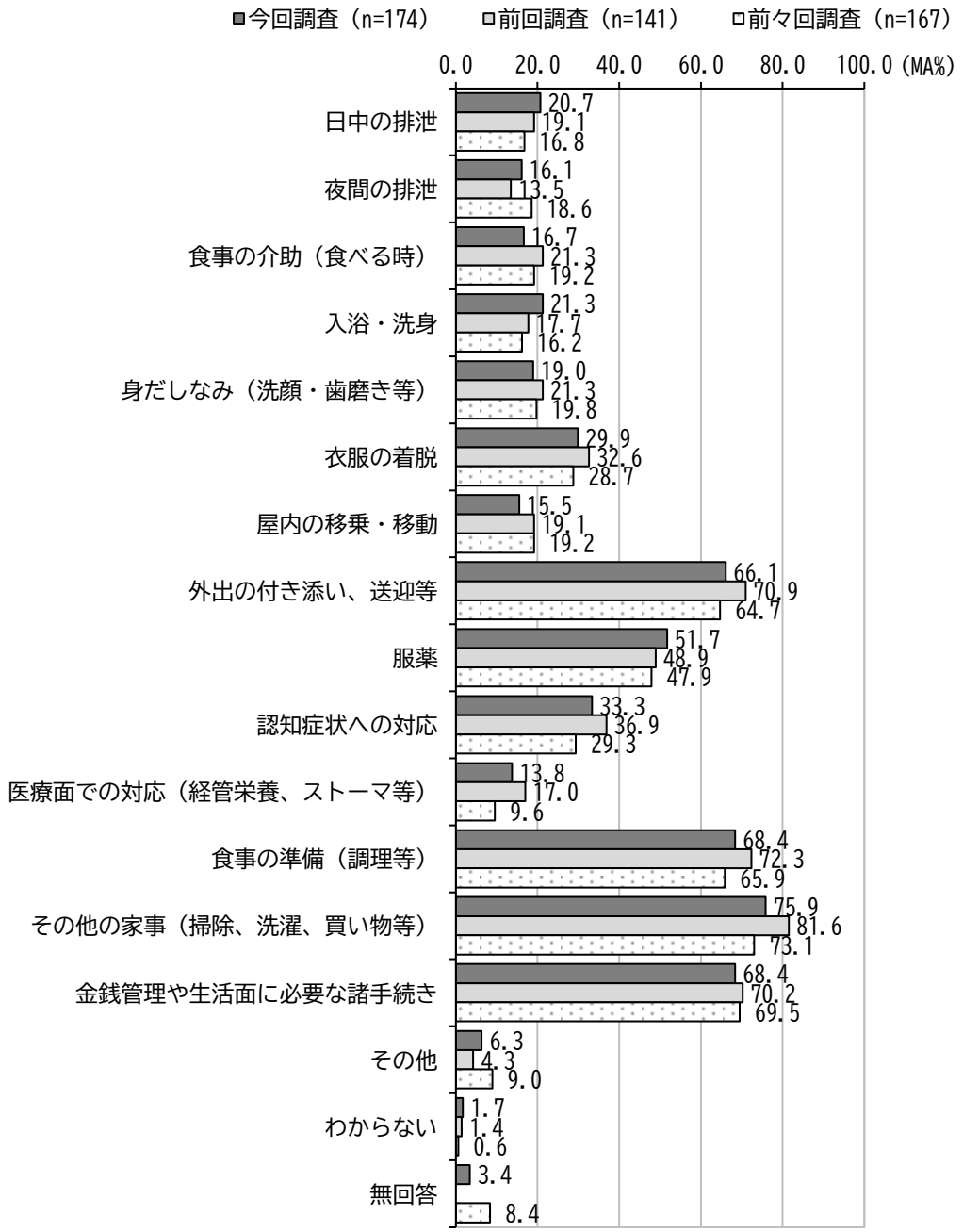
8. 主な介護者が行っている介護等の状況

(1) 主な介護者が行っている介護等

B票	問6	現在、主な介護者の方が行っている介護等について、ご回答ください。 (○はいくつでも)

主な介護者が行っている介護等について、「その他の家事(掃除、洗濯、買い物等)」が 75.9%で最も高く、次いで「食事の準備(調理等)」「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」が 68.4%、「外出の付き添い、送迎等」が 66.1%となっています。また、前回調査と比較して「その他の家事(掃除、洗濯、買い物等)」が 5.7 ポイント減少しています。(要介護度別については 342 ページを参照)

【図表4－1－8－1 主な介護者が行っている介護等】

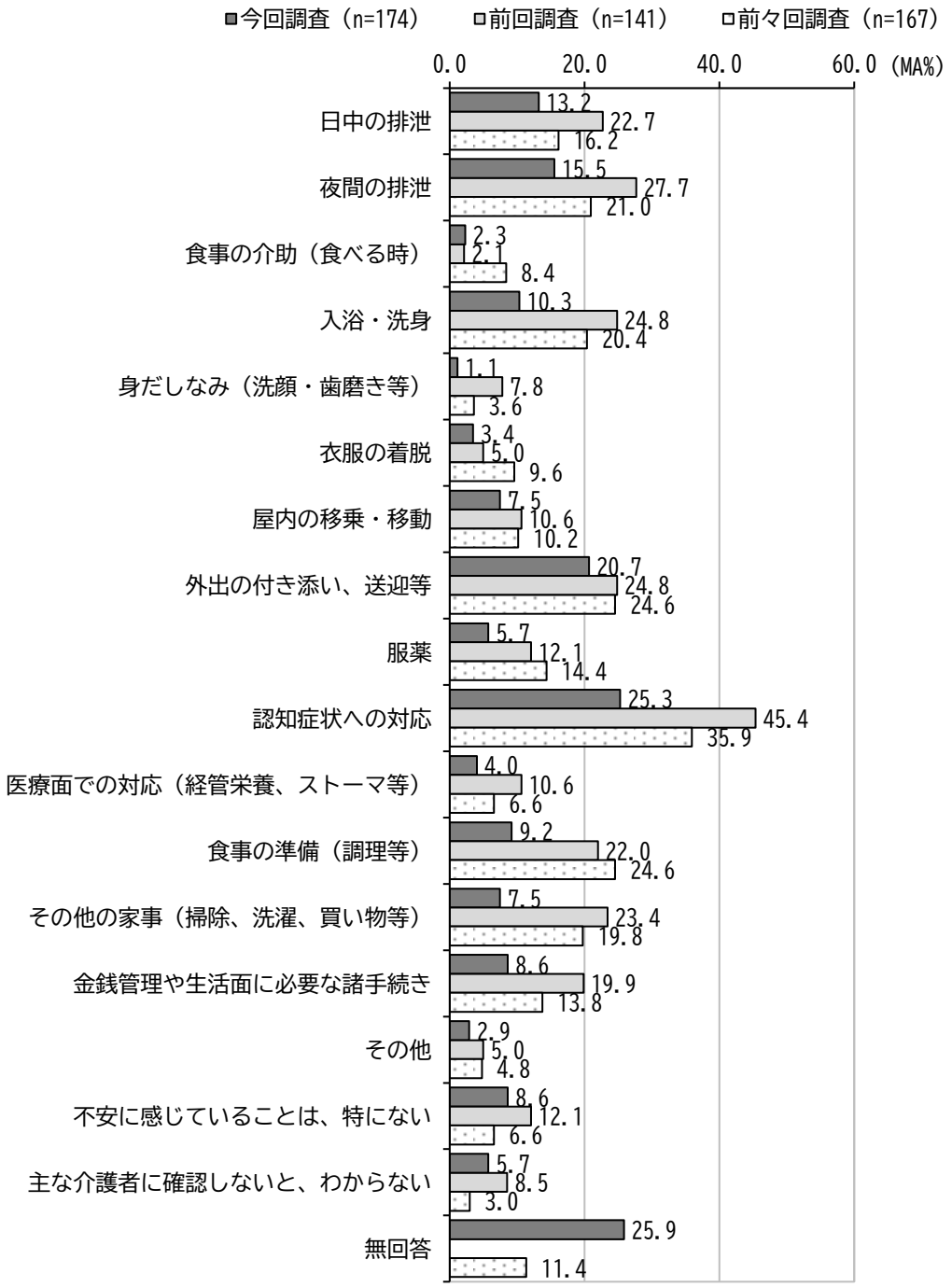


（2） 生活を継続していくにあたって、主な介護者が不安に感じる介護等

B票	問7	現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者の方が不安に感じる介護等について、ご回答ください。（現状で行っているか否かは問いません。）（○は3つまで）

生活を継続していくにあたって、主な介護者が不安に感じる介護等について、「認知症状への対応」が25.3%で最も高く、次いで「外出の付き添い、送迎等」が 20.7%、「夜間の排泄」が 15.5%となっています。また、前回調査と比較して「認知症への対応が20.1ポイント減少しています。（要介護度別については293ページを参照）

【図表4－1－8－2 生活を継続していくにあたって、主な介護者が不安に感じる介護等】

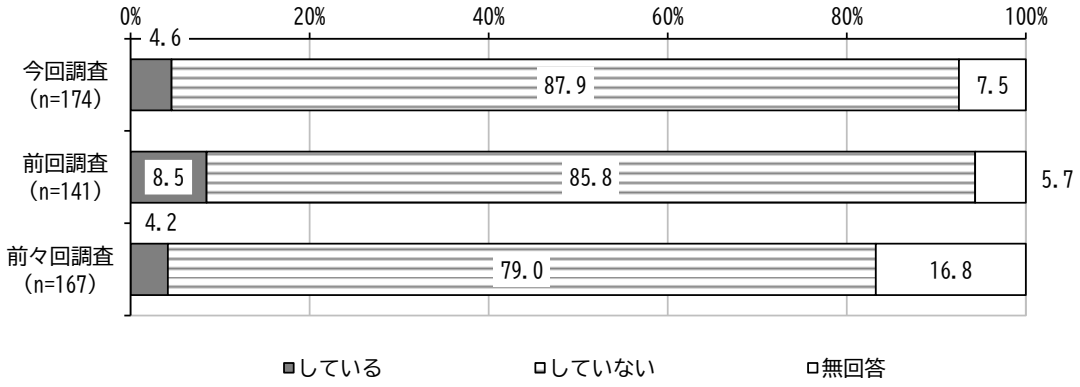


（3） 主な介護者はふだん育児をしているか

B票	問8	主な介護者の方は、ふだん育児をしていますか。（○は1つ）

主な介護者はふだん育児をしているかについて、「している」が 4.6%、「していない」が 87.9%となっています。また、前回調査と比較して「していない」が 2.1 ポイント増加しています。

【図表4－1－8－3 主な介護者はふだん育児をしているか】

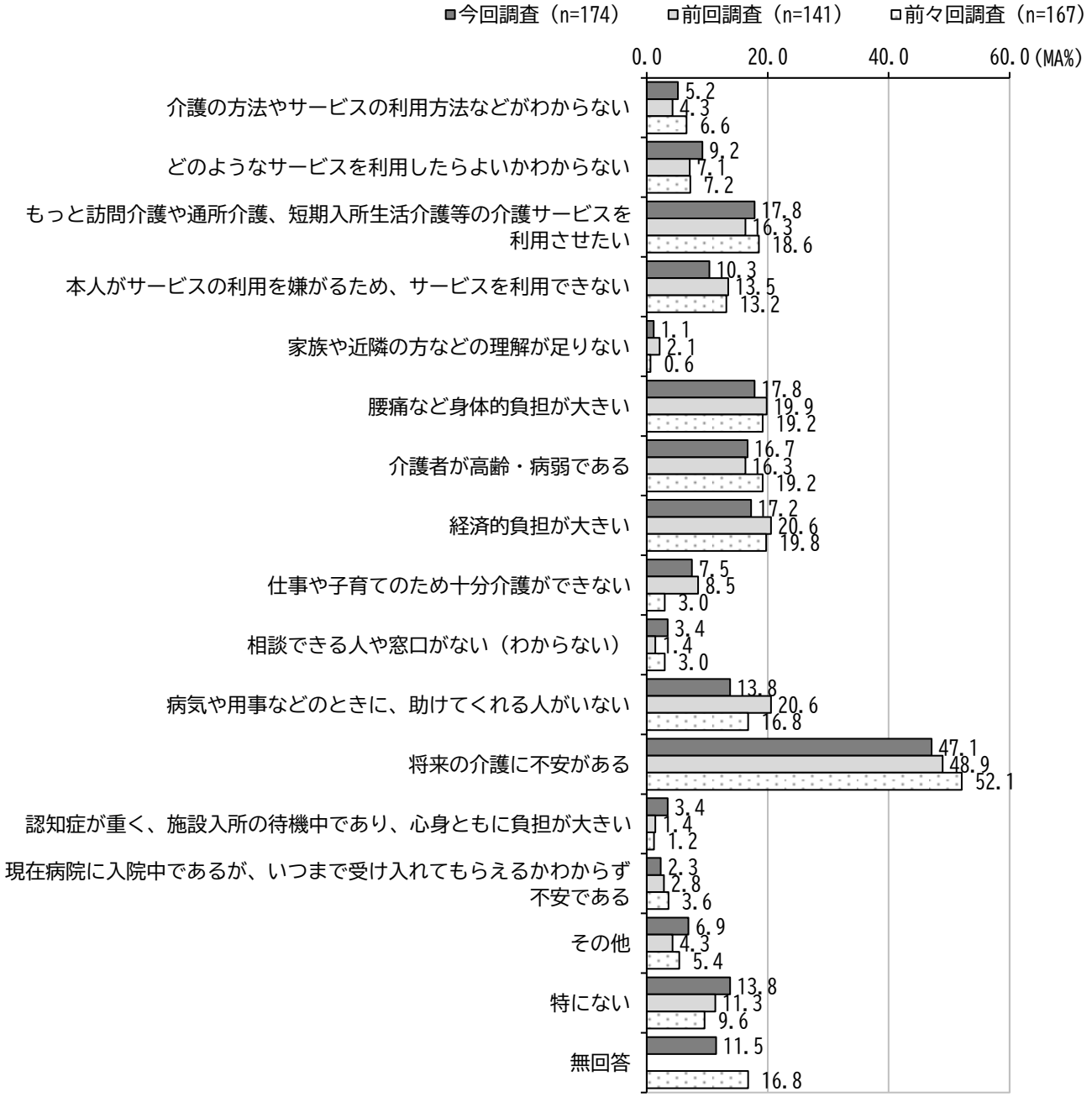


（4） 介護を行う上で悩んでいること・困っていること

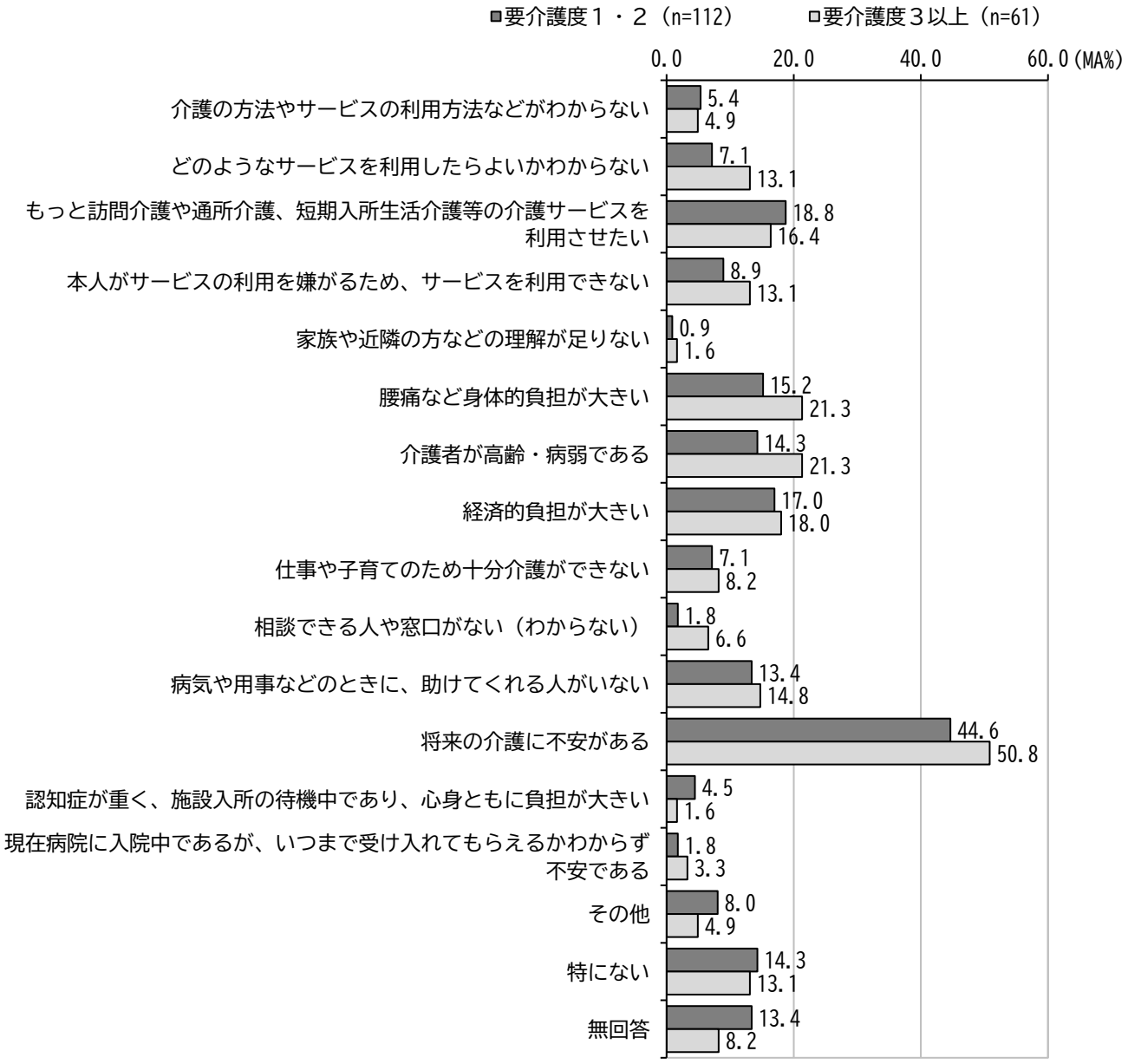
B票	問9	介護を行う上で悩んでいることや困っていることがありますか。 （○はいくつでも）

介護を行う上で悩んでいること・困っていることについて、「将来の介護に不安がある」が 47.1%で最も高く、次いで「もっと訪問介護や通所介護、短期入所生活介護等の介護サービスを利用させたい」「腰痛など身体的負担が大きい」が 17.8%、「経済的負担が大きい」が 17.2%となっています。また、前回調査と比較して「将来の介護に不安がある」が 1.8 ポイント減少しています。

【図表4－1－8－4 介護を行う上で悩んでいること・困っていること】



【図表4－1－8－5 介護を行う上で悩んでいること・困っていること(要介護度別)】

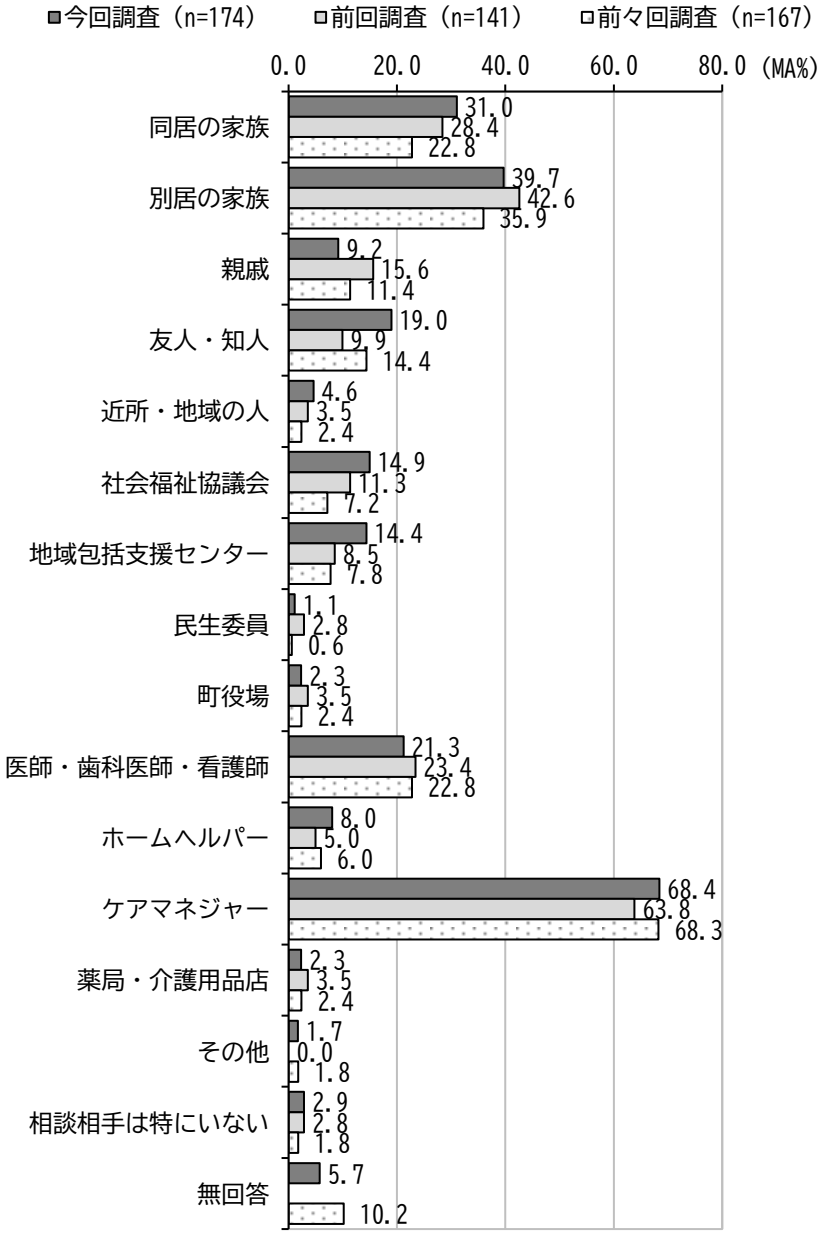


（5） 介護に関する悩み等の相談相手

B票	問 10	介護の疑問、不安や悩みについて相談できる人はいますか。 （○はいくつでも）

介護に関する悩み等の相談相手について、「ケアマネジャー」が 68.4％で最も高く、次いで「別居の家族」が 39.7％、「同居の家族」が 31.0％となっています。また、前回調査と比較して「友人・知人」が 9.1 ポイント、「地域包括支援センター」が 5.9 ポイント増加しています。

【図表4－1－8－6 介護に関する悩み等の相談相手】



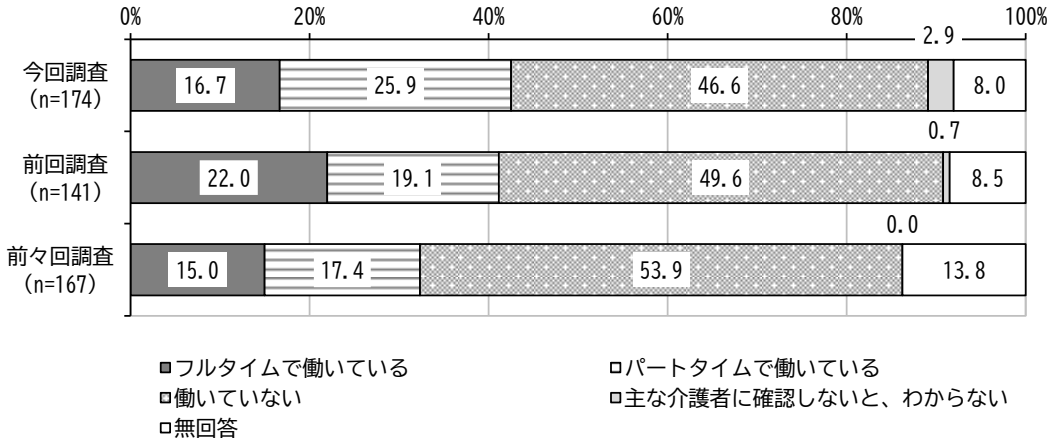
9. 主な介護者の就労について

(1) 主な介護者の勤務形態

B票	問 11	主な介護者の方の現在の勤務形態について、ご回答ください。(○は1つ)

主な介護者の勤務形態について、「働いていない」が 46.6%で最も高く、次いで「パートタイムで働いている」が 25.9%、「フルタイムで働いている」が 16.7%となっています。また、前回調査と比較して「働いていない」が 3.0 ポイント減少しています。

【図表4－1－9－1 主な介護者の勤務形態】

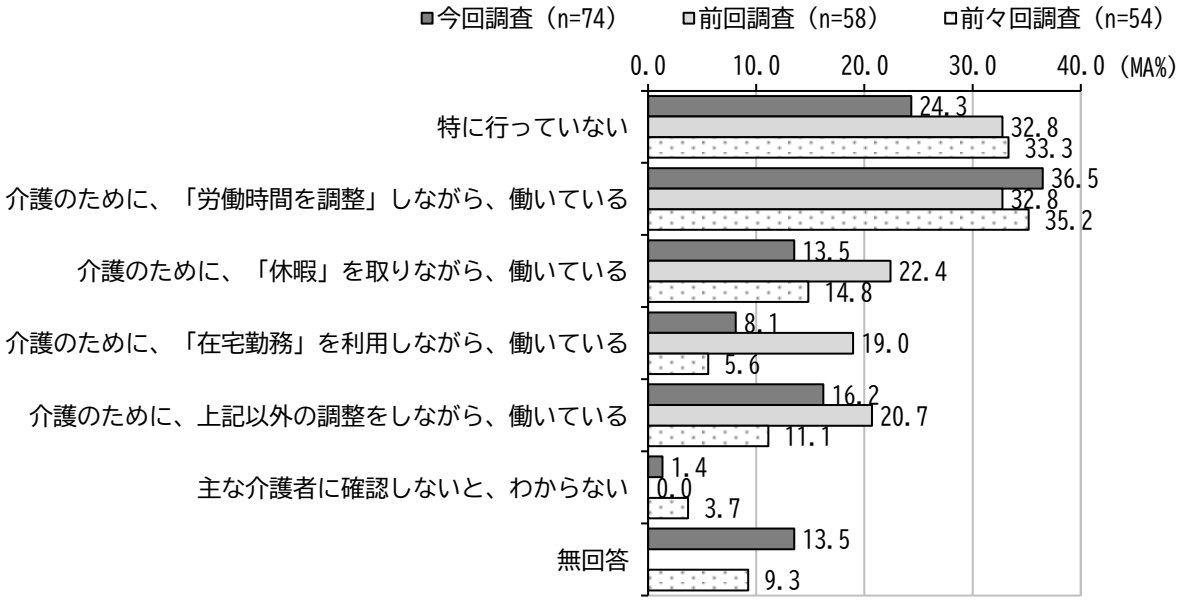


（2） 主な介護者の働き方の調整等の状況

B票	問 11-1	**【問 11 で「フルタイムで働いている」「パートタイムで働いている」を回答された方のみ】** 主な介護者の方は、介護をするにあたって、何か働き方についての調整等をしていますか。（○はいくつでも）

主な介護者の働き方の調整等の状況について、「介護のために、「労働時間を調整」しながら、働いている」が 36.5%で最も高く、次いで「特に行っていない」が 24.3%、「介護のために、上記以外の調整をしながら、働いている」が 16.2%となっています。また、前回調査と比較して「介護のために、「労働時間を調整」しながら、働いている」が 3.7 ポイント増加しています。

【図表4－1－9－2 主な介護者の働き方の調整等の状況】

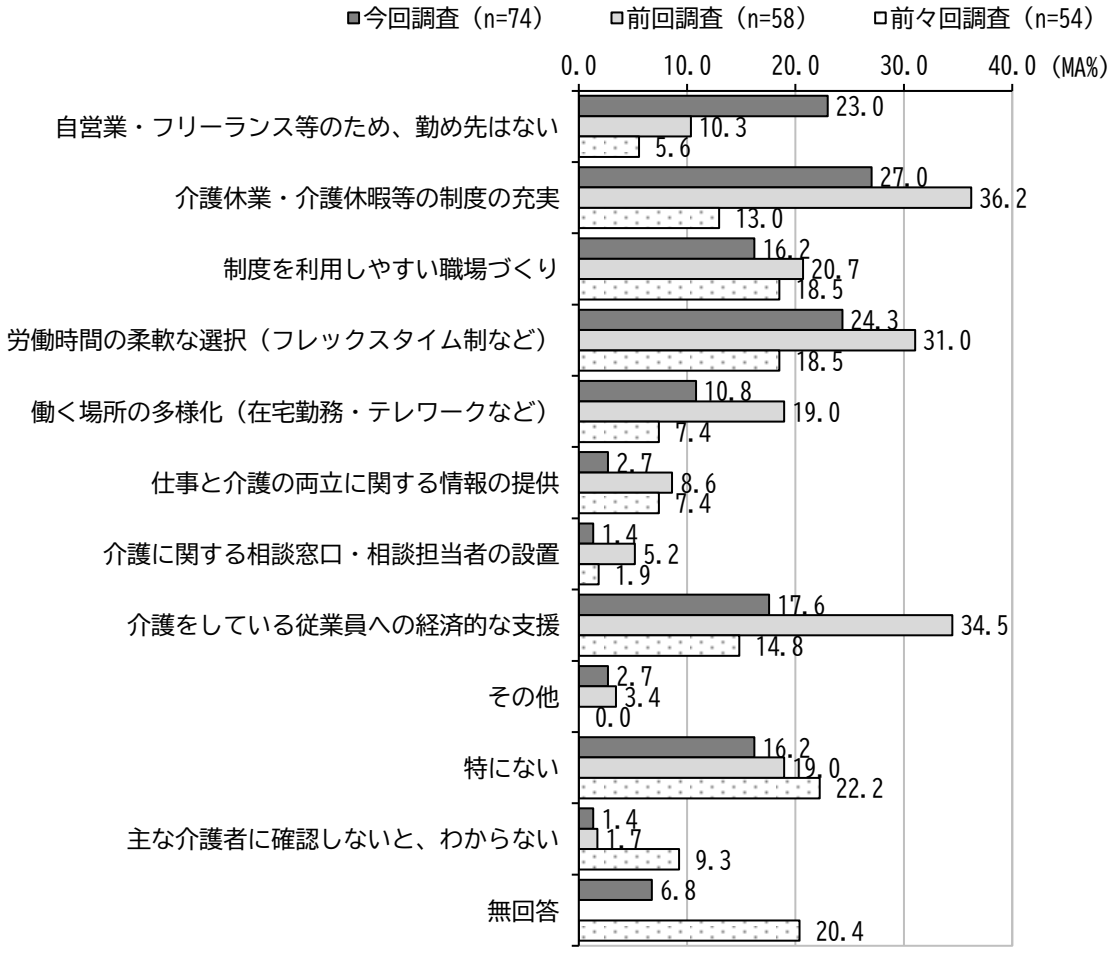


（3） 仕事と介護の両立に効果がある支援

B票	問 11-2	**【問 11 で「フルタイムで働いている」「パートタイムで働いている」を回答された方のみ】** 主な介護者の方は、勤め先からどのような支援があれば、仕事と介護の両立に効果があると思いますか。（○は3つまで）

仕事と介護の両立に効果がある支援について、「介護休業・介護休暇等の制度の充実」が 27.0%で最も高く、次いで「労働時間の柔軟な選択（フレックスタイム制など）」が 24.3%、「自営業・フリーランス等のため、勤め先はない」が 23.0%となっています。また、前回調査と比較して「自営業・フリーランス等のため、勤め先はない」が 12.7 ポイント増加しています。

【図表4－1－9－3 仕事と介護の両立に効果がある支援】

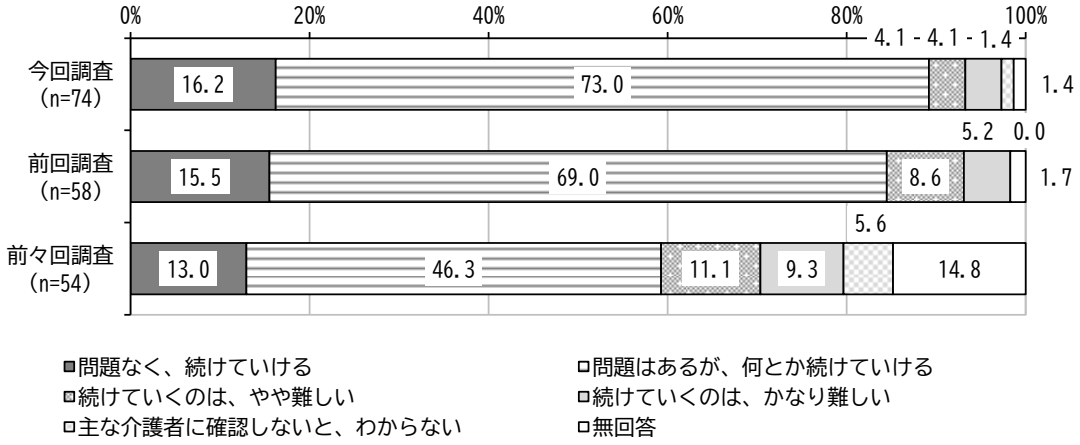


（4） 主な介護者は今後も働きながら介護を続けていけるか

B票	問 12	主な介護者の方は、今後も働きながら介護を続けていけそうですか。 （○は1つ）

主な介護者は今後も働きながら介護を続けていけるかについて、「問題はあるが、何とか続けていける」が 73.0％で最も高く、次いで「問題なく、続けていける」が 16.2％、「続けていくのは、やや難しい」「続けていくのは、かなり難しい」が 4.1％となっています。また、前回調査と比較して「問題はあるが、何とか続けていける」が 4.0 ポイント増加しています。

【図表4－1－9－4 主な介護者は今後も働きながら介護を続けていけるか】

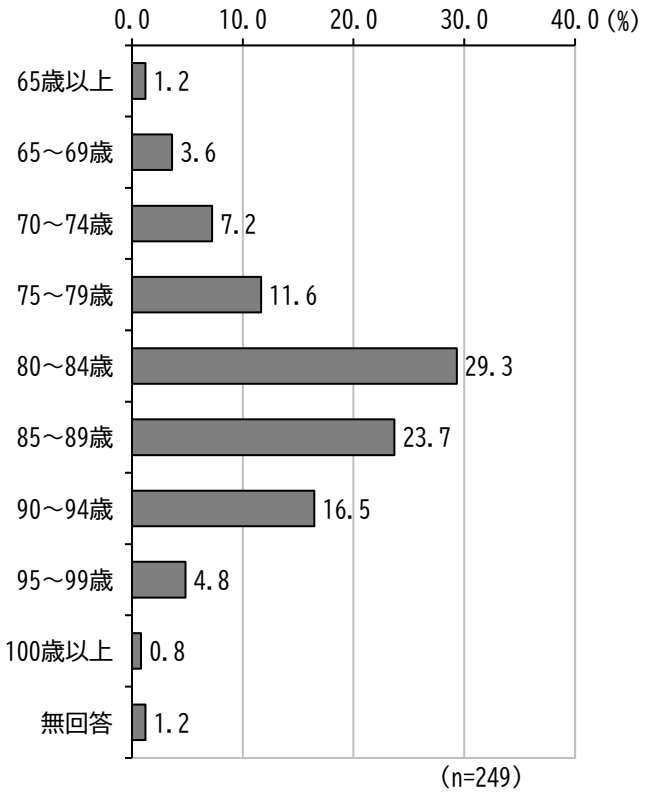


10. 要介護認定データ

(1) 年齢

年齢について、「80～84 歳」が 29.3%で最も高く、次いで「85～89 歳」が 23.7%、「90～94 歳」が 16.5%となっています。

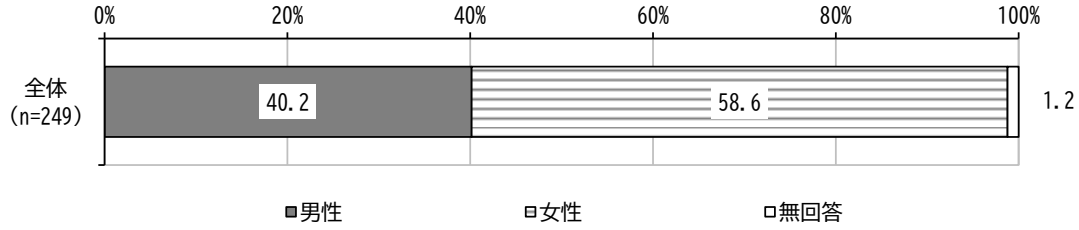
【図表4－1－10－1 年齢】



(2) 性別

性別について、「男性」が 40.2%、「女性」が 58.6%となっています。

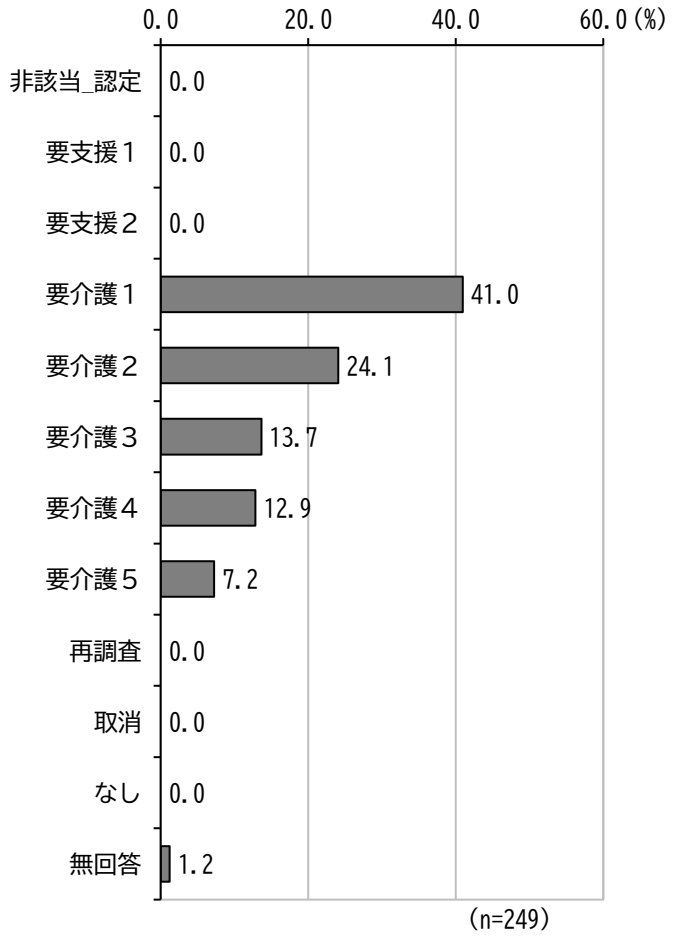
【図表4－1－10－2 性別】



（3） 二次判定結果(要介護度)

二次判定(要介護度)について、「要介護1」が 41.0%で最も高く、次いで「要介護2」が 24.1%、「要介護3」が 13.7%となっています。

【図表4－1－10－3 二次判定結果(要介護度)】



（4） サービス利用の組み合わせ

この章では、介護保険サービスの利用回数・利用の組み合わせ等に着目した集計・分析を行うため、介護保険サービスを大きく、「訪問系」、「通所系」、「短期系」の3つに分類して集計しています。なお、介護保険サービスの中には介護予防・日常生活支援総合事業を通じて提供される「介護予防・生活支援サービス」も含まれます。それぞれ、用語の定義は以下の通りです。

【図表4－10－4 サービス利用の分析に用いた用語の定義】

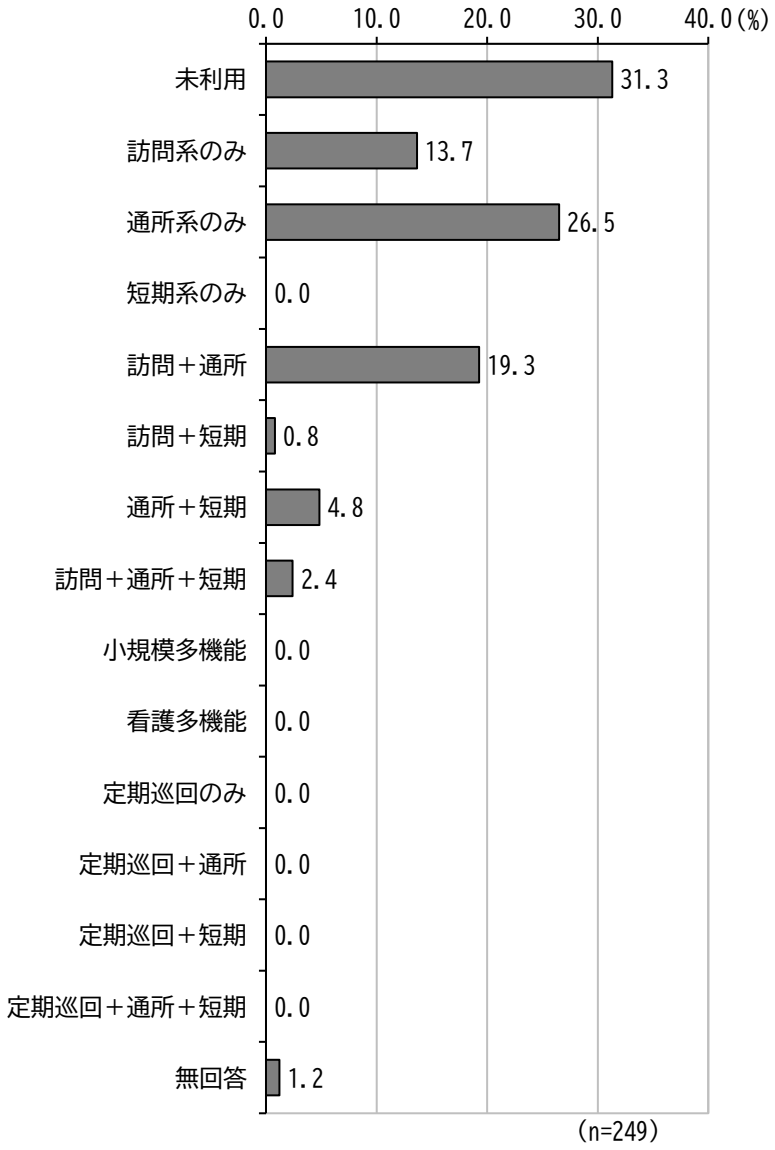
用語		定義
未利用		・「住宅改修」、「福祉用具貸与・購入」のみを利用している方については、未利用として集計しています。
訪問系		・（介護予防）訪問介護、（介護予防）訪問入浴介護、（介護予防）訪問看護、（介護予防）訪問リハビリテーション、（介護予防）居宅療養管理指導、夜間対応型訪問介護を「訪問系」として集計しています。
通所系		・（介護予防）通所介護、（介護予防）通所リハビリテーション、（介護予防）認知症対応型通所介護を「通所系」として集計しています。
短期系		・（介護予防）短期入所生活介護、（介護予防）短期入所療養介護を「短期系」として集計しています。
その他	小規模多機能	・（介護予防）小規模多機能型居宅介護を「小規模多機能」として集計しています。
	看護多機能	・看護小規模多機能型居宅介護を「看護多機能」として集計しています。
	定期巡回	・定期巡回・随時対応型訪問介護看護を「定期巡回」として集計しています。

【図表4－10－5 サービス利用の組み合わせの分析に用いた用語の定義】

用語	定義
未利用	・上表に同じ
訪問系のみ	・上表の「訪問系」もしくは「定期巡回」のみの利用を集計しています。
訪問系を含む組み合わせ	・上表の「訪問系（もしくは定期巡回）」＋「通所系」、「訪問系（もしくは定期巡回）」＋「短期系」、「訪問系（もしくは定期巡回）」＋「通所系」＋「短期系」、「小規模多機能」、「看護多機能」の利用を集計しています。
通所系・短期系のみ	・上表の「通所系」、「短期系」、「通所系」＋「短期系」の利用を集計しています。

サービス利用の組み合わせについて、「未利用」が31.3%で最も高く、次いで「通所系のみ」が26.5%、「訪問＋通所」が 19.3%となっています。

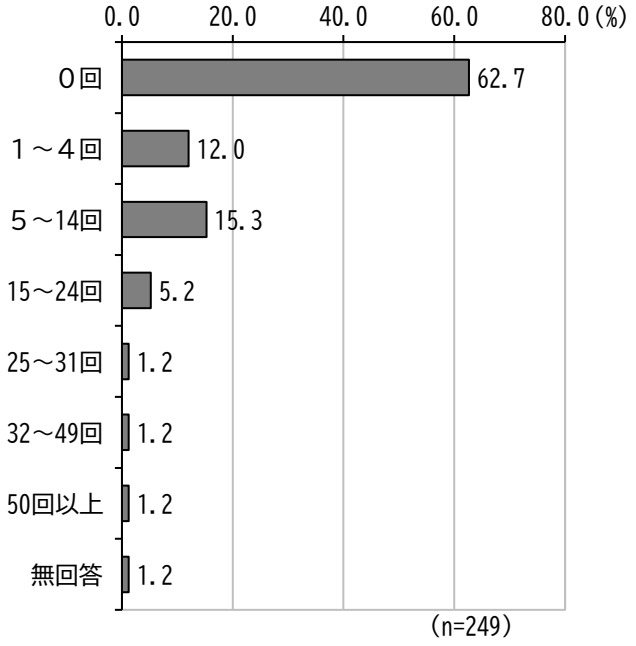
【図表4－1－10－6 サービス利用の組み合わせ】



（5） 訪問系サービスの合計利用回数

訪問系サービスの合計利用回数について、「0回」が 62.7%で最も高く、次いで「5～14 回」が 15.3%、「1～4回」が 12.0%となっています。

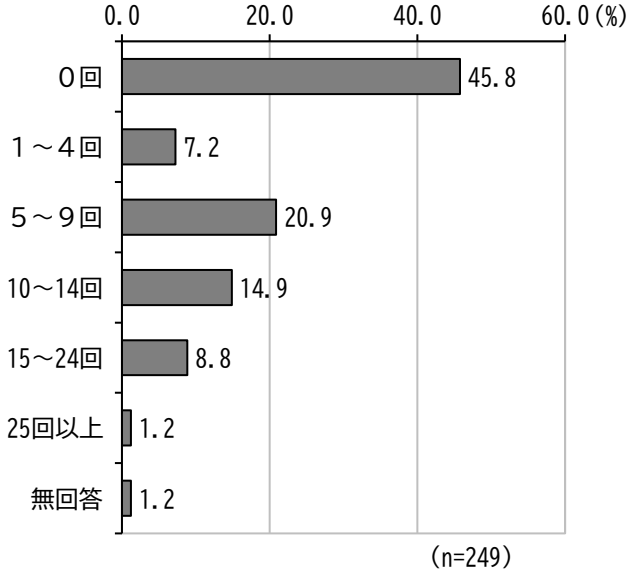
【図表4－1－10－7 訪問系サービスの合計利用回数】



（6） 通所系サービスの合計利用回数

通所系サービスの合計利用回数について、「0回」が 45.8%で最も高く、次いで「5～9回」が 20.9%、「10～14 回」が 14.9%となっています。

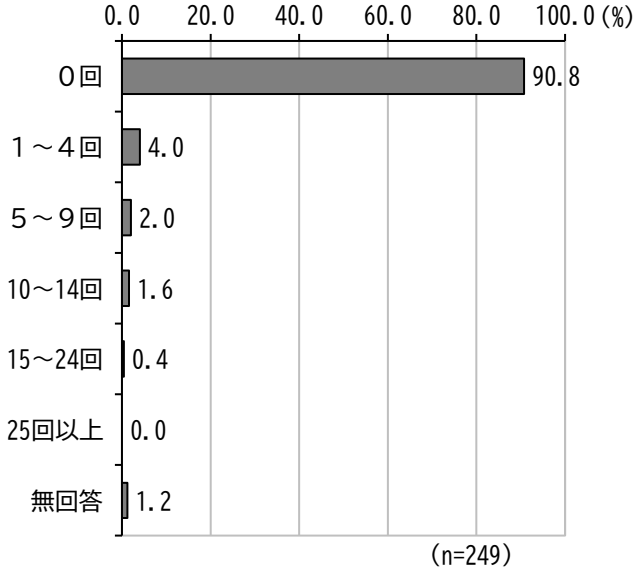
【図表4－1－10－8 通所系サービスの合計利用回数】



（7） 短期系サービスの合計利用回数

短期系サービスの合計利用回数について、「0回」が90.8%で最も高く、次いで「1～4回」が4.0%、「5～9回」が2.0%となっています。

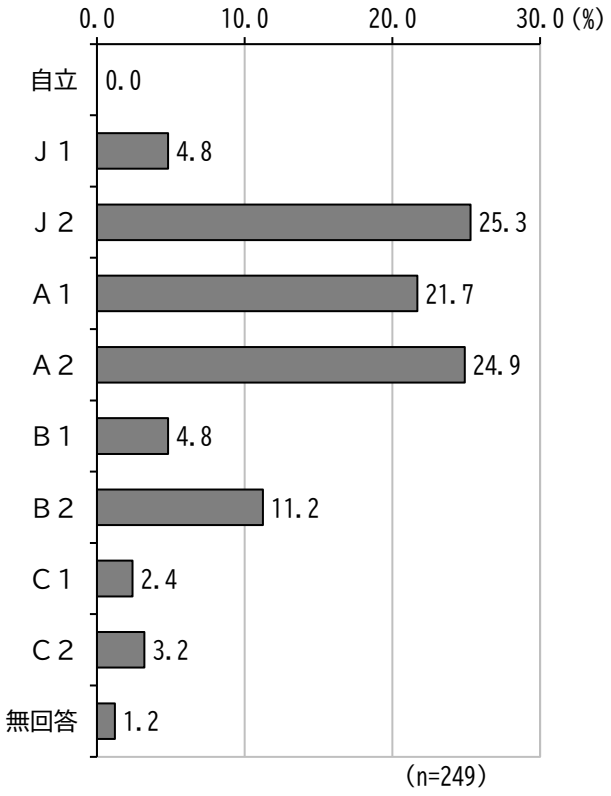
【図表4－1－10－9 短期系サービスの合計利用回数】



（8） 障がい高齢者の日常生活自立度

障がい高齢者の日常生活自立度について、「J2」が 25.3%で最も高く、次いで「A2」が 24.9%、「A1」が21.7%となっています。

【図表4－1－10－10 障がい高齢者の日常生活自立度】



【参考 障がい高齢者の日常生活自立度判定基準】

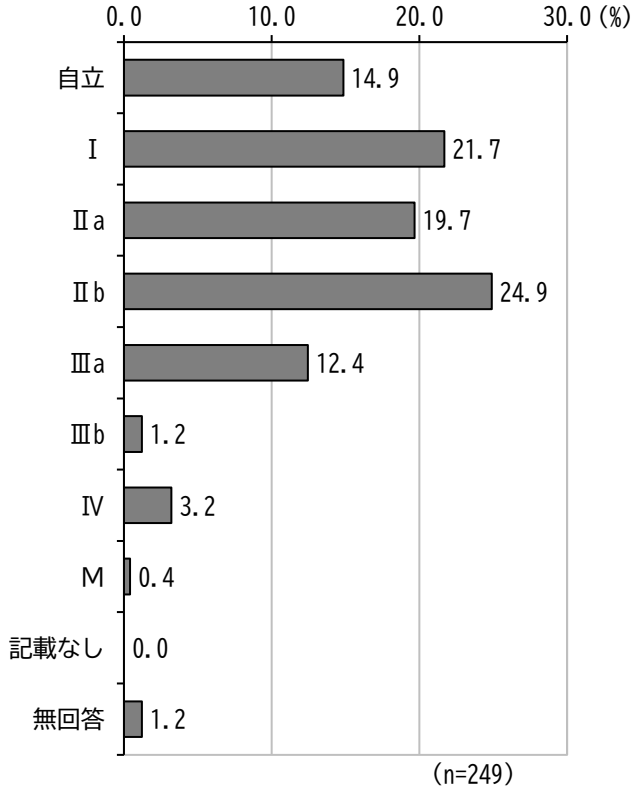
介護保険制度の介護認定調査において用いられる基準で、何らかの障がいを有する高齢者の日常生活における自立度を客観的、かつ、短時間で判断できるための指標として国が作成したものです。

ランク	見られる症状・行動の例
J1	何らかの障害等を有するが、日常生活はほぼ自立しており独力で交通機関等を利用して外出する。
J2	何らかの障害等を有するが、日常生活はほぼ自立しており独力で隣近所へなら外出する。
A1	屋内での生活は概ね自立しているが、介助により外出し、日中はほとんどベッドから離れて生活する。
A2	屋内での生活は概ね自立しているが、外出の頻度が少なく、日中も寝たり起きたりの生活をしている。
B1	屋内での生活は何らかの介助を要し、日中もベッド上での生活が主体であるが、座位を保ち、車いすに移乗し、食事、排泄はベッドから離れて行う。
B2	屋内での生活は何らかの介助を要し、日中もベッド上での生活が主体であるが、座位を保ち、介助により車いすに移乗する。
C1	1日中ベッド上で過ごし、排泄、食事、着替において介助を要し、自力で寝返りをうつ。
C2	1日中ベッド上で過ごし、排泄、食事、着替において介助を要し、自力では寝返りもうてない。

（9） 認知症高齢者の日常生活自立度

認知症高齢者の日常生活自立度について、「Ⅱb」が 24.9%で最も高く、次いで「Ⅰ」が 21.7%、「Ⅱa」が 19.7%となっています。

【図表4－1－10－11 認知症高齢者の日常生活自立度】



【参考 認知症高齢者の日常生活自立度判定基準】

介護保険制度の介護認定調査において用いられる基準で、認知症高齢者の日常生活における自立度を客観的、かつ、短時間で判断できるための指標として国が作成したものです。

ランク	見られる症状・行動の例
Ⅰ	何らかの認知症を有するが，日常生活は家庭内及び社会的にほぼ自立している。
Ⅱa	日常生活に支障をきたすような症状・行動や意思疎通の困難さが多少見られても、誰かが注意していれば自立できる状態が家庭外で見られる。
Ⅱb	日常生活に支障をきたすような症状・行動や意思疎通の困難さが多少見られても、誰かが注意していれば自立できる状態が家庭内でも見られる。
Ⅲa	日常生活に支障をきたすような症状・行動や意思疎通の困難さが見られ、介護を必要とする状態が日中を中心に見られる。
Ⅲb	日常生活に支障をきたすような症状・行動や意思疎通の困難さが見られ、介護を必要とする状態が夜間を中心に見られる。
Ⅳ	日常生活に支障をきたすような症状・行動や意思疎通の困難さが頻繁に見られ、常に介護を必要とする。
M	著しい精神症状や問題行動あるいは重篤な身体疾患が見られ、専門医療を必要とする。

Ⅱ　クロス集計結果

ここでは、厚生労働省から配布された「在宅介護実態調査の自動集計分析ソフト」を使用し、調査結果と認定データを紐づけた上で分析を行っています。

なお、回答者数（ｎ）が少数となる場合は参考までに数値を見るにとどめ、結果の利用には注意が必要です。

1.　在宅限界点の向上のための支援･サービスの提供体制の検討

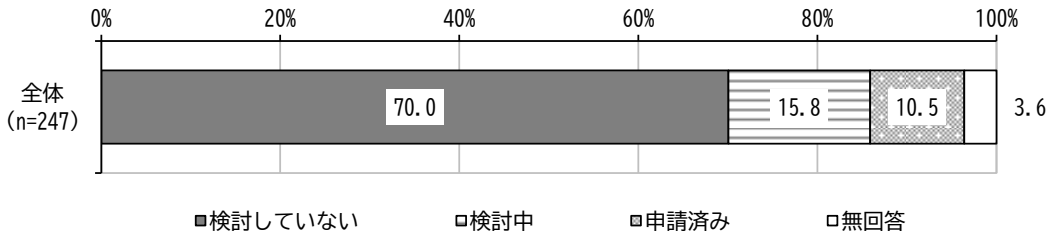
ここでは、在宅限界点の向上に向けて必要となる支援･サービスを検討するために、「在宅生活の継続」と「介護者不安の軽減」の2つの視点からの集計を行っています。

（1）基礎集計

ⅰ　施設等検討の状況

施設等検討の状況について、施設等検討の状況について、「検討していない」が 70.0％で最も高く、次いで「検討中」が 15.8％、「申請済み」が 10.5％となっています。

【図表4－2－1－1　施設等検討の状況】

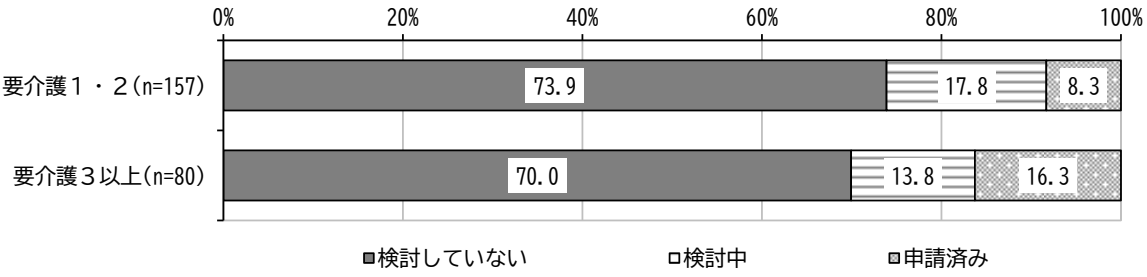


ii　要介護度別でみる施設等検討の状況

施設等の検討状況を二次判定結果別にみると、「要介護1・2」では、「検討していない」が 73.9%で最も高く、次いで「検討中」が 17.8%、「申請済み」が 8.3%となっています。

「要介護3以上」では、「検討していない」が 70.0%で最も高く、次いで「申請済み」が 16.3%、「検討中」が 13.8%となっています。

【図表4－2－1－2 施設等検討の状況 要介護度別】



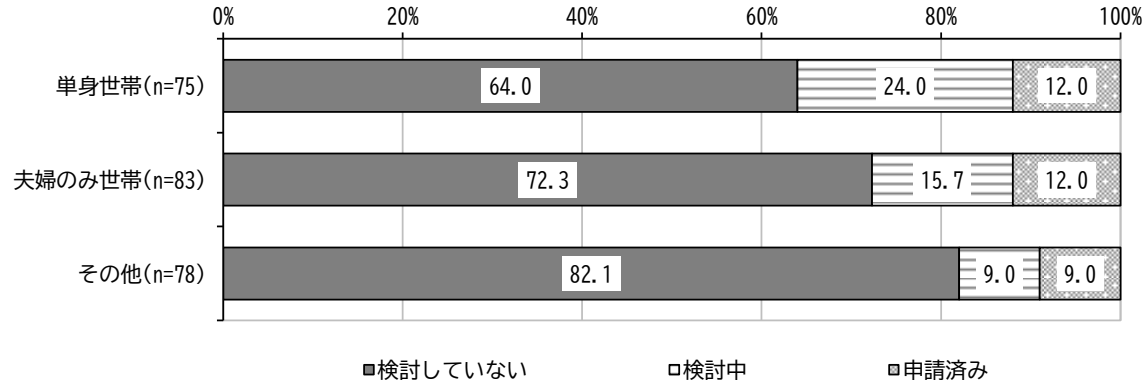
iii　世帯類型別でみる施設等検討の状況

施設等の検討状況を世帯類型別にみると、「単身世帯」では、「検討していない」が 64.0%で最も高く、次いで「検討中」が 24.0%、「申請済み」が 12.0%となっています。

「夫婦のみの世帯」では、「検討していない」が 72.3%で最も高く、次いで「検討中」が 15.7%、「申請済み」が 12.0%となっています。

「その他」では、「検討していない」が 82.1%で最も高く、次いで「検討中」「申請済み」が 9.0%となっています。

【図表4－2－1－3 施設等検討の状況 世帯類型別】



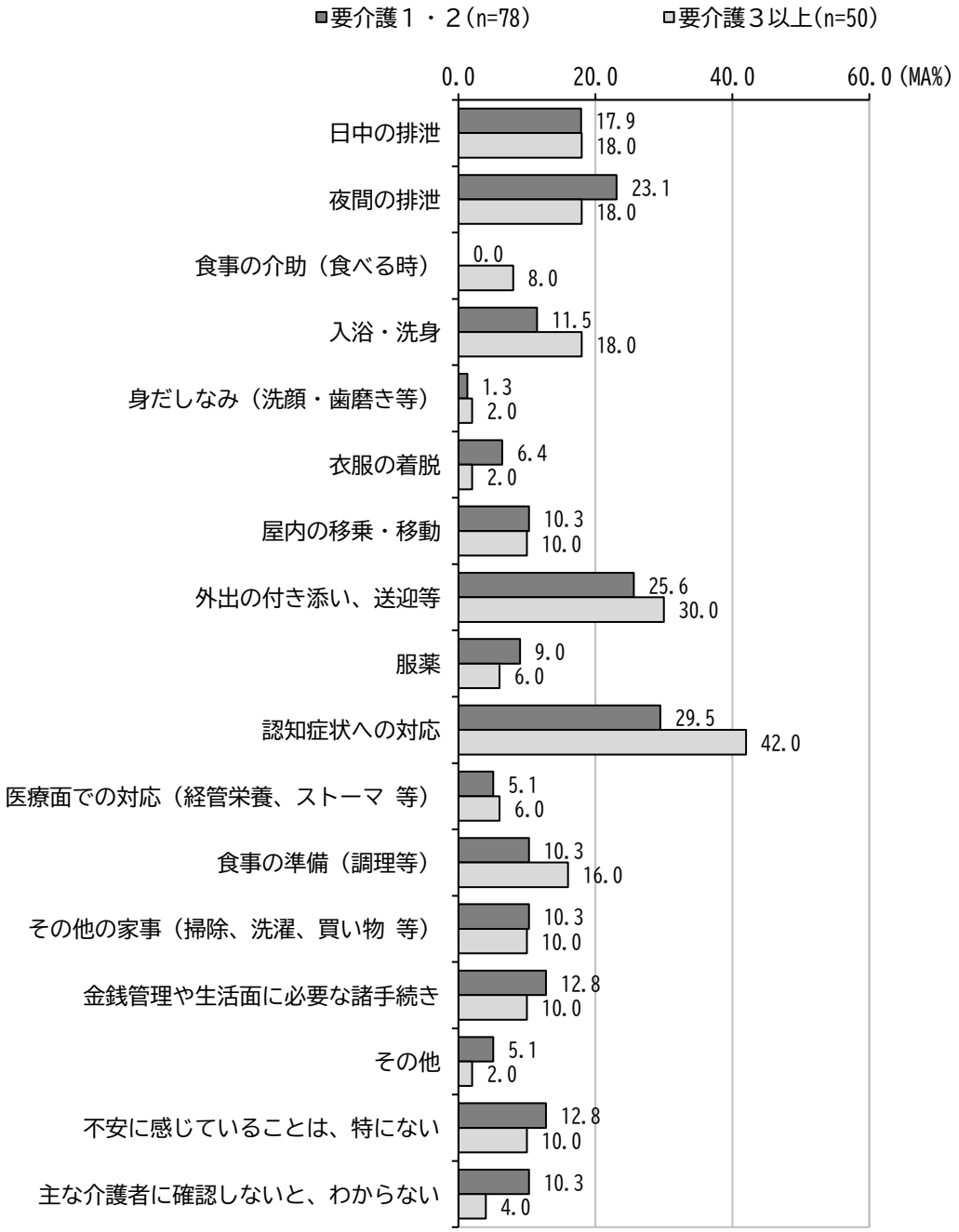
（2） 要介護度・認知症自立度の重度化に伴う「主な介護者が不安に感じる介護」の変化

ⅰ 要介護度別でみる介護者が不安に感じる介護

介護者が不安に感じる介護を二次判定結果別にみると、「要介護1・2」では、「認知症状への対応」が29.5%で最も高く、次いで「外出の付き添い、送迎等」が25.6%、「夜間の排泄」が23.1%となっています。

「要介護3以上」では、「認知症状への対応」が 42.0%で最も高く、次いで「外出の付き添い、送迎等」が30.0%、「日中の排泄」「夜間の排泄」「入浴・洗身」が18.0%となっています。

【図表4－2－1－4 介護者が不安に感じる介護 要介護度別】



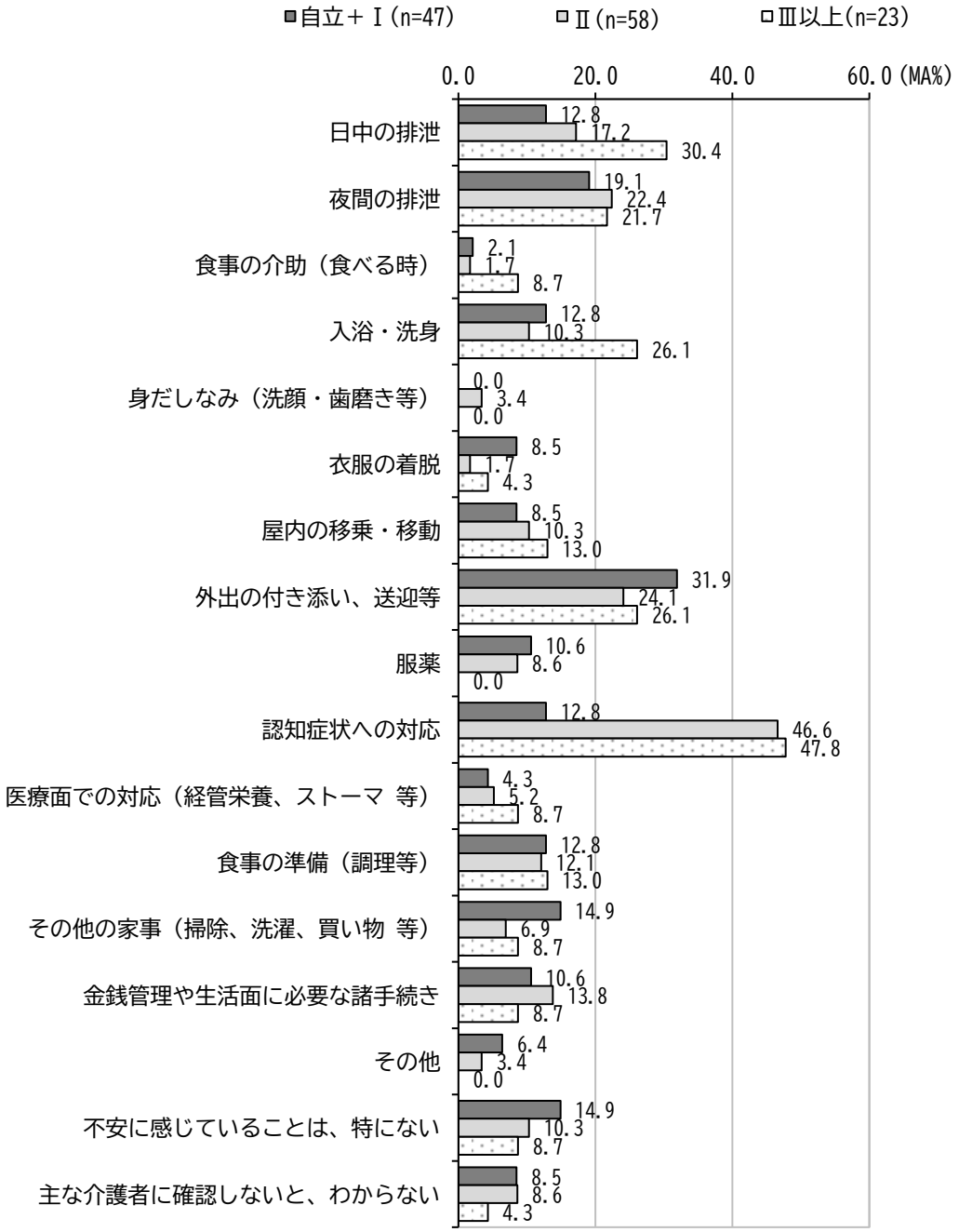
ii　認知症自立度別でみる介護者が不安に感じる介護

介護者が不安に感じる介護を認知症高齢者自立度別にみると、「認知症自立度自立＋Ⅰ」では、「外出の付き添い、送迎等」が 31.9%で最も高く、次いで「夜間の排泄」が 19.1%、「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」「不安に感じていることは、特にない」が 14.9%となっています。

「認知症自立度Ⅱ」では、「認知症状への対応」が 46.6%で最も高く、次いで「外出の付き添い、送迎等」が 24.1%、「夜間の排泄」が 22.4%となっています。

「認知症自立度Ⅲ以上」では、「認知症状への対応」が 47.8%で最も高く、次いで「日中の排泄」が 30.4%、「入浴・洗身」「外出の付き添い、送迎等」が 26.1%となっています。

【図表4－2－1－5 介護者が不安に感じる介護 認知症自立度別】



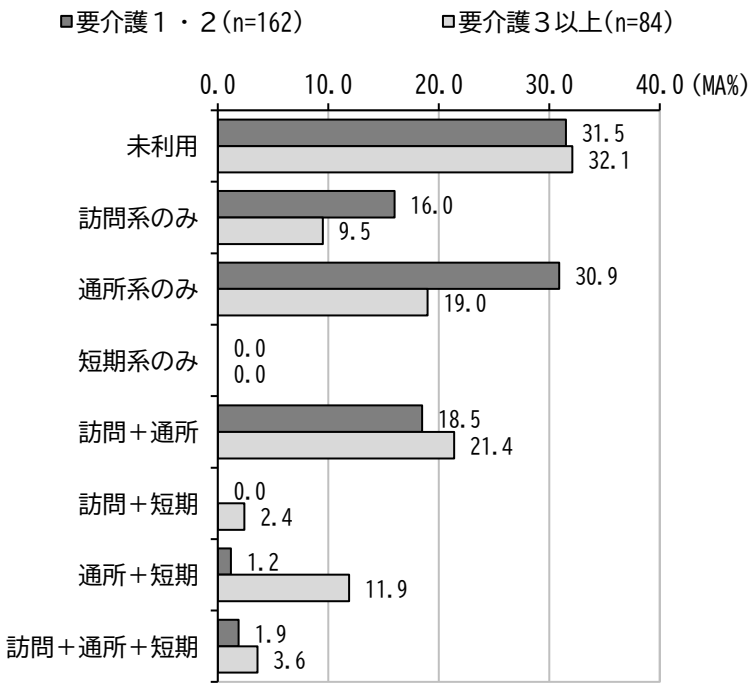
（3） 要介護度・認知症自立度の重度化に伴う「サービス利用の組み合わせ」の変化

ⅰ 要介護度別でみるサービス利用の組み合わせ

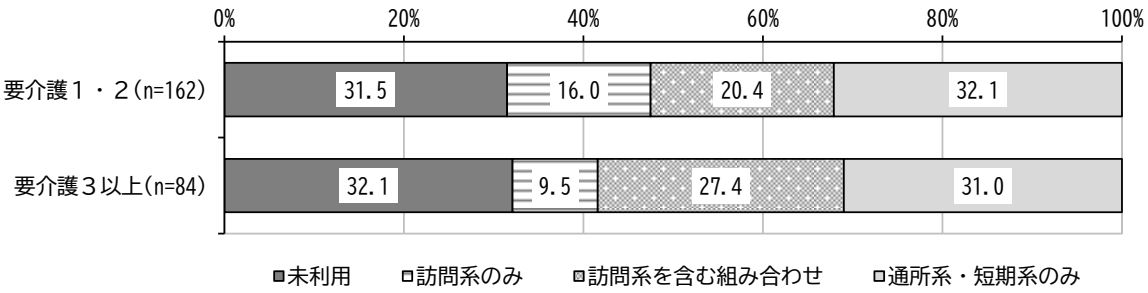
サービス利用の組み合わせを二次判定結果別にみると、「要介護1・2」では、「未利用」が 31.5%で最も高く、次いで「通所系のみ」が 30.9%、「訪問＋通所」が 18.5%となっています。

「要介護3以上」では、「未利用」が 32.1%で最も高く、次いで「訪問＋通所」が 21.4%、「通所系のみ」が 19.0%となっています。

【図表4－2－1－6 サービス利用の組み合わせ 要介護度別】



【図表4－2－1－7 サービス利用の組み合わせ 要介護度別】



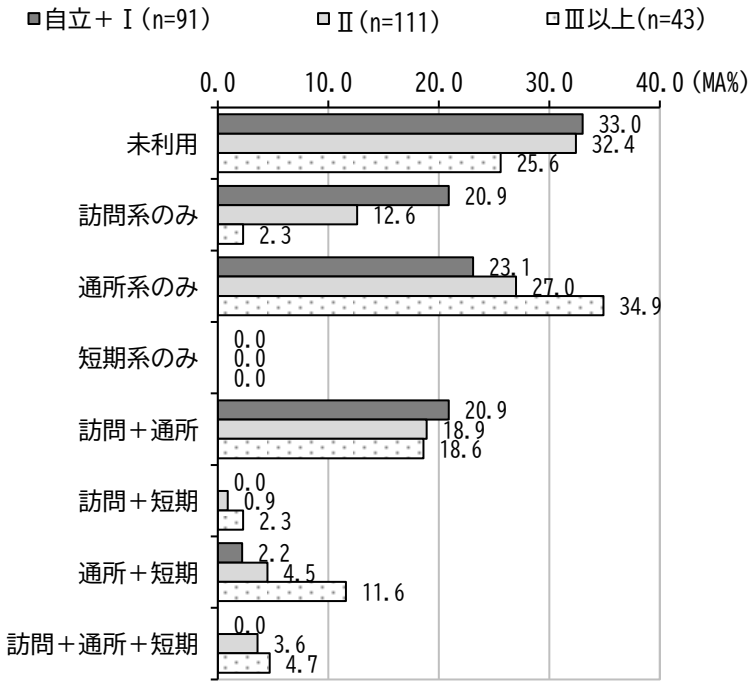
ⅱ　認知症自立度別でみるサービス利用の組み合わせ

サービス利用の組み合わせを認知症高齢者自立度別にみると、「認知症自立度自立＋Ⅰ」では、「未利用」が 33.0%で最も高く、次いで「通所系のみ」が 23.1%、「訪問系のみ」「訪問＋通所」が 20.9%となっています。

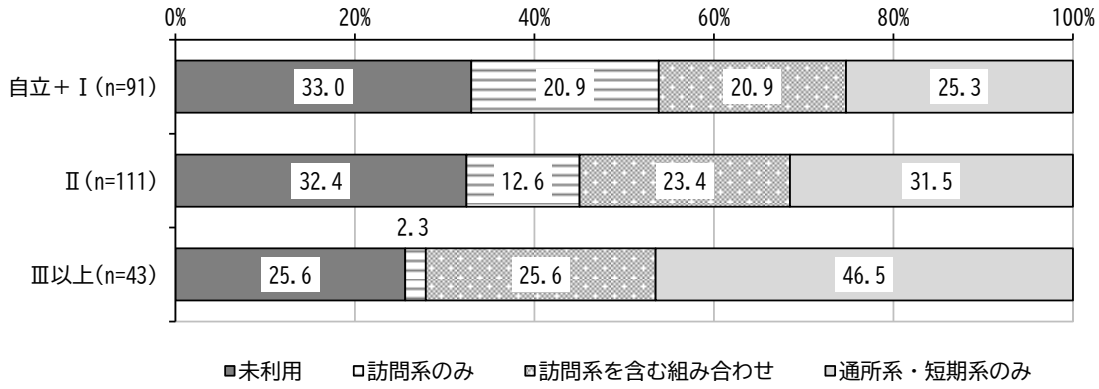
「認知症自立度Ⅱ」では、「未利用」が 32.4%で最も高く、次いで「通所系のみ」が 27.0%、「訪問＋通所」が 18.9%となっています。

「認知症自立度Ⅲ以上」では、「通所系のみ」が 34.9%で最も高く、次いで「未利用」が 25.6%、「訪問＋通所」が 18.6%となっています。

【図表4－2－1－8　サービス利用の組み合わせ　認知症自立度別】



【図表4－2－1－9　サービス利用の組み合わせ　認知症自立度別】

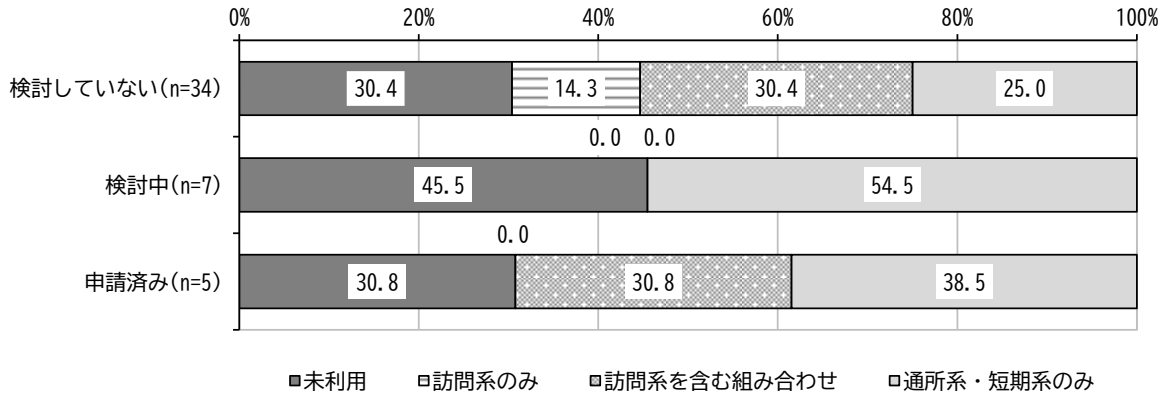


（4）「サービス利用の組み合わせ」と「施設等検討の状況」の関係

ⅰ　サービス利用の組み合わせと施設等検討の状況（要介護3以上）

サービス利用の組み合わせを施設等の検討状況別にみると、「検討していない」では、「未利用」「訪問系を含む組み合わせ」が 30.4%で最も高く、次いで「通所系・短期系のみ」が 25.0%となっています。

【図表4－2－1－10　サービス利用の組み合わせ（要介護3以上）　施設等検討の状況別】

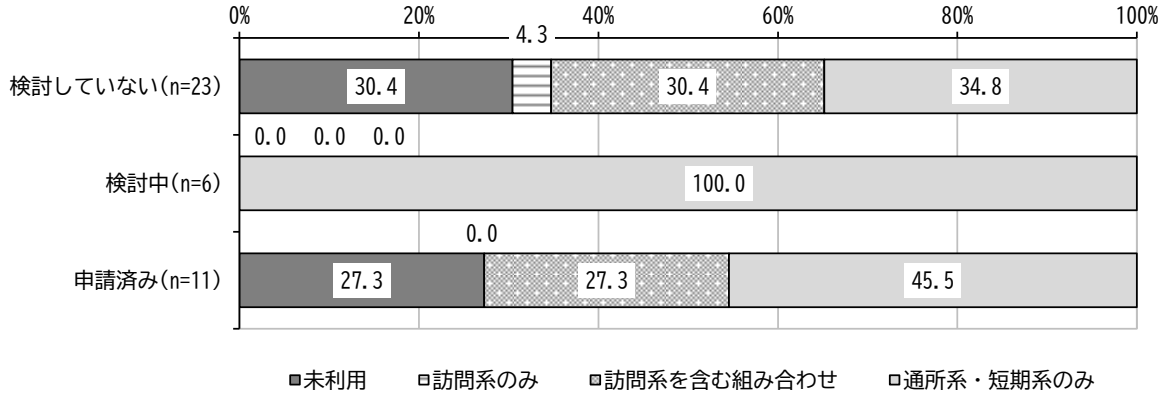


ⅱ　サービス利用の組み合わせと施設等検討の状況（認知症自立度Ⅲ以上）

サービス利用の組み合わせを施設等の検討状況別にみると、「検討していない」では、「通所系・短期系のみ」が 34.8%で最も高く、次いで「未利用」「訪問系を含む組み合わせ」が 30.4%となっています。

「申請済み」では、「通所系・短期系のみ」が 45.5%で最も高く、次いで「未利用」「訪問系を含む組み合わせ」が 27.3%となっています。

【図表4－2－1－11　サービス利用の組み合わせ（認知症自立度Ⅲ以上）　施設等検討の状況別】



（5）「サービス利用の回数」と「主な介護者が不安に感じる介護」の関係

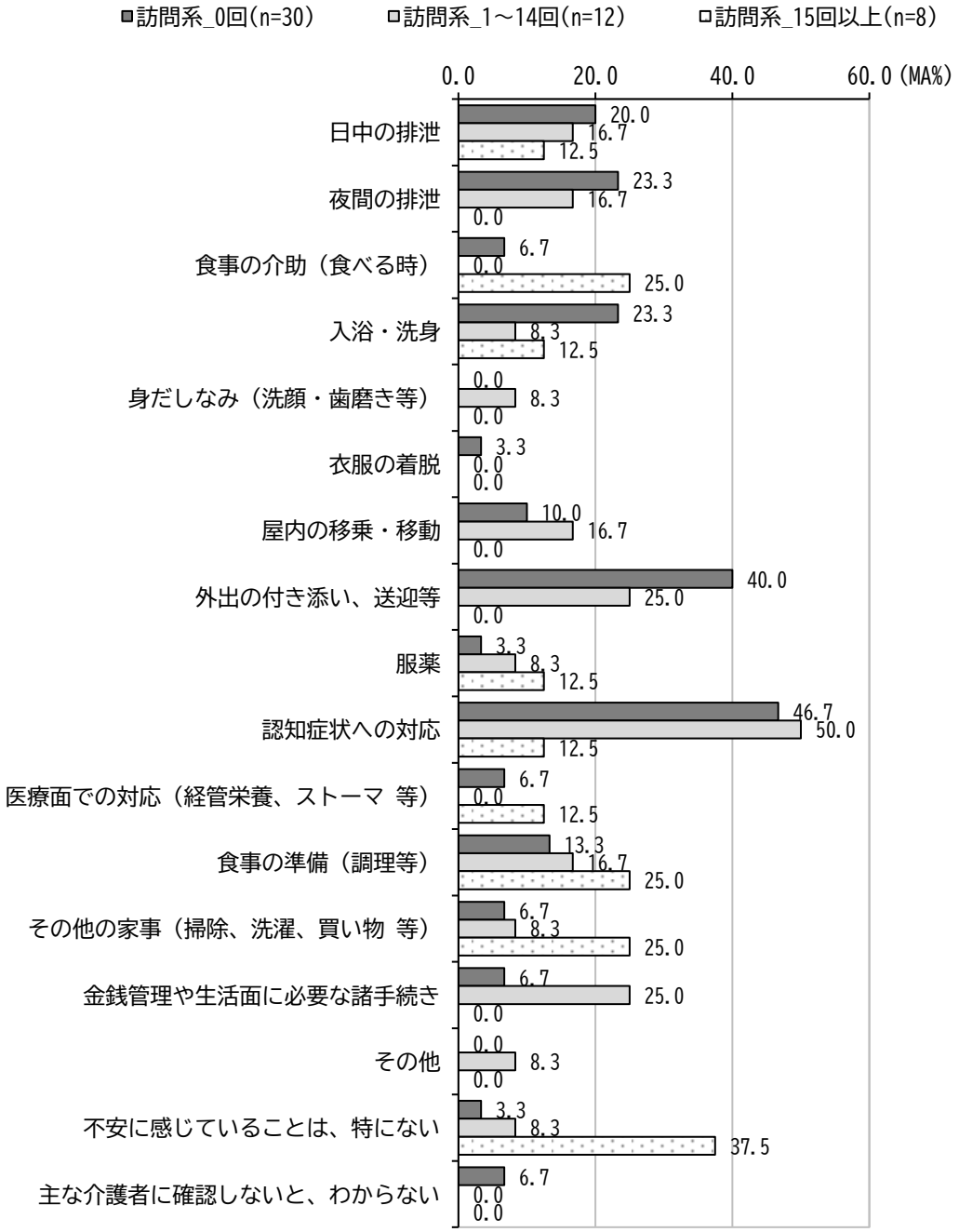
ⅰ　サービス利用回数別でみる介護者が不安を感じる介護（訪問系、要介護3以上）

介護者が不安に感じる介護を訪問系の利用回数別にみると、「訪問系_0 回」では、「認知症状への対応」が46.7%で最も高く、次いで「外出の付き添い、送迎等」が 40.0%、「夜間の排泄」「入浴・洗身」が 23.3%となっています。

「訪問系_1～14 回」では、「認知症状への対応」が 50.0%で最も高く、次いで「外出の付き添い、送迎等」「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」が 25.0%となっています。

「訪問系_15 回以上」では、「不安に感じていることは、特にない」が 37.5%で最も高くなっています。

【図表4－2－1－12 介護者が不安を感じる介護（要介護3以上） 訪問系サービス利用回数別】



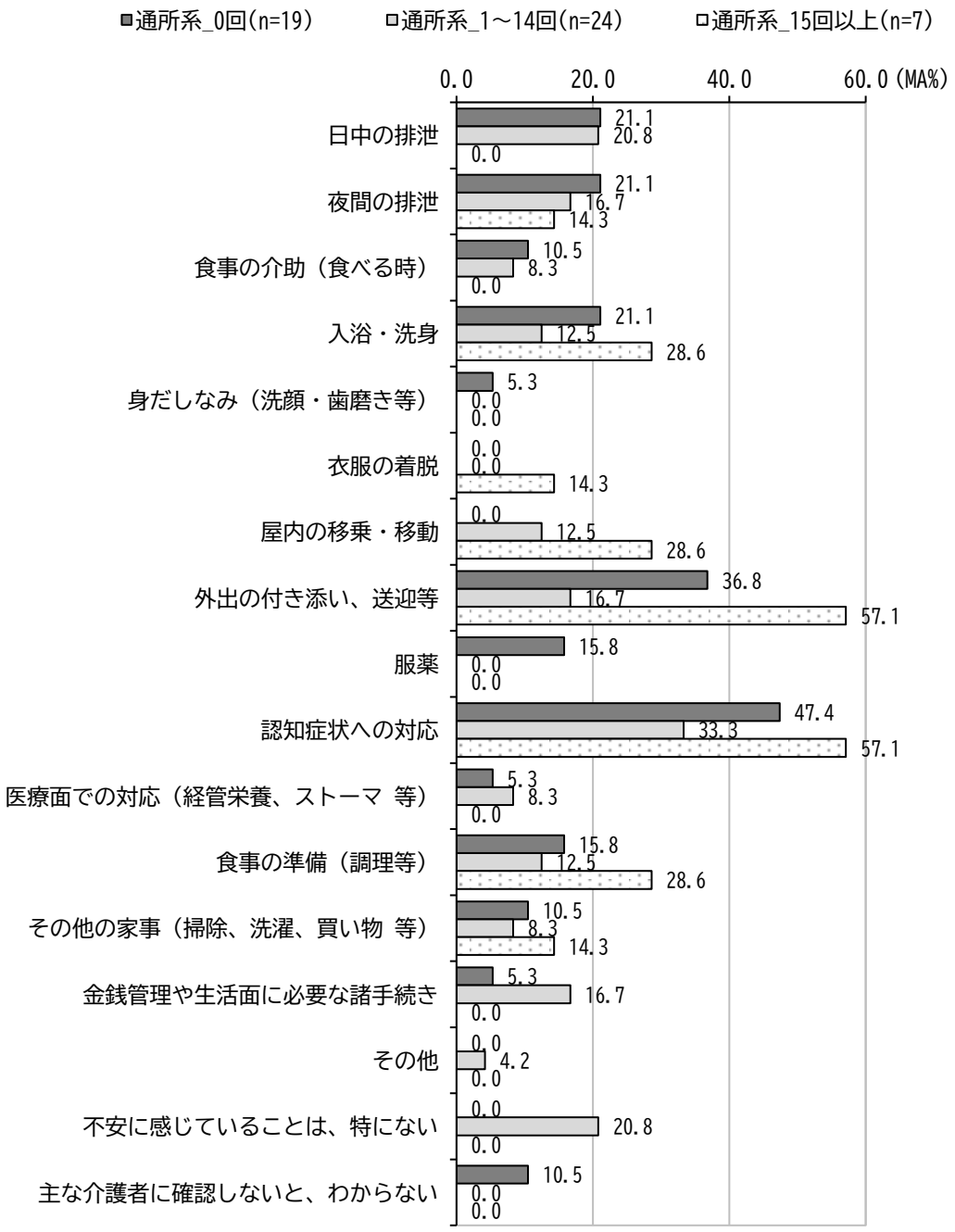
ii　サービス利用回数別でみる介護者が不安を感じる介護（通所系、要介護3以上）

介護者が不安に感じる介護を通所系の利用回数別にみると、「通所系_0 回」では、「認知症状への対応」が47.4%で最も高く、次いで「外出の付き添い、送迎等」が 36.8%となっています。

「通所系_1～14 回」では、「認知症状への対応」が 33.3%で最も高く、次いで「日中の排泄」「不安に感じていることは、特にない」が 20.8%となっています。

「通所系_15 回以上」では、「外出の付き添い、送迎等」「認知症状への対応」が 57.1%で最も高くなっています。

【図表4－2－1－13 介護者が不安を感じる介護（要介護3以上） 通所系サービス利用回数別】

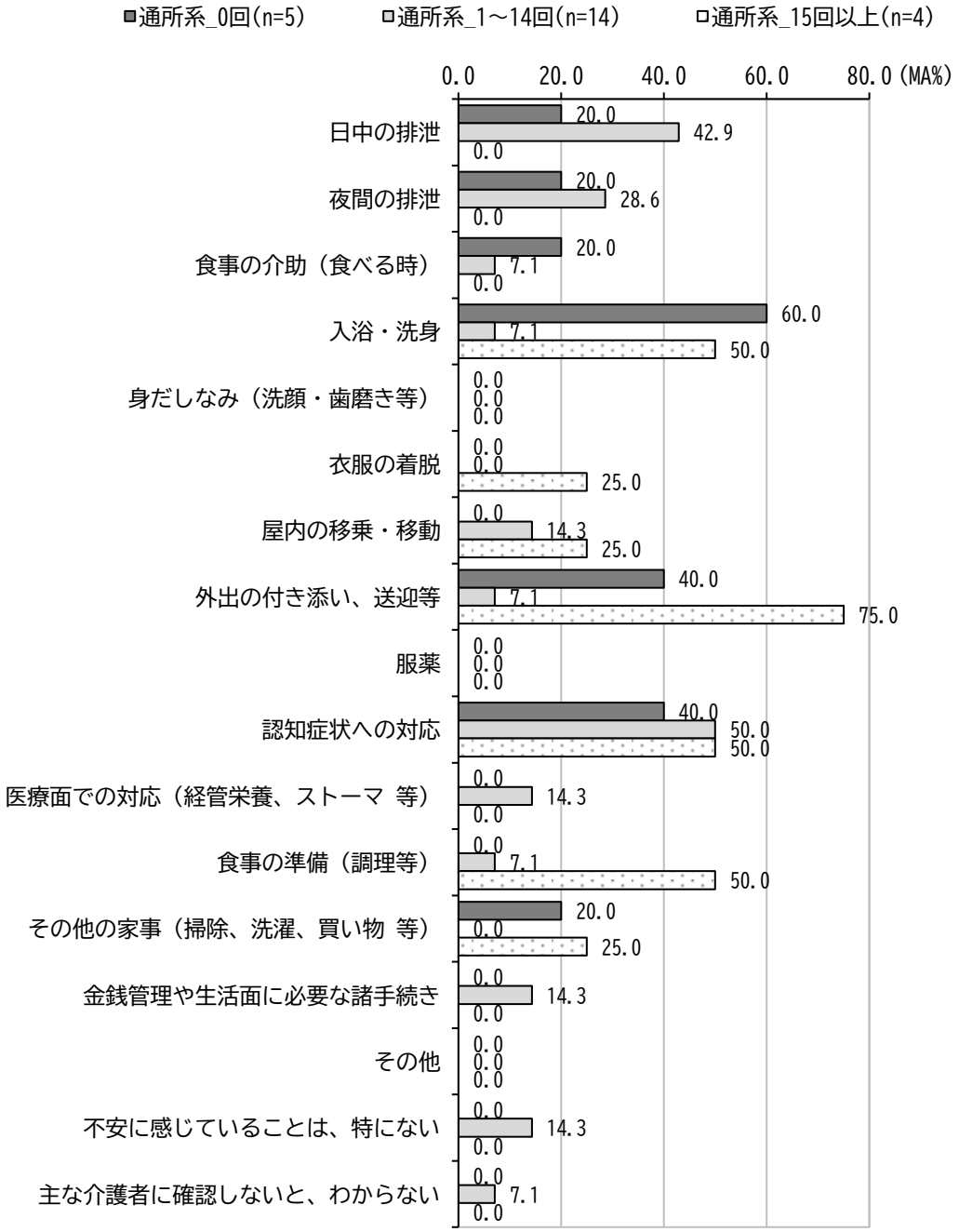


iii　サービス利用回数別でみる介護者が不安を感じる介護（通所系、認知症自立度Ⅲ以上）

介護者が不安に感じる介護を通所系の利用回数別にみると、「通所系_0 回」では、「入浴・洗身」が 60.0%で最も高く、次いで「外出の付き添い、送迎等」「認知症状への対応」が 40.0%となっています。

「通所系_1～14 回」では、「認知症状への対応」が 50.0%で最も高く、次いで「日中の排泄」が 42.9%、「夜間の排泄」が 28.6%となっています。

【図表4－2－1－14　介護者が不安を感じる介護（認知症自立度Ⅲ以上）　通所系サービス利用回数別】



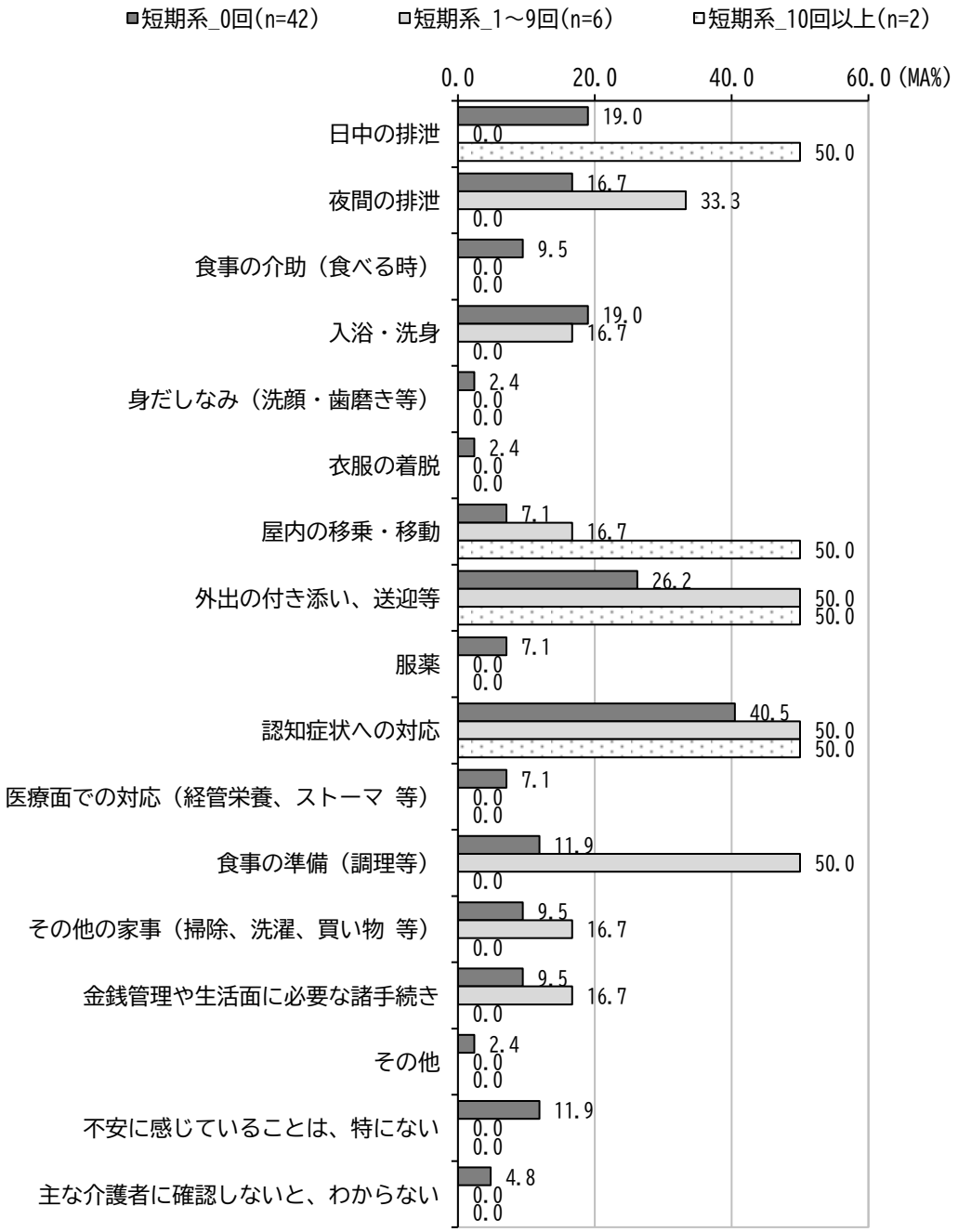
iv　サービス利用回数別でみる介護者が不安を感じる介護（短期系、要介護3以上）

介護者が不安に感じる介護を短期系の利用回数別にみると、「短期系_0 回」では、「認知症状への対応」が40.5%で最も高く、次いで「外出の付き添い、送迎等」が 26.2%、「日中の排泄」「入浴・洗身」が 19.0%となっています。

「短期系_1～9 回」では、「外出の付き添い、送迎等」「認知症状への対応」「食事の準備（調理等）」が50.0%で最も高くなっています。

「短期系_10 回以上」では、「日中の排泄」「屋内の移乗・移動」「外出の付き添い、送迎等」「認知症状への対応」が 50.0%となっています。

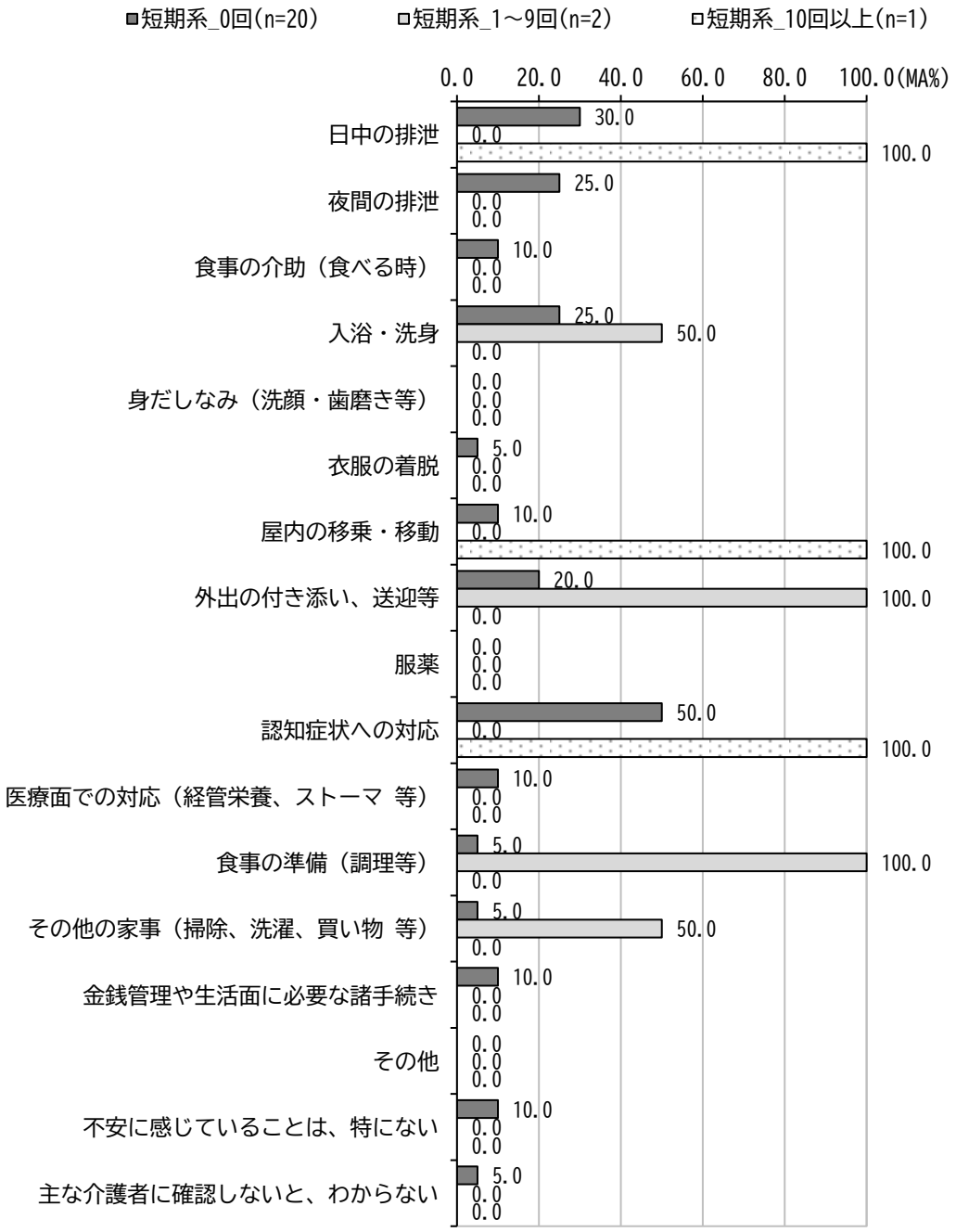
【図表4－2－1－15 介護者が不安を感じる介護（要介護3以上） 短期系サービス利用回数別】



v　サービス利用回数別でみる介護者が不安を感じる介護（短期系、認知症自立度Ⅲ以上）

介護者が不安に感じる介護を短期系の利用回数別にみると、「短期系_0 回」では、「認知症状への対応」が50.0%で最も高く、次いで「日中の排泄」が 30.0%、「夜間の排泄」「入浴・洗身」が 25.0%となっています。

【図表4－2－1－16 介護者が不安を感じる介護（認知症自立度Ⅲ以上） 短期系サービス利用回数別】



2. 仕事と介護の両立に向けた支援・サービスの提供体制の検討

ここでは、介護者の就労継続見込みの向上に向けて必要となる支援・サービスを検討するために、「主な介護者の就労状況」と「主な介護者の就労継続見込み」の2つの視点からの集計を行っています。

(1) 基礎集計

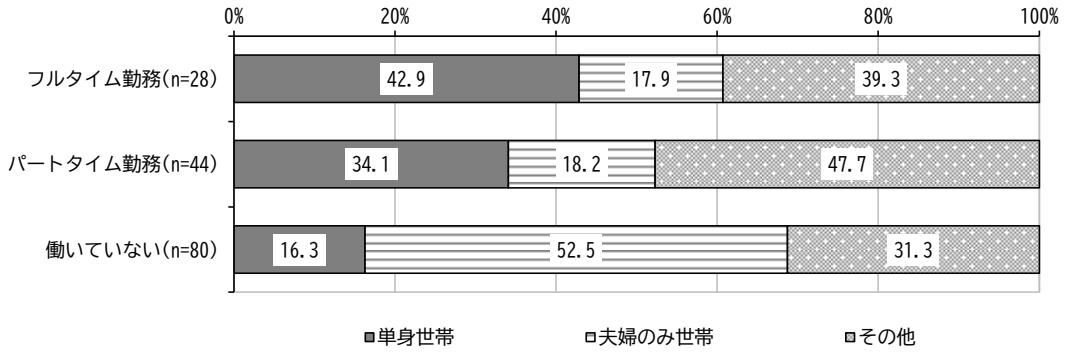
ⅰ 就労状況別でみる世帯類型

世帯類型を介護者の勤務形態別にみると、「フルタイム勤務」では、「単身世帯」が 42.9%で最も高く、次いで「その他」が 39.3%、「夫婦のみ世帯」が 17.9%となっています。

「パートタイム勤務」では、「その他」が 47.7%で最も高く、次いで「単身世帯」が 34.1%、「夫婦のみ世帯」が 18.2%となっています。

「働いていない」では、「夫婦のみ世帯」が 52.5%で最も高く、次いで「その他」が 31.3%、「単身世帯」が 16.3%となっています。

【図表4－2－2－1 世帯類型 就労状況別】



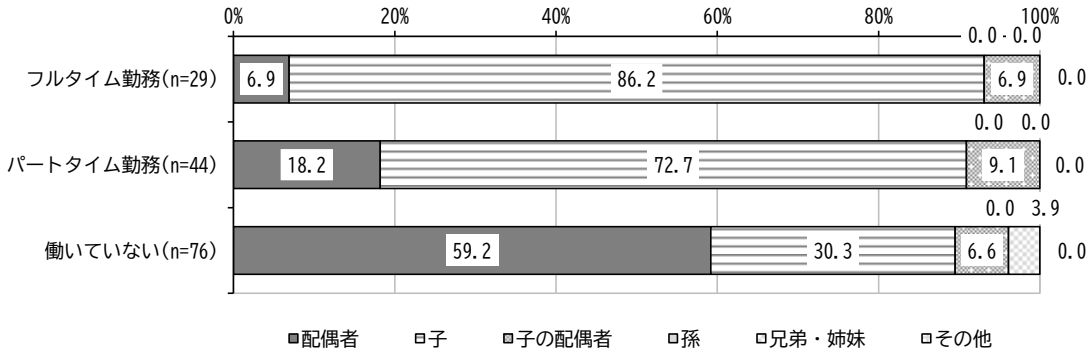
ⅱ 就労状況別でみる主な介護者の本人との関係

主な介護者を介護者の勤務形態別にみると、「フルタイム勤務」では、「子」が 86.2%で最も高く、次いで「配偶者」「子の配偶者」が 6.9%となっています。

「パートタイム勤務」では、「子」が 72.7%で最も高く、次いで「配偶者」が 18.2%、「子の配偶者」が 9.1%となっています。

「働いていない」では、「配偶者」が 59.2%で最も高く、次いで「子」が 30.3%、「子の配偶者」が 6.6%となっています。

【図表4－2－2－2 主な介護者の本人との関係 就労状況別】



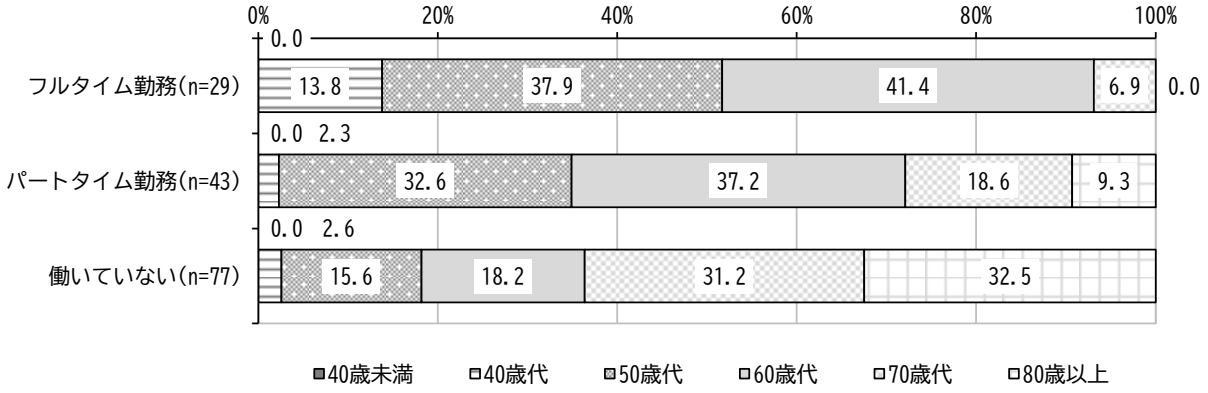
iii 就労状況別でみる主な介護者の年齢

介護者の年齢を介護者の勤務形態別にみると、「フルタイム勤務」では、「60 歳代」が 41.4%で最も高く、次いで「50 歳代」が 37.9%、「40 歳代」が 13.8%となっています。

「パートタイム勤務」では、「60 歳代」が 37.2%で最も高く、次いで「50 歳代」が 32.6%、「70 歳代」が 18.6%となっています。

「働いていない」では、「80 歳以上」が 32.5%で最も高く、次いで「70 歳代」が 31.2%、「60 歳代」が 18.2%となっています。

【図表4－2－2－3 主な介護者の年齢 就労状況別】



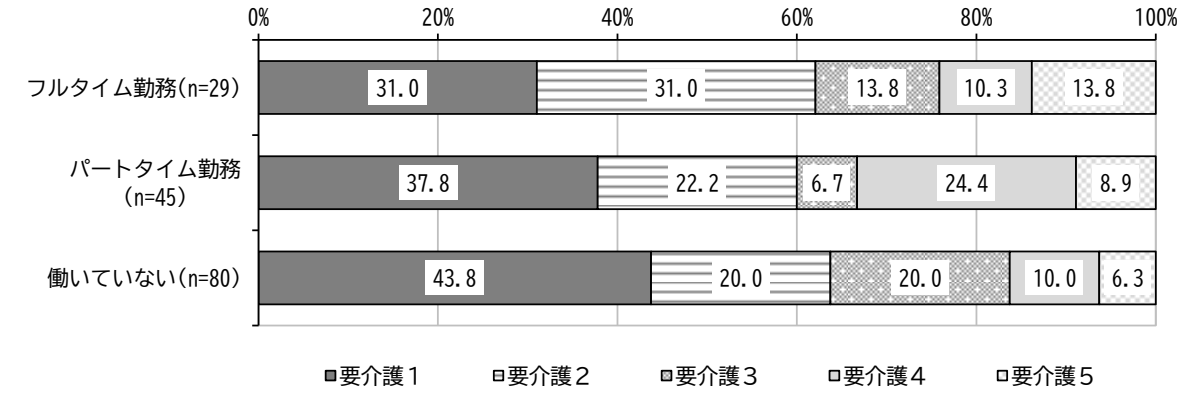
iv 就労状況別でみる要介護度

二次判定結果を介護者の勤務形態別にみると、「フルタイム勤務」では、「要介護1」「要介護2」が 31.0%で最も高く、次いで「「要介護3」「要介護5」が 13.8%となっています。

「パートタイム勤務」では、「要介護1」が 37.8%で最も高く、次いで「要介護4」が 24.4%、「要介護2」が 22.2%となっています。

「働いていない」では、「要介護1」が 43.8%で最も高く、次いで「要介護2」「要介護3」が 20.0%となっています。

【図表4－2－2－4 要介護度 就労状況別】



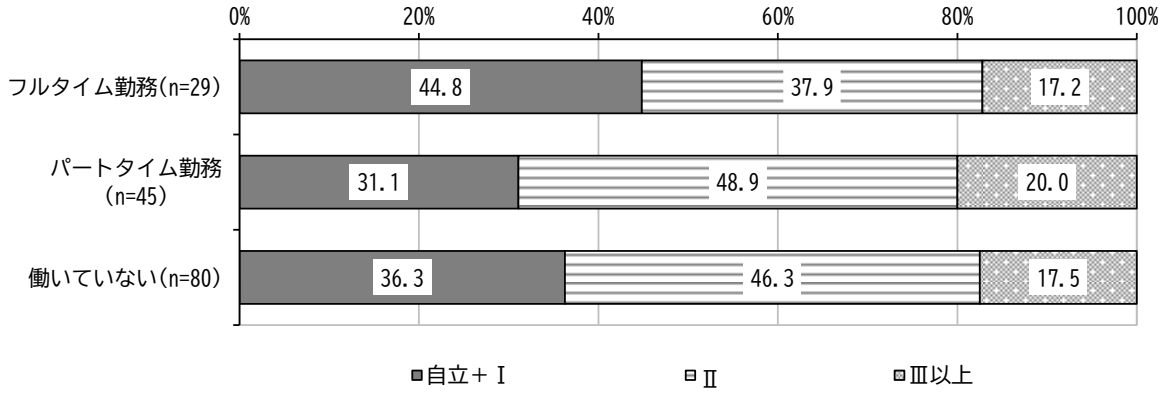
v 就労状況別でみる認知症自立度

認知症高齢者自立度を介護者の勤務形態別にみると、「フルタイム勤務」では、「自立＋Ⅰ」が 44.8%で最も高く、次いで「Ⅱ」が 37.9%、「Ⅲ以上」が 17.2%となっています。

「パートタイム勤務」では、「Ⅱ」が 48.9%で最も高く、次いで「自立＋Ⅰ」が 31.1%、「Ⅲ以上」が 20.0%となっています。

「働いていない」では、「Ⅱ」が 46.3%で最も高く、次いで「自立＋Ⅰ」が 36.3%、「Ⅲ以上」が 17.5%となっています。

【図表4－2－2－5 認知症自立度 就労状況別】



(2) 就労状況別の、主な介護者が行っている介護と就労継続見込み

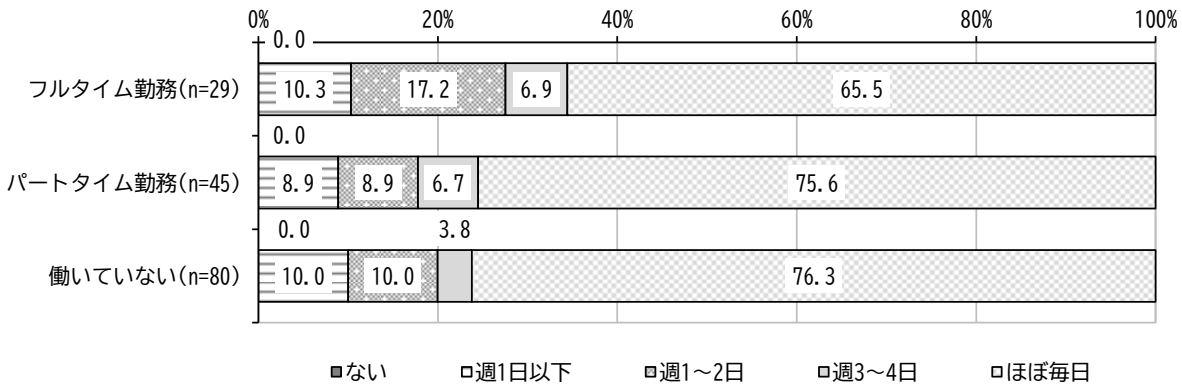
i 就労状況別でみる家族等による介護の頻度

家族等の介護の頻度を介護者の勤務形態別にみると、「フルタイム勤務」では、「ほぼ毎日」が 65.5%で最も高く、次いで「週 1～2 日」が 17.2%、「週 1 日以下」が 10.3%となっています。

「パートタイム勤務」では、「ほぼ毎日」が 75.6%で最も高く、次いで「週 1 日以下」「週 1～2 日」が 8.9%、「週 3～4 日」が 6.7%となっています。

「働いていない」では、「ほぼ毎日」が 76.3%で最も高く、次いで「週 1 日以下」「週 1～2 日」が 10.0%、「週 3～4 日」が 3.8%となっています。

【図表4－2－2－6 家族等による介護の頻度 就労状況別】



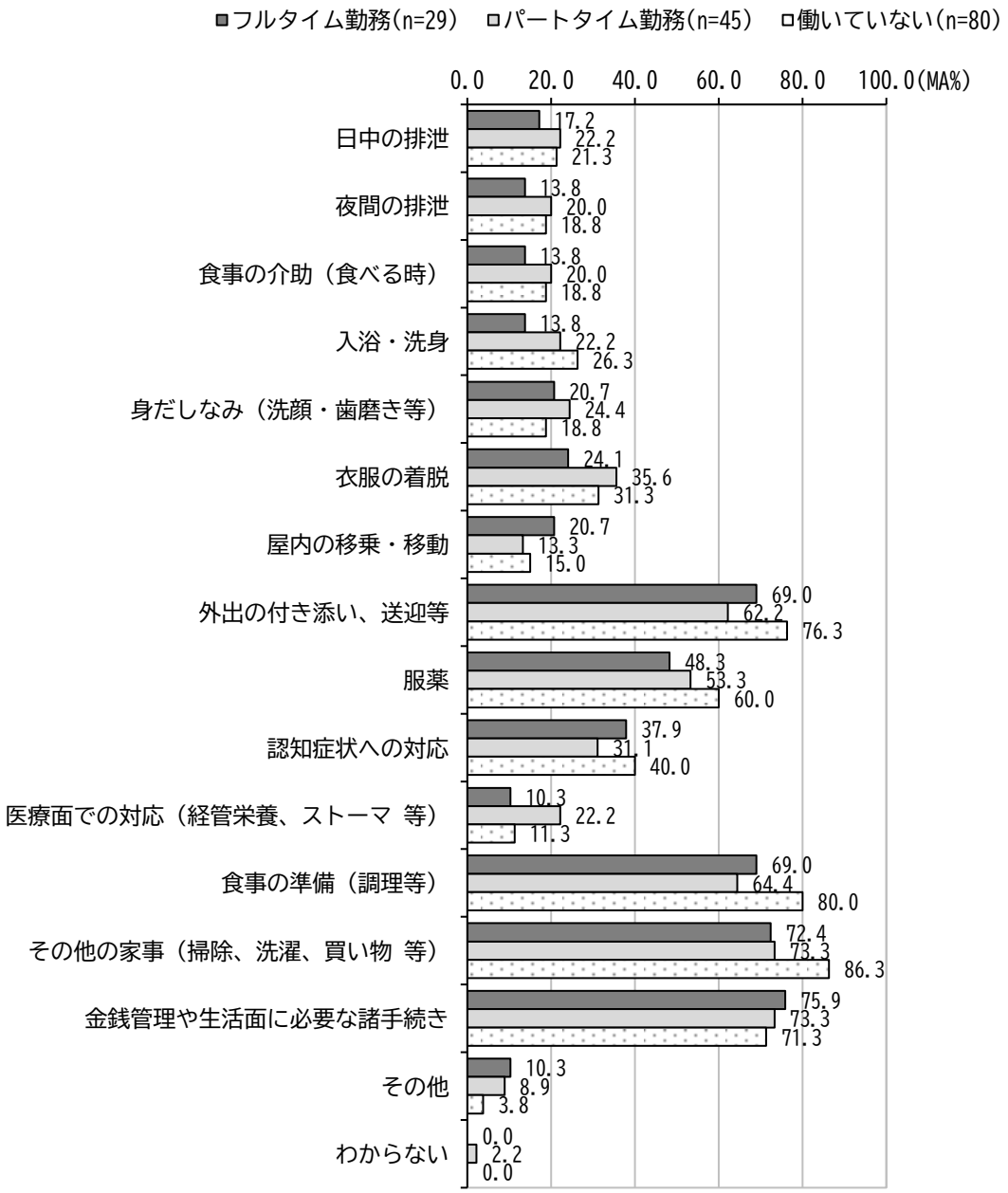
ii　就労状況別でみる主な介護者が行っている介護

介護者が行っている介護を介護者の勤務形態別にみると、「フルタイム勤務」では、「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」が 75.9%で最も高く、次いで「その他の家事（掃除、洗濯、買い物 等）」が 72.4%、「外出の付き添い、送迎等」「食事の準備（調理等）」が 69.0%となっています。

「パートタイム勤務」では、「その他の家事（掃除、洗濯、買い物 等）」「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」が 73.3%で最も高く、次いで「食事の準備（調理等）」が 64.4%、「外出の付き添い、送迎等」が 62.2%となっています。

「働いていない」では、「その他の家事（掃除、洗濯、買い物 等）」が 86.3%で最も高く、次いで「食事の準備（調理等）」が 80.0%、「外出の付き添い、送迎等」が 76.3%となっています。

【図表4－2－2－7 主な介護者が行っている介護 就労状況別】

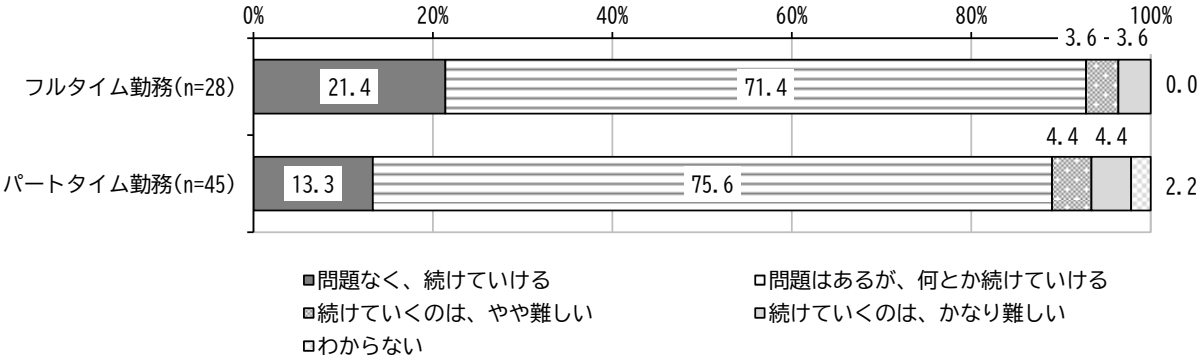


iii 就労状況別でみる就労継続見込み

介護者の就労継続の可否に係る意識を介護者の勤務形態別にみると、「フルタイム勤務」では、「問題はあるが、何とか続けていける」が 71.4%で最も高く、次いで「問題なく、続けていける」が 21.4%、「続けていくのは、やや難しい」「続けていくのは、かなり難しい」が 3.6%となっています。

「パートタイム勤務」では、「問題はあるが、何とか続けていける」が 75.6%で最も高く、次いで「問題なく、続けていける」が 13.3%、「続けていくのは、やや難しい」「続けていくのは、かなり難しい」が 4.4%となっています。

【図表4－2－2－8 就労継続見込み 就労状況別】

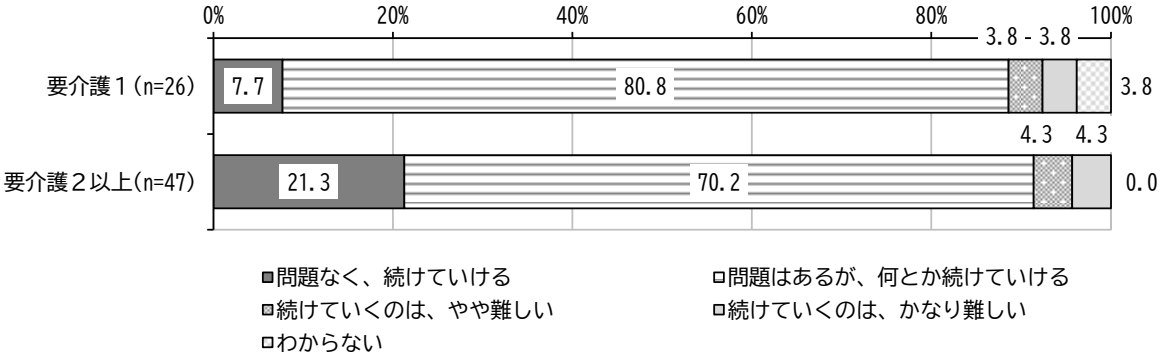


iv 要介護度別でみる就労継続見込み(フルタイム勤務＋パートタイム勤務)

介護者の就労継続の可否に係る意識を二次判定結果別にみると、「要介護1」では、「問題はあるが、何とか続けていける」が 80.8%で最も高く、次いで「問題なく、続けていける」が 7.7%となっています。

「要介護2以上」では、「問題はあるが、何とか続けていける」が 70.2%で最も高く、次いで「問題なく、続けていける」が 21.3%、「続けていくのは、やや難しい」「続けていくのは、かなり難しい」が 4.3%となっています。

【図表4－2－2－9 就労継続見込み(フルタイム勤務＋パートタイム勤務) 要介護度別】

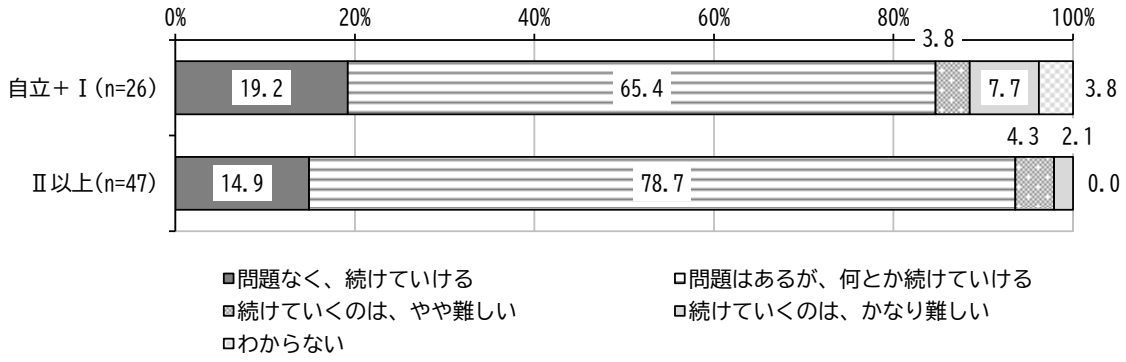


v　認知症自立度別でみる就労継続見込み（フルタイム勤務＋パートタイム勤務）

介護者の就労継続の可否に係る意識を認知症高齢者自立度別にみると、「認知症自立度自立＋1」では、「問題はあるが、何とか続けていける」が 65.4%で最も高く、次いで「問題なく、続けていける」が 19.2%、「続けていくのは、かなり難しい」が 7.7%となっています。

「認知症自立度Ⅱ以上」では、「問題はあるが、何とか続けていける」が 78.7%で最も高く、次いで「問題なく、続けていける」が 14.9%、「続けていくのは、やや難しい」が 4.3%となっています。

【図表4－2－2－10 就労継続見込み（フルタイム勤務＋パートタイム勤務） 認知症自立度別】



（3）「介護保険サービスの利用状況」・「主な介護者が不安に感じる介護」と「就労継続見込み」の関係

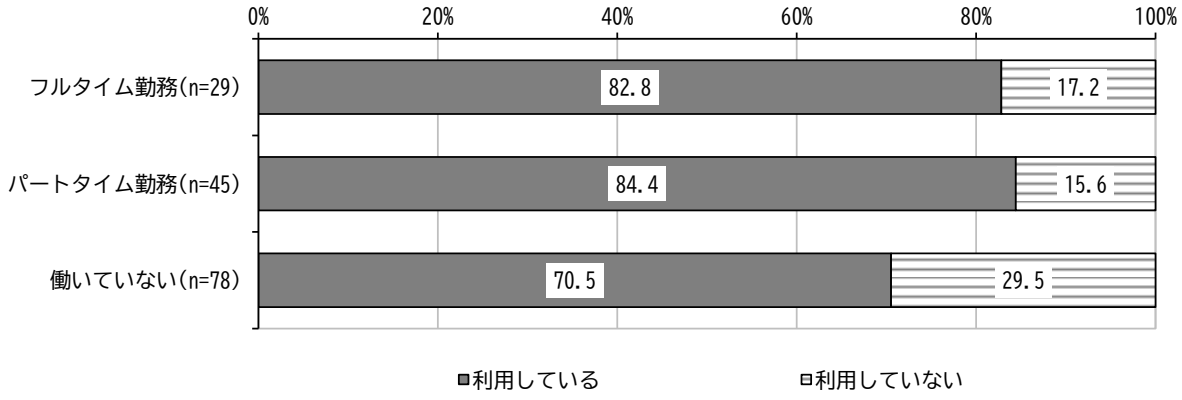
ⅰ　就労状況別でみる介護保険サービス利用の有無

介護保険サービスの利用の有無を介護者の勤務形態別にみると、「フルタイム勤務」では、「利用している」が82.8%、「利用していない」が17.2%となっています。

「パートタイム勤務」では、「利用している」が84.4%、「利用していない」が15.6%となっています。

「働いていない」では、「利用している」が70.5%、「利用していない」が29.5%となっています。

【図表4－2－2－11　介護保険サービス利用の有無　就労状況別】

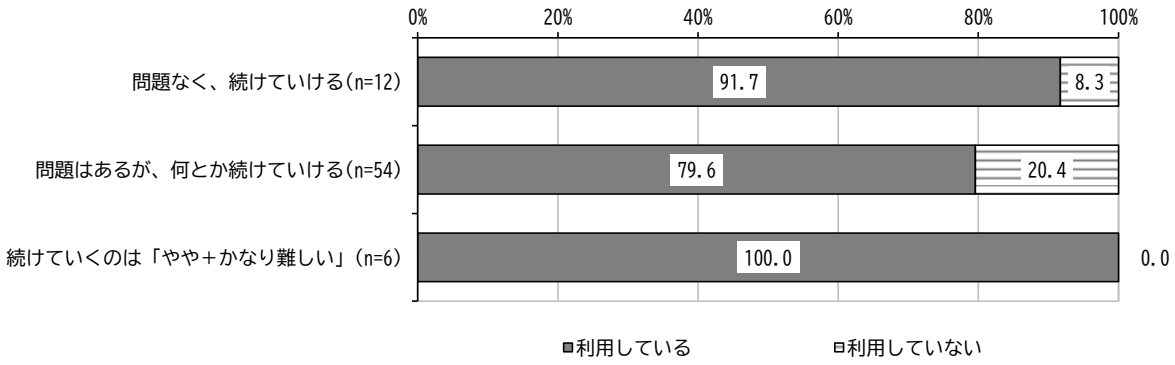


ⅱ　就労継続見込み別でみる介護保険サービス利用の有無（フルタイム勤務＋パートタイム勤務）

介護保険サービスの利用の有無を介護者の就労継続の可否に係る意識別にみると、「問題なく、続けていける」では、「利用している」が91.7%、「利用していない」が8.3%となっています。

「問題はあるが、何とか続けていける」では、「利用している」が79.6%で、「利用していない」が20.4%となっています。

【図表4－2－2－12　介護保険サービス利用の有無（フルタイム勤務＋パートタイム勤務）就労継続見込み別】

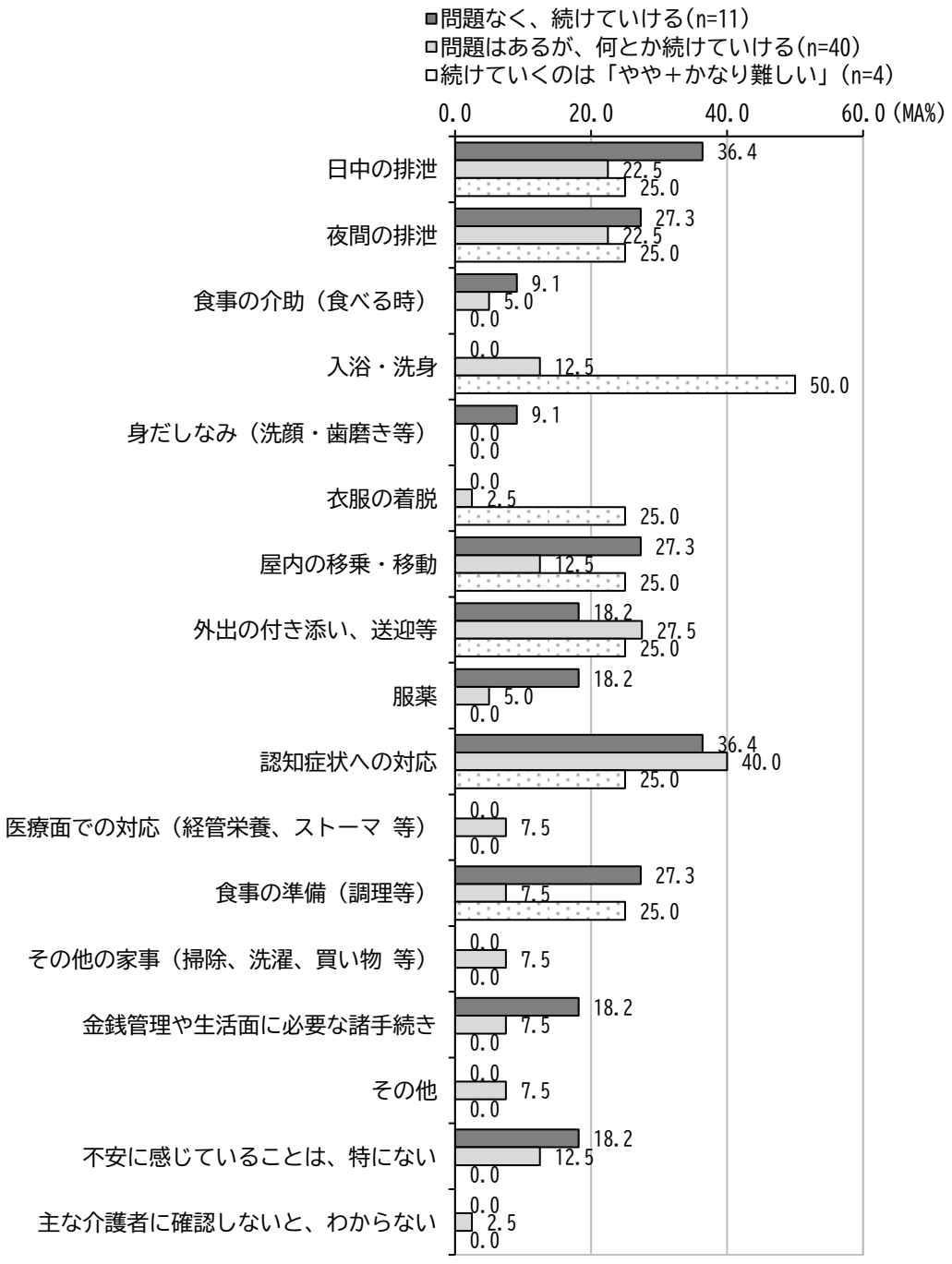


iii　就労継続見込み別でみる介護者が不安に感じる介護（フルタイム勤務＋パートタイム勤務）

介護者が不安に感じる介護を介護者の就労継続の可否に係る意識別にみると、「問題なく、続けていける」では、「日中の排泄」「認知症状への対応」が 36.4％で最も高く、次いで「夜間の排泄」「屋内の移乗・移動」「食事の準備（調理等）」が 27.3％となっています。

「問題はあるが、何とか続けていける」では、「認知症状への対応」が 40.0％で最も高く、次いで「外出の付き添い、送迎等」が 27.5％、「日中の排泄」「夜間の排泄」が 22.5％となっています。

【図表4－2－2－13　介護者が不安に感じる介護（フルタイム勤務＋パートタイム勤務）就労継続見込み別】



（4）「サービス利用の組み合わせ」と「就労継続見込み」の関係

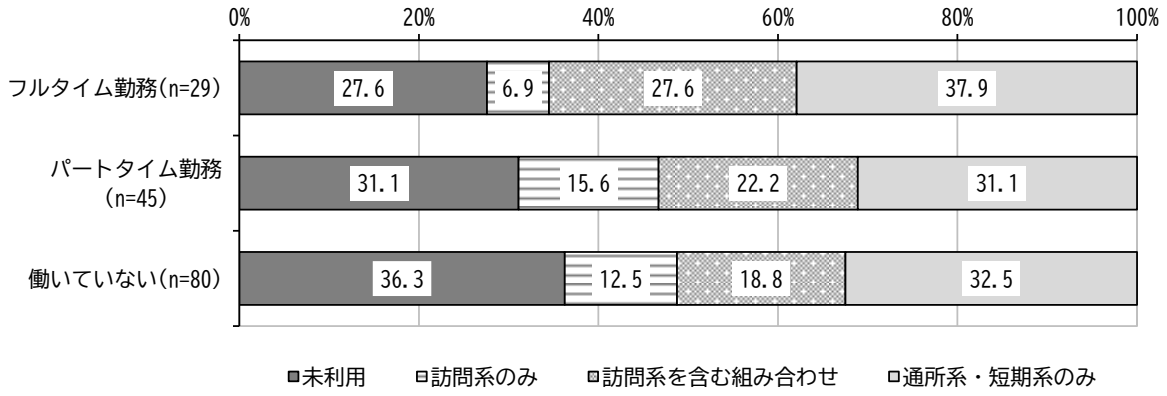
ⅰ 就労状況別でみるサービス利用の組み合わせ

サービス利用の組み合わせを介護者の勤務形態別にみると、「フルタイム勤務」では、「通所系・短期系のみ」が 37.9%で最も高く、次いで「未利用」「訪問系を含む組み合わせ」が 27.6%となっています。

「パートタイム勤務」では、「未利用」「通所系・短期系のみ」が 31.1%で最も高く、次いで「訪問系を含む組み合わせ」が 22.2%となっています。

「働いていない」では、「未利用」が 36.3%で最も高く、次いで「通所系・短期系のみ」が 32.5%、「訪問系を含む組み合わせ」が 18.8%となっています。

【図表4－2－2－14 サービス利用の組み合わせ 就労状況別】

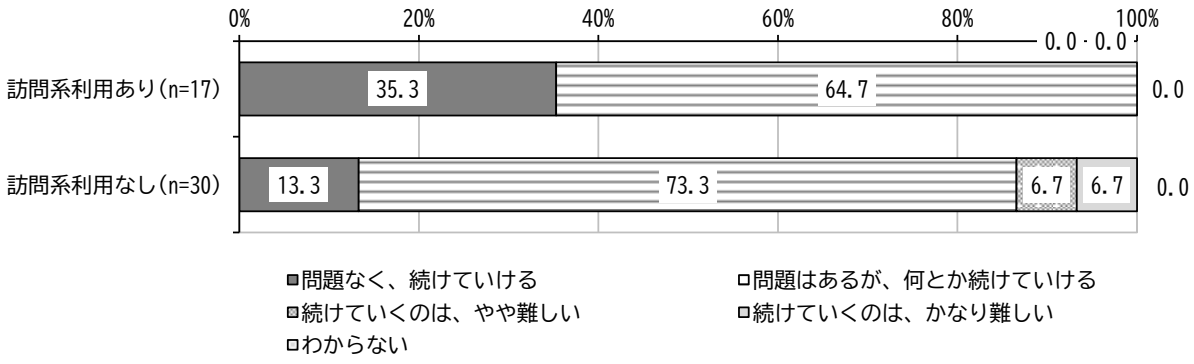


ⅱ サービス利用の組み合わせ別でみる就労継続見込み（要介護2以上、フルタイム勤務＋パートタイム勤務）

介護者の就労継続の可否に係る意識を訪問系の利用の有無別にみると、「訪問系利用あり」では、「問題はあるが、何とか続けていける」が 64.7%で最も高く、次いで「問題なく、続けていける」が 35.3%となっています。

「訪問系利用なし」では、「問題はあるが、何とか続けていける」が 73.3%で最も高く、次いで「問題なく、続けていける」が 13.3%となっています。

【図表4－2－2－15 就労継続見込み 訪問系の利用の有無別（要介護2以上、フルタイム勤務＋パートタイム勤務）】

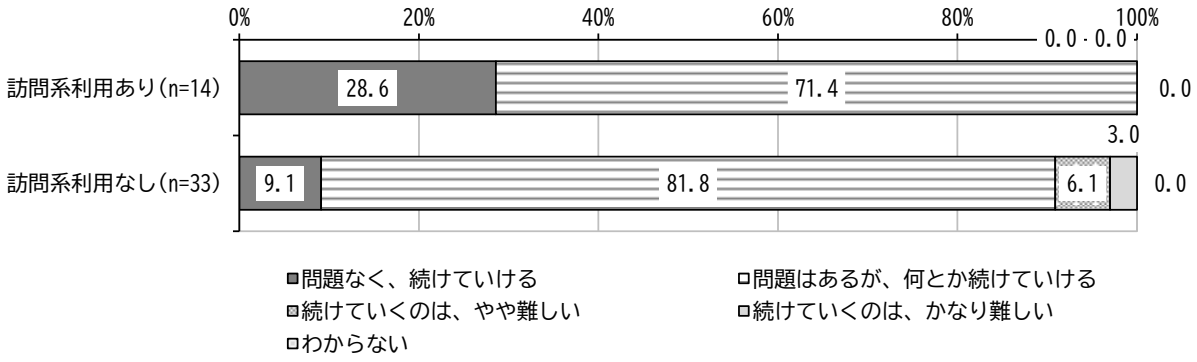


iii　サービス利用の組み合わせ別でみる就労継続見込み（認知症自立度Ⅱ以上、フルタイム勤務＋パートタイム勤務）

介護者の就労継続の可否に係る意識を訪問系の利用の有無別にみると、「訪問系利用あり」では、「問題はあるが、何とか続けていける」が 71.4％で最も高く、次いで「問題なく、続けていける」が 28.6％となっています。

「訪問系利用なし」では、「問題はあるが、何とか続けていける」が 81.8％で最も高く、次いで「問題なく、続けていける」が 9.1％、「続けていくのは、やや難しい」が 6.1％となっています。

【図表4－2－2－16　就労継続見込み　訪問系の利用の有無別（認知症自立度Ⅱ以上、フルタイム勤務＋パートタイム勤務）】

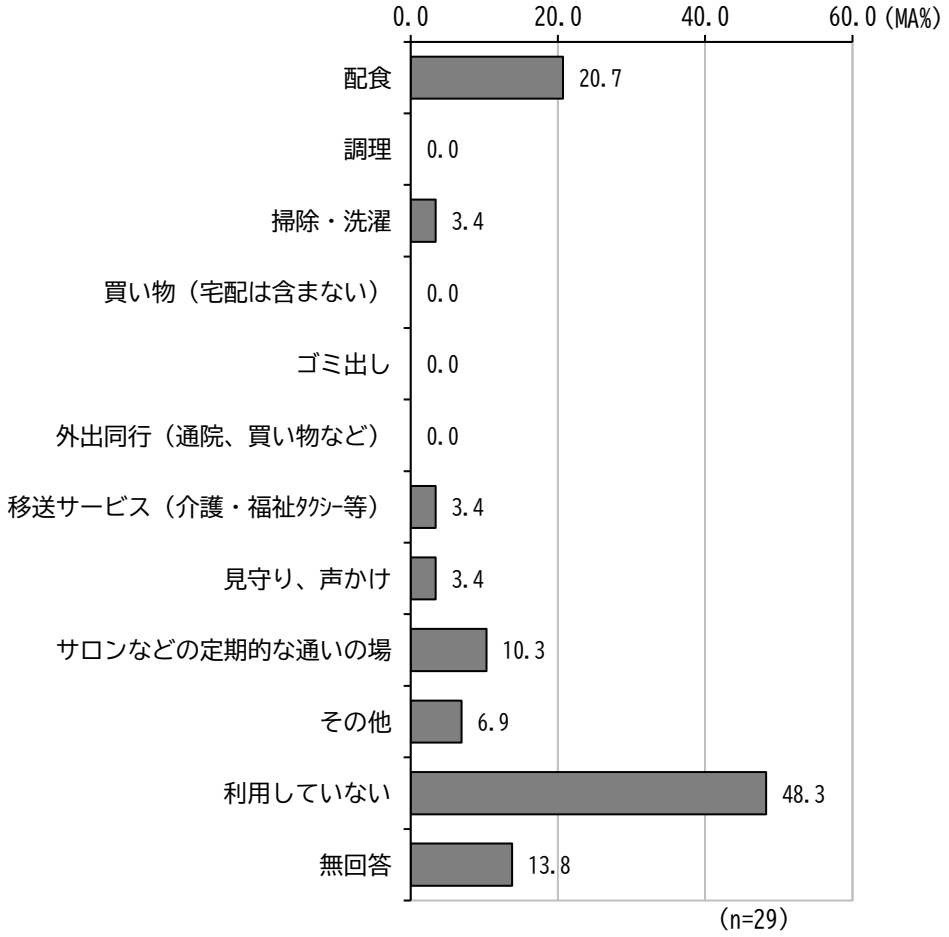


（5） 就労状況別の、保険外の支援・サービスの利用状況と、施設等検討の状況

ｉ 利用している保険外の支援・サービス（フルタイム勤務）

利用している保険外の支援・サービスについて、「利用していない」が 48.3%で最も高く、次いで「配食」が20.7%、「サロンなどの定期的な通いの場」が 10.3%となっています。

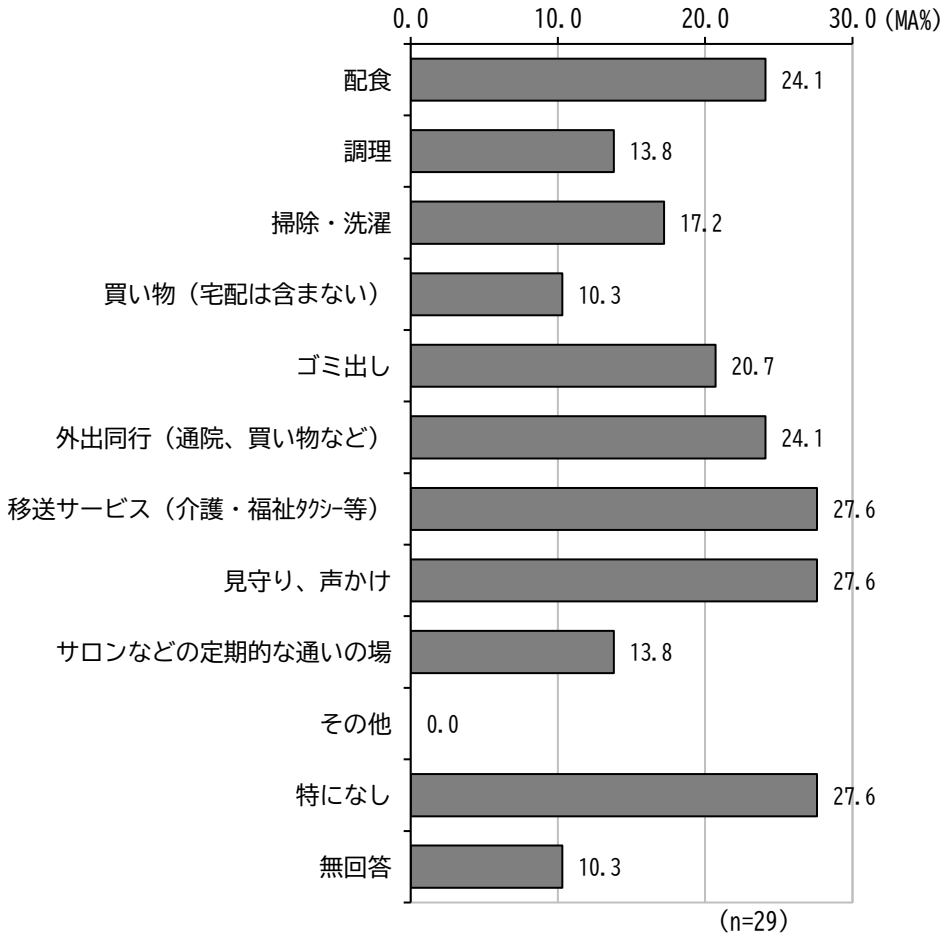
【図表4－2－2－17 利用している保険外の支援・サービス（フルタイム勤務）】



ii　在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス（フルタイム勤務）

在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービスについて、「移送サービス（介護・福祉ﾀｸｼｰ等）」「見守り、声かけ」「特になし」が 27.6％で最も高く、次いで「配食」「外出同行（通院、買い物など）」が 24.1％となっています。

【図表4－2－2－18 在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス（フルタイム勤務）】



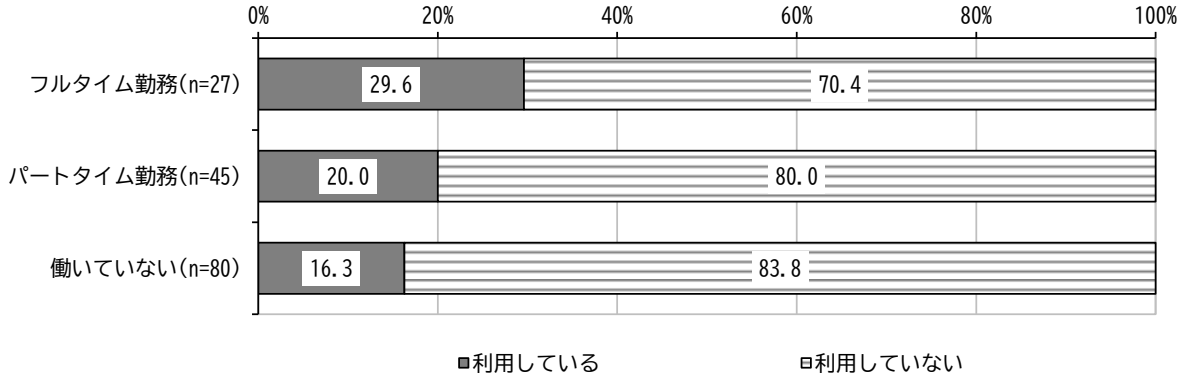
iii 就労状況別でみる訪問診療の利用の有無

訪問診療の利用の有無を介護者の勤務形態別にみると、「フルタイム勤務」では、「利用している」が 29.6%、「利用していない」が 70.4%となっています。

「パートタイム勤務」では、「利用している」が 20.0%、「利用していない」が 80.0%となっています。

「働いていない」では、「利用している」が 16.3%、「利用していない」が 83.8%となっています。

【図表4－2－2－19 訪問診療の利用の有無 就労状況別】



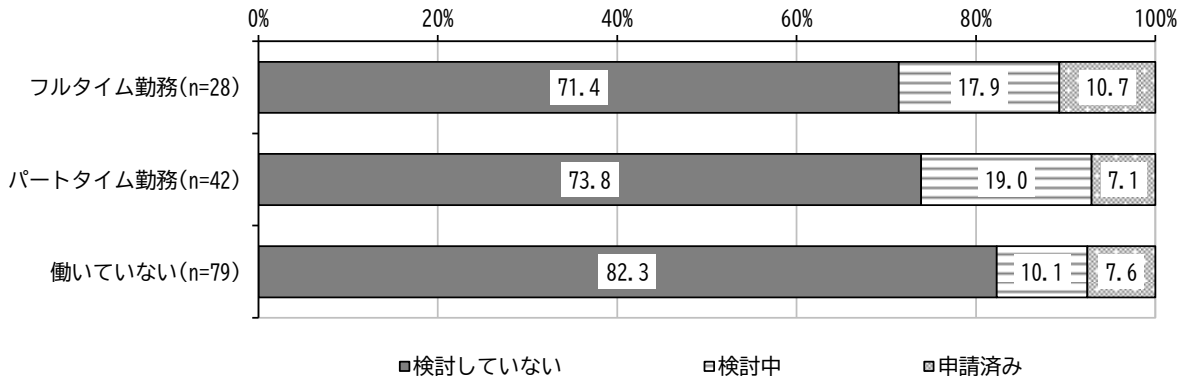
iv 就労状況別・施設等検討の状況

施設等の検討状況を介護者の勤務形態別にみると、「フルタイム勤務」では、「検討していない」が 71.4%で最も高く、次いで「検討中」が 17.9%、「申請済み」が 10.7%となっています。

「パートタイム勤務」では、「検討していない」が 73.8%で最も高く、次いで「検討中」が 19.0%、「申請済み」が 7.1%となっています。

「働いていない」では、「検討していない」が 82.3%で最も高く、次いで「検討中」が 10.1%、「申請済み」が 7.6%となっています。

【図表4－2－2－20 施設等検討の状況 就労状況別】



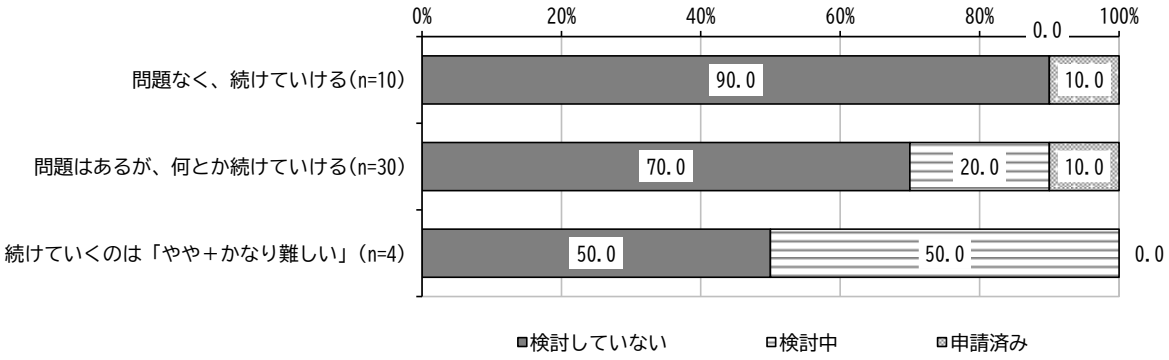
v　就労継続見込み別でみる施設等検討の状況（要介護2以上、フルタイム勤務＋パートタイム勤務）

施設等の検討状況を介護者の就労継続の可否に係る意識別にみると、「問題なく、続けていける」では、「検討していない」が 90.0%で最も高く、次いで「申請済み」が 10.0%となっています。

「問題はあるが、何とか続けていける」では、「検討していない」が 70.0%で最も高く、次いで「検討中」が 20.0%、「申請済み」が 10.0%となっています。

「続けていくのは「やや＋かなり難しい」」では、「検討していない」「検討中」が 50.0%となっています。

【図表4－2－2－21　施設等検討の状況（要介護2以上、フルタイム勤務＋パートタイム勤務）就労継続見込み別】



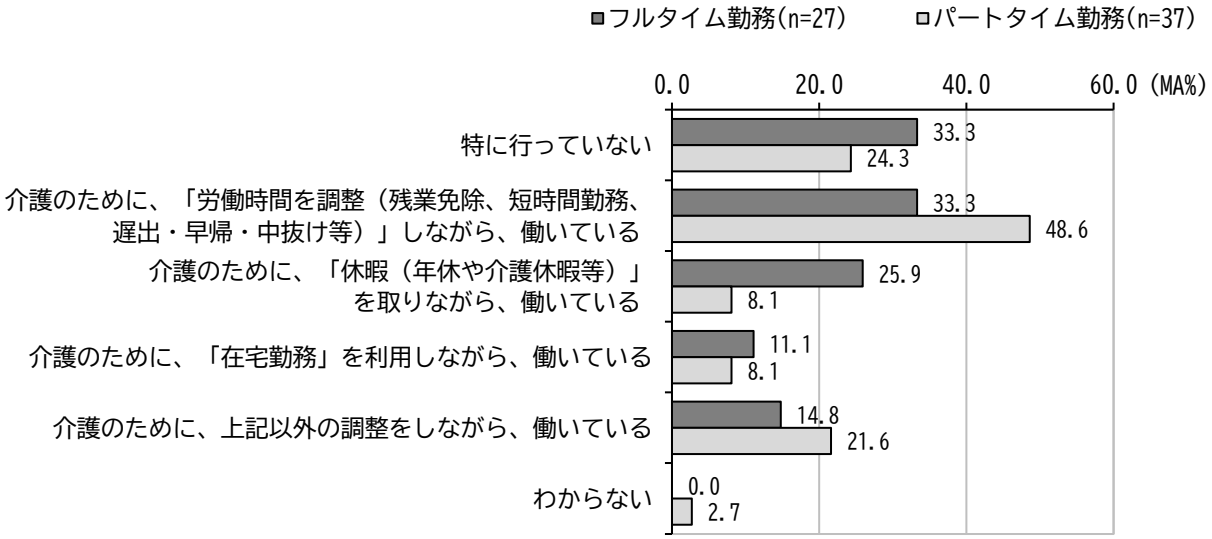
（6） 就労状況別の、介護のための働き方の調整と効果的な勤め先からの支援

ⅰ 就労状況別でみる介護のための働き方の調整

介護者の働き方の調整の状況を介護者の勤務形態別にみると、「フルタイム勤務」では、「特に行っていない」「介護のために、「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）」しながら、働いている」が33.3％で最も高く、次いで「介護のために、「休暇（年休や介護休暇等）」を取りながら、働いている」が25.9％、「介護のために、上記以外の調整をしながら、働いている」となっています。

「パートタイム勤務」では、「介護のために、「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）」しながら、働いている」が 48.6％で最も高く、次いで「特に行っていない」が 24.3％、「介護のために、上記以外の調整をしながら、働いている」が 21.6％となっています。

【図表4－2－2－22 介護のための働き方の調整 就労状況別】

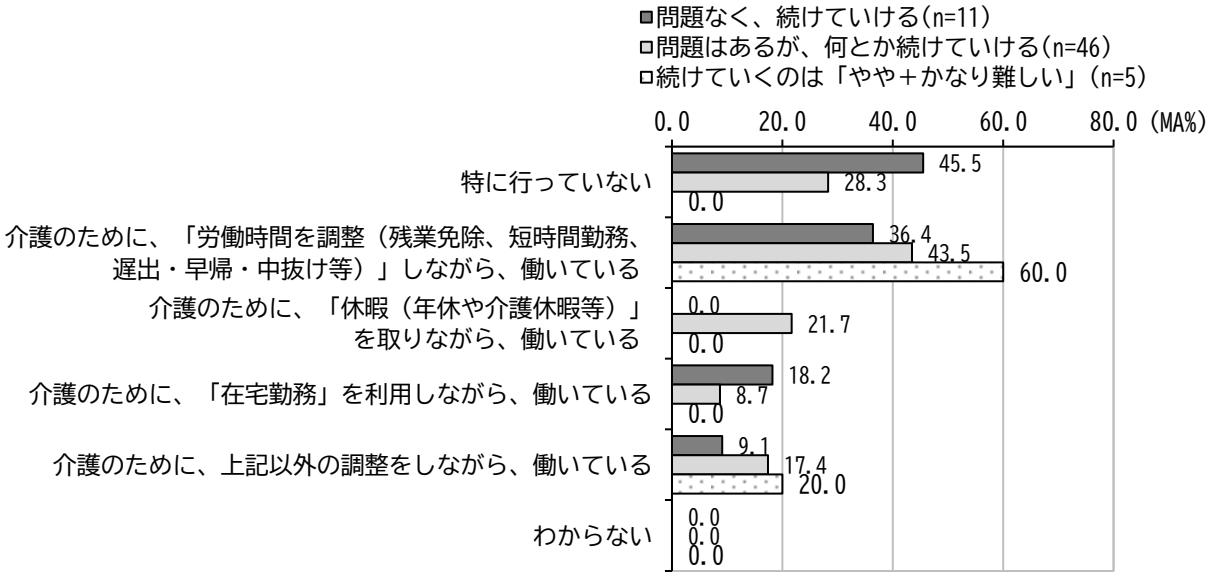


ii　就労継続見込み別でみる介護のための働き方の調整（フルタイム勤務＋パートタイム勤務）

介護者の働き方の調整の状況を介護者の就労継続の可否に係る意識別にみると、「問題なく、続けていける」では、「特に行っていない」が 45.5%で最も高く、次いで「介護のために、「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）」しながら、働いている」が 36.4%、「介護のために、「在宅勤務」を利用しながら、働いている」が 18.2%となっています。

「問題はあるが、何とか続けていける」では、「介護のために、「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）」しながら、働いている」が 43.5%で最も高く、次いで「特に行っていない」が 28.3%、「介護のために、「休暇（年休や介護休暇等）」を取りながら、働いている」が 21.7%となっています。

【図表4－2－2－23 介護のための働き方の調整（フルタイム勤務＋パートタイム勤務） 就労継続見込み別】

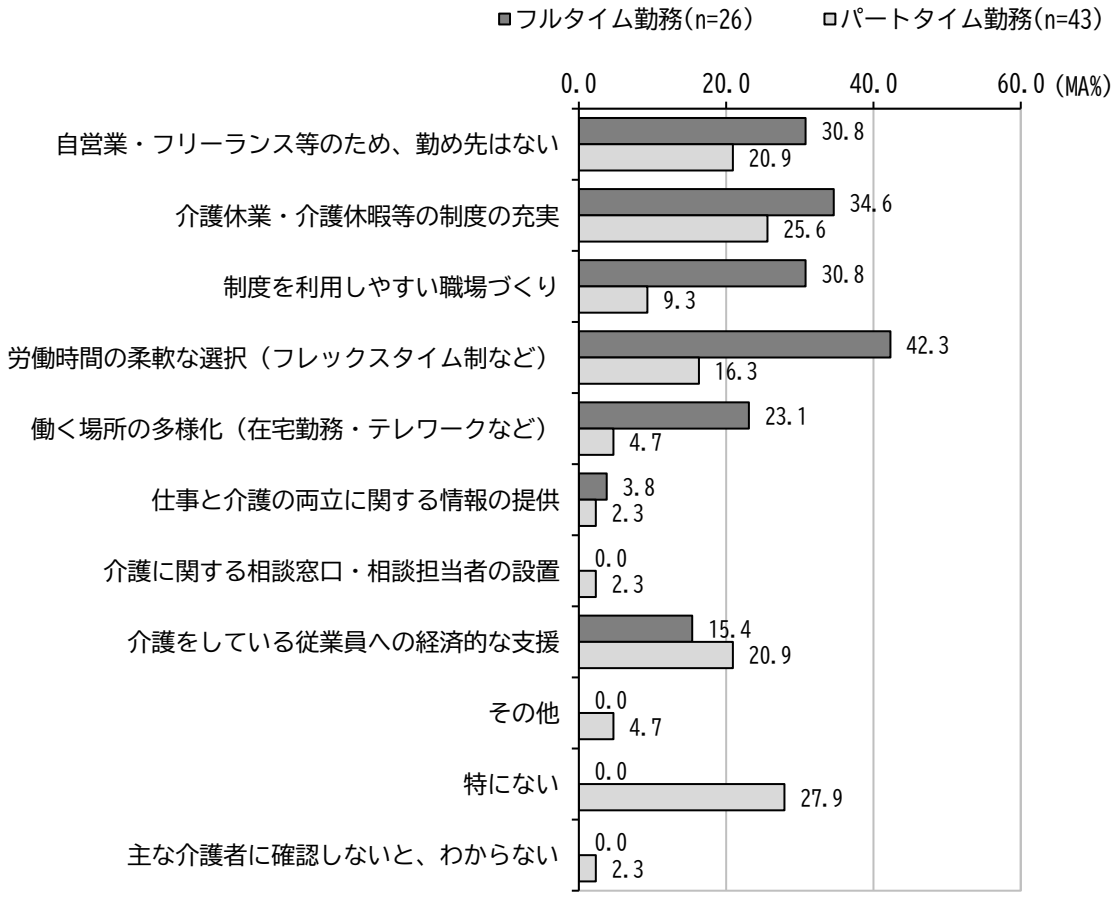


iii 就労状況別でみる効果的な勤め先からの支援

効果的な勤め先からの支援を介護者の勤務形態別にみると、「フルタイム勤務」では、「労働時間の柔軟な選択(フレックスタイム制など)」が 42.3%で最も高く、次いで「介護休業・介護休暇等の制度の充実」が 34.6%、「自営業・フリーランス等のため、勤め先はない」が 30.8%となっています。

「パートタイム勤務」では、「特にない」が 27.9%で最も高く、次いで「介護休業・介護休暇等の制度の充実」が 25.6%、「自営業・フリーランス等のため、勤め先はない」「介護をしている従業員への経済的な支援」が 20.9%となっています。

【図表4－2－2－24 効果的な勤め先からの支援 就労状況別】

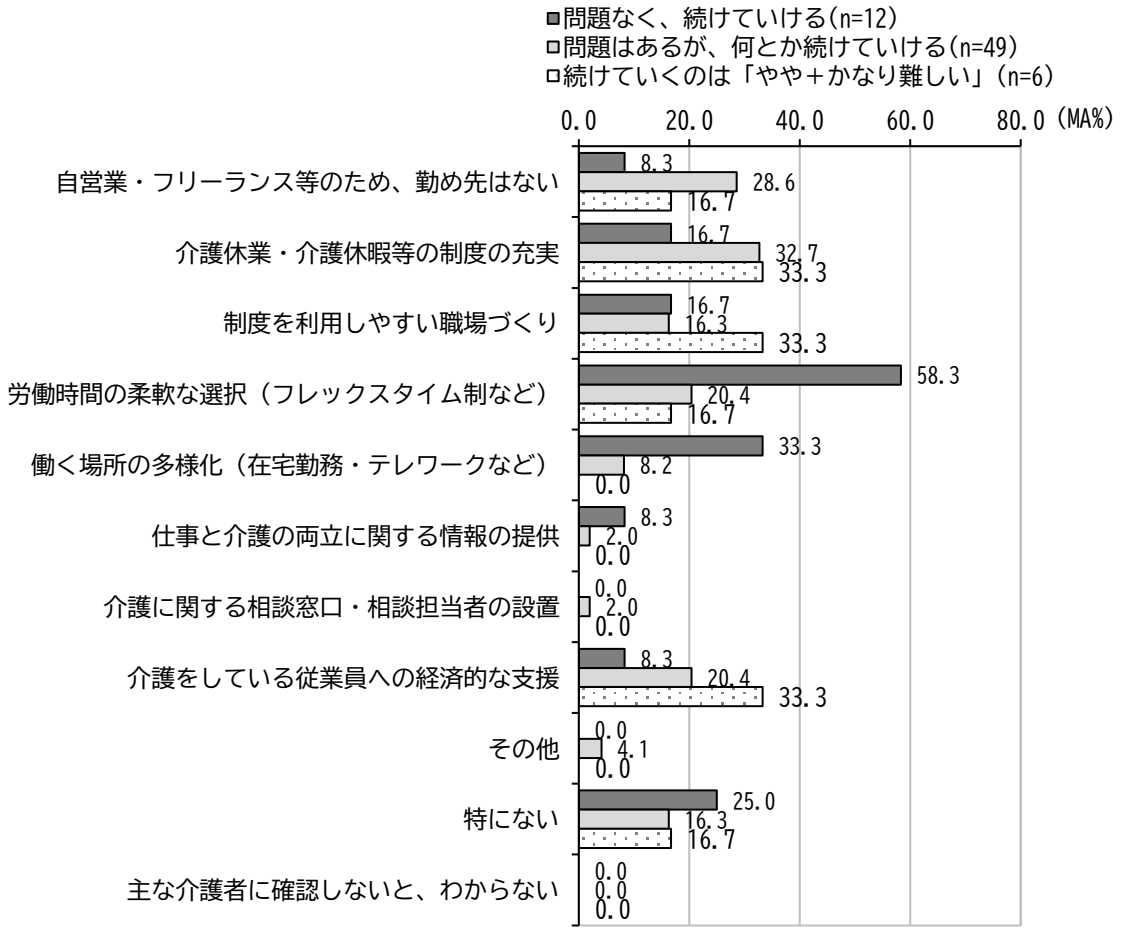


iv 就労継続見込み別でみる効果的な勤め先からの支援(フルタイム勤務＋パートタイム勤務)

効果的な勤め先からの支援を介護者の就労継続の可否に係る意識別にみると、「問題なく、続けていける」では、「労働時間の柔軟な選択(フレックスタイム制など)」が 58.3%で最も高く、次いで「働く場所の多様化(在宅勤務・テレワークなど)」が 33.3%、「特にない」が 25.0%となっています。

「問題はあるが、何とか続けていける」では、「介護休業・介護休暇等の制度の充実」が 32.7%で最も高く、次いで「自営業・フリーランス等のため、勤め先はない」が 28.6%、「労働時間の柔軟な選択(フレックスタイム制など)」「介護をしている従業員への経済的な支援」が 20.4%となっています。

【図表4－2－2－25 効果的な勤め先からの支援(フルタイム勤務＋パートタイム勤務) 就労継続見込み別】



3. 保険外の支援・サービスを中心とした地域資源の整備の検討

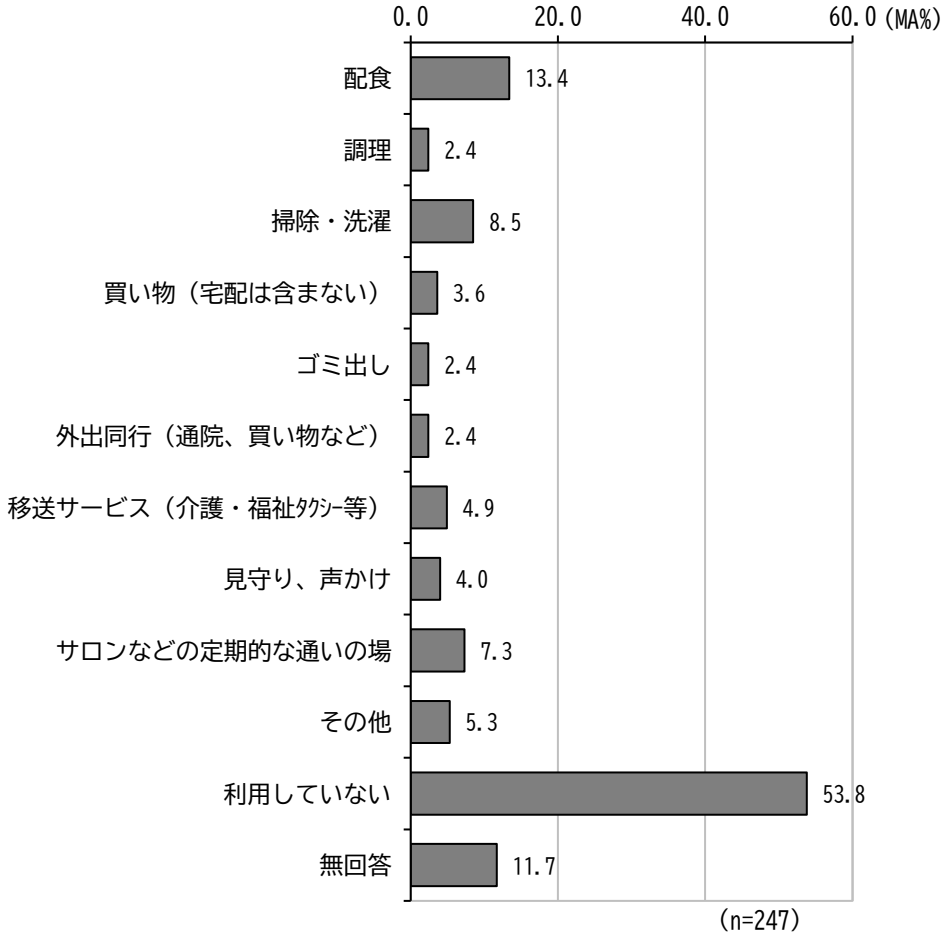
ここでは、在宅限界点の向上に向けて必要となる支援・サービスを検討するために、特に「保険外の支援・サービス」に焦点を当てた集計を行っています。

(1) 基礎集計

ⅰ 保険外の支援・サービスの利用状況

保険外の支援・サービスの利用状況について、「利用していない」が 53.8%で最も高く、次いで「配食」が 13.4%、「掃除・洗濯」が 8.5%となっています。

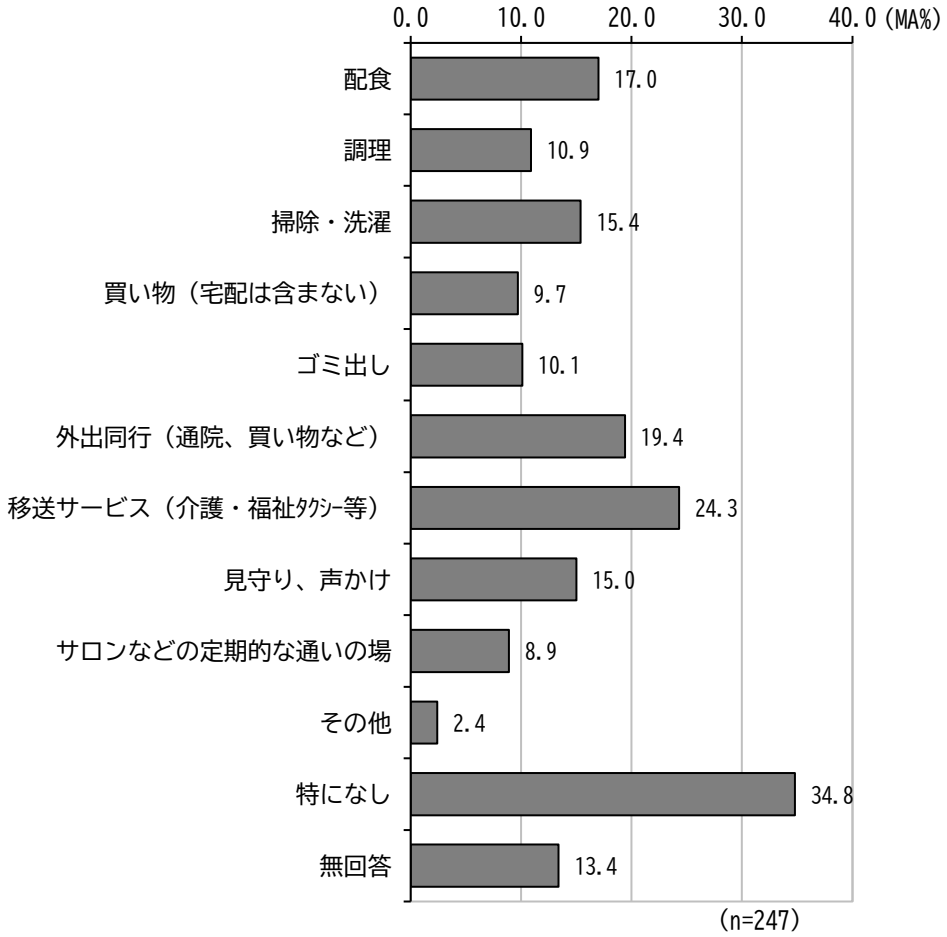
【図表4－2－3－1 保険外の支援・サービスの利用状況】



ii　在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス

在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービスについて、「特になし」が 34.8%で最も高く、次いで「移送サービス（介護・福祉ﾀｸｼｰ等）」が 24.3%、「外出同行（通院、買い物など）」が 19.4%となっています。

【図表4－2－3－2 在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス】



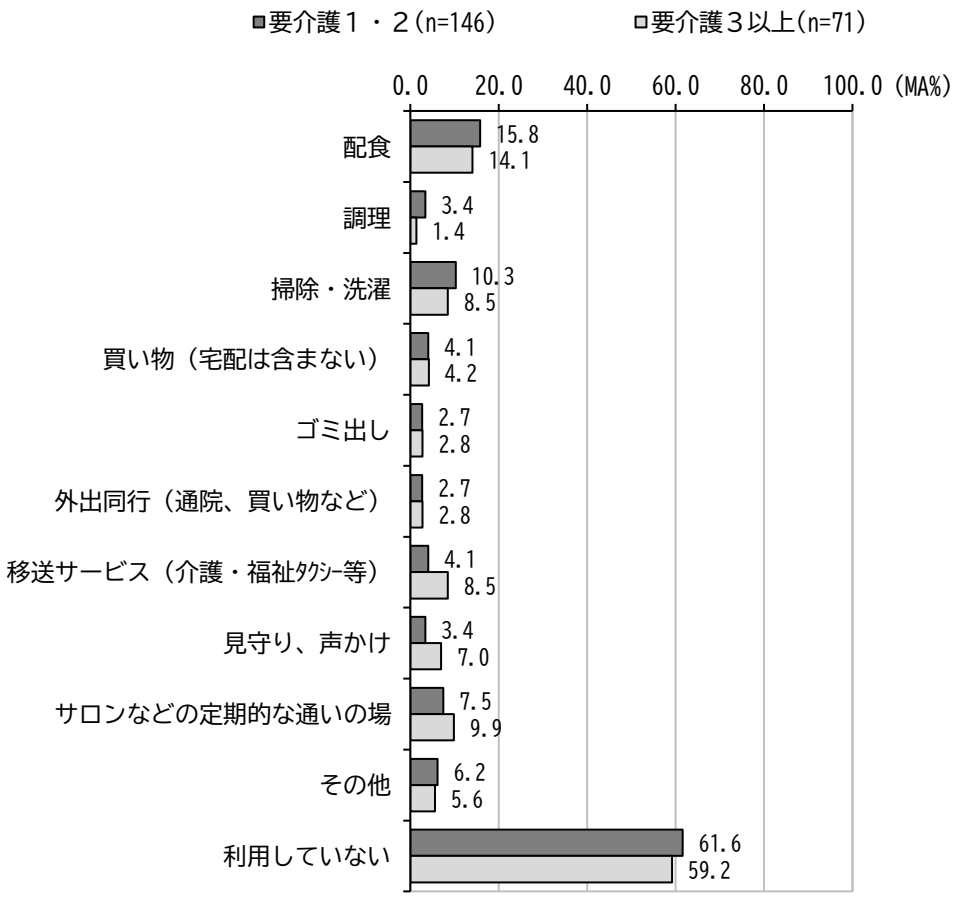
（2）「世帯類型」×「要介護度」×「保険外の支援・サービスの利用状況」

ⅰ　要介護度別でみる保険外の支援・サービスの利用状況

保険外の支援・サービスの利用状況を二次判定結果別にみると、「要介護1・2」では、「利用していない」が61.6％で最も高く、次いで「配食」が15.8％、「掃除・洗濯」が10.3％となっています。

「要介護3以上」では、「利用していない」が 59.2％で最も高く、次いで「配食」が 14.1％、「サロンなどの定期的な通いの場」が9.9％となっています。

【図表4－2－3－3 保険外の支援・サービスの利用状況 要介護度別】

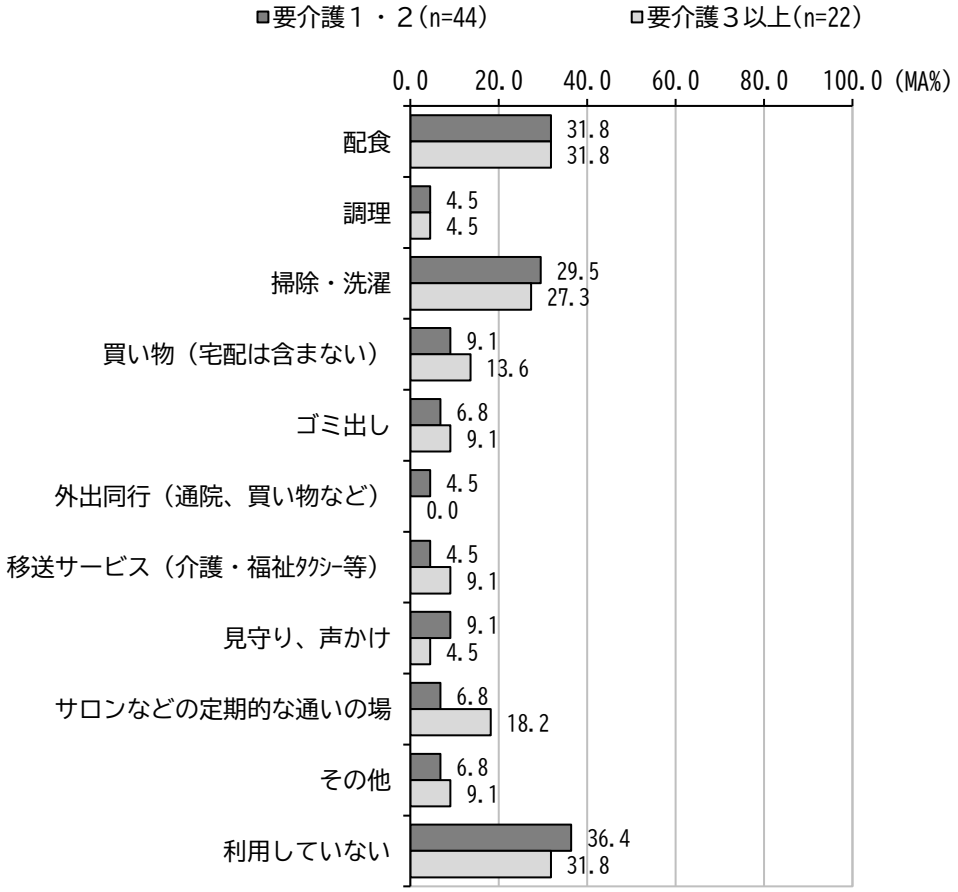


ii　要介護度別でみる保険外の支援･サービスの利用状況(単身世帯)

保険外の支援･サービスの利用状況を二次判定結果別にみると、「要介護1･2」では、「利用していない」が36.4%で最も高く、次いで「配食」が 31.8%、「掃除･洗濯」が 29.5%となっています。

「要介護3以上」では、「配食」「利用していない」が 31.8%で最も高く、次いで「掃除･洗濯」が 27.3%となっています。

【図表4－2－3－4　保険外の支援･サービスの利用状況(単身世帯)　要介護度別】

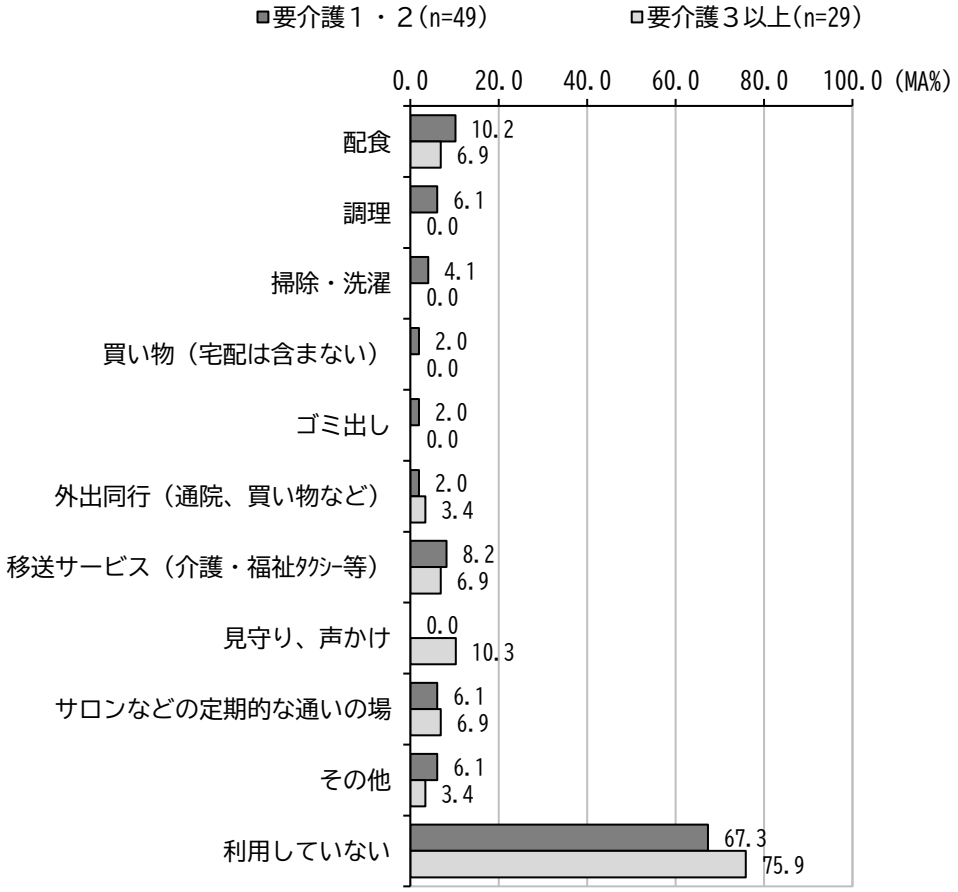


iii　要介護度別でみる保険外の支援･サービスの利用状況(夫婦のみ世帯)

保険外の支援･サービスの利用状況を二次判定結果別にみると、「要介護1･2」では、「利用していない」が67.3%で最も高く、次いで「配食」が 10.2%、「移送サービス(介護･福祉ﾀｸｼｰ等)」が 8.2%となっています。

「要介護3以上」では、「利用していない」が 75.9%で最も高く、次いで「見守り、声かけ」が 10.3%となっています。

【図表4－2－3－5　保険外の支援･サービスの利用状況(夫婦のみ世帯)　要介護度別】

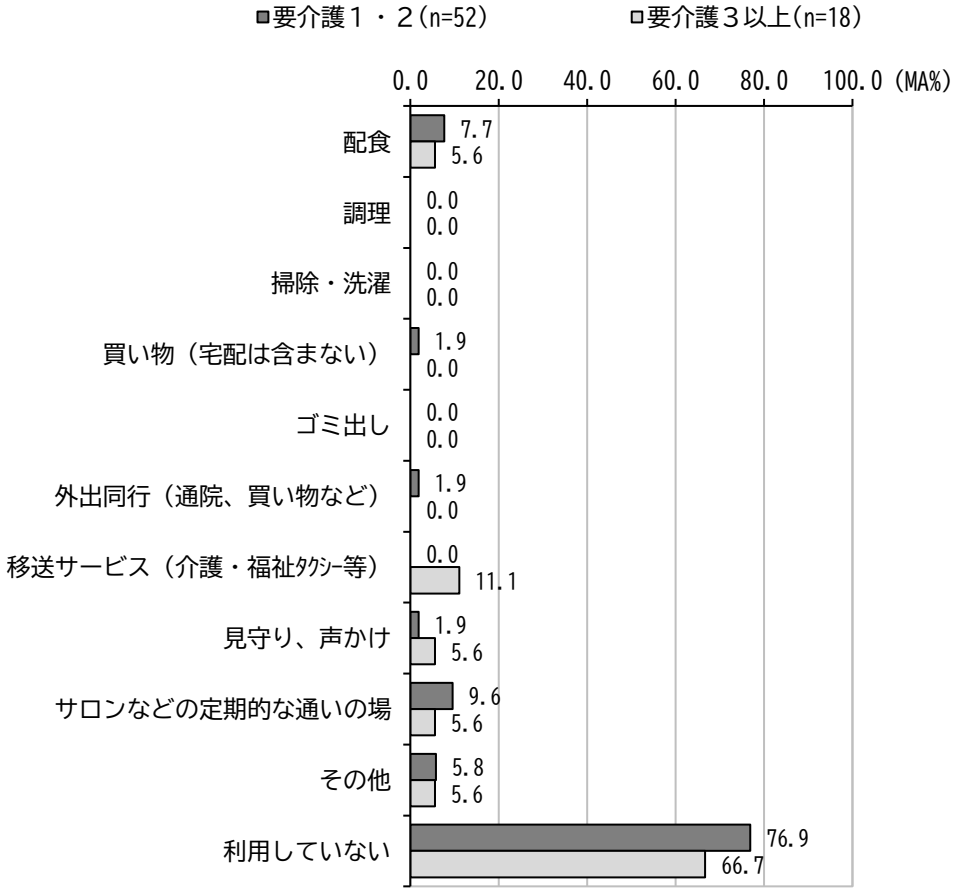


ⅳ 要介護度別でみる保険外の支援･サービスの利用状況(その他世帯)

保険外の支援･サービスの利用状況を二次判定結果別にみると、「要介護1･2」では、「利用していない」が76.9%で最も高く、次いで「サロンなどの定期的な通いの場」が 9.6%、「配食」が 7.7%となっています。

「要介護3以上」では、「利用していない」が 66.7%で最も高く、次いで「移送サービス(介護･福祉ﾀｸｼｰ等)」が 11.1%となっています。

【図表4－2－3－6 保険外の支援･サービスの利用状況(その他世帯) 要介護度別】



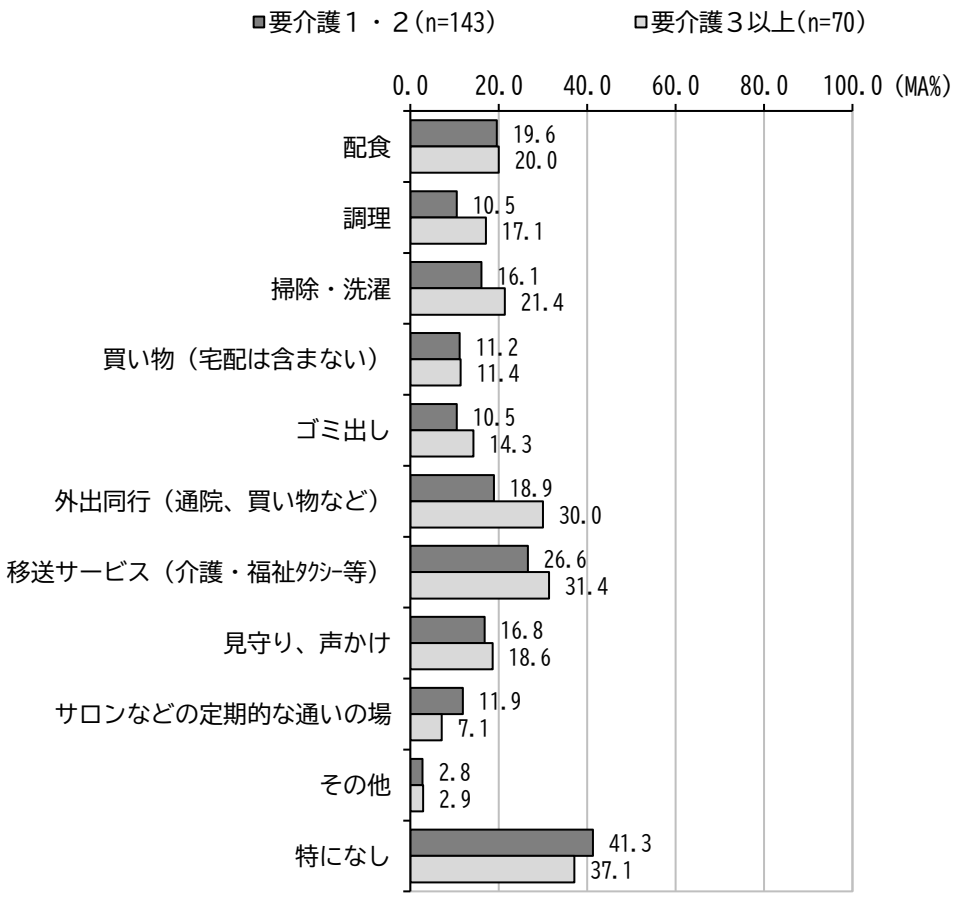
（3）「世帯類型」×「要介護度」×「必要と感じる支援・サービス」

ⅰ　要介護度別でみる在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス

保険外の支援・サービスの必要性を二次判定結果別にみると、「要介護1・2」では、「特になし」が 41.3%で最も高く、次いで「移送サービス（介護・福祉ﾀｸｼｰ等）」が 26.6%、「配食」が 19.6%となっています。

「要介護3以上」では、「特になし」が 37.1%で最も高く、次いで「移送サービス（介護・福祉ﾀｸｼｰ等）」が 31.4%、「外出同行（通院、買い物など）」が 30.0%となっています。

【図表4－2－3－7 在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス 要介護度別】

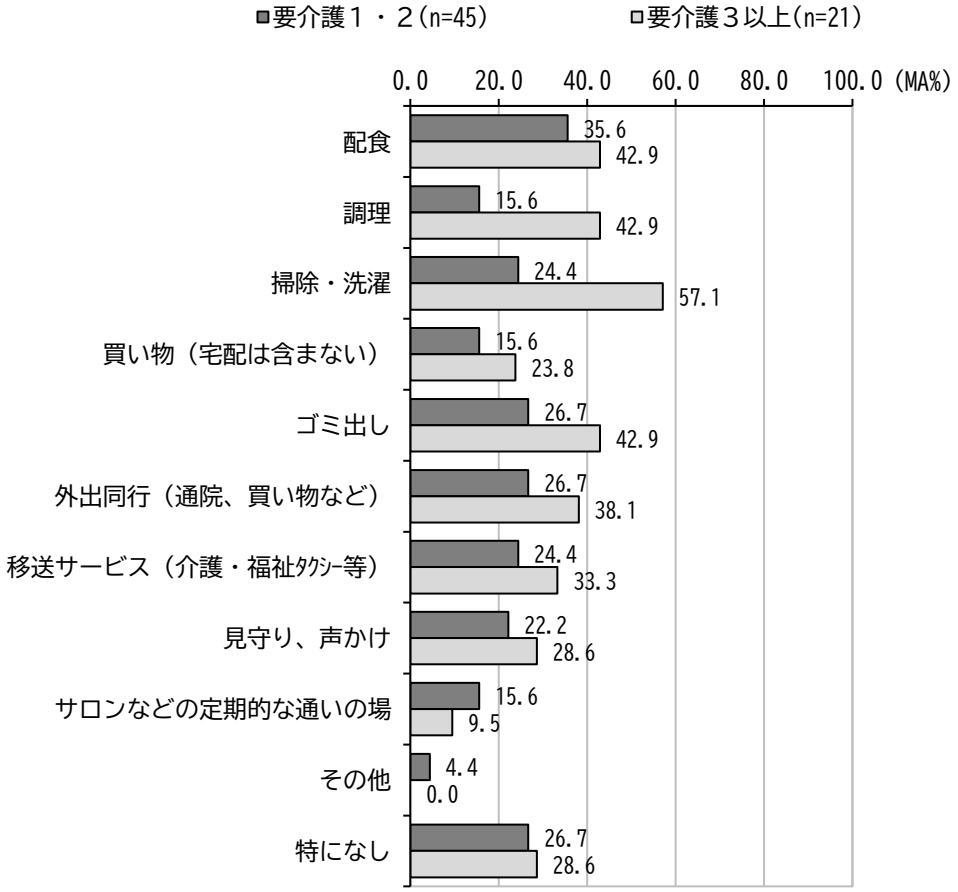


ii　要介護度別でみる在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス（単身世帯）

保険外の支援・サービスの必要性を二次判定結果別にみると、「要介護1・2」では、「配食」が 35.6%で最も高く、次いで「ゴミ出し」「外出同行（通院、買い物など）」「特になし」が 26.7%となっています。

「要介護3以上」では、「掃除・洗濯」が 57.1%で最も高く、次いで「配食」「調理」「ゴミ出し」が 42.9%となっています。

【図表4－2－3－8　在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス（単身世帯）　要介護度別】

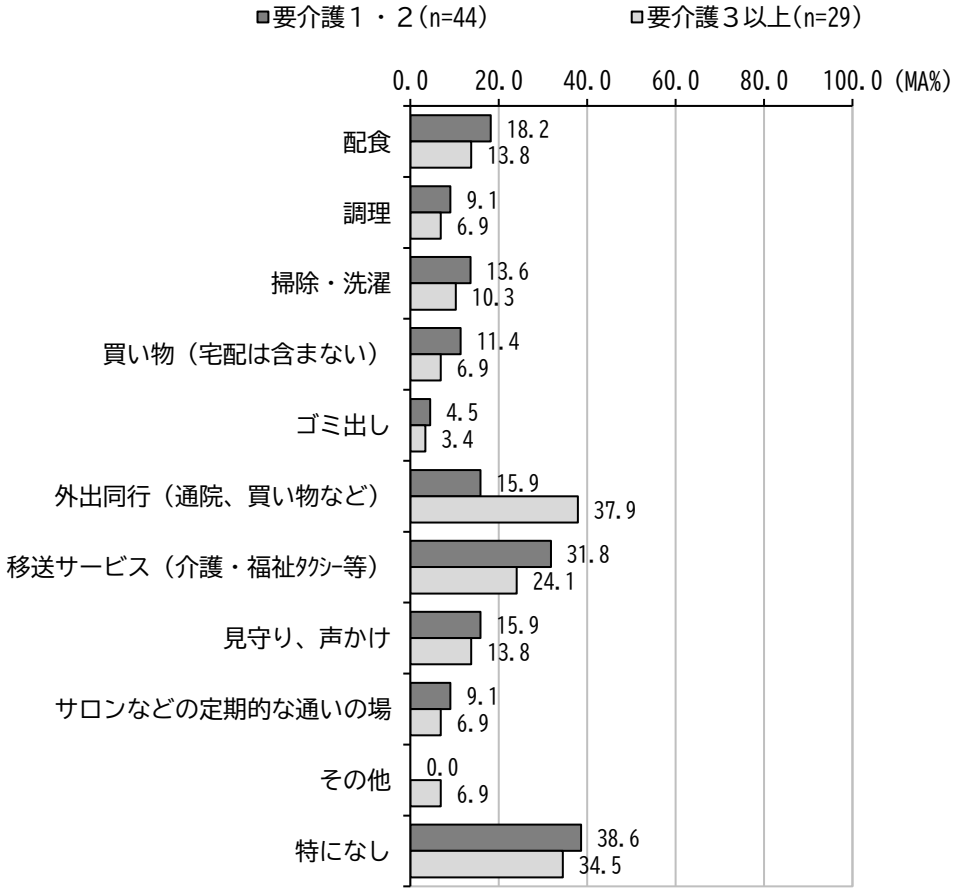


iii　要介護度別でみる在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス（夫婦のみ世帯）

保険外の支援・サービスの必要性を二次判定結果別にみると、「要介護1・2」では、「特になし」が 38.6%で最も高く、次いで「移送サービス（介護・福祉ﾀｸｼｰ等）」が 31.8%、「配食」が 18.2%となっています。

「要介護3以上」では、「外出同行（通院、買い物など）」が 37.9%で最も高く、次いで「特になし」が 34.5%、「移送サービス（介護・福祉ﾀｸｼｰ等）」が 24.1%となっています。

【図表4－2－3－9　在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス（夫婦のみ世帯）　要介護度別】

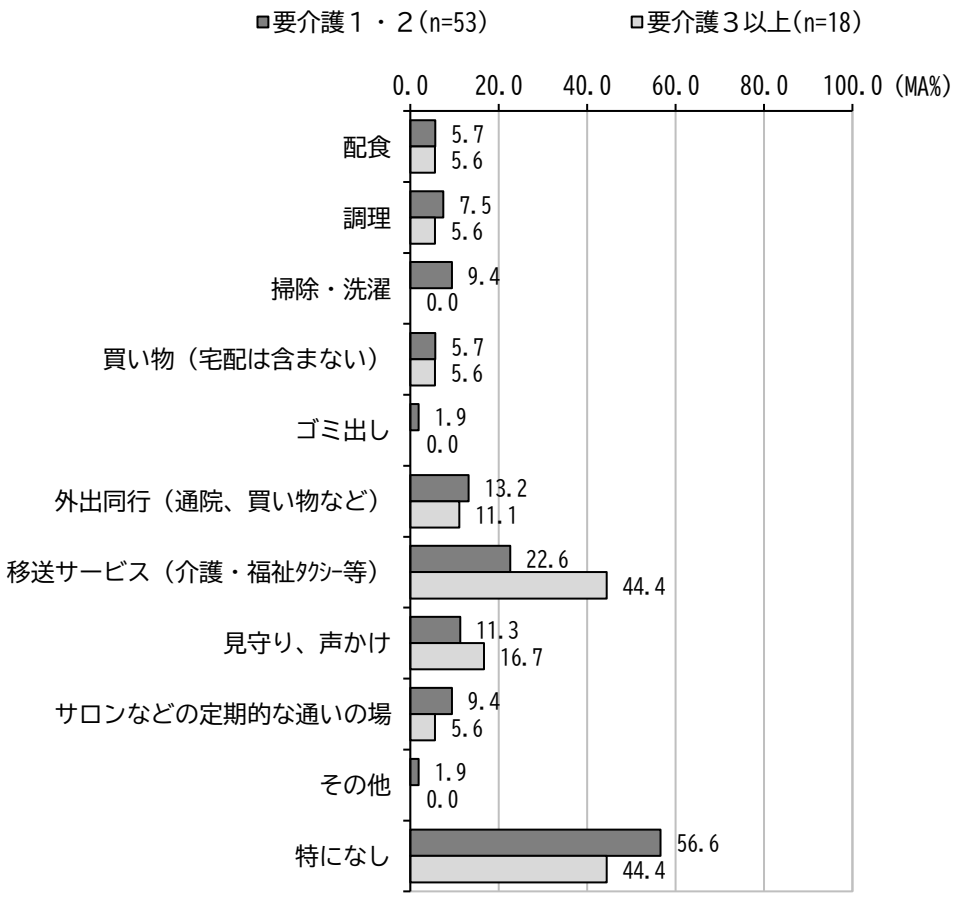


ⅳ　要介護度別でみる在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス（その他世帯）

保険外の支援・サービスの必要性を二次判定結果別にみると、「要介護1・2」では、「特になし」が 56.6%で最も高く、次いで「移送サービス（介護・福祉ﾀｸｼｰ等）」が 22.6%、「外出同行（通院、買い物など）」が 13.2%となっています。

「要介護3以上」では、「移送サービス（介護・福祉ﾀｸｼｰ等）」「特になし」が 44.4%で最も高く、次いで「見守り、声かけ」が16.7%となっています。

【図表4－2－3－10　在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス（その他世帯）　要介護度別】



4. 将来の世帯類型の変化に応じた支援・サービスの提供体制の検討

ここでは、在宅限界点の向上のための、将来の世帯類型の変化に応じた支援・サービスの提供体制の検討につなげるため、特に世帯類型別の「サービス利用の特徴」や「施設等検討の状況」に焦点を当てた集計を行っています。

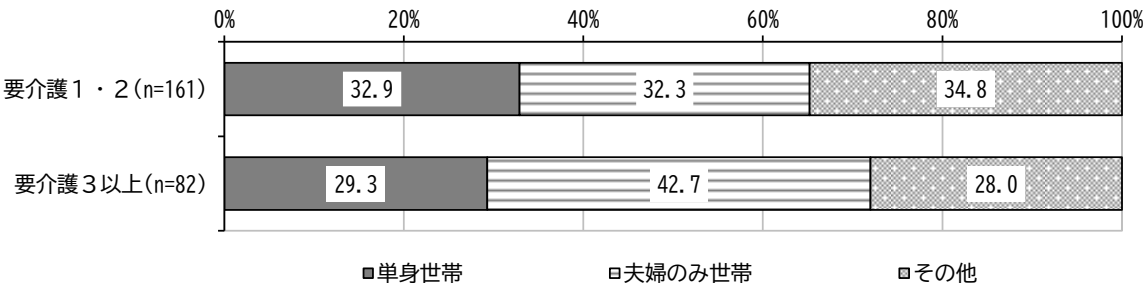
(1) 基礎集計

ⅰ 要介護度別でみる世帯類型

世帯類型を二次判定結果別にみると、「要介護1・2」では、「その他」が 34.8%で最も高く、次いで「単身世帯」が 32.9%、「夫婦のみ世帯」が 32.3%となっています。

「要介護3以上」では、「夫婦のみ世帯」が 42.7%で最も高く、次いで「単身世帯」が 29.3%、「その他」が 28.0%となっています。

【図表4－2－4－1 世帯類型 要介護度別】



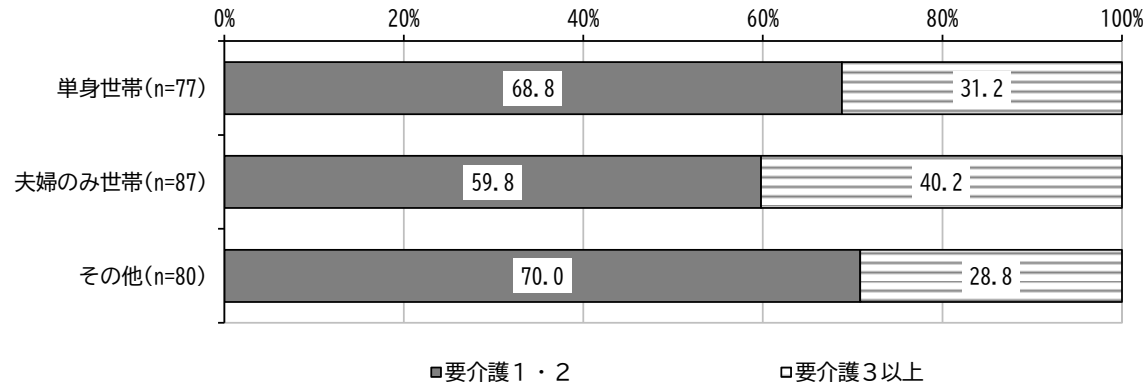
ⅱ 世帯類型別でみる要介護度

二次判定結果を世帯類型別にみると、「単身世帯」では、「要介護1・2」が 68.8%、「要介護3以上」が 31.2%となっています。

「夫婦のみ世帯」では、「要介護1・2」が 59.8%、「要介護3以上」が 40.2%となっています。

「その他」では、「要介護1・2」が 70.0%、「要介護3以上」が 28.8%となっています。

【図表4－2－4－2 要介護度 世帯類型別】



（2）「要介護度別・世帯類型別」の「家族等による介護の頻度」

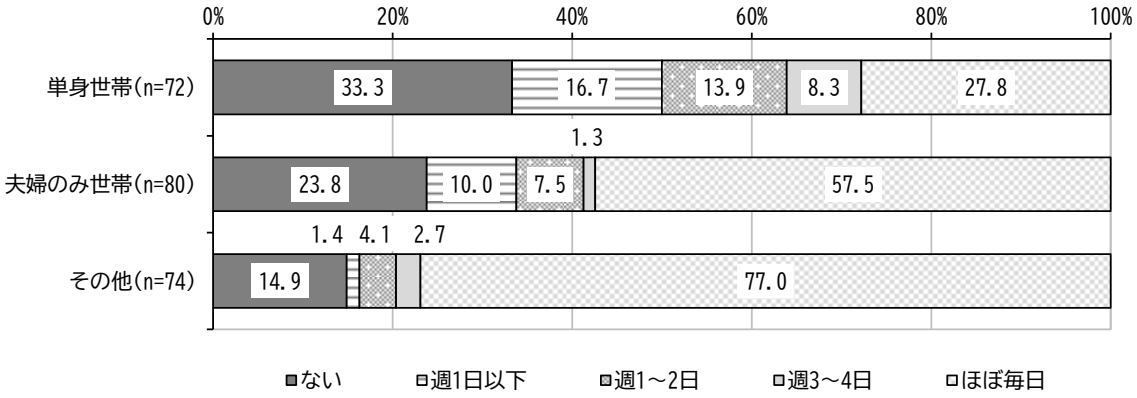
ⅰ　世帯類型別でみる家族等による介護の頻度

家族等の介護の頻度を世帯類型別にみると、「単身世帯」では、「ない」が 33.3%で最も高く、次いで「ほぼ毎日」が 27.8%、「週 1 日以下」が 16.7%となっています。

「夫婦のみ世帯」では、「ほぼ毎日」が 57.5%で最も高く、次いで「ない」が 23.8%、「週 1 日以下」が 10.0%となっています。

「その他」では、「ほぼ毎日」が 77.0%で最も高く、次いで「ない」が 14.9%、「週 1～2 日」が 4.1%となっています。

【図表4－2－4－3 家族等による介護の頻度 世帯類型別】

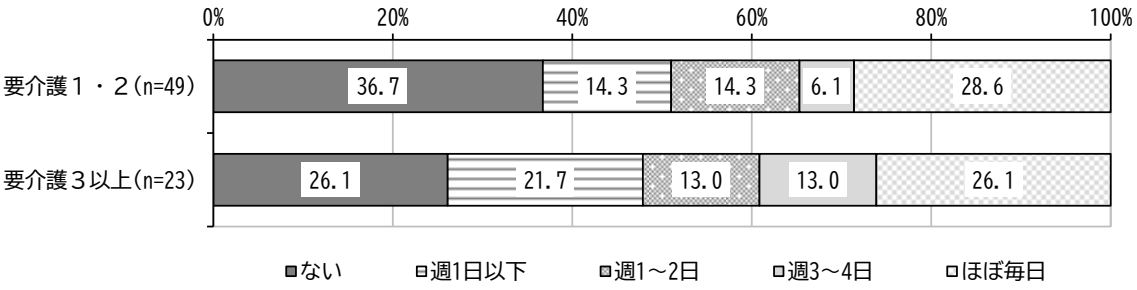


ⅱ　要介護度別でみる家族等による介護の頻度（単身世帯）

家族等の介護の頻度を二次判定結果別にみると「要介護1・2」では、「ない」が 36.7%で最も高く、次いで「ほぼ毎日」が 28.6%、「週 1 日以下」「週 1～2 日」が 14.3%となっています。

「要介護3以上」では、「ない」「ほぼ毎日」が 26.1%で最も高く、次いで「週 1 日以下」が 21.7%となっています。

【図表4－2－4－4 家族等による介護の頻度（単身世帯） 要介護度別】

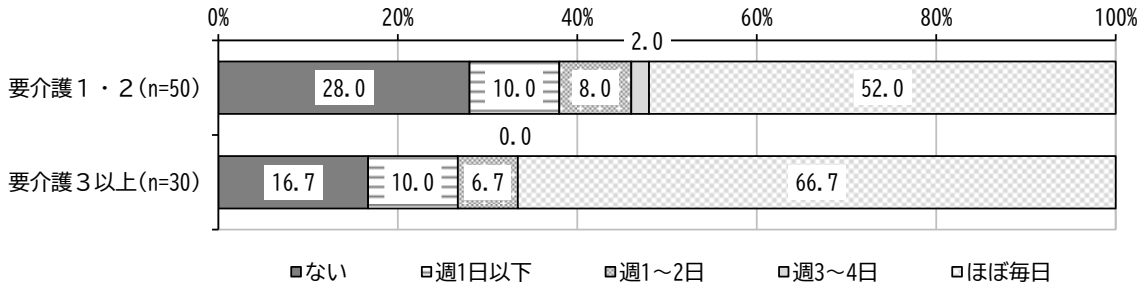


iii　要介護度別でみる家族等による介護の頻度（夫婦のみ世帯）

家族等の介護の頻度を二次判定結果別にみると、「要介護1・2」では、「ほぼ毎日」が 52.0％で最も高く、次いで「ない」が 28.0％、「週 1 日以下」が 10.0％となっています。

「要介護3以上」では、「ほぼ毎日」が 66.7％で最も高く、次いで「ない」が 16.7％、「週 1 日以下」が 10.0％となっています。

【図表4－2－4－5　家族等による介護の頻度（夫婦のみ世帯）　要介護度別】

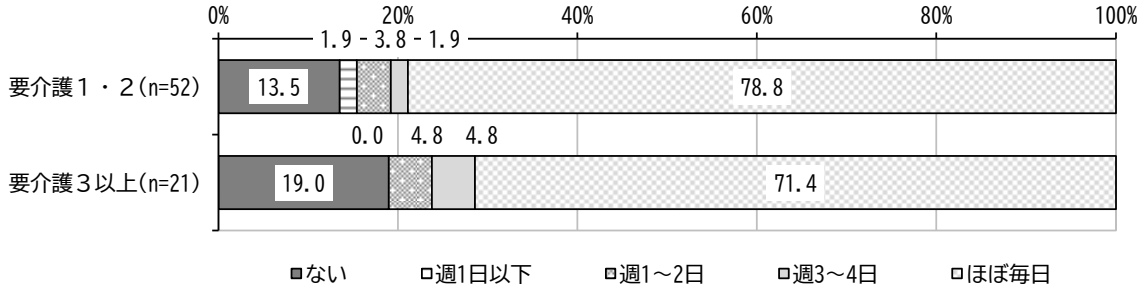


iv　要介護度別でみる家族等による介護の頻度（その他世帯）

家族等の介護の頻度を二次判定結果別にみると、「要介護1・2」では、「ほぼ毎日」が 78.8％で最も高く、次いで「ない」が 13.5％、「週 1～2 日」が 3.8％となっています。

「要介護3以上」では、「ほぼ毎日」が 71.4％で最も高く、次いで「ない」が 19.0％となっています。

【図表4－2－4－6　家族等による介護の頻度（その他世帯）　要介護度別】



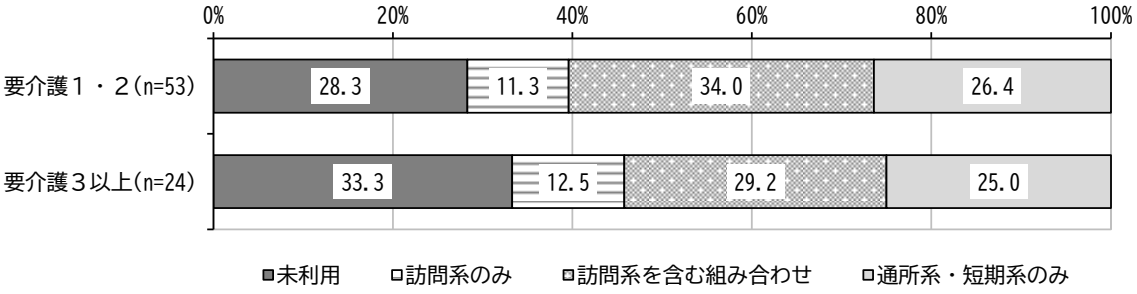
（3）「要介護度別・認知症自立度別」の「世帯類型別のサービス利用の組み合わせ」

ⅰ　要介護度別でみるサービス利用の組み合わせ（単身世帯）

サービス利用の組み合わせを二次判定結果別にみると、「要介護1・2」では、「訪問系を含む組み合わせ」が34.0%で最も高く、次いで「未利用」が28.3%、「通所系・短期系のみ」が26.4%となっています。

「要介護3以上」では、「未利用」が 33.3%で最も高く、次いで「訪問系を含む組み合わせ」が 29.2%、「通所系・短期系のみ」が25.0%となっています。

【図表4－2－4－7　サービス利用の組み合わせ（単身世帯）　要介護度別】

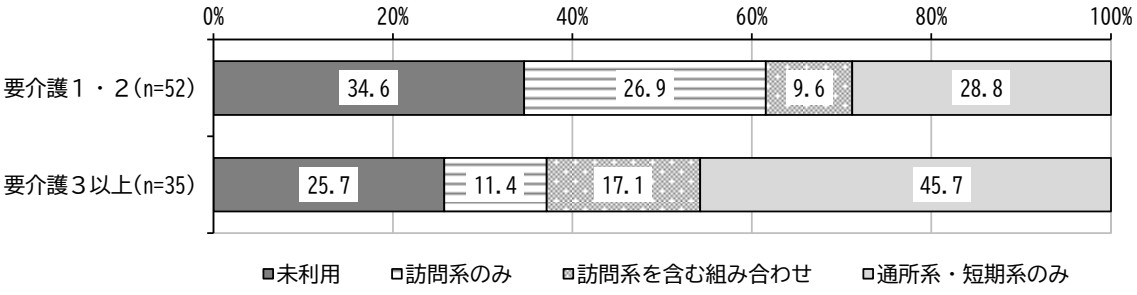


ⅱ　要介護度別でみるサービス利用の組み合わせ（夫婦のみ世帯）

サービス利用の組み合わせを二次判定結果別にみると、「要介護1・2」では、「未利用」が 34.6%で最も高く、次いで「通所系・短期系のみ」が28.8%、「訪問系のみ」が26.9%となっています。

「要介護3以上」では、「通所系・短期系のみ」が45.7%で最も高く、次いで「未利用」が25.7%、「訪問系を含む組み合わせ」が17.1%となっています。

【図表4－2－4－8　サービス利用の組み合わせ（夫婦のみ世帯）　要介護度別】

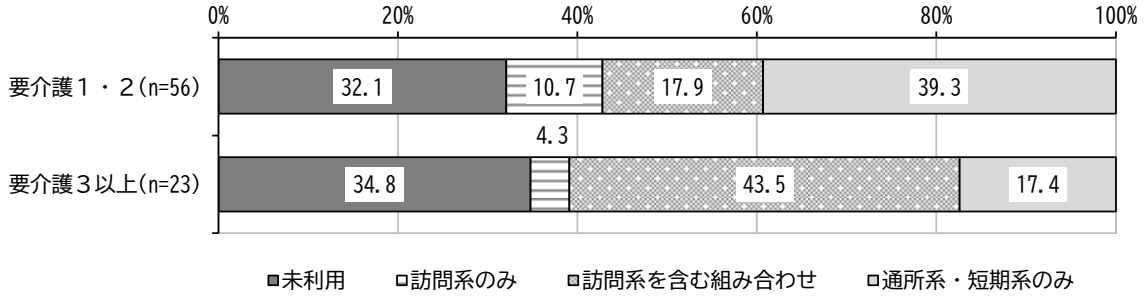


iii 要介護度別でみるサービス利用の組み合わせ(その他世帯)

サービス利用の組み合わせを二次判定結果別にみると、「要介護1・2」では、「通所系・短期系のみ」が39.3%で最も高く、次いで「未利用」が32.1%、「訪問系を含む組み合わせ」が17.9%となっています。

「要介護3以上」では、「訪問系を含む組み合わせ」が 43.5%で最も高く、次いで「未利用」が 34.8%、「通所系・短期系のみ」が17.4%となっています。

【図表4－2－4－9 サービス利用の組み合わせ(その他世帯) 要介護度別】



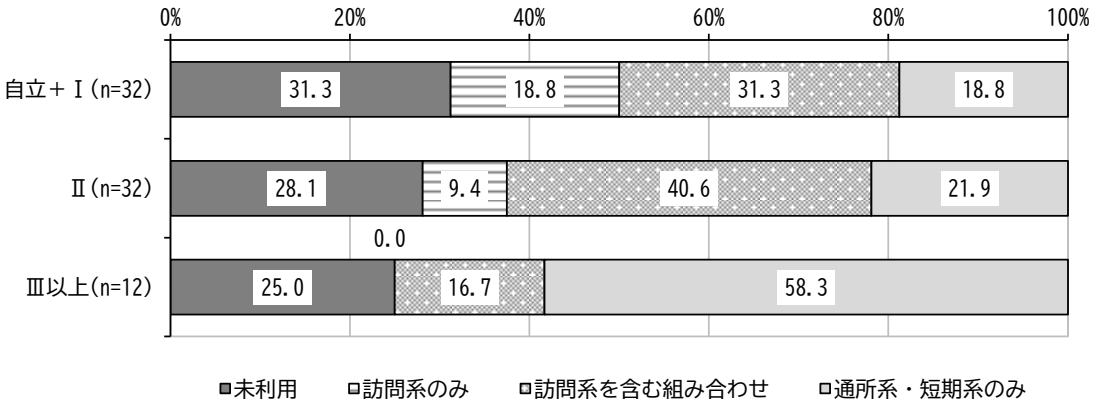
iv 認知症自立度別でみるサービス利用の組み合わせ(単身世帯)

サービス利用の組み合わせを認知症高齢者自立度別にみると、「認知症自立度自立＋Ⅰ」では、「未利用」「訪問系を含む組み合わせ」が31.3%で最も高くなっています。

「認知症自立度Ⅱ」では、「訪問系を含む組み合わせ」が 40.6%で最も高く、次いで「未利用」が 28.1%、「通所系・短期系のみ」が21.9%となっています。

「認知症自立度Ⅲ以上」では、「通所系・短期系のみ」が 58.3%で最も高く、次いで「未利用」が 25.0%、「訪問系を含む組み合わせ」が16.7%となっています。

【図表4－2－4－10 サービス利用の組み合わせ(単身世帯) 認知症自立度別】



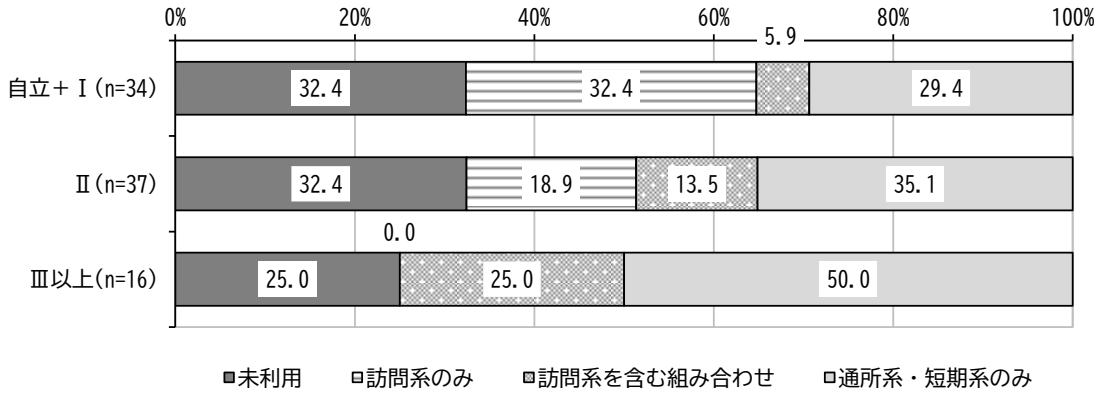
v　認知症自立度別でみるサービス利用の組み合わせ（夫婦のみ世帯）

サービス利用の組み合わせを認知症高齢者自立度別にみると「認知症自立度自立＋Ⅰ」では、「未利用」「訪問系のみ」が 32.4%で最も高く、次いで「通所系・短期系のみ」が 29.4%となっています。

「認知症自立度Ⅱ」では、「通所系・短期系のみ」が 35.1%で最も高く、次いで「未利用」が 32.4%、「訪問系のみ」が 18.9%となっています。

「認知症自立度Ⅲ以上」では、「通所系・短期系のみ」が 50.0%で最も高く、次いで「未利用」「訪問系のみ」が 25.0%となっています。

【図表4－2－4－11　サービス利用の組み合わせ（夫婦のみ世帯）　認知症自立度別】



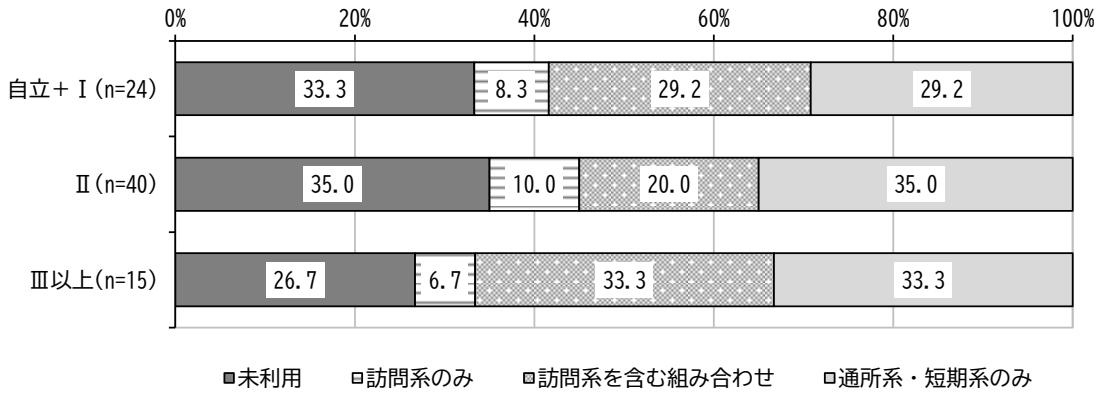
vi　認知症自立度別でみるサービス利用の組み合わせ（その他世帯）

サービス利用の組み合わせを認知症高齢者自立度別にみると、「認知症自立度自立＋Ⅰ」では、「未利用」が 33.3%で最も高く、次いで「訪問系を含む組み合わせ」「通所系・短期系のみ」が 29.2%となっています。

「認知症自立度Ⅱ」では、「未利用」「通所系・短期系のみ」が 35.0%で最も高く、次いで「訪問系を含む組み合わせ」が 20.0%となっています。

「認知症自立度Ⅲ以上」では、「訪問系を含む組み合わせ」「通所系・短期系のみ」が 33.3%で最も高く、次いで「未利用」が 26.7%となっています。

【図表4－2－4－12　サービス利用の組み合わせ（その他世帯）　認知症自立度別】



（4）「要介護度別・認知症自立度別別」の「世帯類型別の施設等検討の状況」

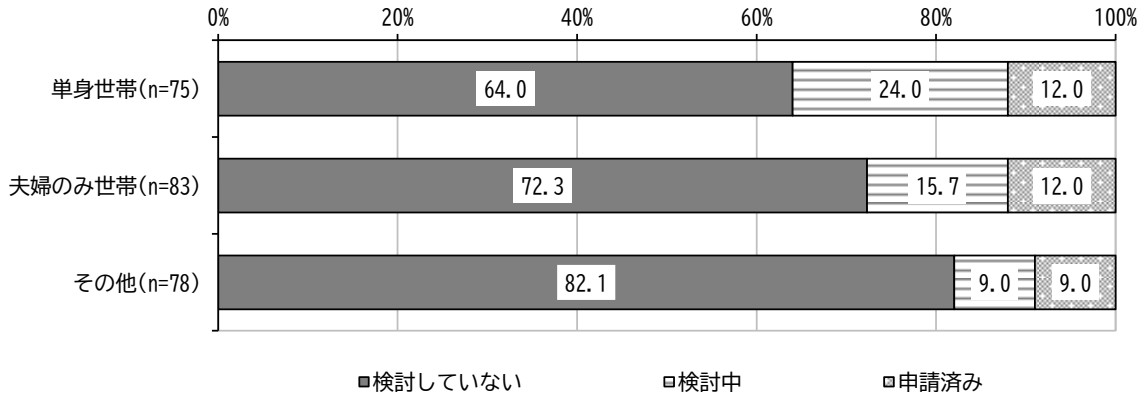
ⅰ　世帯類型別でみる施設等検討の状況（全要介護度）

施設等の検討状況を世帯類型別にみると、「単身世帯」では、「検討していない」が 64.0%で最も高く、次いで「検討中」が 24.0%、「申請済み」が 12.0%となっています。

「夫婦のみ世帯」では、「検討していない」が 72.3%で最も高く、次いで「検討中」が 15.7%、「申請済み」が 12.0%となっています。

「その他」では、「検討していない」が 82.1%で最も高く、次いで「検討中」「申請済み」が 9.0%となっています。

【図表4－2－4－13　施設等検討の状況（全要介護度）　世帯類型別】

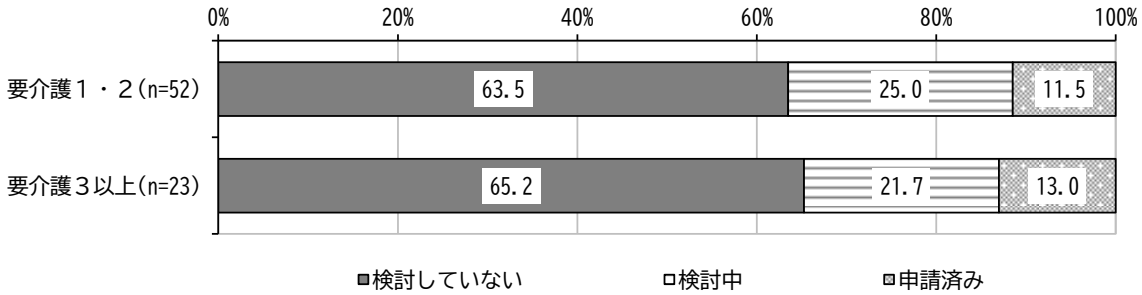


ⅱ　要介護度別でみる施設等検討の状況（単身世帯）

施設等の検討状況を二次判定結果別にみると、「要介護1･2」では、「検討していない」が 63.5%で最も高く、次いで「検討中」が 25.0%、「申請済み」が 11.5%となっています。

「要介護3以上」では、「検討していない」が 65.2%で最も高く、次いで「検討中」が 21.7%、「申請済み」が 13.0%となっています。

【図表4－2－4－14　施設等検討の状況（単身世帯）　要介護度別】

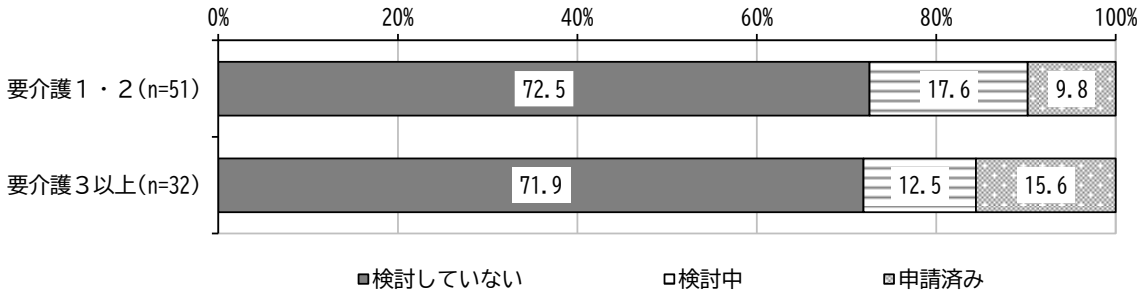


iii 要介護度別でみる施設等検討の状況(夫婦のみ世帯)

施設等の検討状況を二次判定結果別にみると、「要介護1・2」では、「検討していない」が 72.5%で最も高く、次いで「検討中」が 17.6%、「申請済み」が 9.8%となっています。

「要介護3以上」では、「検討していない」が 71.9%で最も高く、次いで「申請済み」が 15.6%、「検討中」が 12.5%となっています。

【図表4－2－4－15 施設等検討の状況(夫婦のみ世帯) 要介護度別】

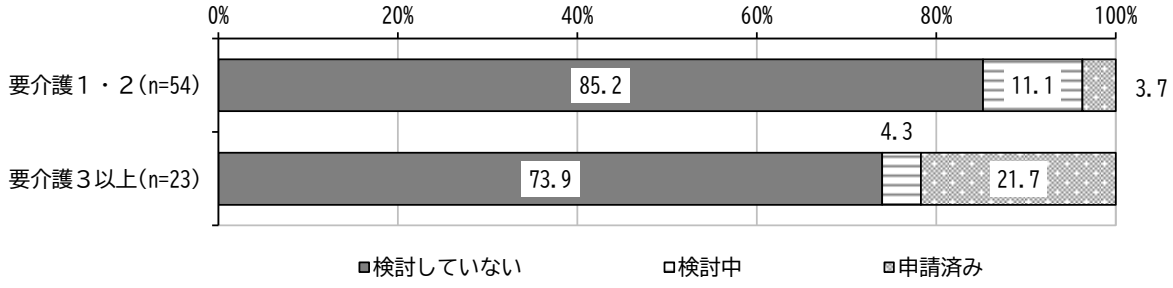


iv 要介護度別でみる施設等検討の状況(その他世帯)

施設等の検討状況を二次判定結果別にみると、「要介護1・2」では、「検討していない」が 85.2%で最も高く、次いで「検討中」が 11.1%、「申請済み」が 3.7%となっています。

「要介護3以上」では、「検討していない」が 73.9%で最も高く、次いで「申請済み」が 21.7%、「検討中」が 4.3%となっています。

【図表4－2－4－16 施設等検討の状況(その他世帯) 要介護度別】



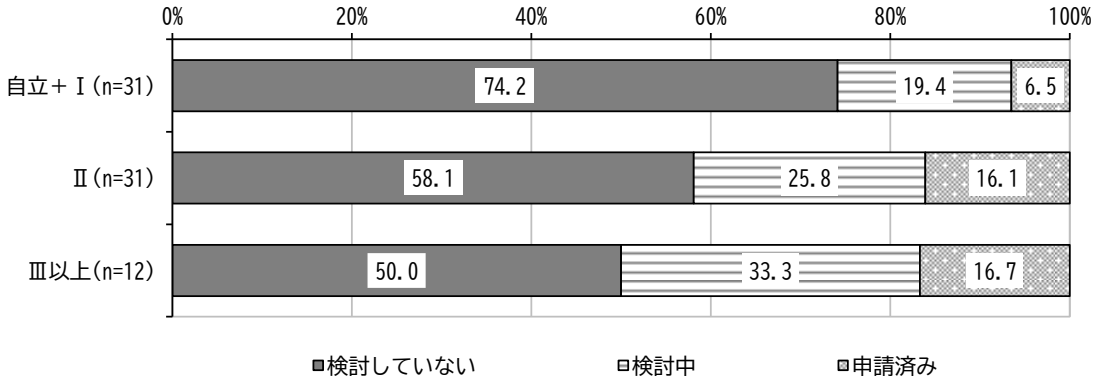
v　認知症自立度別でみる施設等検討の状況(単身世帯)

施設等の検討状況を認知症高齢者自立度別にみると、「認知症自立度自立＋Ⅰ」では、「検討していない」が 74.2%で最も高く、次いで「検討中」が 19.4%、「申請済み」が 6.5%となっています。

「認知症自立度Ⅱ」では、「検討していない」が 58.1%で最も高く、次いで「検討中」が 25.8%、「申請済み」が 16.1%となっています。

「認知症自立度Ⅲ以上」では、「検討していない」が 50.0%で最も高く、次いで「検討中」が 33.3%、「申請済み」が 16.7%となっています。

【図表4－2－4－17　施設等検討の状況(単身世帯)　認知症自立度別】



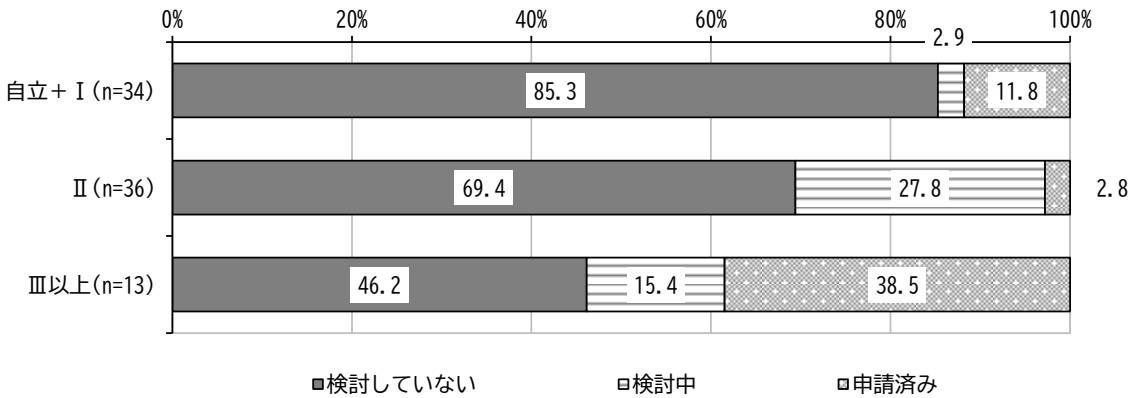
vi　認知症自立度別でみる施設等検討の状況(夫婦のみ世帯)

施設等の検討状況を認知症高齢者自立度別にみると、「認知症自立度自立＋Ⅰ」では、「検討していない」が 85.3%で最も高く、次いで「申請済み」が 11.8%、「検討中」が 2.9%となっています。

「認知症自立度Ⅱ」では、「検討していない」が 69.4%で最も高く、次いで「検討中」が 27.8%、「申請済み」が 2.8%となっています。

「認知症自立度Ⅲ以上」では、「検討していない」が 46.2%で最も高く、次いで「申請済み」が 38.5%、「検討中」が 15.4%となっています。

【図表4－2－4－18　施設等検討の状況(夫婦のみ世帯)　認知症自立度別】



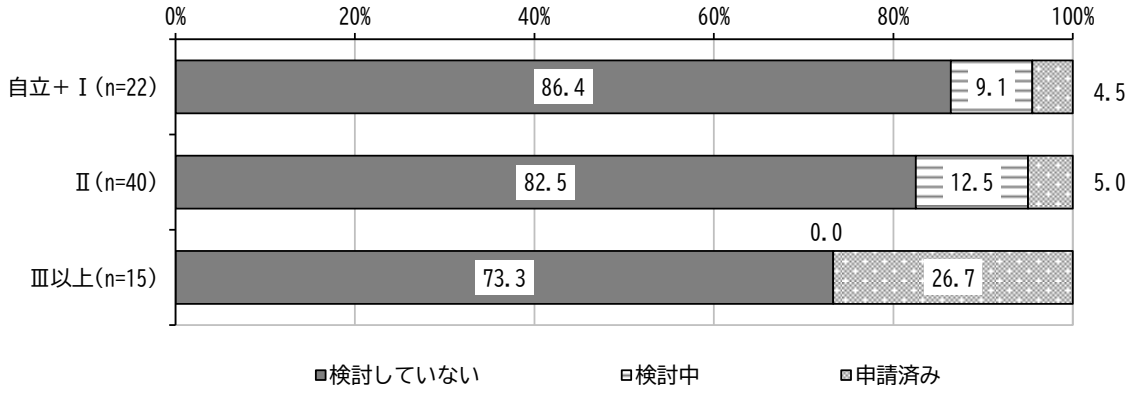
vii 認知症自立度別でみる施設等検討の状況(その他の世帯)

施設等の検討状況を認知症高齢者自立度別にみると、「認知症自立度自立＋Ⅰ」では、「検討していない」が 85.4%で最も高く、次いで「申請済み」が 9.8%、「検討中」が 4.9%となっています。

「認知症自立度Ⅱ」では、「検討していない」が 78.9%で最も高く、次いで「検討中」が 15.8%、「申請済み」が 5.3%となっています。

「認知症自立度Ⅲ以上」では、「検討していない」が 76.5%で最も高く、次いで「検討中」「申請済み」が 11.8%となっています。

【図表4－2－4－19 施設等検討の状況(その他の世帯) 認知症自立度別】



5. 医療ニーズの高い在宅療養者を支える支援･サービスの提供体制の検討

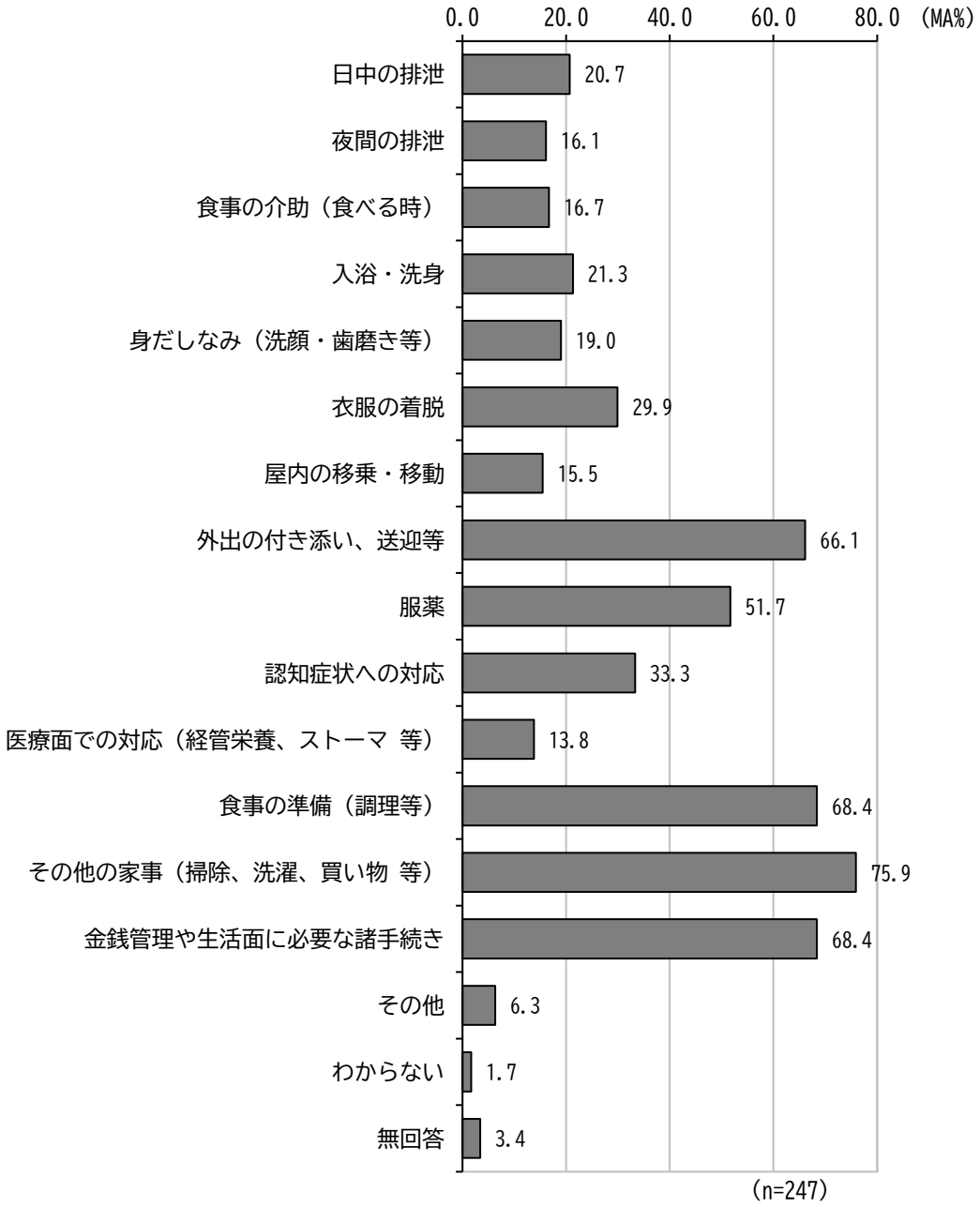
ここでは、医療ニーズの高い在宅療養者を支える支援･サービスの検討につなげるための集計を行います。

(1) 基礎集計

ⅰ 主な介護者が行っている介護

「医療面での対応(経管栄養、ストーマ 等)」は 13.8%となっています。

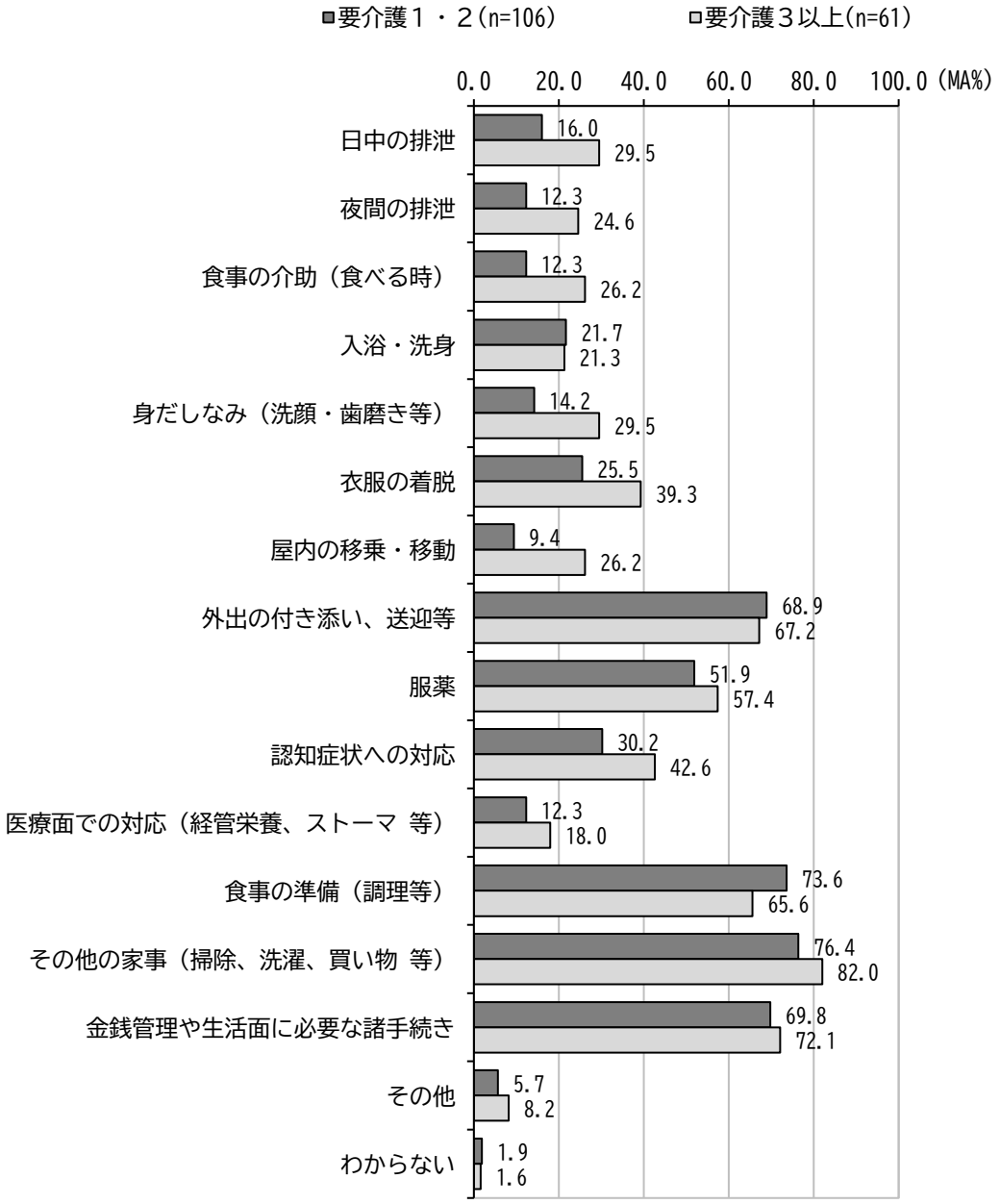
【図表4－2－5－1 主な介護者が行っている介護】



ii　要介護度別でみる主な介護者が行っている介護

介護者が行っている介護を二次判定結果別にみると、「医療面での対応（経管栄養、ストーマ 等）」では、「要介護1･2」が 12.3%、「要介護3以上」は 18.0%となっています。

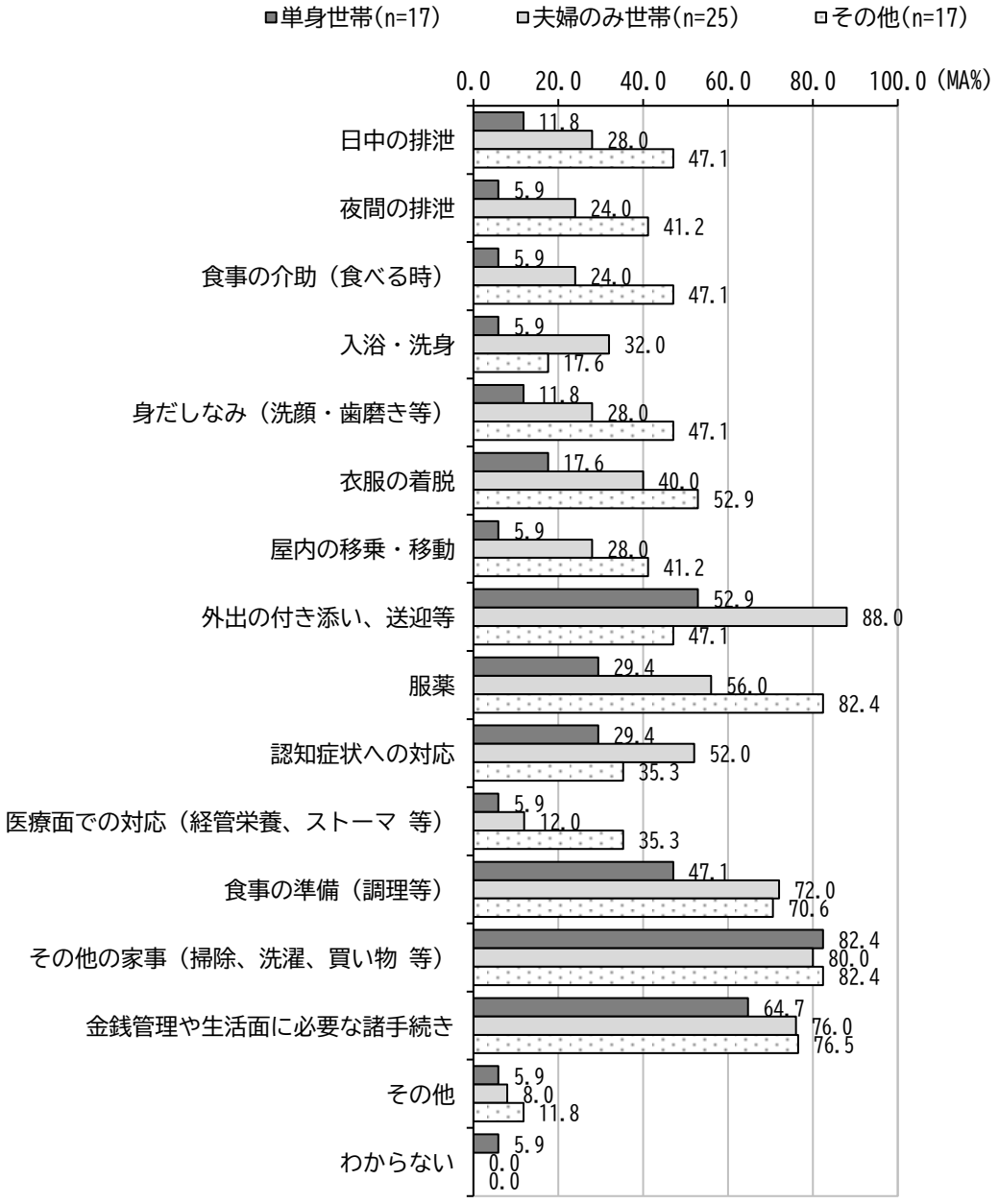
【図表4－2－5－2 主な介護者が行っている介護 要介護度別】



iii　世帯類型別でみる主な介護者が行っている介護（要介護3以上）

介護者が行っている介護を世帯類型別にみると、「医療面での対応（経管栄養、ストーマ 等）」では、「単身世帯」が 5.9%、「夫婦のみの世帯」が 12.0%、「その他」が 35.3%となっています。

【図表4－2－5－3 主な介護者が行っている介護（要介護3以上） 世帯類型別】

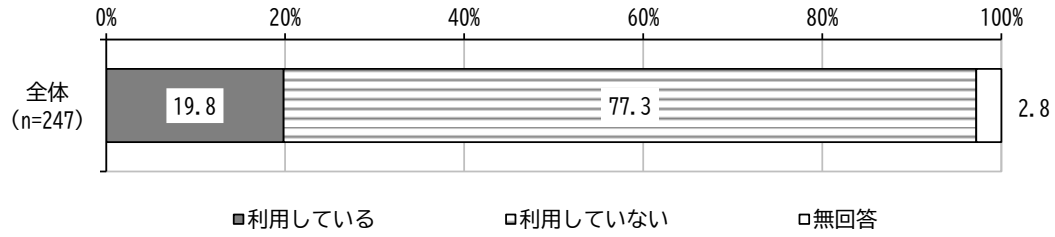


（2） 訪問診療の利用割合

ⅰ 訪問診療の利用の有無

訪問診療の利用の有無について、「利用している」が 19.8%、「利用していない」が 77.3%となっています。

【図表4－2－5－4 訪問診療の利用の有無】



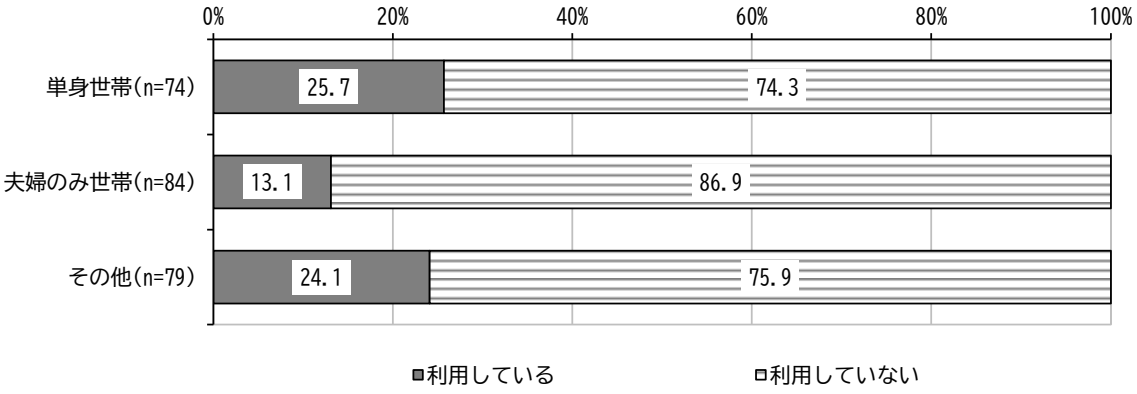
ⅱ 世帯類型別でみる訪問診療の利用割合

訪問診療の利用の有無を世帯類型別にみると、「単身世帯」では、「利用している」が 25.7%、「利用していない」が 74.3%となっています。

「夫婦のみ世帯」では、「利用している」が 13.1%、「利用していない」が 86.9%となっています。

「その他」では、「利用している」が 24.1%、「利用していない」が 75.9%となっています。

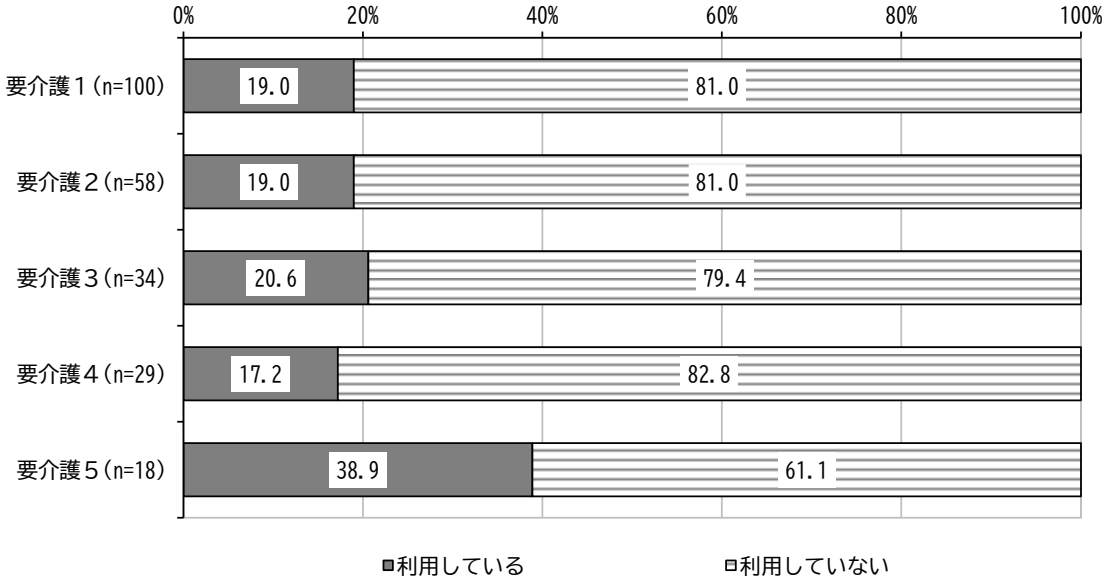
【図表4－2－5－5 訪問診療の利用割合 世帯類型別】



iii 要介護度別でみる訪問診療の利用割合

訪問診療の利用の有無を二次判定結果別にみると、「利用している」では、「要介護5」が 38.9%で最も高くなっています。

【図表4－2－5－6 訪問診療の利用割合 要介護度別】



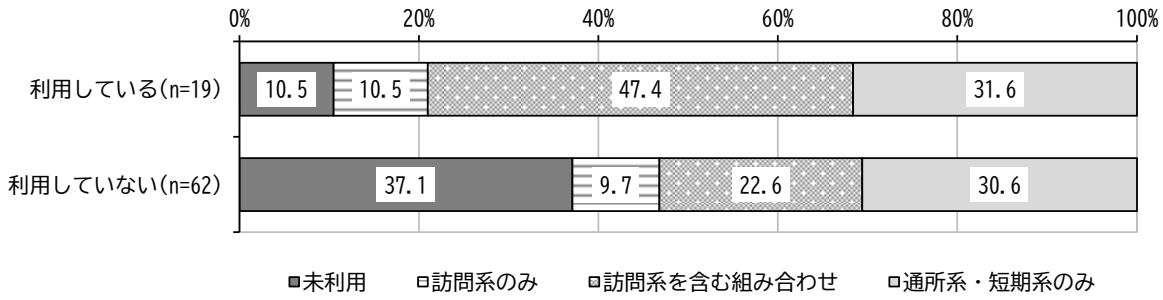
(3) 訪問診療の利用の有無別のサービス利用の組み合わせ

i 訪問診療の利用の有無別でみるサービス利用の組み合わせ(要介護3以上)

サービス利用の組み合わせを訪問診療の利用の有無別にみると、「利用している」では、「訪問系を含む組み合わせ」が 47.4%で最も高く、次いで「通所系・短期系のみ」が 31.6%となっています。

「利用していない」では、「未利用」が 37.1%で最も高く、次いで「通所系・短期系のみ」が 30.6%、「訪問系を含む組み合わせ」が 22.6%となっています。

【図表4－2－5－7 サービス利用の組み合わせ(要介護3以上) 訪問診療の利用の有無別】



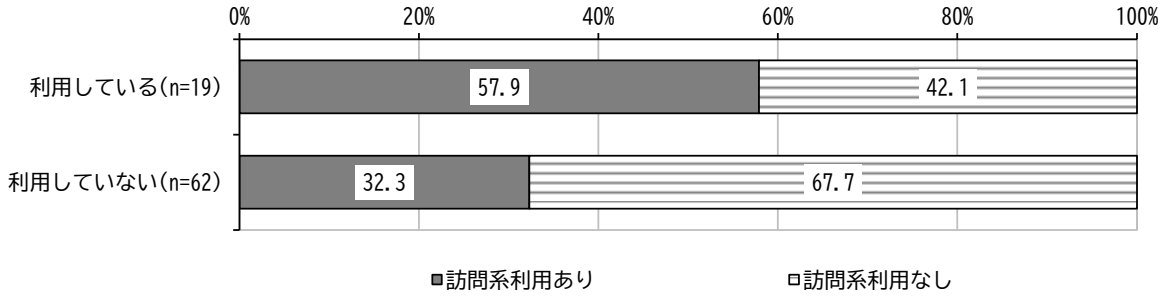
（4） 訪問診療の利用の有無別の訪問系・通所系・短期系サービスの利用の有無

ⅰ 訪問診療の利用の有無別でみるサービスの利用の有無（訪問系、要介護3以上）

訪問系の利用の有無を訪問診療の利用の有無別にみると、「利用している」では、「訪問系利用あり」が57.9%、「訪問系利用なし」が 42.1%となっています。

「利用していない」では、「訪問系利用あり」が 32.3%、「訪問系利用なし」が 67.7%となっています。

【図表4－2－5－8 訪問系サービスの利用の有無（要介護3以上） 訪問診療の利用の有無別】

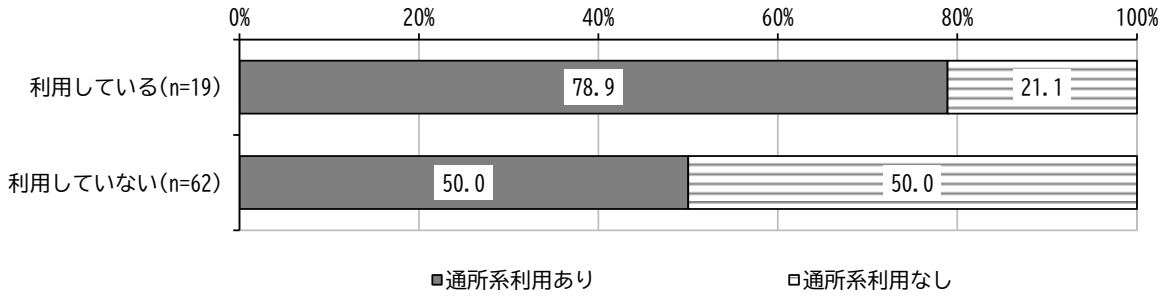


ⅱ 訪問診療の利用の有無別・サービスの利用の有無（通所系、要介護3以上）

通所系の利用の有無（定期巡回を除く）を訪問診療の利用の有無別にみると、「利用している」では、「通所系利用あり」が 78.9%、「通所系利用なし」が 21.1%となっています。

「利用していない」では、「通所系利用あり」「通所系利用なし」が 50%となっています。

【図表4－2－5－9 通所系サービスの利用の有無（要介護3以上） 訪問診療の利用の有無別】

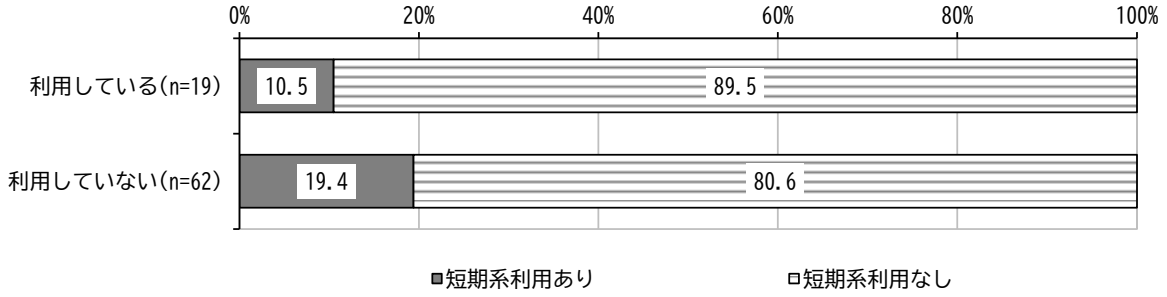


ⅲ　訪問診療の利用の有無別・サービス利用の有無（短期系、要介護3以上）

短期系の利用の有無（定期巡回を除く）を訪問診療の利用の有無別にみると、「利用している」では、「短期系利用あり」が 10.5%、「短期系利用なし」が 89.5%となっています。

「利用していない」では、「短期系利用あり」が 19.4%で最も高く、次いで「短期系利用なし」が 80.6%となっています。

【図表4－2－5－10　短期系サービス利用の有無（要介護3以上）　訪問診療の利用の有無別】



（5）訪問看護の利用内容

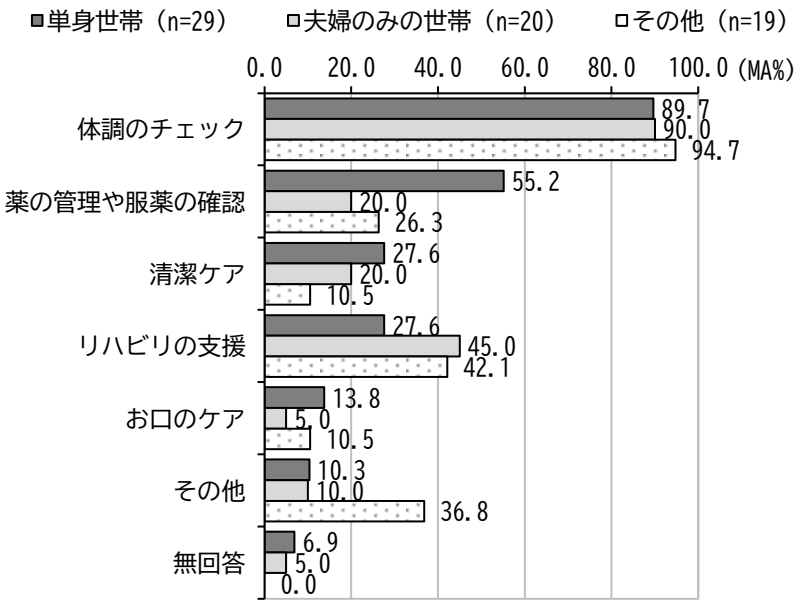
ⅰ　世帯類型別でみる訪問看護の利用内容

訪問看護の利用内容を世帯類型別にみると、「単身世帯」では、「体調のチェック」が 89.7%で最も高く、次いで「薬の管理や服薬の確認」が 55.2%となっています。

「夫婦のみの世帯」では、「体調のチェック」が 90.0%で最も高く、次いで「リハビリの支援」が 45.0%となっています。

「その他」では、「体調のチェック」が 94.7%で最も高く、次いで「リハビリの支援」が 42.1%となっています。

【図表4－2－5－11　主な介護者が行っている介護】

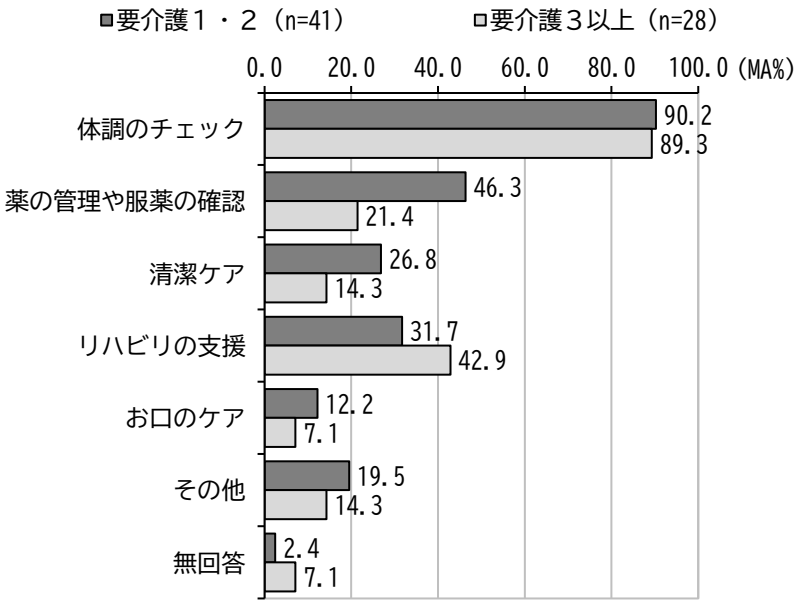


ii 要介護度別でみる訪問看護の利用内容

訪問看護の利用内容を要介護度別にみると「要介護1・2」では、「体調のチェック」が 90.2%で最も高く、次いで「薬の管理や服薬の確認」が 46.3%、「リハビリの支援」が 31.7%となっています。

「要介護3以上」では、「体調のチェック」が 89.3%で最も高く、次いで「リハビリの支援」が 42.9%、「薬の管理や服薬の確認」が 21.4%となっています。

【図表4－2－5－12 主な介護者が行っている介護】



6. サービス未利用の理由など

ここでは、支援・サービスの提供体制の構築を含む各種の取組を検討する際に、参考になると考えられるいくつかの集計結果を整理しています。

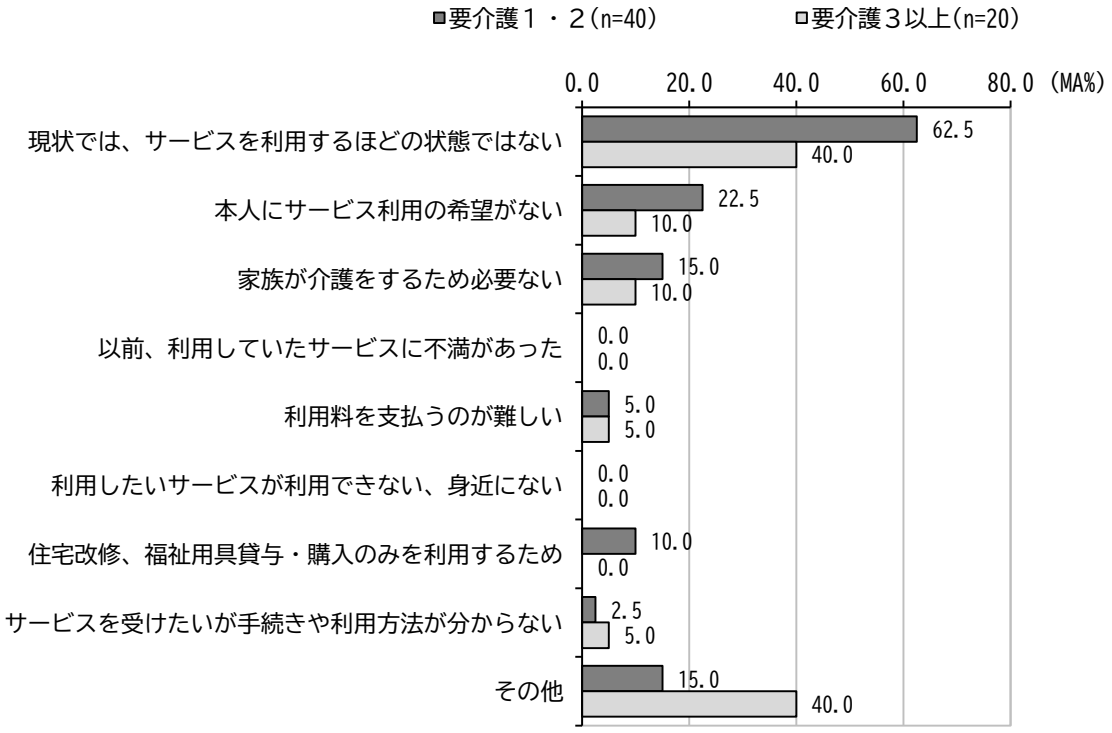
(1) 要介護度別でみる世帯類型別のサービス未利用の理由

ⅰ 要介護度別のサービス未利用の理由

未利用の理由を二次判定結果別にみると、「要介護1・2」では、「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が 62.5%で最も高く、次いで「本人にサービス利用の希望がない」が 22.5%、「家族が介護をするため必要ない」「その他」が 15.0%となっています。

「要介護3以上」では、「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」「その他」が 40.0%で最も高くなっています。

【図表4－2－6－1 サービス未利用の理由 要介護度別】



（2） 認知症自立度別でみるサービス未利用の理由

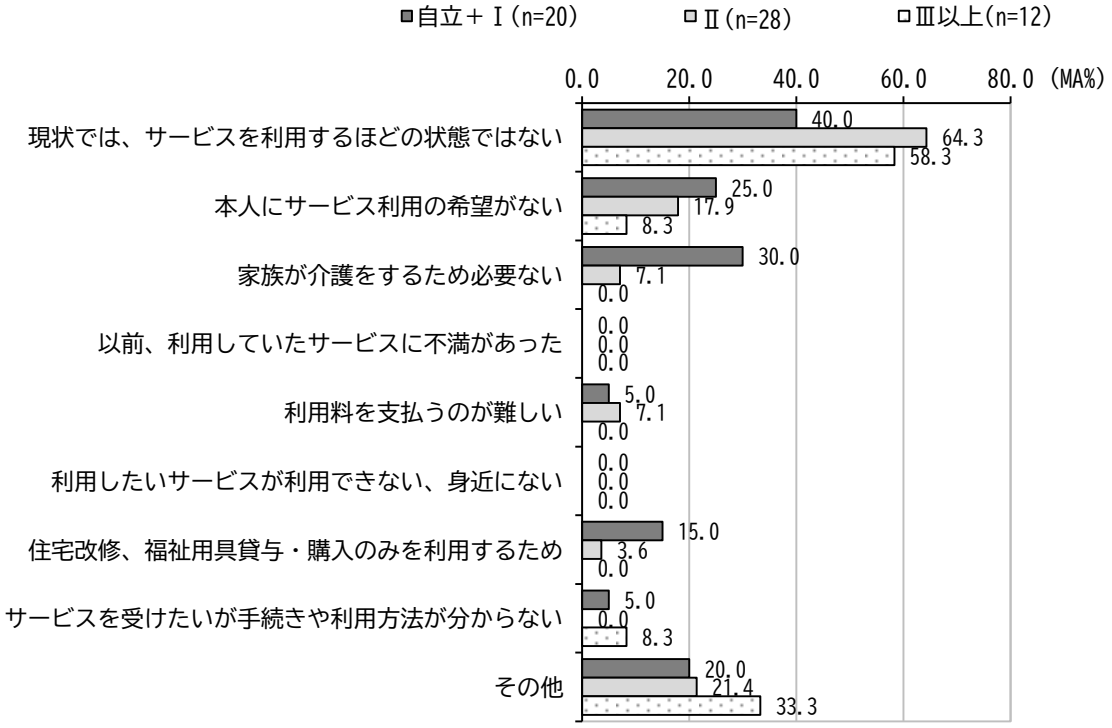
ⅰ 認知症自立度別のサービス未利用の理由

未利用の理由を認知症高齢者自立度別にみると、「認知症自立度自立＋Ⅰ」では、「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が 40.0%で最も高く、次いで「家族が介護をするため必要ない」が 30.0%、「本人にサービス利用の希望がない」が 25.0%となっています。

「認知症自立度Ⅱ」では、「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が 64.3%で最も高く、次いで「その他」が 21.4%、「本人にサービス利用の希望がない」が 17.9%となっています。

「認知症自立度Ⅲ以上」では、「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が 58.3%で最も高く、次いで「その他」が 33.3%、「本人にサービス利用の希望がない」が 8.3%となっています。

【図表4－2－6－2 サービス未利用の理由 認知症自立度別】



（3） 認知症自立度別でみる今後の在宅生活に必要と感じる支援・サービス

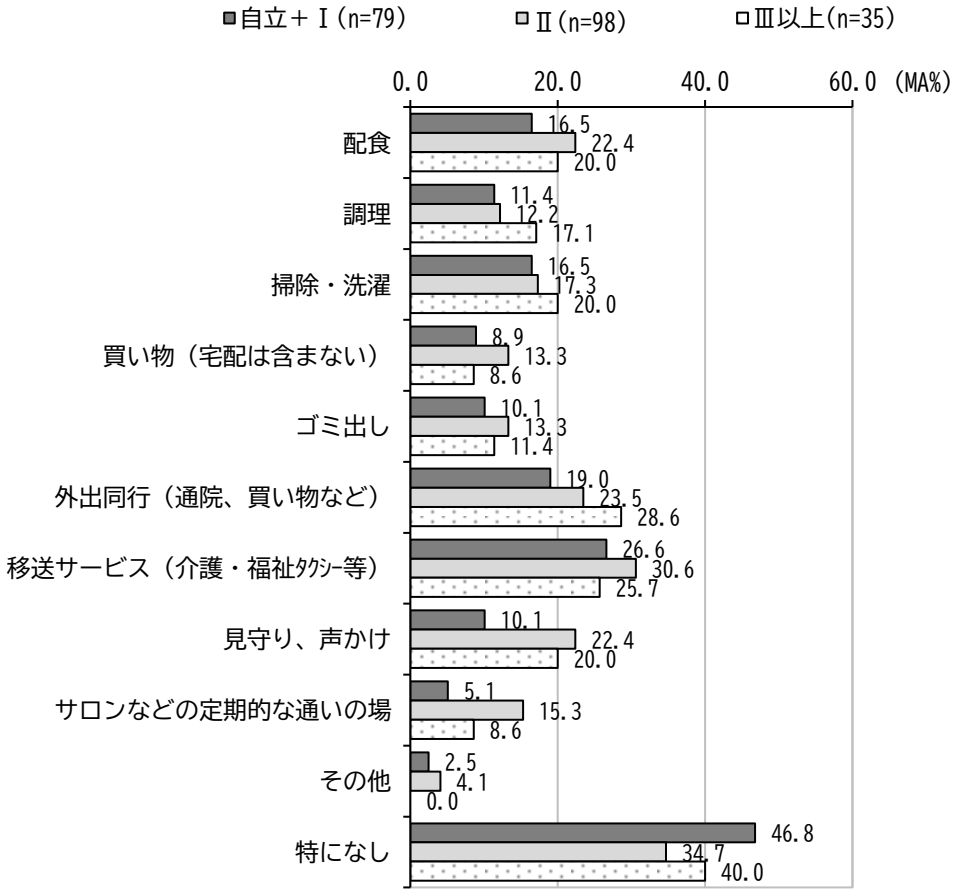
ｉ 認知症自立度別の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス

保険外の支援・サービスの必要性を認知症高齢者自立度別にみると、「認知症自立度自立＋Ⅰ」では、「特になし」が 46.8%で最も高く、次いで「移送サービス（介護・福祉ﾀｸｼｰ等）」が 26.6%、「外出同行（通院、買い物など）」が 19.0%となっています。

「認知症自立度Ⅱ」では、「特になし」が 34.7%で最も高く、次いで「移送サービス（介護・福祉ﾀｸｼｰ等）」が 30.6%、「外出同行（通院、買い物など）」が 23.5%となっています。

「認知症自立度Ⅲ」では、「特になし」が 40.0%で最も高く、次いで「外出同行（通院、買い物など）」が 28.6%、「移送サービス（介護・福祉ﾀｸｼｰ等）」が 25.7%となっています。

【図表4－2－6－3 在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス 認知症自立度別】



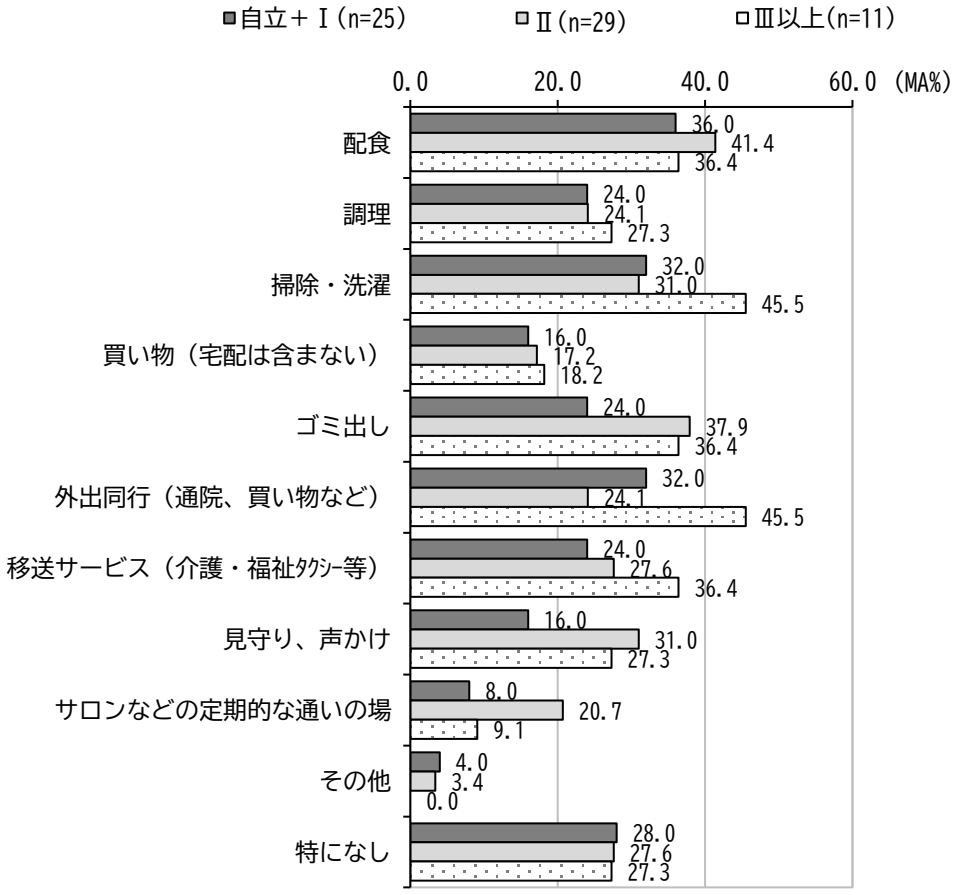
ii　認知症自立度別の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス（単身世帯）

保険外の支援・サービスの必要性を認知症高齢者自立度別にみると、「認知症自立度自立＋Ⅰ」では、「配食」が 36.0%で最も高く、次いで「掃除・洗濯」「外出同行（通院、買い物など）」が 32.0%となっています。

「認知症自立度Ⅱ」では、「配食」が 41.4%で最も高く、次いで「ゴミ出し」が 37.9%、「掃除・洗濯」「見守り、声かけ」が 31.0%となっています。

「認知症自立度Ⅲ」では、「掃除・洗濯」「外出同行（通院、買い物など）」が 45.5%で最も高くなっています。

【図表4－2－6－4　在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス（単身世帯）　認知症自立度別】



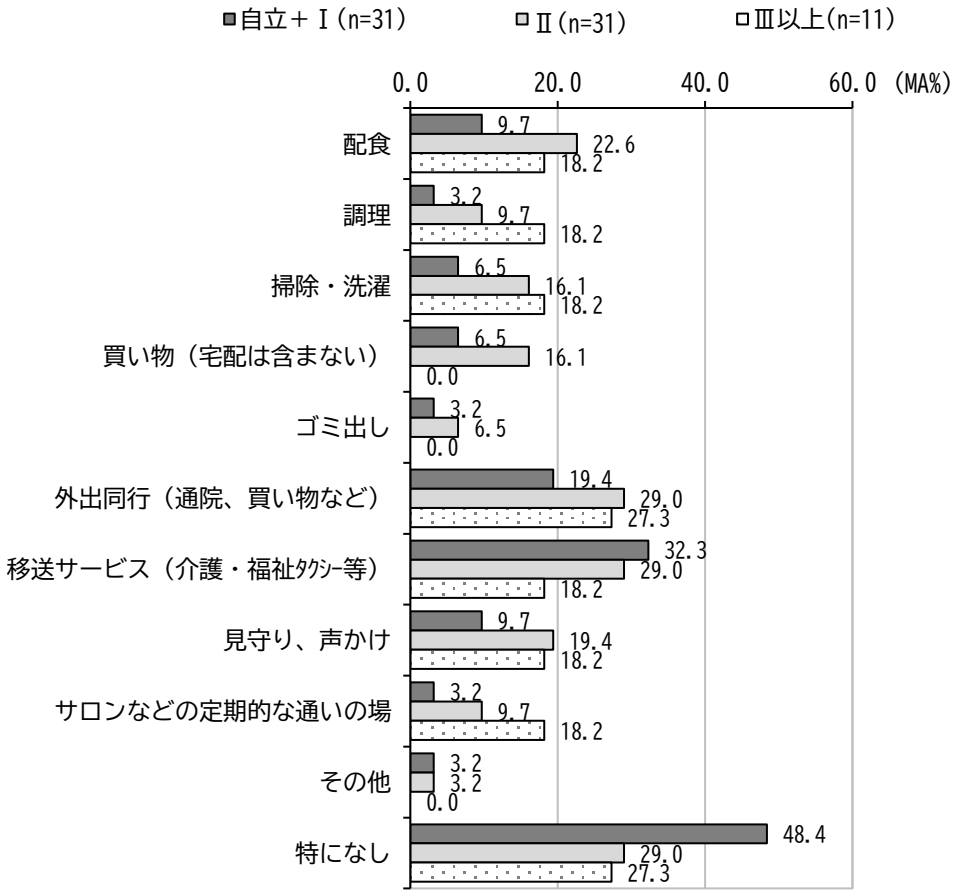
iii　認知症自立度別の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス（夫婦のみ世帯）

保険外の支援・サービスの必要性を認知症高齢者自立度別にみると、「認知症自立度自立＋Ⅰ」では、「特になし」が 48.4％で最も高く、次いで「移送サービス（介護・福祉ﾀｸｼｰ等）」が 32.3％、「外出同行（通院、買い物など）」が 19.4％となっています。

「認知症自立度Ⅱ」では、「外出同行（通院、買い物など）」「移送サービス（介護・福祉ﾀｸｼｰ等）」「特になし」が 29.0％で最も高くなっています。

「認知症自立度Ⅲ」では、「外出同行（通院、買い物など）」が 27.3％で最も高く、次いで「外出同行（通院、買い物など）」が 27.3％となっています。

【図表4－2－6－5　在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス（夫婦のみ世帯）　認知症自立度別】



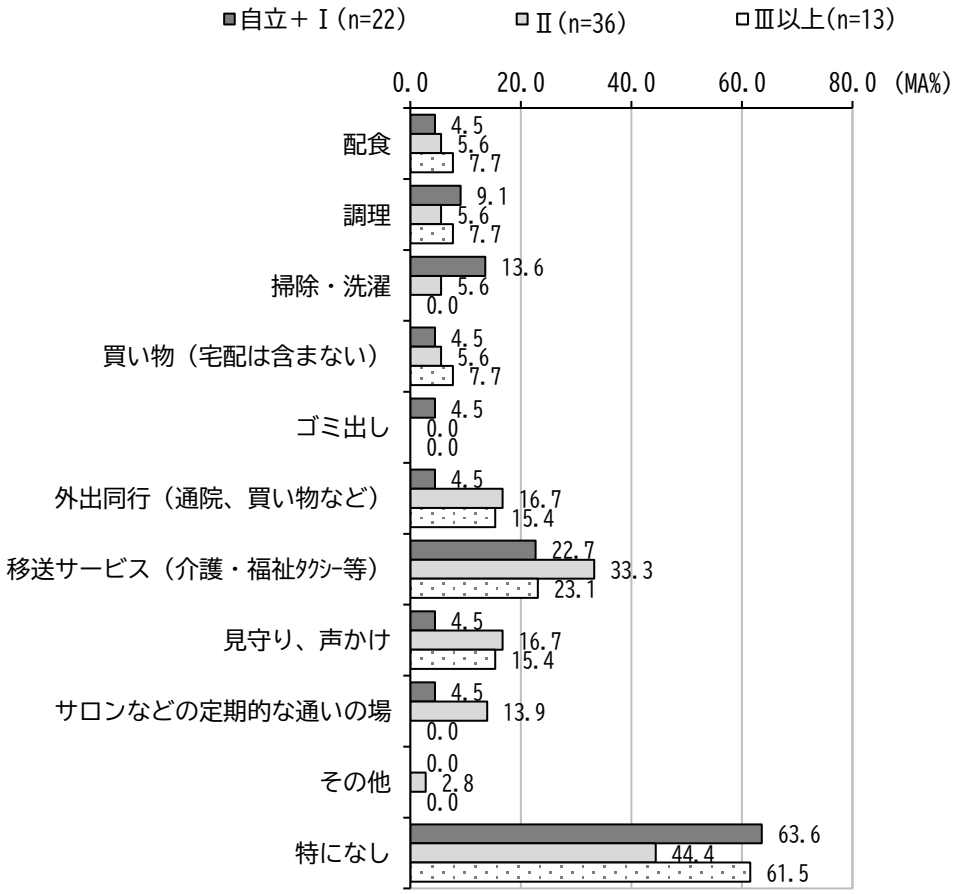
ⅳ　認知症自立度別の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス（その他世帯）

保険外の支援・サービスの必要性を認知症高齢者自立度別にみると、「認知症自立度自立＋Ⅰ」では、「特になし」が63.6%で最も高く、次いで「移送サービス（介護・福祉ﾀｸｼｰ等）」が22.7%、「掃除・洗濯」が13.6%となっています。

「認知症自立度Ⅱ」では、「特になし」が 44.4%で最も高く、次いで「移送サービス（介護・福祉ﾀｸｼｰ等）」が33.3%、「外出同行（通院、買い物など）」が16.7%となっています。

「認知症自立度Ⅲ」では、「特になし」が 61.5%で最も高く、次いで「移送サービス（介護・福祉ﾀｸｼｰ等）」が23.1%、「外出同行（通院、買い物など）」「見守り、声かけ」が15.4%となっています。

【図表4－2－6－6　在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス（その他世帯）　認知症自立度別】



（4） 本人の年齢別でみる主な介護者の年齢

ⅰ 本人の年齢別でみる主な介護者の年齢

介護者の年齢を本人の年齢別にみると、本人の年齢が「65 歳未満」では、「50 歳代」が 100.0%となっています。

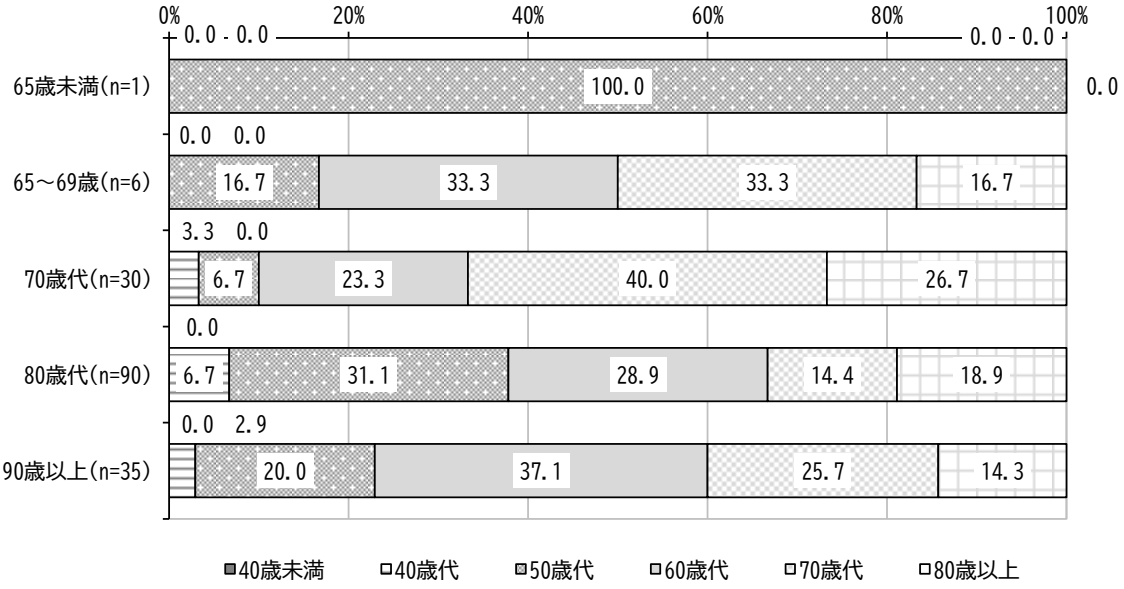
本人の年齢が「65～69 歳」では、「60 歳代」「70 歳代」が 33.3%で最も高くなっています。

本人の年齢が「70 歳代」では、「70 歳代」が 40.0%で最も高く、次いで「80 歳以上」が 26.7%、「60 歳代」が 23.3%となっています。

本人の年齢が「80 歳代」では、「50 歳代」が 31.1%で最も高く、次いで「60 歳代」が 28.9%、「80 歳以上」が 18.9%となっています。

本人の年齢が「90 歳以上」では、「60 歳代」が 37.1%で最も高く、次いで「70 歳代」が 25.7%、「50 歳代」が 20.0%となっています。

【図表4－2－6－7 主な介護者の年齢 本人の年齢別】



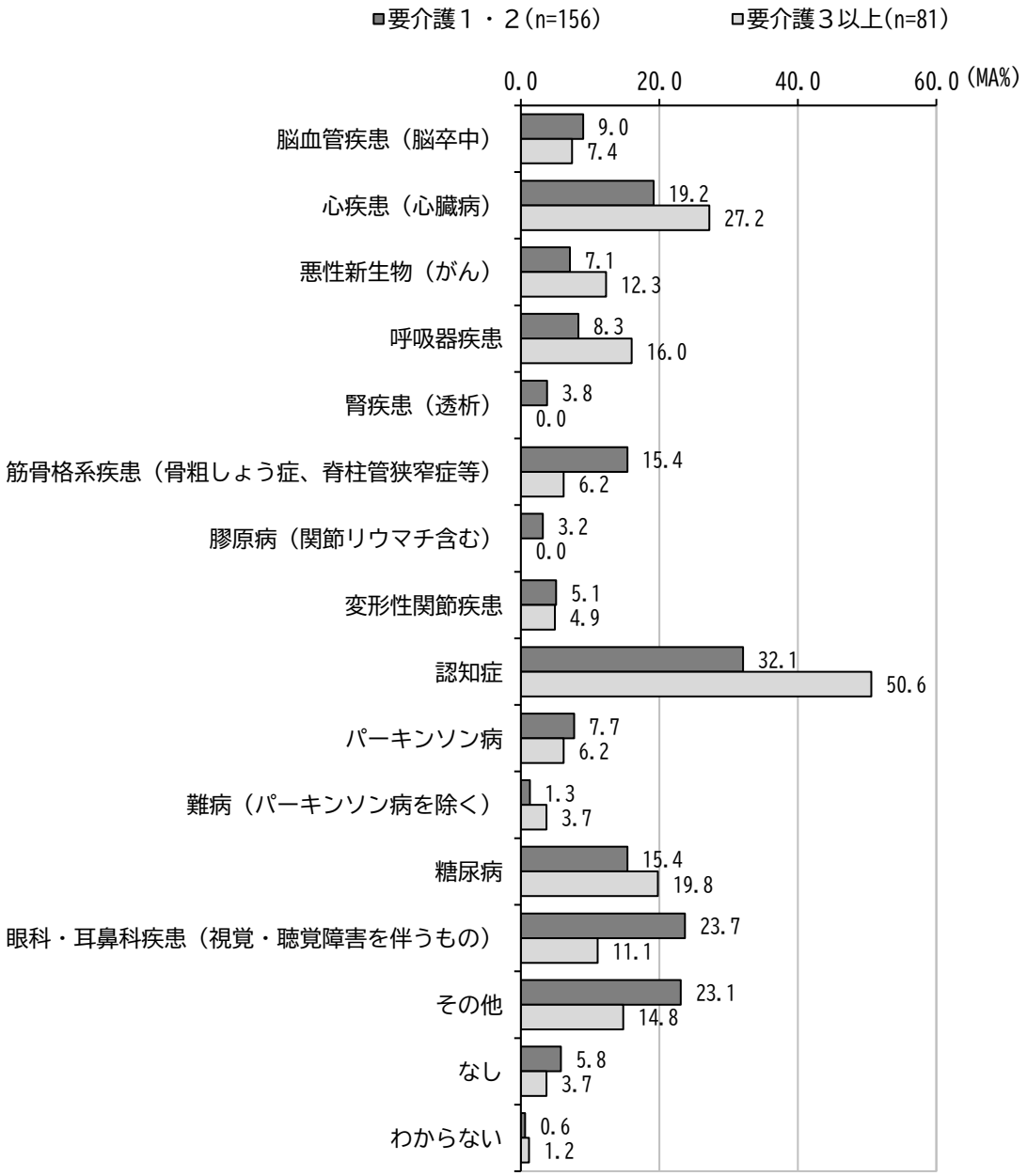
（5） 要介護度別の抱えている傷病

ｉ 要介護度別でみる抱えている傷病

抱えている傷病を要介護度別にみると、「要介護1･2」では、「認知症」が 32.1%で最も高く、次いで「眼科・耳鼻科疾患（視覚･聴覚障害を伴うもの）」が 23.7%、「その他」が 23.1%となっています。

「要介護3以上」では、「認知症」が 50.6%で最も高く、次いで「心疾患（心臓病）」が 27.2%、「糖尿病」が 19.8%となっています。

【図表4－2－6－8 抱えている傷病 要介護度別】



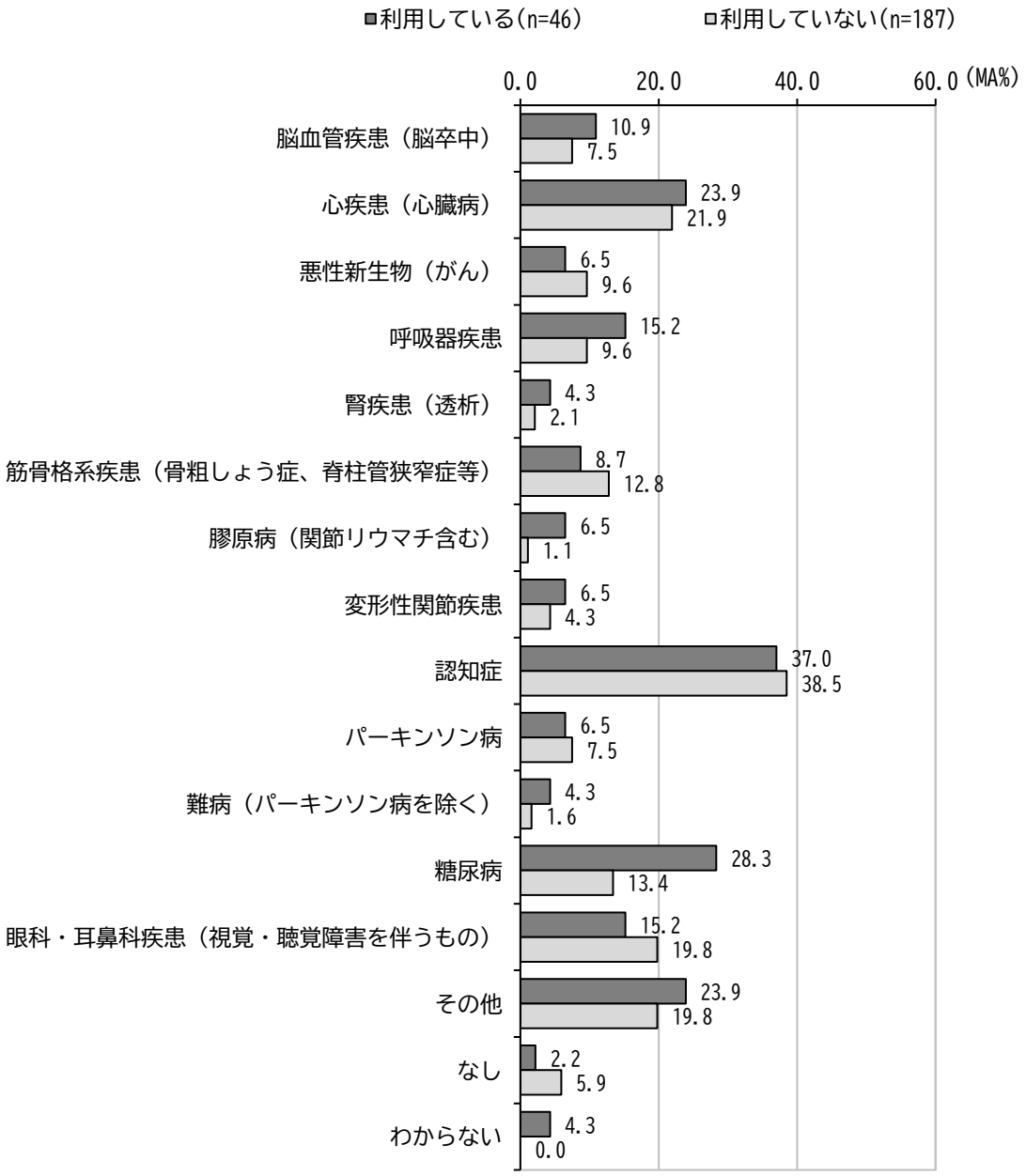
（6） 訪問診療の利用の有無別の抱えている傷病

ⅰ 訪問診療の利用の有無別でみる抱えている傷病

抱えている傷病を訪問診療の利用の有無別にみると、「利用している」では、「認知症」が 37.0%で最も高く、次いで「糖尿病」が 28.3%、「心疾患（心臓病）」「その他」が 23.9%となっています。

「利用していない」では、「認知症」が 38.5%で最も高く、次いで「心疾患（心臓病）」が 21.9%、「眼科・耳鼻科疾患（視覚・聴覚障害を伴うもの）」「その他」が 19.8%となっています。

【図表4－2－6－9 抱えている傷病 訪問診療の利用の有無別】



大山崎町
介護予防・日常生活圏域ニーズ調査及び在宅介護実態調査
報　告　書

発行年月：令和8年（2026 年）3月
発行：大山崎町　健康福祉部　健康課　高齢介護係
〒618-8501　京都府乙訓郡大山崎町字円明寺小字夏目3番地
TEL：075-956-2101（代表）　FAX：075-957-4161